

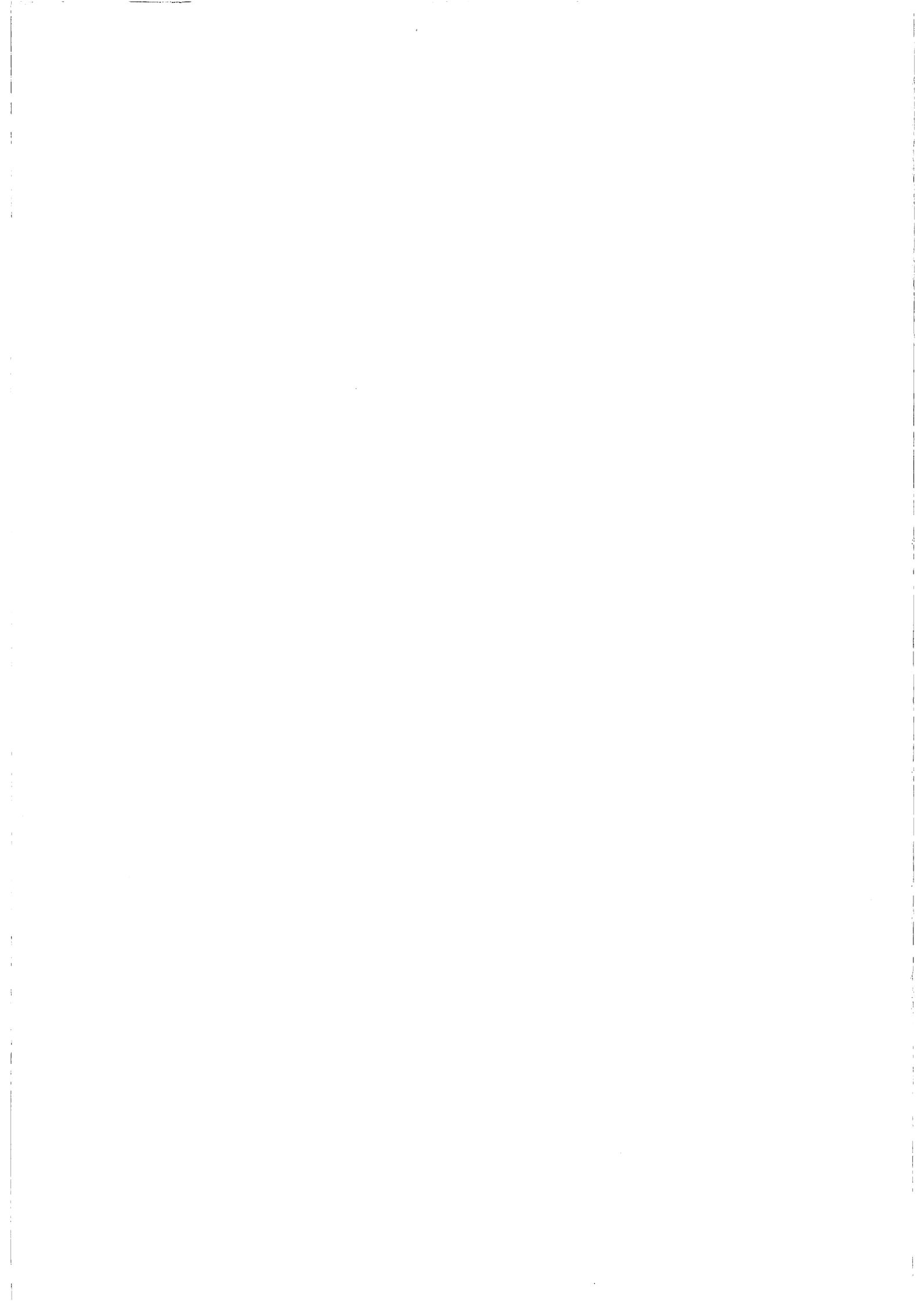
千歳市

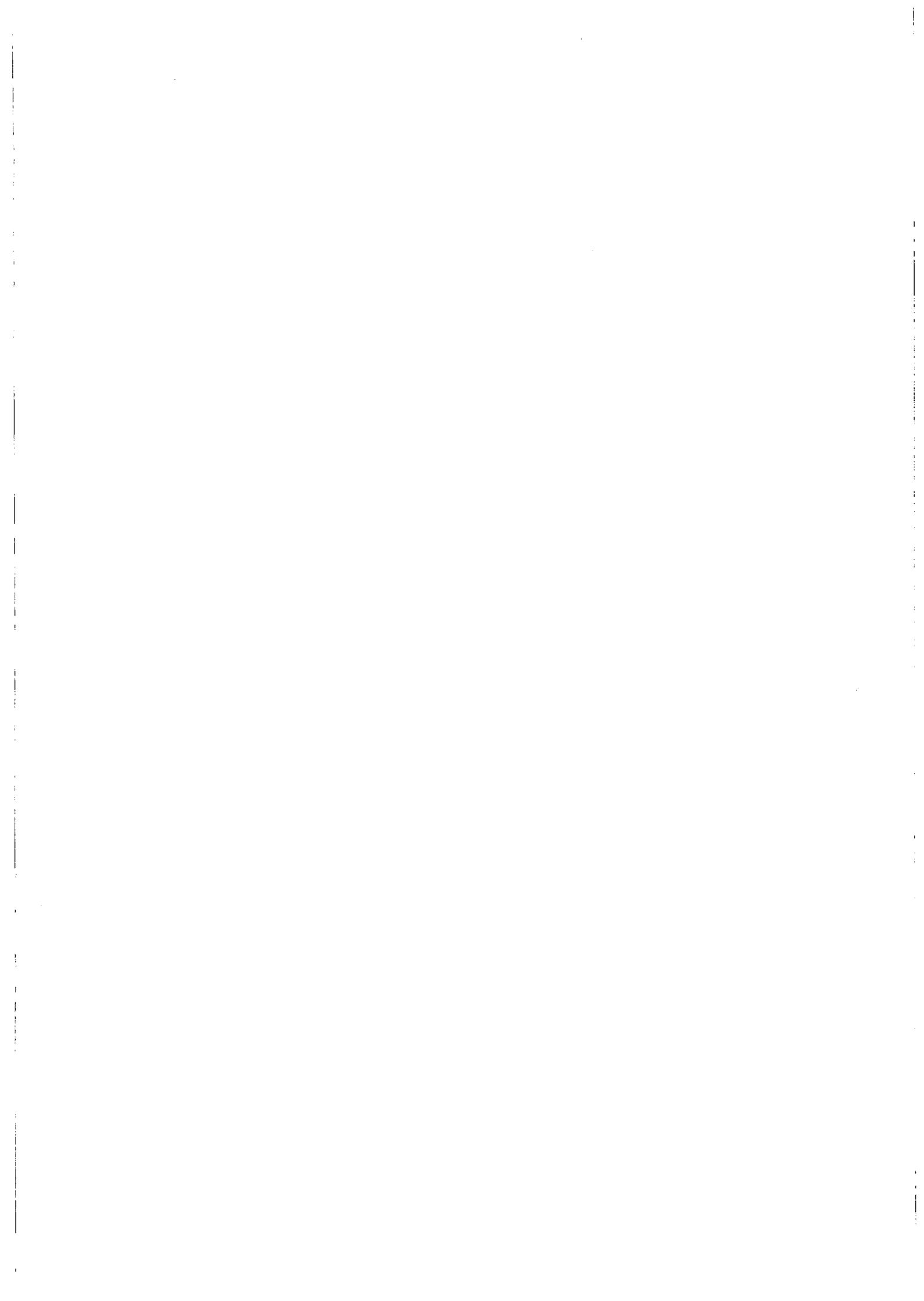
キウス4遺跡(6)

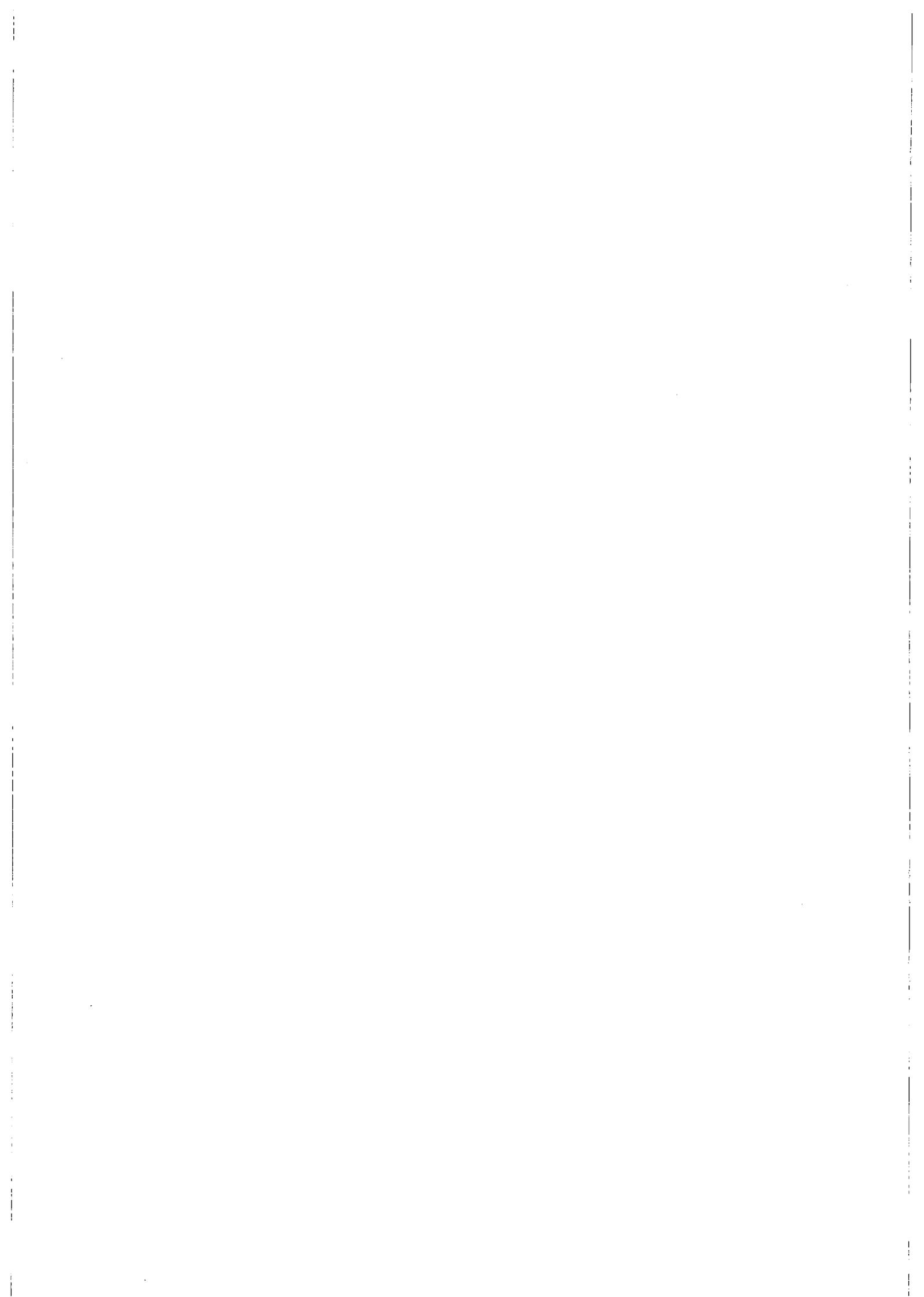
—北海道横断自動車道(千歳～夕張)埋蔵文化財発掘調査報告書—

平成10・11年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター







千歳市

キウス4遺跡(6)

—北海道横断自動車道(千歳～夕張)埋蔵文化財発掘調査報告書—

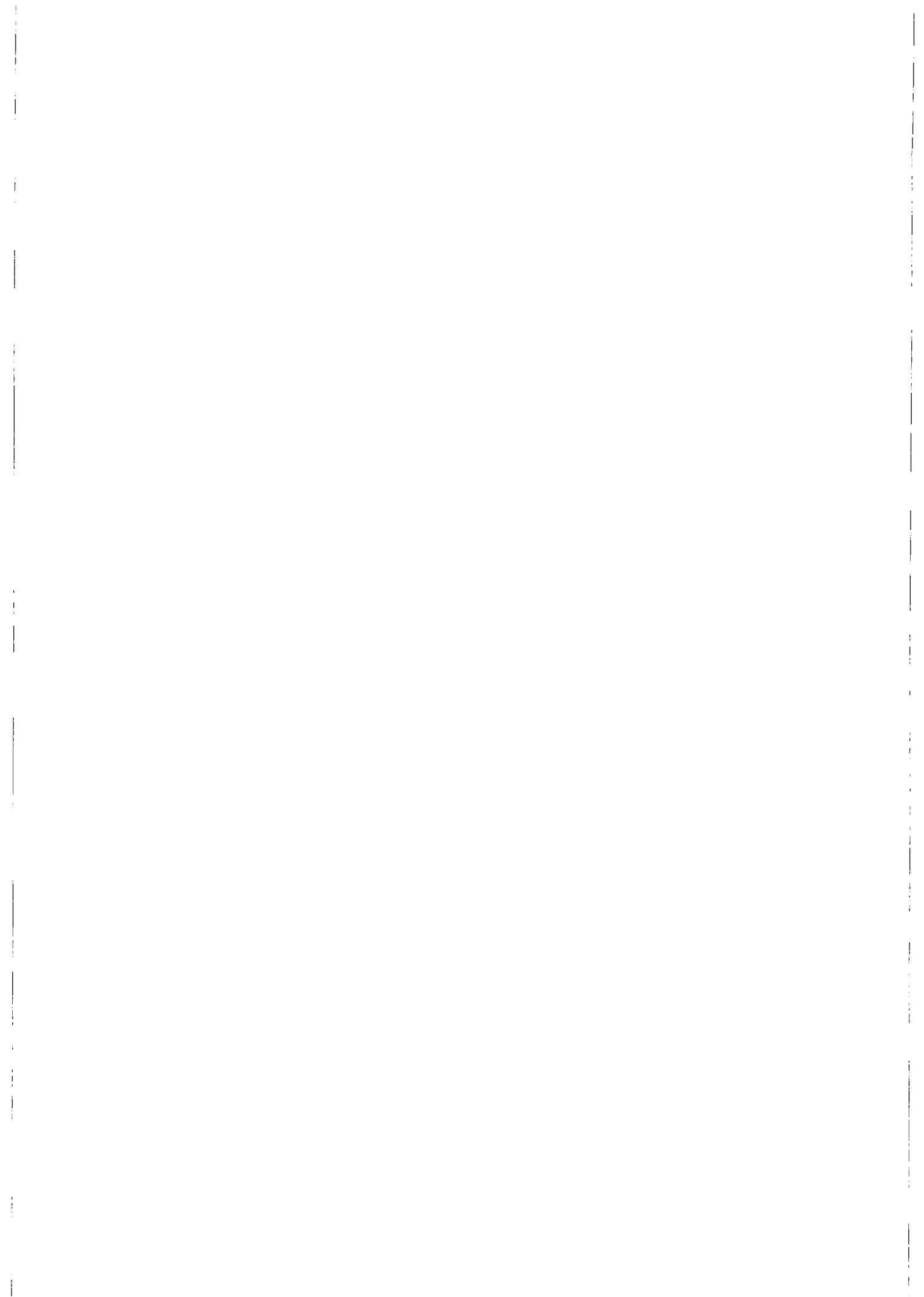
平成10・11年度

財団法人 北海道埋蔵文化財センター





調査区（R地区）完掘全景



例 言

1. 本書は、北海道横断自動車道建設に伴い、財団法人北海道埋蔵文化財センターが平成10（1998）年度に発掘調査を実施した千歳市キウス4遺跡R地区の埋蔵文化財発掘調査報告書である。なお本報告書では、遺構（盛土遺構と木製品を伴う遺構以外）とその出土遺物を取り扱っている。
2. 平成10年度の発掘調査は、第2調査部第3調査課、平成11（1999）年度の整理作業は、第2調査部第1調査課と第2調査部第4調査課が担当した。
3. 本書の執筆は、佐川俊一、和泉田毅、阿部明義、山中文雄、編集は和泉田毅が行った。各章・節などの執筆担当者は、以下のとおりである。
V3（RLP-2・3）・5（RUR-1・RLR-10）：佐川俊一 IV2（建物跡1・2）・4（RLP-40）・6（RLR-2）、V2・5（RLR-4～6・8・9）：山中文雄 IV2（建物跡3）・4（RLP-4・5・34～39）：阿部明義 I、II、III、IV1・2（建物跡4～99）・3・4（RLP-1・12・51・52）・5・6（RLR-3）、V1・4、VII：和泉田毅。なおIV5のRLF-263はRLP-38の項で阿部明義が、RLF-264は建物跡1・2の項で山中文雄が説明している。また出土遺物については、土器・土製品は阿部明義が、石器・石製品は和泉田毅が分担、執筆した。
4. 整理作業の担当は、遺構が調査担当の調査員、土器・土製品が阿部明義、石器・石製品が和泉田毅、フローテーション資料が藤井浩である。
5. 現場の写真撮影は、玉邑肇章と遺構担当調査員、遺物の写真撮影は和泉田毅が行った。
6. 現場の空中写真撮影、トータルステーションによる遺物の取り上げ・遺構の実測は㈱シン技術コンサルに委託した。
7. 放射性炭素による年代測定は、㈱地球科学研究所に依頼した。
8. 動物遺存体の同定は、千歳サケのふるさと館の高橋理氏に依頼した。
9. 炭化植物種子の同定は、札幌国際大学の吉崎昌一氏、北海道大学埋蔵文化財調査室の椿坂恭代氏に依頼した。
10. 石器などの石材鑑定は、第1調査部第1調査課の花岡正光の指導のもと和泉田毅、阿部明義が行った。
11. 調査にあたっては、下記の諸機関および人々の御協力、御助言をいただいた（順不同、敬称略）。
文化庁 岸本直文、国立歴史民俗博物館 辻誠一郎、北海道開拓記念館 平川善祥、北海道開拓の村 野村崇、千歳市教育委員会 大谷敏三、田村俊之、手塚新太、千歳サケのふるさと館 高橋理、恵庭市教育委員会 上屋真一、長町章弘、北広島市教育委員会 遠藤龍畝、札幌市教育委員会 羽賀憲二、伊達市教育委員会 大島直行、帯広百年記念館 山原敏朗、平取町教育委員会 森岡健治、南茅部町教育委員会 阿部千春、北海道大学 林謙作、札幌大学 木村英明、札幌国際大学 長崎潤一、東京大学 宇田川洋、東京都立大学 山田昌久、東北学院大学 佐川正敏、千葉県市川考古博物館 堀越正行、領塚正浩、アジア航測株式会社 宮塚義人、パリノ・サーヴェイ株式会社 辻本崇夫・金井慎司、青森県立郷土館 鈴木克彦
千歳市教育委員会、北広島市教育委員会、渡辺重建工業株式会社、清水・太平共同企業体

記号等の説明

1. 遺構は以下の記号によって表記し、原則として発掘調査順に番号を付した。

M：盛土遺構 MF：盛土遺構中の焼土 H：住居跡 HP：住居跡の付属ピット P：土壇
SP：柱穴状ピット F：焼土 R：流水跡

(L：樽前c火山灰より下層の遺構、U：樽前c火山灰より上層の遺構)

2. 遺構図にはグリッド線に従い、方位記号を付した。真北は南北方向の基線に対して西偏19度3分20秒である。レベルは標高(単位m)を示す。

3. 遺構の規模は、

「確認面での長軸長×短軸長/床(墳底)面での長軸長×短軸長/確認面からの最大深」の順で記した。一部破壊されているものについては現存長を()で、不明のものは(-)で示した。

4. 掲載した実測図等の縮尺は原則的に以下のとおりとし、スケールを付した。また変則的なものについても随時スケールをいれている。

遺構実測図 1：40 土器実測図 1：3 土器拓影図 1：3

剥片石器実測図 1：2 礫石器実測図 1：3 土・石製品 1：2

5. 出土遺物分布図等での表示は、遺物の種類別に以下のシンボルマークで示した。

●：土器 △：剥片石器 ▲：剥片 □：礫石器 ■：礫 ☆と★は骨片

また焼土、炭化物集中についてはその範囲をスクリーントーンで示した。

6. 土層の混合状態を表現するために、以下のように表記している。

A+B：AとBが同量混じる。 A>B：AにBが少量混じる。

A>>B：AにBが微量混じる。 A≐B：AとBはほぼ等しい。

7. 土層の色調には『新版標準土色帖』(小山・竹原1967)を使用し、カラーチャートの番号を付したものがあある。

8. 土層の記述には、下記の記号・略称を用いた場合がある。

Ta-a：樽前a降下軽石堆積物。 Ta-c：樽前c降下軽石堆積物。

B-Tm：白頭山-苦小牧火山灰。 En-a：恵庭a降下軽石堆積物。

En-L：恵庭a降下軽石堆積物起源のローム層。

En-P：恵庭a降下軽石堆積物のうち未風化の軽石礫。

目次

口絵 (カラー写真)

例言

記号等の説明

目次

挿図目次

表目次

図版目次

I 調査の概要	1
1. 調査要項	1
2. 調査体制	1
3. 調査に至る経緯	1
4. 調査結果の概要	4
II 遺跡の立地と周辺の遺跡	9
1. 遺跡の立地と環境	9
2. 周辺の遺跡	9
III 調査の方法	15
1. 発掘区の設定と調査の方法	15
2. 土層の説明	17
3. 遺構・遺物の分類	18
(1) 遺構	18
(2) 遺物	18
i) 土器	18
ii) 石器	19
IV 縄文時代後期の遺構と遺物	23
1. 概要	23
2. 建物跡	23
3. 柱穴状ピット	141
4. 土壇	239
5. 焼土	249
6. 流水跡	260
7. 出土遺物	263
出土遺物の集計一覧表	290
V その他の遺構と遺物	317
1. 概要	317
2. 住居跡	317
3. 土壇	320

4. 焼土	322
5. 流水跡	323
6. 出土遺物	330
出土遺物の集計一覧表	336
VI 自然科学的手法による分析・鑑定	341
1. 放射性炭素年代測定	341
2. キウス4遺跡R地区から出土した縄文時代の植物種子	342
3. 千歳市キウス4遺跡R地区出土動物遺存体	349
付編 フローテーション試料のサンプリングと成果	353
VII まとめ	359
写真図版	371
報告書抄録	

挿図目次

図 I - 1	遺跡の位置	2	図 IV - 37	建物跡48	78
図 I - 2	遺構位置図と最終面地形測量図	5	図 IV - 38	建物跡49・49'	79
図 I - 3	南北メイン(75ライン)セクション図	8	図 IV - 39	建物跡50	80
図 II - 1	遺跡周辺の地形図	10	図 IV - 40	建物跡51・51'	81
図 II - 2	発掘区周辺の地形図	11	図 IV - 41	建物跡52・52'	83
図 II - 3	周辺の遺跡	12	図 IV - 42	建物跡53・53'	84
図 III - 1	発掘区の設定図(下)と平成7・ 8・9・10年度の調査区(上)	15	図 IV - 43	建物跡54	85
図 III - 2	土層模式柱状図	17	図 IV - 44	建物跡55	87
図 III - 3	石器分類模式図 (1)	20	図 IV - 45	建物跡56	88
図 III - 4	石器分類模式図 (2)	21	図 IV - 46	建物跡57・57'	89
図 III - 5	石器分類模式図 (3)	22	図 IV - 47	建物跡58	90
図 IV - 1	建物跡1・2	24	図 IV - 48	建物跡59・59'	91
図 IV - 2	建物跡位置図	25	図 IV - 49	建物跡60	92
図 IV - 3	建物跡3	28	図 IV - 50	建物跡61	93
図 IV - 4	建物跡4・4'	29	図 IV - 51	建物跡62・63・64・65・66	95
図 IV - 5	建物跡5・5'	31	図 IV - 52	建物跡67	97
図 IV - 6	建物跡6・6'・6"・7・7'	34	図 IV - 53	建物跡68	99
図 IV - 7	建物跡8・9	36	図 IV - 54	建物跡69	103
図 IV - 8	建物跡10・10'・11	38	図 IV - 55	建物跡70	105
図 IV - 9	建物跡12・13・14	41	図 IV - 56	建物跡71	107
図 IV - 10	建物跡15	43	図 IV - 57	建物跡72	110
図 IV - 11	建物跡16	44	図 IV - 58	建物跡73・73'	111
図 IV - 12	建物跡17	45	図 IV - 59	建物跡74	115
図 IV - 13	建物跡18・19	47	図 IV - 60	建物跡75	117
図 IV - 14	建物跡20	48	図 IV - 61	建物跡76	119
図 IV - 15	建物跡21・22・23・23'・24	49	図 IV - 62	建物跡77	120
図 IV - 16	建物跡25	51	図 IV - 63	建物跡78・79・80	121
図 IV - 17	建物跡26・26'	52	図 IV - 64	建物跡81	123
図 IV - 18	建物跡27	52	図 IV - 65	建物跡82・82'	124
図 IV - 19	建物跡28・28'	54	図 IV - 66	建物跡83・83'	125
図 IV - 20	建物跡29	55	図 IV - 67	建物跡84・85	126
図 IV - 21	建物跡30・30'	56	図 IV - 68	建物跡86	127
図 IV - 22	建物跡31・32	57	図 IV - 69	建物跡87	128
図 IV - 23	建物跡33・33'	58	図 IV - 70	建物跡88	129
図 IV - 24	建物跡34・34'	59	図 IV - 71	建物跡89	130
図 IV - 25	建物跡35・36	63	図 IV - 72	建物跡90	131
図 IV - 26	建物跡37	64	図 IV - 73	建物跡91	132
図 IV - 27	建物跡38・38'	65	図 IV - 74	建物跡92	133
図 IV - 28	建物跡39・39'	66	図 IV - 75	建物跡93・94	134
図 IV - 29	建物跡40・40'	67	図 IV - 76	建物跡95	136
図 IV - 30	建物跡41	69	図 IV - 77	建物跡96	137
図 IV - 31	建物跡42・42'	71	図 IV - 78	建物跡97	138
図 IV - 32	建物跡43・43'	72	図 IV - 79	建物跡98	138
図 IV - 33	建物跡44	73	図 IV - 80	建物跡99	139
図 IV - 34	建物跡45・45'	74	図 IV - 81	q - 65の柱穴状ピット	142
図 IV - 35	建物跡46・46'	76	図 IV - 82	r - 65の柱穴状ピット	144
図 IV - 36	建物跡47	77	図 IV - 83	s - 65の柱穴状ピット	146
			図 IV - 84	t - 65の柱穴状ピット	148
			図 IV - 85	u - 65の柱穴状ピット	150
			図 IV - 86	v - 65の柱穴状ピット	151
			図 IV - 87	q - 66の柱穴状ピット	152

図IV-88	r-66の柱穴状ピット	154	図IV-139	m-75・n-75の柱穴状ピット	216
図IV-89	s-66の柱穴状ピット	156	図IV-140	o-75の柱穴状ピット	218
図IV-90	t-66の柱穴状ピット	158	図IV-141	p-75の柱穴状ピット	219
図IV-91	u-66の柱穴状ピット	159	図IV-142	q-75の柱穴状ピット	220
図IV-92	v-66の柱穴状ピット	159	図IV-143	r-75の柱穴状ピット	221
図IV-93	q-67の柱穴状ピット	160	図IV-144	s-75の柱穴状ピット	222
図IV-94	r-67の柱穴状ピット	162	図IV-145	t-75・u-75の柱穴状ピット	223
図IV-95	s-67・t-67の柱穴状ピット	164	図IV-146	n-76・o-76の柱穴状ピット	224
図IV-96	u-67・v-67の柱穴状ピット	165	図IV-147	p-76・q-76の柱穴状ピット	225
図IV-97	q-68の柱穴状ピット	166	図IV-148	r-76の柱穴状ピット	226
図IV-98	r-68の柱穴状ピット	168	図IV-149	s-76の柱穴状ピット	227
図IV-99	s-68の柱穴状ピット	170	図IV-150	t-76の柱穴状ピット	228
図IV-100	t-68の柱穴状ピット	171	図IV-151	o-77の柱穴状ピット	228
図IV-101	q-69の柱穴状ピット	172	図IV-152	p-77の柱穴状ピット	229
図IV-102	r-69の柱穴状ピット	172	図IV-153	q-77・r-77の柱穴状ピット	230
図IV-103	s-69の柱穴状ピット	173	図IV-154	o-78・p-78の柱穴状ピット	231
図IV-104	t-69の柱穴状ピット	174	図IV-155	q-78の柱穴状ピット	232
図IV-105	u-69の柱穴状ピット	175	図IV-156	r-78の柱穴状ピット	233
図IV-106	q-70の柱穴状ピット	176	図IV-157	o-79・p-79の柱穴状ピット	234
図IV-107	r-70・s-70の柱穴状ピット	177	図IV-158	q-79の柱穴状ピット	235
図IV-108	t-70の柱穴状ピット	179	図IV-159	r-79・s-79の柱穴状ピット	235
図IV-109	u-70の柱穴状ピット	179	図IV-160	p-80の柱穴状ピット	236
図IV-110	v-70の柱穴状ピット	180	図IV-161	q-80・r-80の柱穴状ピット	237
図IV-111	w-70の柱穴状ピット	180	図IV-162	p-81・q-81の柱穴状ピット	238
図IV-112	x-70・y-70の柱穴状ピット	182	図IV-163	RLP-1	240
図IV-113	q-71の柱穴状ピット	183	図IV-164	RLP-4	241
図IV-114	r-71の柱穴状ピット	184	図IV-165	RLP-5	241
図IV-115	s-71の柱穴状ピット	185	図IV-166	RLP-12	242
図IV-116	t-71の柱穴状ピット	186	図IV-167	RLP-34	243
図IV-117	u-71・v-71の柱穴状ピット	188	図IV-168	RLP-35	244
図IV-118	w-71の柱穴状ピット	189	図IV-169	RLP-36	245
図IV-119	x-71・y-71の柱穴状ピット	190	図IV-170	RLP-37	246
図IV-120	q-72の柱穴状ピット	192	図IV-171	RLP-39	247
図IV-121	r-72の柱穴状ピット	193	図IV-172	RLP-40	247
図IV-122	s-72の柱穴状ピット	194	図IV-173	RLP-51	248
図IV-123	t-72の柱穴状ピット	196	図IV-174	RLP-52	249
図IV-124	u-72の柱穴状ピット	197	図IV-175	焼土位置図(1)	250
図IV-125	v-72の柱穴状ピット	197	図IV-176	焼土位置図(2)と土層図(1)	251
図IV-126	w-72・x-72・x-73の柱穴状ピット	199	図IV-177	焼土位置図(3)	252
図IV-127	q-73の柱穴状ピット	200	図IV-178	焼土位置図(4)と土層図(2)	253
図IV-128	r-73の柱穴状ピット	201	図IV-179	焼土位置図(5)と土層図(3)	254
図IV-129	s-73の柱穴状ピット	203	図IV-180	RLR-2	261
図IV-130	t-73の柱穴状ピット	204	図IV-181	RLR-3	262
図IV-131	u-73の柱穴状ピット	205	図IV-182	柱穴状ピット (RLP) 出土の土器(1)	272
図IV-132	v-73・w-73の柱穴状ピット	206	図IV-183	柱穴状ピット (RLP) 出土の土器(2)	273
図IV-133	q-74の柱穴状ピット	207	図IV-184	柱穴状ピット (RLSP) 出土の土器(1)	274
図IV-134	r-74の柱穴状ピット	208	図IV-185	柱穴状ピット (RLSP) 出土の土器(2)	275
図IV-135	s-74の柱穴状ピット	210	図IV-186	柱穴状ピット (RLP) 出土の石器(1)	276
図IV-136	t-74の柱穴状ピット	212	図IV-187	柱穴状ピット (RLPとRLSP) 出土 の石器(2)	277
図IV-137	u-74の柱穴状ピット	214	図IV-188	柱穴状ピット (RLSP) 出土の石器(3)	278
図IV-138	v-74の柱穴状ピット	215			

図IV-189	柱穴状ピット (RLSP) 出土の石器(4) ……	279
図IV-190	柱穴状ピット (RLPとRLSP) 出土 の石器(5) ……	280
図IV-191	土壌 (RLP) 出土の土器(1) ……	281
図IV-192	土壌 (RLP) 出土の土器(2) ……	282
図IV-193	土壌 (RLP) 出土の石器 ……	283
図IV-194	焼土 (RLF) 出土の土器(1) ……	284
図IV-195	焼土 (RLF) 出土の土器(2) ……	285
図IV-196	焼土 (RLF) 出土の土器(3) ……	286
図IV-197	焼土 (RLF) 出土の石器 ……	286
図IV-198	流水跡 (RLR) 出土の土器(1) ……	287
図IV-199	流水跡 (RLR) 出土の土器(2) ……	288
図IV-200	流水跡 (RLR) 出土の石器 ……	289
図V-1	RLH-1 ……	318
図V-2	RLH-2 ……	319
図V-3	RLP-2 ……	321
図V-4	RLP-3 ……	321
図V-5	焼土位置図 ……	322
図V-6	RUR-1 ……	324
図V-7	RLR-4 ……	325
図V-8	RLR-5・6 ……	326
図V-9	RLR-8・9・10 ……	328
図V-10	RLR-8・10のセクション図 ……	329
図V-11	土壌 (RLP) 出土の遺物 ……	332
図V-12	住居跡 (RLH-1) 出土の遺物(1) ……	332
図V-13	住居跡 (RLH-2) 出土の遺物(2) ……	333
図V-14	流水跡 (RLR) 出土の土器 ……	334
図V-15	流水跡 (RLR) 出土の石器 ……	335
図VI-1	年代測定試料採取位置 ……	341
図VII-1	キウス4遺跡全体略図 ……	359
図VII-2	柱穴状ピット (RLR・RLSP) の 短径長 ……	360
図VII-3	柱穴状ピット (RLP・RLSP) の 墳底レベル ……	360
図VII-4	柱穴状ピット分布図(1) (覆土が褐色土) ……	361
図VII-5	柱穴状ピット分布図(2) (覆土が暗褐色土) ……	362
図VII-6	柱穴状ピット分布図(3) (覆土が黒褐色土) ……	362
図VII-7	柱穴状ピット分布図(4) (覆土が黒色土) ……	362
図VII-8	柱穴状ピット分布図(5) (覆土が暗褐色土>黒褐色土) ……	363
図VII-9	半円状柱穴状ピット列 ……	364
図VII-10	建物跡の長軸方向 ……	365
図VII-11	建物跡分布図(1) ……	366
図VII-12	建物跡分布図(2) ……	366

表目次

表I-1	キウス4遺跡 年度・地区別 調査面積一覧 ……	3
表I-2	遺構一覧 ……	7
表I-3	出土遺物一覧 土器 ……	7
表I-4	出土遺物一覧 石器など ……	7
表II-1	周辺の遺跡一覧 (千歳市) ……	13
表II-2	周辺の遺跡一覧 (長沼町) ……	14
表IV-1	建物跡1・2の柱穴状ピット一覧 ……	27
表IV-2	建物跡3の柱穴状ピット一覧 ……	28
表IV-3	建物跡4・4'の柱穴状ピット一覧 ……	30
表IV-4	建物跡5・5'の柱穴状ピット一覧 ……	33
表IV-5	建物跡6・6'・6''・7・7'の 柱穴状ピット一覧 ……	35
表IV-6	建物跡8・8'の柱穴状ピット一覧 ……	37
表IV-7	建物跡10・10'・11の 柱穴状ピット一覧 ……	39
表IV-8	建物跡12・13・14の 柱穴状ピット一覧 ……	40
表IV-9	建物跡15の柱穴状ピット一覧 ……	44
表IV-10	建物跡16の柱穴状ピット一覧 ……	45
表IV-11	建物跡17の柱穴状ピット一覧 ……	46
表IV-12	建物跡18・19の柱穴状ピット一覧 ……	46
表IV-13	建物跡20の柱穴状ピット一覧 ……	47
表IV-14	建物跡21・22・23・23'・24の 柱穴状ピット一覧 ……	50
表IV-15	建物跡25の柱穴状ピット一覧 ……	50
表IV-16	建物跡26・26'の柱穴状ピット一覧 ……	51
表IV-17	建物跡27の柱穴状ピット一覧 ……	53
表IV-18	建物跡28・28'の柱穴状ピット一覧 ……	53
表IV-19	建物跡29の柱穴状ピット一覧 ……	55
表IV-20	建物跡30・30'の柱穴状ピット一覧 ……	57
表IV-21	建物跡31・32の柱穴状ピット一覧 ……	58
表IV-22	建物跡33・33'の柱穴状ピット一覧 ……	61
表IV-23	建物跡34・34'の柱穴状ピット一覧 ……	62
表IV-24	建物跡35・36の柱穴状ピット一覧 ……	63
表IV-25	建物跡37の柱穴状ピット一覧 ……	64
表IV-26	建物跡38・38'の柱穴状ピット一覧 ……	65
表IV-27	建物跡39・39'の柱穴状ピット一覧 ……	66
表IV-28	建物跡40・40'の柱穴状ピット一覧 ……	68
表IV-29	建物跡41の柱穴状ピット一覧 ……	68
表IV-30	建物跡42・42'の柱穴状ピット一覧 ……	72
表IV-31	建物跡43・43'の柱穴状ピット一覧 ……	73
表IV-32	建物跡44の柱穴状ピット一覧 ……	74
表IV-33	建物跡45・45'の柱穴状ピット一覧 ……	75
表IV-34	建物跡46・46'の柱穴状ピット一覧 ……	76
表IV-35	建物跡47の柱穴状ピット一覧 ……	77
表IV-36	建物跡48の柱穴状ピット一覧 ……	78
表IV-37	建物跡49・49'の柱穴状ピット一覧 ……	80

表IV-38	建物跡50の柱穴状ピット一覧	81	表IV-87	r-66の柱穴状ピット一覧(1)	153
表IV-39	建物跡51・51'の柱穴状ピット一覧	82	表IV-88	r-66の柱穴状ピット一覧(2)	155
表IV-40	建物跡52・52'の柱穴状ピット一覧	82	表IV-89	s-66の柱穴状ピット一覧	157
表IV-41	建物跡53・53'の柱穴状ピット一覧	84	表IV-90	t-66の柱穴状ピット一覧	158
表IV-42	建物跡54の柱穴状ピット一覧	86	表IV-91	u-66の柱穴状ピット一覧	159
表IV-43	建物跡55の柱穴状ピット一覧	86	表IV-92	v-66の柱穴状ピット一覧	161
表IV-44	建物跡56の柱穴状ピット一覧	88	表IV-93	q-67の柱穴状ピット一覧(1)	161
表IV-45	建物跡57・57'の柱穴状ピット一覧	89	表IV-94	q-67の柱穴状ピット一覧(2)	163
表IV-46	建物跡58の柱穴状ピット一覧	90	表IV-95	r-67の柱穴状ピット一覧	163
表IV-47	建物跡59・59'の柱穴状ピット一覧	91	表IV-96	s-67の柱穴状ピット一覧	165
表IV-48	建物跡60の柱穴状ピット一覧	92	表IV-97	t-67の柱穴状ピット一覧	165
表IV-49	建物跡61の柱穴状ピット一覧	93	表IV-98	u-67の柱穴状ピット一覧	167
表IV-50	建物跡62・63・64・65・66 の柱穴状ピット一覧	96	表IV-99	v-67の柱穴状ピット一覧	167
表IV-51	建物跡67の柱穴状ピット一覧	101	表IV-100	q-68の柱穴状ピット一覧	167
表IV-52	建物跡68の柱穴状ピット一覧	101	表IV-101	r-68の柱穴状ピット一覧	169
表IV-53	建物跡69の柱穴状ピット一覧	102	表IV-102	s-68の柱穴状ピット一覧	170
表IV-54	建物跡70の柱穴状ピット一覧	102	表IV-103	t-68の柱穴状ピット一覧	171
表IV-55	建物跡71の柱穴状ピット一覧	109	表IV-104	q-69の柱穴状ピット一覧	171
表IV-56	建物跡72の柱穴状ピット一覧	109	表IV-105	r-69の柱穴状ピット一覧	172
表IV-57	建物跡73・73'の柱穴状ピット一覧	113	表IV-106	s-69の柱穴状ピット一覧	173
表IV-58	建物跡74の柱穴状ピット一覧	114	表IV-107	t-69の柱穴状ピット一覧	174
表IV-59	建物跡75の柱穴状ピット一覧	114	表IV-108	u-69の柱穴状ピット一覧	175
表IV-60	建物跡76の柱穴状ピット一覧	114	表IV-109	q-70の柱穴状ピット一覧(1)	176
表IV-61	建物跡77の柱穴状ピット一覧	120	表IV-110	q-70の柱穴状ピット一覧(2)	178
表IV-62	建物跡78・79・80の 柱穴状ピット一覧	122	表IV-111	r-70の柱穴状ピット一覧	178
表IV-63	建物跡81の柱穴状ピット一覧	122	表IV-112	s-70の柱穴状ピット一覧	178
表IV-64	建物跡82・82'の柱穴状ピット一覧	123	表IV-113	t-70の柱穴状ピット一覧	178
表IV-65	建物跡83・83'の柱穴状ピット一覧	125	表IV-114	u-70の柱穴状ピット一覧	178
表IV-66	建物跡84・85の柱穴状ピット一覧	126	表IV-115	v-69・70の柱穴状ピット一覧	181
表IV-67	建物跡86の柱穴状ピット一覧	127	表IV-116	w-70の柱穴状ピット一覧	181
表IV-68	建物跡87の柱穴状ピット一覧	128	表IV-117	x-70・y-70の 柱穴状ピット一覧	182
表IV-69	建物跡88の柱穴状ピット一覧	128	表IV-118	q-71の柱穴状ピット一覧	183
表IV-70	建物跡89の柱穴状ピット一覧	129	表IV-119	r-71の柱穴状ピット一覧(1)	184
表IV-71	建物跡90の柱穴状ピット一覧	131	表IV-120	r-71の柱穴状ピット一覧(2)	185
表IV-72	建物跡91の柱穴状ピット一覧	132	表IV-121	s-71の柱穴状ピット一覧(1)	185
表IV-73	建物跡92の柱穴状ピット一覧	133	表IV-122	s-71の柱穴状ピット一覧(2)	186
表IV-74	建物跡93・94の柱穴状ピット一覧	135	表IV-123	t-71の柱穴状ピット一覧	187
表IV-75	建物跡95の柱穴状ピット一覧	135	表IV-124	u-71の柱穴状ピット一覧	187
表IV-76	建物跡96の柱穴状ピット一覧	136	表IV-125	v-71の柱穴状ピット一覧	187
表IV-77	建物跡97の柱穴状ピット一覧	137	表IV-126	w-71の柱穴状ピット一覧	189
表IV-78	建物跡98の柱穴状ピット一覧	139	表IV-127	x-71の柱穴状ピット一覧	191
表IV-79	建物跡99の柱穴状ピット一覧	140	表IV-128	y-71の柱穴状ピット一覧	191
表IV-80	q-65の柱穴状ピット一覧	143	表IV-129	q-72の柱穴状ピット一覧	191
表IV-81	r-65の柱穴状ピット一覧	145	表IV-130	r-72の柱穴状ピット一覧(1)	193
表IV-82	s-65の柱穴状ピット一覧	147	表IV-131	r-72の柱穴状ピット一覧(2)	194
表IV-83	t-65の柱穴状ピット一覧	149	表IV-132	s-72の柱穴状ピット一覧	195
表IV-84	u-65の柱穴状ピット一覧	150	表IV-133	t-72の柱穴状ピット一覧	195
表IV-85	v-65の柱穴状ピット一覧	151	表IV-134	u-72の柱穴状ピット一覧	198
表IV-86	q-66の柱穴状ピット一覧	153	表IV-135	v-72の柱穴状ピット一覧	198
			表IV-136	w-72の柱穴状ピット一覧	198

表IV-137	x-72の柱穴状ピット一覧	198	表IV-183	p-80の柱穴状ピット一覧	239
表IV-138	x-73の柱穴状ピット一覧	198	表IV-184	q-80・r-80の 柱穴状ピット一覧	239
表IV-139	q-73の柱穴状ピット一覧(1)	199	表IV-185	p-81・q-81の 柱穴状ピット一覧	239
表IV-140	q-73の柱穴状ピット一覧(2)	200	表IV-186	焼土一覧(1)	255
表IV-141	r-73の柱穴状ピット一覧(1)	201	表IV-187	焼土一覧(2)	256
表IV-142	r-73の柱穴状ピット一覧(2)	202	表IV-188	焼土一覧(3)	257
表IV-143	s-73の柱穴状ピット一覧	202	表IV-189	焼土一覧(4)	258
表IV-144	t-73の柱穴状ピット一覧	204	表IV-190	焼土一覧(5)	259
表IV-145	u-73の柱穴状ピット一覧(1)	205	表IV-191	焼土一覧(6)	260
表IV-146	u-73の柱穴状ピット一覧(2)	206	表IV-192	柱穴状ピット (RLP) 出土 掲載土器一覧(1)	290
表IV-147	v-73の柱穴状ピット一覧	207	表IV-193	柱穴状ピット (RLP) 出土 掲載土器一覧(2)	291
表IV-148	w-73の柱穴状ピット一覧	207	表IV-194	柱穴状ピット (RLSP) 出土 掲載土器一覧(1)	291
表IV-149	q-74の柱穴状ピット一覧	209	表IV-195	柱穴状ピット (RLSP) 出土 掲載土器一覧(2)	292
表IV-150	r-74の柱穴状ピット一覧	209	表IV-196	柱穴状ピット (RLP) 出土 掲載石器一覧(1)	292
表IV-151	s-74の柱穴状ピット一覧	211	表IV-197	柱穴状ピット (RLP) 出土 掲載石器一覧(2)	293
表IV-152	t-74の柱穴状ピット一覧	213	表IV-198	柱穴状ピット (RLSP) 出土 掲載石器一覧	293
表IV-153	u-74の柱穴状ピット一覧(1)	213	表IV-199	土壌 (RLP) 出土掲載土器一覧	294
表IV-154	u-74の柱穴状ピット一覧(2)	214	表IV-200	土壌 (RLP) 出土掲載石器一覧	295
表IV-155	v-74の柱穴状ピット一覧	215	表IV-201	焼土 (RLF) 出土掲載土器一覧(1)	295
表IV-156	m-75・n-75の 柱穴状ピット一覧	217	表IV-202	焼土 (RLF) 出土掲載土器一覧(2)	296
表IV-157	o-75の柱穴状ピット一覧	218	表IV-203	焼土 (RLF) 出土掲載石器一覧	296
表IV-158	p-75の柱穴状ピット一覧	219	表IV-204	流水跡 (RLR) 出土掲載土器一覧(1)	296
表IV-159	q-75の柱穴状ピット一覧	220	表IV-205	流水跡 (RLR) 出土掲載土器一覧(2)	297
表IV-160	r-75の柱穴状ピット一覧	221	表IV-206	流水跡 (RLR) 出土掲載土器一覧(3)	298
表IV-161	s-75の柱穴状ピット一覧	222	表IV-207	流水跡 (RLR) 出土掲載石器一覧	298
表IV-162	t-75の柱穴状ピット一覧	223	表IV-208	遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLP)	299
表IV-163	u-75の柱穴状ピット一覧	223	表IV-209	遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLSP) (1)	300
表IV-164	n-76の柱穴状ピット一覧	224	表IV-210	遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLSP) (2)	301
表IV-165	o-76の柱穴状ピット一覧	224	表IV-211	遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLSP) (3)	302
表IV-166	p-76の柱穴状ピット一覧	225	表IV-212	遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLP) (1)	302
表IV-167	q-76の柱穴状ピット一覧	226	表IV-213	遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLP) (2)	303
表IV-168	r-76の柱穴状ピット一覧(1)	226	表IV-214	遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLSP) (1)	303
表IV-169	r-76の柱穴状ピット一覧(2)	227	表IV-215	遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLSP) (2)	304
表IV-170	s-76の柱穴状ピット一覧(1)	227	表IV-216	遺構別出土土器一覧	
表IV-171	s-76の柱穴状ピット一覧(2)	228			
表IV-172	t-76の柱穴状ピット一覧	228			
表IV-173	o-77の柱穴状ピット一覧	229			
表IV-174	p-77の柱穴状ピット一覧(1)	229			
表IV-175	p-77の柱穴状ピット一覧(2)	230			
表IV-176	q-77・r-77の 柱穴状ピット一覧	230			
表IV-177	o-78・p-78の 柱穴状ピット一覧	231			
表IV-178	q-78の柱穴状ピット一覧	232			
表IV-179	r-78の柱穴状ピット一覧	233			
表IV-180	o-79・p-79の 柱穴状ピット一覧	234			
表IV-181	q-79の柱穴状ピット一覧	236			
表IV-182	r-79・s-79の 柱穴状ピット一覧	236			

	柱穴状ピット (RLSP) (3).....	305
表IV-217	遺構別出土土器一覧 土壌 (RLP) ...	306
表IV-218	遺構別出土土器一覧 焼土 (RLF) ...	306
表IV-219	遺構別出土土器一覧 流水跡 (RLR) ...	306
表IV-220	遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLP) (1)	307
表IV-221	遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLP) (2)	308
表IV-222	遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLSP) (1)	308
表IV-223	遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLSP) (2)	309
表IV-224	遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLSP) (3)	310
表IV-225	遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLSP) (4)	311
表IV-226	遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLP) (1)	311
表IV-227	遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLP) (2)	312
表IV-228	遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLSP) (1)	312
表IV-229	遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLSP) (2)	313
表IV-230	遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLSP) (3)	314
表IV-231	遺構別出土土器一覧 土壌 (RLP) (1) ...	314
表IV-232	遺構別出土土器一覧 土壌 (RLP) (2) ...	315
表IV-233	遺構別出土土器一覧 焼土 (RLF) ...	315
表IV-234	遺構別出土土器一覧 流水跡 (RLR) ...	315
表IV-235	出土土器一覧.....	316
表IV-236	出土土器一覧.....	316
表V-1	焼土一覧	323
表V-2	住居跡 (RLH) 出土掲載土器一覧.....	336
表V-3	住居跡 (RLH) 出土掲載土器一覧.....	336
表V-4	土壌 (RLP) 出土掲載土器一覧	336
表V-5	土壌 (RLP) 出土掲載土器一覧	336
表V-6	流水跡 (RLR) 出土掲載土器一覧	337
表V-7	流水跡 (RLR) 出土掲載土器一覧	337
表V-8	遺構別出土土器一覧 住居跡 (RLH) ...	338
表V-9	遺構別出土土器一覧 土壌 (RLP)	338
表V-10	遺構別出土土器一覧 流水跡 (RLR) ...	338
表V-11	遺構別出土土器一覧 住居跡 (RLH) ...	339
表V-12	遺構別出土土器一覧 土壌 (RLP)	339
表V-13	遺構別出土土器一覧 焼土 (RLF)	339
表V-14	遺構別出土土器一覧 流水跡 (RLR) ...	339
表V-15	出土土器一覧	340
表V-16	出土土器一覧	340
表VI-1	キウス4遺跡R地区出土炭化種子	346
表VI-2	千歳市キウス4遺跡 R地区出土動物依存体(1)	351

表VI-3	千歳市キウス4遺跡 R地区出土動物依存体(2)	352
表VI-4	フローテーション試料一覧(1)	353
表VI-5	フローテーション試料一覧(2)	354
表VI-6	フローテーション試料一覧(3)	355
表VI-7	フローテーション試料一覧(4)	356
表VI-8	フローテーション試料一覧(5)	357
表VI-9	フローテーション試料一覧(6)	358
表VII-1	建物跡の分類	364
表VII-2	覆土の違いによる建物跡の分類	367

写真図版目次

図版VI-1	キウス4遺跡R地区出土炭化種子(1) ...	347
図版VI-2	キウス4遺跡R地区出土炭化種子(2) ...	348
図版1	全景	371
	1. V層上面全景 (W→E)	
	2. Vb層上面全景 (W→E)	
	3. Vb層下位(白粘土層上面) 全景 (W→E)	
図版2	全景	372
	4. Vc層上面全景 (W→E)	
	5. VI・VII層上面全景 (W→E)	
	6. 完掘全景 (W→E)	
図版3	メインセクション	373
	7. 南北(75ライン) メインセクション (E→W)	
	8. 南北(85ライン) メインセクション (E→W)	
	9. 南北(75ライン) メインセクション (SE→NW)	
	10. 南北(85ライン) メインセクション (E→W)	
	11. 南壁(x-65付近) セクション (N→S)	
図版4	調査状況	374
	12. 建物跡1・2完掘風景 (E→W)	
	13. 調査風景 (W→E)	
	14. RLSP-1072(下)・1073(上) (E→W)	
	15. RLSP-1373(右)・1374(左) セクション (S→N)	
	16. RLSP-1375(右)・1376(左) セクション (NE→SW)	
図版5	調査状況	375
	17. 建物跡3完掘風景 (E→W)	
	18. RLSP-1017セクション (E→W)	
	19. RLSP-1018セクション (E→W)	
	20. RLSP-1047(左)・1048(右) (E→W)	
	21. RLSP-1029セクション (E→W)	
	22. RLSP-1027セクション (S→N)	
	23. RLSP-1020セクション (S→N)	
図版6	住居跡の調査	376
	24. RLH-1完掘風景 (E→W)	
	25. RLH-1南北セクション (E→W)	
	26. RLH-2 HP-1完掘 (SE→NW)	
	27. RLH-2 HP-1セクション (S→N)	

図版7 住居跡の調査377

- 28. RLH-2 HP-2 セクション (NW→SE)
- 29. RLH-2 HP-4 (左)・5 (右)
セクション (S→N)
- 30. RLH-2 HP-9 セクション (S→N)
- 31. RLH-2 完掘風景 (S→N)
- 32. RLH-2 東西セクション (S→N)
- 33. RLH-2 南北セクション (W→E)

図版8 土壌の調査(1)378

- 34. RLP-1 完掘 (W→E)
- 35. RLP-1 セクション (SW→NE)
- 36. RLP-2 完掘 (S→N)
- 37. RLP-2 セクション (S→N)
- 38. RLP-3 完掘 (SE→NW)
- 39. RLP-3 セクション (S→N)
- 40. RLP-4 完掘 (E→W)

図版9 土壌の調査(2)379

- 41. RLP-5 完掘 (S→N)
- 42. RLP-5 セクション (S→N)
- 43. RLP-12 完掘 (SE→NW)
- 44. RLP-12 セクション (S→N)
- 45. RLP-34 完掘 (S→N)
- 46. RLP-34 セクション (S→N)
- 47. RLP-35 完掘 (S→N)
- 48. RLP-35 セクション (E→W)
- 49. RLP-36 完掘 (SE→NW)
- 50. RLP-36 セクション (S→N)

図版10 土壌の調査(3)380

- 51. RLP-37 完掘 (S→N)
- 52. RLP-37 セクション (S→N)
- 53. RLP-38 完掘 (SE→NW)
- 54. RLP-38 セクション (W→E)
- 55. RLP-39 完掘 (SE→NW)
- 56. RLP-39 セクション (S→N)
- 57. RLP-51 完掘 (N→S)
- 58. RLP-51 セクション (W→E)
- 59. RLP-52 セクション (N→S)
- 60. RLP-52 セクション (W→E)

図版11 焼土の調査381

- 61. Vb層上面焼土検出風景 (S→N)
- 62. RLF-200 検出風景 (SE→NW)
- 63. RLP36-F1 検出風景 (SE→NW)
- 64. RLF-256 (手前)・257・258 (奥)
検出風景 (W→E)
- 65. RLF-264 セクション (S→N)
- 66. Vb層中検出焼土の調査風景 (SW→NE)
- 67. Vb層中焼土検出状況 (SW→NE)

図版12 流水跡の調査(1)382

- 68. RUR-1 検出状況 (W→E)
- 69. RUR-1 完掘風景 (W→E)
- 70. RUR-1 セクション (x-79 E→W)

- 71. RUR-1 セクション (w-80 E→W)

- 72. RLR-2 完掘風景 (E→W)

- 73. RLR-2 セクション (W→E)

- 74. RLR-3 セクション (E→W)

- 75. RLR-3 作業風景 (SE→NW)

- 76. RLR-3 作業風景 (W→E)

図版13 流水跡の調査(2)383

- 77. RLR-3 完掘 (SW→NE)

- 78. RLR-4 検出状況 (SW→NE)

- 79. RLR-4 完掘風景 (NW→SE)

- 80. RLR-5 完掘風景 (SW→NE)

- 81. RLR-8・9 完掘風景 (W→E)

- 82. RLR-8 遺物出土状況 (N→S)

- 83. RLR-8 セクション (SW→NE)

- 84. RLR-10 完掘風景 (NW→SE)

図版14 柱穴状ピットの完掘風景384

- 85. 柱穴群完掘風景 (S→N)

- 86. 柱穴群完掘風景 (r-67ほか W→E)

- 87. 柱穴群完掘風景 (s-74ほか SE→NW)

- 88. 柱穴群完掘風景 (p-78ほか N→S)

- 89. 柱穴群完掘風景 (r-65ほか N→S)

図版15 柱穴状ピットの調査(1)385

- 90. 柱穴群完掘風景 (q-66ほか E→W)

- 91. 柱穴群完掘風景 (q-68ほか N→S)

- 92. 柱穴群完掘風景 (r-67ほか N→S)

- 93. 柱穴群完掘風景 (n-75ほか S→N)

- 94. 作業風景 (W→E)

- 95. 作業風景 (SW→NE)

- 96. 作業風景 (NE→SW)

図版16 柱穴状ピット (RLP) の調査(2)386

- 97. RLP-7 完掘 (E→W)

- 98. RLP-7 セクション (E→W)

- 99. RLP-10 完掘 (W→E)

- 100. RLP-10 セクション (N→S)

- 101. RLP-11 (上)・24 (下) 完掘 (E→W)

- 102. RLP-11 セクション (W→E)

- 103. RLP-13 (上)・26 (下) 完掘 (W→E)

- 104. RLP-13 セクション (E→W)

図版17 柱穴状ピット (RLP) の調査(3)387

- 105. RLP-13 遺物出土状況 (NW→SE)

- 106. RLP-14 完掘 (S→N)

- 107. RLP-14・15 セクション (W→E)

- 108. RLP-16 完掘 (S→N)

- 109. RLP-16 セクション (S→N)

- 110. RLP-18 完掘 (S→N)

- 111. RLP-18 セクション (NW→SE)

- 112. RLP-19 完掘 (N→S)

- 113. RLP-19 セクション (N→S)

図版18 柱穴状ピット (RLP) の調査(4)388

- 114. RLP-20 完掘 (S→N)

- 115. RLP-20 セクション (SW→NE)

116. RLP-23完掘 (N→S)
 117. RLP-23セクション (S→N)
 118. RLP-25完掘 (N→S)
 119. RLP-25・RLF-248
 セクション (E→W)
 120. RLP-27完掘 (S→N)
 121. RLP-27セクション (E→W)
- 図版19 柱穴状ピット (RLP) の調査(5)389
 122. RLP-28完掘 (S→N)
 123. RLP-28セクション (W→E)
 124. RLP-41完掘 (S→N)
 125. RLP-42セクション (W→E)
 126. RLP-43完掘 (S→N)
 127. RLP-43セクション (S→N)
 128. RLP-44セクション (NW→SE)
 129. RLP-45セクション (NW→SE)
- 図版20 柱穴状ピット (RLP・RLSP) の
 セクション(1)390
 130. RLP-47完掘 (S→N)
 131. RLP-49セクション (S→N)
 132. RLSP-152・36セクション (S→N)
 133. RLSP-586セクション (S→N)
 134. RLSP-615セクション (NE→SW)
 135. RLSP-1190セクション (W→E)
 136. RLSP-1190完掘 (NW→SE)
 137. RLP-9セクション (N→S)
- 図版21 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(2) ...391
 138. RLSP-1 (S→N)
 139. RLSP-2 (S→N)
 140. RLSP-3 (S→N)
 141. RLSP-4 (S→N)
 142. RLSP-5 (S→N)
 143. RLSP-7 (SW→NE)
 144. RLSP-9 (SW→NE)
 145. RLSP-11 (S→N)
 146. RLSP-12 (S→N)
 147. RLSP-13 (S→N)
 148. RLSP-15 (N→S)
 149. RLSP-16 (S→N)
 150. RLSP-17 (S→N)
 151. RLSP-18 (右)・416 (N→S)
 152. RLSP-19 (S→N)
 153. RLSP-20 (N→S)
 154. RLSP-24 (SW→NE)
 155. RLSP-25 (S→N)
- 図版22 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(3) ...392
 156. RLSP-27 (S→N)
 157. RLSP-29 (左)・30 (右) (SW→NE)
 158. RLSP-33 (SW→NE)
 159. RLSP-39 (S→N)
 160. RLSP-40 (W→E)
161. RLSP-42 (W→E)
 162. RLSP-45 (S→N)
 163. RLSP-46 (S→N)
 164. RLSP-47 (W→E)
 165. RLSP-48 (S→N)
 166. RLSP-50 (E→W)
 167. RLSP-55 (S→N)
 168. RLSP-56 (SE→NW)
 169. RLSP-58 (S→N)
 170. RLSP-61 (SE→NW)
 171. RLSP-69 (S→N)
 172. RLSP-72 (E→W)
 173. RLSP-80 (左)・81 (右) (S→N)
- 図版23 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(4) ...393
 174. RLSP-83 (S→N)
 175. RLSP-91 (S→N)
 176. RLSP-93 (左)・94 (右) (E→W)
 177. RLSP-98 (NW→SE)
 178. RLSP-101 (SW→NE)
 179. RLSP-105 (E→W)
 180. RLSP-108 (E→W)
 181. RLSP-113 (S→N)
 182. RLSP-114 (S→N)
 183. RLSP-115 (S→N)
 184. RLSP-116 (左)・155 (W→E)
 185. RLSP-117 (左)・118 (S→N)
 186. RLSP-118出土の漆膜 (SE→NW)
 187. RLSP-120 (N→S)
 188. RLSP-125 (N→S)
 189. RLSP-126・127 (左) (N→S)
 190. RLSP-131 (E→W)
 191. RLSP-133 (N→S)
- 図版24 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(5) ...394
 192. RLSP-144 (E→W)
 193. RLSP-145 (E→W)
 194. RLSP-153 (SW→NE)
 195. RLSP-156 (SW→NE)
 196. RLSP-158 (W→E)
 197. RLSP-159 (SW→NE)
 198. RLSP-168 (W→E)
 199. RLSP-175 (W→E)
 200. RLSP-176 (S→N)
 201. RLSP-180 (S→N)
 202. RLSP-184 (SW→NE)
 203. RLSP-185 (SE→NW)
 204. RLSP-186 (NW→SE)
 205. RLSP-189 (S→N)
 206. RLSP-190 (S→N)
 207. RLSP-193 (S→N)
 208. RLSP-196 (SW→NE)
 209. RLSP-302・204 (左) (N→S)

図版25 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(6) …395

- 210. RLSP-207 (S→N)
- 211. RLSP-213 (S→N)
- 212. RLSP-218 (S→N)
- 213. RLSP-223 (左)・225
227 (S→N)
- 214. RLSP-224 (S→N)
- 215. RLSP-228 (S→N)
- 216. RLSP-229 (N→S)
- 217. RLSP-230・231 (左) (S→N)
- 218. RLSP-235 (左)・237 (N→S)
- 219. RLSP-245 (SE→NW)
- 220. RLSP-247 (N→S)
- 221. RLSP-248 (右)・249 (S→N)
- 222. RLSP-264 (右)・265・266 (S→N)
- 223. RLSP-280 (S→N)
- 224. RLSP-283 (SW→NE)
- 225. RLSP-287 (SW→NE)
- 226. RLSP-303 (S→N)
- 227. RLSP-305 (W→E)

図版26 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(7) …396

- 228. RLSP-314 (W→E)
- 229. RLSP-315 (SW→NE)
- 230. RLSP-321 (SE→NW)
- 231. RLSP-331 (N→S)
- 232. RLSP-332 (左)・335 (S→N)
- 233. RLSP-333 (E→W)
- 234. RLSP-337 (S→N)
- 235. RLSP-339 (W→E)
- 236. RLSP-342 (NW→SE)
- 237. RLSP-357 (S→N)
- 238. RLSP-392 (NE→SW)
- 239. RLSP-393 (NE→SW)
- 240. RLSP-400 (NW→SE)
- 241. RLSP-412 (S→N)
- 242. RLSP-421 (S→N)
- 243. RLSP-422 (SW→NE)
- 244. RLSP-430 (SE→NW)
- 245. RLSP-431 (SE→NW)

図版27 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(8) …397

- 246. RLSP-439 (S→N)
- 247. RLSP-446 (W→E)
- 248. RLSP-447 (W→E)
- 249. RLSP-448 (NW→SE)
- 250. RLSP-450 (NW→SE)
- 251. RLSP-455 (N→S)
- 252. RLSP-461 (E→W)
- 253. RLSP-473 (W→E)
- 254. RLSP-474 (N→S)
- 255. RLSP-478 (E→W)
- 256. RLSP-481 (S→N)

- 257. RLSP-484 (W→E)
- 258. RLSP-487 (SE→NW)
- 259. RLSP-488 (NW→SE)
- 260. RLSP-495 (NW→SE)
- 261. RLSP-499 (S→N)
- 262. RLSP-500 (左)・501 (N→S)
- 263. RLSP-502 (N→S)

図版28 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(9) …398

- 264. RLSP-510 (S→N)
- 265. RLSP-511 (S→N)
- 266. RLSP-514 (S→N)
- 267. RLSP-516 (S→N)
- 268. RLSP-527 (SW→NE)
- 269. RLSP-535 (S→N)
- 270. RLSP-540 (E→W)
- 271. RLSP-546 (E→W)
- 272. RLSP-553 (E→W)
- 273. RLSP-555 (S→N)
- 274. RLSP-556 (S→N)
- 275. RLSP-558 (S→N)
- 276. RLSP-559 (N→S)
- 277. RLSP-560 (N→S)
- 278. RLSP-563 (N→S)
- 279. RLSP-566 (W→E)
- 280. RLSP-567 (SW→NE)
- 281. RLSP-568 (SE→NW)

図版29 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(10) …399

- 282. RLSP-570 (SW→NE)
- 283. RLSP-575 (E→W)
- 284. RLSP-580 (E→W)
- 285. RLSP-587 (S→N)
- 286. RLSP-597 (E→W)
- 287. RLSP-600 (SE→NW)
- 288. RLSP-602 (E→W)
- 289. RLSP-616 (E→W)
- 290. RLSP-627 (S→N)
- 291. RLSP-631 (E→W)
- 292. RLSP-639 (W→E)
- 293. RLSP-644 (S→N)
- 294. RLSP-649・657 (右) (N→S)
- 295. RLSP-656 (S→N)
- 296. RLSP-664 (NW→SE)
- 297. RLSP-669 (N→S)
- 298. RLSP-670 (W→E)
- 299. RLSP-680 (S→N)

図版30 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(11) …400

- 300. RLSP-689 (W→E)
- 301. RLSP-693 (N→S)
- 302. RLSP-694 (E→W)
- 303. RLSP-697 (W→E)
- 304. RLSP-698 (NW→SE)

- 305. RLSP-720 (N→S)
- 306. RLSP-721 (E→W)
- 307. RLSP-729 (NW→SE)
- 308. RLSP-730 (NW→SE)
- 309. RLSP-733 (W→E)
- 310. RLSP-736 (E→W)
- 311. RLSP-781 (E→W)
- 312. RLSP-784 (E→W)
- 313. RLSP-797 (W→E)
- 314. RLSP-805 (SW→NE)
- 315. RLSP-812 (NE→SW)
- 316. RLSP-814 (E→W)
- 317. RLSP-815 (E→W)
- 図版31 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(12) …401
- 318. RLSP-821 (S→N)
- 319. RLSP-822 (SE→NW)
- 320. RLSP-823 (SW→NE)
- 321. RLSP-825 (S→N)
- 322. RLSP-826 (S→N)
- 323. RLSP-827 (左)・828 (SE→NW)
- 324. RLSP-831 (E→W)
- 325. RLSP-834 (S→N)
- 326. RLSP-836 (S→N)
- 327. RLSP-837 (S→N)
- 328. RLSP-845 (NE→SW)
- 329. RLSP-862 (S→N)
- 330. RLSP-864 (SW→NE)
- 331. RLSP-865 (SW→NE)
- 332. RLSP-867 (E→W)
- 333. RLSP-881 (S→N)
- 334. RLSP-884 (E→W)
- 335. RLSP-886 (E→W)
- 図版32 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(13) …402
- 336. RLSP-916 (S→N)
- 337. RLSP-932 (W→E)
- 338. RLSP-935 (W→E)
- 339. RLSP-943 (W→E)
- 340. RLSP-945 (S→N)
- 341. RLSP-957 (E→W)
- 342. RLSP-960 (E→W)
- 343. RLSP-981 (W→E)
- 344. RLSP-982 (NE→SW)
- 345. RLSP-983 (N→S)
- 346. RLSP-991 (W→E)
- 347. RLSP-994 (W→E)
- 348. RLSP-995 (S→N)
- 349. RLSP-1002 (S→N)
- 350. RLSP-1006 (E→W)
- 351. RLSP-1019 (S→N)
- 352. RLSP-1023 (N→S)
- 353. RLSP-1033 (手前)・1034 (S→N)

- 図版33 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(14) …403
- 354. RLSP-1049 (S→N)
- 355. RLSP-1094 (E→W)
- 356. RLSP-1101 (S→N)
- 357. RLSP-1105 (S→N)
- 358. RLSP-1125 (N→S)
- 359. RLSP-1131 (N→S)
- 360. RLSP-1151 (E→W)
- 361. RLSP-1162 (E→W)
- 362. RLSP-1163 (N→S)
- 363. RLSP-1166 (E→W)
- 364. RLSP-1170 (N→S)
- 365. RLSP-1174 (E→W)
- 366. RLSP-1182 (E→W)
- 367. RLSP-1189 (E→W)
- 368. RLSP-1265 (E→W)
- 369. RLSP-1276 (E→W)
- 370. RLSP-1280 (SE→NW)
- 371. RLSP-1289 (W→E)
- 図版34 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(15) …404
- 372. RLSP-1293 (W→E)
- 373. RLSP-1294 (NE→SW)
- 374. RLSP-1295 (SE→NW)
- 375. RLSP-1323 (SE→NW)
- 376. RLSP-1327 (右)・1328 (E→W)
- 377. RLSP-1340 (SE→NW)
- 378. RLSP-1350 (右)・1356 (S→N)
- 379. RLSP-1353 (SW→NE)
- 380. RLSP-1368 (E→W)
- 381. RLSP-1398 (S→N)
- 382. RLSP-1401 (N→S)
- 383. RLSP-1435 (W→E)
- 384. RLSP-1436 (W→E)
- 385. RLSP-1438 (N→S)
- 386. RLSP-1462 (W→E)
- 387. RLSP-1463・1464 (右) (W→E)
- 388. RLSP-1489・1490 (右) (E→W)
- 389. RLSP-1498 (W→E)
- 図版35 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(16)と
完掘(1) ……………405
- 390. RLSP-1529 (W→E)
- 391. RLSP-1550 (W→E)
- 392. RLSP-1602 (NE→SW)
- 393. RLSP-1759 (S→N)
- 394. RLSP-1 (左上)・6 (S→N)
- 395. RLSP-2 (S→N)
- 396. RLSP-3 (S→N)
- 397. RLSP-4 (S→N)
- 398. RLSP-5 (S→N)
- 399. RLSP-7 (中)・8 (左)・9 (S→N)
- 400. RLSP-11・12 (左)・32 (NE→SW)

- 401. RLSP-13・14の検出 (NE→SW)
- 402. RLSP-13 (S→N)
- 403. RLSP-15 (左上)・16 (SW→NE)
- 404. RLSP-17周辺の検出 (SW→NE)
- 405. RLSP-17・18周辺 (SE→NW)
- 図版36 柱穴状ピット (RLSP) の完掘(2)406
- 406. RLSP-24 (S→N)
- 407. RLSP-25 (SW→NE)
- 408. RLSP-27 (SW→NE)
- 409. RLSP-29 (左)・151 (SW→NE)
- 410. RLSP-33 (SE→NW)
- 411. RLSP-39 (S→N)
- 412. RLSP-42 (W→E)
- 413. RLSP-45 (S→N)
- 414. RLSP-46 (S→N)
- 415. RLSP-48 (S→N)
- 416. RLSP-55 (S→N)
- 417. RLSP-56 (S→N)
- 418. RLSP-58 (S→N)
- 419. RLSP-61 (右)・62 (中)
63 (SW→NE)
- 420. RLSP-69 (S→N)
- 421. RLSP-72 (E→W)
- 422. RLSP-83 (NE→SW)
- 423. RLSP-91 (S→N)
- 図版37 柱穴状ピット (RLSP) の完掘(3)407
- 424. RLSP-93 (右)・94 (W→E)
- 425. RLSP-95 (左)・96・
140 (中) (W→E)
- 426. RLSP-101 (左)・104 (SE→NW)
- 427. RLSP-113・114 (左下) (SW→NE)
- 428. RLSP-115 (W→E)
- 429. RLSP-118 (W→E)
- 430. RLSP-120 (左上)・121 (E→W)
- 431. RLSP-126周辺 (SW→NE)
- 432. RLSP-131 (W→E)
- 433. RLSP-133 (W→E)
- 434. RLSP-135 (W→E)
- 435. RLSP-145 (NW→SE)
- 436. RLSP-158 (E→W)
- 437. RLSP-159 (S→N)
- 438. RLSP-160 (E→W)
- 439. RLSP-176 (E→W)
- 440. RLSP-180 (SE→NW)
- 442. RLSP-218 (S→N)
- 図版38 柱穴状ピット (RLSP) の完掘(4)408
- 441. RLSP-184・185 (左) (SE→NW)
- 443. RLSP-281 (W→E)
- 444. RLSP-283 (W→E)
- 445. RLSP-289周辺 (S→N)
- 446. RLSP-303 (SW→NE)
- 447. RLSP-305 (W→E)
- 448. RLSP-314 (S→N)
- 449. RLSP-315 (W→E)
- 450. RLSP-331 (E→W)
- 451. RLSP-333 (SE→NW)
- 452. RLSP-337 (右上)・338 (S→N)
- 453. RLSP-339 (S→N)
- 454. RLSP-421 (S→N)
- 455. RLSP-439 (S→N)
- 456. RLSP-440 (SE→NW)
- 457. RLSP-443 (E→W)
- 458. RLSP-446 (E→W)
- 図版39 柱穴状ピット (RLSP) の完掘(5)409
- 459. RLSP-448周辺 (SW→NE)
- 460. RLSP-473 (S→N)
- 461. RLSP-474 (S→N)
- 462. RLSP-481 (S→N)
- 463. RLSP-488 (S→N)
- 464. RLSP-516 (S→N)
- 465. RLSP-527 (S→N)
- 466. RLSP-535 (S→N)
- 467. RLSP-546 (S→N)
- 468. RLSP-555 (S→N)
- 469. RLSP-556 (S→N)
- 470. RLSP-558 (SE→NW)
- 471. RLSP-559 (SE→NW)
- 472. RLSP-560 (W→E)
- 473. RLSP-568 (S→N)
- 474. RLSP-570 (S→N)
- 475. RLSP-571 (S→N)
- 476. RLSP-574 (SW→NE)
- 図版40 柱穴状ピット (RLSP) の完掘(6)410
- 477. RLSP-602周辺 (S→N)
- 478. RLSP-616 (S→N)
- 479. RLSP-627 (S→N)
- 480. RLSP-636 (SE→NW)
- 481. RLSP-656 (NE→SW)
- 482. RLSP-669 (W→E)
- 483. RLSP-670 (W→E)
- 484. RLSP-719 (W→E)
- 485. RLSP-721 (NE→SW)
- 486. RLSP-729 (W→E)
- 487. RLSP-730 (E→W)
- 488. RLSP-733 (W→E)
- 489. RLSP-736 (E→W)
- 490. RLSP-781 (E→W)
- 491. RLSP-825 (左)・826 (NE→SW)
- 492. RLSP-834 (NW→SE)
- 493. RLSP-876 (N→S)
- 494. RLSP-881 (NW→SE)
- 図版41 柱穴状ピット (RLSP) の完掘(7)411

495. RLSP-892 (NE→SW)	
496. RLSP-916 (E→W)	
497. RLSP-1003・1005 (S→N)	
498. RLSP-1150 (S→N)	
499. RLSP-1151 (S→N)	
500. RLSP-1162 (E→W)	
501. RLSP-1163 (E→W)	
502. RLSP-1165 (NW→SE)	
503. RLSP-1173 (左)・1174 (W→E)	
504. RLSP-1189 (NW→SE)	
505. RLSP-1196 (NE→SW)	
506. RLSP-1261周辺 (SE→NW)	
507. RLSP-1261 (S→N)	
508. RLSP-1273 (S→N)	
509. RLSP-1276 (SE→NW)	
510. RLSP-1280 (E→W)	
511. RLSP-1288 (N→S)	
512. RLSP-1289 (NE→SW)	
図版42 柱穴状ピット (RLSP) の完掘(8) ……………	412
513. RLSP-1295 (E→W)	
514. RLSP-1309 (N→S)	
515. RLSP-1316 (NW→SE)	
516. RLSP-1323 (E→W)	
517. RLSP-1340 (N→S)	
518. RLSP-1341 (N→S)	
519. RLSP-1349 (左)・1320 (NW→SE)	
520. RLSP-1395 (S→N)	
図版43 土器(1)	
柱穴状ピット (RLP) 出土の土器(1) ……………	413
図版44 土器(2)	
柱穴状ピット (RLP) 出土の土器(2) ……………	414
図版45 土器(3)	
柱穴状ピット (RLSP) 出土の土器(1) ……………	415
図版46 土器(4)	
柱穴状ピット (RSLP) 出土の土器(2) ……………	416
図版47 石器(1)	
柱穴状ピット (RLP) 出土の石器 ……………	417
図版48 石器(2)	
柱穴状ピット (RLSP) 出土の石器(1) ……………	418
図版49 石器(3)	
柱穴状ピット (RLSP) 出土の石器(2) ……………	419
図版50 土器(5)	
土壇 (RLP) 出土の土器 ……………	420
図版51 土器(6)	
焼土 (RLF) 出土の土器(1) ……………	421
図版52 土器(7)	
焼土 (RLF) 出土の土器(2) ……………	422
図版53 土器と石器(1)	
焼土 (RLF) 出土の土器(3)	
土壇 (RLF) 出土の石器	
焼土 (RLF) 出土の石器と石製品 ……………	423
図版54 土器(8)	
流水跡 (RLR-3) 出土の土器(1) ……………	424
図版55 土器(9)	
流水跡 (RLR-3) 出土の土器(2) ……………	425
図版56 土器と石器(2)	
流水跡 (RLR-3) 出土の土器(3)	
流水跡 (RLR) 出土の石器 ……………	426
図版57 土器と石器(3)	
RLP-2 出土の土器	
RLP-2 出土の石器	
住居跡 (RLH-1) 出土の土器	
住居跡 (RLH-1) 出土の石器 ……………	427
図版58 土器と石器(4)	
住居跡 (RLH-2) 出土の土器	
住居跡 (RLH-2) 出土の石器 ……………	428
図版59 土器(10)	
流水跡 (RLR-5・8・10) 出土の土器 ……………	429
図版60 石器(4)	
流水跡 (RLR) 出土の石器と石製品 ……………	430

I 調査の概要

1. 調査要項

事業名：北海道横断自動車道（千歳～夕張）埋蔵文化財発掘調査
 委託者：日本道路公団北海道支社
 受託者：財団法人 北海道埋蔵文化財センター
 遺跡名：キウス4遺跡（北海道教育委員会登録番号A-03-92）
 所在地：千歳市中央208-16ほか
 調査面積：4,240㎡
 調査期間：平成10年5月6日～平成11年3月31日（現地調査5月6日～11月11日）
 整理期間：平成11年4月1日～平成12年3月31日

2. 調査体制

平成10年度

理事長	伊藤一夫（平成10年5月31日まで）	第2調査部長	鬼柳 彰
理事長	大澤 満（平成10年6月8日から）	第3調査課長	佐川俊一（発掘担当者）
専務理事	佐藤哲人	主 査	和泉田毅（発掘担当者）
常務理事	柴田忠昭	主 任	藤井 浩
常務理事	木村尚俊（非常勤）	主 任	玉邑肇章
業務部長	中田 仁	文化財保護主事	阿部明義
		文化財保護主事	山中文雄

平成11年度

理事長	大澤 満	第2調査部長	鬼柳 彰
専務理事	佐藤哲人（平成11年5月31日まで）	第4調査課長	佐川俊一
専務理事	宮崎 勝（平成11年6月1日から）	主 査	和泉田毅
常務理事	木村尚俊（平成11年8月16日から）	文化財保護主事	阿部明義
総務部長	中田 仁	第1調査課長	種市幸生
		主 任	藤井 浩
		文化財保護主事	中山昭大
		文化財保護主事	山中文雄

3. 調査に至る経緯

北海道横断自動車道は、黒松内町を基点として小樽、札幌、千歳、夕張、帯広を経て網走、根室に至る約666kmが予定され、昭和47（1972）年、国土開発幹線自動車道建設審議会により基本計画が決定した。昭和61（1986）年、整備計画が決定し日本道路公団に対し施行に必要な調査の指示があった。昭和62（1987）年に日本道路公団（以下、道路公団という）札幌建設局から北海道教育委員会に北海道横断自動車道（千歳～夕張間）建設について埋蔵文化財保護のための事前協議書が提出された。北海道教育委員会（以下、道教委という）は昭和63（1988）年に千歳～夕張間の全線を対象とした所在確認調査を実施し、19ヵ所の埋蔵文化財包蔵地の所在が確認されたため、範囲確認調査が必要との回



図 I-1 遺跡の位置 (国土地理院発行 5万分の1地形図「恵庭」「千歳」を用いて作成したものである。)

答を出した。平成3（1991）年、道路公団が用地を決定したのに伴い、道教委は範囲確認調査を実施した。この結果工事計画の変更が不可能であることから、記録保存のための発掘調査を必要とする埋蔵文化財包蔵地20ヵ所（千歳市11ヵ所、恵庭市3ヵ所、由仁町3ヵ所、夕張市3ヵ所）が明らかとなり、当センターで実施することとなった（図I-1、図II-3、表II-1）。

北海道横断自動車道は、平成10年2月現在、小樽一札幌ジャンクション(30.3km)、道東の清水一池田間(50.7km)が供用され、千歳一夕張間(42.3km)は工事区間となった。この千歳一夕張間のルートは、道央自動車道の千歳ジャンクションから分岐して恵庭市内の国道36号線、JR千歳線を横断し、千歳市内に入り千歳川を渡り、馬追丘陵を越え、胆振管内追分町、空知管内由仁町、栗山町を経て夕張市に至る42.3kmである。

財団法人北海道埋蔵文化財センターによる北海道横断自動車道（千歳一夕張）建設工事に伴う発掘調査は、平成5（1993）年度の千歳市オサツトー1遺跡、キウス7遺跡で始まった。翌平成6（1994）年度はキウス5遺跡、キウス7遺跡、ケネフチ8遺跡、平成7（1995）年度はキウス5遺跡、キウス7遺跡、キウス4遺跡、平成8（1996）年度はキウス4遺跡、キウス5遺跡、キウス7遺跡、ユカンボシC15遺跡、恵庭市ユカンボシE7遺跡の調査を行ってきた。平成9（1997）年度は前年度と同じ遺跡のほかに、恵庭市ユカンボシE10遺跡の調査を行い、平成10年度にはキウス4遺跡、キウス5遺跡、キウス7遺跡とユカンボシC15遺跡の現地調査を行って、千歳一夕張間の横断道関係の発掘調査を終了した。

キウス4遺跡は、平成3年度から同8年度にかけての道教委による範囲確認調査、平成5年7・10月に全域の詳細試掘調査（トレンチ調査による分布調査）が行われた。その結果、周堤墓9基、盛土遺構2ヵ所、竪穴住居跡、土壌などが確認され、縄文時代後期の大規模な遺跡であることが判明した。

本格的な調査は平成7年度に自動車道の橋台・橋脚部分6ヵ所（A～F地区）の2,429㎡について発掘調査を行ったのが最初である（図III-1）。この調査では、縄文時代後期後葉の周堤墓1基、北側盛土遺構、道跡などが新たに見つかった。平成8年度は、本線西側インターボックス部分（L地区）の調査3,930㎡を行い（図III-1）、北側盛土遺構の一部から約40万点の遺物が出土した。平成9年度は2課体制で本線およびインターチェンジ部分（A、D、E1、E2、F、H、I、K地区）20,970㎡の調査を行った（図III-1）。平成10年度は3課体制でA2、G、J、Q、R地区18,940㎡の調査を実施し、現地の発掘調査を終了した。

R地区の整理作業は、出土遺物の量が膨大なため、発掘調査終了後3ヵ年をかけて行い、報告書は二回に分けて刊行する予定である。本報告書はその第一回目のものである。

なお、北海道横断自動車道、千歳一夕張間は平成11（1999）年10月7日、供用が開始された。

表I-1 キウス4遺跡 年度・地区別調査面積一覧

(単位：㎡)

地区 年度	A(H7)	A(H9)	A2	B	C	D	E	E1	E2	F	G	H	I	J1・J3~6	J2	K	L	Q	R	合計
H 7	430			434	525	364	312			364										2,429
H 8																	3,930			3,930
H 9		4,750				6,140		110	110	3,620		640	5,400			200				20,970
H 10			2,230								3,690			3,520	1,340			3,920	4,240	18,940
合計	430	4,750	2,230	434	525	6,504	312	110	110	3,984	3,690	640	5,400	3,520	1,340	200	3,930	3,920	4,240	46,269

4. 調査結果の概要

平成10年度に発掘調査を行ったキウス4遺跡R地区では膨大な量の遺物が出土したため、二回に分けて報告書を刊行することとなった。本書はその一回目のもので、遺構(盛土遺構と木製品を伴う遺構を除くもの)と遺構出土の遺物を取り扱っている。

R地区は調査面積4,240㎡、キウス4遺跡のほぼ南西部に位置している。西～北西にはQ地区、東にI地区が隣接する。標高9m～10mの段丘面と標高7m～8mの低地があり、西側では段丘崖(やや急斜面)、中央部から東側では緩斜面になっている。西側段丘面の東半部は耕作によりⅧ層中まで攪乱・削平されている。

遺構は、盛土遺構1条(12ブロック 未掲載)、住居跡2軒、土壇14基、柱穴状ピット1930基、焼土248ヵ所、流水跡11ヵ所(このうち2ヵ所は未掲載)が検出された。また柱穴状ピットの配列から推定された建物跡は127軒である。

住居跡は、緩斜面と低地部で2軒検出され、縄文時代早期1軒、時期不明のもの1軒である。

土壇は、調査区全域で検出されており、縄文時代後期後葉のものが12基、縄文時代早期のものが2基である。土壇には土壇墓と思われるもの、フラスコ状ピットそして性格不明のものがある。フラスコ状ピットは主に盛土遺構の縁辺部に見られる。

柱穴状ピットはおおよそ西側の段丘面とそれに続く斜面上部部に分布する。すべて縄文時代後期後葉のものである。柱穴状ピットのうち456基が建物跡のものである。

建物跡には、ハの字状に位置する出入口ピットを伴うもの(18軒)、大型の柱穴状ピットが4基配列するもの(14軒)などがある。

焼土は、主に東側緩斜面上に分布する。Ⅴb層上面付近で検出された縄文時代後期後葉のものは238ヵ所(土壇、建物跡に伴うもの2ヵ所を含む)、縄文時代早期のもの10ヵ所である。

流水跡は、調査区中央部南側の低地部から検出されている。Ⅲ層中(Ta-aの下で、B-Tmを切っている)のもの1ヵ所、縄文時代後期後葉のもの3ヵ所(未掲載分のもの2ヵ所)、縄文時代早期のもの1ヵ所、縄文時代に属するが明確な時期が不明のもの6ヵ所(未掲載のもの1ヵ所)がある。

土器、石器等の遺物総点数は6,066点である。この内訳は土器が4,948点、石器等が1,118点である。このほかに木製品、流木、獣骨や魚骨などの破片、炭化種子などの自然遺物、漆の塗膜なども出土している。

土器は、全遺物点数の約82%を占めている。縄文時代早期から後期にわたるものが出土しているが、縄文時代後期後葉の堂林式土器が約96%とその大部分を占めている。ほかに縄文時代早期の東釧路Ⅲ、Ⅳ式、縄文時代前期の綱文式、縄文時代中期に属する土器片、縄文時代後期の余市式土器などが少量出土している。

石器は、石鏃、スクレイパー、石斧、たたき石、すり石、砥石、石皿、台石、Rフレイクなどが出土している。ほかに平玉、垂飾の石製品も出土している。またフレイクが746点(約67%)、礫が185点(約17%)出土しており、フレイク、礫を合わせて出土数の約83%を占めている。

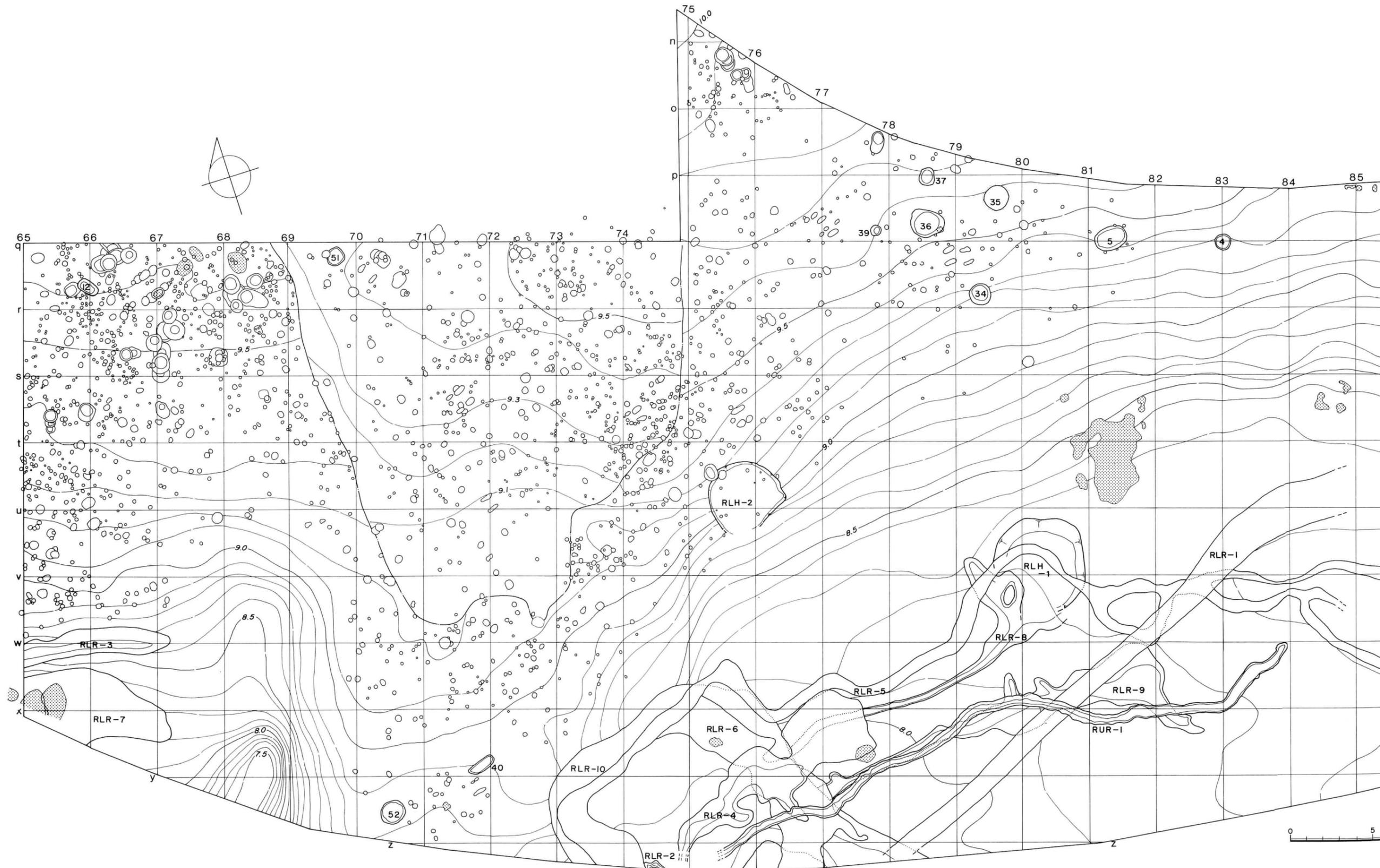


図 I-2 遺構位置図と最終面地形測量図

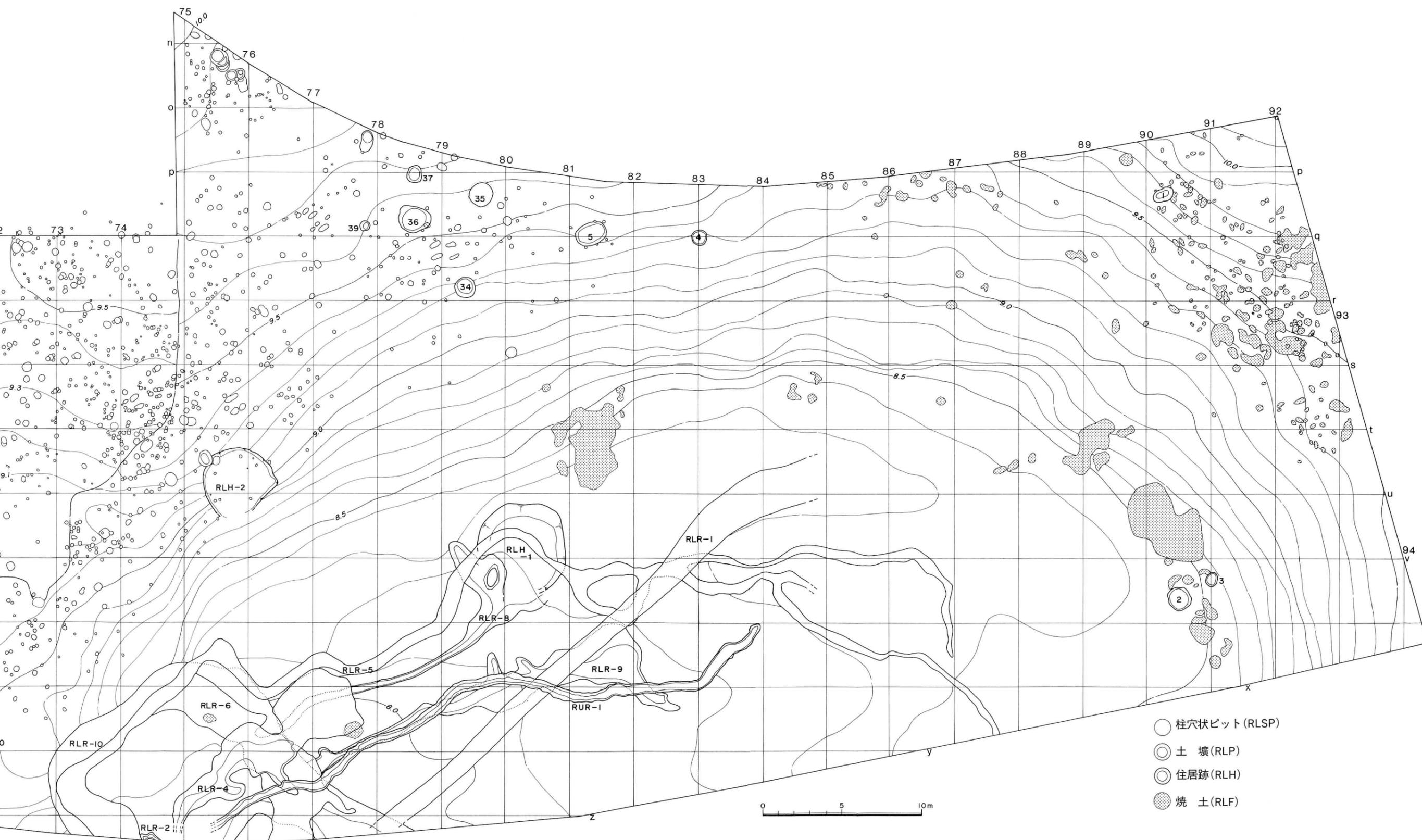


図 I-2 遺構位置図と最終面地形測量図

表I-2 遺構一覧

	縄文時代早期	縄文時代後期	時期不明	計
建物跡		127軒		127軒
住居跡	1軒		1軒	2軒
柱穴状ピット		1,474カ所		1,474カ所
土 壙	2基	12基		14基
焼 土	10カ所	238カ所		248カ所
流水跡	1カ所	4カ所	6カ所	11カ所

表I-3 出土遺物一覧 土器

(単位：点)

	縄文時代早期	縄文時代前期	縄文時代中期	縄文時代後期	土製品	焼成粘土塊	時期不明	合計
住居跡	42		13	337			25	417
土 壙	10			361			4	375
柱穴状ピット		1	2	1,905	1		5	1,914
焼 土	3			1,284		2	6	1,295
流水跡	98		1	846			2	947
合計	153	1	16	4,733	1	2	42	4,948

表I-4 出土遺物一覧 石器など

(単位：点)

	石鏃	石錐	スクレイパー	石斧	たが石	すり石	石鋸	砥石	石皿・石台	Rフレイク	Uフレイク	原石	フリク	礫	石製品	合計
住居跡		1				1	1	3		3			32	14		55
土 壙	2		3	2	3	3			2	3			80	16		114
柱穴状ピット	13		6	9	9	7		3	8	35		15	451	48		604
焼 土	3		2	2		1		5	2	5		1	84	54	1	160
流水跡	2		7	4		2		1	3	9	3	1	99	53	1	185
合計	20	1	18	17	12	14	1	12	15	55	3	17	746	185	2	1,118

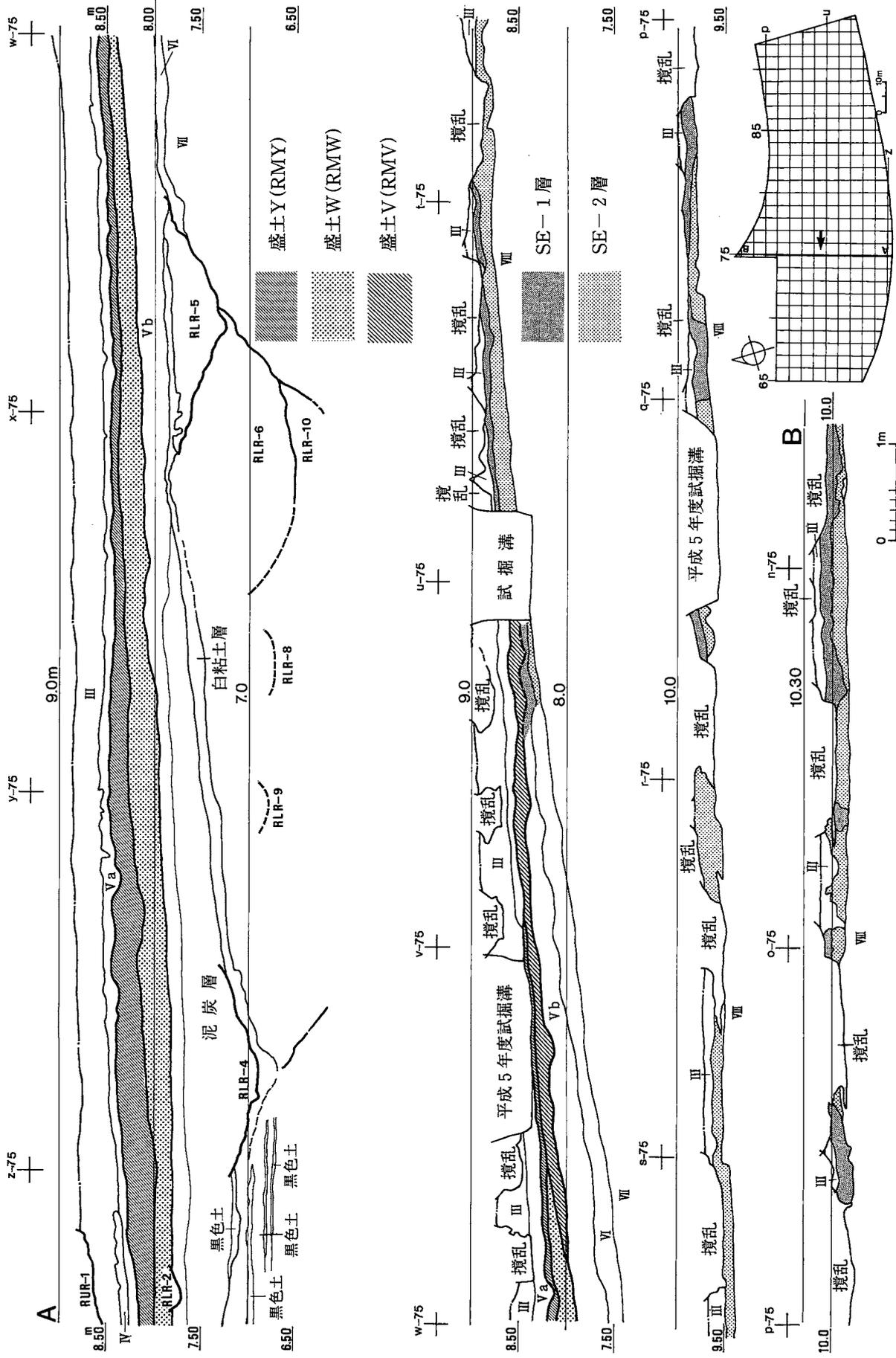


図 I-3 南北メイン (75ライン) セクション図

II 遺跡の立地と周辺の遺跡

1. 遺跡の立地と環境

キウス4遺跡は、千歳市街地の北東約8km、「中央」地区に所在する。この付近は長沼町に隣接する市境に近い。

日本海と太平洋を結ぶ標高25m以下の石狩低地帯の東側には、北海道中央部を南北に走る夕張山地があり、その西側には馬追丘陵がある。この丘陵は千歳市、空知地方の長沼町、由仁町、胆振地方の追分町、早来町にまたがって、南北に緩やかに広がっている。標高273mの馬追山を最高地点とし、標高150m前後、延長約30kmにおよぶ丘陵である。馬追丘陵の西側は、現在は水田や畑地として利用されているが、戦前までは長都沼（オサツトー）、馬追沼（マオイトー）など大小の沼があり、支笏湖を水源とする千歳川や夕張山地から流れ出る夕張川、剣淵川などが流入するため氾濫が繰り返される低地であった。しかし昭和26（1951）年～昭和44（1969）年の国営灌漑排水事業により、長都沼、馬追沼一帯を埋め立て、川の切り替えなどが行われて耕地が造成され、現在は旧河道、小河谷、自然堤防、氾濫原などの微地形が広がる景観を呈している。

キウス4遺跡は、馬追丘陵の裾部を南北に走る千歳と長沼を結ぶ国道337号の西側に、南北約300m、東西約400mの範囲に広がっている。遺跡の南側にはキウス川が西流する。キウス川は馬追丘陵から東、西へと開析して流れ、オルイカ川へと流れ込む河川の一つである。キウス4遺跡はキウス川流域の右岸、オルイカ川中流域右岸に位置している。現地表面の標高は8m～18mで、西へ低くなる緩斜面となっている。

キウス4遺跡の周辺は、横断道の用地となる以前には畑地あるいは水田として利用されていた。キウス川の周辺や畑地の間には広葉樹の林がところどころに残っている。また遺跡の北東約300mの緩斜面上には国指定史跡「キウス周堤墓群」が所在する。遺跡の西方には、樽前山、恵庭岳、札幌岳、無意根山、手稲山など標高1,000m～1,500mの山々が見られ、眼前には平坦な地形が広がっている。

2. 周辺の遺跡

図II-3は、大正5（1916）年・大正6（1917）年に陸地測量部が測図した5万分の1地形図『漁』^{いざり}と平成6（1994）年の国土地理院発行の2万5千分の1地形図『長都』・『南長沼』、および北海道教育委員会の埋蔵文化財包蔵地分布図を利用して作成したキウス4遺跡周辺の遺跡分布図である。湖沼や河川の位置と形状は陸地測量部の図から写し、これに周辺の遺跡の位置を重ねたものである。範囲は、北は長沼町幌内、南は千歳市根志越、祝梅、東は千歳川左岸あたりまでを含んでいる。

図の右半部を占める馬追丘陵の西斜面から幾本もの小河川が谷を刻んで、現在では干拓されてその姿を見ることができなくなったマオイトー、オサツトーに流れ込んでいる。支笏湖を水源とする千歳川も南側からオサツトーに入り、南西側からふたたび流出し、北流していたことがわかる。

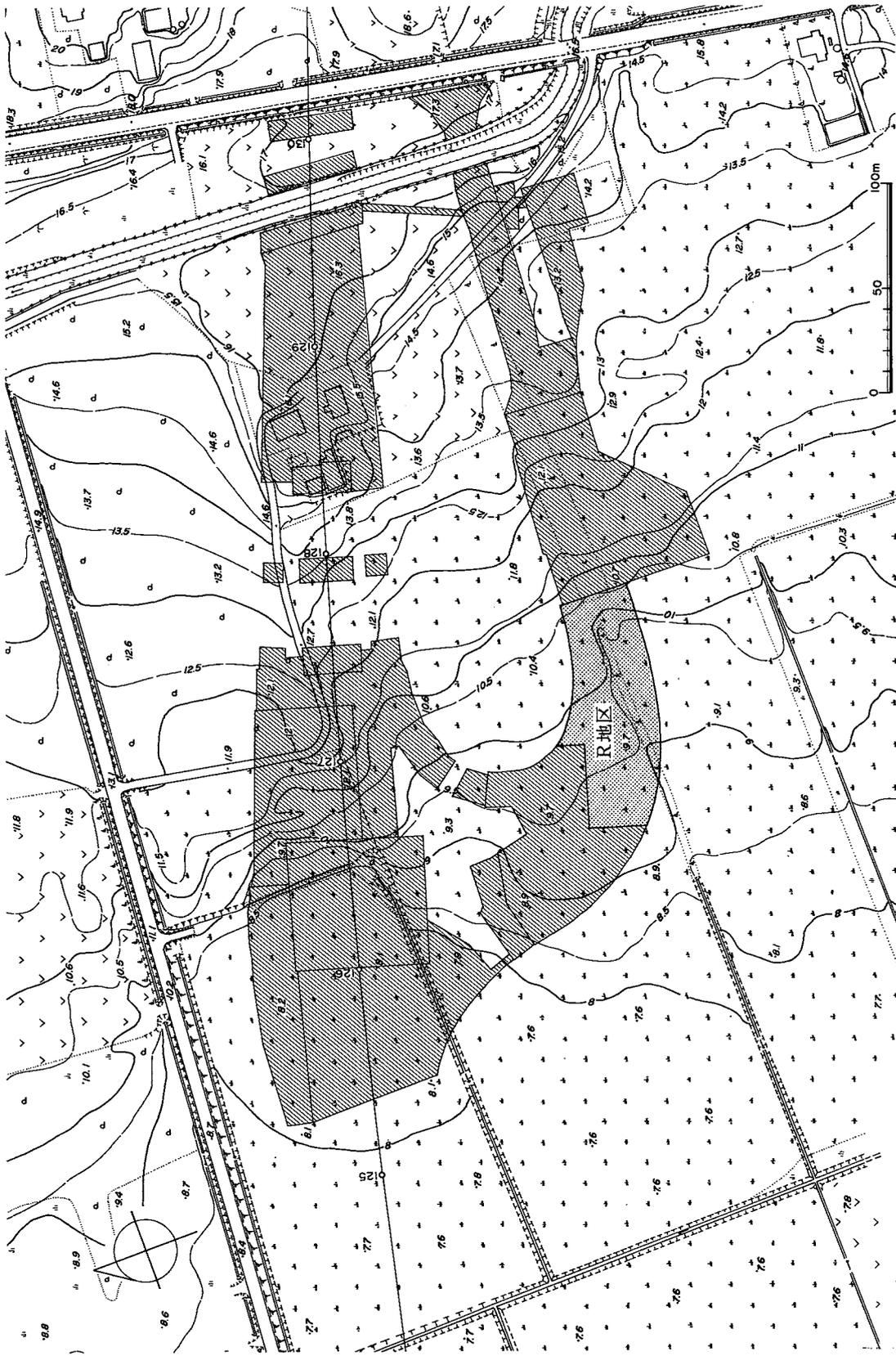
遺跡は馬追丘陵を刻む各小河川の流域、およびオサツトーに流れ込む千歳川とオサツ川^{いざり}の間の低位段丘面上にそれぞれ連続して分布している。標高10m～50mのところ分布する遺跡が最も多いが、なかには標高50m以上の段丘面上に立地するものも見られる。馬追丘陵を刻む小河川を北から列記する。

①ウレロッチ川、②ポロナイ川、③ケヌフチ川、④モウシ川、⑤キウス川、⑥オルイカ川、オサツトーの南側に流れ込む河川は、⑦シクバイ川、⑧千歳川、⑨オサツ川の三本である。

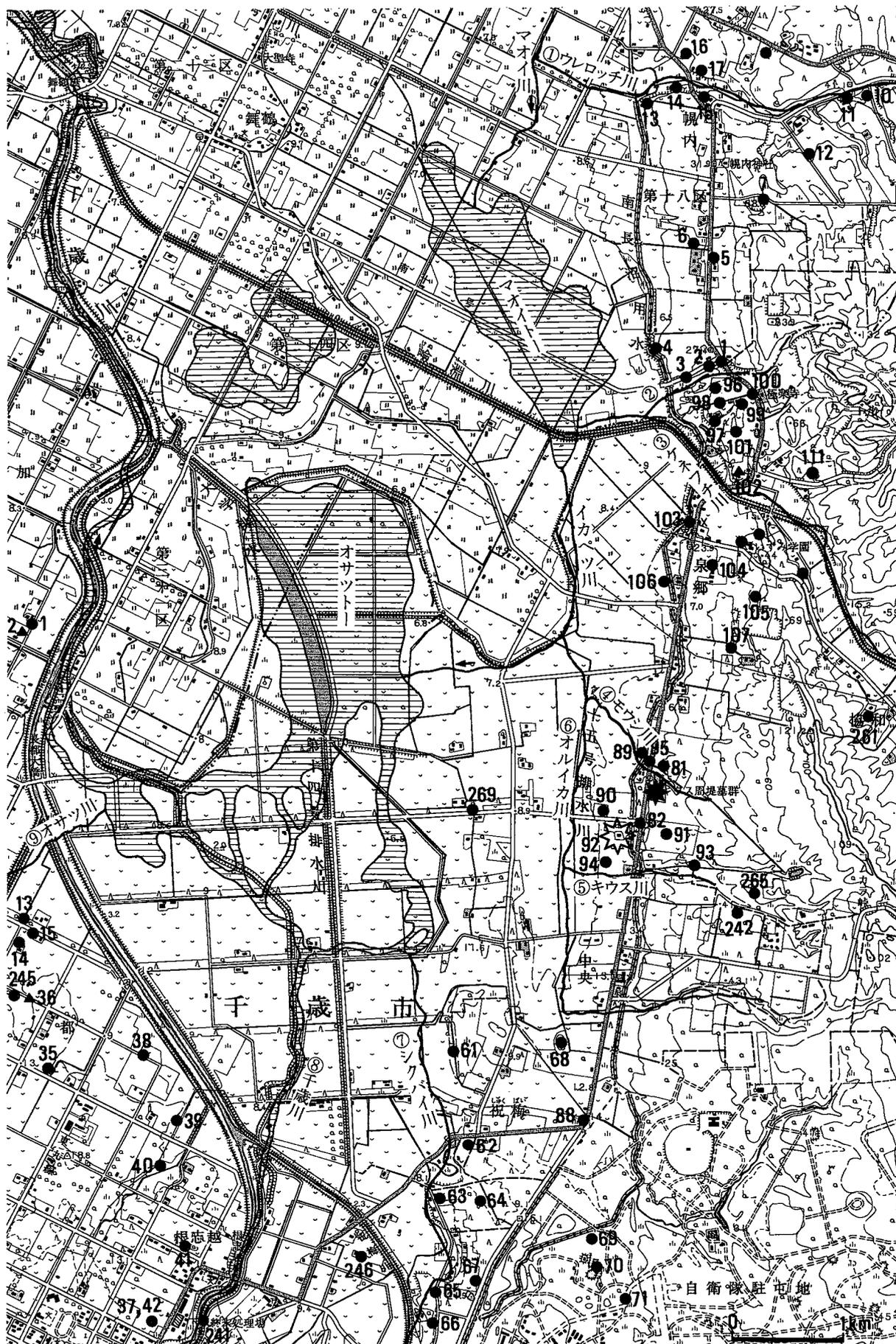
以下にこれらの河川流域にある代表的な遺跡を記すこととする。（ ）内は図番号である。



図II-1 遺跡周辺の地形図



図II-2 発掘区周辺の地形図



図II-3 周辺の遺跡 (☆キウス4遺跡 ★キウス周堤墓群 ▲チャシ跡)

表II-1 周辺の遺跡一覧(千歳市)

No	遺跡名	種別	時期	発掘調査歴等
1	カリンパー	集落跡	擦文	釜加のチャシ跡に接する南側緩斜面に数個の竪穴があったという。[千歳遺跡]p116~124
2	釜加のチャシ跡	チャシ跡	アイヌ	昭和40年調査、大場利夫・石川徹『千歳遺跡』p116~124(旧称、釜加)
13	オサツ1	集落跡	擦文、アイヌ	保安林内に16軒の竪穴。(旧称、都5遺跡)
14	オサツ2	集落跡	先土器、縄文、統縄文、擦文、アイヌ	1992~1994年、道埋文調査。縄文中期、擦文の竪穴。統縄文、アイヌの土壌墓。(旧称、都6遺跡)
15	オサツ3	集落跡	擦文	保安林内に竪穴。(旧称、都4遺跡)
35	都	遺物包含地	縄文晩期、アイヌ	タンネットーL式土器。
36	都のチャシ跡	チャシ跡	アイヌ	円形塚。昭和41年調査、『千歳遺跡』p124~128、『北海道のチャシ』7。(旧称、都1)
37	末広	集落跡	縄文中・後期、統縄文、擦文、アイヌ	No42、根志越2遺跡と合体。(旧称、根志越C)
38	トメト川1	集落跡	擦文	竪穴2軒確認。
39	トメト川2	集落跡	統縄文、擦文	段丘縁に沿って竪穴13軒が並ぶ。(旧称、根志越F)
40	トメト川3	集落跡	擦文	段丘縁に沿って竪穴15軒、他に方形の落ち込み4ヵ所あり。(旧称、根志越E)
41	根志越1	集落跡	擦文	かつて19軒の竪穴が見られたが、現在は草地化されている。消滅。
61	アンカリトー1	遺物包含地	縄文晩期	
62	アンカリトー2	集落跡	縄文前・後・晩期、統縄文、擦文	竪穴住居跡が1軒みられた。
63	アンカリトー3	墳墓	縄文晩期、統縄文、擦文	
64	アンカリトー4	遺物包含地	縄文後期	
65	アンカリトー5	集落跡	縄文中・晩期、統縄文、擦文	航空写真判読で9個の竪穴状マーク観察
66	アンカリトー6	集落跡	縄文中、統縄文、擦文	無名沢を挟んで北に2軒、南に4軒の竪穴がみられる。
67	アンカリトー7	遺物包含地	擦文	
68	丸子山	集落跡	先土器、縄文、擦文	1990~1993年、千歳市教委発掘調査、環塚集落、周堤墓、擦文期の竪穴。消滅(旧称、丸小山)
69	K基地1	集落跡	擦文	南長沼用水南側に竪穴住居があったという。
70	K基地2	遺物包含地	縄文後・晩期、擦文	
71	ピクニックエリア	集落跡	擦文	オリカ川湧水地周辺。数軒の竪穴がみられたという。
76	キウス1号環状土籠	周堤墓	縄文後期	1964大場利夫・石川徹、1979国指定史跡
77	キウス2号環状土籠	周堤墓	縄文後期	1965大場利夫・石川徹、1979国指定史跡
78	キウス3号環状土籠	周堤墓	縄文後期	1979国指定史跡
79	キウス4号環状土籠	周堤墓	縄文後期	1965大場利夫 外周部、1979国指定史跡
80	キウス5号環状土籠	周堤墓	縄文後期	1979国指定史跡
81	キウス6号環状土籠	周堤墓	縄文後期	1979国指定史跡
82	キウス7号環状土籠	周堤墓	縄文後期	1950頃 河野広道・近藤義雄
83	キウス8号環状土籠	周堤墓	縄文後期	全壊?1987道教委試掘確認により1988登載抹消
84	キウス9号環状土籠	周堤墓	縄文後期	全壊?1987道教委試掘確認により1988登載抹消
85	キウス10号環状土籠	周堤墓	縄文後期	全壊?1987道教委試掘確認により1988登載抹消
86	キウス11号環状土籠	周堤墓	縄文後期	1979国指定史跡
87	キウス12号環状土籠	周堤墓	縄文後期	1979国指定史跡
88	キウス13号環状土籠	周堤墓	縄文後期	
89	キウス1	集落跡、遺物包含地	縄文後・晩期、統縄文	1964大場利夫・石川徹
90	キウス2	周堤墓	縄文後期	航空写真によるソイルマーク
91	キウス3	遺物包含地	縄文後期	
92	キウス4	周堤墓集落跡ほか	縄文早・前・後期、擦文	1993、1995~1997(道埋文センター)、1995千歳市教委
93	キウス5	集落跡・墓 低湿地ほか	縄文早~晩期、統縄文 擦文、アイヌ	1994~1997(道埋文センター)
94	キウス川	遺物包含地	縄文後期	
95	中央日黒	遺物包含地	縄文後~晩期	モウシ川右岸段丘
96	ポロナイ	遺物包含地	縄文中~晩期	1967石川徹、大場利夫「千歳遺跡」3頁。ポロナイ川左岸段丘、旧称、泉郷。
97	マオイトー1	遺物包含地	縄文中期	円筒上層式
98	マオイトー2	遺物包含地	縄文、統縄文、擦文	丘陵裾
99	マオイトー3	遺物包含地	縄文晩期	台地舌状部先端付近
100	マオイトー4	遺物包含地	縄文	
101	マオイトー5	遺物包含地	縄文中・晩期	
102	ケネフチのチャシ	チャシ跡	アイヌ	1935原田二郎・近藤義雄
103	トブシナイ1	遺物包含地	アイヌ	舟釘状鉄製品
104	トブシナイ2	遺物包含地	縄文中・後期	
105	トブシナイ3	遺物包含地	縄文中・晩期	1922頃 河野常吉・福元貞太郎 遺物採集か?
106	イカベツ1	遺物包含地	統縄文	後北C2式
107	イカベツ2	遺物包含地	縄文前・後・晩期、擦文	縄文、堂林、タンネットウL式
108	ケネフチ1	遺物包含地	縄文早期	中茶路式
109	ケネフチ2	遺物包含地	縄文後期	
110	ケネフチ3	遺物包含地	縄文早・晩期、擦文	
111	ケネフチ4	遺物包含地	縄文中期	
241	根志越3	遺物包含地	アイヌ	丸木舟(長さ約7m、幅約0.6m)
242	キウス6	遺物包含地	縄文晩期	
245	オサツ14	集落跡	縄文前期~晩期、擦文	1994道埋文センター調査。縄文前期、中期の竪穴。縄文中期・後期の土壌。
246	アンカリトー8	遺物包含地	縄文晩期	タンネットウL
261	ケネフチ6	集落跡	縄文早期、擦文	コックロ、中茶路、東釧路式
265	キウス7	集落跡・墓ほか	縄文早・中・後・晩期、 統縄文、擦文、アイヌ	1993~1997、道埋文センター
269	オサツトー1	遺物包含地・墓	縄文早・中・後・晩期、アイヌ	1993(道埋文センター)

表II-2 周辺の遺跡一覧(長沼町)

No	遺跡名	種別	時期	発掘調査歴等
1	幌内A	住居跡	縄文中・後期、擦文	道路に接した林内に竪穴住居跡が保存
2	幌内B	遺物包含地	縄文後期末～晩期	
3	幌内C	遺物包含地	縄文中期・後期	
4	幌内D	遺物包含地	縄文・土師	
5	幌内E	遺物包含地	縄文	
6	幌内F	遺物包含地	縄文中期・後期	
7	タンネトウ	集落包含地	縄文早期・晩期	昭和32・33・36年、札幌西高校発掘調査(名取武光、吉崎昌一)、 【タンネトウ遺跡の調査】『郷土の科学』No26 野村崇(1977)
10	幌内H	遺物包含地	縄文中期	
11	幌内I	遺物包含地	縄文後期	草地造成のため一部破壊
12	幌内J	遺物包含地	縄文中期	草地造成のため一部破壊
13	幌内K	遺物包含地		
14	幌内L	遺物包含地	縄文前期・中期・後期、擦文	昭和37年3月、長沼町教育委員会発掘調査(野村崇)、縄文後期の手稲式土器多い。(旧称、ウレロッチ川左岸遺跡) 野村崇、斎藤徳太郎(1959)
15	幌内M	遺物包含地		
16	幌内N	遺物包含地	縄文後期	
17	幌内南	遺物包含地	縄文後期、擦文、土師	石附喜三男(1961)
18	幌内堂林	遺物包含地	縄文後期	昭和35年4・9月、吉崎昌一、発掘調査。縄文後期、堂林式土器の標式遺跡 野村崇(1960)・(1962)、野村崇、宇田川洋(1967)

①の右岸には堂林遺跡(18)、左岸にタンネトウ遺跡(17)が位置している。両者ともにウレロッチ川から直線距離で500m～1,000mほど離れた標高50m以上のところにある。前者は縄文時代後期後葉の堂林式土器の標式遺跡である。後者は縄文時代早期中葉と晩期末葉の遺跡で、晩期のタンネトウL式土器の標式遺跡である。

②のポロナイ川は長沼町と千歳市の境となっており、両岸に縄文時代中期と後期の遺跡が分布する。

③の右岸には縄文時代中期、左岸には縄文時代早期の遺跡がある。

④の左岸には、国指定史跡のキウス周堤墓群が立地しており、右岸にも周堤墓1基(81)が所在する。

④・⑤の周辺には、縄文時代後期の遺跡が密に分布している。

⑤のキウス川流域では、平成5(1993)年から当センターがキウス4遺跡をはじめ、横断道用地内の各遺跡の調査を継続して行って、豊富な出土資料が蓄積された。上流のキウス7遺跡(265)では、縄文時代早期後半のコッタロ式期の竪穴住居跡や後期前葉～中葉の竪穴住居跡、貯蔵穴、晩期後葉の土壌、焼土などが見つかっている。キウス5遺跡(93)では、縄文時代早期晩式期の竪穴住居跡、前期綱文式期の集落跡、中期後半の竪穴式住居跡、杭穴、後期中葉、晩期と晩期末葉から続縄文時代前葉にかけての遺構、遺物が発見、出土している。キウス4遺跡(92)では、低湿部に縄文時代早期後半から前期前半にかけての遺構が発見され、低位段丘上では縄文時代後期後葉の周堤墓群、竪穴住居跡、盛土遺構が発見され、調査されている。

⑥の流域には、上流側に擦文時代の遺跡(69・70・71)がある。中流域に所在する丸子山遺跡(85)では縄文時代中期中葉の環濠、後期の周堤墓、擦文時代の竪穴住居跡などが発見されている。

⑦の右岸には、縄文時代晩期から続縄文、擦文時代の遺跡がある。

⑧と⑨の間の標高10m前後の段丘上には多くの遺跡が分布しており、末広遺跡(37・42)では、昭和54(1979)年～昭和56(1981)年・昭和59(1984)年の調査で縄文時代後期中葉の竪穴住居跡、焼土遺構、周堤墓などが発見された。オサツ2遺跡(14)は、当センターが平成5(1993)～7(1995)年にかけて調査を行い、縄文時代中期後葉～後期初頭と擦文時代の竪穴住居跡、続縄文時代の土壌墓などが発見された。オサツ14遺跡(245)でも、縄文時代前期、中期の竪穴住居跡、縄文時代中期、後期の土壌などが発見されている。また⑧・⑨周辺には擦文時代の遺跡が多いようである。

III 調査の方法

1. 発掘区の設定と調査の方法

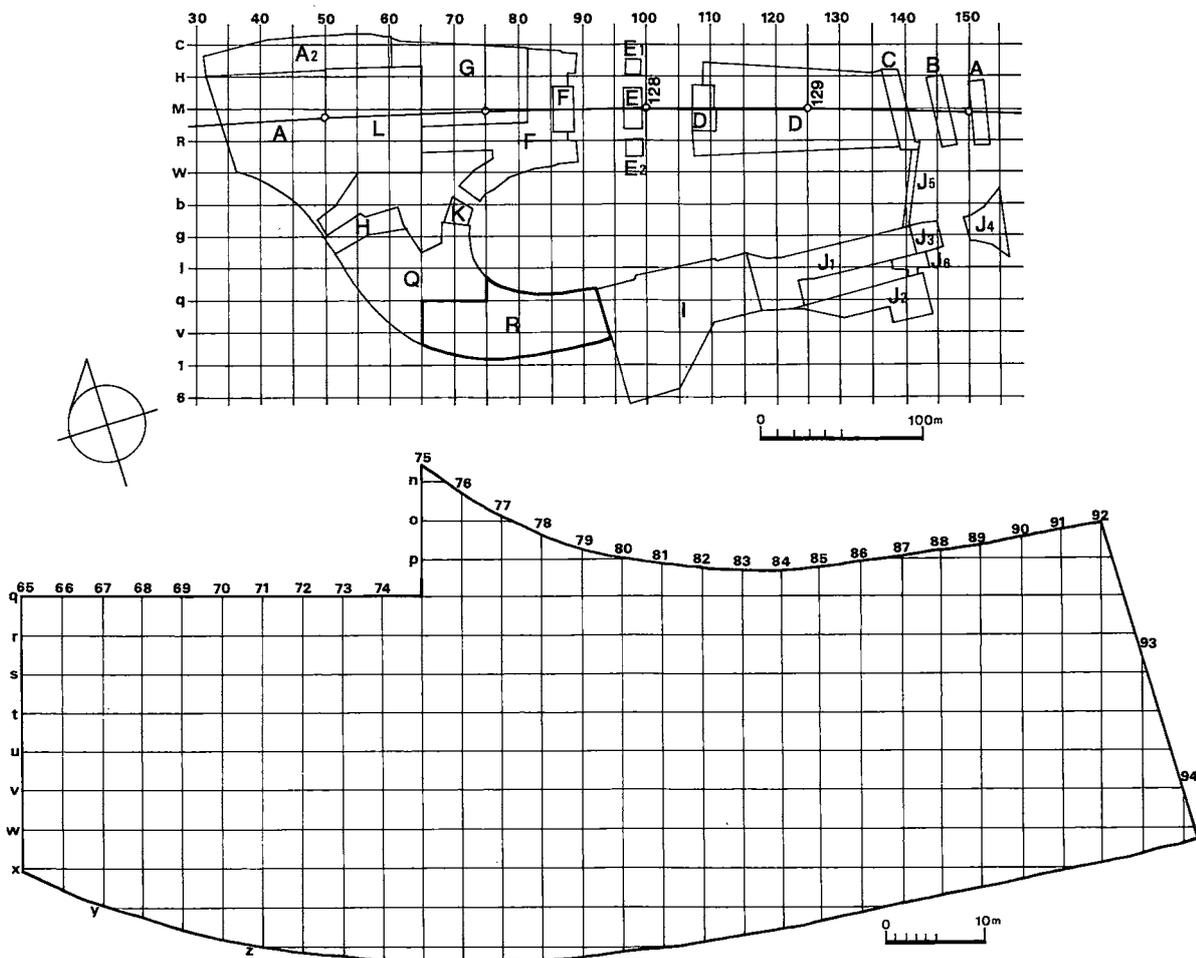
発掘区の設定 現地調査の基本図は、北海道横断自動車道工事予定図1,000分の1を使用し、発掘区の設定は以下のように行った。

調査区は日本道路公団北海道横断自動車道(千歳一夕張)のセンター杭STA128とSTA129を基準とした。基準点を通る線をMラインとし、東西の基準線とする。Mラインから4m毎に北側に平行する線をL・K・J……とし、南側も同様にN・O・P… a・b・c… 1・2・3…と記号を付した。南北線の基準はSTA128を用い、これに直交する線を100ラインとした。これを基準に4m毎に西側に平行する線を99・98・97……とし、東側に平行する線を101・102・103……と記号を付した。それぞれの交点上に杭を打ち、グリッドに画された北西側の杭を4m四方の方形の呼称とした。各グリッドの表示はn-75、q-65、u-85などと呼称した。なおR地区は南北方向にn~z、東西方向に65~94の区画線が引かれた。

基準杭の座標値の成果は、以下のとおりである。座標系は平面直角座標系第Ⅲ系である。

STA-128 (M-100) X=-124,317.2305 Y=-43,659.0574

STA-129 (M-125) X=-124,346.6038 Y=-43,563.4703



図III-1 発掘区の設定図(下)と平成7・8・9・10年度の調査区(上)

発掘調査の方法 調査は時間的制約のもとで行われたため、トレンチ調査、25%調査を随時行い、土層の堆積状態や遺構、遺物の出現、出土状況などを把握・検討し、重機を併用しながら掘り下げ、調査を行った。調査区全域でI・II層および耕作による攪乱層などは重機で除去した。III層上面で75ライン、85ライン、調査区東端ライン(92ライン)に沿って巾1m~2mのトレンチを設定して掘り下げ、土層の堆積状態を確認した。このトレンチ調査の結果、調査区中央部南側は低湿地であり、盛土遺構下のV層は厚く、白粘土層や泥炭層があることが判明した。その後III層上面で25%調査を行い、その結果をもとにIII層上、中位層を重機で除去した。III層下位層、Va層を掘り下げ、盛土遺構の検出、調査を行った。盛土遺構の調査後Vb層上面で遺構検出、遺構調査を行う。その後25%調査ののち、Vb層を重機で除去した。以下白粘土層、Vc層も同様の調査方法でほぼVIII層上面まで掘り下げた。

調査区西側は、耕作による攪乱層を重機で除去したのち、SE層などで遺構検出、遺構調査を行い、一部重機を併用しながらVII層上面まで掘り下げた。

遺物の取り上げ 遺構およびその周辺出土の遺物はトータル・ステーションによって位置を測定し、全点取り上げることとしたが、遺物量が膨大なため、取り上げる遺物や発掘区をしばり込んだ。ただ84ラインについては全点トータル・ステーションによって取り上げた。包含層の遺物は位置(発掘区)や層位等を記録して発掘区毎に取り上げた。なお盛土遺構出土の遺物は、土器は口縁部、石器は定形的なものをトータル・ステーションで取り上げ、他は土と一緒に1m×1mの小区画あるいは発掘区毎に袋に入れすべて取り上げた。またある程度まとまって出土した遺物については、その出土状況の実測を行って取り上げた。木製品はトータル・ステーションにより位置を測定し、取り上げた。

トータル・ステーションの使用について 現場では上記の遺物取り上げのほか、地形測量、遺構実測などについて常駐の測量業者によりトータル・ステーションを使用し、作業を行った。

整理作業の方法 出土遺物は、整理作業と並行して現地で水洗、注記、分類、遺物台帳作成などを行った。一部土壌水洗も行った。しかしながら遺物量が多く、一次整理自体が多く残り、土壌水洗、フローテーション、また水洗・注記作業も次年度に持ちこされ、現地に残し、越冬することになった。水洗・注記終了分と水洗終了で未注記分については現場終了後札幌のセンターへ搬送した。

平成11年度は、現地と札幌のセンターで並行して整理作業を行った。現地では水洗、注記、土壌水洗、フローテーション、分類作業が行われ、遺構(盛土遺構以外)の遺物は水洗終了後札幌のセンターへ移送され、注記、分類が行われた。

平成11年度報告分の二次整理作業は平成11年度札幌のセンターで行われた。分類作業と並行して土器の接合・復元、土器・石器の実測、トレース、遺物集計、記録類の整理、遺物の写真撮影、報告書作成作業を行った。木製品については実測分の抽出、実測が行われている。

フローテーション 土壌、焼土、盛土遺構の一部の土壌については資料を採取し、フローテーションにより微細遺物の分離、採集した。現場ではコンテナに広げて十分に乾燥させ、その後乾燥重量、体積を計測し、フローテーションマシンを用いて残渣、浮遊物を回収した。なお浮遊物の回収には2種類のフルイ(フルイ目2.00mm、0.425mm)を用いて分別採取し、残渣とともに回収した。

2. 土層の説明

85ラインの最も深い部分で土層柱状図を作成した。他に見られた幾つかの土層についてはこれと対照させて模式図化し、説明している。

I層：現表土。耕作土。

II層：樽前a降下軽石層(Ta-a)。A.D.1739年降下。砂質のテフラを主体とする。数枚のフォールユニットからなる。

III層：黒色腐植土。新千歳空港の「第一黒色土層 (I B層)」に相当する。

III層はB-Tm苫小牧火山灰(10世紀中頃降下)と樽前c降下岩石・スコリア(Ta-c)の混在度によって三層に分けている。

III層上位はB-Tm苫小牧火山灰層の上であり、淡い黒色土である。III層中位は黒色腐植土で、III層上・中位には遺物はほとんど含まれていない。III層下位はTa-cが多量に混在する黒色土で、縄文時代後期の遺物が多く含まれている。

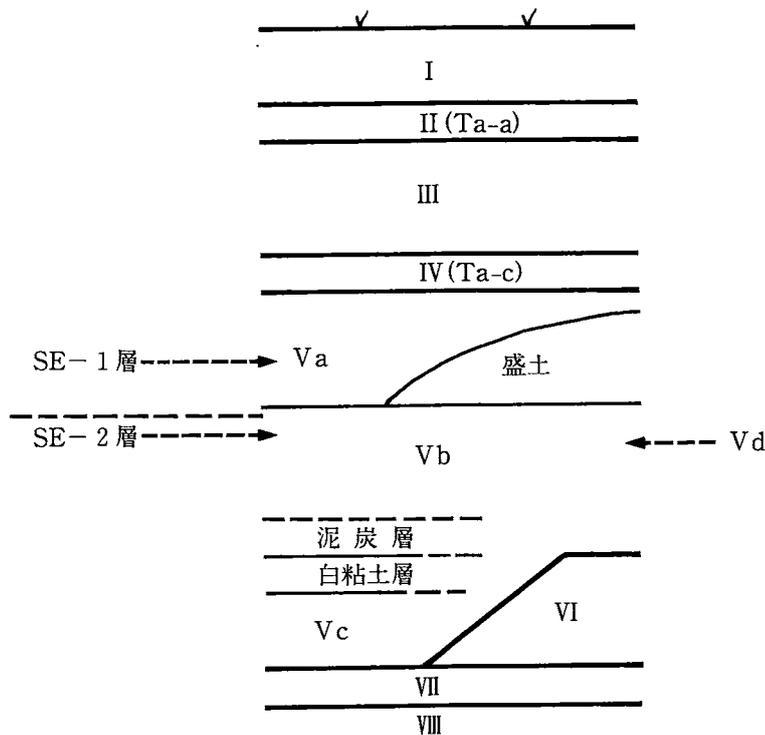
IV層：樽前c降下岩石・スコリア(Ta-c 2,300~2,500年前降下)。調査区中央部南側の低地部の小範囲に堆積する。

V層：黒色腐植土。新千歳空港の「第二黒色土層 (II B層)」に相当する。水分を含むと粘性に富む。

V層は盛土遺構を介してIVa層とVb層に分層した。

Va層は黒色腐植土に恵庭a降下軽石(En-a)を含む土で、盛土遺構上部の二次堆積やその後の腐植土の堆積から由来するものと考えられる。縄文時代後期の遺物が含まれる。

Vb層は盛土遺構の下部を形成する黒色土層で、低地部では泥炭、シルト、粘土などが挟在し、大きく三層に分けている。上層(便宜的にVb層としている)は水分を含むと粘性に富む黒色腐



図III-2 土層模式柱状図

植土である。縄文時代後期の遺物を含む。中層は白粘土層、下層はVc層としている黒色土で、縄文時代早期・前期・中期の遺物が出土している。

なお白粘土層とVc層は低地部に広く堆積し、また75ラインの南側付近ではVb層と白粘土層の間に泥炭層が見られる。

VI層：暗褐色土～褐色土。V層とVII層の漸移層。

VII層：ローム層。恵庭a降下軽石堆積物(En-a)が風化作用によってローム化した層。

VIII層：恵庭a降下軽石層(En-a)。(15,000年～17,000年前降下)。

調査区西側、標高9m～10m付近の平坦地にはIII層とVIII層の間にSE層と呼称する層が二層見られる。上層はSE-1層で、黒色腐植土にEn-aがやや多く混入するものである。下層はSE-2層で、黄褐色土にEn-aが多く混入する土である。SE-1・2層からは縄文時代後期の遺物が出土している。SE-1層はVa層、SE-2層はVb層最上位付近の層に相当するものと思われる。

また調査区南西部の段丘崖に見られたVd層は黒褐色土にEn-a、炭化物などが混在する汚れた土である。縄文時代後期の遺物を多く含む。Vb層上層中、SE-2層よりやや古い時期の層に相当するものと思われる。

3. 遺構・遺物の分類

(1) 遺構

遺構は、盛土遺構(未掲載)、住居跡、柱穴状ピット、土壇、焼土、流水跡に大きく分けている。「記号等の説明」1で説明している各記号の前にR地区のRを付してそれぞれ盛土遺構はRM、住居跡はRLH、柱穴状ピットはRLSP、土壇はRLP、焼土はRLF、流水跡はRUR、RLRと記号化した。

住居跡としたものには、地面を掘りくぼめた所謂竪穴住居跡と、柱穴状ピットの配列から想定した建物跡がある。建物跡には地面を掘りくぼめた形跡や痕跡は認められなかった。住居として使用したものとはそれ以外の目的で作られたものがあるのではないと思われる。

柱穴状ピットとしたものは、人為的に掘られた穴で、規模・平面形・壇底の形状や深さなどは種々異なっている。

土壇としたものは、人為的に掘りくぼめた遺構で、土壇墓、貯蔵穴、性格不明の土壇がある。土壇として調査したものの中で、その後の検討の結果、柱穴状ピットとしたものは、名称・記号・番号は変更せず、柱穴状ピットの中に入れていく。

焼土としたものは、住居跡、盛土遺構に伴わず、単独で検出されたものである。

流水跡としたものは、人為的加工などは見られない自然流水路跡、または小河道跡である。本書では遺構の項で取り扱っている。

(2) 遺物

i) 土器

分類規準は、過年度に当センターが行った千歳市周辺の発掘調査によるものとした。

I群 縄文時代早期に属する土器群。

a類：貝殻腹縁文・条痕文のある土器群。今回の調査では出土していない。

b類：縄文・捺糸文・絡条体圧痕文・貼付文のある土器群。

b-1類：東釧路II・III式に相当するもの。

b-2類：コッタロ式に相当するもの。

b-3類：中茶路式に相当するもの。

b-4類：東釧路Ⅳ式に相当するもの。

II群 縄文時代前期に属する土器群

a類：花積下層式・綱文土器・静内中野式に相当するもの。

b類：円筒下層式・植苗式・大麻Ⅴ式に相当するもの。

III群 縄文時代中期に属する土器群

a類：円筒上層式・萩ヶ岡1・2式に相当するもの。

b類：円筒上層式に後続するもの。天神山式・柏木川式・北筒式（トコロ6類）等が属する。

IV群 縄文時代後期に属する土器群。

a類：前葉の土器。余市式・タブコブ式・入江式に相当するもの。

b類：中葉の土器。船泊上層式・手稲式・鮎潤式・エリモB式に相当するもの。

c類：後葉の土器。堂林式・三ツ谷式・御殿山式に相当するもの。

V群 縄文時代晩期に属する土器群。

a類：大洞B・BC式に相当するもの。今回の調査では出土していない。

b類：大洞C₁・C₂式に相当するもの。今回の調査では出土していない。

c類：大洞A・A'式・タンネトウL式に相当するもの。

VI群 続縄文時代に属する土器群。

VII群 擦文時代に属する土器群。

なお、IV群b・c類については、以下の分類を用いたところがある。

IV群b-1類：船泊上層式に相当するもの。

b-2類：手稲式に相当するもの。

b-3類：鮎潤式に相当するもの。

b-4類：鮎潤式の新しい部分およびエリモB式に相当するもの。

c-0類：十腰内Ⅳ～Ⅴ群・新地式など、東北地方の土器およびその影響が顕著なもの。

c-1類：堂林式に相当するもの。当遺跡出土土器の大部分が相当する。

c-2類：三ツ谷式に相当するもの。

c-3類：御殿山式に相当するもの。

IV群b-4類とc-1類との境界は不明確で、便宜的に明確な刻み列をもつものはb-4類とした。また、胴部破片などは「IV群c類」にまとめている。しかしそれらの土器について、c-1類の範疇でとらえられる可能性があることをつけ加えておく。

ii) 石器

石器等の分類については、定形的な石器をⅠ～Ⅸ群に分け、定形的な石器と認定しがたい加工痕や使用痕のある剥片や礫をⅩ群、石核・剥片類をⅪ群として、記号を用いて分類した。礫については記号を用いなかった。なお、分類規準・遺物の名称については、おおむね（財）北海道埋蔵文化財センターの分類規準にならった。

【Ⅰ群】 石鏃・石槍類

A類 石鏃

1：石刃鏃

- 2:長身のもの
- 3:薄身のもの
 - a:柳葉形のもの
 - b:五角形のもの
- 4:三角形のもの
 - a:凹基のもの
 - b:平基のもの
- 5:木葉形のもの
- 6:菱形のもの
- 7:有茎のもの
 - a:凹基のもの
 - b:平基のもの
 - c:凸基のもの
- 8:分類の困難な破片・未成品など

B 類 石槍またはナイフ

- 1:有茎のもの
- 2:茎が明瞭にみられないもの
(木葉形・菱形のものを含む)
- 8:分類の困難な破片・未成品など

【II 群】石錐

A 類 石錐

- 1:素材の一部に刺突部を作り出したもの
- 2:つまみ部をもつ棒状のもの
- 3:棒状のもの
- 8:分類の困難な破片・未成品など

【III 群】つまみ付きナイフ・スクレイパー

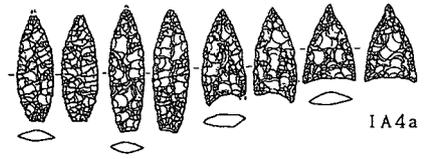
A 類 つまみ付きナイフ

- 1:片面全面加工のもの
(裏面の一側縁に刃部をもつもの)
- 2:片面全面加工のもの
- 3:片面周縁加工のもの
- 4:両面加工のもの
- 8:分類の困難な破片・未成品など

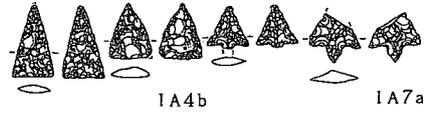
B 類 スクレイパー

- 1:石べらと称されるもの
- 2:円形のもの
- 3:主に縦長で下端部に刃部をもつもの
- 4:側縁に抉入がありそれを刃部とするもの

I 群A類

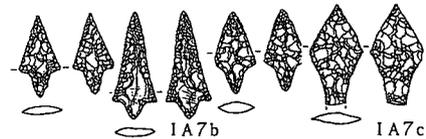


I A3a



I A4b

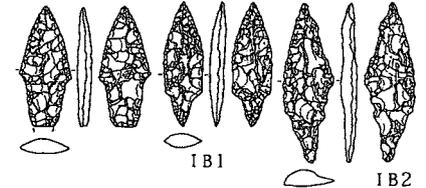
I A7a



I A7b

I A7c

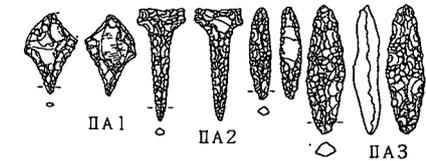
I 群B類



I B1

I B2

II 群A類

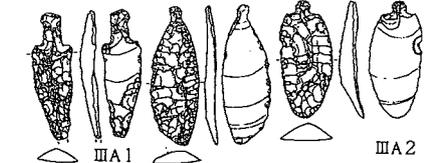


II A1

II A2

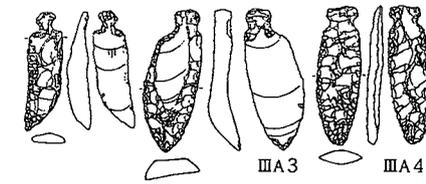
II A3

III 群A類



III A1

III A2



III A3

III A4

図III-3 石器分類模式図(1)

- 5：縦長で側縁に刃部をもつもの
- 6：素材の形状を大きく変えていないもの
- 8：分類の困難な破片・未成品など

【IV 群】 石斧類

A 類 石斧

- 1：擦り切り手法によって製作されたもの
- 2：敲打痕のみられるもの
- 3：打ち欠きにより整形されているもの
- 4：部分的に磨かれているもの
- 5：全面磨製のもの
- 8：分類の困難な破片・未成品など

B 類 石のみ

【V 群】 たたき石

A 類 たたき石

- 1：棒状礫を素材としたもの
- 2：扁平礫を素材としたもの
- 3：円礫を素材としたもの
- 4：くぼみ石と称されるもの
- 8：分類の困難な破片・未成品など

【VI 群】 すり石

A 類 すり石

- 1：断面が三角形の礫の稜をすったもの
- 2：扁平礫を素材としたもの
- 3：扁平礫を半円状に打ち欠き弦をすったもの
- 4：円礫を素材としたもの
- 5：北海道式石冠と称されるもの
- 8：分類の困難な破片・未成品など

【VII 群】 石鋸・砥石類

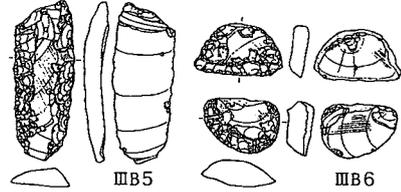
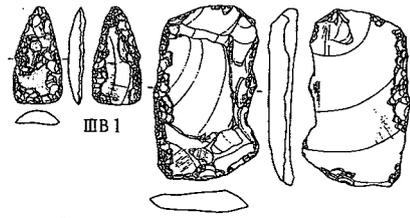
A 類 石鋸

- 1：石鋸
- 8：分類の困難な破片・未成品など

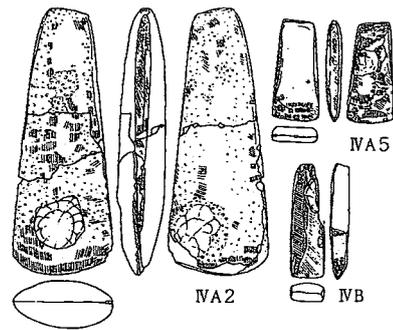
B 類 砥石

- 1：研磨面に溝があるもの
- 2：板状のもの
- 3：角柱状のもの

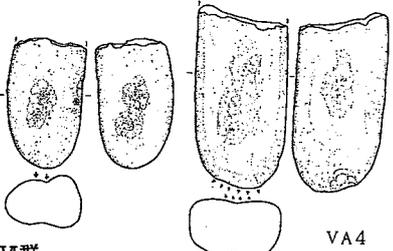
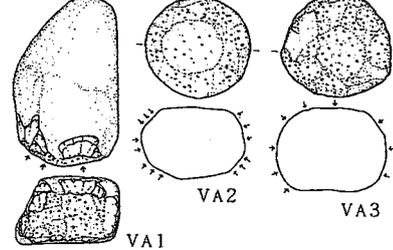
III群B類



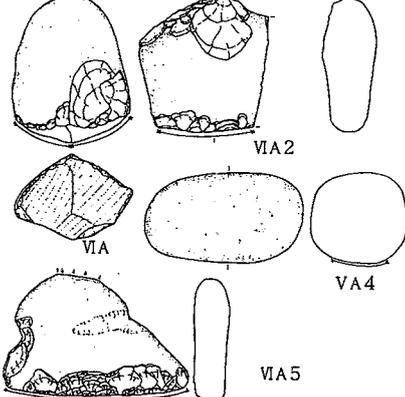
IV群



V群



VI群



図III-4 石器分類模式図(2)

8：分類の困難な破片・未成品など

【VIII 群】 台石もしくは石皿

A 類 台石もしくは石皿

1：台石・石皿

8：分類の困難な破片・未成品など

【IX 群】 石錘

A 類 石錘

【X 群】 加工痕、使用痕のみられる剝片や礫など

A 類 加工痕、使用痕のみられる剝片

1：剝片に加工痕のみられるもの (R・フレイク)

a：ピース・エスキーユと称されるもの

b：加工痕から器種を特定できないもの

2：剝片に使用痕のみられるもの (U・フレイク)

B 類 加工痕のみられる礫

1：擦り切り痕のある礫および礫片

2：意図の不明瞭な加工痕のあるもの

【XI 群】 石核・剝片類

A 類 石核・原石

1：石核

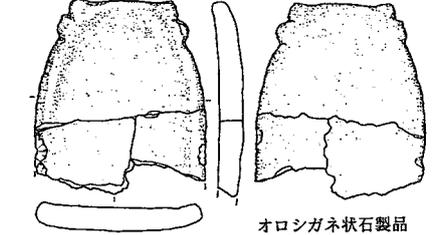
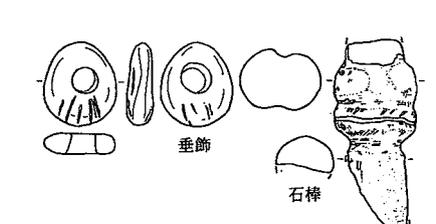
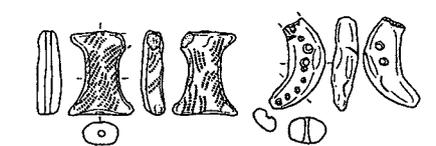
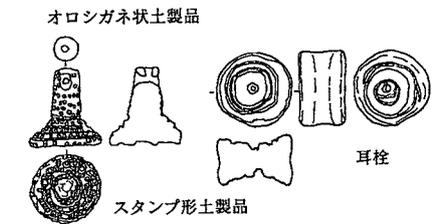
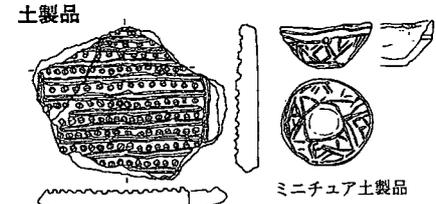
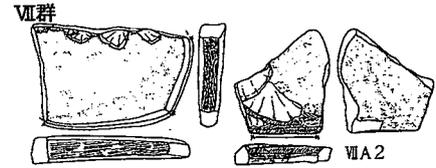
2：石器原石・石器素材と考えられるもの

B 類 剝片・破片・碎片

(3) 土製品・石製品

土製品には、オロシガネ状土製品・ミニチュア土製品・スタンプ形土製品・耳栓・動物形土製品などがある。また、焼成粘土塊も出土しており、その形状は、ほとんどは不整形なものである。

石製品には、三日月形石器をはじめとする異形石器・玉・垂飾・石棒・オロシガネ状石製品などがある。



図III-5 石器分類模式図(3)

IV 縄文時代後期の遺構と遺物

1. 概要

本章では建物跡127軒（柱穴状ピット456基）、柱穴状ピット1474基、土壇12基、焼土238ヵ所、流水跡2ヵ所とその出土遺物について説明し、掲載している。

遺構は建物跡、柱穴状ピット、土壇、焼土、流水跡の順に記載し、いずれも番号順に説明している。建物跡は、位置、規模、長軸方向、確認、覆土、出土遺物、時期、付設遺構・重複・建て替えなどの順で説明する。建物跡の柱穴状ピットおよび個々の柱穴状ピットは、規模、壇底レベル、土層注記、出土遺物などについて一覧表にし、建物跡の柱穴状ピットは事実記載のあとに建物跡ごとに掲載し、個々の柱穴状ピットは各発掘区ごとに掲載している。土壇は、位置、規模、平面形、長軸方向、確認・調査・土層、壇底、壁、遺物出土状況、性格、時期の順で説明している。焼土は、位置、規模、検出層位、色調などを一覧表にしてまとめて掲載している。流水跡は、位置、確認・調査・土層、底・壁、遺物出土状況、時期の順で記載している。

出土遺物は、柱穴状ピット（RLP・RLSP）出土の土器・石器、土壇出土の土器・石器、焼土出土の土器・石器、流水跡出土の土器・石器の順にまとめて掲載している。また出土遺物と掲載土器・石器は一覧表にして図版のあとに掲載している。

なお建物跡と柱穴状ピットの一覧表で土層注記の土層名を以下のように略して使用している。

黒色土→黒 黒褐色土→黒褐 暗褐色土→暗褐 褐色土→褐

その他についても「色土」を略している。

2. 建物跡（図IV-1～80、表IV-1～79・208～211・220～225）

平成10年度R地区の調査で1930基の柱穴状ピットが検出され、このうち456基で127軒の建物跡を確認することができた。これらは調査区の西～北西側、標高9m～10mの台地上に分布している（図IV-2）。北から南へ傾斜する緩斜面の肩口に沿って建物跡がほぼ東西にのび、それに平行するように並んでいる。建物跡には出入口ピットを有するものや大型の柱穴状ピットがほぼ正方形に配列するもの（平成9年度キウス4遺跡H・K地区では「大型柱穴列」としている）もあり、また数回の建て替えが行われた様子を示す建物跡などもある。これらはすべて掘り込みなどの形跡がなく、掘立柱建物跡と考えられる。

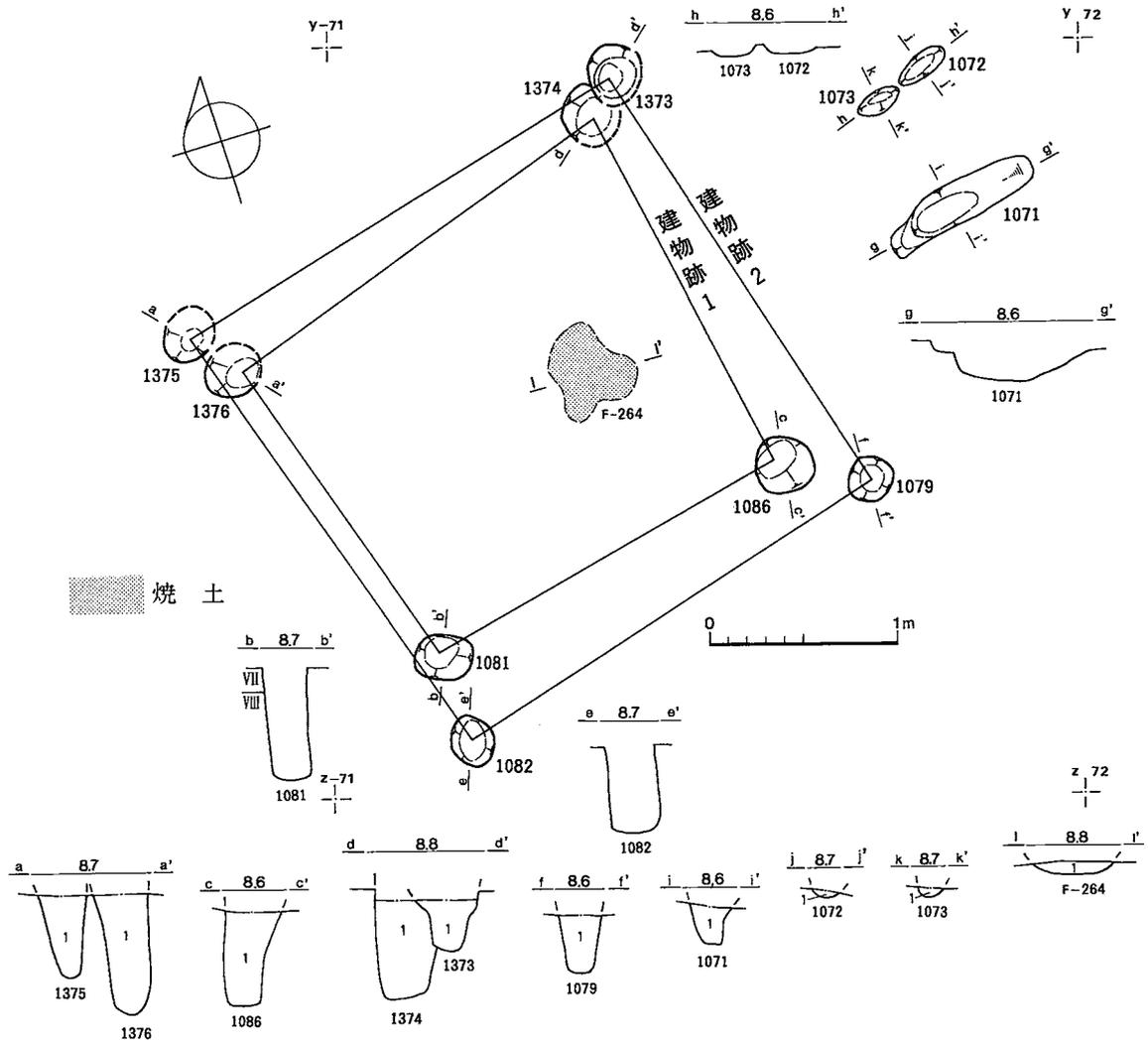
台地上にはSE層が広がっており、柱穴状ピットの多くはSE-2層上面付近で検出している。建物跡の柱穴状ピットから出土する遺物などから見て、建物跡が構築、利用されていた時期はIV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉であると考えられる。

発掘調査時点では柱穴状ピットに個々のピット番号を付し、覆土の観察、土層注記、平面形、エレベーションなどを実測して記録した。ところが調査の時間的制約や柱穴状ピット数が多かったことから、現地で建物跡と確認したのは出入口ピットを有する幾つかと大型の柱穴状ピットが配列するものなど数軒にすぎなかった。このため整理作業中に平面実測図、壇底レベル、覆土などを検討し、建物跡を確定した。

現地で確認した出入口ピットを有する建物跡と大型柱穴状ピットの建物跡を検討し、幾つかの要件が明らかとなった。即ち①出入口ピットは支柱穴の東側に位置し、中心軸は建物のほぼ中心付近で、長軸方向とほぼ一致する。②支柱穴は4基で、その配列はほぼ正方形か長方形である。③長軸方

向はおおむね東西方向であるが、南北方向のものもある。④柱穴状ピットの壙底レベル(標高)は近似値である。⑤覆土は同じような土である。また覆土が黒褐色土系の柱穴状ピットが暗褐色土系の柱穴状ピットを切って作られているものが多く、新旧関係を考える時、基本的に黒褐色土系の柱穴状ピットが暗褐色土系のものより新しいといえる。

これらの要件を踏まえ、基本的に支柱穴は最低3基として建物跡を確定した。なお図版および事実記載では、RLSPはピット番号だけを記し、RLPとQ地区のQLSPとQLPはP、QSP、QPと記している。



図IV-1 建物跡1・2

建物跡1・2 (図IV-1・2 表IV-1・195・198 図版4)

位置：y-70・71 標高8.50m付近、南側に張り出す台地上に位置する。

規模：建物跡1 1374-1086~2.06m 1086-1081~2.04m 1081-1376~1.84m 1376-1374~2.28m

建物跡2 1373-1079~2.54m 1079-1082~2.54m 1082-1375~2.62m 1375-1373~2.52m

支柱穴間平均は、建物跡1が2.06m、建物跡2が2.54mである。



図IV-2 建物跡位置図

長軸方向：N-76°-E 確認：VI~VII層 覆土：建物跡1の柱穴状ピットは黒色土、建物跡2のものは褐色味を帯びている。

出土遺物：建物跡1の1374の覆土中からIVc 4点、IVc-1 1点、フレイク1点、1376の覆土中からIVcが1点、1081の覆土中から石斧1点、すり石1点などが出土している。1086の覆土中からIVc 5点、IVc-1が2点出土している。建物跡2の1375の覆土中からは砥石が1点出土している。

時期：覆土や周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

建物跡1・2とも出入口ピットと焼土を伴い、支柱穴4基がほぼ正形状に配列する。出入口ピットは3基の楕円形状のピットからなり、出入口の幅は50cmほどである。北側は2基で、南側のものに比べ非常に浅い。南側のものは西側に段が見られる。炉跡と思われる焼土は出入口の長軸方向に一致し、建物跡1・2の中心より若干出入口側に位置する。焼土の厚さは約7cmで、固く焼けしまっている。被熱層はVI~VII層である。焼土中からIVc-1の土器片が1点出土している。

1373と1374の重複関係から見て、建物跡2が新しい。建物跡1・2はRMZ（盛土Z）に覆われていることから、それより古いものである。RMY（盛土Y）は建物跡1・2をよけるように堆積していることから、RMY形成の頃に建物跡1・2があり、それを意識して盛土を形成したことが考えられる。しかしながらRMV（盛土V）、RMW（盛土W）との関係ははっきりしない。

炉（RLF264）の焼土を採取して、浮遊選別処理し、自然科学的分析を依頼した。

表IV-1 建物跡1・2の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(堀底)面 (cm)	堀底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1071	1・2	y-71	87 × 22 / 36 × 13 / 20		8.29	①黒褐 (>φ5mm前後のEn-a) しまりやや弱い	出入口ピット
〃 -1072	〃	〃	30 × 12 / 20 × 16 / 4		8.43	①暗赤褐 (>φ5mm前後のEn-a) しまりやや弱い	出入口ピット
〃 -1073	〃	〃	24 × 11 / 14 × 4 / 4		8.42	①暗赤褐 (>φ5mm前後のEn-a) しまりやや弱い	出入口ピット
〃 -1374	1	〃	(33) × (31) / (22) × (19) / 59		8.01	①黒 (>φ1cm前後のEn-a) しまりやや弱い	1374→1373、フレイク、IVc、IVc-1
〃 -1376	〃	y-70	(32) × 29 / (20) × 17 / 64		7.94	①黒 (>φ1cm前後のEn-a) しまりやや弱い	IVc
〃 -1081	〃	y-71	32 × 24 / 18 × 18 / 60		8.00		石斧、すり石ほか
〃 -1086	〃	〃	32 × 30 / 20 × 15 / 50		7.98	①黒褐 (>φ5mm前後のEn-a) しまりやや弱い	IVc、IVc-1
〃 -1373	2	〃	(33) × (29) / (15) × (12) / 32		8.26	①暗褐 (>φ1cm前後のEn-a) しまりやや弱い	1373←1374
〃 -1375	〃	y-70	(30) × (26) / (14) × (11) / 44		8.15	①暗褐 (>φ5mm前後のEn-a) しまりやや弱い	砥石
〃 -1082	〃	y-71	28 × 23 / 22 × 15 / 46		8.10		
〃 -1079	〃	〃	24 × 22 / 14 × 13 / 31		8.15	①黒 (>φ5mm前後のEn-a) しまりやや弱い	

建物跡3 (図IV-2・3 表IV-2・195 図版5)

位置：q-77・78 標高9.50m付近、ほぼ北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

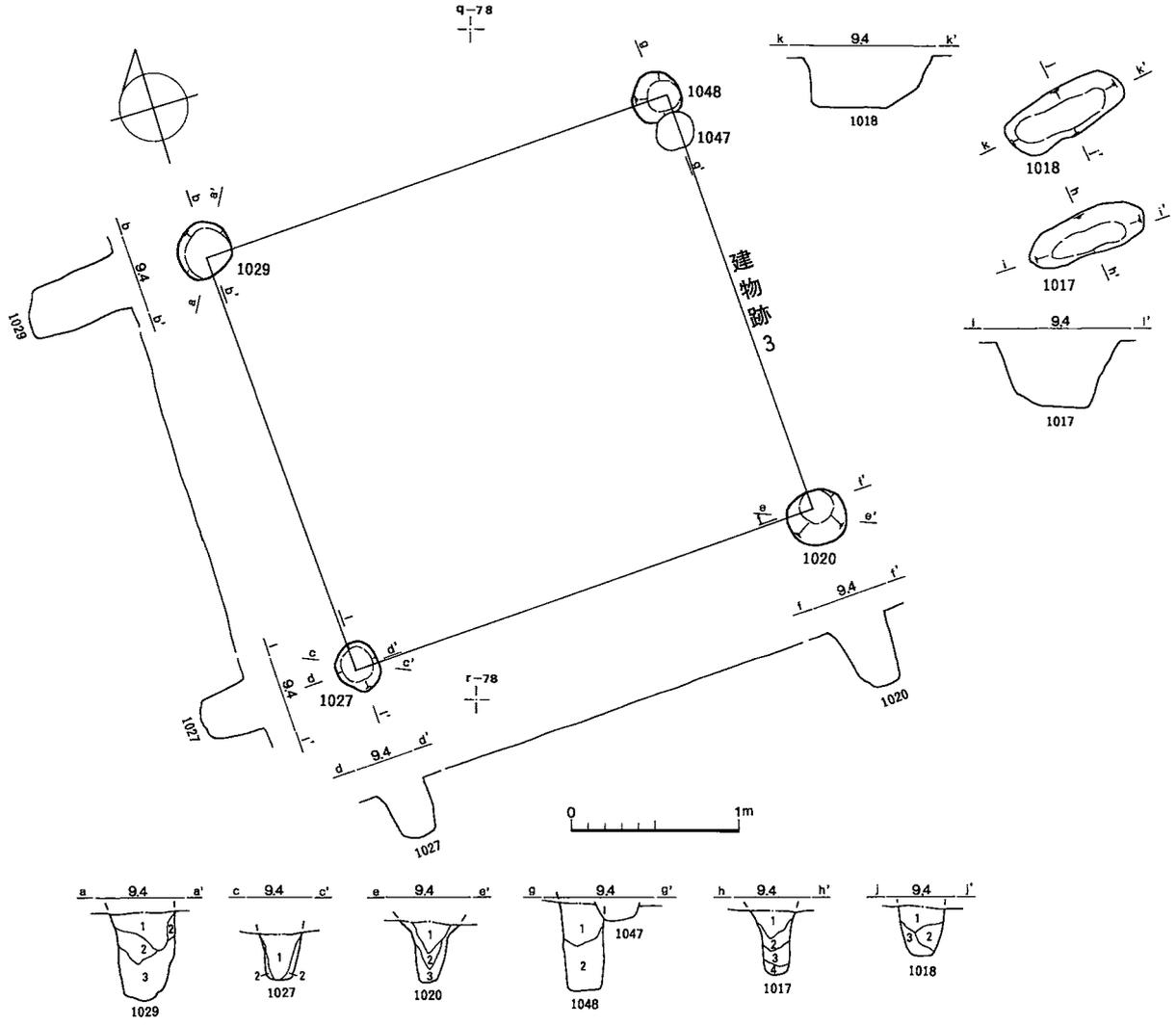
規模：1029-1048・1027-1020（東西）～2.87m 1029-1027・1048-1020（南北）～2.60m

長軸方向：N-88°-E 確認：VII層上面 覆土：暗褐色土

出土遺物：1020の覆土中からIVc、IVc-1が各1点ずつ、1048の覆土中からフレイク1点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口を有し、支柱穴4基をやや長形状に配列するものである。出入口ピットは長楕円形状のピットが2基（1017、1018）で、長軸方向はほぼ東西方向である。ピット間の幅は約40cmほどである。柱穴状ピットの確認面での径は30cm～40cm、深さは北側の2基が深く南側の1基は浅いが、堀底面のレベルは大きな差はない。重複、建て替えは見られない。



図IV-3 建物跡3

表IV-2 建物跡3の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(塘底)面 (cm)	塘底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1017	3	q-78-79		74 × 27 / 46 × 13 / 40	8.92	①暗褐色 (>φ 5~10mmのEn-a) VI+VIII、 ②暗黄褐色 (>φ 5~10mmのEn-a) VI+VII+VIII、 ③=① ④黄褐色 (>φ 5~10mmのEn-a) VII+VIII	出入口ピット
"-1018	"	q-78		75 × 30 / 58 × 17 / 30	9.03	①暗褐色 (>φ 5~10mmのEn-a) VI+VIII、②黄褐色VIIロ ムブロック、③=① (①より軽石が多い)	出入口ピット
"-1048	"	"		(30) × 30 / 19 × 20 / 52	8.84	①暗褐色 (>φ 5~10mmのEn-a) VI+VIII、 ②黒~暗褐色 (>En-a) VI	1048→1047、 フレイク
"-1029	"	q-77		36 × 31 / 30 × 26 / 60	8.71	①暗褐色 (>φ 5~10mmのEn-a) VI+VIII、②=① (①よ りEn-a多い) ③黒~暗褐色 (>En-a) VI	
"-1027	"	"		30 × 27 / 21 × 19 / 32	8.90	①暗褐色 (>φ 5~10mmのEn-a) VI+VIII、②黄褐色 (>φ 5 ~10mmのEn-a) VII+VIII	
"-1020	"	q-78		36 × 33 / 21 × 19 / 42	8.82	①黒~暗褐色 (>En-a) VI、②暗褐色 (>φ 5~10mmのEn -a) VI+VIII、③暗黄褐色 (>φ 5~10mmのEn-a)	IVc、IVc-1

建物跡 4 (図IV-2・4 表IV-3)

位置：s-74・75 t-74・75 標高9.40m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：586-1191・615-P43 (東西) ~2.75m 586-615・1191-P43 (南北) ~2.50m

長軸方向：N-72°-E 確認：VI層中 覆土：黒褐色土を主体とし、粘質気味である。

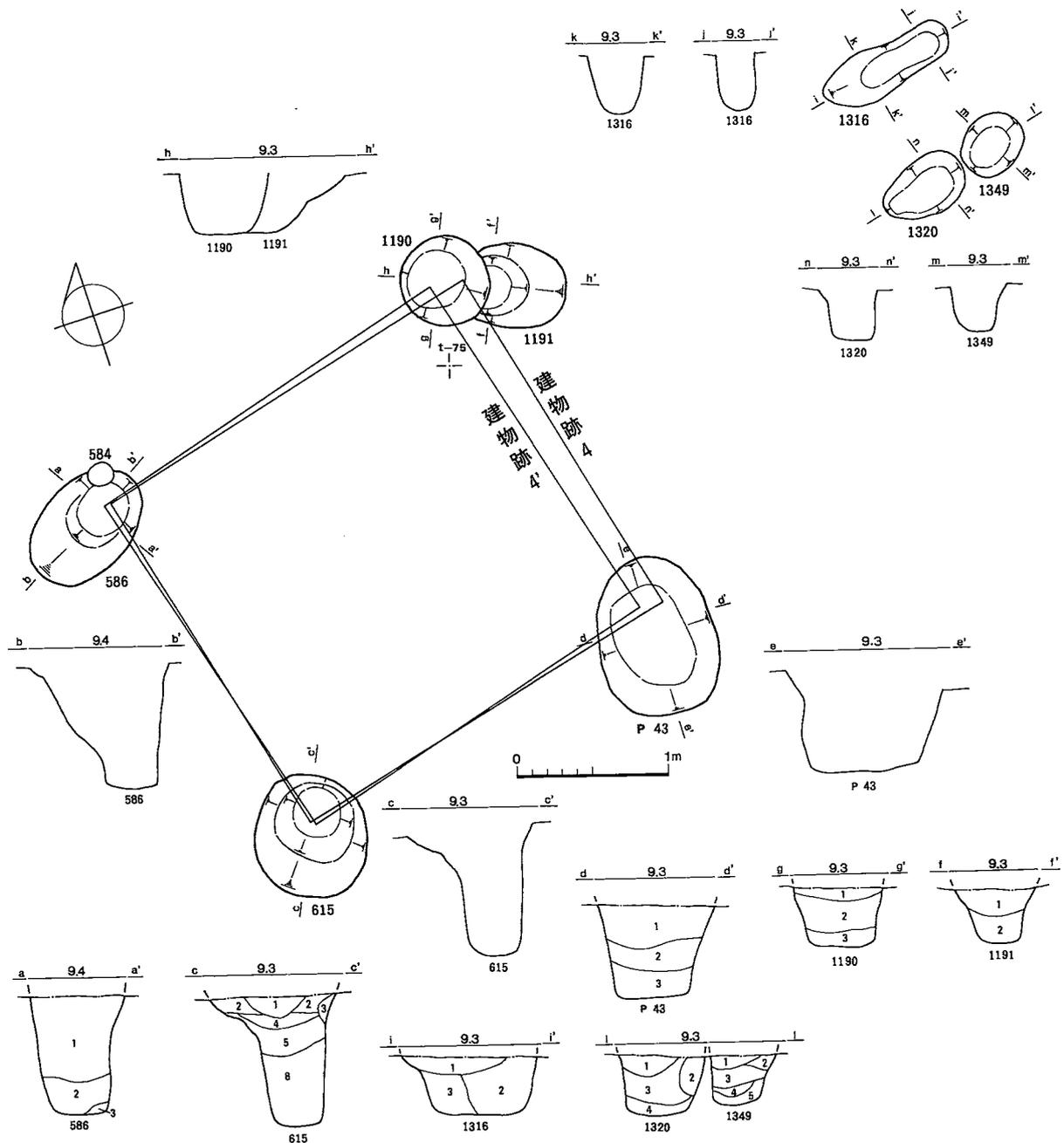
時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピットを有し、主柱穴4基がほぼ正方形に配列する。出入口ピットは3基で、北側が1基、南側が2基である。出入口の幅は50cm程である。主柱穴は大型の柱穴状ピットである。1190と1191の重複関係から見て、建物跡4'より古いものである。

建物跡 4' (図IV-2・4 表IV-3)

位置：s-74・75 t-74・75 標高9.40m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：586-1190・615-P43 (東西) ~2.58m 586-615・1190-P43 (南北) ~2.52m



図IV-4 建物跡 4・4'

長軸方向：N-74°-E 確認：VI層中 覆土：黒褐色土を主体とし、粘質気味の土である。
 出土遺物：586の覆土中からIVc-1、フレイク各1点ずつ、615の覆土中からIVa 1点、IVb-4 2点、IVc 6点、IVc-1が7点、フレイク7点、P-43の覆土中からIVb-4が1点、IVcが12点、IVc-1が1点、フレイク 24点(被熱1点)などが出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピットを有し、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。支柱穴は大型の柱穴状ピットである。出入口ピットは建物跡4のものを使用していたと考えられる。1190と1191の重複関係から見て、建物跡4より新しく、建て替えられたものである。

表IV-3 建物跡4・4'の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(堀底)面 (cm)	堀底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考(付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1316	4・4'	s-75	94 × 32 / 56 × 18 / 38	8.84	①黒褐>黄(>En-a)、②黒褐>黄(>En-a) ③黒褐(>En-a)粘質	出入口ピット	
" -1320	"	"	57 × 38 / 45 × 24 / 40	8.81	①暗褐>黄 ②=①(>En-a) ③=①(>En-a) ④黒褐 粘質	出入口ピット	
" -1349	"	"	44 × 37 / 31 × 21 / 32	8.86	①暗褐 ②①>黄(>En-a) ③黒褐>黄(>En-a) ④En-a+黄色砂 ⑤暗灰褐 粘質	出入口ピット	
" -1191	4	"	(70) × 56 / (24) × 29 / 37	8.80	①暗褐>黄(>En-a) ②黒褐>黄(>En-a)粘質	1191→1190	
" -586	4・4'	t-74	88 × 61 / 34 × 32 / 82	8.46	①暗褐>黄(>En-a) 堅い ②=①(>黄) ③黒褐	586→584 IVc-1、フレイク	
" -615	"	"	80 × 76 / 33 × 32 / 88	8.30	①黒褐(>En-a)粘質 ②暗褐>黄(>En-a)軟質 ③褐>黄(+En-a) ④黒褐>黄(+En-a) ⑤暗褐>黄(>En-a) ⑥黒褐+暗褐+黄 堅い	IVa、IVb-4、IVc、IVc-1 フレイク、堀底堅い	
RLP-43	"	t-75	104 × 78 / 68 × 42 / 62	8.49	①黒褐(>φ1cm前後のEn-a) ②黒褐(>φ2cm以下のEn-a) ③黒褐(>5mm前後のEn-a)しまり中	IVb-4、IVc、IVc-1	
RLSP-1190	4'	s-74,75	58 × 59 / 40 × 36 / 40	8.80	①暗褐>黄(>En-a) ②黒褐>黄+砂(>En-a)ポロポロ ③黒褐 粘質	1190→1191、 フレイク	

建物跡5 (図IV-2・5 表IV-4・198)

位置：P-75・76・77 Q-75・76・76 R-76 標高9.50m~9.80m、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：1163-1273'・1323-1276(東西)~4.60m 1163-1323・1273'-1276(南北)~4.42m

長軸方向：N-66°-E 確認：VII層中 覆土：暗褐色土と褐色土で、やや粘質である。

出土遺物：1261の覆土中からIVcが7点、1163の覆土中からIVcが6点、IVc-1が1点、すり石が1点、1323の覆土中からIVc、Rフレイクが各1点ずつ出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピットを有し、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。1157、1197、1288はその位置関係から見て、本建物跡に関連すると思われる。覆土のちがいなどから考えると本建物跡の出入口ピットは1261と1265である。その幅は約78cmである。1273と1273'の重複関係から見て建物跡5'より古いものである。

建物跡5' (図IV-2・5 表IV-4・195)

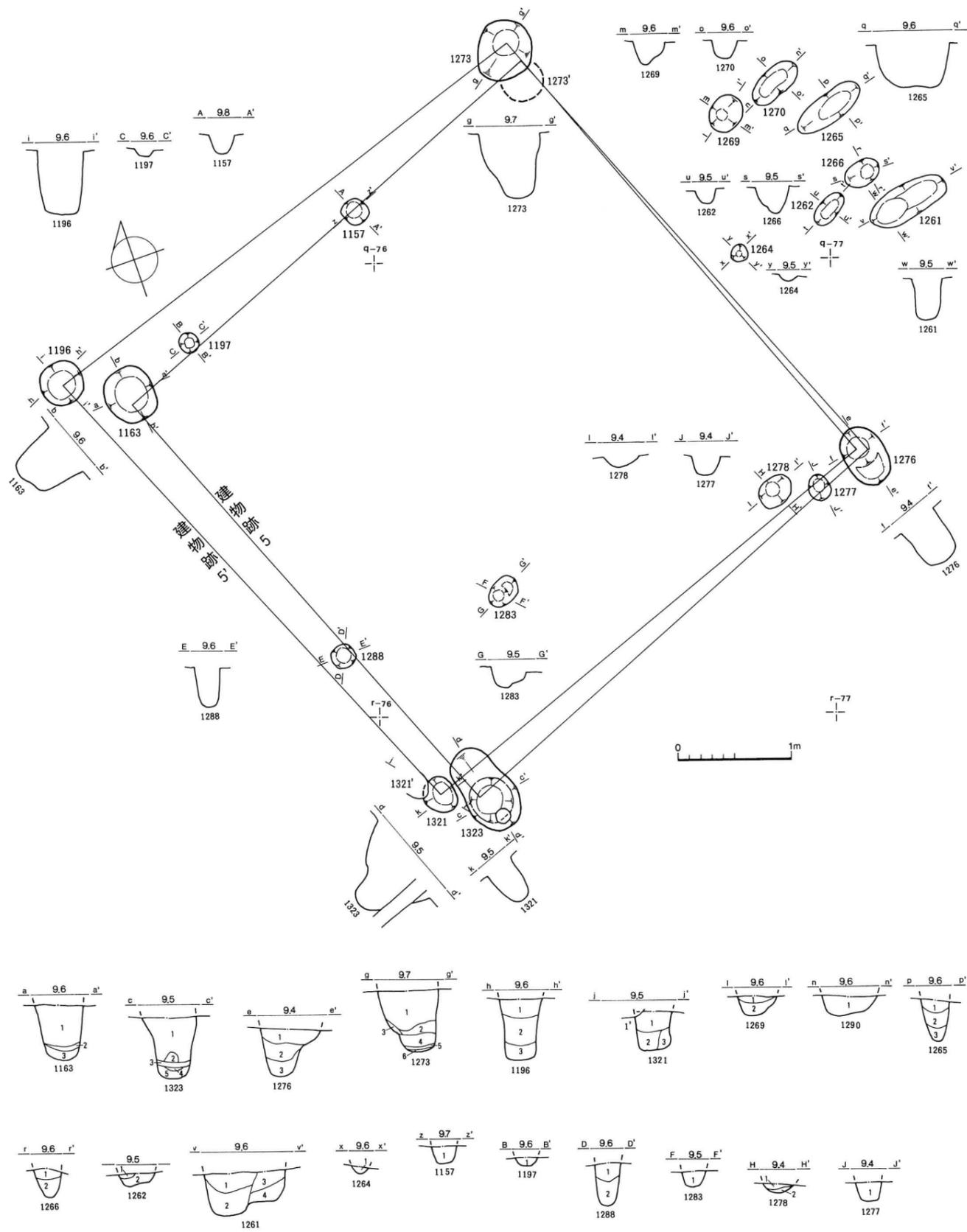
位置：P-76・77 Q-75・76・77 R-76 標高9.50m~9.80m、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：1196-1273~4.94m 1321-1276~4.75m 1196-1321~4.88m 1273-1276~4.72m 支柱

穴間の平均は、東西が4.84m 南北が4.80mである。長軸方向：N-68°-E 確認：VII層中

覆土：暗褐色土と黒褐色土で、全体に堅く、粘質である。

出土遺物：1276の覆土中からIVcが1点、1269の覆土中からIVcが1点、1270の覆土中からIVcが1点、



図IV-5 建物跡 5・5'

フレイクが1点、1321の覆土中からIVcが3点出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピットを有し、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。覆土のちがいや位置関係から見て、1266・1262と1270・1269の4基が出入口ピットと思われる。幅は約9.60mである。1273と1273'の重複関係から、建物跡5より新しく、出入口ともに建て替えられたのであろう。

表IV-4 建物跡5・5'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面 床(掘底)面 (cm)		掘底 レベル (m)	覆土(土層記号)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1261	5	p-77	72 × 30	30 × 18 / 37	9.05	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ③褐>黄 (>En-a) ④暗褐>黄 (>En-a) 全体にボロボロ	出入口ピット IVc
〃 -1265	〃	p-76・77	66 × 26	34 × 15 / 37	9.10	①黒褐>黄 (>En-a) ②En-a>砂 ボロボロ ③黒褐 砂質、ボロボロ	出入口ピット
〃 -1273'	〃	r-76	(40) × (37)	— × — / —	—	①褐 (>En-a)	1273'→1273
〃 -1163	〃	q-75	43 × 44	31 × 28 / 46	9.03	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い ②小さなEn-a+砂 ③暗灰褐 粘質	IVc、IVc-1、すり石
〃 -1323	〃	r-76	79 × 46	23 × 26 / 54	8.83	①褐>黄 (>En-a) ②En-a ③暗褐>黄 (>En-a) ④暗黄 ⑤灰褐 粘質	IVc、Rフレイク
〃 -1276	5・5'	q-77	53 × 35	20 × 20 / 42	8.84	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 粘質 ③En-a+暗 灰褐	IVc
〃 -1157	5	p-75	23 × 21	13 × 13 / 15	9.48	①黒褐 粘質	
〃 -1197	〃	q-75	16 × 16	9 × 9 / 8	9.46	①黒褐 (>En-a)	
〃 -1288	〃	〃	20 × 22	13 × 14 / 37	9.10	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (黒い) ボソボソ	
〃 -1262	5'	p-76・77	33 × 17	8 × 8 / 12	9.31	①En-a>② ②黒褐>黄 (>En-a)	出入口ピット
〃 -1266	〃	p-77	30 × 23	12 × 11 / 23	9.22	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) ザラザラ	出入口ピット
〃 -1269	〃	p-76	34 × 28	10 × 10 / 18	9.32	①黒褐ザラザラ ②黒褐 (>En-a) 堅く、粘質	出入口ピット、IVc
〃 -1270	〃	〃	47 × 25	31 × 11 / 17	9.36	①黒褐 (>En-a) 堅く、粘質	出入口ピット、IVc、 フレイク
〃 -1273	〃	〃	56 × 50	24 × 24 / 55	9.06	①褐>黄 (>En-a) ②明褐 砂質 ③暗褐+砂 ④暗褐 粘質 ⑤暗黄 ⑥黒褐 粘質	1273←1273'
〃 -1196	〃	q-75	40 × 39	25 × 24 / 55	8.96	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ③黒褐 粘 質	フレイク
〃 -1321	〃	r-76	33 × 28	22 × 16 / 34	9.04	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) ザラザラ ③=② 粘質	IVc
〃 -1283	〃	q-76	31 × 21	11 × 10 / 14	9.24	①黒褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
〃 -1278	〃	〃	33 × 25	13 × 12 / 10	9.18	①En-a>② ②黒褐	
〃 -1277	〃	〃	22 × 20	12 × 12 / 18	9.10	①黒褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
〃 -1264	〃	p-76、q-76	15 × 14	6 × 6 / 6	9.40	①黒褐 (>En-a)	

建物跡6 (図IV-2・6 表IV-5)

位置：s-73・74 t-73・74 北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。

規模：390— 540-577 (東西) ~2.77m 390-540・ 577 (南北) ~2.78m

長軸方向：N-22°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピットを有し、支柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものである。覆土のちがいや位置関係から見て、本建物跡の出入口ピットは19と20であろう。ピット間の幅は約30cmである。390と391の重複関係から、建物跡6'より古いものといえる。

建物跡6' (図IV-2・6 表IV-5)

位置：s-73・74 t-73・74 北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。

規模：391— 540-577 (東西) ~2.76m 391-540・ 577 (南北) ~2.92m

長軸方向：N-23°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土

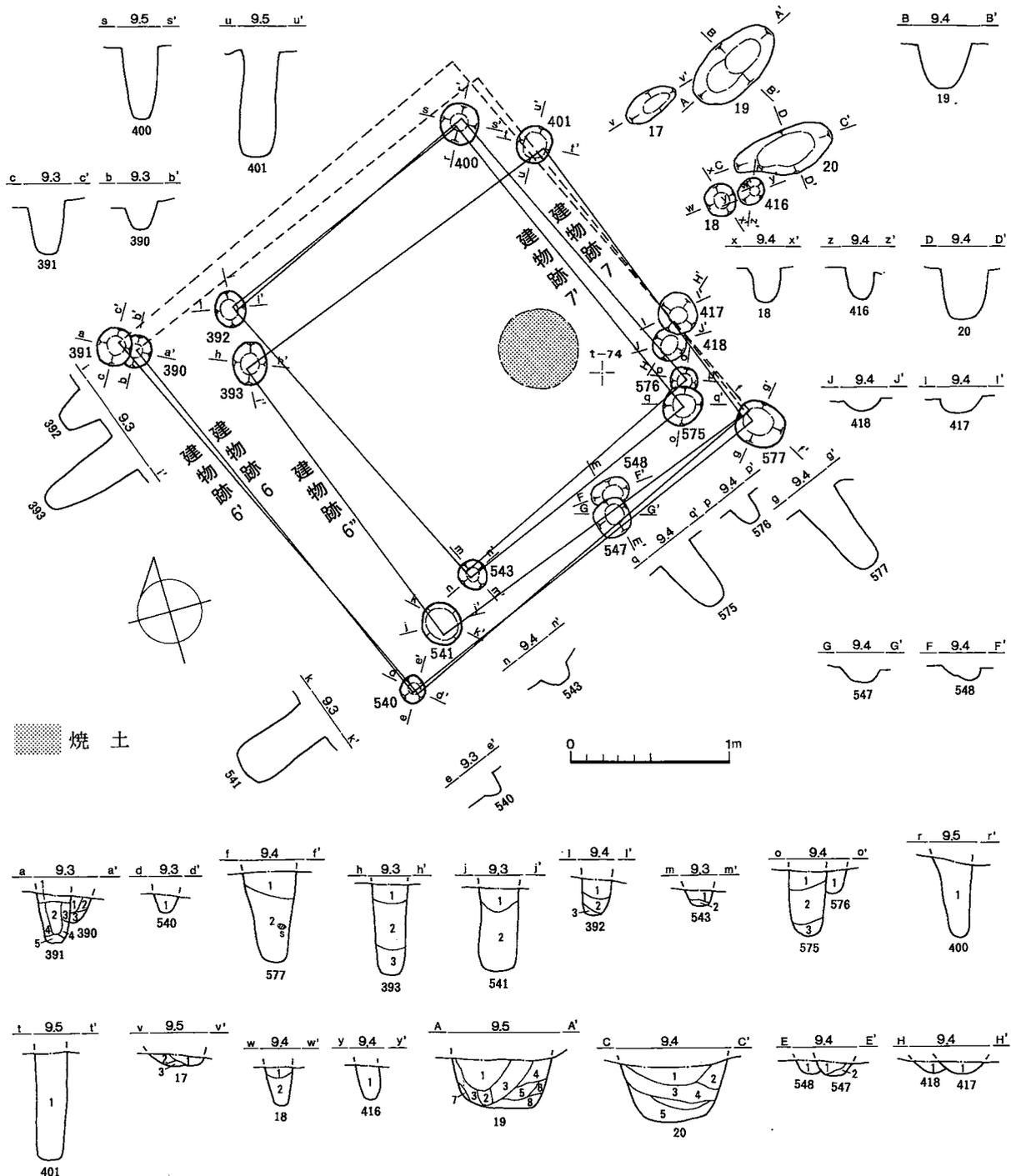
出土遺物：20の覆土中からIVcが7点、フレイクが4点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピット(19・20)を有し、支柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものである。390と391の重複関係から見て、建物跡6より新しく、建て替えられたものである。

建物跡6''(図IV-2・6 表IV-5)

位置：s-73・74 t-73・74 北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。周辺は耕作によりVIII層中まで攪乱されている。



図IV-6 建物跡6・6'・6''・7・7'

規模：393-401・541-577（東西）～2.35m 393-541・401-577（南北）～2.10m

長軸方向：N-71°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：541は黒褐色土で、他は暗褐色土である。

出土遺物：541と548の覆土中からIVcが各2点ずつ、401の覆土中からフレイクが1点出土している。

時期：覆土や周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものと思われる。位置関係から見て出入口ピットは認められない。柱穴状ピットはすべて50cm～70cmと深い。建物跡6・6'・6"は577を共用しており、建て替えられたもので、覆土から見て本建物跡がもっとも新しいものであろう。

建物跡7（図IV-2・6 表IV-5）

位置：s-73・74 t-73・74 北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。

規模：392-400・543-576（東西）～1.88m 392-543・400-576（南北）～2.20m

長軸方向：N-24°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土

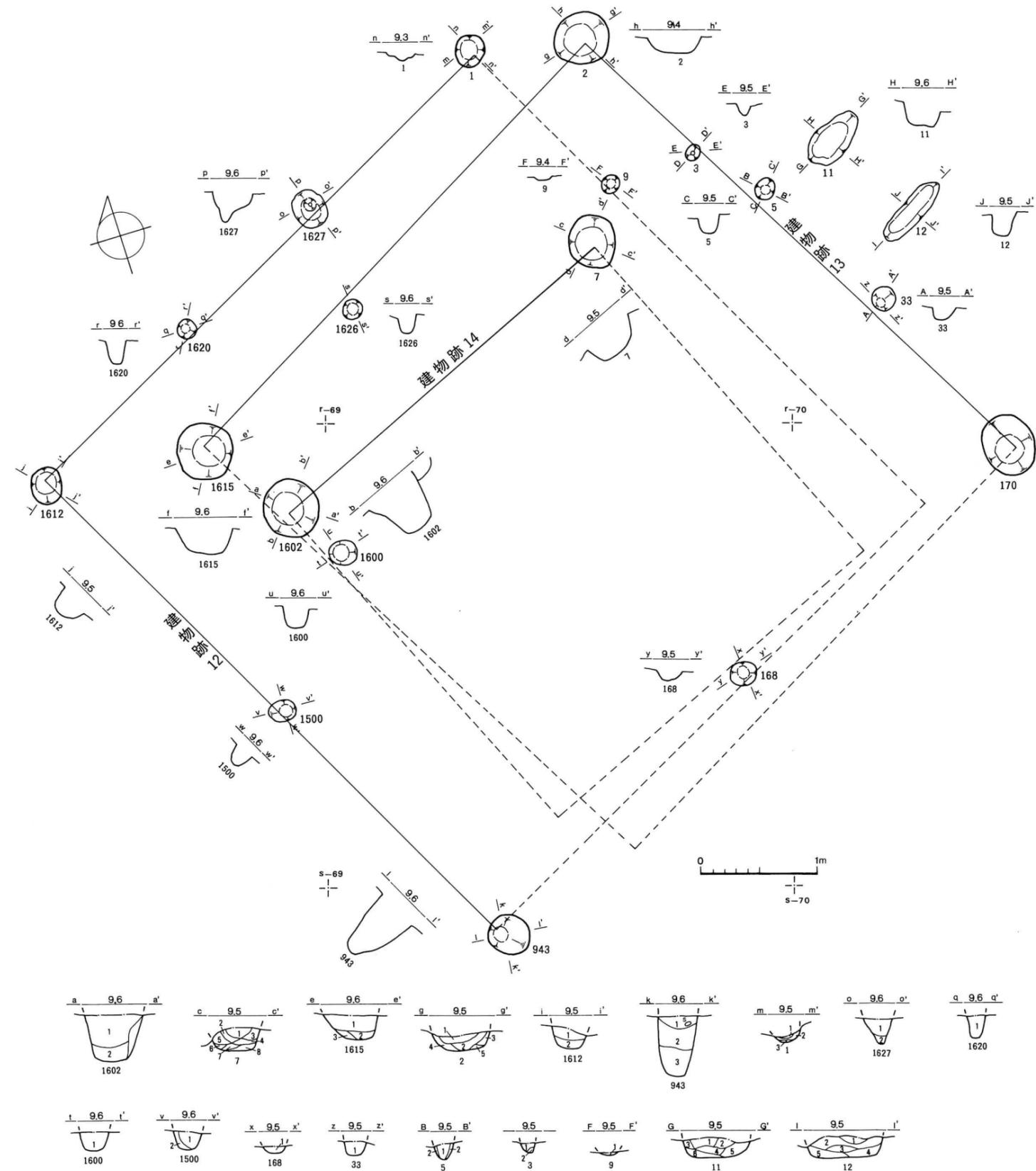
時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピットを有し、支柱穴4基が長方形に配列するものである。出入口ピットは17・18・416の3基で北側と南側の幅は約55cmである。576と575の重複関係から見て、建物跡7'より古いものといえる。

建物跡7'（図IV-2・6 表IV-5・198）

位置：s-73・74 t-73・74 北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。周辺は耕作によりⅧ層中
表IV-5 建物跡、6・6'・6"・7・7'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面 床(坑底)面 (cm)		坑底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-19	6・6'	s-74	64 × 30 / 43 × 18 / 30		9.00	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ ②=① ボソボソ ③=① (En-a多い) 堅い ④=③ (黄色土多い) ⑤ ①>砂粒状のEn-a、ザラザラ ⑥ ④より黄色土少な い ⑦暗褐>黄 (>En-a) 粘質 ⑧=⑤粘質	出入口ピット
〃 -20	〃	〃	65 × 30 / 38 × 20 / 37		8.93	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ ②=① (黄・小さな En-a多い) ③=①堅い ④=① (黄色土多い) 堅い ⑤=① (En-a少ない) 粘質	出入口ピット IVc、フレイク
〃 -390	6	s-73	21 × (18) / 9 × (9) / 16		9.01	①暗褐>黄 ②=① (>小さなEn-a) ③=① (>En-a)	390←391
〃 -540	6・6'	t-73	16 × 14 / 7 × 6 / 12		9.06	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -577	6・6'・6"	t-74	32 × 25 / 20 × 18 / 56		8.74	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い ②=①ボソボソ	
〃 -417	6'	s-74	27 × 26 / 12 × 12 / 8		9.27	①暗褐>黄 (>En-a)	417←418
〃 -418	6	〃	(22) × 20 / (14) × 11 / 6		9.24	①暗褐>黄 (>En-a)	418←417
〃 -391	6'	s-73	24 × 22 / 12 × 12 / 31		8.86	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (>大きなEn-a) ボソボ ソ ③=①軟質 ④=① (>大きなEn-a) 砂質	391←390
〃 -401	6"	〃	24 × 21 / 16 × 15 / 70		8.68	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	フレイク
〃 -393	〃	s-73、t-73	27 × 22 / 13 × 12 / 59		8.64	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (>小さなEn-a) ボソボ ソ ③=① (>小さなEn-a、黄色土多い)	
〃 -541	〃	t-73	28 × 24 / 22 × 18 / 54		8.66	①黒褐>黄 (>小さなEn-a) ②=① (>En-a) ボソボ ソ	IVc
〃 -548	〃	s-73・74	26 × (16) / 14 × (10) / 8		9.22	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	548→547、IVc
〃 -547	〃	〃	23 × 23 / 13 × 13 / 8		9.21	①暗褐 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	547←548
〃 -18	7・7'	s-74	21 × 19 / 11 × 10 / 25		9.04	①暗褐>黄 ②=① (>En-a)	出入口ピット
〃 -416	〃	〃	18 × 15 / 3 × 3 / 20		9.06	①暗褐>黄 (>En-a)	出入口ピット、IVc
〃 -17	〃	〃	35 × 18 / 18 × 8 / 8		9.27	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a) ③ ②<大きなEn-a	出入口ピット IVc、IVc-1、フレイク
〃 -400	〃	s-73	26 × 24 / 11 × 12 / 49		8.92	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
〃 -392	〃	〃	22 × 20 / 12 × 12 / 22		9.02	①暗褐 (>En-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
〃 -576	7	s-74、t-74	(16) × 17 / (10) × 10 / 15		9.15	①暗褐>黄 (>En-a)	576→575
〃 -575	7'	t-74	25 × 22 / 16 × 14 / 42		8.91	①暗褐>黄 (>En-a) ②=①ボソボソ ③=① (>黄)	575←576、IVc
〃 -543	7・7'	t-73	19 × 18 / 9 × 8 / 10		9.10	①黒褐 ② ①+En-a	



図IV-9 建物跡12・13・14

まで攪乱されている。

規模：392-400・543-575(東西) ~1.73m 392-543・400-575(南北) ~2.30m

長軸方向：N-24°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土

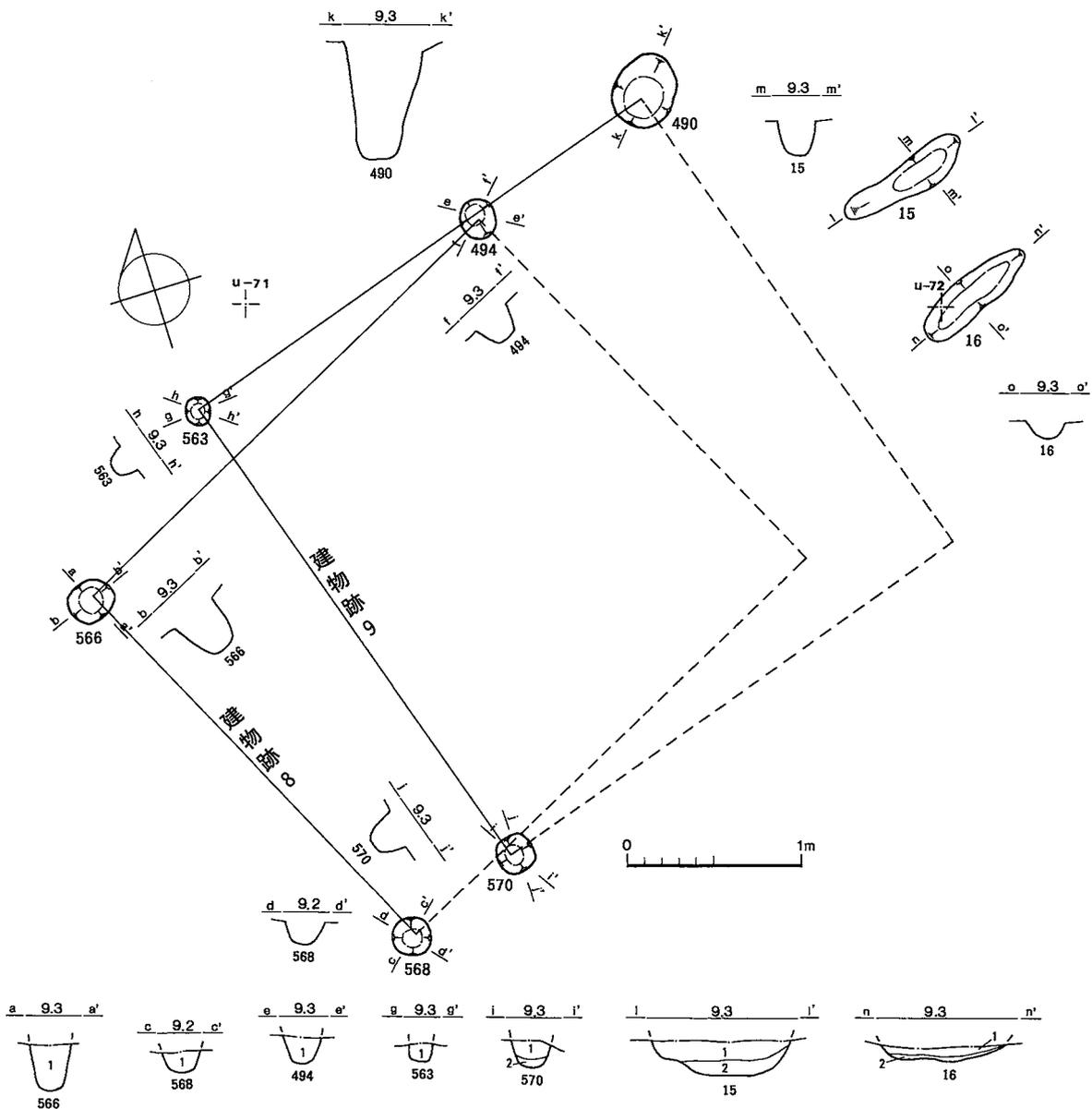
出土遺物：416の覆土中からIVcが1点、17の覆土中からIVcが3点、IVc-1が2点、フレイク1点、575の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：覆土や周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピット(17・18・416)を有し、支柱穴4基が長方形に配列するものである。576と575の重複関係から見て、建物跡7より新しく、建て替えられたものである。検出された焼土は炉跡と思われる、本建物に伴うものであろう。50cm×50cmの円形状の範囲で、層厚約10cm、褐色土を少量混入する赤褐色の焼土である。

建物跡8(図IV-2・7 表IV-6)

位置：t-71 u-70・71 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。



図IV-7 建物跡8・9

規模：566-494・568- (東西) ~3.10m 566-568・494- (南北) ~2.68m

長軸方向：N-63°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土

出土遺物：568の覆土中からIVcが1点、フレイクが1点出土している。

時期：覆土や周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基（南東の柱穴状ピットは未確認）が長方形に配列するものであろう。覆土の堆積状況のちがいから見て、建物跡9より古いものと思われる。柱穴状ピットの墳底レベルはほぼ9.00m付近である。

建物跡9 (図IV-2・7 表IV-6・198)

位置：t-71・72 u-70・71・72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

規模：563-490・570- (東西) ~3.10m 563-570・490- (南北) ~3.10m

長軸方向：N-71°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：黒褐色土

出土遺物：490の覆土中からIVcが3点、石斧片1点、フレイク2点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピット(15・16)を有し、支柱穴4基（南東の柱穴状ピットは未確認）が正方形に配列するものと思われる。覆土のちがいから見て、建物跡8より新しいと思われる。490は深さ66cmあり、しっかり掘られている。

表IV-6 建物跡8・9の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-494	8	t-71	23 × 20	12 × 12 / 16	9.03	①暗褐>黄 (>En-a) 堅く、砂質	
// -566	//	u-70	27 × 24	15 × 13 / 27	8.86	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -568	//	u-71	20 × 20	10 × 11 / 12	9.01	①暗褐>黄 (>En-a)	IVc、フレイク
// -15	9	t-71・72	79 × 22	36 × 10 / 20	8.95	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>大きなEn-a)	出入口ピット
// -16	//	t-71・72 u-71・72	74 × 21	55 × 10 / 10	9.03	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>小さなEn-a)	出入口ピット
// -490	//	t-71	42 × 36	24 × 22 / 66	8.52		IVc、石斧、フレイク
// -563	//	u-70	16 × 14	9 × 8 / 10	9.04	①黒褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -570	//	u-71	20 × 20	10 × 11 / 16	9.02	①黒褐>黄 ② ①>En-a	

建物跡10 (図IV-2・8 表IV-7)

位置：s-70・71 t-70・71 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

規模： -315・478-481 (東西) ~3.64m -478・315-481 (南北) ~4.60m

長軸方向：N-29°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土に灰褐色土が混在する。

出土遺物：315の覆土中からIVcが2点、フレイクが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピットを有し、支柱穴4基（北西の柱穴状ピットは未確認）が長方形に配列するものと思われる。327と330は覆土、位置関係から見て本建物跡の出入口ピットであろう。ピット間の幅は約58cmである。建物跡10'とは、覆土のちがいから見て本建物跡が古いものと思われる。315の墳底中央部に径約10cmほどの浅いくぼみが見られる。470と474は位置関係から本建物跡に関連するピットと思われる。

建物跡10' (図IV-2・8 表IV-7)

位置：s-70・71 t-69・70・71 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

規模：732- 478-481 (東西) ~3.90m 732-478・ -481 (南北) ~4.40m

長軸方向：N-35°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土

出土遺物：478の覆土中からIVcが1点、フレイク1点、礫4点、481の覆土中からIVcが3点、礫1点

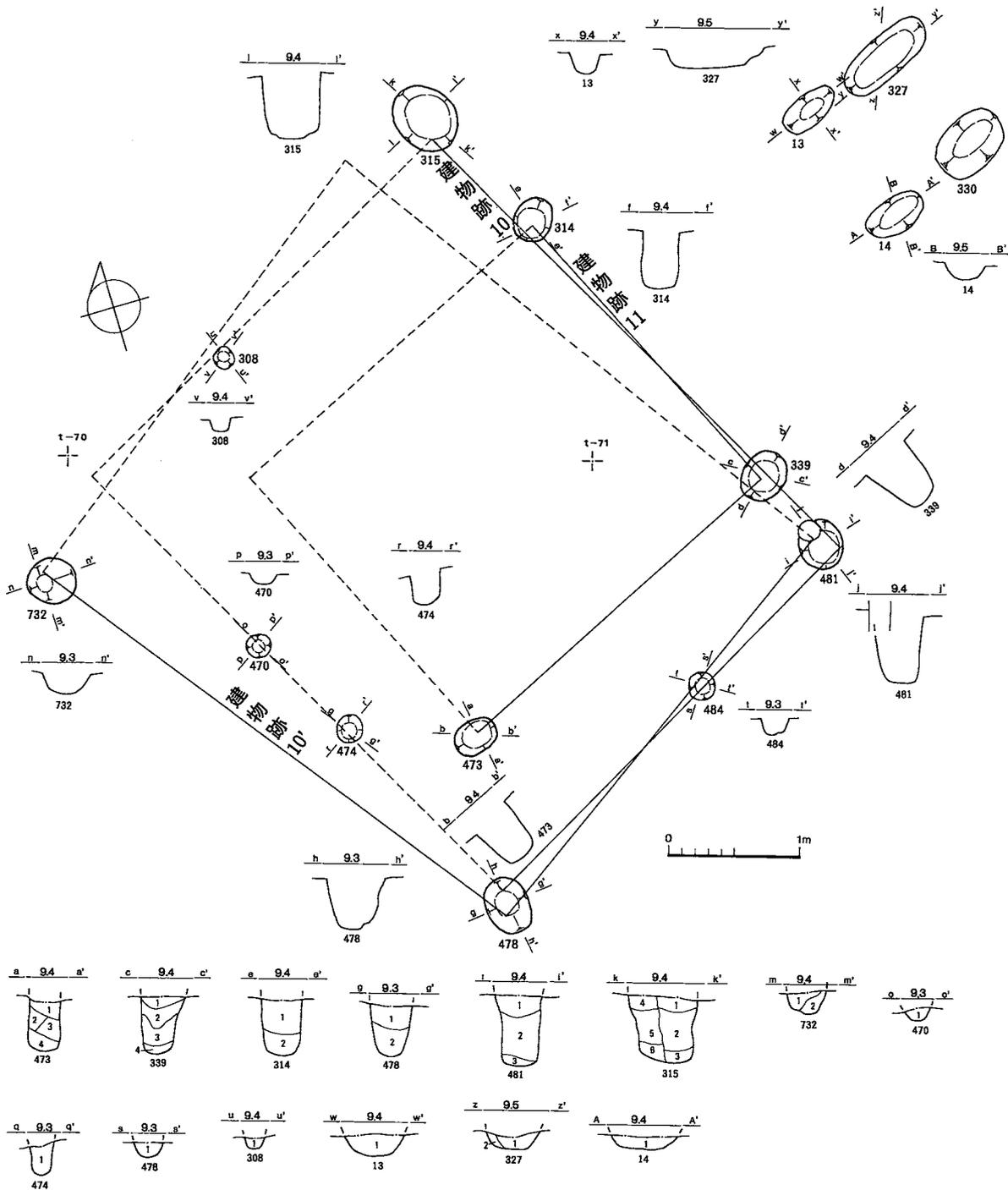
が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基（北東の柱穴状ピットは未確認）が長方形に配列するものであろう。出入口ピットと建物跡の中心軸がずれているので、327と330が本建物跡に伴うかどうか不明である。478の墳底北側が径約15cmほどくぼんでいる。柱跡であろうか。

建物跡11 (図IV-2・8 表IV-7)

位置：s-70・71 t-70・71 周辺は耕作によりVIII層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。



図IV-8 建物跡10・10'・11

規模： -314・473-339（東西）～2.90m -473・314-339（南北）～2.60m

長軸方向：N-66°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土

出土遺物：314の覆土中からIVcが2点、フレイク1点、473の覆土中からIVcが1点、13の覆土中からフレイク2点、339の覆土中からフレイクが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピットを有し、主柱穴4基（北西の柱穴状ピットは未確認）がやや長形状に配列するものと思われる。出入口ピットは2基で、ピット間の幅は約80cmである。覆土のちがいがいなどから見て、本建物跡は建物跡10・10'より新しいものと思われる。

表Ⅳ-7 建物跡、10・10'・11の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-327	10	s-71	77 × 31 / 58 × 19 / 16		9.19	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②=① (>En-a)	出入口ピット
〃 -330	〃	〃	57 × 40 / 37 × 16 / -		---	---	出入口ピット
〃 -315	〃	s-70	55 × 45 / 39 × 32 / 50		8.82	①明灰褐 (>En-a) ②=①軟質 ③灰褐>黄 (>En-a) ④暗褐>黄 (>En-a) ⑤暗>暗褐>黄 (>小さなEn-a) ⑥ ①+黄 ボロボロ	IVc、フレイク
〃 -478	10・10'	t-70	44 × 34 / 20 × 18 / 39		8.84	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 ボソボソ	IVc、フレイク、礫
〃 -481	〃	t-71	37 × 33 / 25 × 24 / 56		8.72	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (>En-a) ③=①砂粒を 含む	IVc、礫
〃 -470	10	t-70	18 × 18 / 10 × 10 / 8		9.12	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -474	〃	〃	22 × 20 / 12 × 12 / 26		8.98	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
〃 -732	10'	t-69・70	38 × 34 / 13 × 13 / 17		9.16	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -308	〃	s-70	16 × 15 / 8 × 8 / 11		9.18	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ザラザラ	
〃 -488	〃	t-71	21 × 20 / 12 × 12 / 12		9.10	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -13	11	s-71	46 × 23 / 22 × 11 / 16		9.14	①暗褐>黄 (>En-a)	出入口ピット、フレイク
〃 -14	〃	〃	49 × 29 / 36 × 14 / 12		9.30	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い	出入口ピット
〃 -314	〃	s-70	33 × 28 / 22 × 22 / 46		8.81	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) 堅い ②=① (軟質)	IVc、フレイク
〃 -473	〃	t-70	33 × 26 / 24 × 19 / 42		8.84	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (En-aが少くない) ③=① (>En-a) ④暗褐>黄	IVc
〃 -339	〃	s-71, t-71	40 × 32 / 25 × 25 / 51		8.80	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②=① En-a少なく、軟 質、③暗褐>黄 ボソボソ ④③<黄 (>En-a) ボロ ボロ	フレイク

建物跡12 (図Ⅳ-2・9 表Ⅳ-8・195・198)

位置：q-68・69・70 r-68・69・70 標高9.50m付近の平坦地に位置する。東側は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。

規模：1612-1・943- (東西)～5.20m 1612-943・1- (南北)～5.50m

長軸方向：N-28°-W 確認：西側はSE-2層中、東側はⅧ層中 覆土：暗褐色土が主体で、黒褐色土や褐色土が混入するものがある。

出土遺物：943の覆土中からIVcが1点、たたき石片1点、12の覆土中からRフレイク1点、フレイク3点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピットを有し、主柱穴4基（南東の柱穴状ピットは未確認）がほぼ正方形に配列するものと思われる。柱穴状ピット11と12間の中心線がやや南側に位置するが、主柱穴との距離などを考えると本建物跡の出入口ピットとしてよいようである。ピット間の幅は約68cmである。1629、1620、1500、168、9は位置関係から見て、本建物に関連するものと思われる。

建物跡13 (図Ⅳ-2・9 表Ⅳ-8)

位置：q-69・70 r-68・69・70 標高9.50m付近のほぼ平坦地に位置する。東側は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。

規模：1615-2・ -170(東西)~4.80m 1615- 2-170(南北)~5.10m

長軸方向：N-28°-W 確認：1602はSE-2層、他はⅧ層中 覆土：暗褐色土が主体であるが、黒褐色土や褐色土が混入するものもある。

出土遺物：2の覆土中からフレイクが1点、5の覆土1層からIVcが7点、フレイクが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南西の柱穴状ピットは未確認)がやや長方形に配列するものと思われる。1626、1600、33、5は位置関係から見て、本建物跡に関連するものであろう。

建物跡14(図IV-2・9 表IV-8)

位置：q-69 r-68・69・70 標高9.50m付近のほぼ平坦地に位置する。東側は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。

規模：1602-7(東西)~3.50m 確認：1602はSE-2層中、7はⅧ層中 覆土：黒褐色土が主体で暗褐色土が混在する。

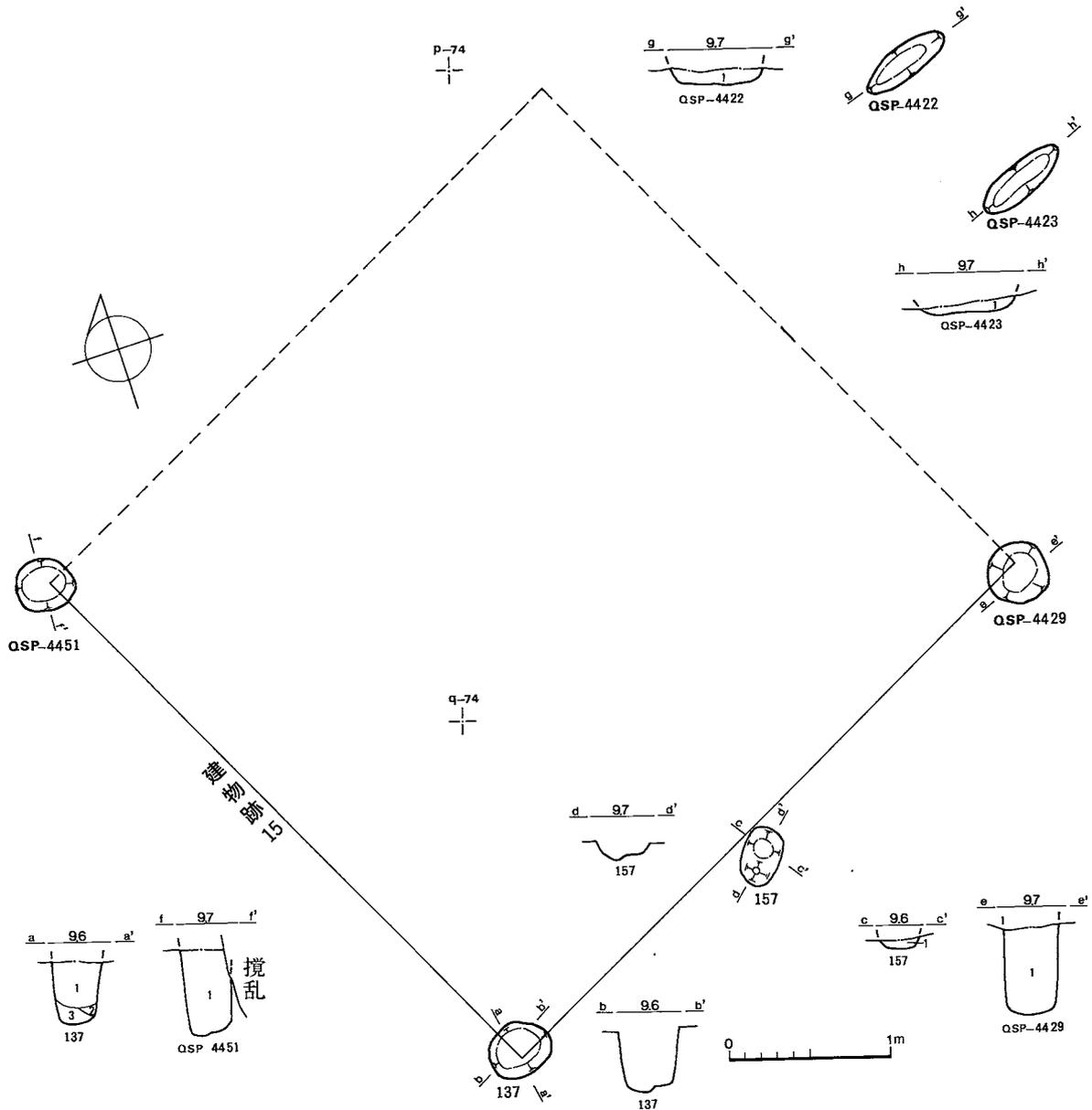
時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、1602と7の柱穴状ピットしか確認できなかったが、規模、方向などから支柱穴4基の建物跡を想定した。

なお、建物跡12・13・14の覆土のちがいなどから見て、建物跡12→13→14という新旧関係が考えられる。

表IV-8 建物跡12・13・14の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1	12	q-69	28 × 24 / 17 × 14 / 6		9.14	①黒褐 ② ①>En-a ③=①(色調淡い)	
// -1612	//	r-68	31 × 27 / 18 × 17 / 19		9.20	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -943	//	s-69	36 × 34 / 13 × 12 / 54		8.93	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) 軟質 ③暗灰褐 (>En-a) 粘質	IVc、たたき石
// -1627	//	q-68・69	34 × 27 / 2 × 2 / 22		9.22	①黒褐 (>En-a) ②暗褐 (>En-a) 粘質	
// -1620	//	q-68	16 × 17 / 9 × 9 / 20		9.28	①暗褐 (>En-a) 粘質	
// -1500	//	r-68	24 × 17 / 12 × 11 / 16		9.30	①褐>黄 (>En-a) ② ①>En-a	
// -168	//	r-69	22 × 19 / 10 × 10 / 9		9.32	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -9	//	q-69	16 × 15 / 10 × 10 / 3		9.29	①黄灰 軟質	
// -11	//	q-70	57 × 30 / 38 × 20 / 18		9.26	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (+En-a) ③En-a>暗褐>黄 ④En-a+暗褐>黄 ⑤暗褐>黄 (>En-a) ⑥暗褐>黄 (>En-a)	出入口ピット
// -12	//	//	67 × 18 / 32 × 10 / 18		9.25	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③暗褐+黄 (+大きなEn-a) ④=②軟質 ⑤暗褐>黄 (>En-a) 粘質	出入口ピット Rフレイク、 フレイク
// -2	13	q-69	48 × 44 / 28 × 28 / 16		9.20	①暗褐 (>小さなEn-a) ②En-a>褐+黄 ③淡灰褐粘質 ④暗褐 (>小さなEn-a) ⑤黒褐 粘質	フレイク
// -1615	//	r-68	48 × 49 / 29 × 27 / 20		9.28	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 粘質 ③黒褐 (>En-a) 粘質	
// -170	//	q-70, r-70	54 × 44 / 25 × 24 / -		9.22	※黒褐	
// -1626	//	q-69	19 × 19 / 10 × 10 / -		-	-	
// -1600	//	r-69	24 × 21 / 18 × 14 / 18		9.33	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -33	//	q-70	20 × 20 / 9 × 8 / 11		9.29	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -5	//	q-69	19 × 16 / 11 × 10 / 16		9.24	①淡黄褐 (>小さなEn-a) ②=①黄・En-a多い	IVc、フレイク
// -3	//	//	13 × 12 / 4 × 4 / 9		9.30	①暗褐 (>En-a) ②褐+En-a>黄	
// -7	14	//	46 × 38 / 29 × 26 / 20		9.15	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③=② (>大きなEn-a) ④=②ボソボソ ⑤En-a+黄>褐 ⑥=⑤褐色土多く、ボソボソ ⑦黒褐 粘質 ⑧En-a>褐 堅い	
// -1602	//	r-68	50 × 48 / 28 × 28 / 40		9.11	①黒褐 (>En-a) 軟質 ②=①粘質 ③ ①+En-a	



図IV-10 建物跡15

建物跡15 (図IV-2・10 表IV-9)

位置：o-74 p-73・74 q-74 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

規模：QSP4451-137-QSP4429 (東西) ~4.30m QSP4451-137-QSP4429 (南北) ~4.10m

長軸方向：N-63°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：黒褐色土、暗褐色土、褐色土が混在する。

出土遺物：QSP-4451の覆土中からIVcが2点、QSP-4429の覆土中からIVcが7点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

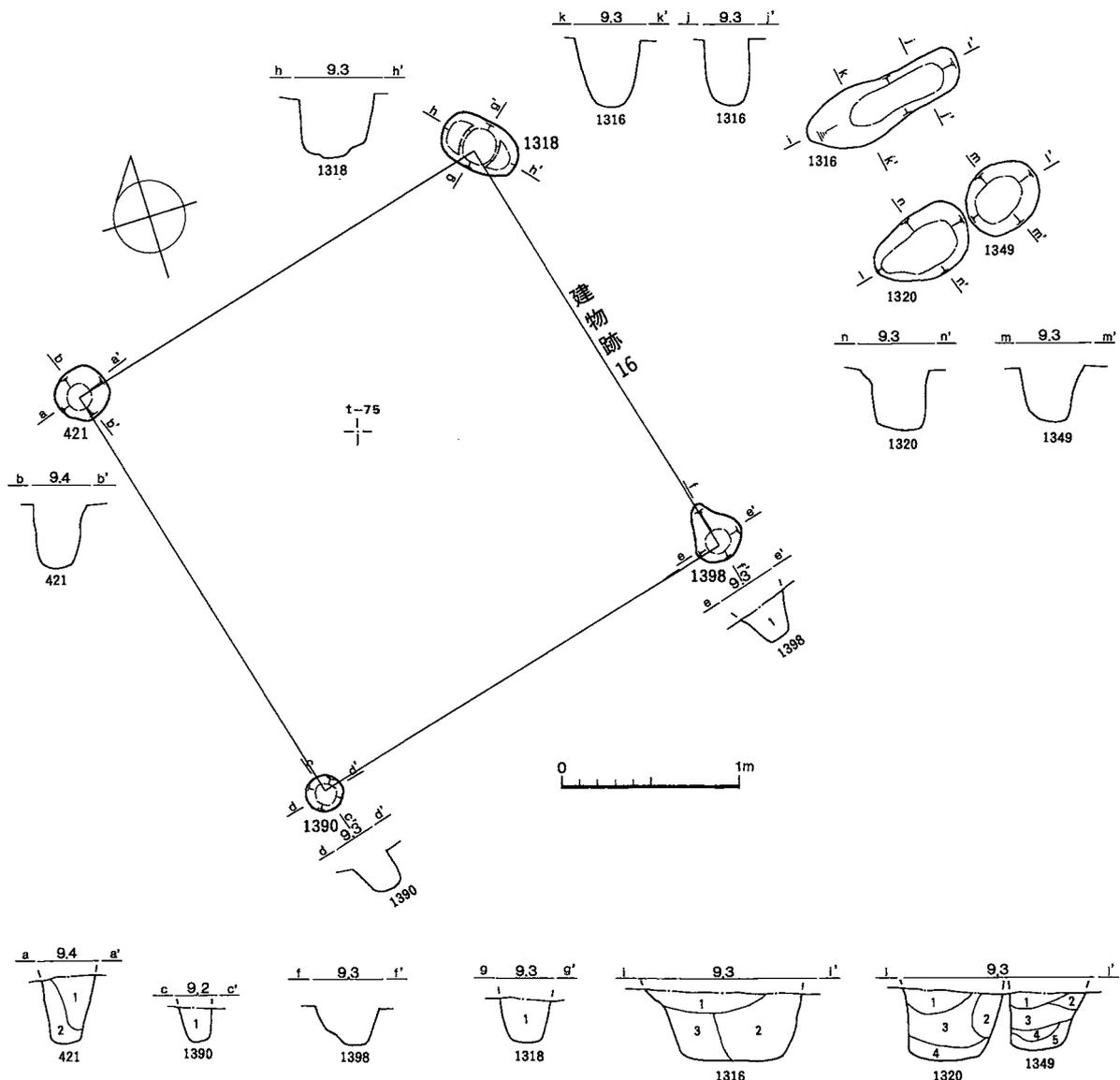
本建物跡は、出入口ピットを有し、支柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。QSP-4422・4423は出入口ピットで、ピット間の幅は約80cmである。137の墳底南西側には径約15cmの浅いくぼみがある。柱跡であろうか。

表IV-9 建物跡15の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		掘底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考(付設・出土遺物…)
			長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
QLSP-4422	15	o-74, p-74	57 × 20	38 × 9 / 9	9.48	①黒褐 (>En-a)	出入口ピット
// -4423	//	p-74	58 × 18	45 × 8 / 8	9.45	①暗褐 (>En-a) 粘質土	出入口ピット
// -4451	//	p-73	36 × 33	28 × 22 / 52	9.00	①暗褐 (>En-a) 粘質土	
RLSP-137	//	q-74	38 × 31	29 × 22 / 39	9.11	①褐>黄 (>小さなEn-a) ②=① (>En-a) ガラガラ ③En-a>暗褐 ポロポロ	
// -157	//	//	36 × 24	12 × 12 / 8	9.47	①褐>黄 (>En-a) 粘質	
QLSP-4429	//	p-74	38 × 38	25 × 19 / 54	9.04	①暗褐 (>En-a) 粘質土	

建物跡16 (図IV-2・11 表IV-10)

位置：s-74・75 t-74・75 標高9.30m~9.50m、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。
 規模：421-1318・1390-1398 (東西) ~2.63m 421-1390・1318-1398 (南北) ~2.62m
 長軸方向：N-76°-E 確認：VI層中 覆土：黒色土、黒褐色土、暗褐色土が混在する。
 時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。



図IV-11 建物跡16

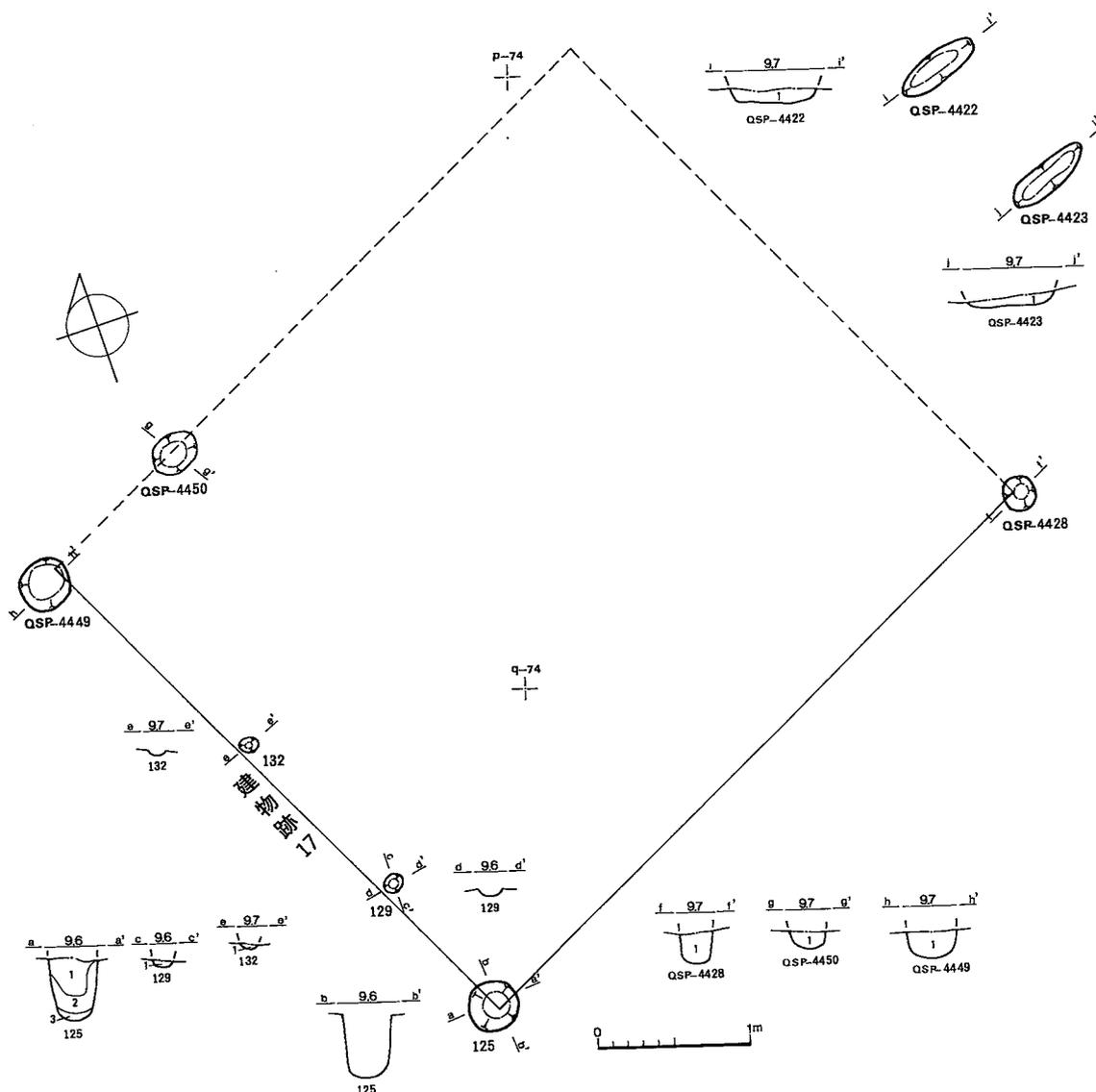
本建物跡は、出入口ピットを有し、主柱穴4基が正方形に配列するものである。なお出入口ピット（1316・1320・1349）は建物跡4との共用で、覆土のちがいなどから見て、建物跡4より古いものと思われる。1318の墳底中央部には径約15cmの浅いくぼみがある。柱跡であろうか。主柱穴の墳底レベルはほぼ8.90m前後と一定している。

表IV-10 建物跡16の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底レベル (m)	覆土(土層註記)	備考(付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1316	16	s-75	94 × 32	56 × 18 / 38	8.83	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ③黒褐 (>En-a) 粘質	出入口ピット
〃 -1320	〃	〃	57 × 38	45 × 24 / 40	8.81	①暗褐>黄 ②≒① (>En-a) ③≒① (>En-a) ④黒褐 粘質	出入口ピット
〃 -1349	〃	〃	44 × 37	31 × 21 / 32	8.86	①暗褐 ②暗褐>黄 (>En-a) ③黒褐>黄 (>En-a)	
〃 -1318	〃	〃	44 × 29	17 × 20 / 24	8.84	①暗褐>黄 (>En-a) ボロボロ	
〃 -421	〃	s-74	31 × 28	14 × 16 / 37	8.92	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒① (En-a少ない)	
〃 -1390	〃	t-74	21 × 20	14 × 12 / 19	8.94	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -1398	〃	t-75	36 × 28	14 × 14 / 21	8.91	①黒 (>φ1cm前後のEn-a) しまり中	

建物跡17 (図IV-2・12 表IV-11)

位置：o-74 p-73・74 q-73・74 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。



図IV-12 建物跡17

規模：QSP4449-125-QSP4428(東西)～4.80m QSP4449-125-QSP4428(南北)～4.10m

長軸方向：N-64°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土主体。

出土遺物：QSP-4449・4450の覆土中からIVcが2点ずつ出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、出入口ピット(QSP-4422・4423)を有し、支柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)が長方形に配列するものと思われる。出入口ピットは建物跡15と共用するもので、支柱穴の覆土のちがいをから見て、建物跡15より新しいものではないかと思われる。QSP-4450・132、129は位置関係から見て本建物跡に関連するピットであろう。

表Ⅳ-11 建物跡17の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(填底)面 (cm)	填底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考(付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
QLSP-4422	17	o-74, p-74	57 × 20	38 × 9 / 9	9.48	①黒褐 (>En-a)	出入口ピット
// -4423	//	p-74	58 × 18	45 × 8 / 8	9.45	①暗褐 (>En-a) 粘質土	出入口ピット
// -4449	//	p-73	32 × 26	23 × 24 / 18	9.35	①黒茶褐 (>En-a)	
RLSP-125	//	q-73	33 × 32	17 × 18 / 43	9.10	①暗褐 (>En-a) ②ボロボロのEn-a ③黒褐 粘質	
QLSP-4428	//	p-74	23 × 21	9 × 9 / 20	9.36	①暗黄褐 (<En-a)	
// -4450	//	p-73	33 × 25	20 × 16 / 11	9.42	①暗褐 (>En-a) 粘質土	4450+1713
RLSP-132	//	q-73	11 × 10	6 × 5 / 4	9.54	①En-a+暗黄褐	
// -129	//	//	12 × 12	6 × 6 / 5	9.44	①暗褐>黄 (>En-a)	

建物跡18 (図Ⅳ-2・13 表Ⅳ-12)

位置：u-73・74 標高9.30m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：353-229・1750-867(東西)～2.48m 353-1750・229-867(南北)～1.96m

長軸方向：N-81°-E 確認：Ⅵ層上面付近 覆土：暗褐色土

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長方形に配列するものである。

建物跡19 (図Ⅳ-2・13 表Ⅳ-12)

位置：u-73・74 v-73 標高9.30m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：224-219・1743- (東西)～3.57m 224-1743・219- (南北)～2.60m

長軸方向：N-86°-E 確認：Ⅵ層上面付近 覆土：暗褐色土

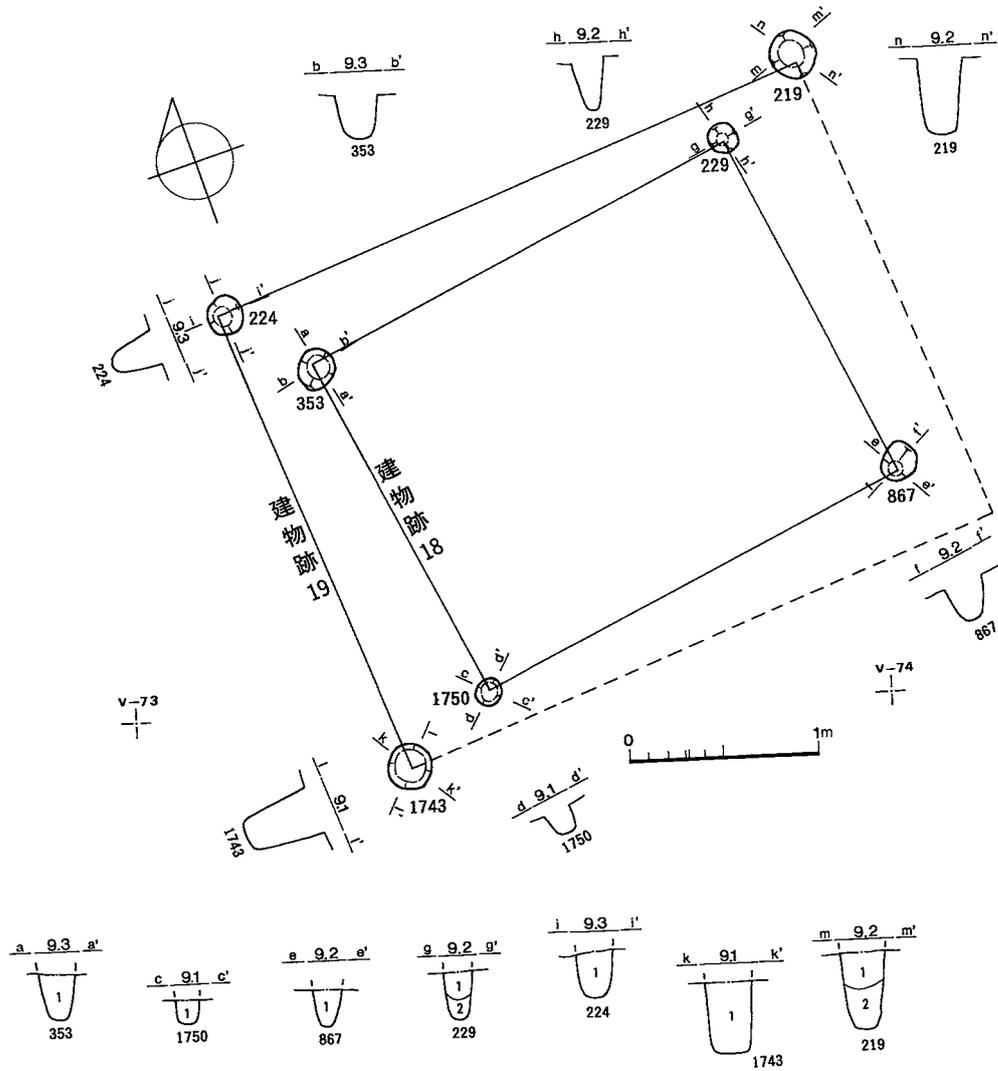
出土遺物：219の覆土中からフレイク1点、224の覆土中からIVcが2点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南東の柱穴状ピットは未確認)が長方形に配列するものと思われる。

表Ⅳ-12 建物跡18・19の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(填底)面 (cm)	填底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考(付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-229	18	u-73	15 × 15	6 × 6 / 28	8.84	①暗褐 軟質 ② ①>En-a	
// -353	//	//	22 × 19	12 × 12 / 24	8.94	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1750	//	//	13 × -	10 × - / 13	8.89	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -867	//	u-74	20 × 18	8 × 11 / 19	8.86	①暗褐 (>En-a)	
// -219	19	u-73	26 × 23	16 × 13 / 40	8.72	①暗褐 (>En-a) ② ①>En-a ボソボソ	フレイク
// -224	//	//	21 × 19	11 × 10 / 25	8.94	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	IVc
// -1743	//	v-73	24 × -	20 × - / 38	8.62	①暗褐>黄 (>En-a)	



図IV-13 建物跡18・19

建物跡20 (図IV-2・14 表IV-13)

位置：u-73・74 標高9.30m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：-132'・358-866 (北西-南東) ~2.55m -358・132'-866 (南西-北東) ~1.90m

長軸方向：N-45°-W 確認：VI層上面付近 覆土：黒褐色土主体

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基 (北西の柱穴状ピットは未確認) が長方形に配列するものと思われる。

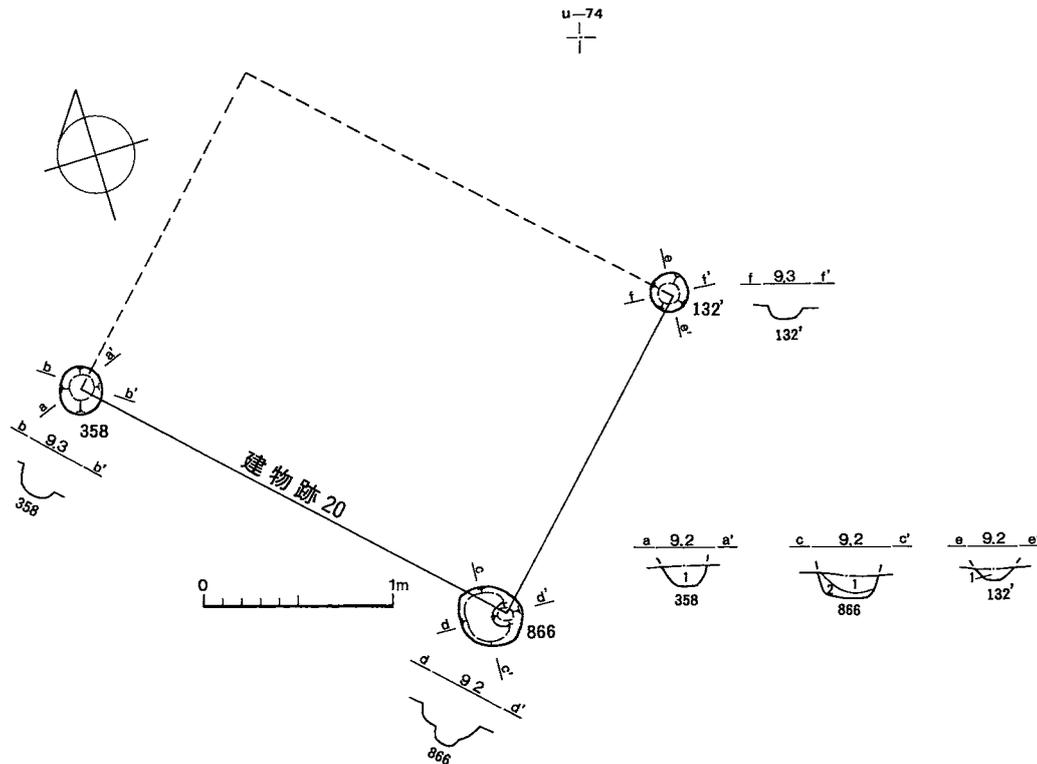
表IV-13 建物跡20の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(塙底)面 (cm)	塙底 レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-358	20	u-73	24 × 22 / 12 × 14 / 10	9.03	①黒褐 ボソボソ		
// -866	//	//	33 × 31 / 7 × 7 / 16	8.88	①暗褐>黄 ②黒褐 (>En-a)		
// -132'	//	u-74	20 × 20 / 12 × 11 / 7	9.01	①黒褐 (>En-a) 軟質		

建物跡21 (図IV-2・15 表IV-14)

位置：v-72・73 標高9.20m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：821- 802-875 (東西) ~2.36m 821-802・ -875 (南北) ~1.90m



図IV-14 建物跡20

長軸方向：N-75°-E 確認：VI層上面付近 覆土：暗褐色土

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基（北東の柱穴状ピットは未確認）が長方形に配列するものと思われる。821は他のピットに比べ深い（46cm）もので、しっかり掘られている。

建物跡22（図IV-2・15 表IV-14）

位置：v-72・73 w-72 標高9.20m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：806-876（東西）～2.96m 824-806（南北）～2.15m ともに柱中心間の長さである。

長軸方向：N-76°-E 確認：VI層上面付近 覆土：暗褐色土主体で、806には黒褐色土が混在する。

出土遺物：876の覆土中からIVcが3点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基（北東の柱穴状ピットは未確認）がほぼ台形状に配列するものと思われる。覆土のちがいで見て建物跡21より新しいのではないかと思われる。876は他に比べ深く（36cm）、しっかりと掘られている。

建物跡23（図IV-2・15 表IV-14）

位置：v-71・72・73 w-72 標高9.20m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：826-809・1676（東西）～3.90m 826-809・1676（南北）～3.90m

長軸方向：N-28°-W 確認：VI層上面付近 覆土：暗褐色土

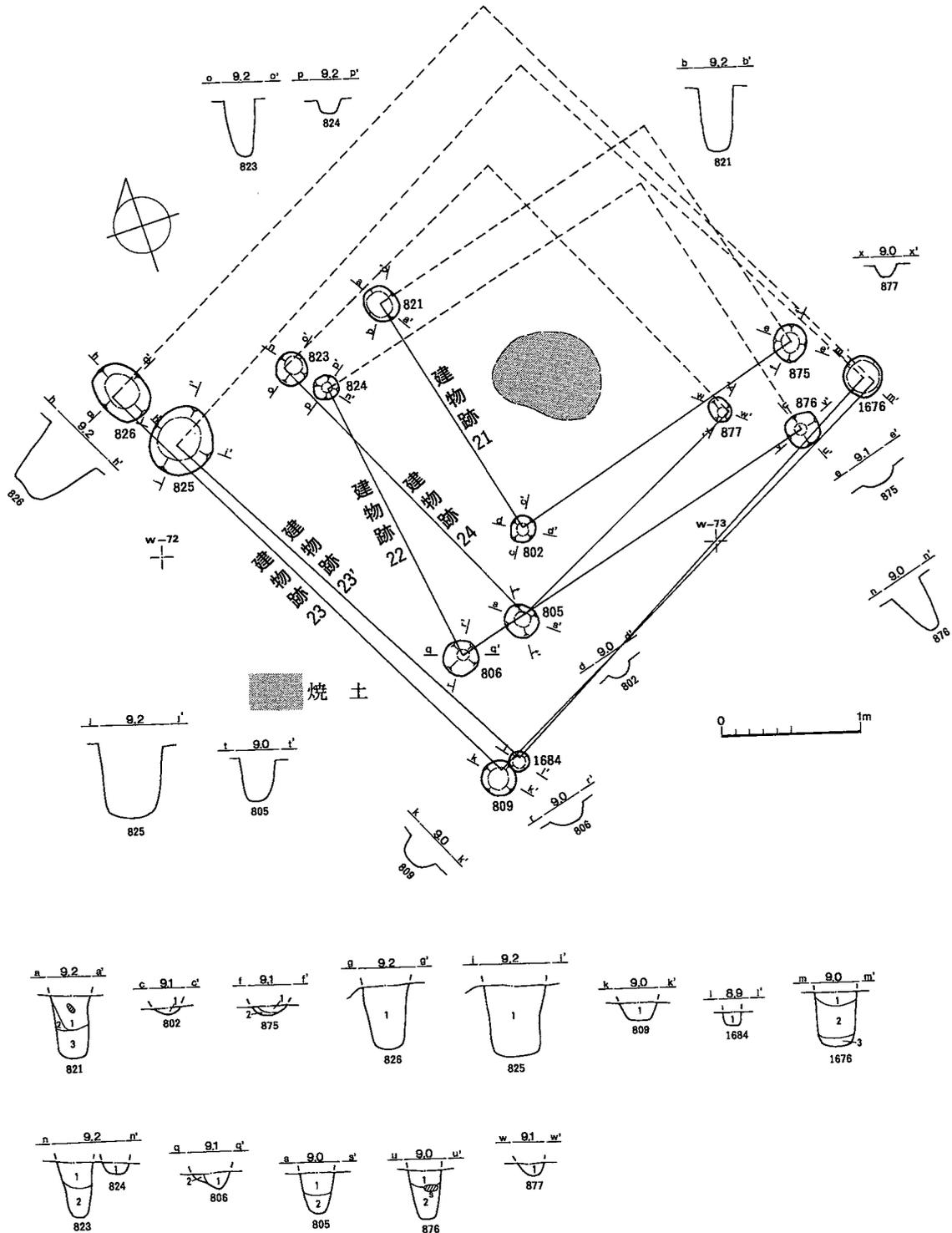
出土遺物：826の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基（北東の柱穴状ピットは未確認）が正方形に配列するものと思われる。826は他に比べ深く（46cm）、墳底南側が浅くぼんでいる。

建物跡23'（図IV-2・15 表IV-14）

位置：v-71・72・73 w-72 標高9.20m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。



図IV-15 建物跡21・22・23・23'・24

規模：825-1684-1676 (東西) ~3.69m 825-1684-1676 (南北) ~3.33m

長軸方向：N-61°-E 確認：VI層上面付近 覆土：黒褐色土(粘質土)

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。焼土(80cm×60cm 層厚約10cm 赤褐色)は本建物跡に伴うものと思われる。809と1684の重複関係から見て本建物跡が新しく、建て替えられたものである。また建物跡21・22・24は覆土のちがいなどから見て建物跡23・23'より新しいものであると思われる。

建物跡24 (図IV-2・15 表IV-14)

位置：v-72・73 w-72 標高9.20m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：823-805-877 (東西) ~2.05m 823-805-877 (南北) ~2.49m

長軸方向：N-26°-W 確認：VI層上面付近 覆土：黒褐色土主体で、暗褐色土が混在する。全体に粘質である。

出土遺物：823の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)が長方形に配列するものと思われる。覆土のちがいから見て建物跡22より新しい。823は他に比べ深く(41cm)、しっかり掘られている。

表IV-14 建物跡21・22・23・23'・24の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(堀底)面 (cm)	堀底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考(付設・出土遺物…)	
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ					
RLSP-821	21	v-72	27 × 22	20 × 16	46	8.60	①暗褐(>En-a) ②暗褐>黄(>En-a) ボロボロ ③=①(>小さなEn-a) ボロボロ	
"-802	"	"	20 × 18	9 × 9	6	8.81	①暗褐>黄(>En-a)	
"-875	"	v-73	27 × 24	16 × 13	6	8.89	①暗褐>黄	
"-824	22	v-72	18 × 17	7 × 7	10	8.96	①暗褐>黄(>小さなEn-a) 軟質	
"-806	"	w-72	26 × 25	8 × 8	12	8.84	①暗褐(>En-a) 軟質 ②黒褐 ボソボソ	
"-876	"	v-73	24 × 24	9 × 10	36	8.56	①暗褐>黄(>En-a) ②=①(>En-a) 粘質	IVc
"-826	23	v-71	46 × 34	27 × 22	46	8.60	①暗褐>黄(>En-a)	IVc
"-809	"	w-72	25 × 24	16 × 15	13	8.76	①暗褐(>En-a)	
"-1676	23・23'	v-73	35 × -	25 × -	40	8.53	①暗褐(>En-a) ②暗褐(>En-a) ③黒褐 粘質	
"-825	23'	v-71・72	51 × 44	32 × 32	52	8.52	①黒褐(>En-a) 粘質	
"-1684	"	w-72	13 × -	10 × -	10	8.70	①黒褐 粘質	
"-823	24	v-72	23 × 22	13 × 12	41	8.66	①暗褐>黄(>En-a) ②黒褐>黄(>En-a) 粘質	IVc
"-805	"	w-72	25 × 23	12 × 12	29	8.63	①暗褐>黄(>En-a) ②黒褐>黄(>En-a) 粘質	
"-877	"	v-72・73	18 × 15	8 × 8	9	8.86	①黒褐(>En-a) 粘質	

建物跡25 (図IV-2・16 表IV-15)

位置：v-71・72 w-72 標高9.20m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：829-822・885-846 (東西) ~2.43m 829-885・822-846 (南北) ~2.58m

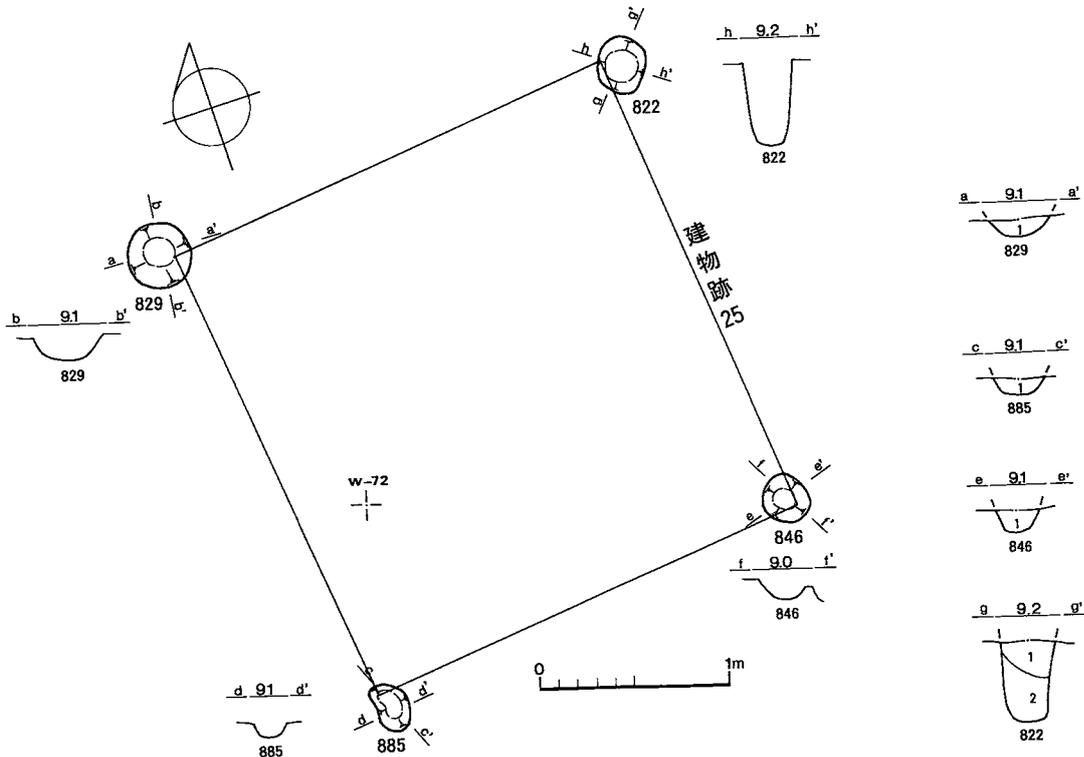
長軸方向：N-6°-W 確認：VII層上面付近 覆土：黒褐色土

出土遺物：822の覆土中からIVcが1点出土している。

表IV-15 建物跡25の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(堀底)面 (cm)	堀底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考(付設・出土遺物…)	
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ					
RLSP-822	25	v-72	30 × 25	18 × 18	43	8.63	①黒褐(>En-a) ②黒褐(>En-a) 堅く、粘質	IVc
"-829	"	v-71	35 × 33	18 × 17	12	8.91	①黒褐(>En-a)	
"-885	"	w-72	26 × 17	6 × 8	8	8.88	①黒褐>黄(>En-a)	
"-846	"	v-72, w-72	26 × 23	12 × 12	12	8.84	①黒褐>黄(>En-a) ザラザラ	

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。
 本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。822は他に比べ43cmと深い。



図IV-16 建物跡25

建物跡26 (図IV-2・17 表IV-16)

位置：v-70・71 w-70・71 標高9.20m付近、北東→南西へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：854-1730-1705 (東西) ~2.76m 854-1730-1705 (南北) ~2.63m

長軸方向：N-67°-E 確認：VII層上面付近 覆土：褐色土

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。

建物跡26' (図IV-2・17 表IV-16)

位置：v-70・71 w-70・71 標高9.20m付近、北東→南西へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：853-1673-1705 (東西) ~2.43m 853-1673-1705 (南北) ~3.08m

長軸方向：N-32°-W 確認：VII層上面付近 覆土：褐色土主体で、暗褐色土が少量混入する。

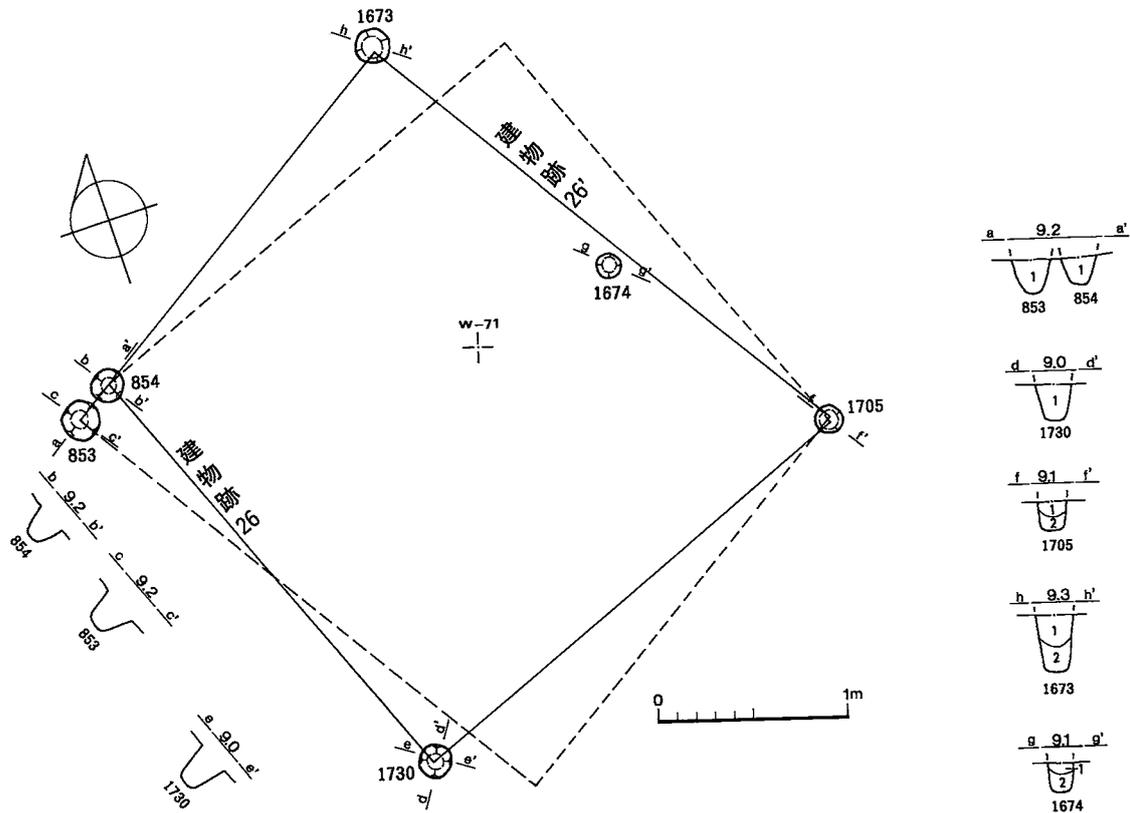
時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、柱穴状ピット(南西の柱穴状ピットは未確認)が長方形に配列するものと思われる。

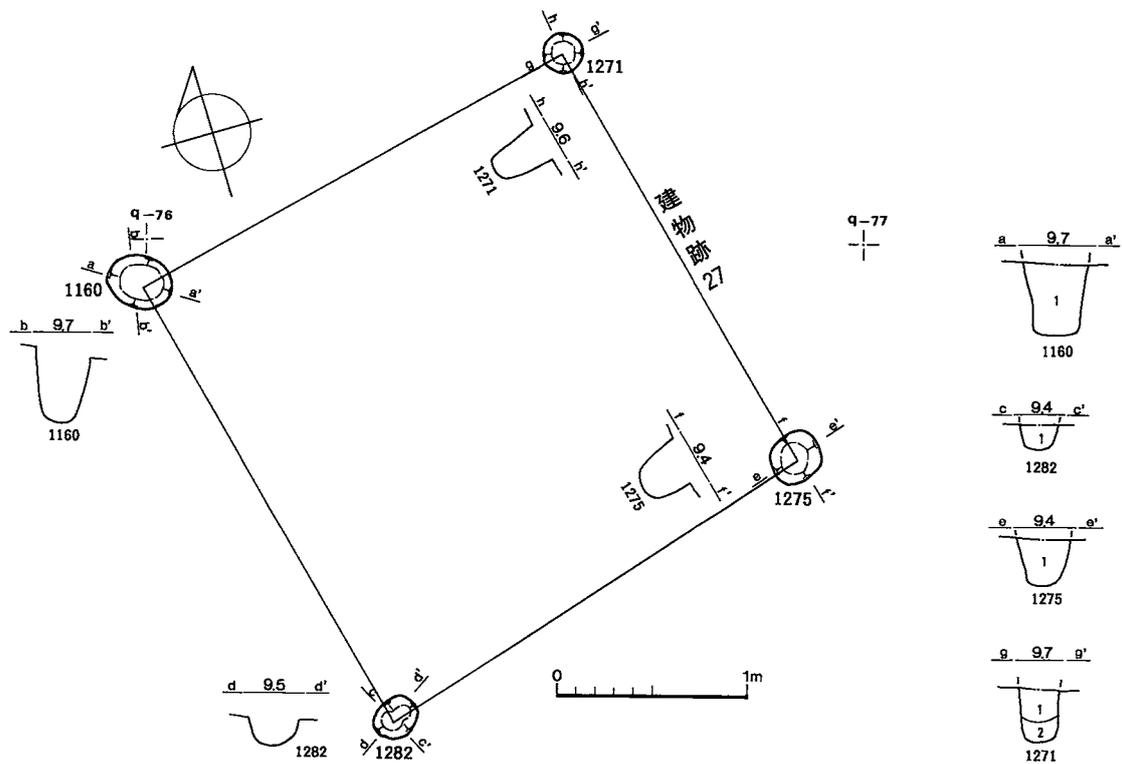
表IV-16 建物跡26・26'の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(壇底)面 (cm)	壇底レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-854	26	w-70	18 × 17	10 × 9 / 16	8.94	①褐>黄 (>En-a) 軟質	
// -1730	//	//	18 × -	10 × - / 19	8.72	①褐>黄 (>En-a)	
// -1705	26・26'	w-71	14 × -	12 × - / 15	8.85	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1673	26'	v-70	23 × -	13 × - / 30	8.93	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -853	//	w-70	21 × 20	10 × 10 / 17	8.90	①褐>黄 (>En-a) 軟質	
// -1674	//	v-71	13 × -	9 × - / 15	8.86	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	

1673は位置関係から見て本建物跡に関連するものと思われる。1705は建物跡26と共用するものであるが、他の支柱穴の覆土のちがいがいから見て、建物跡26から建物跡26'へ建て替えられたものであろう。



図IV-17 建物跡26・26'



図IV-18 建物跡27

建物跡27 (図IV-2・18 表IV-17・195)

位置：p-76 q-75・76 標高9.65m付近、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：1160-1271・1282-1275 (東西) ~2.55m 1160-1282・1271-1275 (南北) ~2.66m

長軸方向：N-14°-W 確認：VII層上面付近 覆土：1282は黒褐色土、他は暗褐色土である。

出土遺物：1271の覆土中からIVcが1点、1275の覆土中からIVcが3点、Rフレイクが1点、フレイクが2点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。

表IV-17 建物跡27の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(堀底)面 (cm)	堀底 レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1271	27	p-76	22 × 20	14 × 12 / 29	9.24	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) 砂質	IVc
〃 -1160	〃	q-75・76	34 × 28	24 × 18 / 38	9.21	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -1282	〃	q-76	24 × 21	18 × 12 / 14	9.22	①黒褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
〃 -1275	〃	〃	29 × 24	16 × 16 / 24	9.08	①暗褐 (>En-a) 砂質	IVc、Rフレイク、 フレイク

建物跡28 (図IV-2・19 表IV-18)

位置：q-75・76・77 r-75・76・77 標高9.50m付近、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：1294-1262(東西)~4.50m 1340-1280(東西)~4.50m 1294-1340(南北)~4.10m 1162-1280 (南北) ~3.80m

長軸方向：N-72°-E 確認：VII層上面付近 覆土：暗褐色土

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が台形状に配列するものである。1294と1300の重複関係から、建物跡28'より古いものである。1164、1363、1324は位置関係から見て本建物跡に関連するピットと思われる。

建物跡28' (図IV-2・19 表IV-18)

位置：q-75・76・77 r-75・76・77 標高9.50m付近、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：1300-1162・1340-1280 (東西) ~4.40m 1300-1340・1162-1280 (南北) ~3.90m

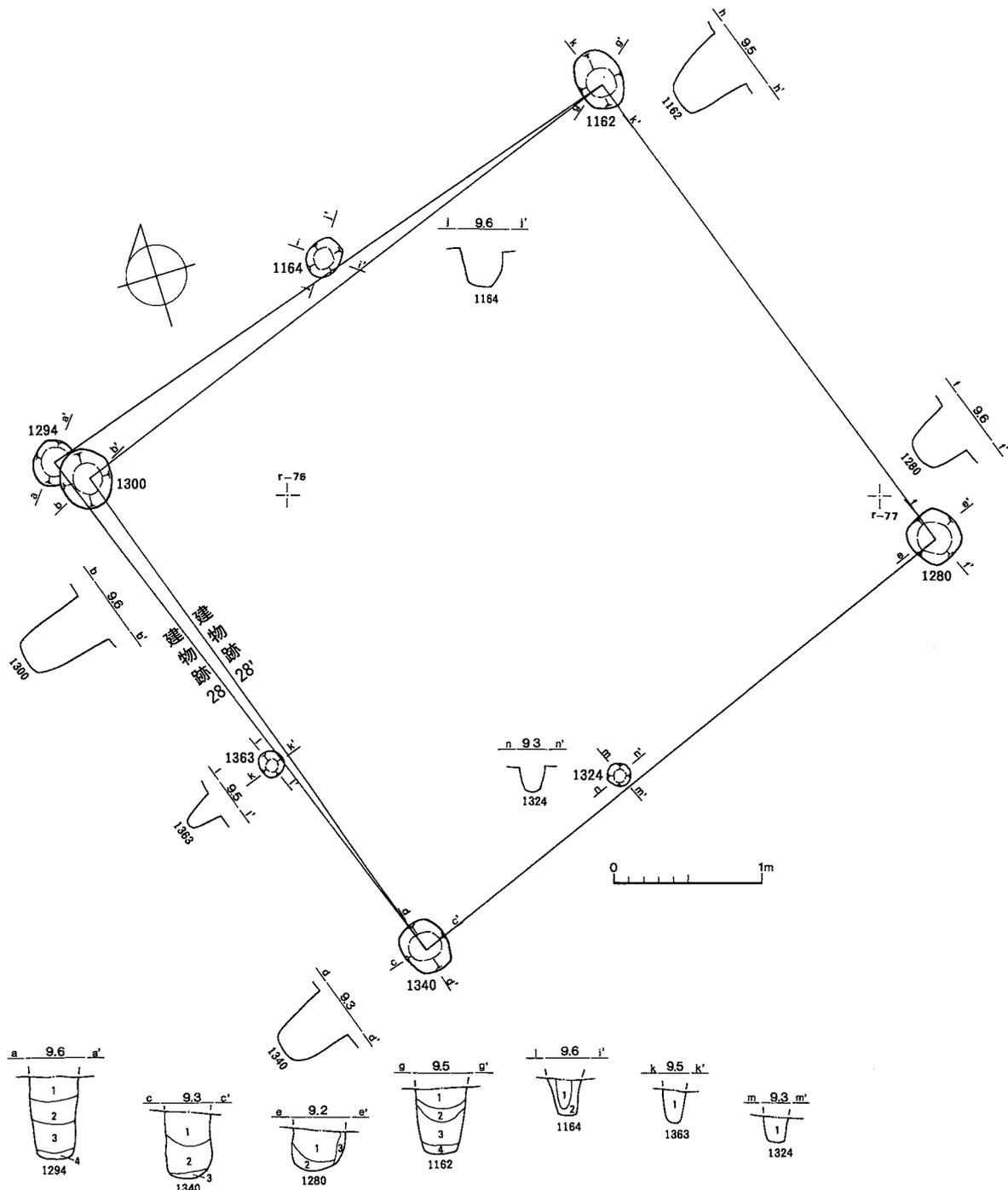
長軸方向：N-69°-E 確認：VII層上面付近 覆土：黒褐色土主体

出土遺物：1340の覆土中からIVcが2点、1280の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：本建物跡は、支柱穴4基が長形状に配列するものである。1294と1300の重複関係から見て建物跡28より新しく、建て替えられたものであろう。

表IV-18 建物跡28・28'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(堀底)面 (cm)	堀底 レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1162	28・28'	q-76	40 × 31	20 × 20 / 45	8.94	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (>En-a) 軟質 ③暗褐>黄 (>En-a) ④=③ボロボロ	
〃 -1294	28	q-75	32 × (28)	20 × (19) / 54	8.92	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ ③黒褐>黄 (>En-a) ④黒褐 粘質	1294→1300
〃 -1340	28・28'	r-76	35 × 30	19 × 22 / 46	8.80	①黒褐 (>En-a) ザラザラ ②黒褐 (>En-a) 粘質 ③黒褐 粘質	IVc
〃 -1280	〃	r-77	34 × 34	23 × 22 / 27	8.84	①黒褐 (>En-a) ② ①+En-a ジャリジャリ	IVc
〃 -1164	28	q-76	27 × 23	15 × 14 / 24	9.21	①褐 ボソボソ②暗褐 (>En-a) ボソボソ	
〃 -1363	〃	r-75	17 × 16	9 × 8 / 22	9.16	①暗褐 (>En-a) 下は粘質	
〃 -1324	〃	r-76	16 × 16	9 × 10 / 16	9.02	①暗褐 (>En-a)	
〃 -1300	28'	q-75、r-75	(42) × 36	21 × 20 / 53	8.90	—	1300←1294



図IV-19 建物跡28・28'

建物跡29 (図IV-2・20 表IV-19)

位置：q-75 r-74・75 標高9.55m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

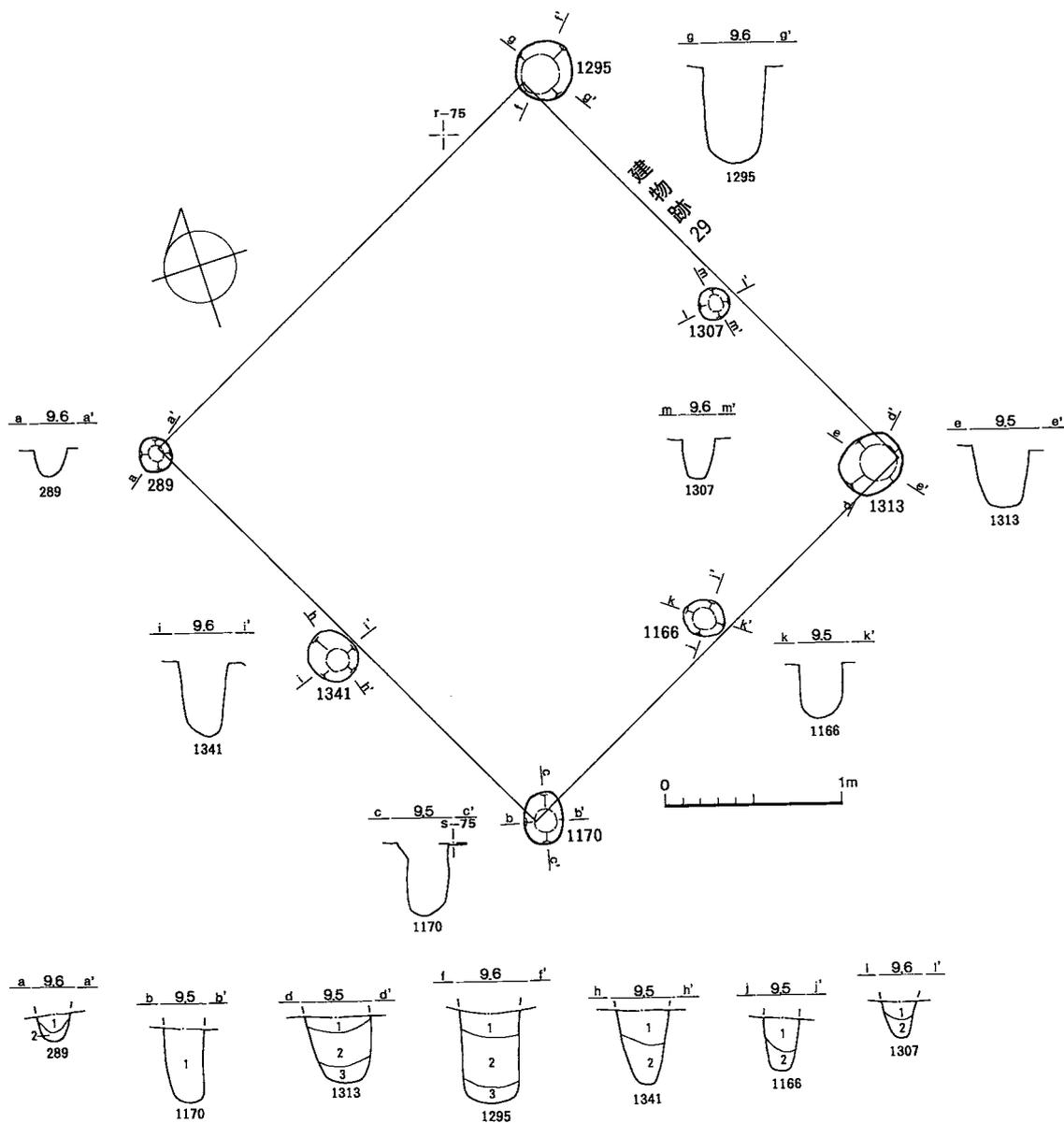
規模：289-1295・1170-1313 (東西) ~2.90m 289-1170・1295-1313 (南北) ~3.00m

長軸方向：N-27°-W 確認：VII層上面付近 覆土：黒褐色土主体で、暗褐色土が混在する。

出土遺物：1170の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。1307、1341、1166は位置関係から見て、本建物跡に関連するピットと思われる。



図IV-20 建物跡29

表IV-19 建物跡29の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	掘底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1295	29	q-75	33 × 33	23 × 22 / 53	8.91	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 ポロポロ ③黒褐 粘質	
// -289	//	r-74	20 × 18	9 × 8 / 15	9.30	①黒褐 ②褐>黄 (>En-a)	
// -1170	//	r-75・s-75	29 × 22	14 × 14 / 42	8.94	①黒褐 (>En-a) 粘質	IVc
// -1313	//	r-75	36 × 29	21 × 21 / 38	9.05	①暗褐 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ③黒褐>黄 (>En-a)	
// -1307	//	//	18 × 18	10 × 8 / 21	9.24	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a)	
// -1341	//	r-74	30 × 27	13 × 14 / 42	9.02	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a)	
// -1166	//	r-75	25 × 21	14 × 12 / 29	9.07	①暗褐 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a)	

建物跡30 (図IV-2・21 表IV-20)

位置：r-74・75 s-75 標高9.55m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：291-1296・1181-1315 (東西) ~3.10m 291-1181・1296-1315 (南北) ~3.60m

長軸方向：N-27°-W 確認：VII層上面付近 覆土：黒褐色土

出土遺物：1315の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、主柱穴4基が長形状に配列するものである。290と291、1314と1315の重複関係から見て、建物跡30'より古いものである。

建物跡30' (図IV-2・21 表IV-20・195)

位置：r-74・75 s-75 標高9.55m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

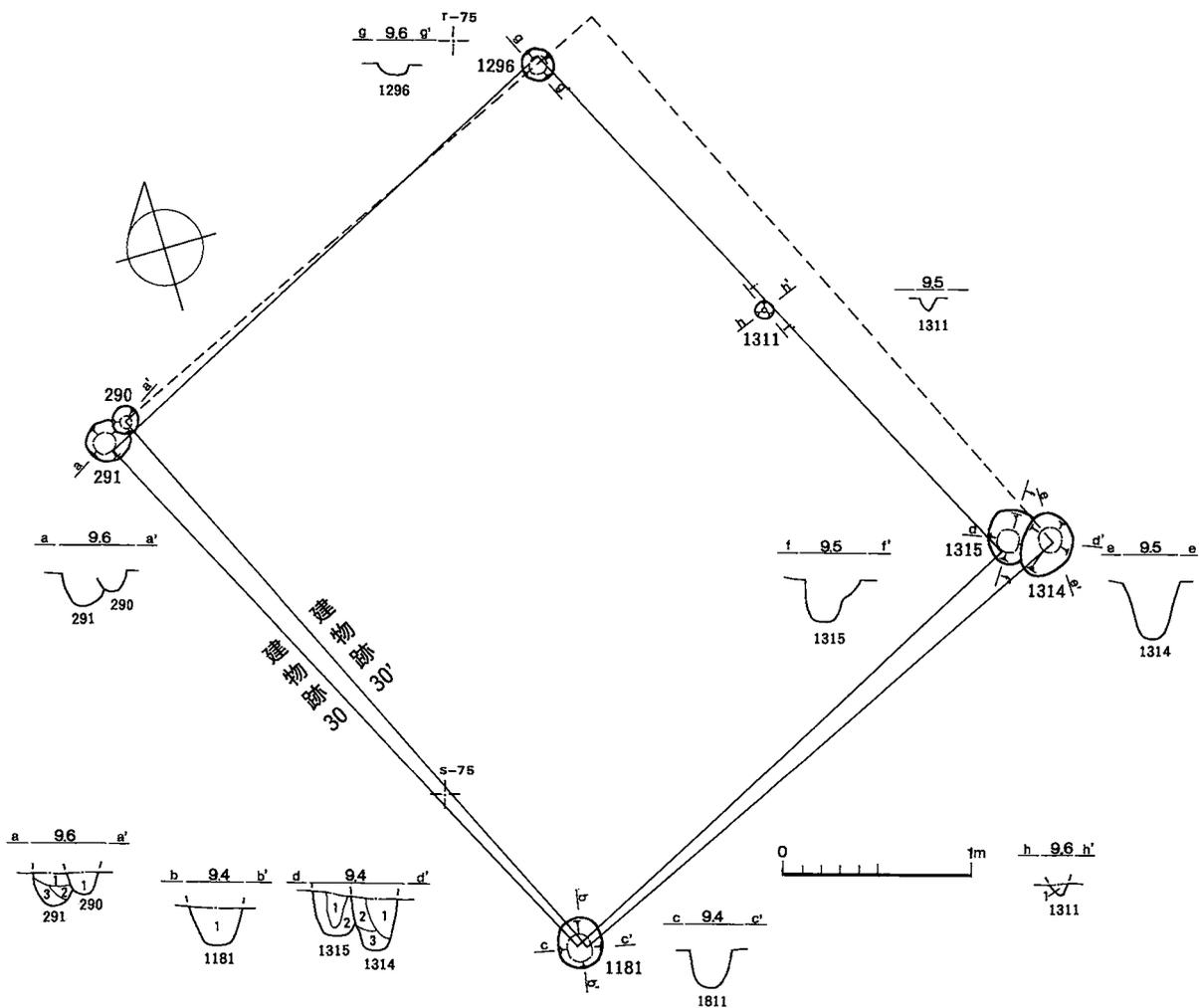
規模：290-1181・1314 (東西) ~3.28m 290-1181・1314 (南北) ~3.68m

長軸方向：N-25°-W 確認：VII層上面付近 覆土：黒褐色土

出土遺物：1314の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、主柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)が長形状に配列するものと思われる。290と291、1314と1315の重複関係から見て、建物跡30より新しく、建て替えられたものである。



図IV-21 建物跡30・30'

表IV-20 建物跡30・30'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設・出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1296	30	r-75	17 × 16 / 10 × 10 / 5		9.41	—	
〃 -291	〃	r-74	24 × (24) / 11 × 11 / 18		9.27	①黒褐>黄 (>En-a) ②=① 軟質でボロボロ ③En-a>① ボロボロ	291→290
〃 -1181	30・30'	s-75	26 × 23 / 17 × 14 / 20		9.06	①黒褐>黄 (>En-a)	
〃 -1315	30	r-75	28 × - / 13 × 13 / 22		9.13	①黒褐 ②黒褐 (>En-a)	1315→1314 IVc
〃 -1311	〃	〃	9 × 9 / 2 × 2 / 7		9.38	①黒褐 (>En-a)	
〃 -290	30'	r-74	15 × 14 / 7 × 7 / 10		9.35	①黒褐>黄 (>小さなEn-a)	290→291
〃 -1314	〃	r-75	35 × 27 / 13 × 13 / 29		9.04	①黒褐 (>En-a) ② ①>En-a ③=① (>En-a)	1314→1315 IVc

建物跡31 (図IV-2・22 表IV-21)

位置：r-75 s-74・75 標高9.50m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：443-1168 (東西) ~2.32m 1188-1175 (東西) ~2.28m 443-1188 (南北) ~2.15m 1168-1175 (南北) ~2.53m

長軸方向：N-35°-W 確認：VII層上面付近 覆土：暗褐色土

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

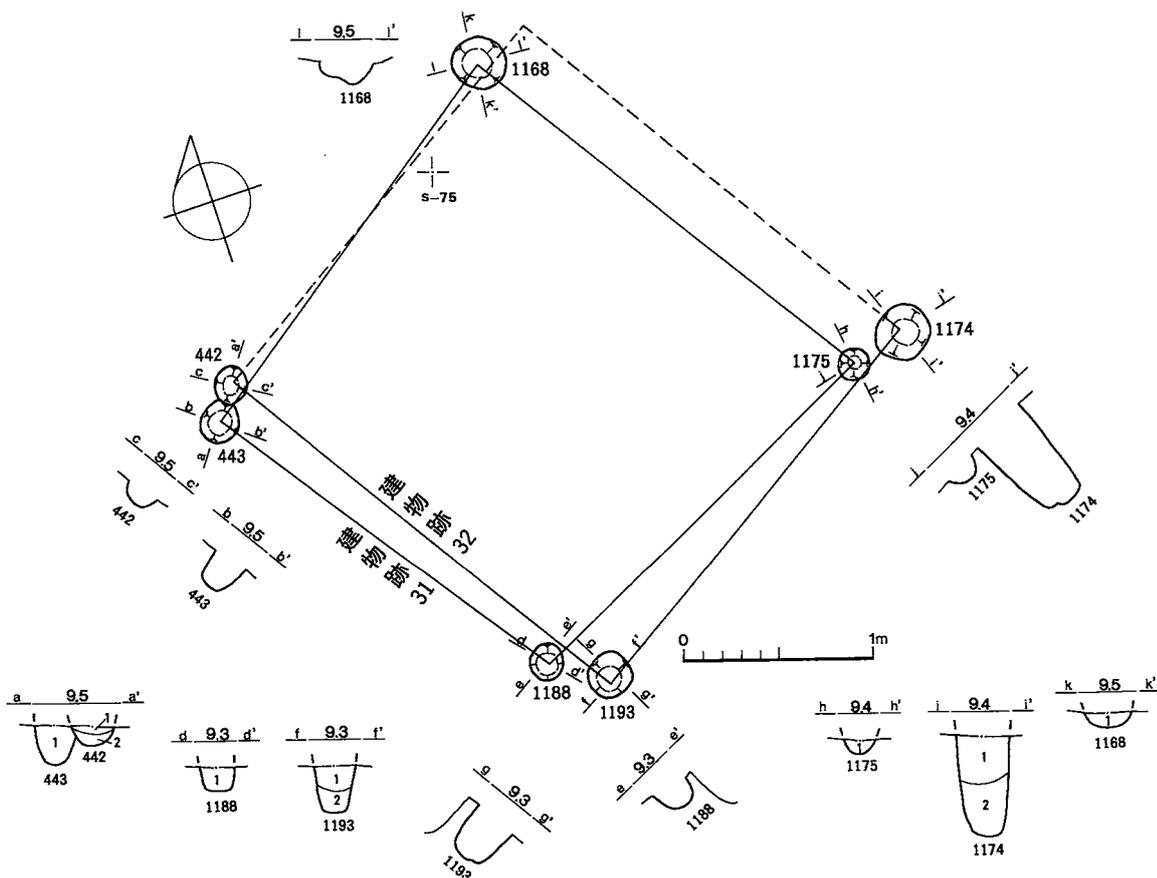
本建物跡は、支柱穴4基がほぼ台形状に配列するものである。442と443の重複関係から見て、建物跡32より古いものである。

建物跡32 (図IV-2・22 表IV-21)

位置：r-75 s-74・75 標高9.50m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：442-1193-1174 (東西) ~2.43m 442-1193-1174 (南北) ~2.55m

長軸方向：N-32°-W 確認：VII層上面付近 覆土：黒褐色土主体で、暗褐色土が混在する。



図IV-22 建物跡31・32

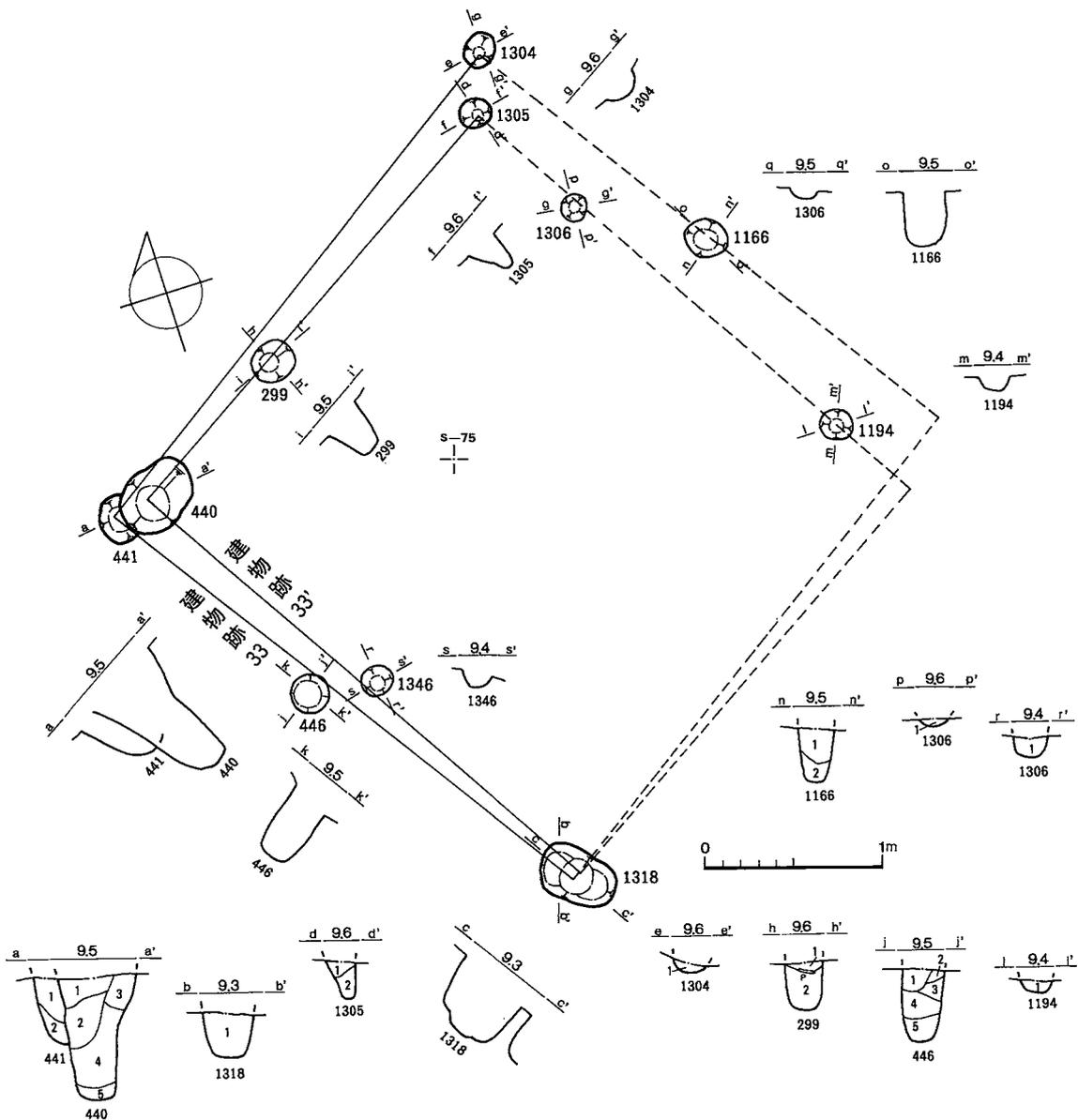
出土遺物：1193の覆土中からIVcが1点、1174の覆土中からIVcが2点、フレイク1点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

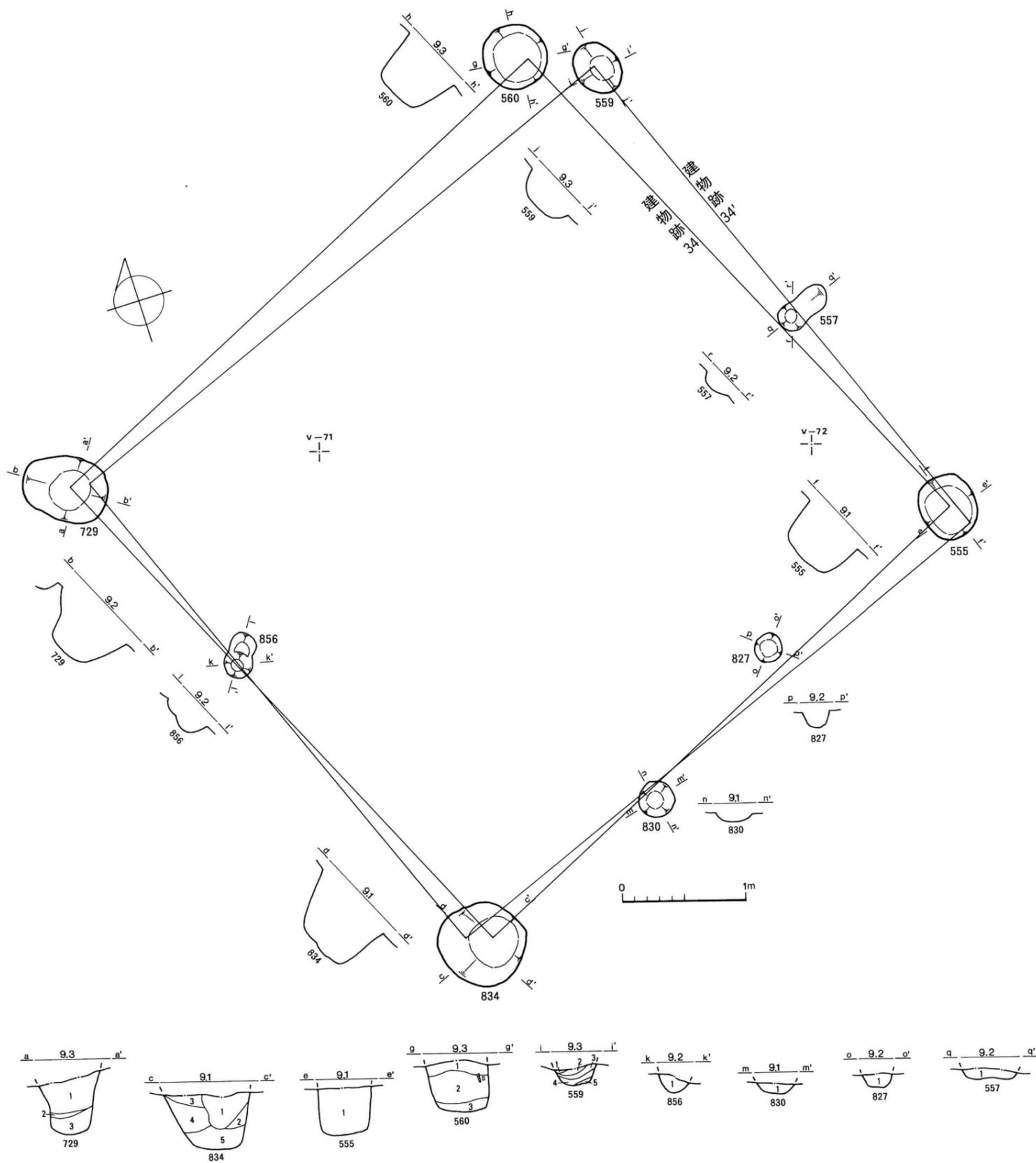
本建物跡は、支柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。442と443の重複関係や覆土のちがいがいなどから見て、建物跡31より新しく、建て替えられたものであろう。1174は他に比べて深く(55cm)、墳底東側には径約15cmほどの浅いくぼみがある。柱跡である

表IV-21 建物跡31・32の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考(付設・出土遺物…)
			長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1168	31	r-75	27×26	16×16/10	9.26	①暗褐>黄(>En-a)	
// -443	//	s-74	(22)×20	13×12/9	9.16	①暗褐>黄(+En-a) ザラザラ	443→442
// -1188	//	s-75	20×18	13×12/13	9.02	①暗褐>黄(>En-a)	
// -1175	//	//	17×16	8×7/9	9.20	①暗褐>黄(>En-a)	
// -442	32	s-74	20×17	10×8/22	9.26	①黒褐>黄 軟質 ②En-a>①	442→443
// -1193	//	s-75	24×23	14×13/25	8.90	①暗褐>黄 ②黒褐(>En-a)	IVc
// -1174	//	//	29×28	14×13/55	8.74	①暗褐(>En-a) ②黒褐(>En-a) 粘質	IVc、フレイク



図IV-23 建物跡33・33'



図IV-24 建物跡34・34'

うか。また1193の墳底南側にも同様の浅いくぼみが見られる。

建物跡33 (図IV-2・23 表IV-22)

位置：r-74・75 s-74・75 標高9.50m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：441-1304・1318- (東西) ~3.32m 441-1318・1304- (南北) ~3.29m

長軸方向：N-55°-E 確認：VII層上面付近 覆土：暗褐色土

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南東の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正形状に配列するものであると思われる。441と440の重複関係から、建物跡33'より古いものである。1166、446は位置関係から見て、本建物跡に関連するピットと思われる。

建物跡33' (図IV-2・23 表IV-23)

位置：r-74・75 s-74・75 標高9.50m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：440-1305・1318- (東西) ~2.83m 440-1318・1305- (南北) ~3.20m

長軸方向：N-31°-W 確認：VII層上面付近 覆土：暗褐色土

出土遺物：299の覆土中からIVcが3点出土している。

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、柱穴状ピット4基(南東の柱穴状ピットは未確認)がやや長形状に配列するものと思われる。1194、1306、299、1346は位置関係から本建物跡に関連するピットと思われる。440と441の重複関係から見て建物跡33より新しく、建て替えられたものであろう。1318の墳底中央部には径約13cmの浅いくぼみがある。柱跡であろうか。

表IV-22 建物跡33・33'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1304	33	r-75	22 × 17 / 7 × 7 / 8		9.34	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -441	//	s-74	26 × (24) / 16 × 14 / 36		9.00	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い ②≒①ボソボソ	441→400
// -1318	33・33'	s-75	44 × 29 / 19 × 20 / 24		8.84	①暗褐>黄 (>En-a) ボロボロ	
// -1166	33	r-75	25 × 21 / 14 × 12 / 29		9.07	①暗褐 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a)	
// -446	//	s-74	22 × 22 / 17 × 16 / 39		8.96	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 ③≒②ボソボソ ④≒① (>En-a) ⑤暗褐 粘質	
// -1305	33'	r-75	17 × 16 / 8 × 7 / 20		9.23	①暗褐 (>En-a) 粘質 ②En-a +①	
// -440	//	r-74, s-74	46 × 34 / 20 × 20 / 70		8.68	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②≒①ボソボソ ③暗褐>黄 (>En-a) 堅い ④≒② 暗く、軟質	440→441
// -1194	//	r-75	19 × 17 / 9 × 9 / 7		9.25	①暗褐>黄	
// -1306	//	//	15 × 14 / 8 × 8 / 4		9.35	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -299	//	r-74	26 × 22 / 12 × 12 / 27		9.16	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	IVc
// -1346	//	s-74	18 × 17 / 10 × 9 / 10		9.21	①暗褐>黄 (>En-a)	

建物跡34 (図IV-2・24 表IV-23・198)

位置：u-70・71・72 v-70・71・72 周辺は耕作によりVIII層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

規模：729-560・834-555 (東西) ~5.12m 729-834・560-550 (南北) ~5.00m

長軸方向：N-65°-E 確認：VIII層中 覆土：暗褐色土

出土遺物：560の覆土中からIVb-4が9点、IVcが8点、IVc-1が1点、たたき石1点、フレイク3点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がやや長形状に配列するものである。覆土のちがいがら見て建物跡34'より古いものである。856、830、557は位置関係から本建物跡に関連するピットと思われる。

建物跡34' (図IV-2・24 表IV-23)

位置：u-70・71・72 v-70・71・72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

規模：729-559・834-555 (東西) ~5.33m 729-834・559-555 (南北) ~4.92m

長軸方向：N-68°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：黒褐色土

出土遺物：834の覆土中からIVcが4点、石鏃1点、砥石1点、フレイク6点、559の覆土中からIVb-4が1点、IVcが3点、557の覆土中からフレイクが1点出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がやや長方形に配列するものである。覆土のちがいから見て建物跡34より新しく、建て替えられたものであろう。834の墳底南側には径約13cmほどの浅いくぼみがある。

表IV-23 建物跡34・34'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-560	34	u-71	53 × 51	39 × 38 / 41	8.82	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③≒①黄色土多く、ボソボソ	IVb-4、IVc、IVc-1 たたき石、フレイク
// -729	34・34'	v-70	69 × 53	32 × 34 / 46	8.67	①黒褐(>En-a)②En-a+砂粒 ③≒①En-aが少 ない、全体に堅い	
// -834	//	v-71・w-71	70 × 66	40 × 41 / 45	8.54	①黒褐>黄②黒褐>黄(>En-a)③暗褐>黄(>En-a) ④褐>黄(+En-a)⑤黒褐>黄(>En-a)	IVc、石鏃、砥石、 フレイク
// -555	//	v-72	52 × 45	39 × 35 / 38	8.63	①黒、堅い	
// -827	34	v-71	23 × 22	15 × 16 / 14	9.00	①黒褐 (>En-a) 軟質	
// -559	34'	u-71	46 × 35	21 × 18 / 18	9.02	①黒褐②En-a>① ③ ①>En-a ④ ①>En-a ⑤≒①>黄	IVb-4、IVc
// -856	//	v-70	37 × 24	10 × 10 / 16	8.96	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -830	//	v-71	30 × 29	15 × 15 / 8	8.94	①黒褐>黄 ボソボソ	
// -557	//	u-71・72	45 × 23	11 × 10 / 7	9.04	①黒褐>黄 (>En-a)	フレイク

建物跡35 (図IV-2・25 表IV-24)

位置：u-71・72 v-71 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

規模：570-558・881-556 (東西) ~2.14m 570-881・558-556 (南北) ~1.86m

長軸方向：N-77°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：556は暗褐色土、他は黒褐色土である。

出土遺物：556の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長方形に配列するものである。

建物跡36 (図IV-2・25 表IV-24)

位置：u-71・72 v-71・72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

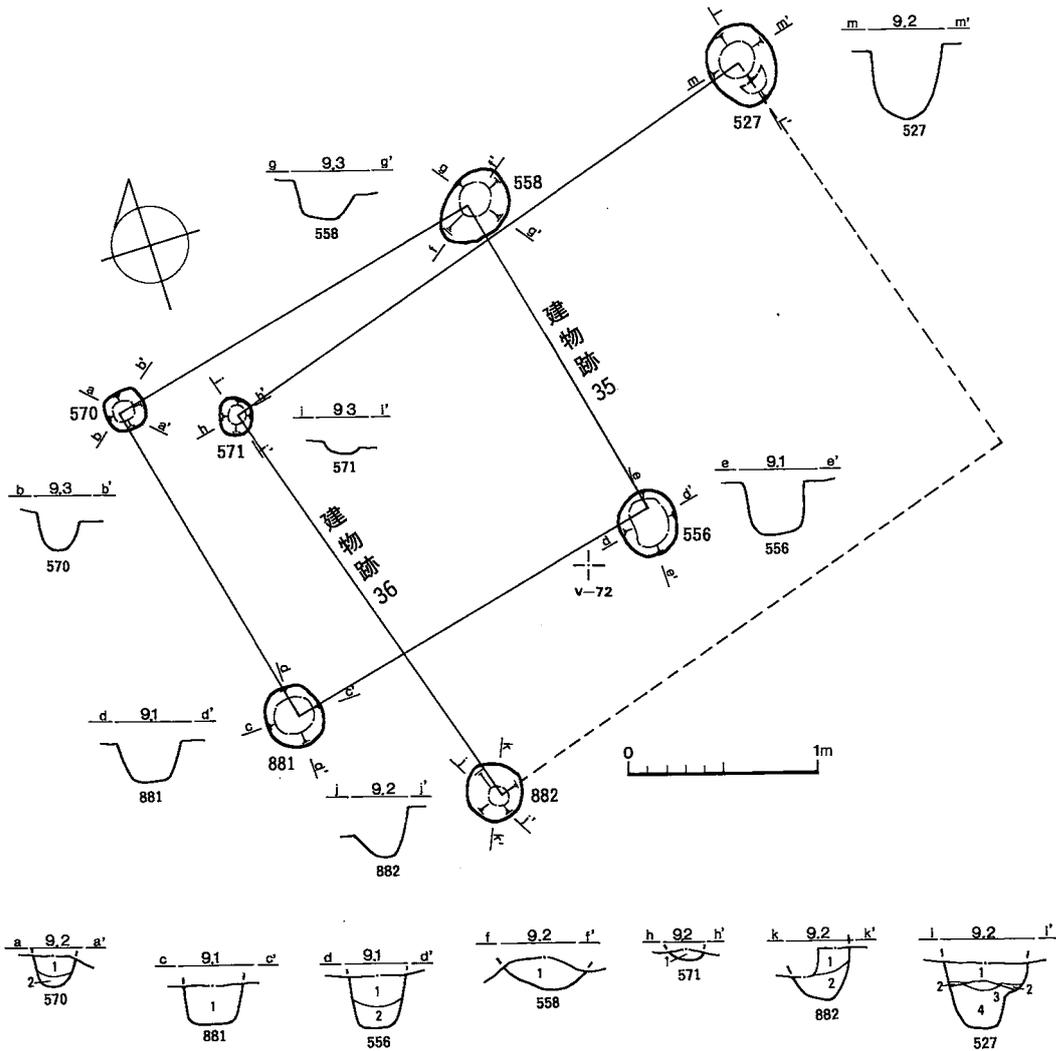
規模：571-527・882- (東西) ~3.24m 571-882・527- (南北) ~2.43m

長軸方向：N-73°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：黒褐色土、882には暗褐色土が混在する。

出土遺物：882の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南東の柱穴状ピットは未確認)が長方形に配列するものと思われる。覆土のちがいなどから見て、建物跡35より新しいものと思われる。



図IV-25 建物跡35・36

表IV-24 建物跡35・36の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面		床(壇底)面 (cm)	壇底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸	長軸×短軸/深さ				
RLSP-558	35	u-71	42 × 31	18 × 17 / 19	8.95	①黒褐>黄 (>En-a)		
// -570	//	//	20 × 20	11 × 10 / 16	9.02	①黒褐>黄 ②①>En-a		
// -881	//	v-71	32 × 30	20 × 20 / 19	8.80	①黒褐 (>En-a)		
// -556	//	u-72	34 × 31	25 × 18 / 27	8.76	①暗褐 (>小さなEn-a) ②≒① (>En-a)	IVc	
// -527	36	//	43 × 35	18 × 18 / 34	8.72	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 粘質 ③暗褐>黄		
// -571	//	u-71	19 × 17	10 × 10 / 5	9.10	①黒褐 やや砂質		
// -882	//	v-71	31 × 31	10 × 10 / 28	8.88	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い ②黒褐 (>En-a) 粘質	IVc	

建物跡37 (図IV-2・26 表IV-25)

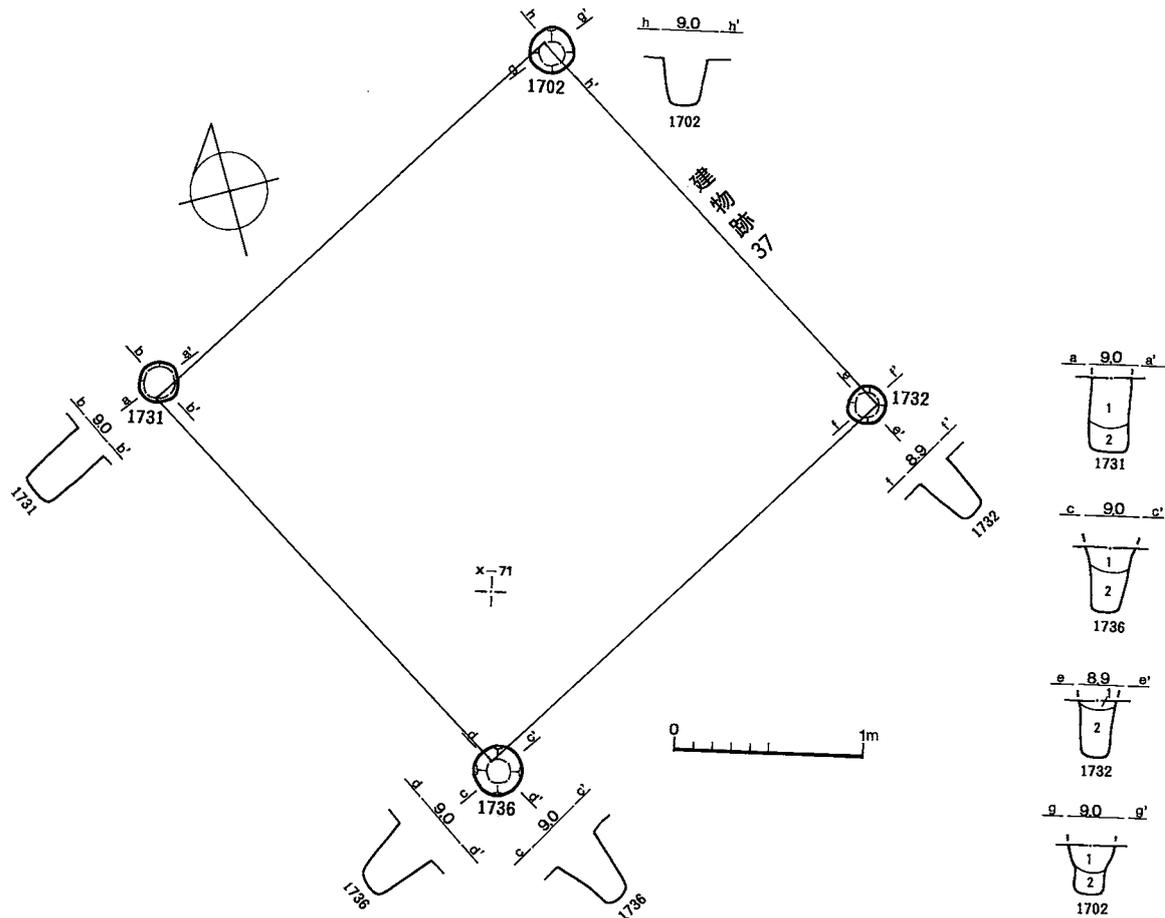
位置: w-70・71 x-70・71 標高9.10m付近、ほぼ北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模: 1731-1702・1736-1732 (東西) ~2.78m 1731-1736・1702-1732 (南北) ~2.72m

長軸方向: N-62°-E 確認: VII層上面付近 覆土: 粘質の暗灰褐色土に暗褐色土と褐色土が混在する。

時期: 周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、主柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。



図IV-26 建物跡37

表IV-25 建物跡37の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1702	37	w-71	23 × - / 15 × - / 25		8.60	①褐>黄 (> En-a) 軟質 ②暗灰褐 (> En-a)	
" -1731	"	w-70	20 × - / 18 × - / 20		8.54	①暗褐>黄 (> En-a) ボソボソ ②暗灰褐 (> En-a) 粘質	
" -1736	"	x-70・71	25 × - / 14 × - / 34		8.49	①暗褐>黄 (> En-a) 軟質 ②暗灰褐 (> En-a) 粘質	
" -1732	"	w-71	20 × - / 16 × - / 30		8.51	①暗褐>黄 (> En-a) ②暗灰褐 粘質	

建物跡38 (図IV-2・27 表IV-26)

位置：u-69・70 v-70 標高9.25m付近、東→西へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：733-787・730-567 (東西) ~2.08m 733-730・787-567 (南北) ~2.10m

長軸方向：N-17°-W 確認：VII層上面付近 覆土：787は暗褐色土

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。787と736の重複関係から見て、建物跡38より古いものである。

建物跡38' (図IV-2・27 表IV-26)

位置：u-69・70 v-70 標高9.25m付近、東→西へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

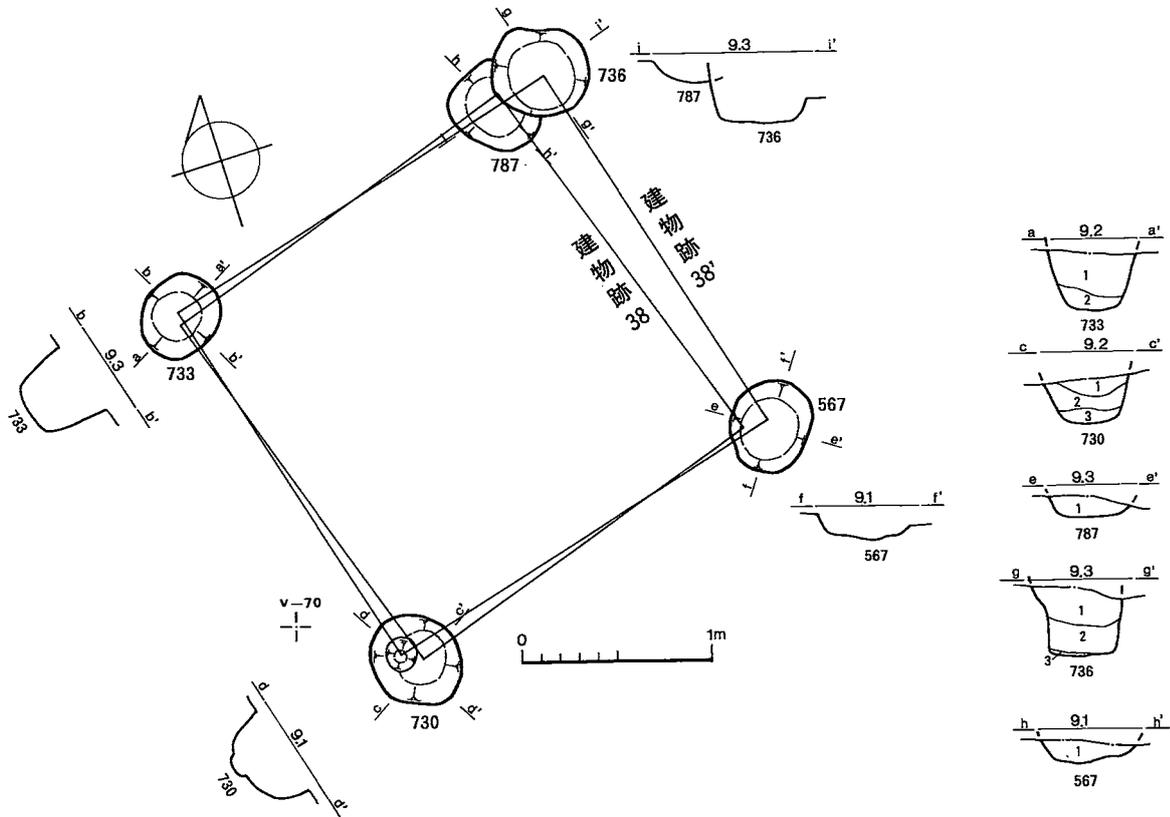
規模：733-736・730-567 (東西) ~2.30m 733-730・736-567 (南北) ~2.25m

長軸方向：N-76°-E 確認：VII層上面付近 覆土：黒褐色土

出土遺物：730の覆土中からIVcが1点、567の覆土中からフレイク1点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。736と787の重複関係から見て、建物跡38より新しく、建て替えられたものである。736、567の壇底中央部には浅いくぼみがある。柱跡であろうか。



図IV-27 建物跡38・38'

表IV-26 建物跡38・38'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(壇底)面 (cm)	壇底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ	長軸×短軸/深さ			
RLSP-787	38	u-70	49 × 44 / 33 × 26 / 12	9.14	①暗褐>黄 (>En-a) 軟質	787→736	
〃 -733	38・38'	u-69	46 × 40 / 26 × 27 / 30	8.81	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a)		
〃 -730	〃	u-70、v-70	52 × 46 / 8 × 8 / 26	8.77	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 ③黒 (>En-a) 粘質	IVc	
〃 -567	〃	u-70	49 × 42 / 34 × 30 / 11	8.92	①黒褐 (>En-a)	フレイク	
〃 -736	38'	〃	51 × 46 / 36 × 38 / 37	8.92	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	736←787	

建物跡39 (図IV-2・28 表IV-27)

位置：p-74・75 q-75 標高9.75m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：QSP4427-1144・ -1154 (東西) ~2.90m QSP4427- 1144-1154 (南北) ~2.97m

長軸方向：N-27°-W 確認：VII層上面付近 覆土：黒褐色土主体

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南西の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。1154の壇底形状から2棟の建物跡があったのではないかと想定している。建物跡39より古いものであろう。

建物跡39' (図IV-2・28 表IV-27)

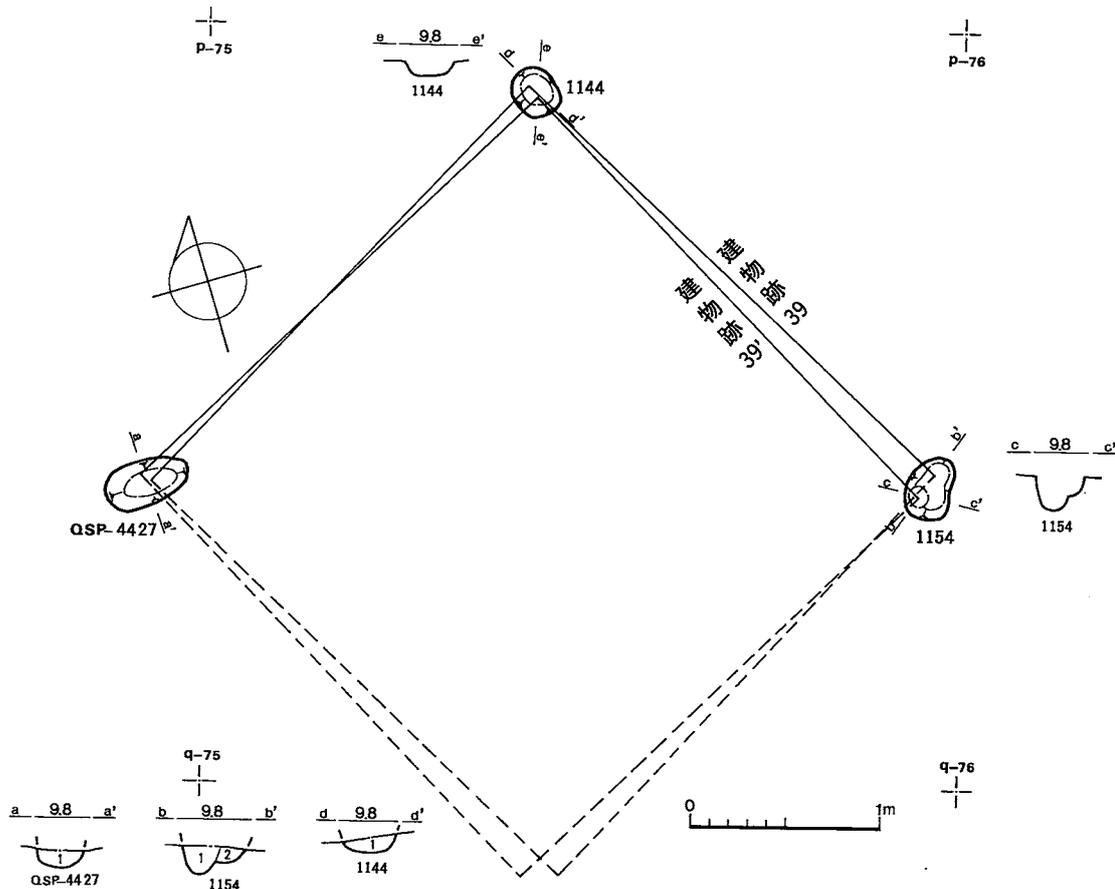
位置：P-74・75 q-75 標高9.75m付近、北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：QSP4427-1144・1154 (東西) ~2.88m QSP4427-1144-1154 (南北) ~2.92m

長軸方向：N-29°-W 確認：VII層上面付近 覆土：黒褐色土主体

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南西の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。1154の墳底の形状から考え、2棟の建物跡があったのではないかとと思われる。本建物跡は建て替えられたものと思われる。



図IV-28 建物跡39・39'

表IV-27 建物跡39・39'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物...)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1144	39・39'	P-75	28 × 23 / 18 × 15 / 8		9.63	①黒褐 (>En-a)	
QLSP-4427	〃	P-74	44 × 24 / 30 × 12 / 9		9.53	①暗黄褐 (>En-a)	
RLSP-1154	〃	P-75	33 × 25 / 12 × 12 / 20		9.49	①黒褐 (>En-a) ② ①>En-a	

建物跡40 (図IV-2・29 表IV-28)

位置：P-73・74・75 q-73・74・75 周辺は耕作によりVIII層中まで攪乱されている。ほぼ北→南へ傾斜する緩斜面の肩口に位置しているものと思われる。

規模：133-QSP4425・160-1196 (東西) ~4.32m 133-160・QSP4425-1196 (南北) ~4.53m

長軸方向：N-25°-W 確認：VIII層中 覆土：暗褐色土主体

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がやや長方形に配列するものである。QSP-4425とQSP-4426の重複関係から見て、建物跡40'より古いものである。

建物跡40' (図IV-2・29 表IV-28)

位置：P-73・74・75 Q-73・74・75 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ北→南へ傾斜する緩斜面の肩口に位置しているものと思われる。

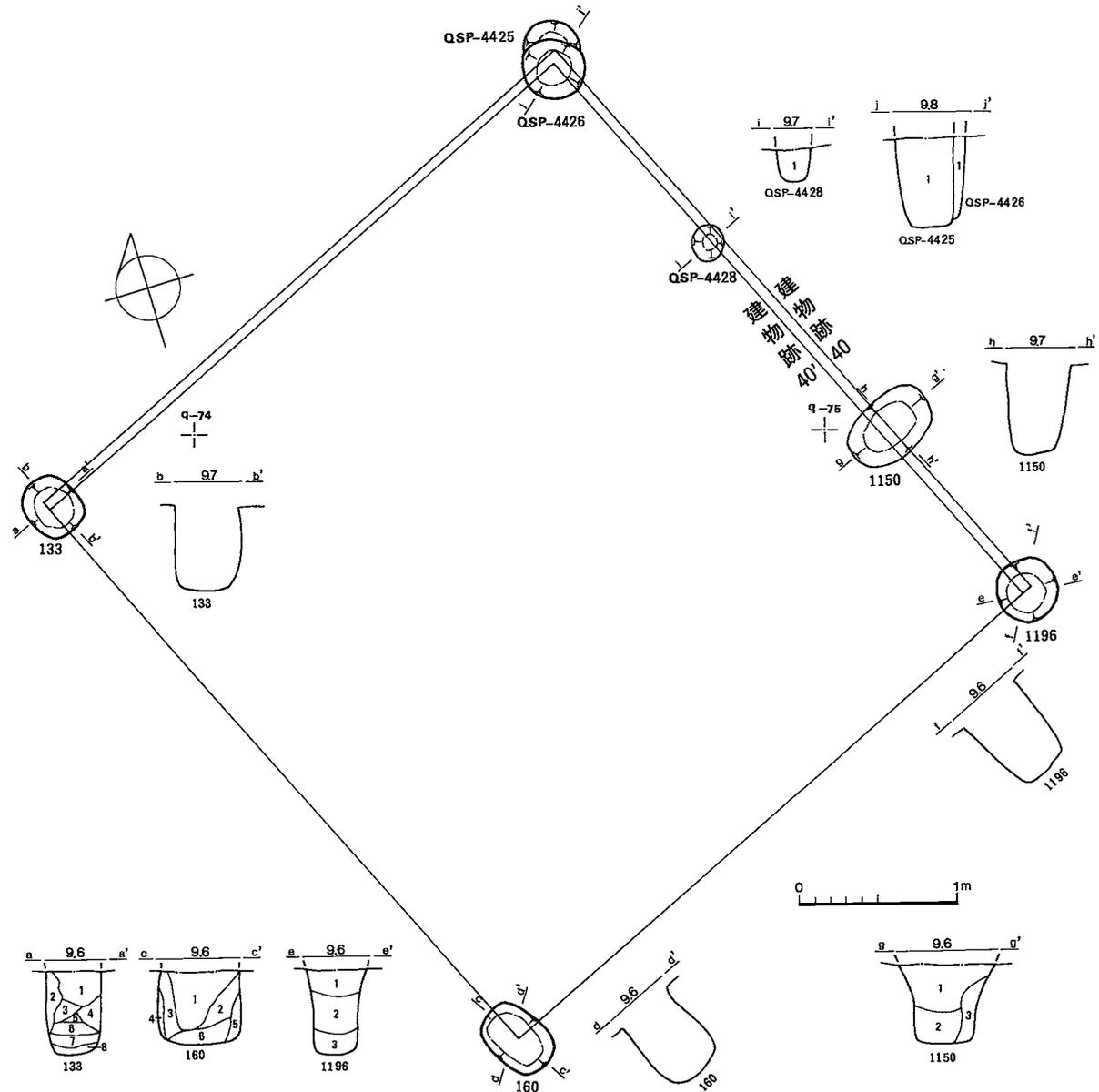
規模：133-QSP4426・160-1196 (東西) ~4.25m 133-160・QSP4426-1196 (南北) ~4.47m

長軸方向：N-25°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土主体

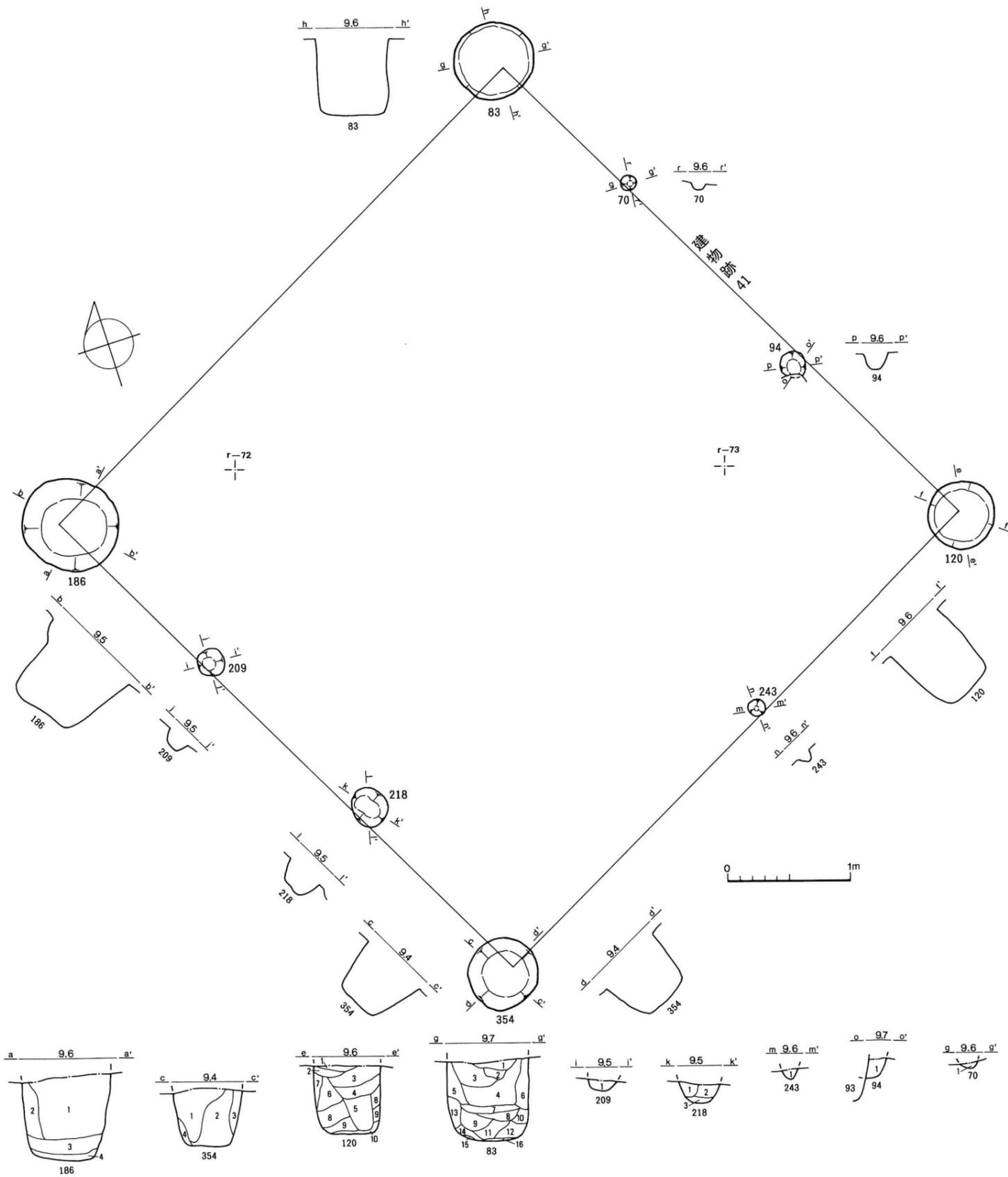
出土遺物：133の覆土中からIVcが1点、IVc-1が1点、1196の覆土中からフレイク2点、1150の覆土中からIVcが18点、フレイク5点、礫2点が出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がやや長方形に配列するものである。QSP-4425とQSP-4426の重複関係から見て、建物跡40より新しく、建て替えられたものである。QSP-4428、1150は位置関係から本



図IV-29 建物跡40'・40'



図IV-30 建物跡41

建物跡に関連するピットと思われる。ピットの径は40cm前後、深さ55cm前後、壙底レベル9.00m前後ときわめてしっかりしたものである。

表IV-28 建物跡40・40'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(壙底)面 (cm)	壙底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
QLSP-4425	40	P-74	— × — / — × — / 52)		(9.12)	①褐 (>En-a)	
RLSP-133	40・40'	q-73	40 × 34 / 27 × 24 / 54		9.00	①暗褐>黄 (>En-a) ②En-a>暗褐③暗褐>黄 (>En-a) ④En-a+① ⑤≒③ (>小さなEn-a) ⑥暗褐>黄 (>En-a) 粘質 ⑦≒⑥ (>En-a) ⑧≒⑥ボソボソ	IVc、IVc-1
” -160	”	q-74、r-74	48 × 34 / 39 × 24 / 56		8.98	①暗褐>黄 (>En-a) 粘質②≒①ボソボソ③≒② (>En-a) ④En-a+① ボソボソ ⑤En-a>①ボソボソ ⑥暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
” -1196	”	q-75	40 × 39 / 25 × 24 / 55		8.96	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ③黒褐	フレイク
QLSP-4426	40'	P-74	40 × 38 / 22 × 12 / 57		9.06	①黒褐 (>En-a)	
RLSP-1150	”	P-75、q-75	58 × 37 / 36 × 23 / 50		9.01	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) 粘質 ③En-a ボソボソ	IVc、フレイク、礫
QLSP-4428	”	P-74	23 × 21 / 9 × 9 / 20		9.36	①暗黄褐 (<En-a)	

建物跡41 (図IV-2・30 表IV-29・198)

位置：q-71・72・73 r-71・72・73 s-72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

規模：186-83・354-120 (東西) ~5.22m 186-354・83-120 (南北) ~5.20m

長軸方向：N-62°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土主体で、黒褐色土や褐色土が混在する。

出土遺物：186の覆土中からIVcが36点、IVc-1が1点、フレイク5点、354の覆土中からIVcが5点、IVc-1が2点、フレイク3点、120の覆土中からIVcが3点、IVc-1が1点、すり石が1点出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正形状に配列するものである。209、218、243、94、70は位置関係から見て、本建物跡に関連するピットと思われる。83、186、354、120は径56cm~80cm、深さ47cm~72cmと大型の柱穴状ピットである。120の土層断面には杭跡が明瞭に残されている。

表IV-29 建物跡41の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(壙底)面 (cm)	壙底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-83	41	q-72	63 × 62 / 55 × 57 / 67		8.89	①暗褐 (>En-a) 堅い ②暗褐>黄 (+En-a) ③暗褐>黄 (>En-a) ④暗褐>黄 (>En-a) 粘質 ⑤暗褐>黄 (>En-a) ⑥ボソボソのEn-a ⑦暗褐>黄 (>En-a) ⑧暗褐>黄 (>En-a) 粘質 ⑨暗褐>黄 (>En-a) 粘質 ⑩褐>黄 (>En-a) ボソボソ ⑪黒褐 (>En-a) ⑫黒褐 (+En-a) ボソボソ ⑬En-a>暗黄褐ボソボソ ⑭暗褐+黄 (>En-a) ⑮黒褐 粘質⑯灰褐	
” -186	”	r-71	80 × 72 / 54 × 48 / 72		8.74	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (+En-a) ③En-a >① ④暗褐	IVc、IVc-1、フレイク
” -354	”	r-72、s-72	60 × 56 / 56 × 40 / 47		8.84	①暗褐 ②≒① (>En-a) ③En-a+暗黄褐 ④小さなEn-a	IVc、IVc-1、フレイク
” -120	”	r-73	56 × 55 / 44 × 43 / 65		8.85	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒① (>大きなEn-a) ③≒①En-a 少なく、炭化物混入、④≒① (>大きなEn-a) ⑤暗褐>黄 (>小さなEn-a) 粘質⑥≒④小さなEn-aが多い、⑦ボソボソのEn-a>暗黄褐⑧≒⑥ (⑥よりEn-a 少ない) 粘質⑨≒⑥ (⑥より黄色土多い) ⑩暗灰褐 粘質	IVc、IVc-1、すり石
” -209	”	r-71	24 × 21 / 11 × 10 / 10		9.32	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
” -218	”	r-72	31 × 29 / 22 × 12 / 18		9.17	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒① (>En-a) ③暗褐>黄 (>En-a)	
” -243	”	r-73	13 × 13 / 4 × 4 / 8		9.39	①暗褐>黄 (>En-a)	
” -94	”	q-73	(22) × 20 / (13) × 10 / 15		9.39	①褐>黄 (>En-a) 堅い	94→93
” -70	”	q-72	12 × 12 / 6 × 6 / 5		9.45	①褐>黄 (>En-a)	

建物跡42 (図IV-2・31 表IV-30)

位置：P-73 q-72・73 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

規模：72-QSP4452・117-127 (東西) ~2.46m 72-117・QSP4452-127 (南北) ~2.40m

長軸方向：N-70°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土が主体で、褐色土が混在する。

出土遺物：127の覆土中からIVcが2点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。

建物跡42' (図IV-2・31 表IV-30)

位置：P-73 q-72・73・74 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

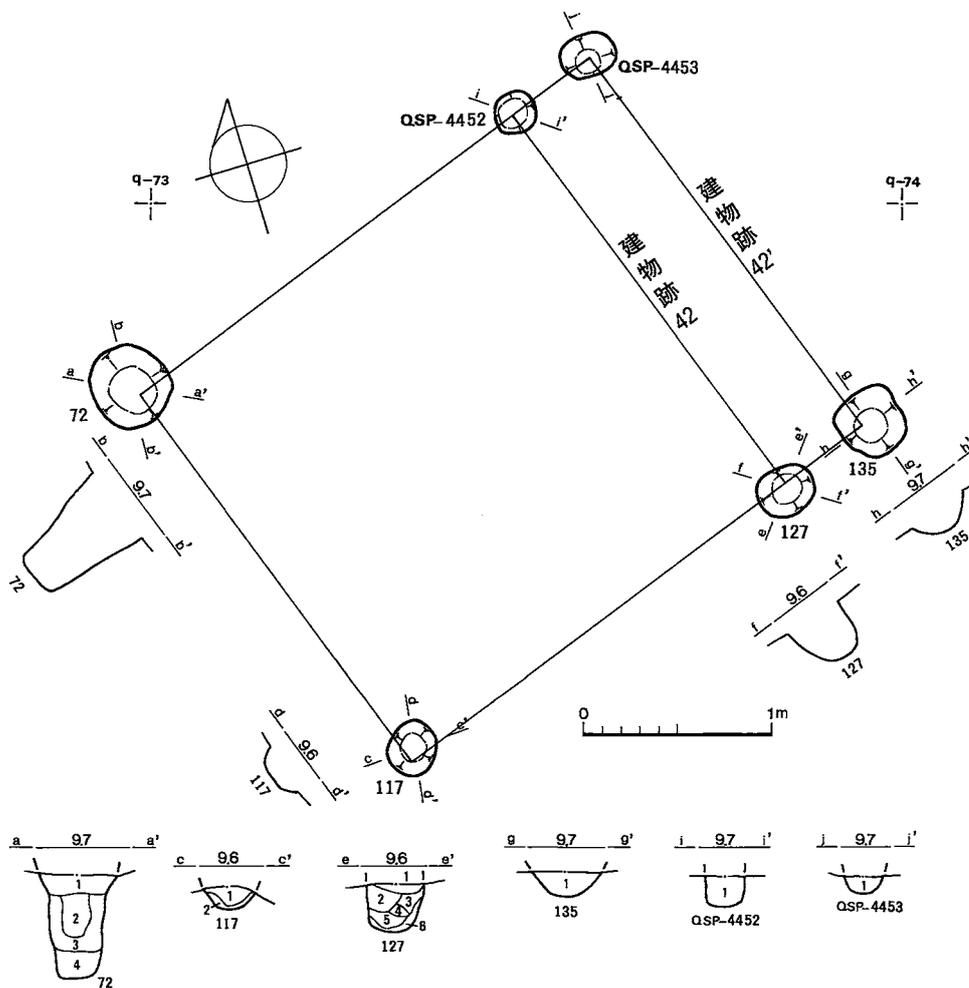
規模：72-QSP4453・117-135 (東西) ~2.97m 72-117・QSP4453-135 (南北) ~2.40m

長軸方向：N-70°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土主体で、褐色土が混在する。

出土遺物：72の覆土中からフレイクが4点出土している。

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長方形に配列するものである。建物跡42との関係は重複、覆土などから明瞭ではないが、建物跡42から拡張されたものと想定している。72は径(42cm)、深さ(60cm)とも他に比べて大きく、深い。



図IV-31 建物跡42・42'

表IV-30 建物跡42・42'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(楕底)面 (cm)	楕底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
QLSP-4452	42	P-73	22 × 21	15 × 16 / 16	9.38	①暗褐 (>En-a) 粘質	
RLSP-72	42・42'	q-72,73	42 × 40	26 × 24 / 60	9.01	①褐>黄 (>大きなEn-a) ②=① (>En-a) 粘質 ③=①ボソボソ ④=① (>小さなEn-a) 堅い	フレイク
// -117	//	q-73	30 × 26	14 × 14 / 12	9.40	①暗褐>黄 (>En-a) ②En-aがブロック状	
// -127	42	//	30 × 26	18 × 17 / 28	9.23	①褐>黄 (>小さなEn-a) ②褐>黄 (>En-a) ③明灰褐 粘質 ④ ③+En-a ⑤ En-a>黄褐 ⑥ ③>En-a	IVc
QLSP-4453	42'	P-73	30 × 22	14 × 15 / 9	9.45	①暗褐 (>En-a) 粘質	
RLSP-135	//	q-73	36 × 34	18 × 18 / 16	9.43	① En-a>黄褐 ガラガラ	

建物跡43 (図IV-2・32 表IV-31)

位置: q-73 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

規模: 99-132・115-128 (東西) ~2.45m 99-115・132-128 (南北) ~1.76m

長軸方向: N-74°-E 確認: Ⅷ層中 覆土: 暗褐色土主体で、褐色土混在。

時期: 周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長形状に配列するものである。99と98、128と126の重複関係から見て、建物跡43'より古いものである。

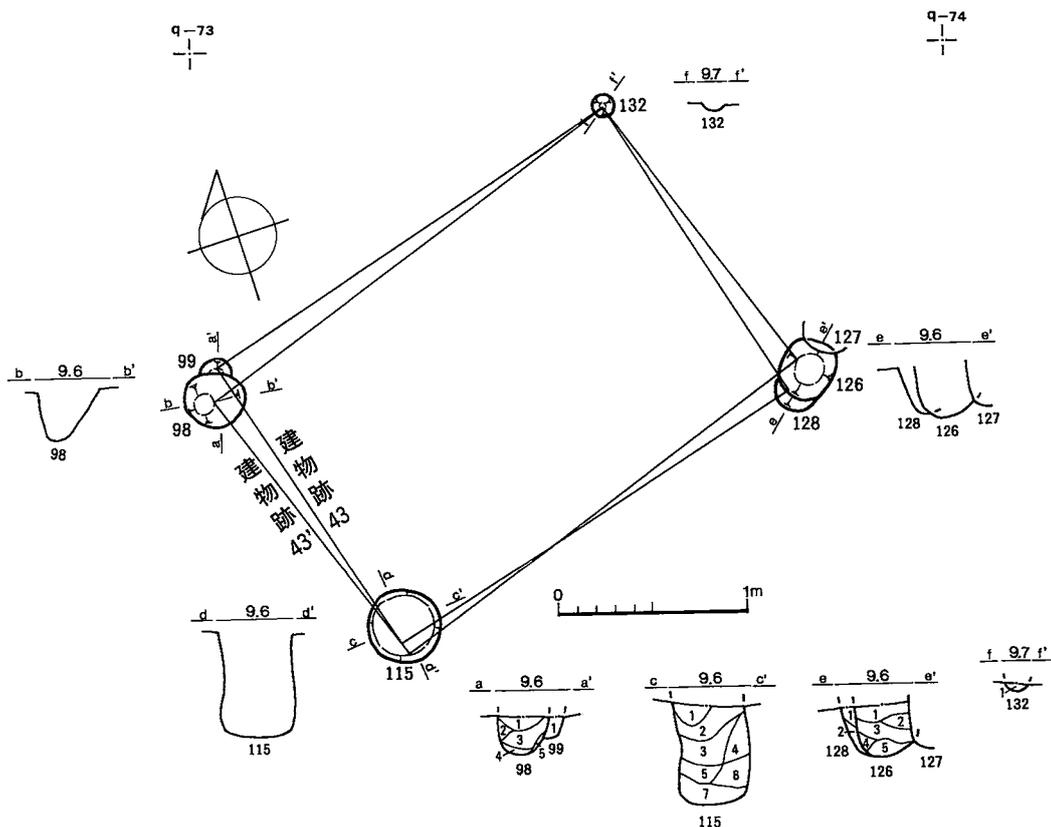
建物跡43' (図IV-2・32 表IV-31)

位置: q-72・73 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

規模: 98-132・115-126 (東西) ~2.60m 98-115・132-126 (南北) ~1.68m

長軸方向: N-71°-E 確認: Ⅷ層中 覆土: 暗褐色土主体で、黒褐色土混在。

出土遺物: 115の覆土中からIVc-1が1点、フレイクが3点出土している。



図IV-32 建物跡43・43'

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長形状に配列するものである。99と98、128と126の重複関係から見て、建物跡43より新しく、建て替えられたものであろう。115は径38cm、深さ56cmと他に比べ大きく、深い。

表IV-31 建物跡43・43'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(壊底)面 (cm)	壊底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-132	43・43'	q-73	11 × 10 / 6 × 5 / 4		9.54	① En-a+暗黄褐	
〃 -99	43	〃	(14) × - / (7) × - / 8		9.34	①暗褐>黄 (>大きな En-a)	99→98
〃 -115	43・43'	q-72・73	38 × 38 / 34 × 32 / 56		8.97	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③褐>黄 (>小さな En-a) ④暗黄褐 細砂 ⑤褐>黄 (> En-a) ⑥=⑤ 粘質 ⑦暗褐>黄 (>En-a) 粘質	IVc-1、フレイク
〃 -128	43	q-73	- × (24) / - × - / 25		9.23	①褐>黄 (>En-a) ②褐+黄 (+En-a) 砂粒状	128→126
〃 -98	43'	q-72・73	32 × 30 / 11 × 11 / 26		9.27	①暗褐>黄 (>大きな En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③=① (> En-a) ④黒褐 粘質 ⑤=②	98←99
〃 -126	〃	q-73	(34) × 25 / 16 × 15 / 26		9.20	①暗褐>黄 (>小さな En-a) ②暗褐>黄 (>大きな En-a) ポロポロ ③暗褐>黄 (>En-a) ④=③ (③よりポロポロ)	127←126←128

建物跡44 (図IV-2・33 表IV-32)

位置：P-73・74 q-73・74 周辺は耕作により攪乱されている。ほぼ平坦地。

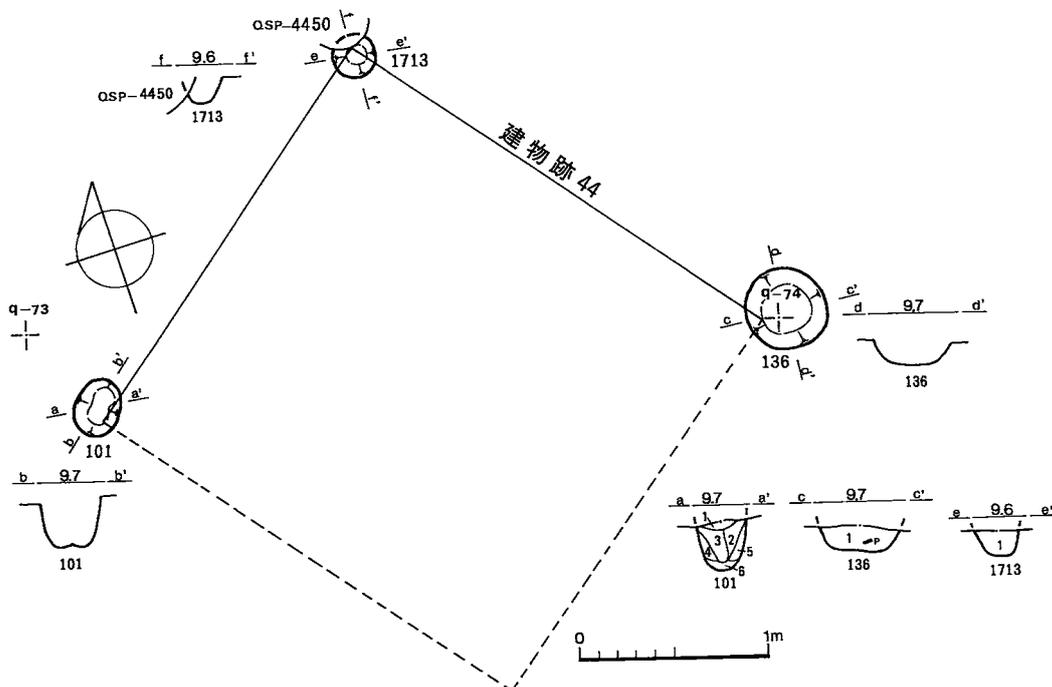
規模：101-1713・ -136 (南西-北東) ~2.40m 101- 1713-136 (北西-南東) ~2.60m

長軸方向：N-38°-W 確認：VIII層中 覆土：褐色土

出土遺物：101の覆土中からIVcが2点、IVc-1が1点、フレイク1点、136の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南東の柱穴状ピットは未確認)がやや長形状に配列するものと思われる。101の壊底には柱跡状のくぼみが二つ認められることから、建て替えが行われている模様である。QSP-4450と1713の重複関係から見て、建物跡17より古いものである。



図IV-33 建物跡44

表IV-32 建物跡44の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面 床(坑底)面 (cm)		坑底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物...)
			長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1713	44	p-73	23 × -	10 × - / 13	9.40	①褐>黄 (>En-a)	QLSP-4450←1713
// -101	//	q-73	31 × 24	20 × 10 / 25	9.35	①褐>黄 (>En-a) ②=① (En-a 少なく、カサカサ) ③=① (>En-a) ④褐>黄 (>En-a) ⑤ En-a+暗黄 褐⑥=⑤ 粘質	IVc、IVc-1、フレイク
// -136	//	p-73,74 q-73,74	45 × 42	26 × 26 / 14	9.42	①褐>黄 (>En-a) ザラザラ	IVc

建物跡45 (図IV-2・34 表IV-33・198)

位置：p-74 q-73・74 r-73・74 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

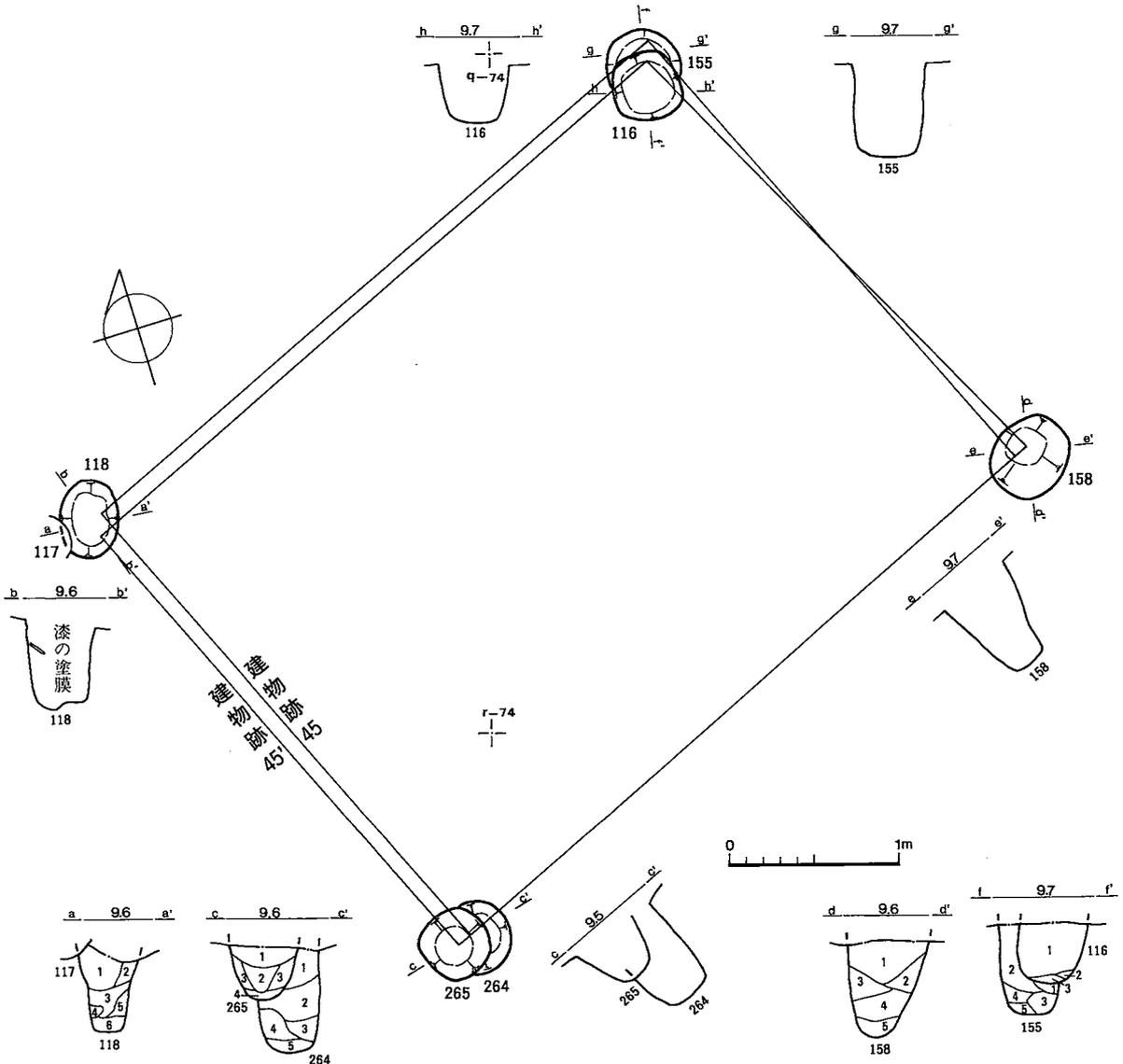
規模：118-155・264-158 (東西) ~4.26m 118-264・155-158 (南北) ~3.27m

長軸方向：N-67°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：褐色土主体で、暗褐色土混在。

出土遺物：155の覆土中からIVc、石鏃が各1点ずつ、264の覆土中からIVc、IVc-1が各4点ずつ、フレイク1点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長方形に配列するものである。155と116、264と265の重複関係から見



図IV-34 建物跡45・45'

て、建物跡45'より古いものである。柱穴状ピットは径40cm～45cm、深さ55cm前後と、しっかり掘られている。

建物跡45' (図IV-2・34 表IV-33)

位置：q-73・74 r-73・74 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

規模：118-116(東西)～4.27m 265-158(東西)～4.46m 118-265(南北)～3.21m 116-158(南北)～3.19m

長軸方向：N-67°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：褐色土主体で、暗褐色土が混在。

出土遺物：118の覆土中からIVcが1点、フレイク4点、158の覆土中からIVcが5点、IVc-1が2点、Rフレイク・礫が各1点ずつ、265の覆土中からIVc-1が1点出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ長形状に配列するものである。155と116、264と265の重複関係から見て、建物跡45より新しく、建て替えられたものである。なお118の覆土上層で、北西から南東方向へ流れ込んだと思われる状態の漆の塗膜が出土している。また118の墳底北側には径約10cmほどの浅いくぼみがある。柱跡であろうか。

表IV-33 建物跡45・45'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-155	45	p-74, q-74	(45)× - / (32)× - / 54		8.98	①褐>黄 (> En-a) ボロボロ ②褐>黄 (> En-a) ③≒① (>大きな En-a) ④≒② (>大きな En-a) ⑤褐+黄 (> En-a) ガラガラ	155→116 IVc、石鏃
〃 -118	45・45'	q-73	45×35 / 31×22 / 52		8.94	①褐>黄 (> En-a) ②≒④堅い ③褐>黄 粘質 ④ En-a (砂粒状) ⑤≒③ (大きな En-a がブロック状に混入) ⑥褐>黄 (> En-a) 粘質	118→117 IVc、フレイク 漆の被膜
〃 -264	45	r-73・74	42×(44)/(27)×(30)/61		8.82	①暗褐>黄 (> En-a) ②褐>黄 (> En-a) 軟質 ③≒② ④≒② (>大きな En-a) ⑤≒②黄色土、En-a 多い	264→265 IVc、IVc-1、フレイク
〃 -158	45・45'	q-74	47×42 / 23×22 / 56		8.98	①暗褐>黄 (> En-a) ②≒① (> En-a) 粘質 ③≒①ボソボソ ④≒① (>小さな En-a) ボソボソ ⑤ ①+黄 (>小さな En-a) ボロボロ	IVc、IVc-1、 Rフレイク、礫
〃 -116	45'	p-74, q-74	41×39 / 30×25 / 33		9.19	①褐>黄 (> En-a) ②暗灰褐 ③≒①ボソボソ	116←155
〃 -265	〃	r-73	40×38 / 22×25 / 31		9.12	①暗褐>黄 (> En-a) ②≒①ボソボソ ③≒① (>大きな En-a) ④ ①+小さな En-a ボロボロ	265←264、IVc-1

建物跡46 (図IV-2・35 表IV-34・198)

位置：r-71・72・73 s-72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

規模：204-235・355-245(東西)～2.92m 204-355・235-245(南北)～2.96m

長軸方向：N-32°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土

出土遺物：235の覆土中からIVc、すり石が各1点ずつ出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、柱穴状ピット4基がほぼ正方形に配列するものである。235と237の重複関係から見て、建物跡46'より古いものである。柱穴状ピットは深く掘られている。

建物跡46' (図IV-2・35 表IV-34)

位置：r-72 s-71・72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

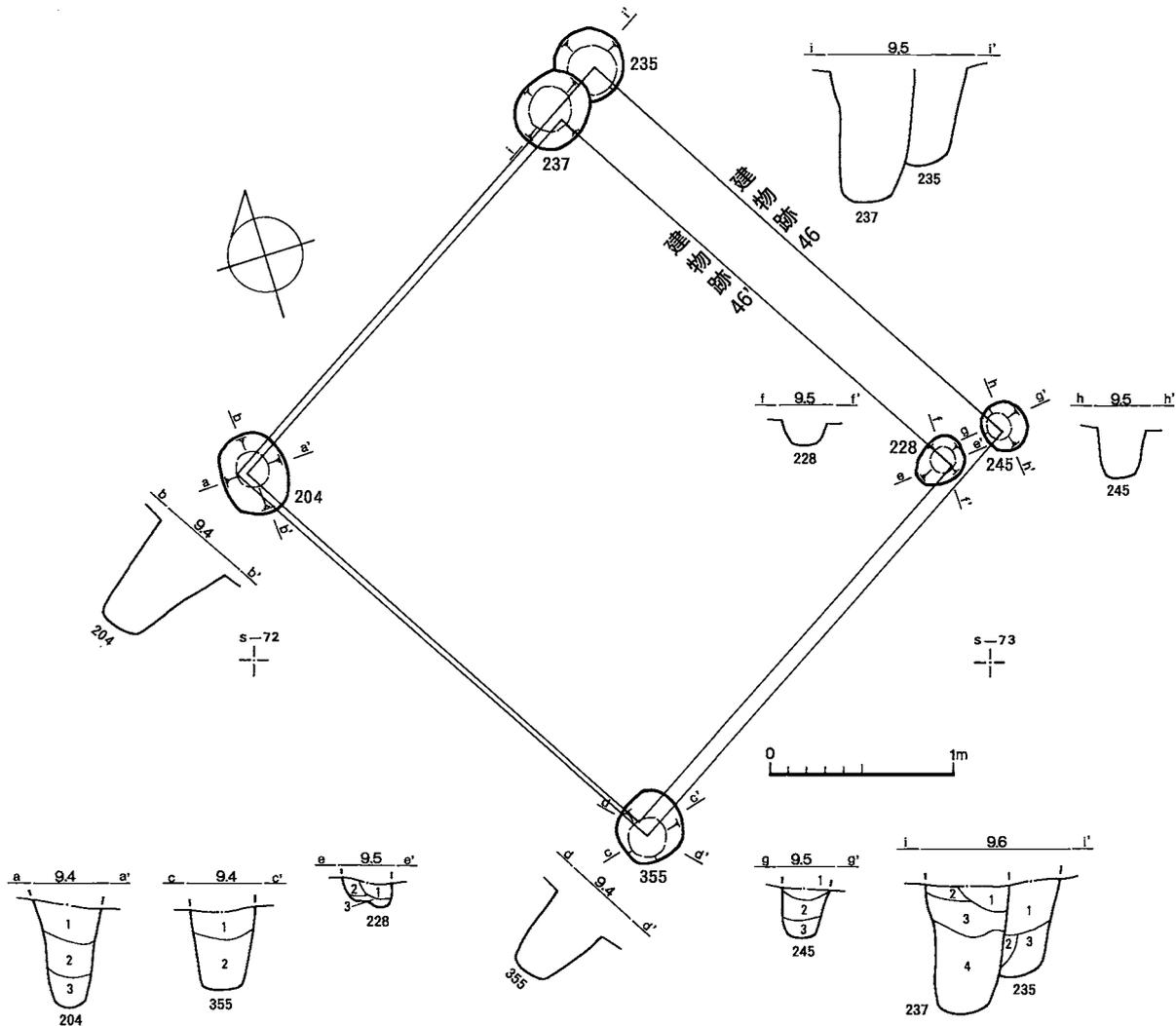
規模：204-237・355-228(東西)～2.58m 204-355-237-228(南北)～2.84m

長軸方向：N-32°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土

出土遺物：204の覆土中からIVcが2点、355の覆土中からIVcが3点、IVc-1が1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、主柱穴4基がやや長形状に配列するものである。235と237の重複関係から見て、建物跡46より新しく、建て替えられたものである。228以外の柱穴状ピットは深くしっかりと掘られている。



図IV-35 建物跡46・46'

表IV-34 建物跡46・46'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-235	46	r-72	(38) × 38 / (25) × 26 / 24		8.90	①暗褐>黄(>小さなEn-a) 堅い ②黒褐>黄(>En-a) 堅い ③暗褐(>En-a) ポロポロ	235→237 IVc、ナリ石
" -204	46・46'	r-71・72	45 × 36 / 20 × 18 / 58		8.72	①暗褐>黄(>En-a) 堅く、粘質 ②暗褐>黄(>En-a) 粘質 ③④ ポロポロ	IVc
" -355	"	s-72	56 × 56 / 22 × 20 / 49		8.81	①暗褐>黄(>En-a) 堅い ②③④ (>小さなEn-a)	IVc、IVc-1
" -245	46	r-72・73	26 × 23 / 15 × 13 / 27		9.11	①暗褐>黄(>En-a) ②③④ (>En-a) 砂質 ③暗褐>黄(>En-a) 粘質	
" -237	46'	r-72	43 × 37 / 24 × 24 / 71		8.69	①暗褐>黄(>En-a) ②暗褐>黄(>En-a) ③暗褐>黄(>En-a) ポロポロ ④暗褐(>En-a) ポロポロ	237←235
" -228	"	"	28 × 25 / 16 × 16 / 14		9.28	①En-a>暗褐>黄 ②暗褐>黄(>En-a) ③灰褐(>En-a) 砂質	

建物跡47 (図IV-2・36 表IV-35)

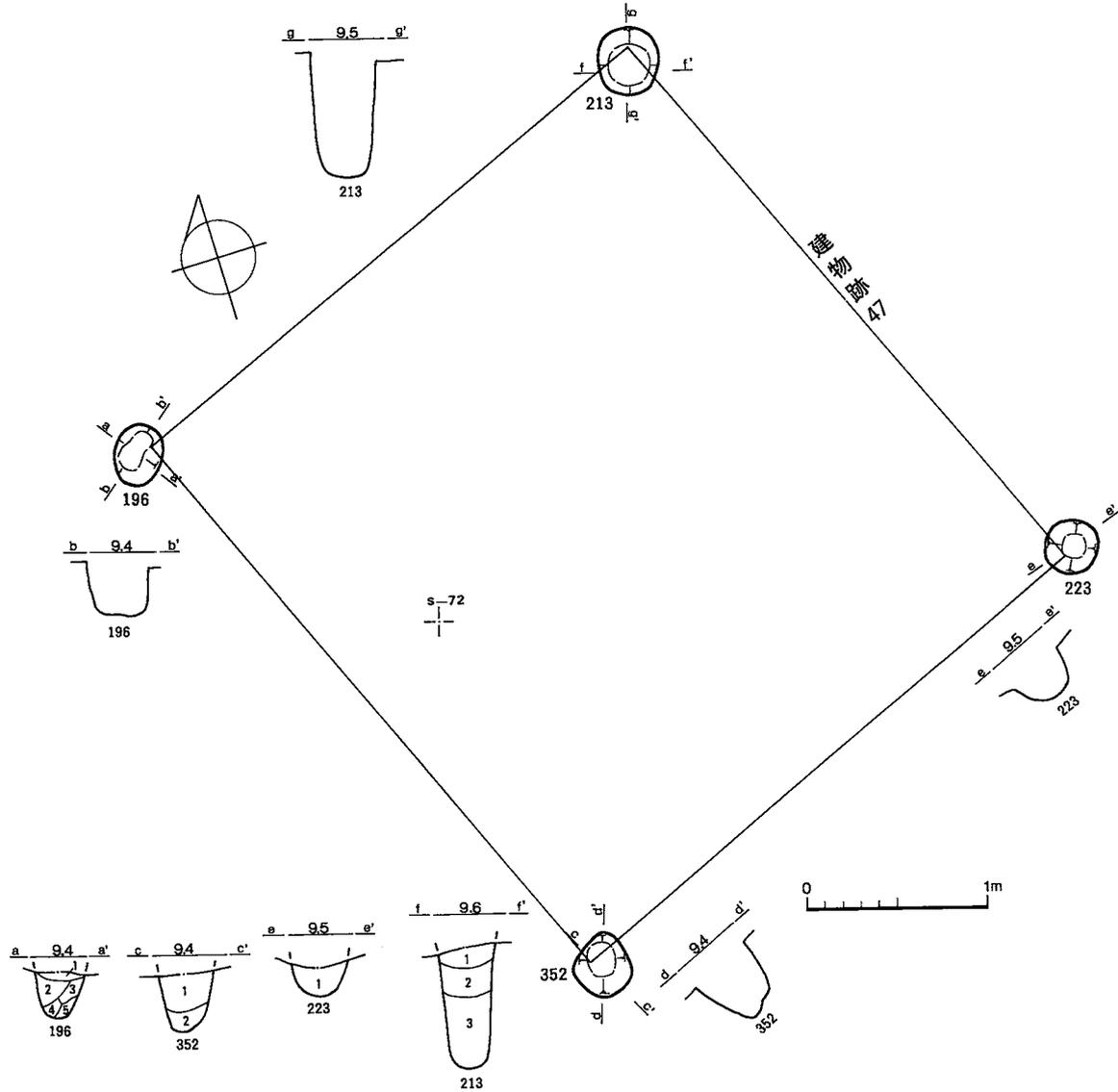
位置：r-71・72 s-71・72 周辺は耕作によりVIII層中まで攪乱されている。平坦地。

規模：196-213・352-223(東西)~3.44m 196-352・213-222(南北)~3.72m

長軸方向：N-23°-W 確認：VIII層中 覆土：暗褐色土

出土遺物：352の覆土中からIVc、IVc-1が2点ずつ、フレイクが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。



図IV-36 建物跡47

表IV-35 建物跡47の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面		床(壇底)面 (cm) 長軸×短軸/長軸×短軸/深さ	壇底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸	短軸				
RLSP-213	47	r-72	36	33	22 × 22 / 68	8.74	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い②=①ボロボロ③暗褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -196	//	r-71	33	26	24 × 14 / 30	9.05	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ③暗褐>黄 (>小さなEn-a) ④暗褐>黄 (>En-a) ⑤暗褐>黄 ガラガラ	
// -352	//	s-72	36	32	20 × 16 / 36	8.92	①暗褐>黄 (>En-a) ② ①+黄 ボロボロ	IVc、IVc-1、フレイク
// -223	//	r-72	28	28	14 × 14 / 20	9.16	①暗褐>黄 (>En-a)	

本建物跡は、支柱穴4基がやや長形状に配列するものである。196の塙底東側と352の塙底南側には浅いくぼみがある。213は他に比べて68cmと深い。

建物跡48 (図IV-2・37 表IV-36)

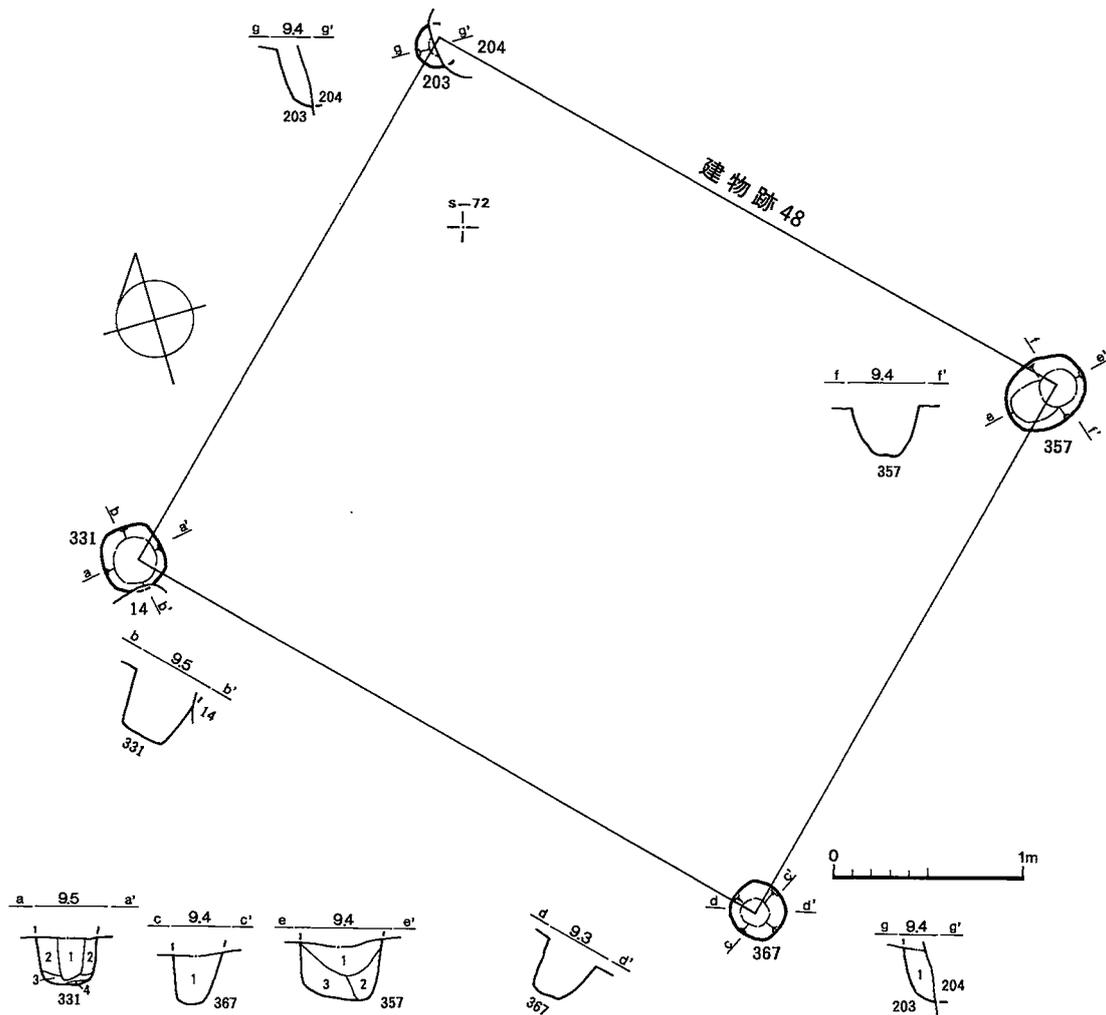
位置: r-71・72 s-71・72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

規模: 331-204・367-357(南西-北東)~3.22m 331-367・203-357(北西-南東)~3.76m

長軸方向: N-45°-W 確認: Ⅷ層中 覆土: 暗褐色土

時期: 周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長形状に配列するものである。367の塙底西側と357の塙底東側には浅いくぼみがある。柱跡であろうか。



図IV-37 建物跡48

表IV-36 建物跡48の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(塙底)面 (cm)	塙底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-203	48	r-71	(23) × - / (11) × - / (30)		9.03	①暗褐>黄 (>小さな En-a)	203→204
"-331	"	s-71	34 × 32 / 25 × 24 / 25		9.10	①暗褐 (> En-a) ② ①>黄 (> En-a) ③黒褐 ④ En-a > ③	331→14
"-367	"	s-72	29 × 28 / 15 × 14 / 28		8.97	①暗褐>黄 (>小さな En-a) ザラザラ	
"-357	"	"	44 × 36 / 20 × 20 / 33		9.01	①暗褐>黄 (> En-a) ②=① (> En-a) ③=① (>小 さな En-a) ボロボロ	

建物跡49 (図IV-2・38 表IV-37・198)

位置：r-72・73 s-72・73 t-72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

規模：347-231・-379(南西-北東)~3.83m 347-・231-379(北西-南東)~4.15m

長軸方向：N-32°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：褐色土主体

出土遺物：231の覆土中からIVc-1が1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南東の柱穴状ピットは未確認)がやや長方形に配列するものと思われる。230と231の重複関係から見て、建物跡49'より古いものである。

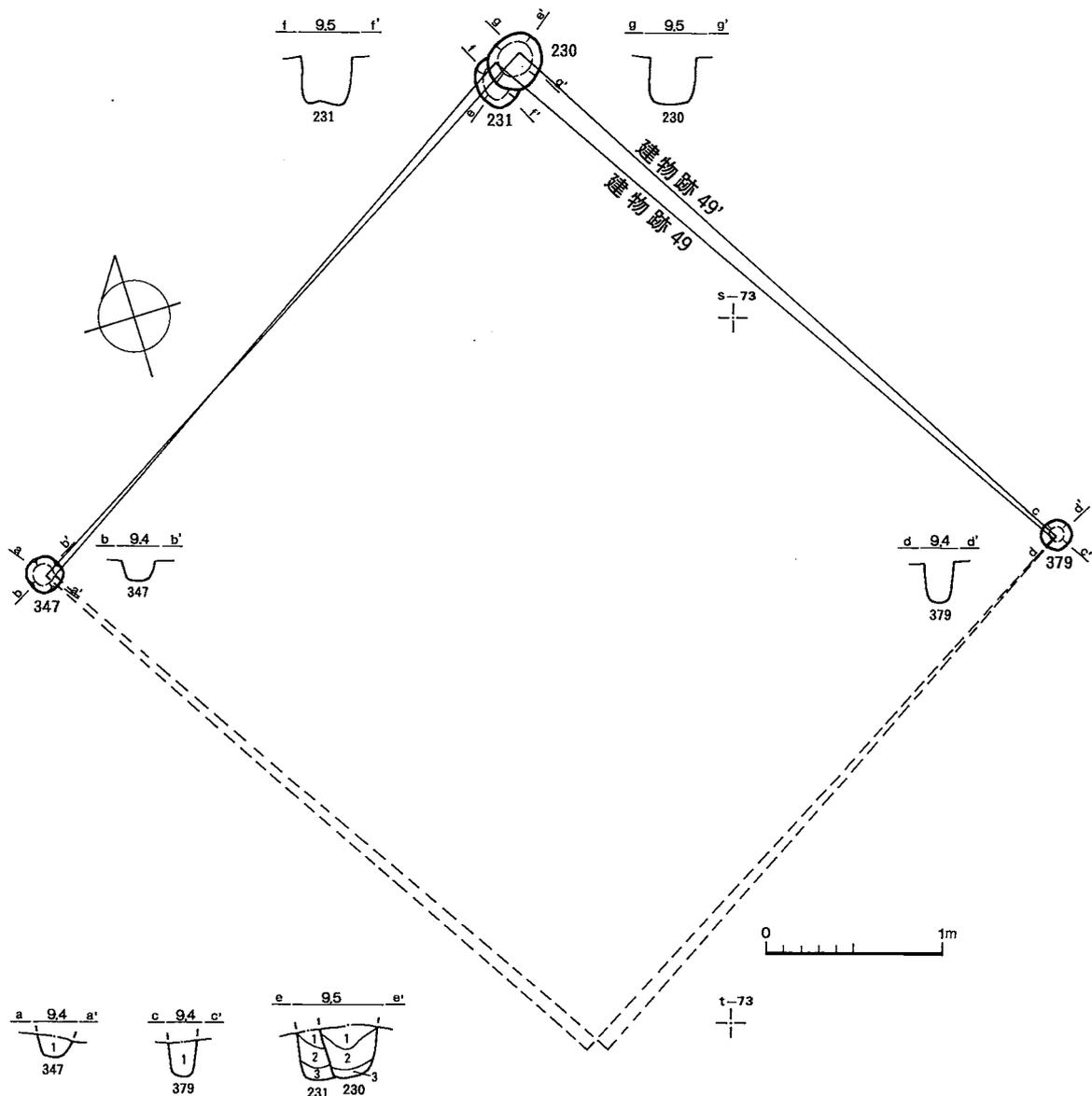
建物跡49'(図IV-2・38 表IV-37・198)

位置：r-72・73 s-72・73 t-72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

規模：347-230・-379(南西-北東)~4.00m 347-・230-379(北西-南東)~4.09m

長軸方向：N-32°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：褐色土、全体的に粘質土。

出土遺物：347の覆土中から石鏃1点、230の覆土中からフレイク1点が出土している。



図IV-38 建物跡49・49'

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南東の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。230と231の重複関係から見て、建物跡49より新しく、建て替えられたものであろう。

表IV-37 建物跡49・49'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-231	49	r-72	— × (27) / — × (18) / 28		9.08	①暗褐>黄 (>En-a) ②灰褐 (>En-a) 粘質	231→230 IVc-1
// -347	49・49'	s-72	20 × 19 / 12 × 12 / 13		9.20	①褐>黄 (>En-a)	石鏃
// -379	//	s-73	17 × 16 / 9 × 8 / 22		9.09	①褐>黄 (>En-a)	
// -230	49'	r-72	33 × 29 / 20 × 20 / 27		9.10	①褐>黄 (>小さなEn-a) ②=① (>En-a) 粘質 ③暗灰褐 (>En-a) 粘質	フレイク

建物跡50 (図IV-2・39 表IV-38)

位置：r-71 s-70・71 周辺は耕作のためⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

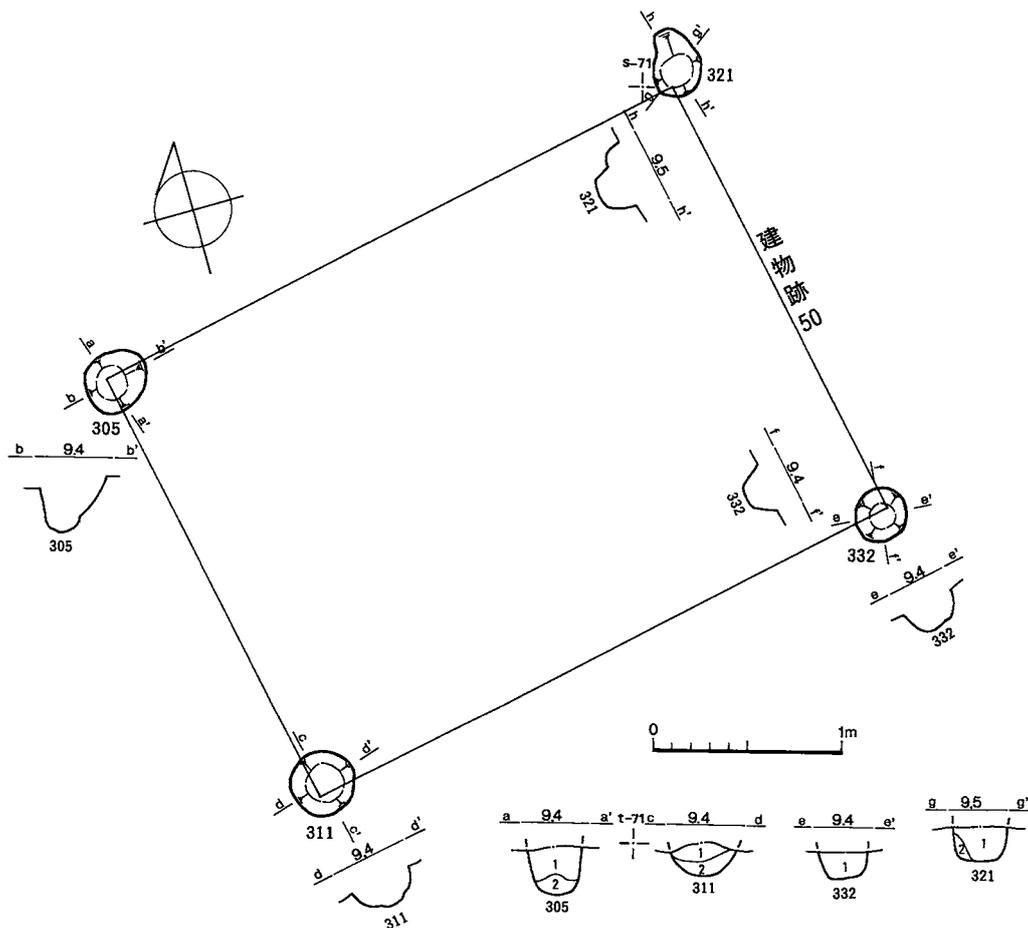
規模：305-321・311-332 (東西)~3.36m 305-311・321-332(南北)~2.48m

長軸方向：N-79°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：黒褐色土

出土遺物：321の覆土中からIVcが3点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長方形に配列するものである。311の墳底中央部と332の墳底西側には径約8cmほどの浅いくぼみがある。柱跡であろうか。



図IV-39 建物跡50

表IV-38 建物跡50の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(壊底)面 (cm)	壊底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-321	50	r-71, s-71		27 × 25 / 20 × 16 / 19	9.18	①黒褐>黄 (>En-a) ② ①>黄 (+En-a)	IVc
// -305	//	s-70		34 × 30 / 17 × 19 / 28	9.01	①黒褐 (> En-a) ②=① (>En-a) 軟質	
// -311	//	//		34 × 33 / 20 × 22 / 15	9.11	①黒褐>黄 ②=① (> En-a)	
// -332	//	s-71		28 × 26 / 14 × 14 / 13	9.15	①黒褐>黄	

建物跡51 (図IV-2・40 表IV-39)

位置：p-71 q-71・72 周辺は耕作のためⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

規模：40-QSP3157・87-QSP4457(南西-北東)~2.42m QSP3157-QSP4457・40-87(北西-南東)~2.00m

長軸方向：N-32°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：褐色土主体

出土遺物：87の覆土中からIVcが1点、QSP3157の覆土中からフレイク1点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長形状に配列するものである。QSP-3157とQP-223、86と87、QSP-4457とQSP-3163の重複関係から見て、建物跡51'より古いものである。

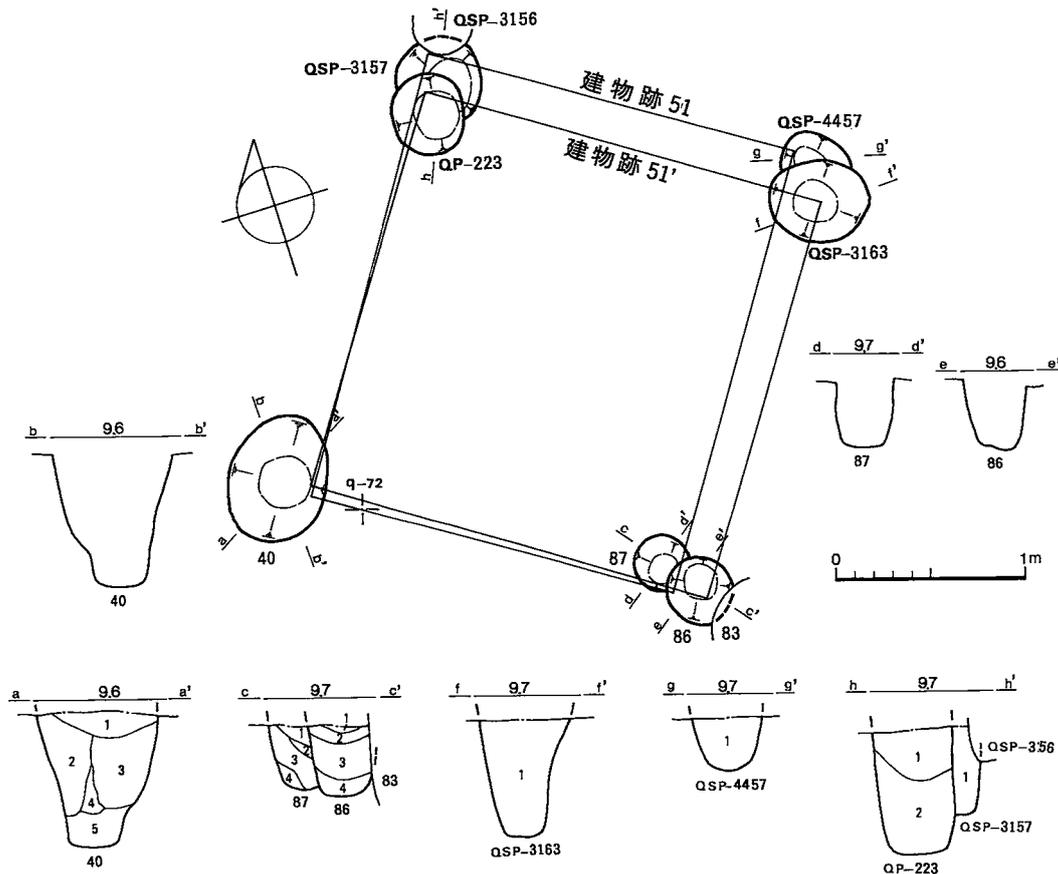
建物跡51'(図IV-2・40 表IV-39)

位置：p-71 q-71・72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

規模：QP223-40・QSP3163-86(南西-北東)~2.17m QP223-QSP3163・40-86(北西-南東)~2.17m

確認：Ⅷ層中 覆土：褐色土主体で、暗褐色土混在。

出土遺物：40の覆土中からIVcが3点、IVc-1が1点、フレイク2点、86の覆土中からフレイク1点、



図IV-40 建物跡51・51'

QP-223の覆土中からIVcが3点、QSP-3163の覆土中からIVcが6点、フレイク1点が出土している。
 時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が正方形に配列するものである。QSP-3157とQP-223、QSP-4457とQSP-3163、87と86の重複関係から見て、建物跡51より新しく、建て替えられたものであろう。86の墳底北側には浅いくぼみがある。柱跡であろうか。

表IV-39 建物跡51・51'の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
QSP-3157	51	p-72	47 × - / (26) × - / (47)		(9.05)	①褐 (>En-a)	QSP-3157 → QP-223
RLSP-40	51・51'	p-71, q-71	68 × 53 / 28 × 30 / 74		8.79	①褐>黄 (>En-a) ②褐+黄 (+En-a) ③褐>黄 (>En-a) ④En-a ⑤暗褐>黄 (+En-a) ザラザラ	IVc、IVc-1、フレイク
” -87	51	q-72	30 × (28) / 16 × (16) / 34		9.20	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a) ③暗灰褐 (>En-a) 粘質 ④≒③ ボソボソ	87→86、IVc
QSP-4457	”	p-72	- × - / - × - / (28)		9.29	①暗黄褐 (En-a>暗褐)	QSP-4457 → QSP-3163
QP-223	51'	”	44 × 37 / 26 × 23 / 67		8.80	①暗褐 (>En-a) 粘質②暗褐 (>En-a) 粘質	QP-223 ← QSP-3157
RLSP-86	”	q-72	36 × (36) / 19 × 17 / 38		9.18	①褐>黄 (>En-a) ②明褐 (>En-a) ③褐>黄 (>En-a) ④≒③ (>En-a) 粘質	83←86←87、フレイク
QSP-3163	”	p-72	53 × 44 / 24 × 22 / 64		8.94	①暗褐 (>En-a) 粘質	QSP-3163 ← QSP-4457

建物跡52 (図IV-2・41 表IV-40)

位置：p-70・71 q-70・71 r-71 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

規模：144-50-42(東西)~3.98m 144-50-42(南北)~4.19m

長軸方向：N-23°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土主体で、褐色土混在。

出土遺物：144の覆土上位からIVcが2点、IVc-1が1点、覆土下位からIVcが1点、フレイク4点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。144と142の覆土のちがいから見て、建物跡52'より古いものと思われる。

建物跡52'(図IV-2・41 表IV-40)

位置：p-70・71 q-70・71 r-71 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

規模：142-50-42(東西)~3.98m 142-50-42(南北)~4.35m

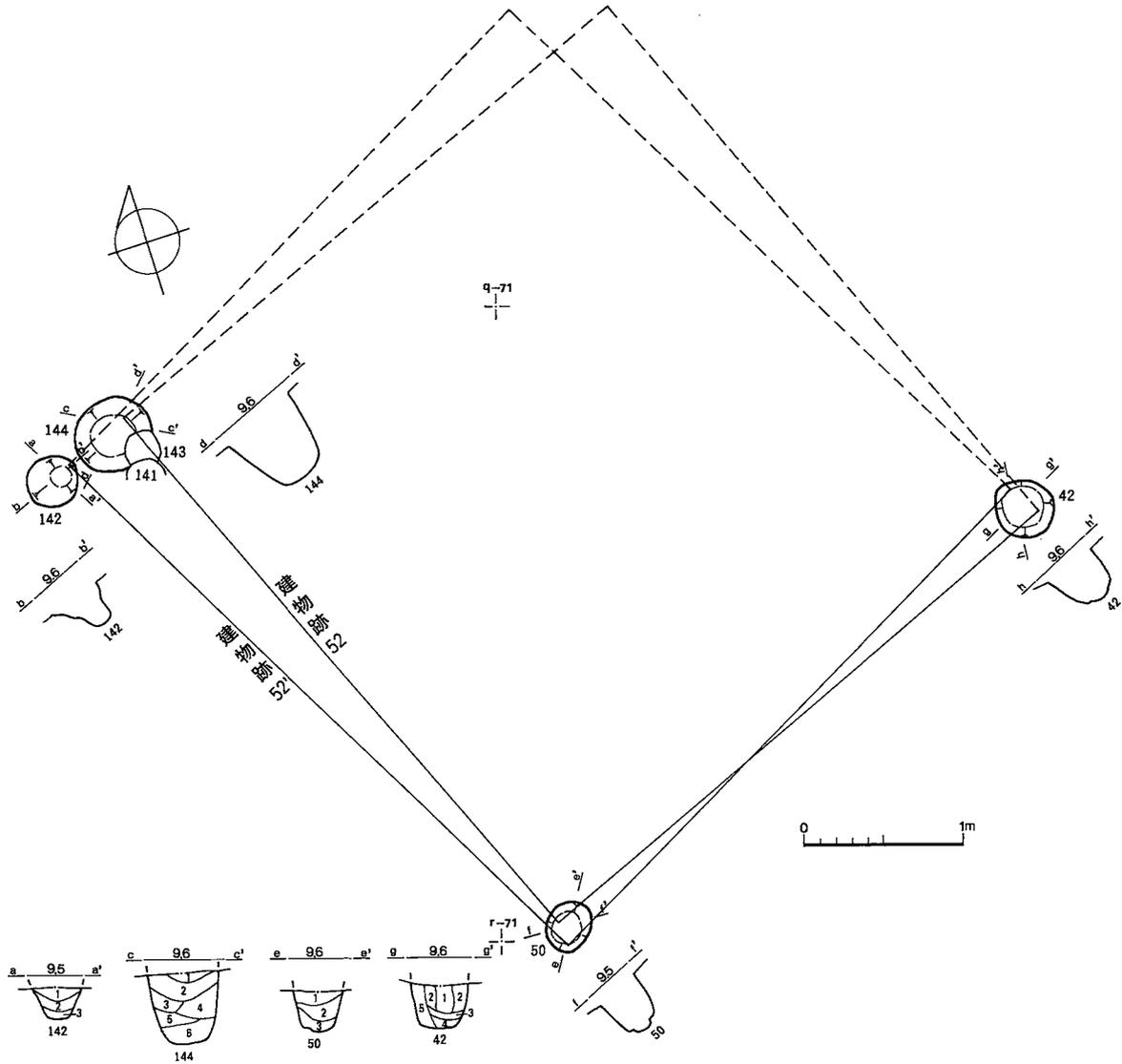
長軸方向：N-28°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土

出土遺物：142の覆土上位からIVcが1点、覆土下位からIVcが5点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

表IV-40 建物跡52・52'の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-144	52	q-70	50 × 44 / 30 × 26 / 44		9.05	①暗褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a) ③≒② (>En-a) ④褐>黄 (>En-a) ザラザラ	144→143、IVc、IVc-1、フレイク
” -50	52・52'	q-71, r-71	32 × 26 / 20 × 18 / 30		9.12	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い②暗褐>黄 ボソボソ ③暗褐>黄 (>En-a)	
” -42	”	q-71	37 × 36 / 24 × 26 / 32		9.14	①暗褐>黄 ボソボソ②≒① (>En-a) ③≒②堅い ④暗褐>黄 (>En-a) ⑤暗褐>黄 (>En-a)	
” -142	52'	q-70	33 × 30 / 14 × 14 / 25		9.19	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒① (黄色土、En-a多い) ③≒① 軟質でボロボロ	IVc



図IV-41 建物跡52・52'

本建物跡は、支柱穴4基（北東の柱穴状ピットは未確認）が長方形に配列するものと思われる。142と144の覆土のちがいから見て、建物跡52より新しく、建て替えられたものと思われる。50と42の墳底中央部には径約10cmほどの浅いくぼみがある。柱跡であろうか。

建物跡53（図IV-2・42 表IV-41）

位置：q-71・72 r-71・72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

規模：190-47・204-237(南西-北東)~2.66m 190-204・47-237(北西-南東)~2.54m

長軸方向：N-52°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。190と189の重複関係から見て、建物跡53'より古いものである。柱穴状ピットは深い。

建物跡53'（図IV-2・42 表IV-41）

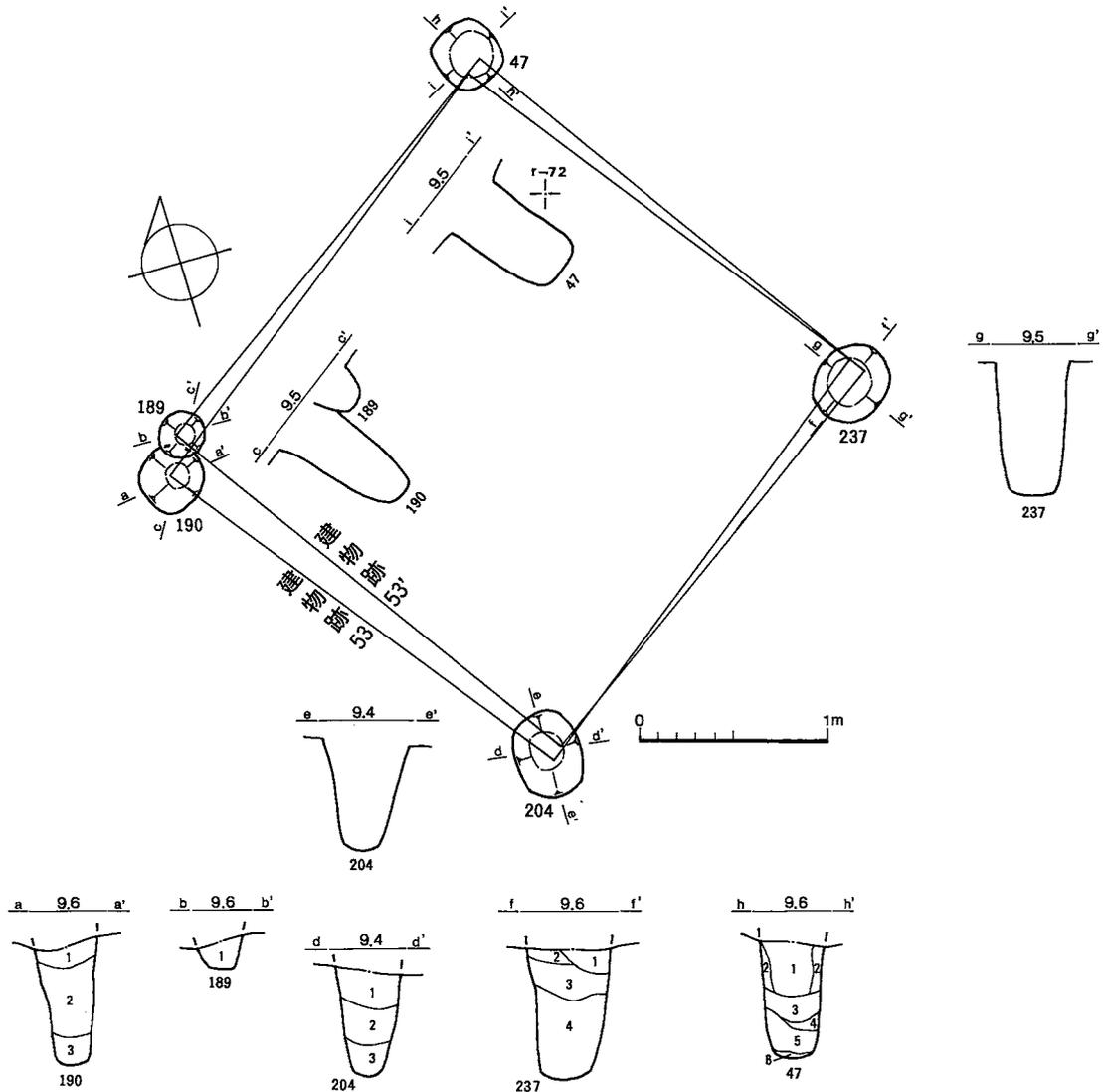
位置：q-71・72 r-71・72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

規模：189-47・204-237(南西-北東)~2.48m 189-204・47-237(北西-南東)~2.63m

長軸方向：N-55°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土

出土遺物：47の覆土中からIVc、IVc-1が各1点ずつ、204の覆土中からIVcが2点、189の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。



図IV-42 建物跡53・53'

表IV-41 建物跡53・53'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物...)
			長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-47	53・53'	q-71	34 × 34	24 × 24 / 61	8.82	①褐>黄(+大きなEn-a)ボソボソ ②褐>黄(砂混入)ボロボロ ③暗褐>黄(>小さなEn-a)粘質 ④黒褐粘質 ⑤暗褐>黄(>En-a)ボロボロ ⑥暗灰褐(>En-a)粘質	IVc、IVc-1
// -190	53	r-71	(34) × 33	14 × 13 / 66	8.78	①暗褐>黄(>En-a) ②暗褐>黄(>En-a) ③ ②>砂粒	190→189
// -204	53・53'	r-71・72	45 × 36	20 × 18 / 58	8.72	①暗褐>黄(>En-a)堅く、粘質 ②暗褐>黄(>En-a)粘質 ③≒②ボロボロ	IVc
// -237	//	r-72	43 × 37	24 × 24 / 71	8.69	①暗褐>黄(>En-a) ②暗褐>黄(>En-a) ③暗褐>黄(>En-a)ボロボロ ④暗褐(>En-a)ボロボロ	
// -189	53'	r-71	26 × 23	11 × 12 / 16	9.27	①暗褐>黄(>En-a)	189→190、IVc

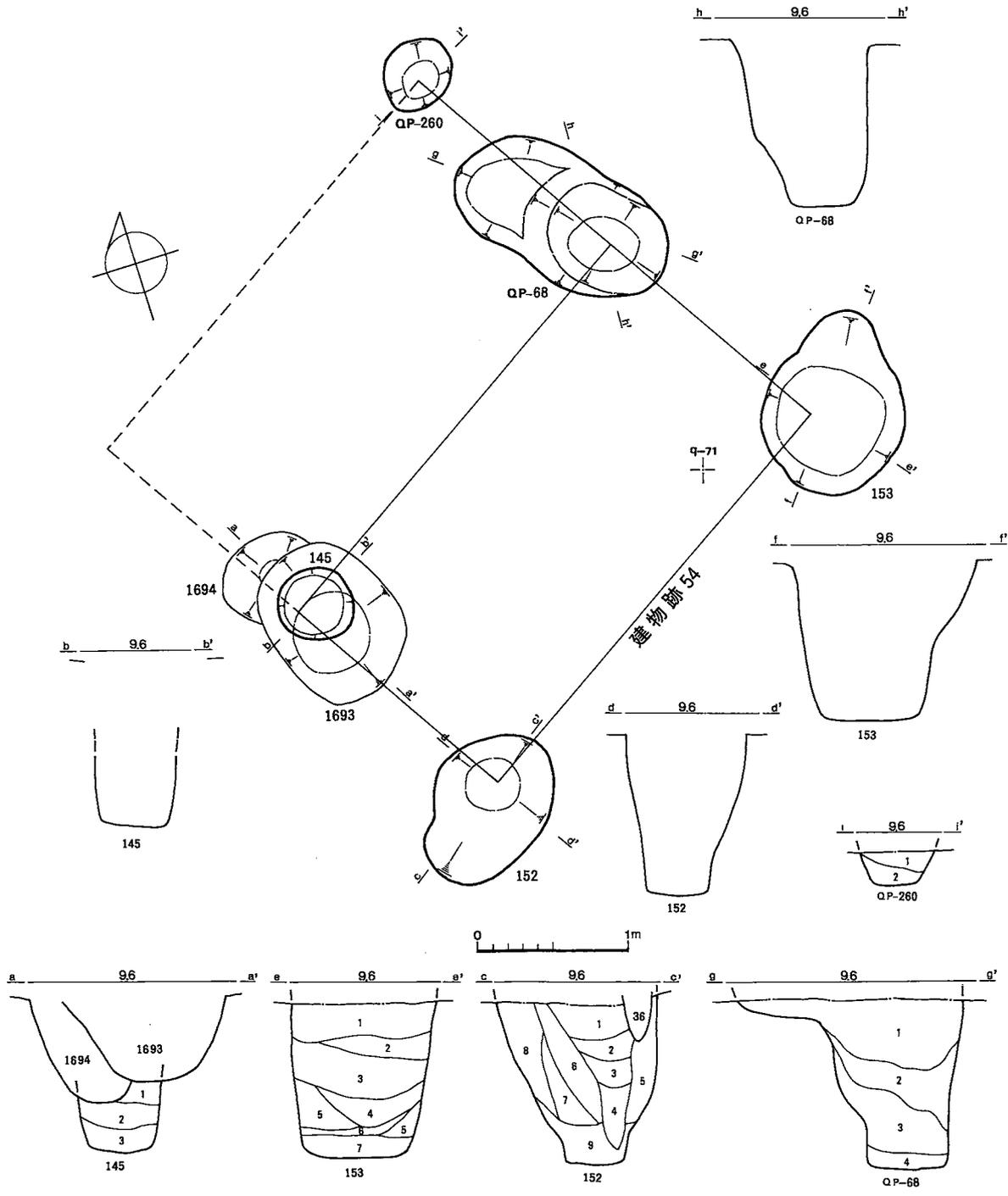
本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。189と190の重複関係から見て、建物跡53より新しく、建て替えられたものであろう。189以外の柱穴状ピットは深い。

建物跡54 (図IV-2・43 表IV-42・198)

位置：P-70・71 Q-70・71 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

規模：-QP260・145-QP68・152-153(南西-北東)~3.20m -152・QP260-153(北西-南東)~3.40m QP260-QP68・-145~1.66m QP68-153・145-152~1.74m

長軸方向：N-57°-W 確認：Ⅷ層中 覆土：黒褐色土主体



図IV-43 建物跡54

出土遺物：145の覆土中からIVcが40点、IVc-1が3点、礫、フレイクが各1点ずつなど、QP-68の覆土1層中からIIIb-2が2点、IVcが2点、礫、フレイクが各1点ずつ、同覆土2層中からIVcが6点、石斧片、礫が各1点ずつ、フレイク3点が出土している。QP-260の覆土中からフレイクが1点出土している。153の覆土中からIVcが17点、IVc-1が2点、すり石、フレイクが各1点ずつ出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c群土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、大型柱穴状ピット4基を主柱穴とし、長形状に配列するものと考えられる。QP-260は本建物跡に付設するもののピットかとも思われるが、他に類例が見られないため断定できない。大型柱穴状ピットは、それぞれ舌状の張り出しがある。

表IV-42 建物跡54の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考(付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
QP-260	54	P-70	50 × 44 / 28 × 22 / 22		9.24	①黒褐 (>En-a) ②暗茶褐 (>En-a)	
RLSP-145	〃	Q-70	(54) × (54) / (40) × (40) / 110		8.42	①黒褐>黄 (>En-a) ②En-a >黒褐 ③黒褐 (>En-a) 粘質	145→1693・1694、IVc、IVc-1、フレイク、礫
〃 -152	〃	〃	108 × 80 / 36 × 36 / 106		8.36	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (>En-a) ③=① (①よりEn-a少ない) ④黒褐 粘質 ⑤黒褐>黄 粘質 ⑥黒褐>黄 (>En-a) ⑦En-a >暗褐 ⑧En-a ⑨=⑧ポロポロ	
〃 -153	〃	P-71、Q-71	123 × 94 / 68 × 70 / 103		8.43	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a) ③En-a ポロポロ ④=③ ⑤=④大きなEn-a ⑥黒褐 粘質、堅い ⑦暗灰褐 粘質	IVc、IVc-1、すり石、フレイク
QP-68	〃	P-70	150 × 74 / 45 × 38 / 114		8.35	①暗褐 (>En-a) ②黒茶褐 (>En-a) ③黒褐 (>En-a) ④堅くしまったEn-a	

建物跡55 (図IV-2・44 表IV-43・198)

位置：P-69・70 Q-69・70 周辺は耕作によりVIII層中まで攪乱されている。平坦地。

規模：QP262-QP261・4-25(東西)~4.55m QP262-4・QP261-25(南北)~4.84m

長軸方向：N-21°-W 確認：VIII層中 覆土：暗褐色土主体で、黒褐色土、褐色土が混在。

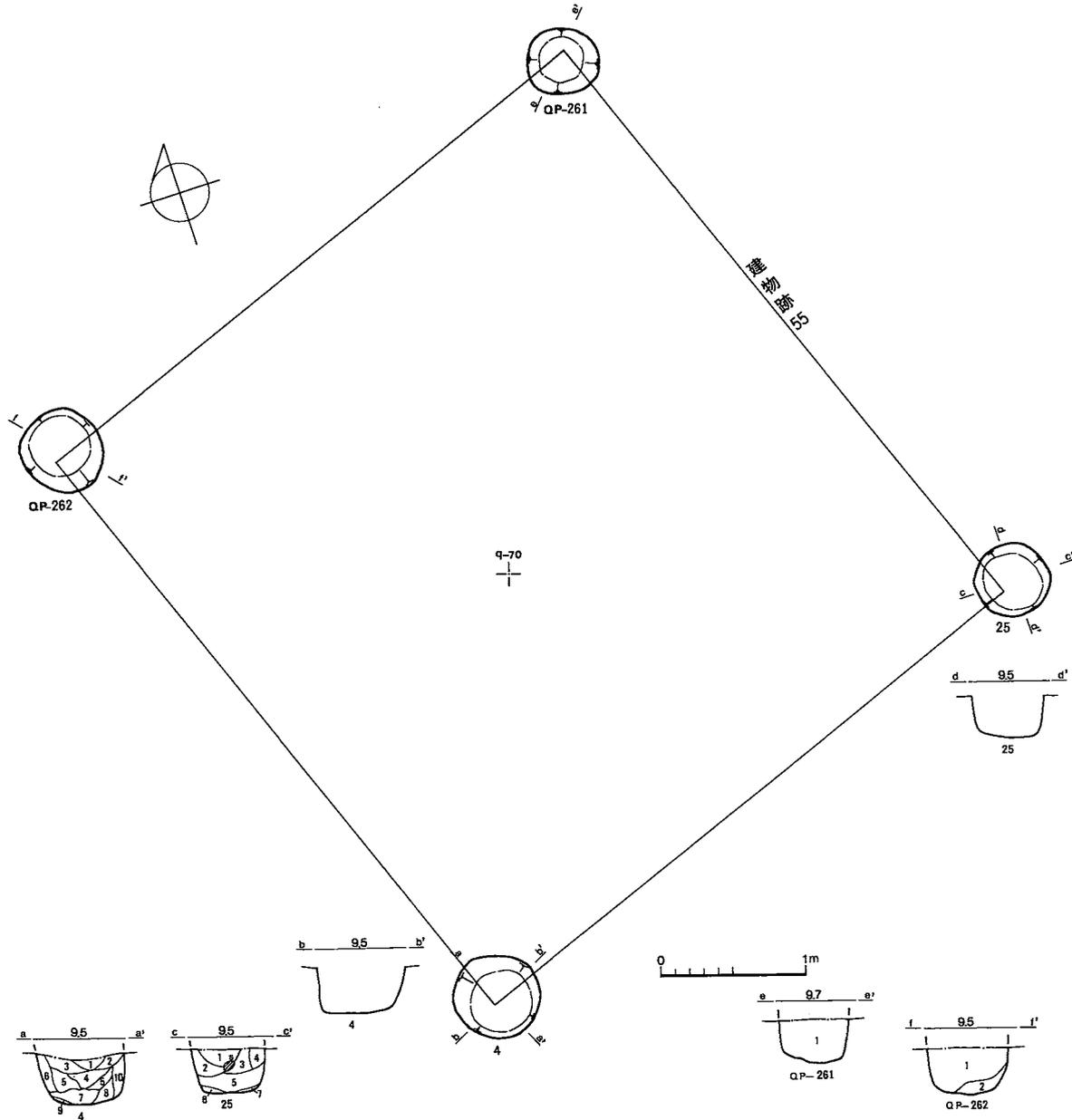
出土遺物：4の覆土1層からフレイク3点、礫1点、覆土3層からIVcが1点、覆土4層からRフレイク1点、IVcが6点、覆土9層からIIIbが2点、IVcが2点出土している。また25の覆土上位からIVcが3点、フレイク1点、覆土中位からたたき石、フレイクが各1点ずつ出土している。QP-261の覆土中からIVcが10点、フレイク3点、QP-262の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、主柱穴4基が長形状に配列するものである。

表IV-43 建物跡55の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考(付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
QP-261	55	P-70	50 × 46 / 30 × 32 / 30		9.27	①黒褐 (>En-a)	
〃 -262	〃	P-69	58 × 53 / 41 × 42 / 32		9.03	①暗褐 (>En-a) 粘質 ②黒褐 (>En-a)	
RLSP-4	〃	Q-69・70	59 × 58 / 44 × 41 / 36		9.05	①暗褐+黄 (>En-a) 軟質 ②=①堅い ③暗褐>黄 (>小さなEn-a) 炭化物混入 ④=③ (>大きなEn-a) ⑤=③ (>En-a) ⑥=③ (>En-a) 堅い ⑦=③ (>大きなEn-a) ⑧=③ポソポソ ⑨暗灰 粘質 ⑩褐>黄 (>En-a)	フレイク、礫、IIIb、IVc、Rフレイク
〃 -25	〃	P-70、Q-70	51 × 48 / 40 × 38 / 30		9.11	①暗褐 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③=① (>小さなEn-a) ④褐>黄 (>En-a) ⑤褐+黄 (+En-a) ⑥黒褐 粘質 ⑦明褐 粘質	IVc、たたき石、フレイク



図IV-44 建物跡55

建物跡56 (図IV-2・45 表IV-44)

位置：r-68・69 s-68・69 t-68 標高9.45m付近、ほぼ平坦地に位置する。

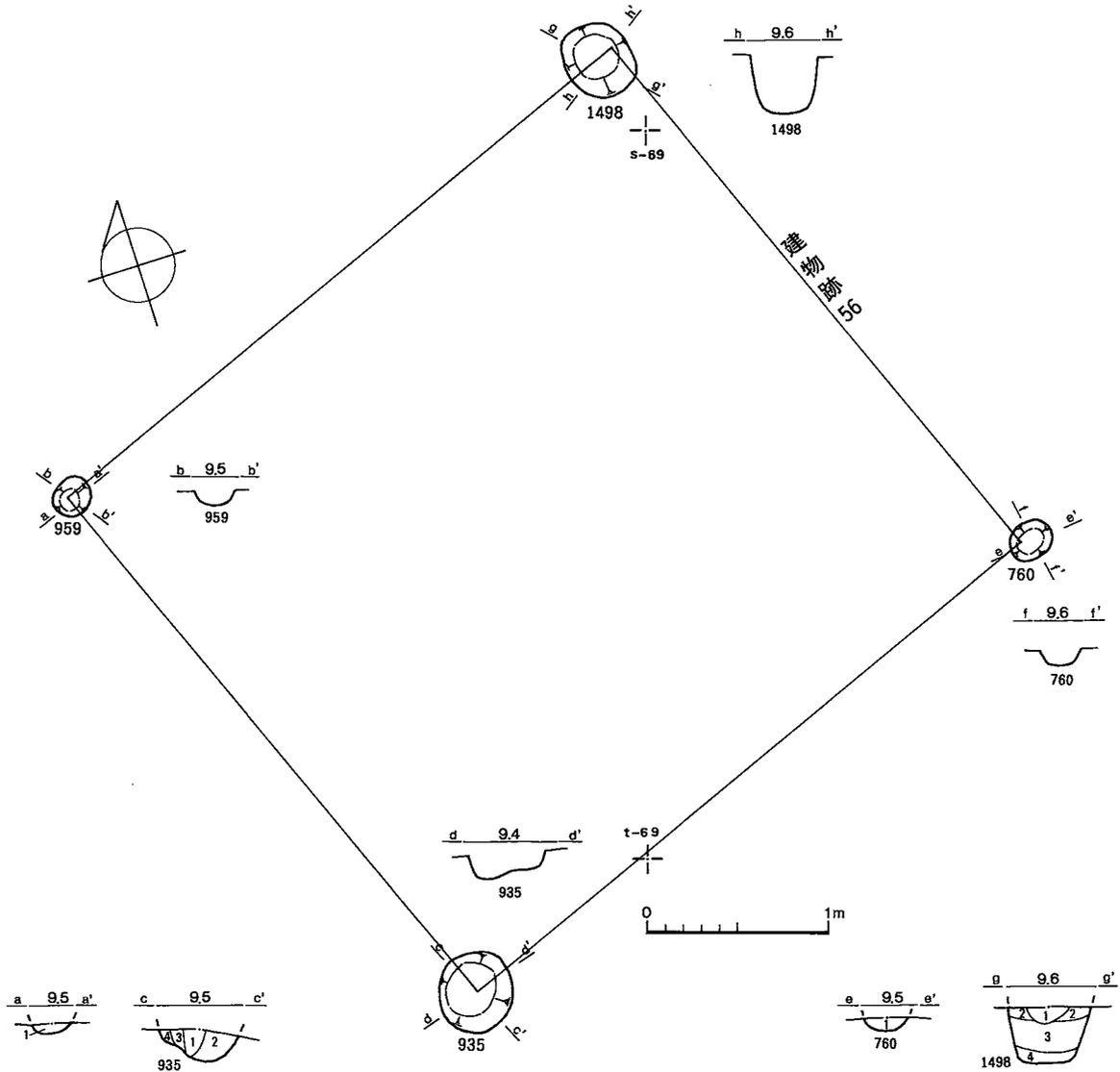
規模：959-1498・935-760(東西)~3.88m 959-935・1498-760(南北)~3.52m

長軸方向：N-68°-E 確認：SE-2層中 覆土：黒褐色土主体で、暗褐色土混在。

出土遺物：1498の覆土中からIVcが、935の覆土中からフレイクが、それぞれ1点ずつ出土している。

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がやや長方形に配列するものである。



図IV-45 建物跡56

表IV-44 建物跡56の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層記記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸	長軸×短軸×深さ			
RLSP-1498	56	r-68	43 × 36	26 × 25 / 32	9.19	①黒褐(>En-a) ②黒褐 ③暗褐>黄(>En-a) ④≒③(>En-a) 粘質	IVc
"-959	"	s-68	22 × 20	12 × 12 / 6	9.34	①黒褐	
"-935	"	t-68	44 × 41	32 × 27 / 17	9.19	①黒褐(>En-a) ②黒褐(>En-a) ③暗褐>黄(>En-a) ④暗褐>黄(>En-a)	フレイク
"-760	"	s-69	24 × 21	16 × 12 / 8	9.35	①黒褐(>En-a) 粘質	

建物跡57 (図IV-2・46 表IV-45)

位置: t-67・68 u-67・68 標高8.90m~9.30m、ほぼ北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模: 913-740・740-770(東西)~3.22m 913-740・770(南北)~3.36m

長軸方向: N-10°-W 確認: SE-2層中 覆土: 黒褐色土

時期: 周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)がやや長形状に配列するものと思われる。776と777の重複関係から見て、建物跡57より古いものである。

建物跡57' (図IV-2・46 表IV-45)

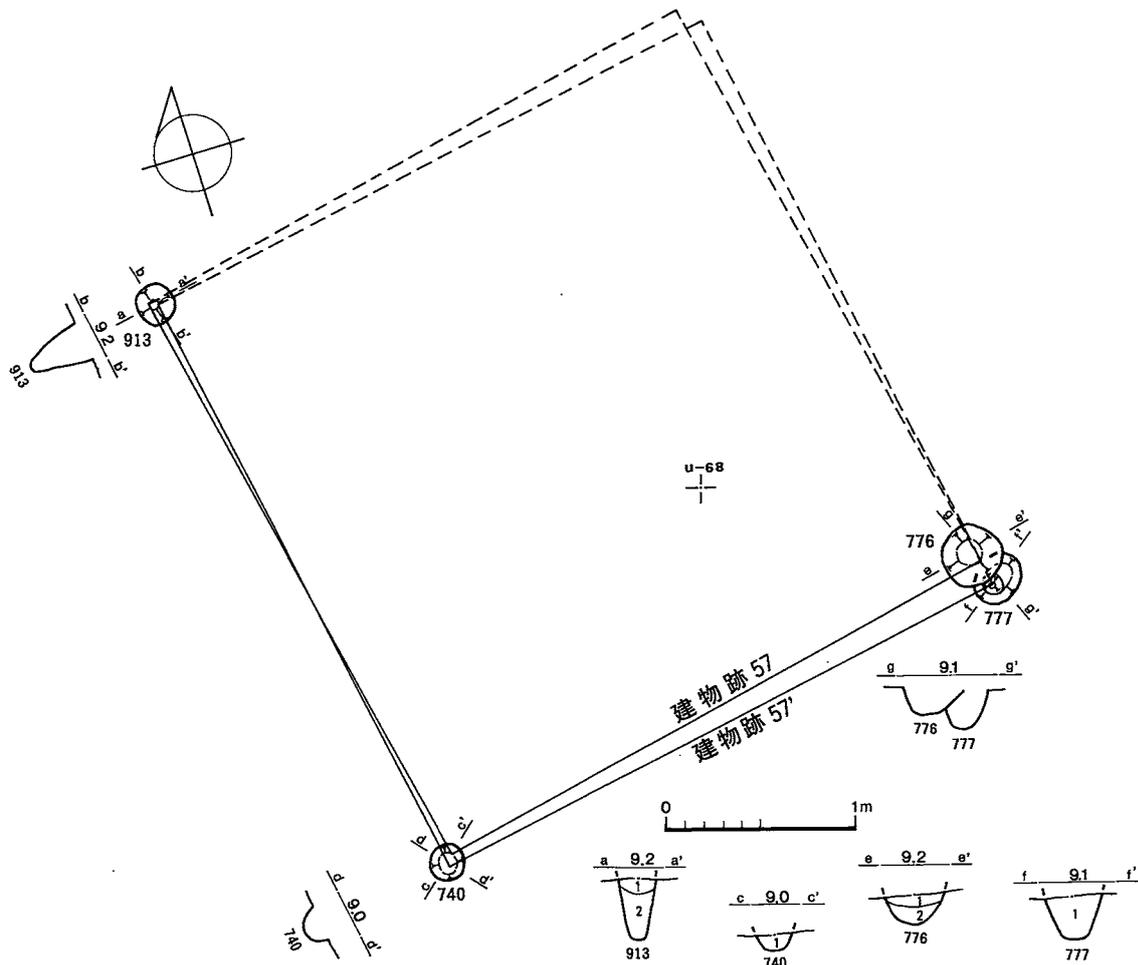
位置：t-67・68 u-67・68 標高8.90m~9.30m、ほぼ北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：913-740-776(東西)~3.18m 913-740-776(南北)~3.32m

長軸方向：N-11°-W 確認：SE-2層中 覆土：黒褐色土

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基（北東の柱穴状ピットは未確認）がやや長方形に配列するものと思われる。776と777の重複関係から見て、建物跡57より新しく、建て替えられたものであろう。913は他に比べて壙底先端部が細く、深い。



図IV-46 建物跡57・57'

表IV-45 建物跡57・57'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(壙底)面 (cm)	壙底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物...)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-913	57・57'	t-67	21 × 20 / 6 × 6 / 32	8.82	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質		
// -740	//	u-67	19 × 18 / 11 × 10 / 9	8.75	①黒褐 (>En-a) ザラザラ		
// -777	57	u-68	28 × (22) / 18 × (12) / 23	8.81	①黒褐 (>En-a) 粘質	777→776	
// -776	57'	//	32 × 31 / 14 × 14 / 15	8.89	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 ボソボソ	776←777	

建物跡58 (図IV-2・47 表IV-46)

位置: u-65・66 v-65・66 標高8.90m~9.10m、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

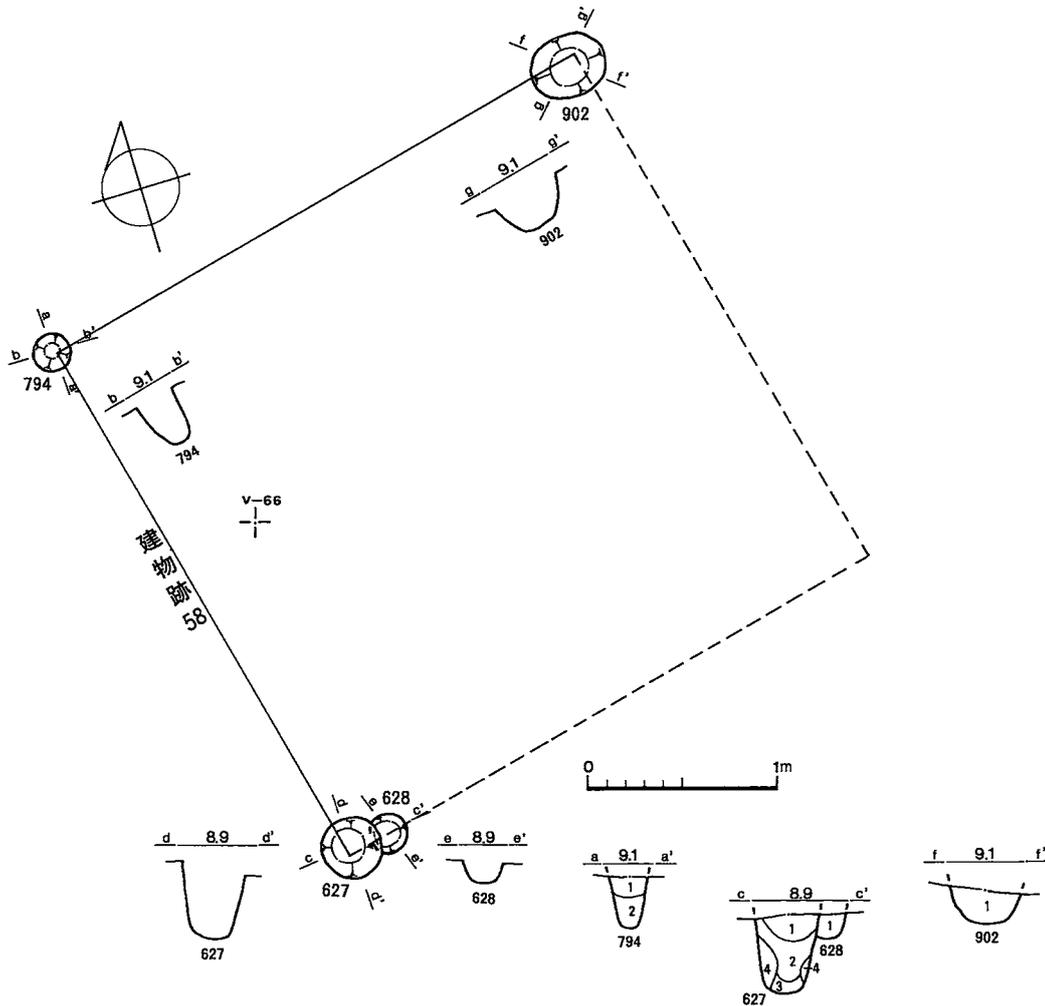
規模: 794-902・627- (東西)~3.16m 794-627・902- (南北)~3.06m

長軸方向: N-14°-W 確認: SE-2層中 覆土: 902と628は黒色土、他は黒褐色土主体。

出土遺物: 627の覆土中からIVcが3点出土している。

時期: 覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南東の柱穴状ピットは未確認)がやや長方形に配列するものと思われる。



図IV-47 建物跡58

表IV-46 建物跡58の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-902	58	u-66	40 × 32 / 20 × 20 / 17		8.79	①黒 (>En-a) 軟質	
// -794	//	u-65	20 × 19 / 8 × 8 / 28		8.76	①黒褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a) 軟質	
// -627	//	v-66	33 × 32 / 19 × 19 / 43		8.40	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (>大きなEn-a) ボロ ボロ ③黒褐>黄 (>En-a) 粘質 ④En-a >②	627←628、IVc
// -628	//	//	- × 20 / - × 12 / 14		8.70	①黒 (>小さなEn-a) ザラザラ	628←627

建物跡59 (図IV-2・48 表IV-47・195)

位置：u-64・65 v-64・65 標高9.00m付近、北から南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：-896・797-642(東西)~2.16m -797・896-642(南北)~2.14m

長軸方向：N-88°-E 確認：SE-2層中 覆土：暗褐色土

出土遺物：896の覆土中からIVcが1点、フレイク2点、642の覆土中からIVc-1が1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基（北西の柱穴状ピットは未確認）がほぼ正方形に配列するものと思われる。896と651の重複関係から見て、建物跡59'より古いものである。

建物跡59'(図IV-2・48 表IV-47・198)

位置：u-64・65 v-64・65 標高9.00m付近、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：-651・797-639(東西)~2.43m -797・651-639(南北)~2.00m

長軸方向：N-83°-E 確認：SE-2層中 覆土：639は黒褐色土、他は暗褐色土

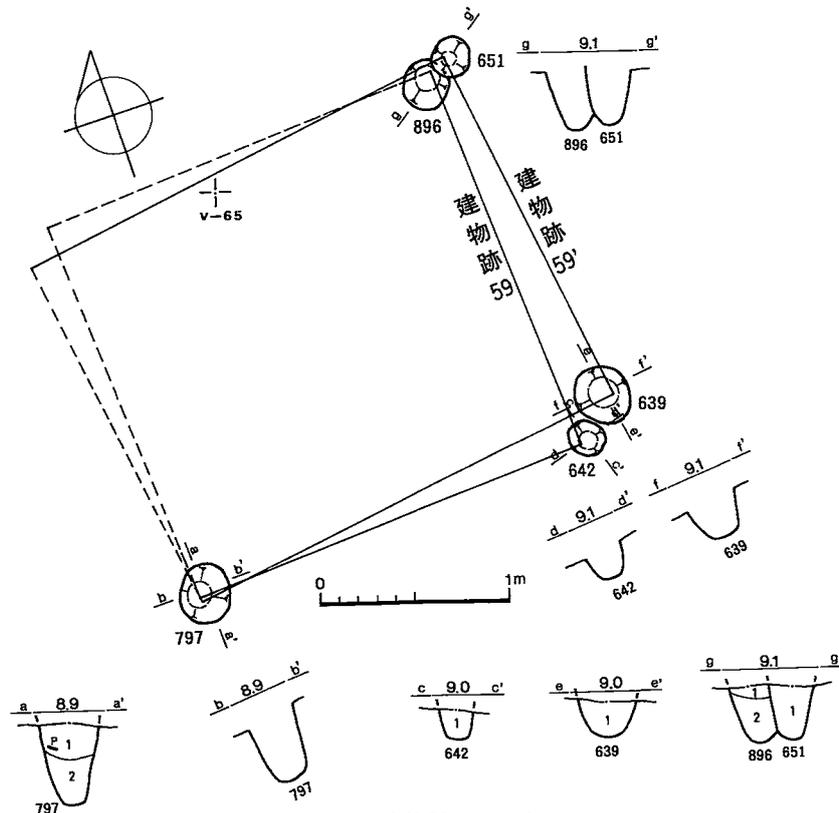
出土遺物：797の覆土中からIVcが5点、IVc-1、礫が各1点ずつ、651の覆土中からスクレイパー、フレイクが各1点ずつ出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基（北西の柱穴状ピットは未確認）がやや長方形に配列するものと思われる。651と896の重複関係から見て、建物跡59より新しく、建て替えられたものであろう。

表IV-47 建物跡59・59'の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設、出土遺物...)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-896	59	u-65	(26)×25 / (14)×13 / 32		8.58	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	896-651、IVc、フレイク
"-797	59・59'	v-64・65	31×27 / 14×13 / 44		8.40	①暗褐>黄 (>En-a) ②=①軟質、ザラザラ	IVc、IVc-1、礫
"-642	59	v-65	20×18 / 11×11 / 17		8.78	①暗褐>黄 (>En-a)	IVc-1
"-651	59'	u-65	22×20 / 9×8 / 29		8.60	①暗褐>黄 (>En-a)	651-896、スクレイパー、フレイク
"-639	"	v-65	32×28 / 17×16 / 22		8.75	①黒褐 (>En-a)	



図IV-48 建物跡59・59'

建物跡60 (図IV-2・49 表IV-48)

位置: v-64・65 標高8.70m~9.00m、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

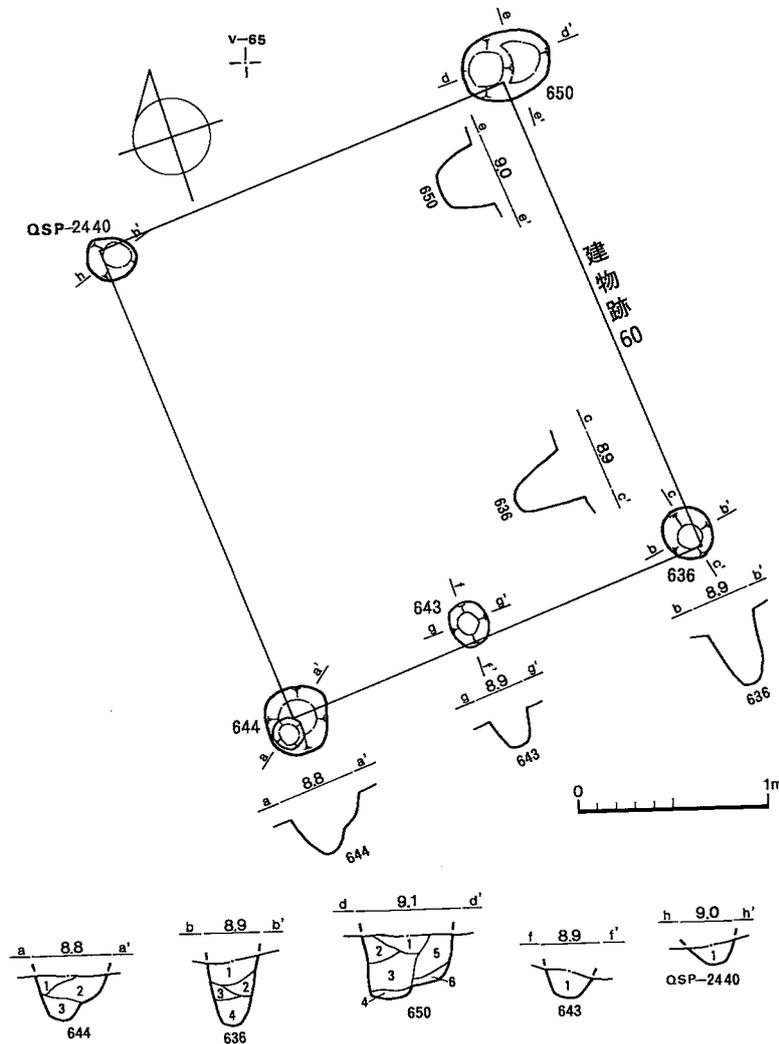
規模: QSP2440-650・644-636(東西)~2.35m QSP2440-644・650-636(南北)~2.68m

長軸方向: N-10°-W 確認: SE-2層中 覆土: 黒褐色土主体で暗褐色土が混在する。

出土遺物: 650の覆土中からIVcが1点出土している。

時期: 覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、主柱穴4基がやや長方形に配列するものである。650の墳底西側に径約18cm、644の



図IV-49 建物跡60

表IV-48 建物跡60の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-650	60	u-65・v-65	49 × 35 / 19 × 20 / 33		8.70	①暗褐>黄(>En-a) ②暗褐>黄(>En-a)軟質 ③黒褐>黄(>En-a)粘質 ④③+En-aポロポロ ⑤黒褐>黄(>En-a) ⑥黒褐>黄(>En-a)ガラガラ	IVc
QSP-2440	〃	v-64	26 × 24 / 16 × 14 / 10		8.77	①黒褐	
RLSP-644	〃	v-65	36 × 34 / 11 × 12 / 28		8.45	①黒褐>黄(>小さなEn-a)ポソポソ ②黒褐>黄(>En-a) ③黒褐粘質	
〃-636	〃	〃	30 × 25 / 14 × 14 / 34		8.40	①暗褐>黄(>En-a) ②=①黄色土、En-a多い ③=②(>小さなEn-a) ④黒褐粘質	
〃-643	〃	〃	22 × 20 / 12 × 11 / 18		8.58	①黒褐(>En-a)	

墳底南西側には径約16cmの深さ5cm~10cmのくぼみがある。

建物跡61 (図IV-2・50 表IV-49)

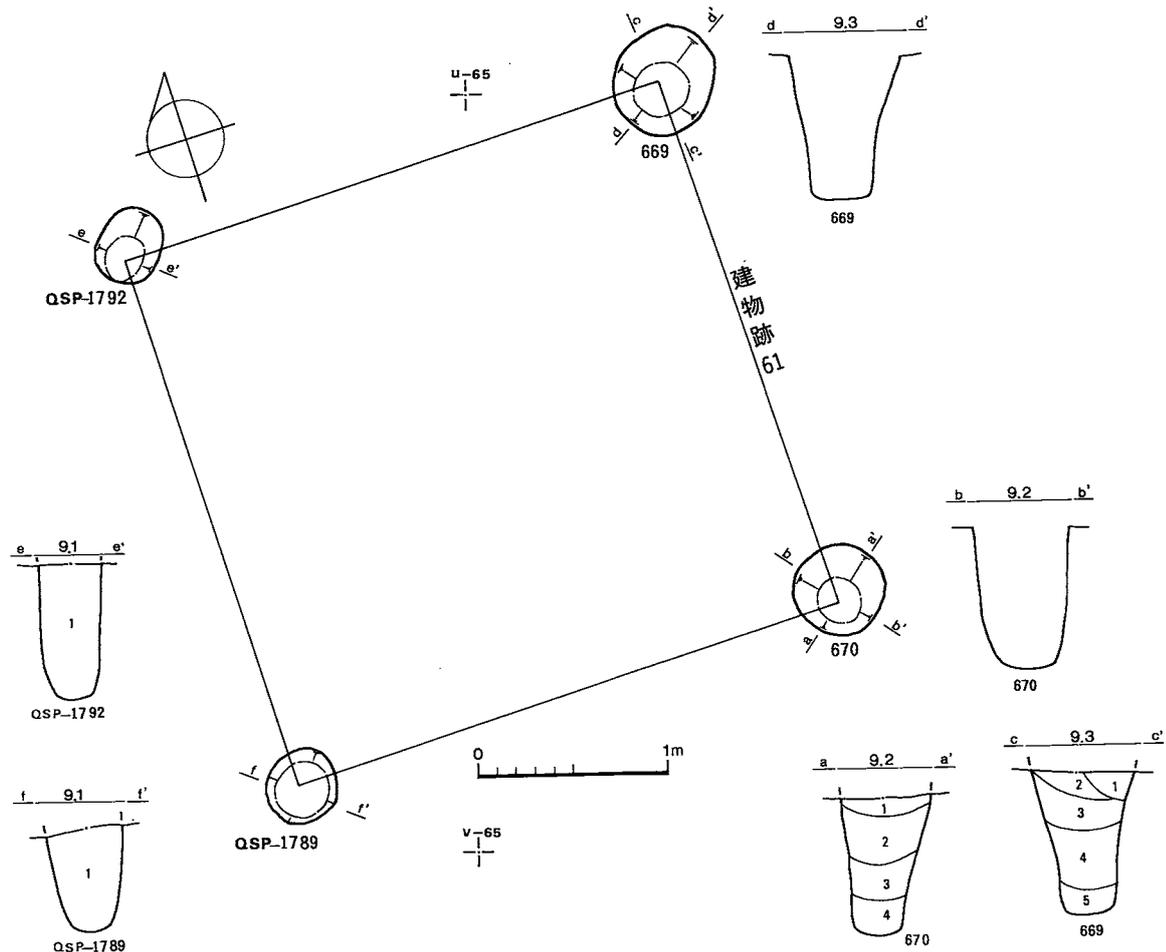
位置：t-65 u-64・65 標高9.10m付近、ほぼ平坦地に位置する。

規模：QSP1792-669・QSP1789-670(東西)~3.00m QSP1792-QSP1789・669-670(南北)~2.92m

長軸方向：N-88°-E 確認：SE-2層中 覆土：669は暗褐色土、他は黒褐色土。

出土遺物：669の覆土中からIVcが4点、フレイク1点、670の覆土中からIVcが8点、IVc-1が1点出土している。QSP-1789の覆土中からIVcが8点、フレイク2点、礫3点、QSP-1792の覆土中からIVcが3点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。



図IV-50 建物跡61

表IV-49 建物跡61の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物...)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-669	61	t-65, u-65	58 × 52 / 32 × 29 / 76		8.40	①暗褐>黄(>En-a) ②暗褐>黄(>En-a) ③暗褐>黄(>En-a) 軟質 ④黒褐>黄(>En-a) ポロポロ ⑤黒褐 粘質	IVc、フレイク
QSP-1792	〃	u-64	41 × 38 / 30 × 27 / 72		8.34	①黒褐	
〃 -1789	〃	〃	41 × 32 / 24 × 20 / 55		8.42	①黒褐	
RLSP-670	〃	u-65	49 × 47 / 25 × 22 / 76		8.20	①黒褐(>En-a) ②黒褐>黄(+En-a) ③黒褐(>En-a) ポロポロ ④黒褐(>En-a) 粘質	IVc、IVc-1

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。

建物跡62 (図IV-2・51 表IV-50)

位置：t-64・65 u-64・65 標高9.25m付近、ほぼ平坦地に位置する。

規模：-149・664-709(東西)~2.80m -664・149-709(南北)~2.86m

長軸方向：N-3°-E 確認：SE-2層中 覆土：褐色土主体

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(北西の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。重複関係、覆土のちがいなどから見て、建物跡62・63・64・65・66の中で最も古いものと思われる。

建物跡63 (図IV-2・51 表IV-50)

位置：t-65 u-65 標高9.25m付近、ほぼ平坦地に位置する。

規模：680-148・-705(東西)~2.08m 680-・148-705(南北)~2.92m

長軸方向：N-8°-W 確認：SE-2層中 覆土：暗褐色土

出土遺物：705の覆土中からIVcが2点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南西の柱穴状ピットは未確認)が長方形に配列するものと思われる。重複関係、覆土のちがいなどから見て、建物跡62より新しく、建物跡64より古いものと思われる。

建物跡64 (図IV-2・51 表IV-50)

位置：t-64・65 u-65 標高9.25m付近、ほぼ平坦地に位置する。

規模：667-693・649-706(東西)~2.18m 677-649・693-706(南北)~2.47m

長軸方向：N-5°-W 確認：SE-2層中 覆土：黒褐色土主体

出土遺物：649の覆土中からIVcが3点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長方形に配列するものである。重複関係、覆土のちがいなどから見て、建物跡63より新しく、建物跡65より古いものと思われる。706は68cmと深く、塙底西側には径約10cmほどの浅いくぼみがある。柱跡であろうか。

建物跡65 (図IV-2・51 表IV-50)

位置：t-65 u-65 標高9.25m付近、ほぼ平坦地に位置する。

規模：679-706'・665-706(東西)~2.10m 679-665・706'-706(南北)~2.52m

長軸方向：N-S 確認：SE-2層中 覆土：黒褐色土主体

出土遺物：706の覆土中からIVcが2点、フレイク1点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長方形に配列するものである。重複関係、覆土のちがいなどから見て、建物跡64より新しく、建物跡66より古いものである。

建物跡66 (図IV-2・51 表IV-50)

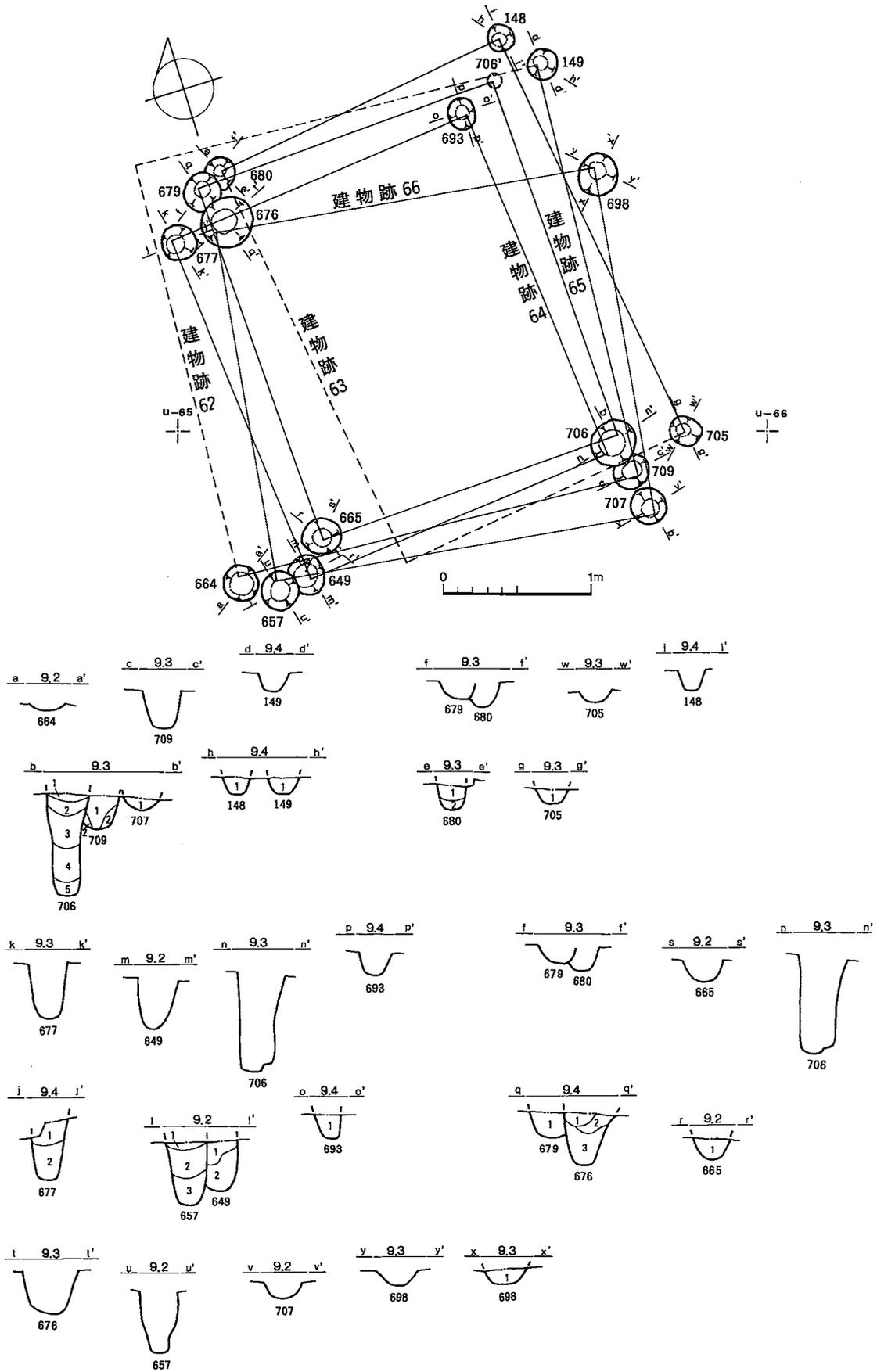
位置：t-65 u-65 標高9.25m付近、ほぼ平坦地に位置する。

規模：676-698・657-707(東西)~2.60m 676-657・698-707(南北)~2.38m

長軸方向：N-83°-W 確認：SE-2層中 覆土：黒色土主体

出土遺物：707の覆土中からIVcが1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。



図IV—51 建物跡62・63・64・65・66

本建物跡は、支柱穴4基がやや長方形に配列するものである。重複関係、覆土のちがいなどから見て、建物62・63・64・65・66の中で最も新しいもので、4回にわたって建て替えられていたであろう。

表IV-50 建物跡62・63・64・65・66の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面		床(壇底)面 (cm) 長軸×短軸/長軸×短軸/深さ	壇底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			確認面	確認面				
RLSP-149	62	t-65	20 × 20	10 × 12	12	9.15	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -664	//	u-65	24 × 23	16 × 16	3	9.04	—	
// -709	//	//	25 × (22)	14 × 13	10	8.90	①褐>黄 (>En-a) 堅い ②≒① (>En-a) ボロボロ	709→706
// -148	63	t-65	19 × 18	10 × 9	12	9.14	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -680	//	//	(23) × 20	8 × 8	16	9.04	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	680→679
// -705	//	t-65, u-65	22 × 19	10 × 10	9	9.08	①暗褐>黄 (>En-a)	IVc
// -693	64	t-65	21 × 18	11 × 8	17	9.12	①黒褐 (>En-a)	
// -677	//	t-64+65	23 × 23	13 × 12	41	8.83	①黒褐 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a)	
// -649	//	u-65	26 × 25	16 × 17	33	8.66	①黒褐 (+En-a) ②暗褐+黄 (+En-a) ボロボロ	649→657, IVc
// -706	64+65	t-65, u-65	32 × 29	18 × 18	68	8.46	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒① (>En-a) ③En-a > ① ④暗褐 (+小さなEn-a) ボロボロ ⑤黒褐 (>En-a) 粘質	706→709, IVc, フレイク
// -706'	65	t-65	— × —	— × —	—	—	—	
// -679	//	//	27 × (24)	12 × 11	12	9.10	①黒褐>黄 (>En-a)	676←679←680
// -665	//	u-65	26 × 25	12 × 13	14	8.86	①黒褐 (>En-a) ザラザラ	
// -698	66	t-65	29 × 26	12 × 13	10	9.10	①黒 ザラザラ ② ①+En-a	
// -676	//	//	34 × 34	18 × 16	29	8.92	①黒 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) ③黒褐>黄 (>En-a)	676←679
// -657	//	u-65	26 × 24	14 × 14	42	8.55	①黒 ザラザラ ②黒褐 (>En-a) ③≒② (>En-a)	657←649
// -707	//	//	24 × 23	13 × 12	24	9.02	①黒 (>En-a) ザラザラ	IVc

建物跡67 (図IV-2・52 表IV-51・196・197)

位置：P-66・67 Q-66・67・68 R-67 標高9.60m付近、平坦地に位置する。

規模：P7-QP293・P28-P14(東西)～4.16m P7-P28・QP293-P14(南北)～4.47m

長軸方向：N-12°-W 確認：SE-2層中 覆土：褐色土、暗褐色土、黒褐色土が混在。

出土遺物：P-7上層中からIVcが116点、IVc-1が38点、石斧1点、フレイク14点、礫1点が出土している。P-28の覆土上層中からIVcが45点、IVc-1が10点、すり石1点、原石1点、フレイク8点、同中層中からIVcが4点、IVc-1が3点、Rフレイク1点、フレイク6点、同下層中からIVcが2点、IVc-1が1点などが出土している。P-14の覆土上層中からIVcが39点、IVc-1が11点、フレイク20点、原石6点、同中層中からIVcが15点、たたき石1点、Rフレイク2点、フレイク16点、礫1点、同下層中からIVcが2点、フレイク2点が出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がやや長方形に配列するものである。大型柱穴状ピットの建物跡で、建物跡67・68・69・70・71の中で最も新しいものである。

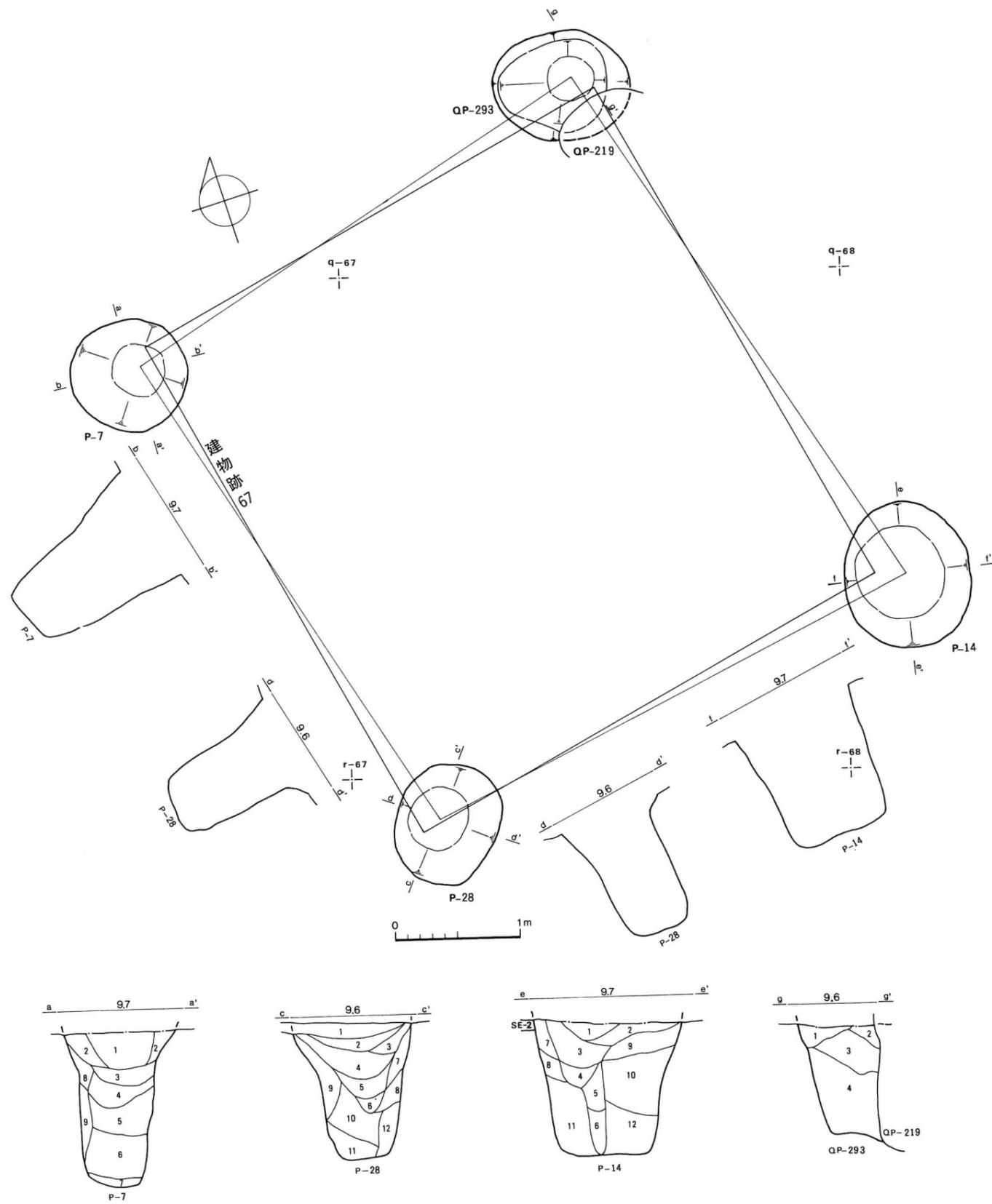
建物跡68 (図IV-2・53 表IV-52・196・197)

位置：r-66・67 s-66・67・68 r-66・67・68 標高9.60m付近、平坦地に位置する。

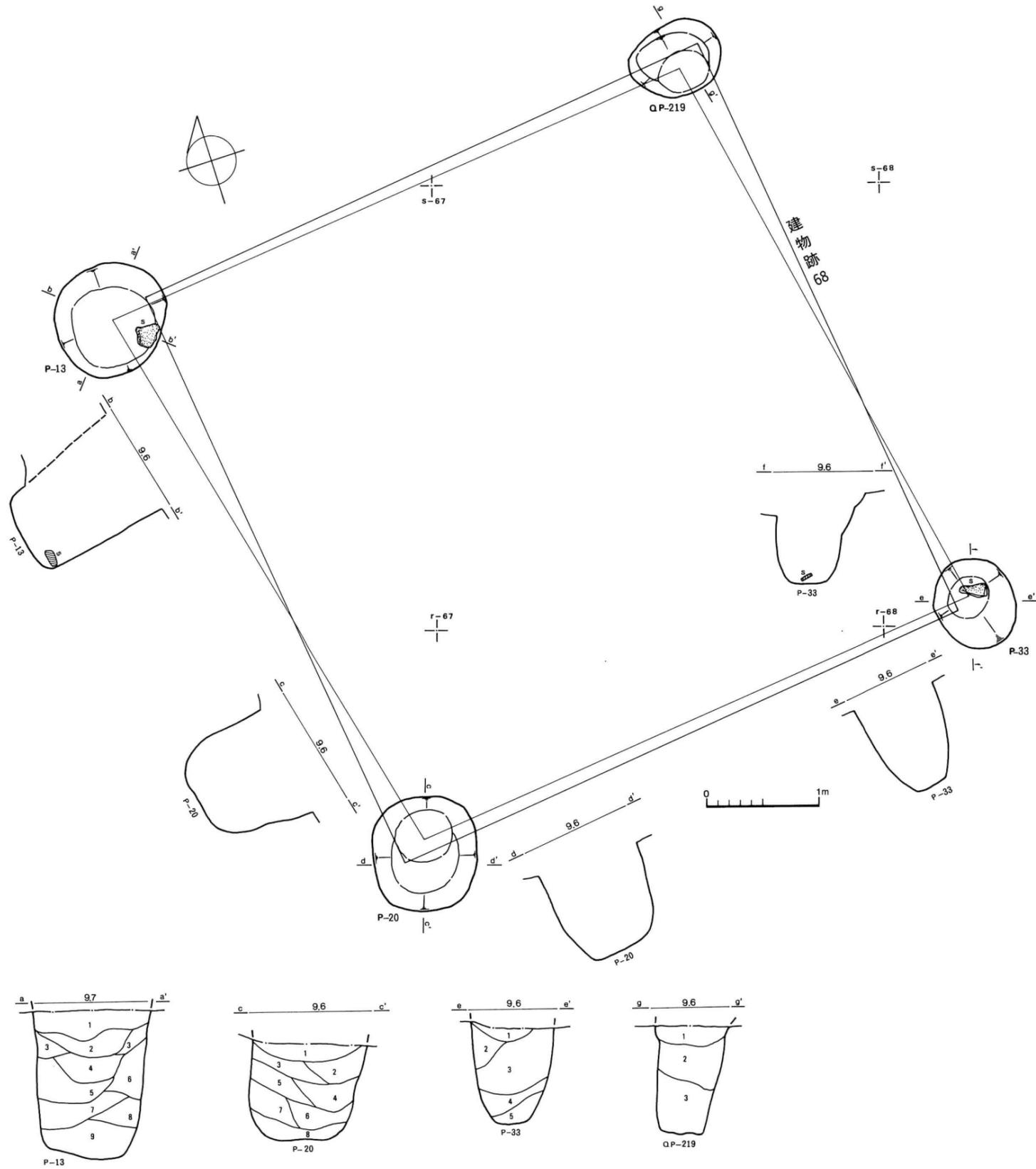
規模：P13-QP219・P20-P30(東西)～5.44m P13-P20・QP219-P33(南北)～5.60m

長軸方向：N-7°-W 確認：SE-2層中 覆土：暗褐色土主体

出土遺物：P-13の覆土上層中からIVcが27点、IVc-1が5点、石鏃1点、フレイク10点、礫1点、同中層中からIVcが10点、IVc-1が2点、フレイク9点、礫3点、同下層中からIVcが14点、IVc-1が4点、フレイク2点、同壇底上から台石1点が出土している。P-20の上層中からIVcが1点、IVc-1が6点、同中層中からIVcが17点、IVc-1が3点、石槍1点、礫2点、同下層中からIVcが4点、IVc-1が3点出



図IV—52 建物跡67



図IV-53 建物跡68

土している。P-33の上層中からIVcが3点、Rフレイク2点、フレイク2点、同中層中からIVcが5点、IVc-1が2点、フレイク6点、同墳底上から台石1点が出土している。QP-219の覆土上層中からIVcが2点、同墳底直上からIVcが16点、石鏃1点、フレイク9点、礫3点が出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がやや長形状に配列するものである。大型柱穴状ピットの建物跡で、重複関係から見て、建物跡67より古く、建物跡69より新しいものである。P-13とP-33の墳底上には根石状の台石があった。

表IV-51 建物跡67の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考(付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
QP-293	67	P-67	109 × (85) / 38 × 36 / 94		8.46	①赤黒 ②黒 ③赤黒 粒子粗い ④黒褐	QP-219-QP293-QP-218
RLP-7	〃	q-66	95 × 90 / 43 × 44 / 124		8.25	①暗褐(>En-a)粘質 ②黄褐(>En-a) ③①>黄(砂質) ④暗褐>黄(>En-a)ボソボソ ⑤暗黄褐(粗砂) ⑥⑤>砂ボロボロ ⑦黒褐 堅い ⑧褐>黄(>En-a) ⑨褐>黄(>En-a)	RLP-7←RLP-27 Nc、Nc-1、石斧、フレイク 礫
〃-28	〃	q-67、r-67	98 × 80 / 51 × 47 / 103		8.42	①黒褐>黄(>En-a) ②黒褐>黄(>En-a) ③暗褐>黄(>En-a) ④③(>En-a) ⑤暗褐>黄(>En-a) ⑥暗褐>黄 ザラザラ ⑦褐>黄(砂質) ⑧⑦(>En-a) ⑨暗褐>黄(>En-a) ザラザラ ⑩En-a + 褐(>黄) ⑪En-a + 暗褐(>黄) ⑫黄(粒砂)ボソボソ	RLP-28←RLP-30-31 Nc、Nc-1、すり石、Rフレイク フレイク
〃-14	〃	q-67・68	119 × 101 / 76 × 71 / 107		8.40	①黒褐(>En-a) ②黒褐>黄(>En-a) ③黒褐(>小さなEn-a) ④③ザラザラ ⑤暗褐>黄(>小さなEn-a) 軟質 ⑥暗茶灰(+小さなEn-a) ⑦黒褐>黄(>En-a) ⑧⑦ 軟質 ⑨暗褐>黄(>En-a) ⑩小さなEn-a + 暗茶褐 ⑪小さなEn-a > 暗褐 ⑫黒っぽいEn-a	RLP-14←RLP-15 Nc、Nc-1、たたき石 Rフレイク、フレイク

表IV-52 建物跡68の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考(付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
QP-219	68	P-67	84 × 65 / 48 × 37 / 98		8.45	①黒 粘性高い ②赤黒 粒子粗くボロボロ ③黒褐 粒子粗い	QP-219←QP-293
RLP-13	〃	q-66	101 × 92 / 71 × 76 / 134		8.30	①SE-1 ②SE-2 ③暗褐>黄(>小さなEn-a) ④③(>大きなEn-a)粘質 ⑤暗褐>黄(>大きなEn-a) ⑥⑤(>小さなEn-a) ザラザラ ⑦暗褐(>En-a) ⑧⑦黒っぽい ⑨褐(+大きなEn-a)粘質	RLP-13←RLP-26-27 Nc、Nc-1、台石、 石鏃、フレイク、礫
〃-20	〃	r-66・67	104 × 96 / 48 × 52 / 87		8.42	①暗褐>黄(>En-a) ②En-a ③①+小さなEn-aボロボロ ④大きなEn-a > 暗褐 ⑤暗褐>④ ⑥En-a > 暗褐 ⑦暗褐(>小さなEn-a) ⑧暗灰褐(>En-a)粘質	RLP-20←RLP-31-41 Nc、Nc-1、石槍、礫
〃-33	〃	q-68、r-68	81 × 72 / 35 × 38 / 80		8.60	①暗褐>黄(>En-a) ②褐>黄(+En-a) ③En-a > 褐 ④褐>黄(>En-a) ⑤暗茶褐(>En-a)	RLP-33←RLP-42-15 Nc、Nc-1

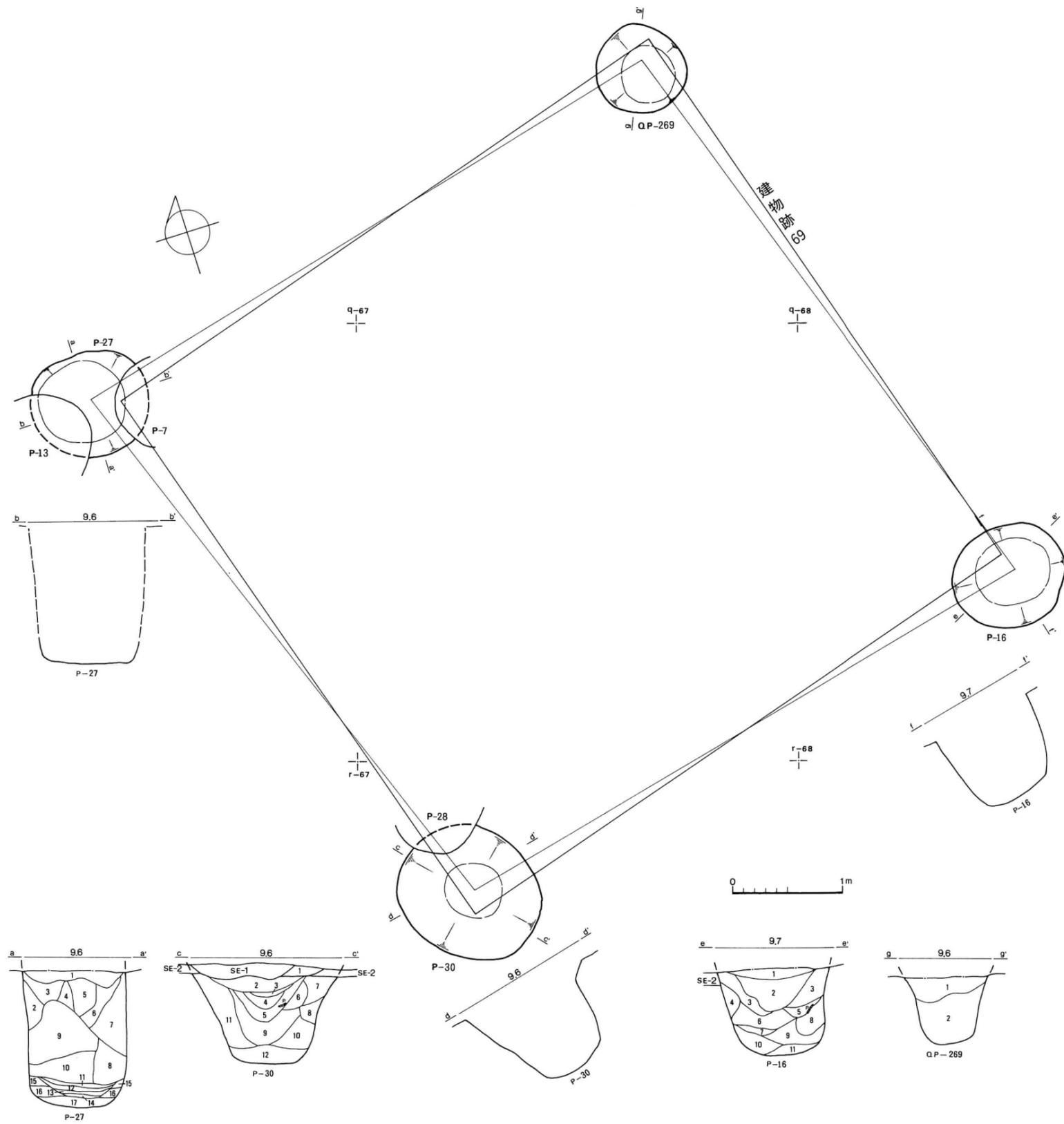
建物跡69 (図IV-2・54 表IV-53・197)

位置：P-66・67・68 q-66・67・68 r-67 標高9.60m付近、平坦地に位置する。

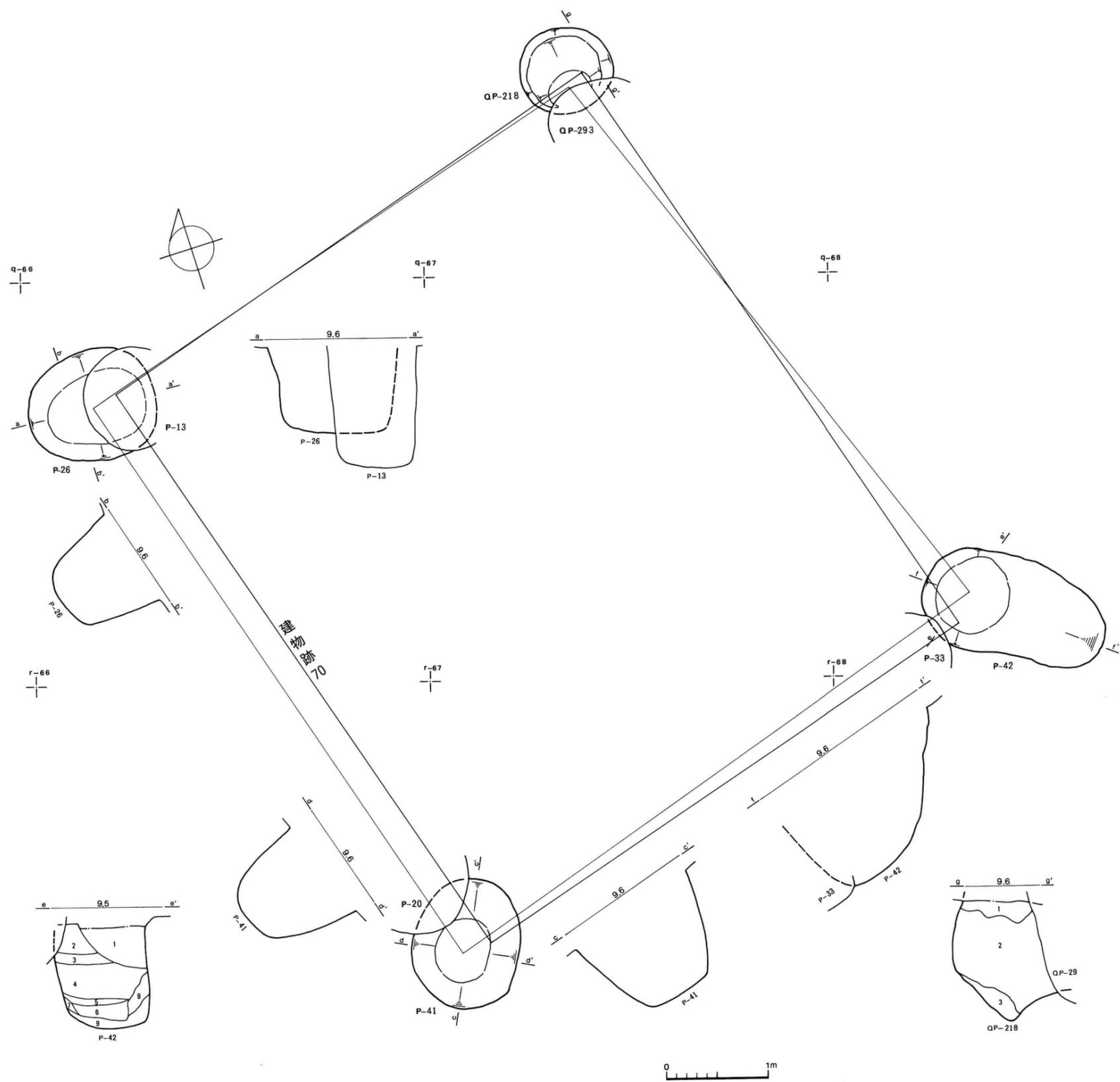
規模：P27-QP269・P30-P16(東西)~5.80m P27-P30・QP269-P16(南北)~5.66m

長軸方向：N-73°-E 確認：SE-2層中 覆土：暗褐色土、褐色土、黒褐色土が混在。

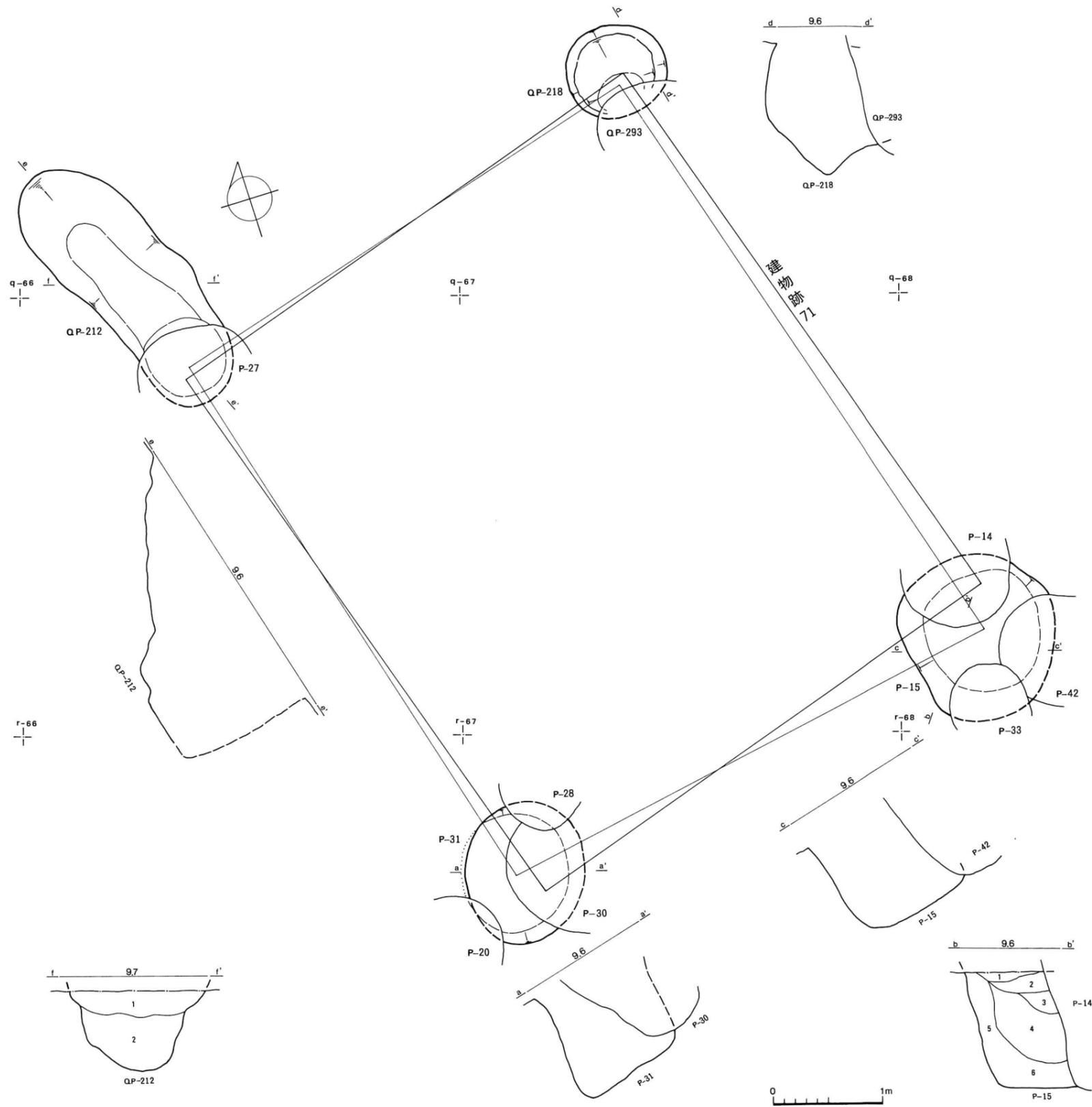
出土遺物：P-27の覆土上層中からIVcが20点、IVc-1が2点、フレイク9点(被熱1点)、同中層中からIVcが6点、IVc-1が3点、フレイク6点、礫(被熱)1点、同下層中からIVcが4点、同最下層中からスクレイパー1点が出土している。P-30の覆土上層中からIVcが5点、IVc-1が3点、Rフレイク、フレイク、原石各1点ずつ、同中層中からIVcが90点、IVc-1が17点、スクレイパー・Rフレイクが各1点ずつ、フレイク8点(被熱1点)、同下層中から礫1点が出土している。QP-269の覆土上層中から



図IV-54 建物跡69



図IV-55 建物跡70



図IV-56 建物跡71

IVcが10点、フレイク1点、同中層中からIVcが3点、石斧片・フレイクが各1点ずつ出土し、炭化物が混入している。

時期：覆土中出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がやや長方形に配列するものである。大型柱穴状ピットの建物跡で、重複関係から見て、建物跡68より古く、建物跡70より新しいものである。

表IV-53 建物跡69の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(壇底)面 (cm)	壇底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ	長軸×短軸/深さ			
QP-269	69	p-67	82 × 80	50 × 52 / 62	8.82	①黒褐 (>En-a) ②暗赤褐 (>En-a) ボロボロ	RLP-27→RLP-7・13
RLP-27	〃	q-66	(108) × 96	(79) × 74 / 126	8.22	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (+小さなEn-a) ③En-a>褐 ④En-a>黄 ⑤小さなEn-a>褐 ⑥大きなEn-a>褐 ⑦より大きなEn-a>褐 ⑧En-a+暗褐 ⑨En-a+黄+暗褐 ⑩En-a>褐>黄 ⑪小さなEn-a ⑫暗褐+En-a+黄砂粒 ⑬明灰色のEn-a ⑭=⑫ ⑮ ⑯>黄 ⑰暗茶褐 粘質 ⑱暗灰褐 粘質	IVc、IVc-1、スクレイパー、フレイク
〃 -30	〃	r-67	(132) × 118	74 × 51 / 77	8.60	①黒褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③褐>黄 (>En-a) 砂質 ④ ⑤<En-a ⑥褐>黄 ⑦=⑤ (>大きなEn-a) ⑧褐 (>En-a) ⑨褐 ボソボソ ⑩En-a>暗褐 砂質 ⑪黄<小さなEn-a ⑫En-a ボロボロ ⑬暗灰褐 粘質	RLP-28-RLP-30-RLP-31 IVc、IVc-1、スクレイパー Rフレイク、フレイク
〃 -16	〃	q-68	105 × 95	70 × 61 / 80	8.70	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) 粘質 ③暗褐>黄 (>En-a) 軟質 ④暗黄 (>En-a) ボソボソ ⑤=③黄色土多く、粘質 ⑥暗褐>黄 (>En-a) 炭化物混入、粘質 ⑦大きなEn-a>暗黄褐 ⑧=⑦ ⑨褐>黄 軟質 ⑩En-a>黄褐	

建物跡70 (図IV-2・55 表IV-54)

位置：P-66・67 q-66・67・68 r-66・67・68 標高9.60m付近、平坦地に位置する。

規模：P26-QP218・P41-P42(東西)~5.60m P26-P41・QP218-P42(南北)~6.56m

長軸方向：N-17°-W 確認：SE-2層中 覆土：褐色土、暗褐色土が混在。

出土遺物：P-41の覆土上・下層中からIVcが1点ずつ、P-42の覆土中層中からIVc-1が1点出土している。QP-218の覆土上層中からIVcが6点、同下層中からフレイク2点、同1層中からIVcが1点、礫1点、同壇底面からIVcが8点、フレイク・礫各1点ずつが出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長方形に配列するものである。大型柱穴状ピットの建物跡で、重複関係から見て、建物跡69より古く、建物跡71より新しいものである。P-42は舌状の張り出し部がある。

表IV-54 建物跡70の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(壇底)面 (cm)	壇底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ	長軸×短軸/深さ			
QP-218	70	p-67	92 × (82)	(42) × - / 120	8.23	①赤黒 ②におい赤褐 ③赤黒 しまり強い	QP-293+QP-218+QP-220
RLP-26	〃	q-66	(128) × 112	(100) × 72 / 82	8.70	---	RLP-26→RLP-13
〃 -41	〃	r-66・67	130 × 104	65 × 74 / 92	8.47	---	RLP-20-RLP-41-RLP-32 IVc
〃 -42	〃	q-68	187 × 100	72 × 78 / 106	8.30	①En-a>暗黄(砂) ②En-a+暗茶黄(砂) ③En-a+暗灰(砂) ④En-a+暗茶褐(砂) ⑤En-a ⑥En-a>暗褐 砂質 ⑦暗灰褐 粘質 ⑧=⑥ ⑨ ⑥+⑦	RLP-33-RLP-42+RLP-15 IVc-1

建物跡71 (図IV-2・56 表IV-55・196)

位置：p-66・67 q-66・67・68 r-67 標高9.60m付近、平坦地に位置する。

規模：QP212-QP218・P31-P15(東西)~4.85m QP212-P13・QP218-P15(南北)~5.68m

長軸方向：N-18°-W 確認：SE-2層中 覆土：褐色土、暗褐色土、黒褐色土が混在。

出土遺物：P-15の覆土上層中からIVcが16点、IVc-1が2点、Rフレイク1点、フレイク10点、同中層中からIVcが32点、IVc-1が2点、石皿1点、フレイク19点など、同下層中からIVcが16点、IVc-1が1点、Rフレイク、礫が各1点ずつ、フレイク2点が出土している。QP-212の覆土上層中からIVcが15点、同下層中からIVcが23点、石斧片1点、フレイク5点が出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長方形に配列するものである。大型柱穴状ピットの建物跡で、重複関係から見て、建物跡70より古く、建物跡67・68・69・70・71の中で最も古いものである。建物跡71→70→69→68→67と4回の建て替えが行われたものと思われる。QP-212は舌状の張り出し部をもつピットである。

表IV-55 建物跡71の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(壇底)面 (cm)	壇底 レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ	長軸×短軸/深さ			
QP-218	71	p-67	92 × (82) / (42) × - / 120	- / 120	8.23	①赤黒②にぶい赤褐 ③赤黒 しまり強い	QP-218-QP-218-QP-220
// -212	//	p-66 q-66	(260) × (84) / (72) × 70 / 122	70 / 122	8.32	①黒 (>φ1~50mmのEn-a) やや粘性高い ②黒褐 (>φ1~10mmのEn-a) 粒子粗く、粘性なし	RLP-27-QP-212
RLP-31	//	r-66・67	(131) × (108) / (108) × 97 / 104	97 / 104	8.45	—	RLP-31-RLP-20・28・30
// -15	//	q-68	(152) × 135 / (108) × 107 / 106	107 / 106	8.30	①黒褐>黄 (>En-a) ②大きなEn-a ③小さなEn-a -a>暗黄 ④En-a+暗褐(粗砂) ⑤=② ⑥=③	RLP-15-RLP-14・33・42 Nc、Nc-1、石皿、すり石、 Rフレイク、フレイク

建物跡72 (図IV-2・57 表IV-56)

位置：r-66・67・68 s-66・67・68 標高9.45m付近、平坦地に位置する。

規模：-1590・955-947(東西)~4.14m -955・1590-947(南北)~4.05m

長軸方向：N-76°-E 確認：SE-2層中 覆土：1590と1808は暗褐色土、他は黒褐色土である。

出土遺物：947の覆土中からIVcが2点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(北西の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。1808と1816は位置関係から見て、本建物跡に関連するピットと思われる。

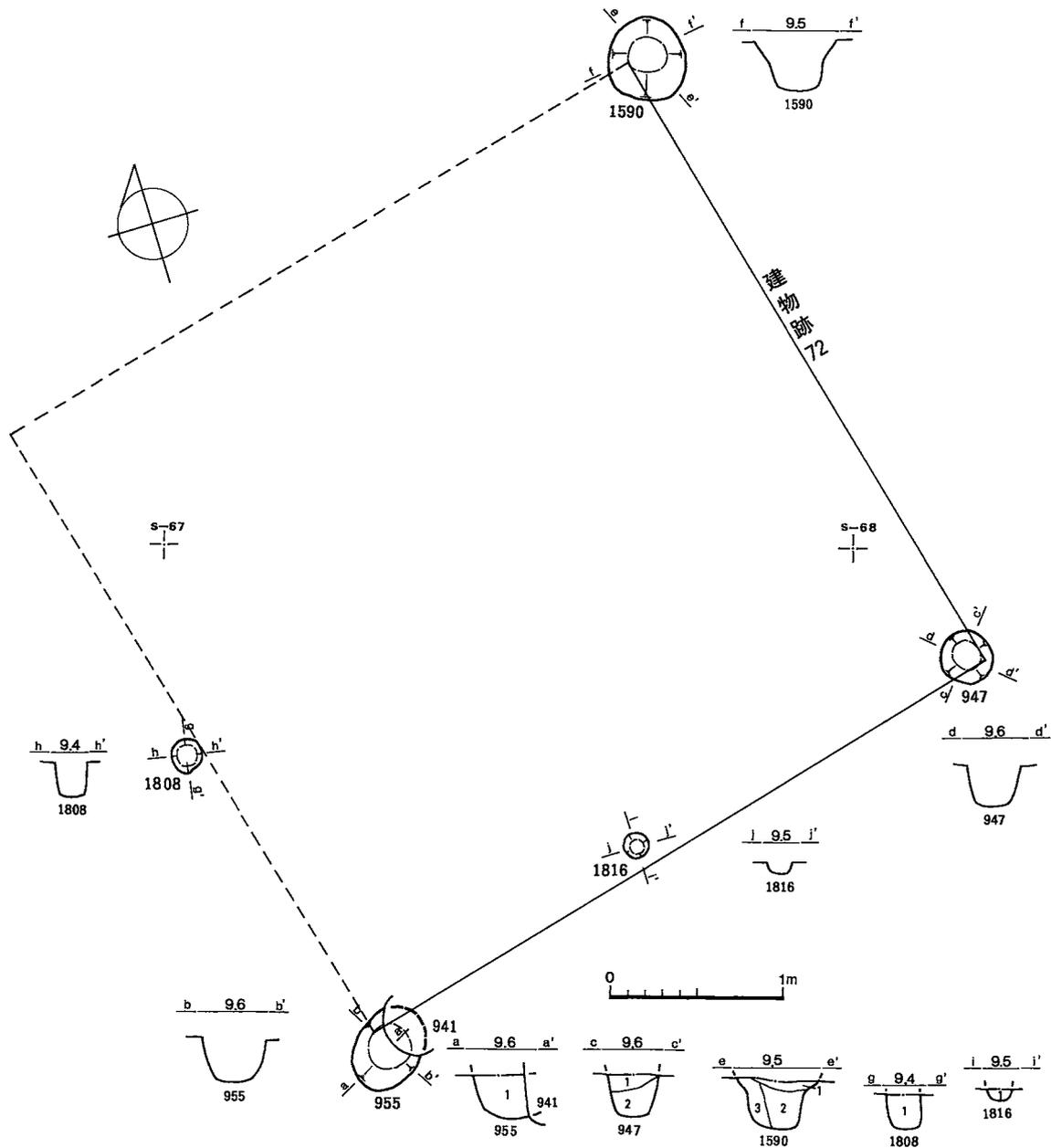
表IV-56 建物跡72の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(壇底)面 (cm)	壇底 レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1590	72	r-67	48 × 45 / 22 × 23 / 28	22 × 23 / 28	9.15	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -955	//	s-67	- × 38 / - × 24 / 24	- × 24 / 24	9.20	①黒褐 (>En-a)	941-955
// -947	//	s-68	29 × 29 / 18 × 16 / 24	18 × 16 / 24	9.20	①黒褐 (>En-a) 粘質 ②黒褐 粘質	IVc
// -1808	//	s-67	18 × - / 14 × - / 20	- / 20	9.15	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1816	//	//	14 × - / 8 × - / 6	- / 6	9.32	①黒褐 ボソボソ	

建物跡73 (図IV-2・58 表IV-57・196)

位置：q-65・66 r-64・65・66 s-64・65・66 標高9.40m~9.60m、ほぼ平坦地に位置する。

規模：QP13-P23・P8-P24(東西)~6.50m QP13-P8・P23-P24(南北)~5.67m



図IV-57 建物跡72

長軸方向：N-69°-E 確認：SE-2層中 覆土：褐色土、暗褐色土、黒褐色土が混在。

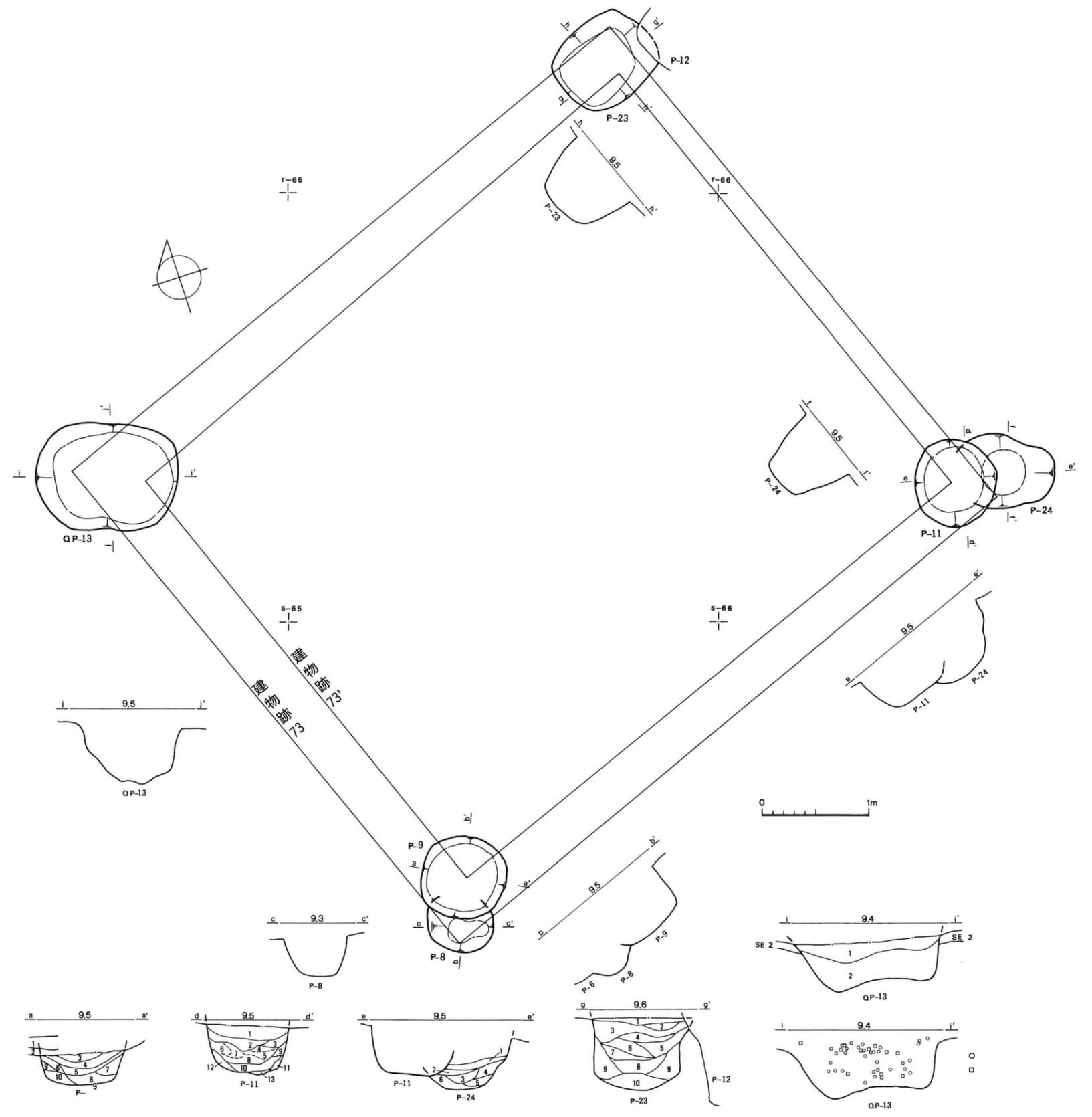
出土遺物：P-8の覆土中からフレイク1点、P-24の覆土中からIVcが2点、IVc-1が1点、礫が1点出土している。QP-13の覆土1層中からIIIb-2が2点、IVcが16点、フレイク1点、礫4点、同覆土中からIVbが1点、IVcが16点、フレイク8点、礫2点が出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長方形に配列するものである。P-9とP-8、P-11とP-24の重複関係から見て、建物跡73'より古いものである。大型柱穴状ピットの建物跡である。

建物跡73'(図IV-2・58 表IV-57・196)

位置：q-65・66 r-64・65・66 s-64・65・66 標高9.40m~9.60m、ほぼ平坦地に位置する。



図IV-58 建物跡73・73'

規模：QP13-P23・P9-P11(東西)～5.80m QP13-P9・P23-P11(南北)～4.74m

長軸方向：N-69°-E 確認：SE-2層中 覆土：褐色土、暗褐色土、黒褐色土が混在。

出土遺物：P-23の覆土上層中からIVcが15点、IVc-1が1点、石鏃、石斧、たたき石が各1点ずつ、フレイク11点(被熱1点)、礫2点、同中層中からIVcが9点、IVc-1が1点、石斧、礫が各1点ずつ、同下層中からIVb-4が1点、IVcが31点、IVc-1が2点、フレイク7点、礫2点などが出土している。P-11の覆土上層中からIVcが26点、IVc-1が4点、フレイク4点、同中層中からIVcが11点、石斧1点が出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長形状に配列するものである。大型柱穴状ピットの建物跡で、P-8とP-9、P-11とP-24の重複関係から見て、建物跡73より新しく、建て替えられたものであろう。

表IV-57 建物跡73・73'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土(土層記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
P-23	73・73'	q-65	93 × 79 / 70 × 56 / 56	8.86	①褐>黄 (>En-a) ②①+暗赤褐色焼土 ③褐>黄 (>En-a) ④暗褐>黄 (>En-a) ⑤暗褐>黄 (>En-a) ⑥≒⑤ (黄色・土En-a少ない) ⑦En-a>暗褐 ガラガラ ⑧黒褐 粘質 ⑨≒⑧ (>黄・En-a) ⑩⑧>En-a	P-23→P-12 IVb-4、Wc、Wc-1、 石鏃、石斧、たたき石、フレイク、礫	
QP-13	//	r-64	132 × 100 / 111 × 82 / 44	8.80	①黒褐 (>En-a) ②褐灰		
RLP-8	73	s-65	62 × (56) / 38 × 23 / 36	8.80	—	RLP-9←RLP-8←RLP-6 フレイク	
// -24	//	r-66	(95) × 70 / 41 × 42 / 51	8.86	①黒褐 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a) ボロボロ ③≒②砂粒含む ④≒①ガラガラ ⑤暗褐 (+小さなEn-a) ⑥ ②+砂	RLP-24→RLP-11、 Wc、Wc-1、礫	
// -9	73'	s-65	79 × 76 / 65 × 64 / 30	8.88	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③暗褐>黄 (>En-a) ④≒③ (黒く、En-a多い) ⑤黒褐>黄 (>En-a) 粘質 ⑥≒⑤砂質 ⑦褐>黄 (+En-a) ⑧暗褐>黄 (>En-a) ⑨≒⑦ (En-a少なく) ガラガラ、⑩≒⑦ (En-a少なく、黄色土多い)	RLP-9←RLP-8	
// -11	//	r-66	82 × 76 / 60 × 55 / 43	8.99	①褐>黄 (>En-a) ② ①+小さなEn-a ③褐>黄 ④En-a>褐 ボロボロ ⑤En-a>暗褐 ⑥暗褐>黄 (>小さなEn-a) ⑦En-a>黄 ⑧大きなEn-a>黄 ⑨暗褐>En-a ⑩黒褐 粘質 ⑪暗褐 粘質 ⑫明褐色焼土 (+En-a) ⑬褐>黄 (+En-a) 粘質 ※全体にボロボロしている。	RLP-11←RLP-24、 Wc、Wc-1、石斧、フレイク	

建物跡74 (図IV-2・59 表IV-58・196)

位置：r-65・66 s-64・65・66・67 t-65・66・67 標高9.40m～9.60m、ほぼ平坦地に位置する。

規模：QP141-P10・P26-P32(東西)～5.50m QP141-P10・P26-P32(南北)～6.60m

長軸方向：N-27°-W 確認：SE-2層中 覆土：32は暗褐色土、他は黒褐色土主体

出土遺物：P-10の覆土上層中からフレイク3点、礫1点、同中層中からIVcが10点、石斧片2点、Rフレイク1点、フレイク2点、同下層中からIVcが8点出土している。QP-141の覆土上層中からIVcが47点、フレイク3点、礫2点、同中層中からIVcが20点、礫1点、同下層中からIVcが13点、フレイク2点、礫3点が出土している。

時期：覆土出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長形状に配列するものである。大型柱穴状ピットの建物跡で、P-13とP-26、P-41とP-32の重複関係から見て、建物跡68・70より古いものである。

建物跡75 (図IV-2・60 表IV-59・195)

位置：q-64・65 r-63・64・65 s-64 標高9.50m付近、ほぼ平坦地に位置する。
 規模：QP33-QSP3228・QP30-1436(東西)～5.10m QP33-QP30・QSP3228-1436(南北)～5.16m
 長軸方向：N-15°-W 確認：SE-2層中 覆土：黒褐色土主体で、黒色土、暗褐色土が混在。
 出土遺物：1436の覆土中からIVb-4が1点、IVcが10点、IVc-1が3点、フレイク2点が出土している。
 QP-30の覆土中からIVbが1点、IVcが2点出土している。QP-33の覆土上層中からIVcが3点、Rフレイク1点、同下層中からIVcが2点出土している。QSP-3228の覆土中からIVcが1点、砥石1点が出土している。
 時期：覆土、出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。
 本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。

表IV-58 建物跡74の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(壇底)面 (cm)	壇底レベル (m)	覆土(土層註記)	備考(付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLP-26	74	q-66	— × 110 / (102) × (69) / 82		8.72	—	RLP-26→RLP-13
QP-141	〃	r-64・65	111 × 100 / 98 × 96 / 71		8.77	①黒褐 (>φ3～10mmのEn-a) しまり強い、②黒 (>φ5～20mmのEn-a) しまり強い ③極暗褐 (>φ3～20mmのEn-a) しまり強い ④褐 (Ⅷ層相当崩落土)	
RLP-10	〃	s-65・66	115 × 100 / 63 × 76 / 71		8.68	※黒褐+黄+En-a ガラガラ	Ⅴc、Ⅴc、Rフレイク、フレイク
〃-32	〃	s-66・67 t-66・67	(128) × 106 / (72) × 74 / 62		8.75	①暗褐>黄 (>En-a) 砂質で堅い ②①+小さなEn-a ポロポロ ③小さなEn-a>暗褐 ポロポロ④暗褐>黄 (>En-a) 粘質で堅い	RLP-32→RLP-41

表IV-59 建物跡75の柱穴状ピット一覧

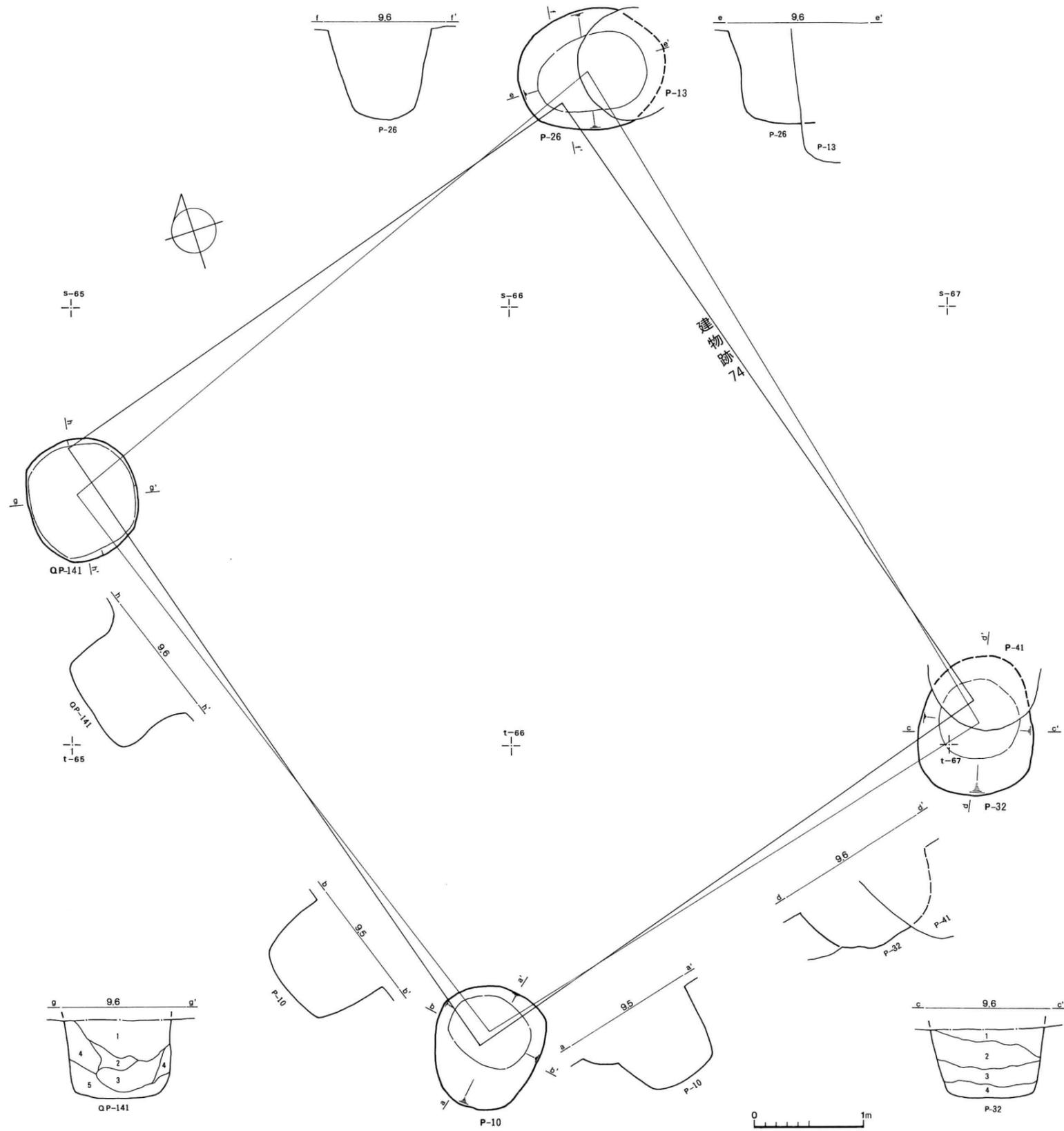
柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(壇底)面 (cm)	壇底レベル (m)	覆土(土層註記)	備考(付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
QSP-3228	75	q-64・65	75 × 64 / 26 × 23 / 56		9.04	①黒(下層にEn-a多い) ②暗褐	
QP-33	〃	q-63, r-63	80 × 72 / 53 × 52 / 44		8.98	①黒 (>φ1～5mmのEn-a) ②黒褐 (>φ5～30mmのEn-a)	
〃-30	〃	s-64	56 × 55 / 46 × 44 / 28		9.06	①黒 (>En-a)	
RLSP-1436	〃	r-65	66 × 51 / 42 × 38 / 42		9.06	①暗褐>黄 (>En-a) ②①>En-a ③黒褐>黄 (>En-a) ④黒褐 (>En-a) ⑤黒褐>黄 (+En-a) ⑥④(黄色土、En-a多い)	IVb-4、Ⅴc、Ⅴc-1、フレイク

建物跡76 (図IV-2・61 表IV-60・195)

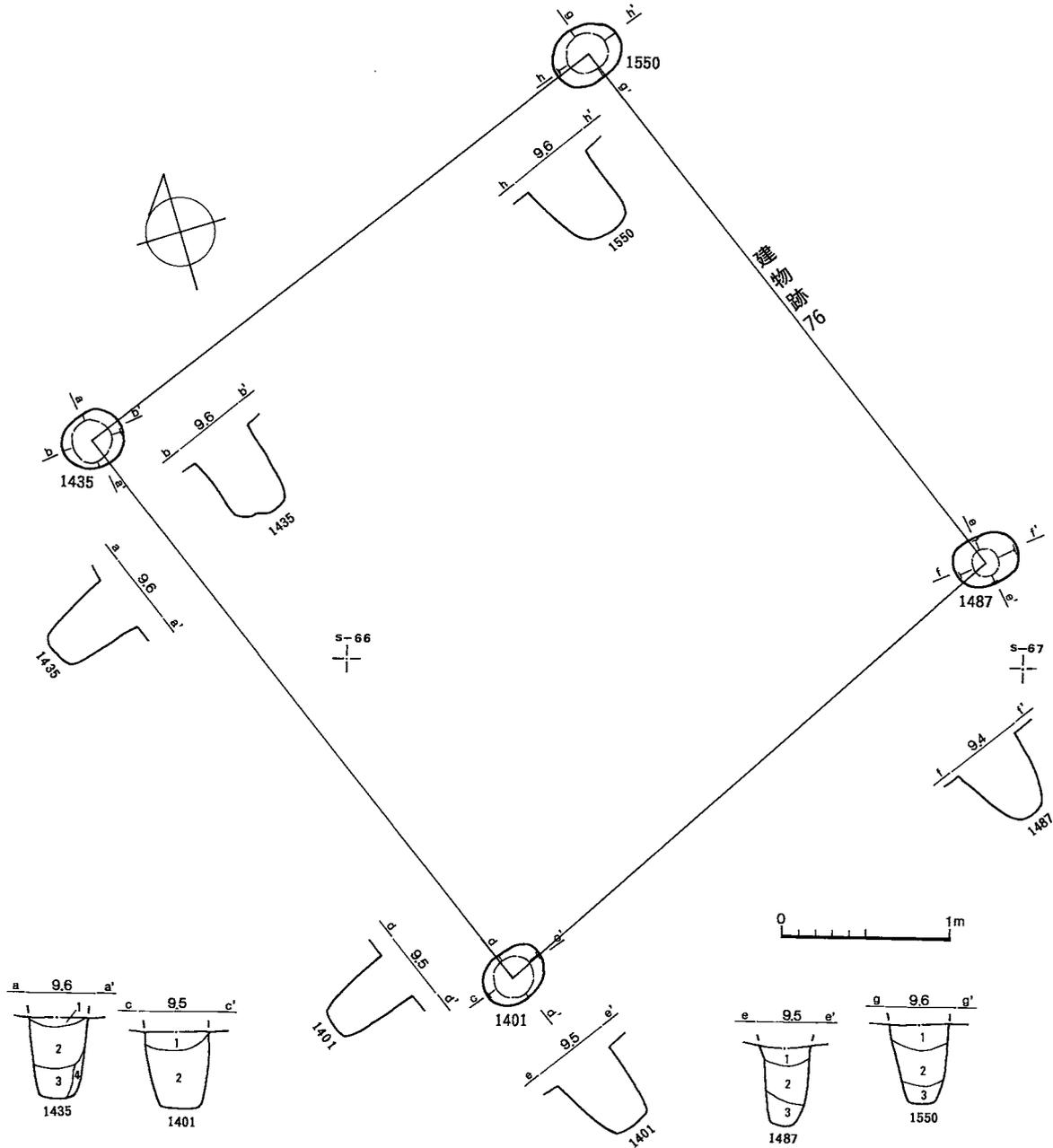
位置：r-65・66 s-65・66 標高9.45m付近、ほぼ平坦地に位置する。
 規模：1435-1550・1401-1487(東西)～3.70m 1435-1401・1550-1487(南北)～4.02m
 長軸方向：N-22°-W 確認：SE-2層中 覆土：黒褐色土主体で、暗褐色土混在。
 出土遺物：1550の覆土中からフレイク2点、1435の覆土中からIVcが2点、IVc-1が1点、1401の覆土中からIVcが2点、Rフレイク・フレイク各1点ずつが出土している。
 時期：覆土・周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。
 本建物跡は、支柱穴4基が長方形に配列するものである。

表IV-60 建物跡76の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(壇底)面 (cm)	壇底レベル (m)	覆土(土層註記)	備考(付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1550	76	r-66	42 × 31 / 26 × 24 / 48		9.02	①黒褐 (>En-a) ②①わずかにEn-aを含む ③黒褐	フレイク
〃-1435	〃	r-65	37 × 34 / 24 × 24 / 48		8.96	①暗褐 ②黒褐 (>En-a) ③黒褐 (>En-a) 粘質 ④暗灰褐 ボソボソ	Ⅴc、Ⅴc-1
〃-1401	〃	s-66	39 × 31 / 26 × 24 / 46		8.91	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	Ⅴc、Rフレイク、フレイク
〃-1487	〃	r-66	39 × 28 / 16 × 16 / 46		8.90	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ③黒褐 (>En-a)	1487←1485



図IV—59 建物跡74



図IV-61 建物跡76

建物跡77 (図IV-2・62 表IV-61)

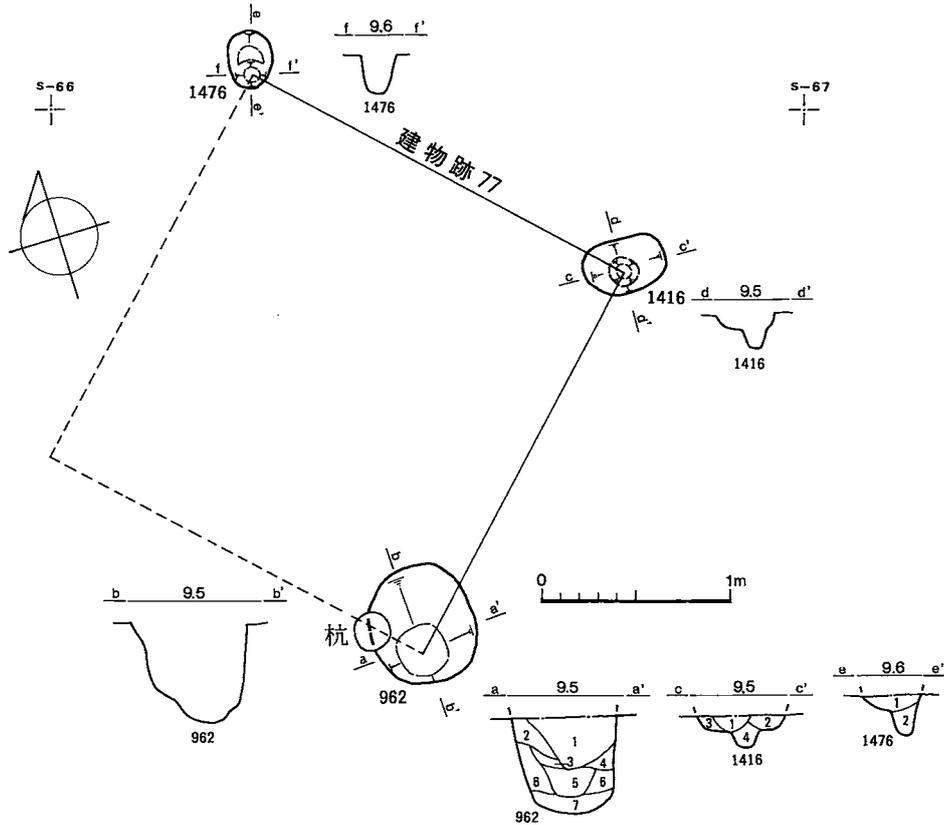
位置：r-66 s-66 標高9.45m付近、平坦地に位置する。

規模： -1476・962-1416(南西-北東)~2.29m -962・1476-1416(北西-南東)~2.22m

長軸方向：N-45°-E 確認：SE-2層中 覆土：暗褐色土

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、主柱穴4基(南西の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。



図IV-62 建物跡77

表IV-61 建物跡77の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(堀底)面 (cm)	堀底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1476	77	r-66	30 × 22 / 8 × 9 / 21		9.28	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -962	//	s-66	62 × 57 / 27 × 26 / 50		8.85	①暗褐>黄 (>En-a) ② ①<En-a ③En-a ポロポロ ④ ③>①ボソボソ ⑤En-a	
// -1416	//	//	46 × 28 / 9 × 8 / 17		9.24	①暗褐>黄 ②暗褐>黄 (>En-a) ③褐>黄 (>En-a) ④暗褐>黄 (>En-a) 粘質	

建物跡78 (図IV-2・63 表IV-62)

位置：P-68・69 Q-68・69 標高9.60m付近、平坦地に位置している。東側は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。

規模：1774-QSP3153・1637- (東西)~2.78m 1774-1637・QSP3153- (南北)~2.57m

長軸方向：N-69°-W 確認：QSP-3153はⅧ層中、他はSE-2層中 覆土：暗褐色土主体、1637は褐色土

出土遺物：QSP-3153の覆土中からIVcが1点、石皿片1点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南東の柱穴ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。重複関係から見て、建物跡79より古いものである。

建物跡79 (図IV-2・63 表IV-62)

位置：P-68・69 Q-68・69 標高9.60m付近、平坦地に位置する。東側は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。

規模：1774'-QSP3154・1836- (東西)~2.72m 1774'-1836・QSP3154- (南北)~2.47m

長軸方向：N-70°-E 確認：QSP3154はⅧ層中、他はSE-2層中 覆土：暗褐色土

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基（南東の柱穴状ピットは未確認）がやや長方形に配列するものと思われる。重複関係から見て、建物跡78より新しく、建物跡80より古いもので、建物跡78からの建て替えであろう。

建物跡80 (図IV-2・63 表IV-62・195)

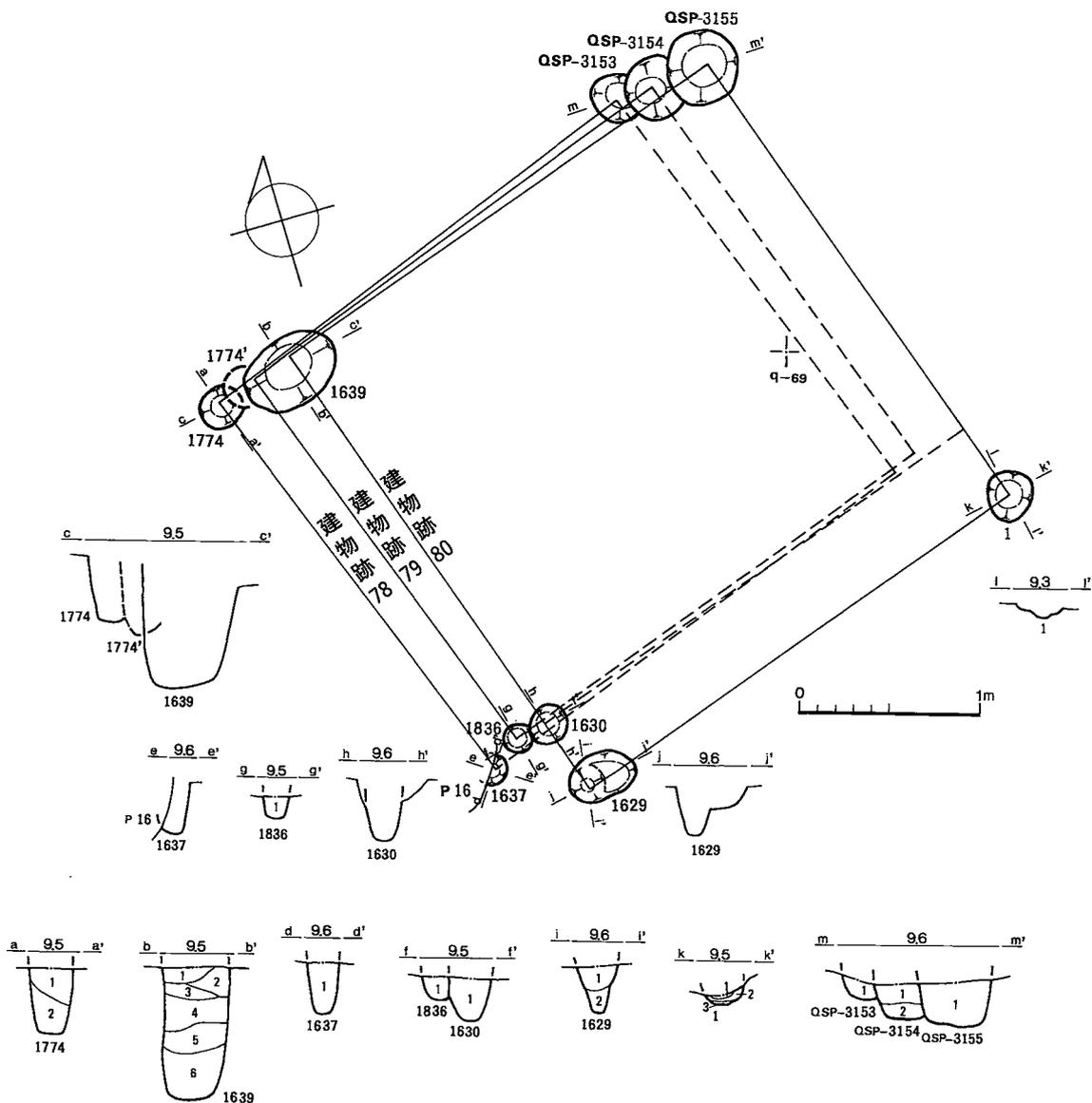
位置：P-68・69 Q-68・69 標高9.60m付近、平坦地に位置する。東側は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。

規模：1639-QSP3155・1629-1 (東西)~2.84m 1639-1629・QSP3155-1 (南北)~2.93m

長軸方向：N-18°-W 確認：QSP-3155と1はⅧ層中、他はSE-2層中 覆土：暗褐色土主体で黒褐色土が混在。

出土遺物：1639の覆土中からIVcが3点、IVc-1、フレイクが各1点ずつ、QSP-3155の覆土中からIVcが1点、石鏃1点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。



図IV-63 建物跡78・79・80

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。重複関係から見て、建物跡78・79より新しいものである。1639は他に比べ、大きく、深い。

表IV-62 建物跡78・79・80の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面 床(堀底)面 (cm)		堀底レベル(m)	覆土(土層記記)	備考(付設、出土遺物…)
			長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
QSP-3153	78	p-68	— × 26	— × 14 / 10	9.30	①暗褐 (>En-a) 粘質	
RLSP-1774	〃	q-68	24 × —	— / 14 × — / 36	9.04	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗灰褐 粘質	1774→1774'
〃 -1637	〃	〃	— × (16)	— × (8) / 28	9.17	①褐>黄 (>En-a)	RLP-16←1637
QSP-3154	79	p-68	(34) × 35	17 × 14 / 20	9.19	①暗褐 (>En-a) 粘質 ②暗黄褐 (>En-a) 粘質	QSP-3155←3154←3153
RLSP-1774'	〃	q-68	— × —	— × — / —		※暗褐>黄 (>En-a)	1639←1774'←1774
〃 -1836	〃	〃	15 × —	— / 2 × — / 12	9.27	①暗褐>黄 (>En-a)	1863→1830
QSP-3155	80	p-68	42 × 39	24 × 24 / 26	9.14	①褐 (>En-a)	QSP-3155←3154
RLSP-1639	〃	p-68, q-68	56 × 39	29 × 23 / 74	8.67	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③En-a>明褐 ④暗褐 (>En-a) ⑤≒④ボロボロ ⑥≒④ (>En-a) 粘質	1639←1774'、IVc、IVc-1、フレイク
〃 -1630	〃	q-68	23 × 20	14 × 12 / 34	9.14	①暗褐>黄 (>En-a) ボロボロ	1630>1836
〃 -1629	〃	〃	38 × 25	8 × 8 / 29	9.19	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐 (>En-a) 粘質	
〃 -1	〃	q-69	28 × 24	17 × 14 / 6	9.14	①黒褐 ② ①>En-a ③≒① (色調うすい)	

建物跡81 (図IV-2・64 表IV-63・195・198)

位置：q-67・68 r-67・68 標高9.45m付近、ほぼ平坦地に位置する。

規模：1588—・1490—1604(東西)～3.94m 1588—1490・—1604(南北)～3.80m

長軸方向：N-85°-E 確認：SE-2層中 覆土：1592は褐色色、他は暗褐色土

出土遺物：1490の覆土中からIVcが15点、IVc-1が2点、フレイク10点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。1490は他に比べ深い(83cm)。1647、1592、1608は位置関係から見て、本建物跡に関連するピットと思われる。

表IV-63 建物跡81の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面 床(堀底)面 (cm)		堀底レベル(m)	覆土(土層記記)	備考(付設、出土遺物…)
			長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1588	81	q-67	25 × 21	8 × 11 / 26	9.16	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐 (>En-a)	
〃 -1490	〃	r-67	52 × 48	22 × 20 / 83	8.64	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ボロボロ ③暗灰褐 (>En-a) 粘質 ④≒③ ボロボロ	IVc、IVc-1、フレイク
〃 -1604	〃	r-68	43 × 38	4 × 4 / 24	9.26	—	
〃 -1647	〃	q-67	36 × 23	10 × 11 / 34	9.13	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐 (>En-a) ボソボソ	
〃 -1592	〃	r-67	32 × 27	18 × 16 / 7	9.33	①褐>黄 (>En-a)	
〃 -1608	〃	r-68	27 × 24	13 × 12 / 23	9.20	①暗褐>黄 (>En-a) ② ①+En-a ボロボロ	

建物跡82 (図IV-2・65 表IV-64)

位置：r-67・68 s-67・68 標高9.45m付近、ほぼ平坦地に位置する。

規模：1489—1606・959—926(東西)～2.94m 1489—959・1606—926(南北)～3.72m

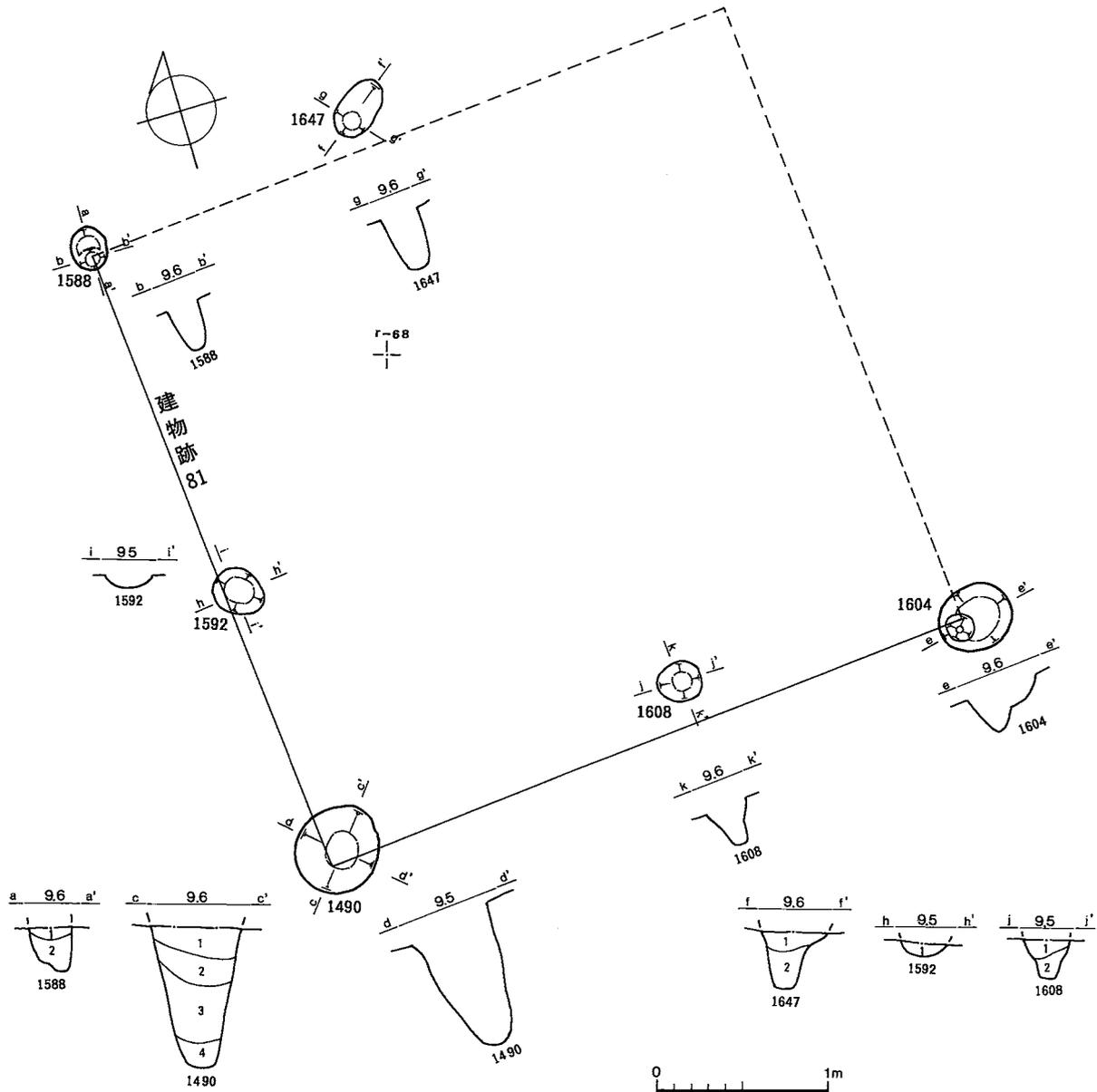
長軸方向：N-4°-W 確認：SE-2層中 覆土：暗褐色土主体で、褐色土、黒褐色土が混在。

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長方形に配列するものである。覆土のちがいがから見て、建物跡82'より古いものと思われる。

建物跡82'(図IV-2・65 表IV-64)

位置：r-67・68 s-67・68 標高9.45m付近、ほぼ平坦地に位置する。



図IV-64 建物跡81

規模：1490' - 1605・959 - 926(東西) ~ 3.22m 1490' - 959・1605 - 926(南北) ~ 3.11m

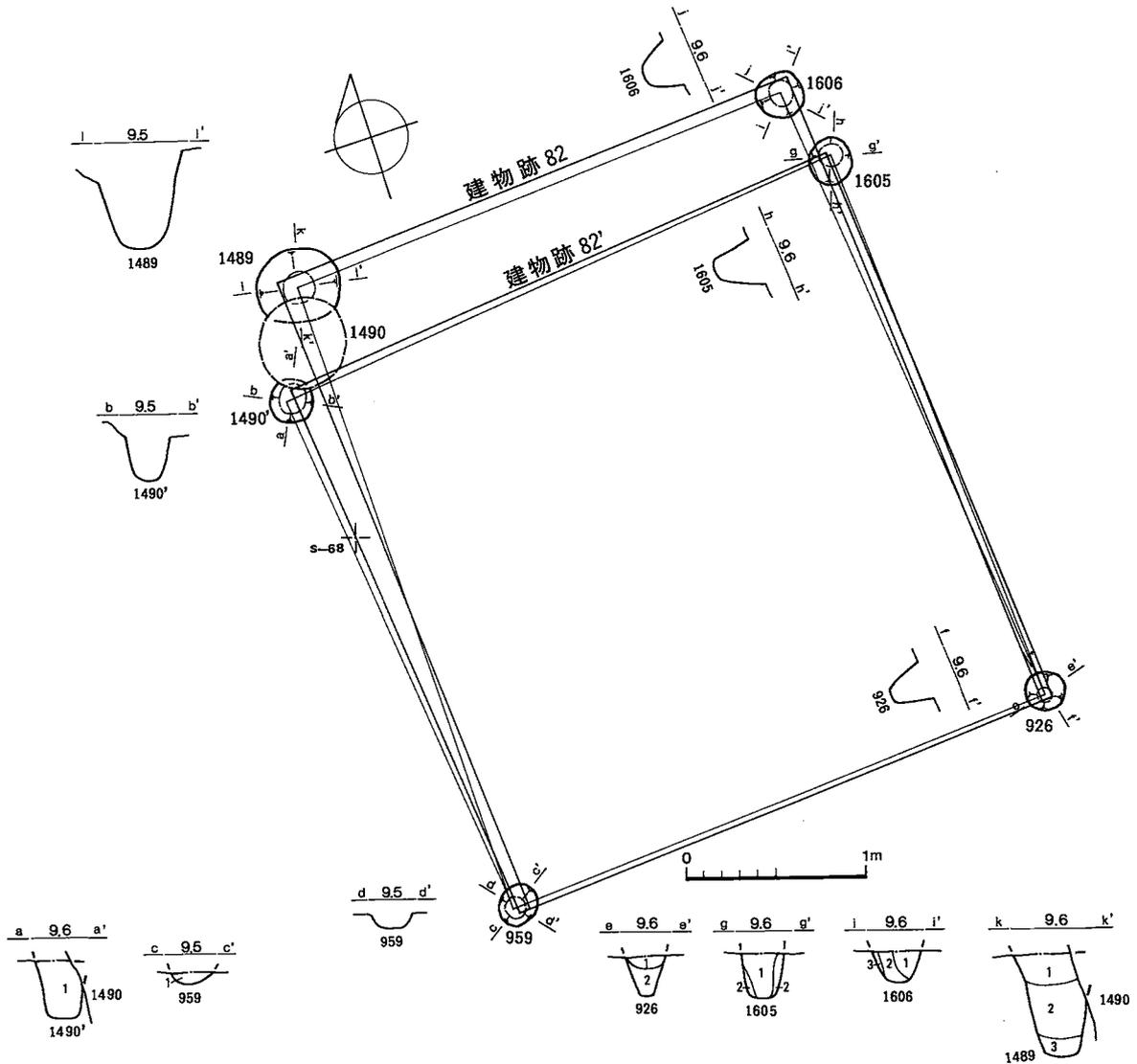
長軸方向：N-84°-E 確認：SE-2層中 覆土：暗褐色土主体で、黒褐色土が混在。

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。覆土のちがいがら見て、建物跡82より新しく、建て替えられたものであろう。

表IV-64 建物跡82・82'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面		床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物...)
			長軸×短軸	長軸×短軸/深さ				
RLSP-1606	82	r-68	25 × 24	13 × 14 / 18	9.30	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 ③En-a+①		
" -1489	"	r-67	44 × (36)	18 × (17) / 58	8.90	①褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) 粘質 ③黒褐 (>En-a) 粘質	1489→1490	
" -959	82-82'	s-68	22 × 20	12 × 12 / 6	9.34	①黒褐		
" -926	"	"	22 × 20	9 × 8 / 21	9.23	①暗褐>黄 ②黒褐 (>En-a) 粘質		
" -1605	82'	r-68	26 × 23	13 × 14 / 24	9.29	①暗褐>黄 (>En-a) ②=①ポロポロ	Rフレイク	
" -1490'	"	r-67	(26) × 23	(16) × 16 / (27)	9.14	①暗褐>黄 (>En-a)	1490'→1490	



図IV-65 建物跡82・82'

建物跡83 (図IV-2・66 表IV-65)

位置：s-66・67 t-66・67 標高9.35m付近、ほぼ平坦地に位置する。

規模：961-973(東西)~3.12m 917'-783(東西)~3.35m 961-917'(南北)~3.66m 973-783(南北)~3.22m

長軸方向：N-7°-E 確認：SE-2層中 覆土：黒色土と黒褐色土が混在。

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、主柱穴4基がほぼ台形状に配列するものである。覆土のちがいがら見て、建物跡83'より古いものと思われる。

建物跡83'(図IV-2・66 表IV-65)

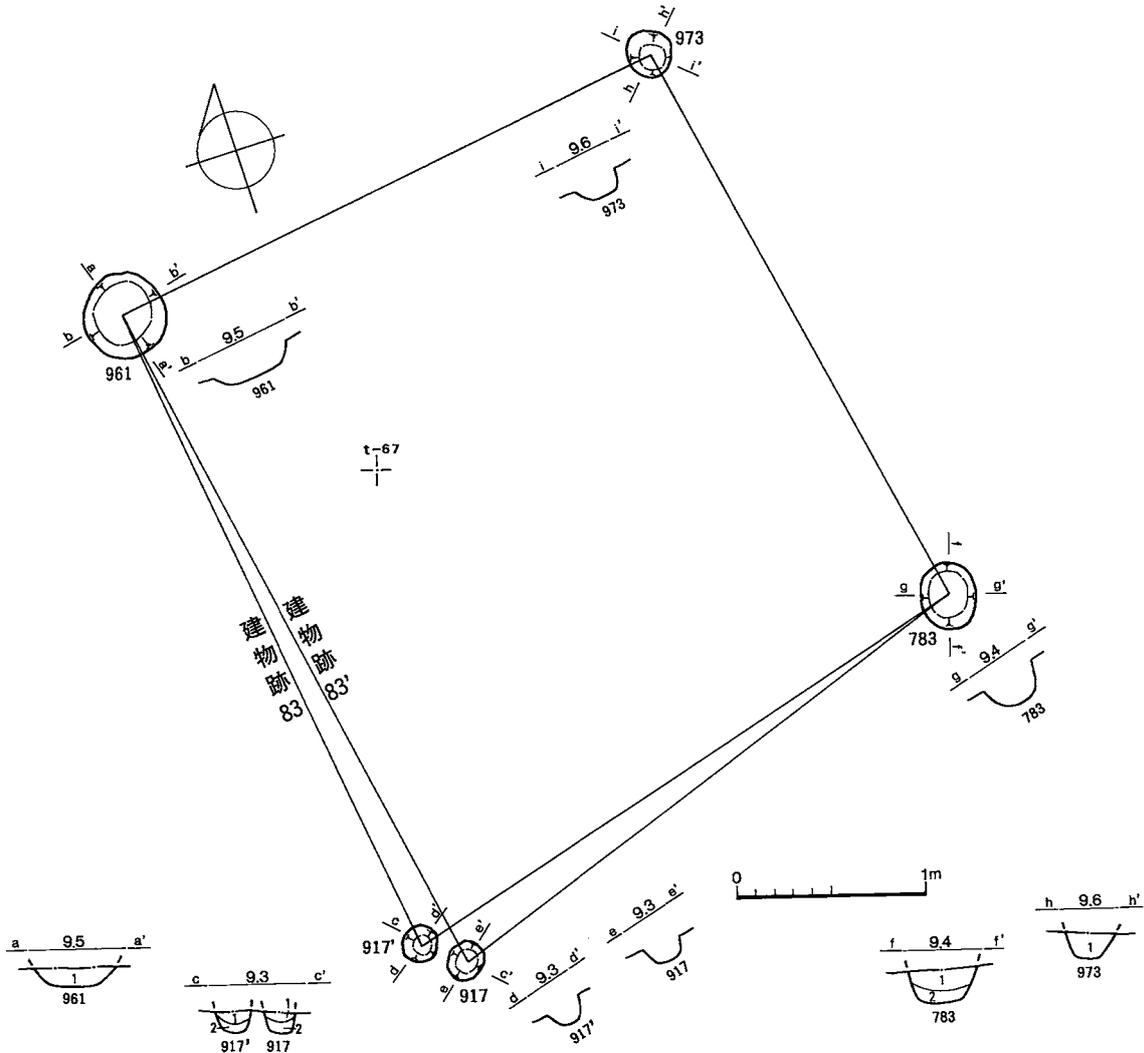
位置：s-66・67 t-66・67 標高9.35m付近、ほぼ平坦地に位置する。

規模：961-973(東西)~3.10m 917-783(東西)~3.20m 961-917(南北)~3.85m 973-783(南北)~3.22m

長軸方向：N-9°-W 確認：SE-2層中 覆土：黒色土と黒褐色土が混在。

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ台形状に配列するものである。覆土のちがいがら見て、建物跡83より新しく、建て替えられたものであろう。



図IV-66 建物跡83・83'

表IV-65 建物跡83・83'の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-973	83・83'	s-67	24 × 23 / 14 × 14 / 14	9.34	①暗褐>黄(+En-a)		
// -961	//	s-66	44 × 42 / 30 × 32 / 10	9.30	①黒(>En-a)		
// -917'	83	t-67	19 × 18 / 11 × 11 / 11	9.06	①黒(>En-a) ②黒褐(>En-a) 共にザラザラ		
// -783	83・83'	//	36 × 30 / 25 × 21 / 17	9.14	①黒 ザラザラ ②黒褐(>En-a) 粘質		
// -917	83'	//	21 × 18 / 14 × 12 / 11	9.04	①黒(>En-a) ②黒褐(>En-a) 共にザラザラ		

建物跡84 (図IV-2・67 表IV-66)

位置：s-64・65 t-64・65 標高9.40m付近、ほぼ平坦地に位置する。

規模：QSP1750-692-1656(東西)~2.20m QSP1750-692-1656(南北)~2.22m

長軸方向：N-63°-E 確認：SE-2層中 覆土：黒褐色土

出土遺物：QSP-1750の覆土中からIVcが3点、フレイク2点が出土している。

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(北東の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われ

る。1656と978の重複関係から見て、建物跡85より古いものである。

建物跡85 (図IV-2・67 表IV-66・198)

位置：s-64・65 t-64・65 標高9.40m付近、ほぼ平坦地に位置する。

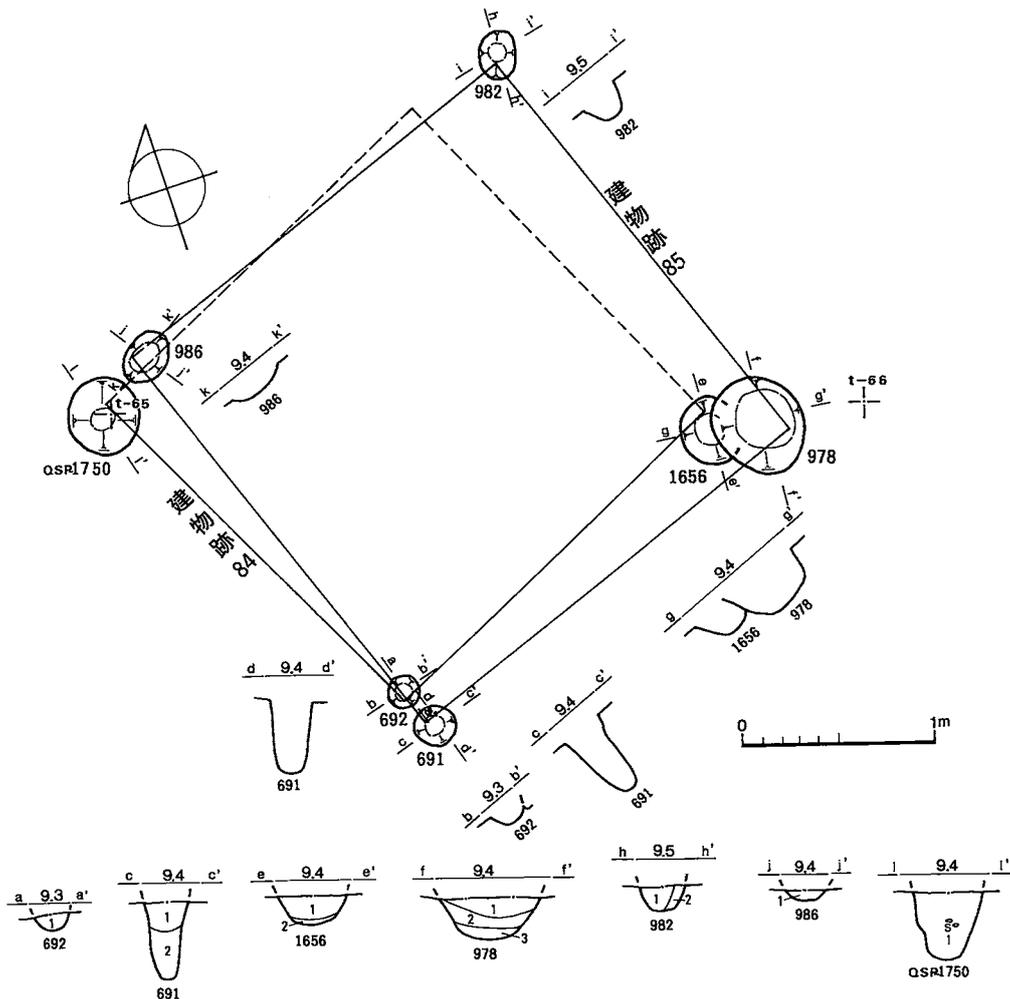
規模：986-982・691-978(東西)~2.48m 986-691・982-978(南北)~2.50m

長軸方向：N-20°-W 確認：SE-2層中 覆土：黒褐色土

出土遺物：978の覆土中からIVcが1点、Rフレイク、フレイク各1点ずつが出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。1656と978の重複関係から見て、建物跡84より新しく、建て替えられたものであろう。



図IV-67 建物跡84・85

表IV-66 建物跡84・85の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物...)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
QSP-1750	84	s-64・65、 t-64・65	40 × 38 / 11 × 12 / 36		8.94	①暗褐	
RLSP-692	〃	t-65	17 × 16 / 10 × 10 / 10		9.16	①黒褐 (>En-a)	
〃 -1656	〃	s-65、t-65	(36) × — / (18) × — / 14		9.16	①黒褐 (>En-a) サラサラ ②暗灰褐 粘質	1656→978
〃 -982	85	s-65	25 × 19 / 9 × 9 / 14		9.21	①黒褐 軟質 ②En-a>①	
〃 -986	〃	〃	29 × 22 / 19 × 14 / 5		9.26	①黒 (>En-a)	
〃 -691	〃	t-65	21 × 21 / 11 × 11 / 39		8.88	①黒褐 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ボロボロ	
〃 -978	〃	s-65、t-65	53 × 47 / 33 × 31 / 22		9.08	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) ③暗茶褐 (>En-a)	978→1656、IVc、R フレイク、フレイク

建物跡86 (図IV-2・68 表IV-67)

位置：s-65・66 t-65・66 標高9.60m付近、ほぼ平坦地に位置する。

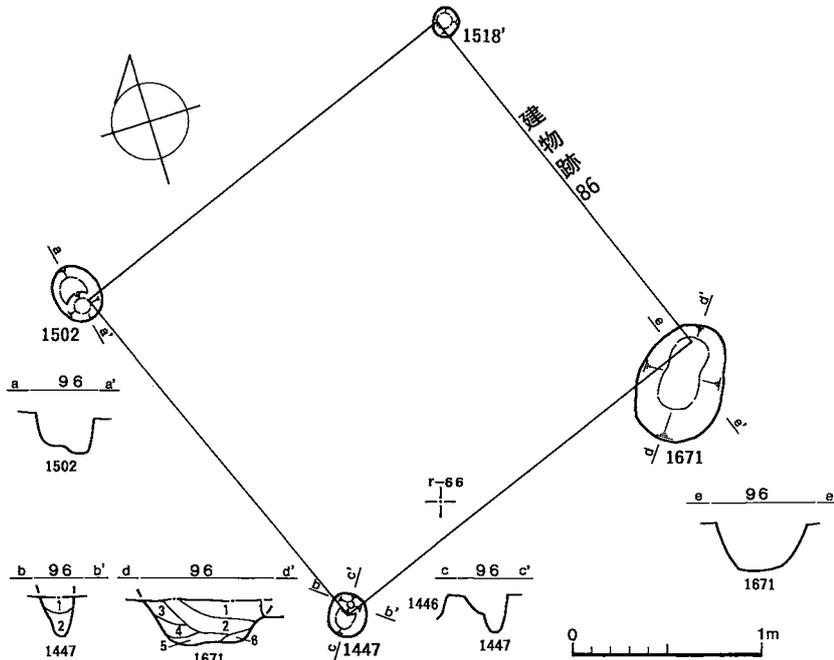
規模：1502-1518'・1447-1671(東西)~2.34m 1502-1447・1518'-1671(南北)~2.16m

長軸方向：N-68°-E 確認：SE-2層中 覆土：黒褐色土主体、暗褐色土混在。

出土遺物：1671の覆土中からIVcが2点、フレイク3点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。1502と1447の壙底には柱跡と思われる浅いくぼみがある。



図IV-68 建物跡86

表IV-67 建物跡86の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(壙底)面 (cm)	壙底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物...)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ	長軸×短軸/長軸×短軸/深さ			
RLSP-1518'	86	q-65・66	16 × 13 / 8 × 7 / —	—	—	—	—
// -1502	//	q-65	30 × 24 / 9 × 10 / 20	—	9.26	—	—
// -1447	//	r-65	22 × 20 / 4 × 4 / 22	—	9.32	①黒褐 ②暗灰褐 粘質	—
// -1671	//	q-66	64 × 45 / 40 × 21 / 24	—	9.24	①暗褐>黄 (>En-a) ② ①>En-a ③黒褐 (>En-a) 粘質 ④黒褐>黄 (>En-a) ⑤黒褐 (>En-a) ⑥黒褐>黄 (>En-a)	IVc、フレイク

建物跡87 (図IV-2・69 表IV-68)

位置：r-67 s-67 標高9.50m付近、平坦地に位置する。

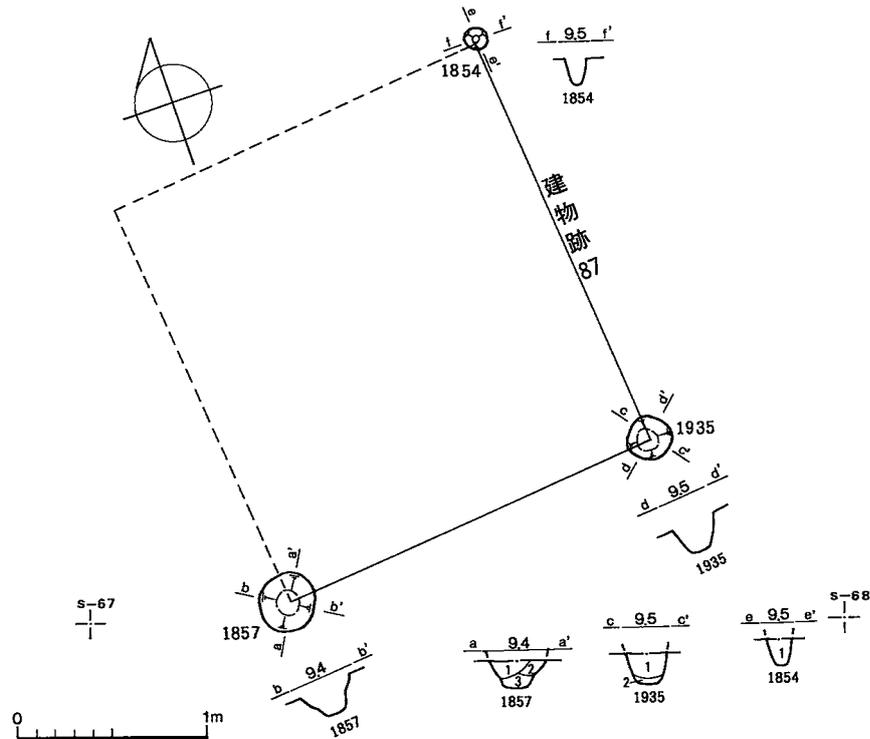
規模：-1854・1857-1935(東西)~2.09m -1857・1854-1935(南北)~2.30m

長軸方向：N-5°-W 確認：VII層土上面付近 覆土：褐色土主体

出土遺物：1935の覆土中からIVcが1点、石斧片1点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(北西の柱穴状ピットは未確認)がやや長方形に配列するものと思われる。



図IV-69 建物跡87

表IV-68 建物跡87の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(填底)面 (cm)	掘底レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1854	87	r-67	12 × - / - / 4 × - / 13	9.27	①暗褐>黄 (>En-a)		
// -1857	//	//	30 × - / 14 × - / 14	9.19	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 ③暗褐>黄 (>En-a)		
// -1935	//	//	23 × - / 13 × - / 16	9.20	①褐>黄 ②明褐 (>En-a)	IVc、石斧	

建物跡88 (図IV-2・70 表IV-69)

位置：w-70・71 x-70・71 標高9.20m付近、ほぼ北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：850-835(東西)~4.00m 840-1699(東西)~4.15m 850-840(南北)~3.54m 835-1699(南北)~3.86m

長軸方向：N-88°-W 確認：VII層上面付近 覆土：暗褐色土

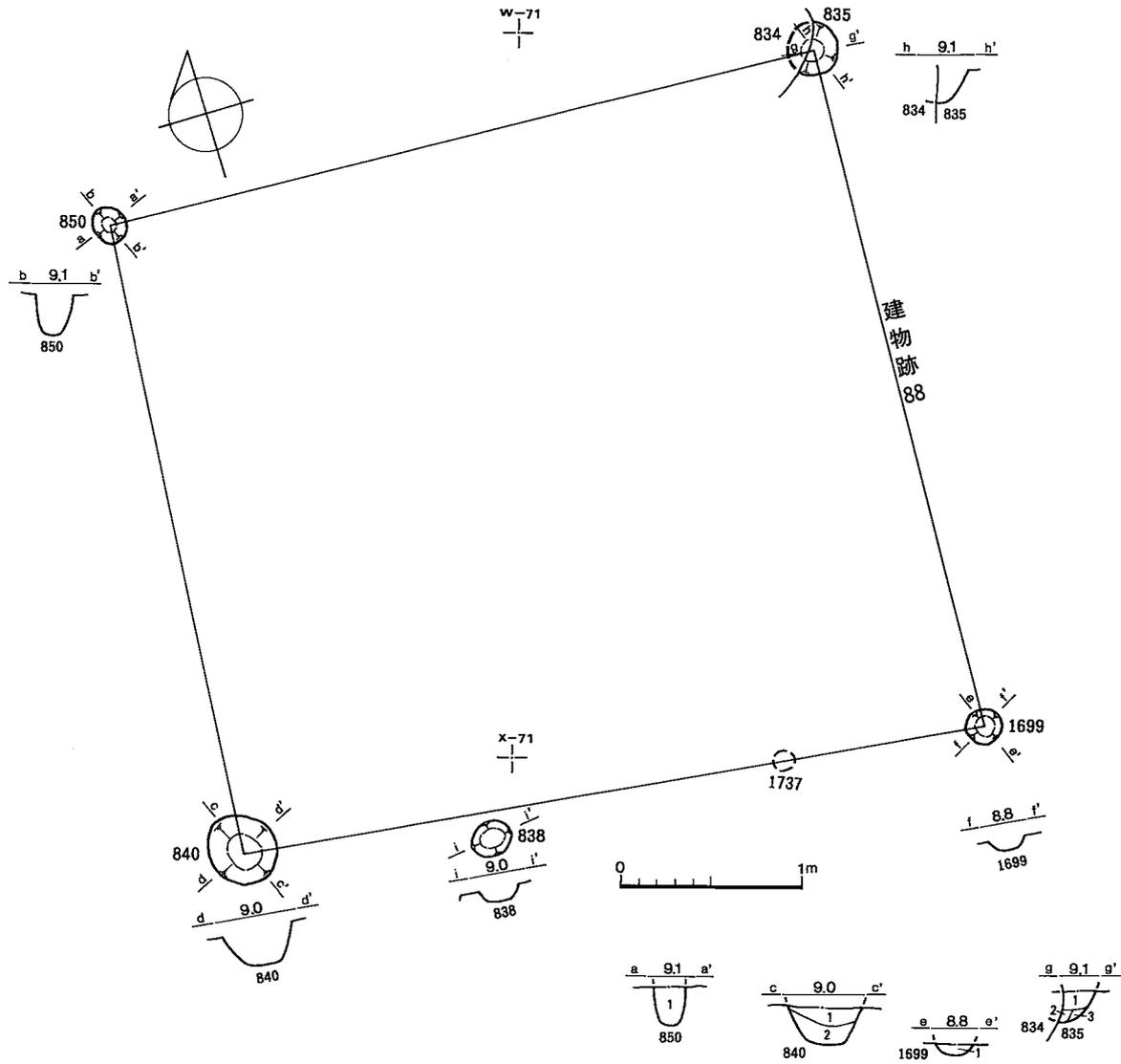
出土遺物：835の覆土中からIVcが4点、石鏃、砥石片が各1点ずつ、フレイク6点、840の覆土中からIVcが2点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、主柱穴4基がやや台形状に配列するものである。838と1737は位置関係から見て、本建物跡に関連するピットと思われる。なお1737は確認面で暗褐色土の輪郭を確認したものである。

表IV-69 建物跡88の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(填底)面 (cm)	掘底レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ	長軸×短軸/深さ			
RLSP-835	88	v-71, w-71	- × 30 / - × 23 / 17	8.83	①暗褐>黄 ②暗褐>黄 (>En-a) ③En-a>②	835-834.IVc、石鏃、砥石、フレイク	
// -850	//	w-70	20 × 18 / 9 × 8 / 22	8.82	①暗褐>黄 (>En-a)		
// -840	//	x-70	40 × 36 / 20 × 18 / 21	8.72	①暗褐 ② ①>黄 (>En-a)	IVc	
// -1699	//	w-71	20 × - / 12 × - / 6	8.65	①暗褐>黄 (>En-a) 軟質		
// -838	//	x-70	23 × 19 / 14 × 10 / 8	8.84	-		
// -1737	//	w-71, x-71	- × - / - × - / -	-	-		



図IV-70 建物跡88

建物跡89 (図IV-2・71 表IV-70)

位置：r-74・75 s-74・75 標高9.50m付近、ほぼ北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：439-1305・1189-1173(東西)~3.45m 439-1189・1305-1173(南北)~3.40m

長軸方向：N-63°-E 確認：VII層上面付近 覆土：暗褐色土主体で、褐色土、黒褐色土が混在。

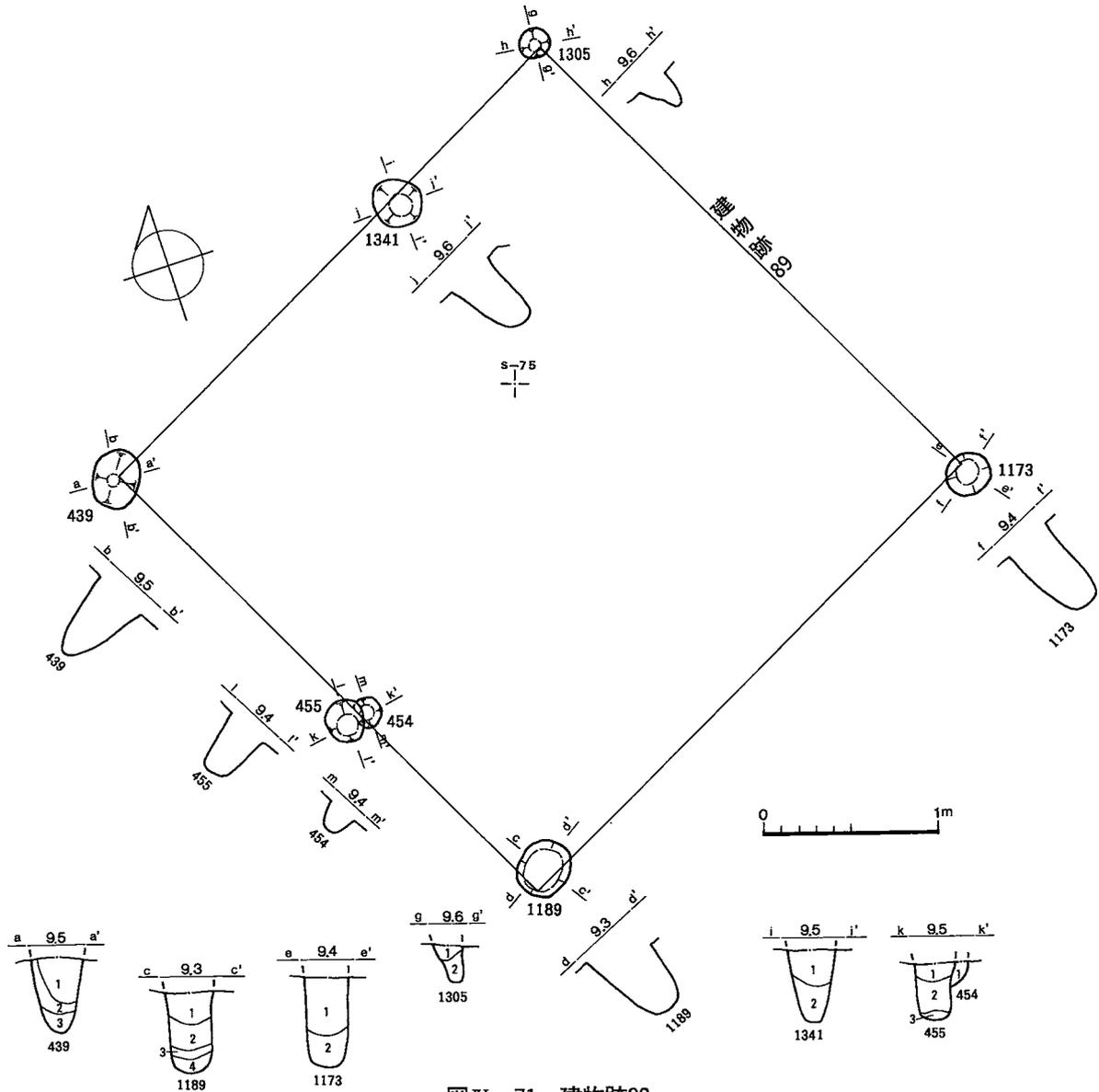
表IV-70 建物跡89の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物...)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1305	89	r-75	17 × 16 / 8 × 7 / 20		9.23	①暗褐 (>En-a) 粘質 ②En-a+①	
" -439	"	s-74	33 × 26 / 8 × 8 / 47		8.93	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ポソポソ ②En-a>① ③褐>黄 (>En-a) 堅い	IVc、IVc-1
" -1189	"	s-74・75	32 × 29 / 25 × 20 / 46		8.73	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) ③En-a ④黒褐 粘質	
" -1173	"	s-75	25 × 25 / 14 × 13 / 52		8.78	①暗褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	
" -1341	"	r-74	30 × 27 / 13 × 14 / 42		9.02	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a)	
" -454	"	s-74	16 × - / 8 × - / 14		9.20	①黒褐>黄 (>En-a)	454→455
" -455	"	"	24 × 21 / 12 × 13 / 32		9.00	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②=① (>En-a) ポソポソ ③ ①+黄 (>En-a) ポロポロ	

出土遺物：439の覆土中からIVc、IVc-1が各1点ずつ、出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。1341、454、455は位置関係から見て、本建物跡に関連するピットと思われる。1303は先端が細く、杭状である。



図IV-71 建物跡89

建物跡90 (図IV-2・72 表IV-71)

位置：q-72・73 r-72・73 s-73 周辺は耕作によりVIII層中まで攪乱されている。平坦地。

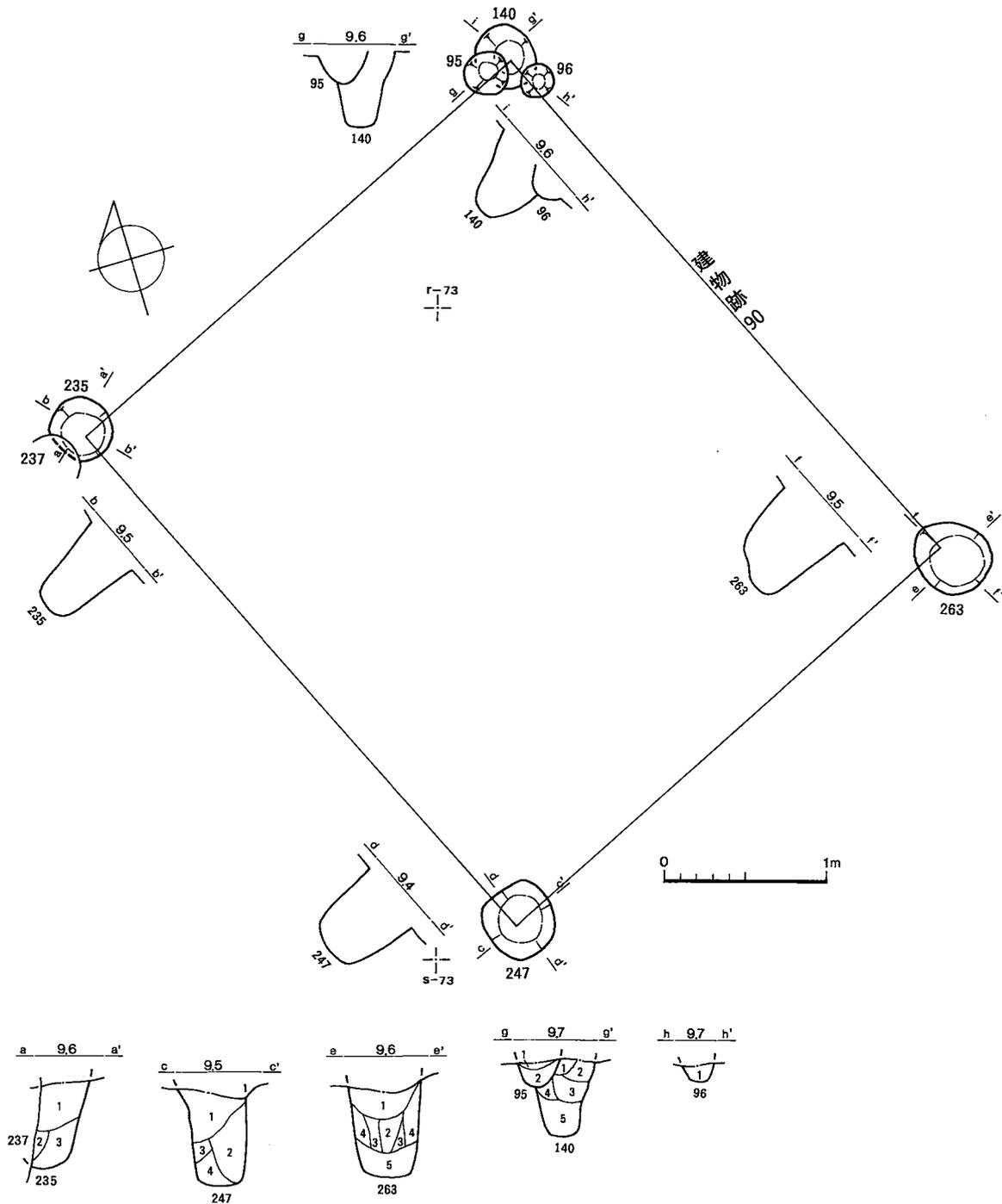
規模：235-140・247-263(東西)~3.50m 235-248・140-263(南北)~4.00m

長軸方向：N-25°-W 確認：VIII層中 覆土：140が褐色土、他は暗褐色土

出土遺物：235の覆土中からIVcが1点、すり石1点、247の覆土中からIVcが2点、IVc-1が1点、263の覆土中からIVcが6点、IVc-1が1点、フレイク1点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長形状に配列するものである。140と95・96は重複しているが、建て替えも考えられる。



図IV-72 建物跡90

表IV-71 建物跡90の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(堀底)面 (cm)	堀底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-140	90	q-73	(40)×(36)/18×20/44		9.10	①褐>黄(>大きなEn-a)②≒①(>小さなEn-a)③≒①(>小さなEn-a)④褐>黄(>En-a)⑤褐>黄(>En-a)	140→95・96
"-235	"	r-72	38×38/25×26/53		8.90	①暗褐>黄(>小さなEn-a)堅い ②黒褐>黄(>En-a)堅い ③暗褐(>En-a)ポロポロ	IVc、すり石、235→237
"-247	"	r-73	44×42/29×27/51		8.80	①暗褐>黄(>En-a)堅い ②明褐(>小さなEn-a)ポロポロ ③≒②ザラザラ ④≒②黒く、ザラザラ	IVc、IVc-1
"-263	"	"	48×44/33×31/60		8.82	①暗褐>黄(>En-a)堅い ②暗褐>黄 ポソポソ ③≒①(>小さなEn-a)軟質 ④≒①黄色土多く、堅い ⑤≒①(>大きなEn-a)堅い	IVc、IVc-1、フレイク

建物跡91 (図IV-2・73 表IV-72)

位置：q-71・72 r-71・72 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。平坦地。

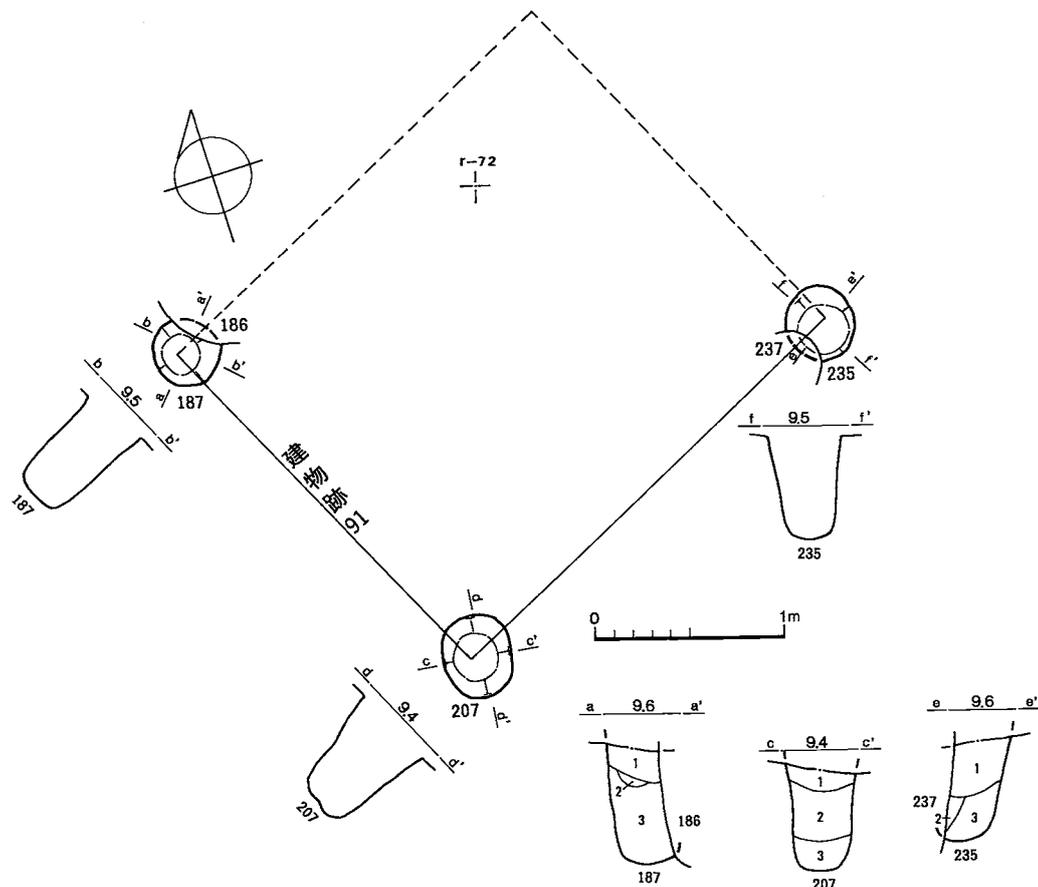
規模：187- 207-235(東西)~2.60m 187-207・ 235(南北)~2.24m

長軸方向：N-64°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：暗褐色土主体

出土遺物：235の覆土中からIVcが1点、すり石1点が出土している。

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(北東の柱穴ピットは未確認)がやや長方形に配列するものと思われる。柱穴状ピットは3基とも深さ53cm~62cmと深い。207の墳底南側には浅いくぼみがある。



図IV-73 建物跡91

表IV-72 建物跡91の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底レベル(m)	覆土(土層註記)	備考(付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-187	91	r-71	35 × (34)	22 × 20 / 62	8.82	①暗褐>黄(>En-a) ②En-a>① ③暗褐 ポソポソ	187→186
"-207	"	r-71・72	45 × 37	26 × 24 / 57	8.75	①暗褐>黄(>En-a) ②暗褐>黄(>En-a) 粘質 ③≒②ポソポソ	
"-235	"	r-72	38 × 38	25 × 26 / 53	8.90	①暗褐>黄(>小さなEn-a) 堅い ②黒褐>黄(>En-a) 堅い、③暗褐(>En-a) ポロポロ	235→237、IVc、すり石

建物跡92 (図IV-2・74 表IV-73)

位置：s-72・73 t-72・73 周辺は耕作によりⅧ層中まで攪乱されている。ほぼ平坦地。

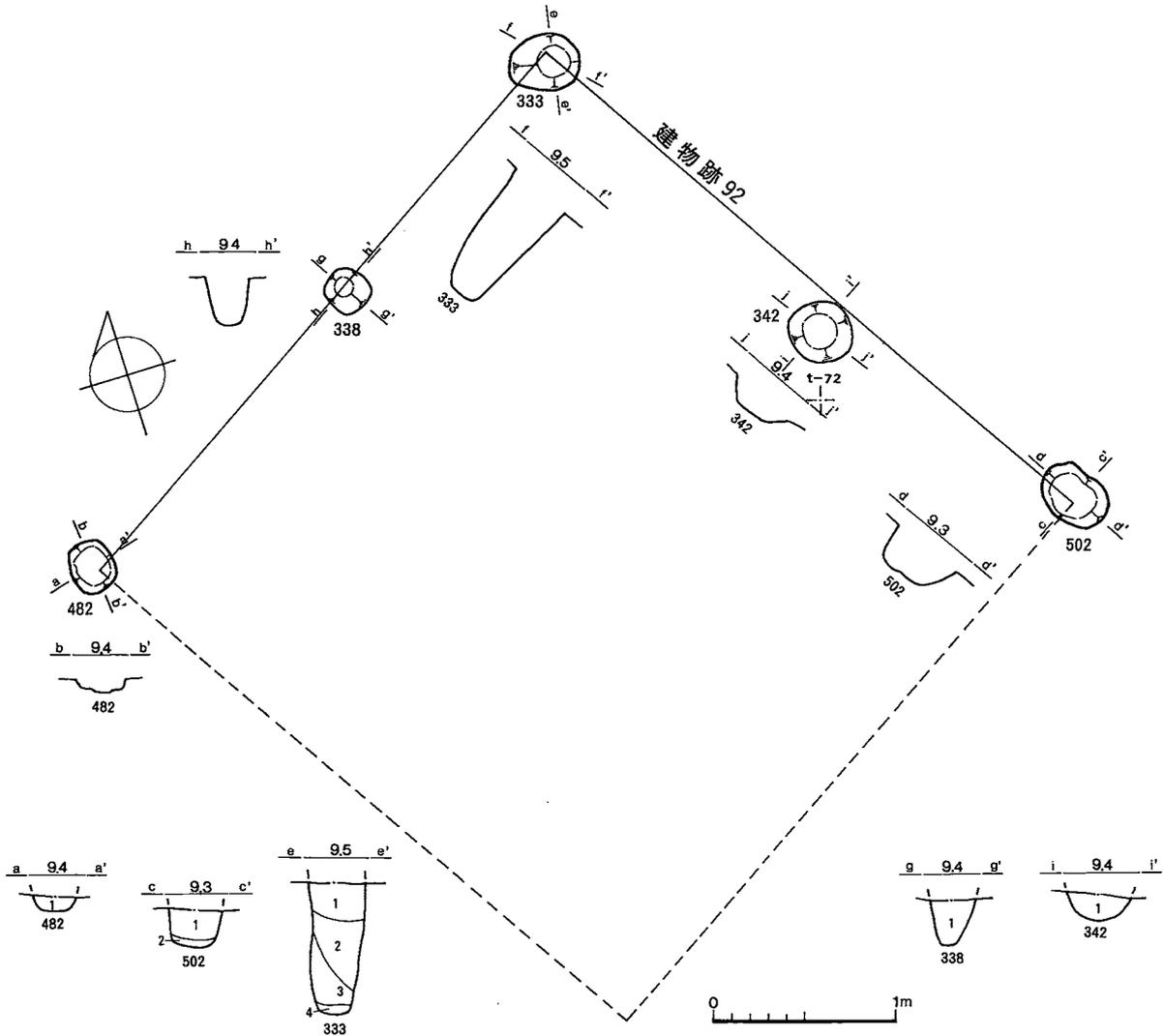
規模：482-333・ -502(南西-北東)~3.72m 482- 338-502(北西-南東)~3.70m

長軸方向：N-58°-E 確認：Ⅷ層中 覆土：482と502は黒褐色土、他は暗褐色土

出土遺物：333の覆土中からIVcが3点、338の覆土中からIVc-1が2点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基（南東の柱穴ピットは未確認）がほぼ正方形に配列すると思われる。333は他に比べ、71cmと深い。338、342は位置関係から見て、本建物跡に関連するピットと思われる。482の墳底中央部と502の墳底北側には径8cm~10cmほどの浅いくぼみがある。柱跡か。



図IV-74 建物跡92

表IV-73 建物跡92の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面		墳底 レベル (m)	覆土(土層記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-333	92	s-71	40 × 30	18 × 17 / 71	8.63	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (>小さなEn-a) ③暗褐>黄 (>En-a) ④黒褐	IVc
// -482	//	t-70・71	26 × 23	21 × 17 / 8	9.20	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -502	//	t-72	39 × 28	26 × 21 / 20	9.00	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 粘質	
// -342	//	s-71・72	37 × 33	19 × 19 / 11	9.15	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -338	//	s-71	24 × 23	10 × 11 / 25	9.00	①暗褐>黄 (>En-a)	IVc-1

建物跡93 (図IV-2・75 表IV-74)

位置：u-65・66 v-65・66 標高8.90m~9.20m、ほぼ北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：656-720(柱穴中心間3.80m)・892- (東西)~3.88m

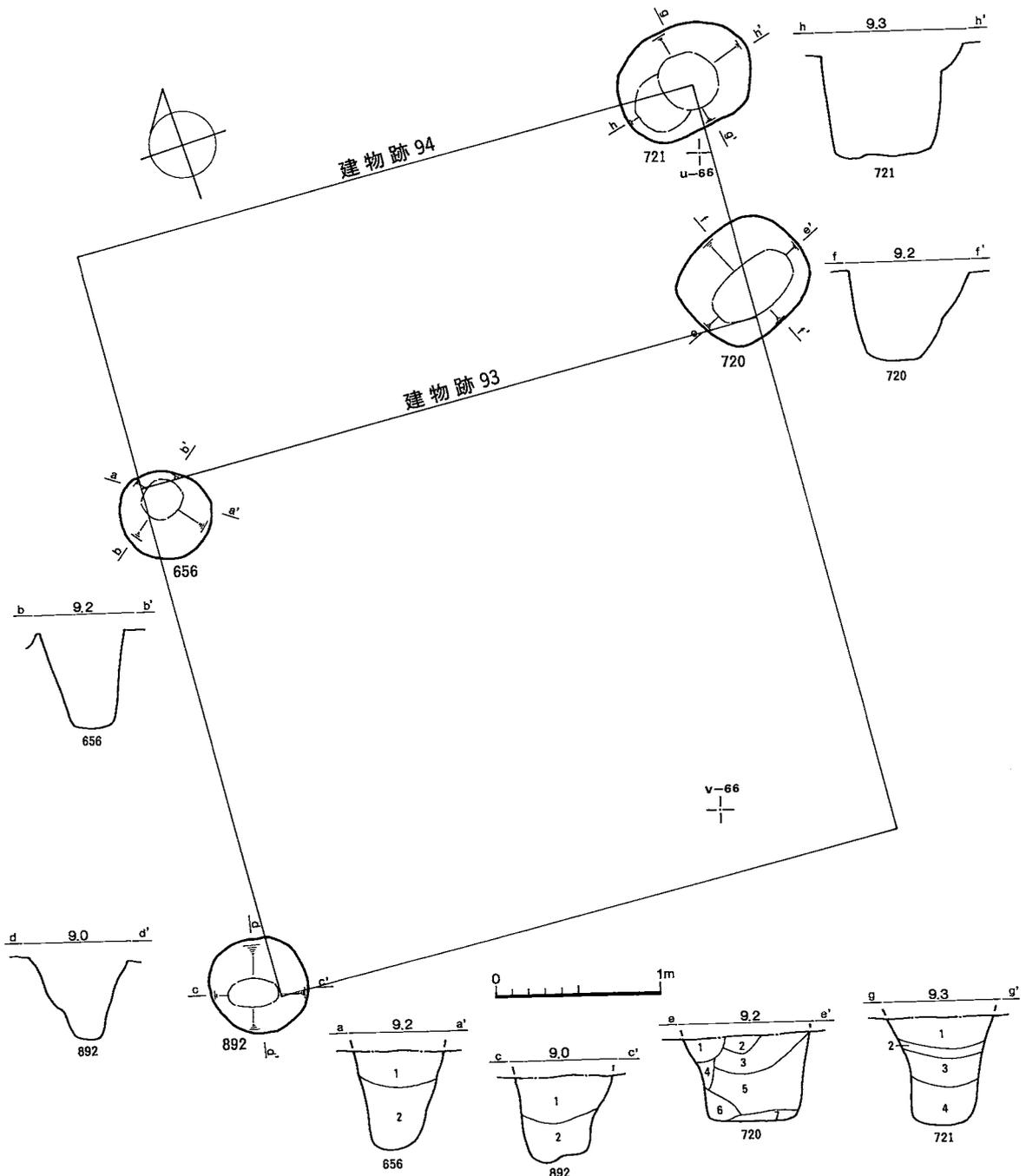
656-892(柱穴中心間3.20m)・720- (南北)~3.20m

長軸方向：W-E 確認：SE-2層中 覆土：暗褐色土主体

出土遺物：656の覆土中からIVcが7点、フレイク1点、720の覆土中からIVcが4点、IVc-1が7点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南東の柱穴状ピットは未確認)が長方形に配列するものと思われる。



図IV-75 建物跡93・94

ただ建物跡94との関係ははっきりしないが、ここでは別々の建物跡として報告しておく。大型柱穴状ピットの建物跡と思われる。

建物跡94 (図IV-2・75 表IV-74)

位置：t-65・66 u-65・66 v-65・66 標高8.90m~9.20m、ほぼ北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：-721・892- (東西)~3.88m -892・721- (南北)~4.68m

長軸方向：N-S 確認：SE-2層中 覆土：暗褐色土

出土遺物：721の覆土中からIVcが14点、IVc-1が1点、石皿片1点などが出土している。892の覆土中からIVcが2点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、大型柱穴状ピット4基が長形状に配列するものと考えられるが、建物跡93との関係もはっきりしない。ここでは柱穴状ピットの位置関係、配列などから考えて別々の建物跡として報告しておく。721と892の墳底西側には径10cm~12cmの浅いくぼみがある。

表IV-74 建物跡93・94の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-720	93	u-65・66	76 × 67	56 × 30 / 54	8.60	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③En-a>② ④暗褐>黄 (>小さなEn-a) ザラザラ ⑤ ②+En-a ⑥En-a ボロボロ ⑦En-a+黒褐 堅い	IVc、IVc-1
// -656	//	u-65	55 × 52	24 × 24 / 60	8.39	①暗褐>黄 (>En-a) ②=①ボロボロ	IVc、フレイク
// -892	93・94	v-65	61 × 60	32 × 17 / 50	8.40	①暗褐>黄 (>En-a) ②=①>黄 ボロボロ	IVc
// -721	94	t-65・66	85 × 64	35 × 35 / 66	8.52	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 砂質 ③=① (>En-a) ④ ①+En-a ボロボロ	IVc、IVc-1、石皿、フレイク、礫

建物跡95 (図IV-2・76 表IV-75)

位置：u-65・66 v-65・66 標高8.90m~9.10m、ほぼ北→南へ傾斜する斜面の肩口に位置する。

規模：658-791・631- (東西)~3.36m 658-631・791- (南北)~2.88m

長軸方向：N-87°-E 確認：SE-2層中 覆土：暗褐色土と黒褐色土が混在。

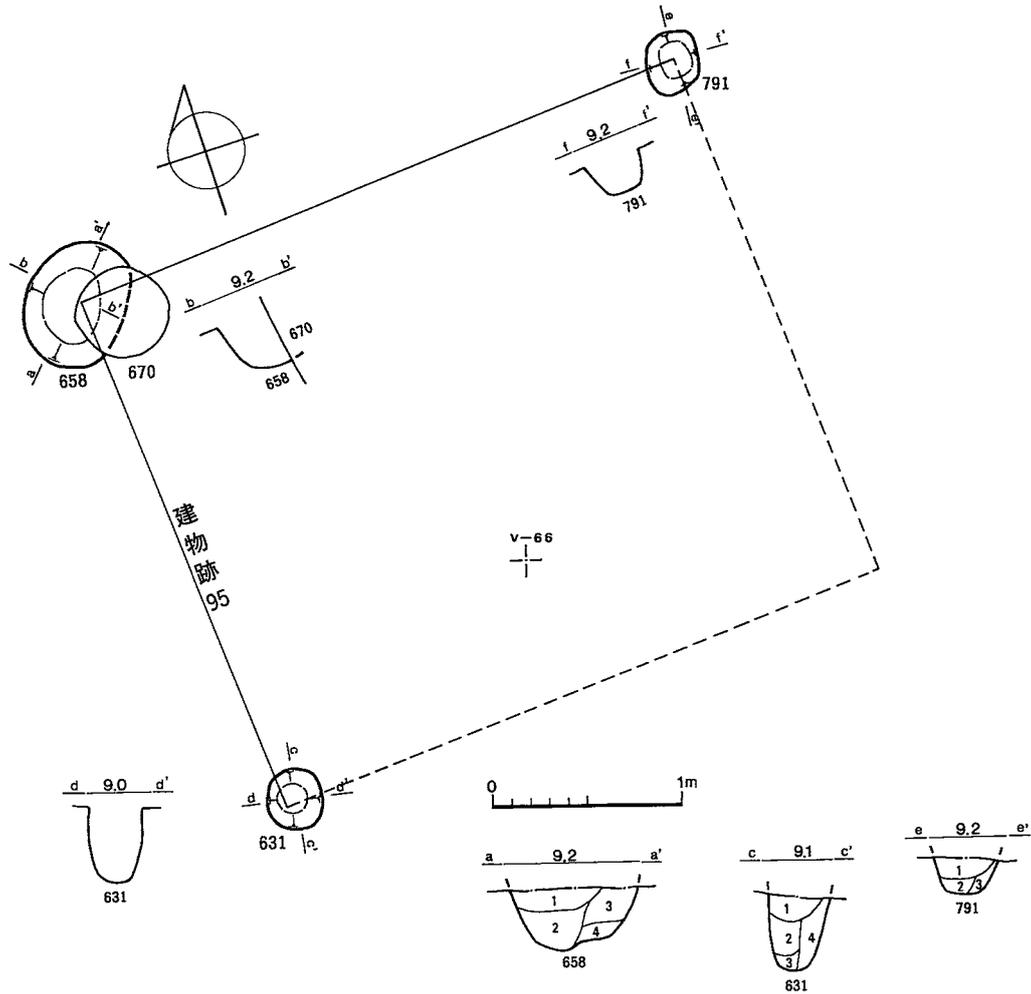
出土遺物：631の覆土中からIVcが4点、フレイク2点が出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(南東の柱穴ピットは未確認)が長形状に配列するものと思われる。658と670は重複し、670は建物跡61の支柱穴であることから、本建物跡は建物跡61より古いものである。

表IV-75 建物跡95の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底レベル (m)	覆土 (土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-791	95	u-66	31 × 28	18 × 16 / 19	8.90	①黒褐 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③黒褐>黄 (>En-a)	
// -658	//	//	68 × (55)	39 × (30) / 32	8.64	①黒褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ボロボロ ③黒 (>En-a) ④黒褐>黄 (>En-a)	658-670
// -631	//	v-65	32 × 28	26 × 16 / 41	8.52	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) ③ ②>黄 (>En-a) ④=② (En-a多い)	IVc、フレイク



図IV-76 建物跡95

建物跡96 (図IV-2・77 表IV-76)

位置：r-66 s-66・67 標高9.45m付近、平坦地に位置する。

規模：1334-1485・970-976(東西)~3.70m 1334-970・1485-976(南北)~3.29m

長軸方向：N-76°-E 確認：SE-2層中 覆土：褐色し、暗褐色土、黒褐色土、黒色土が混在。

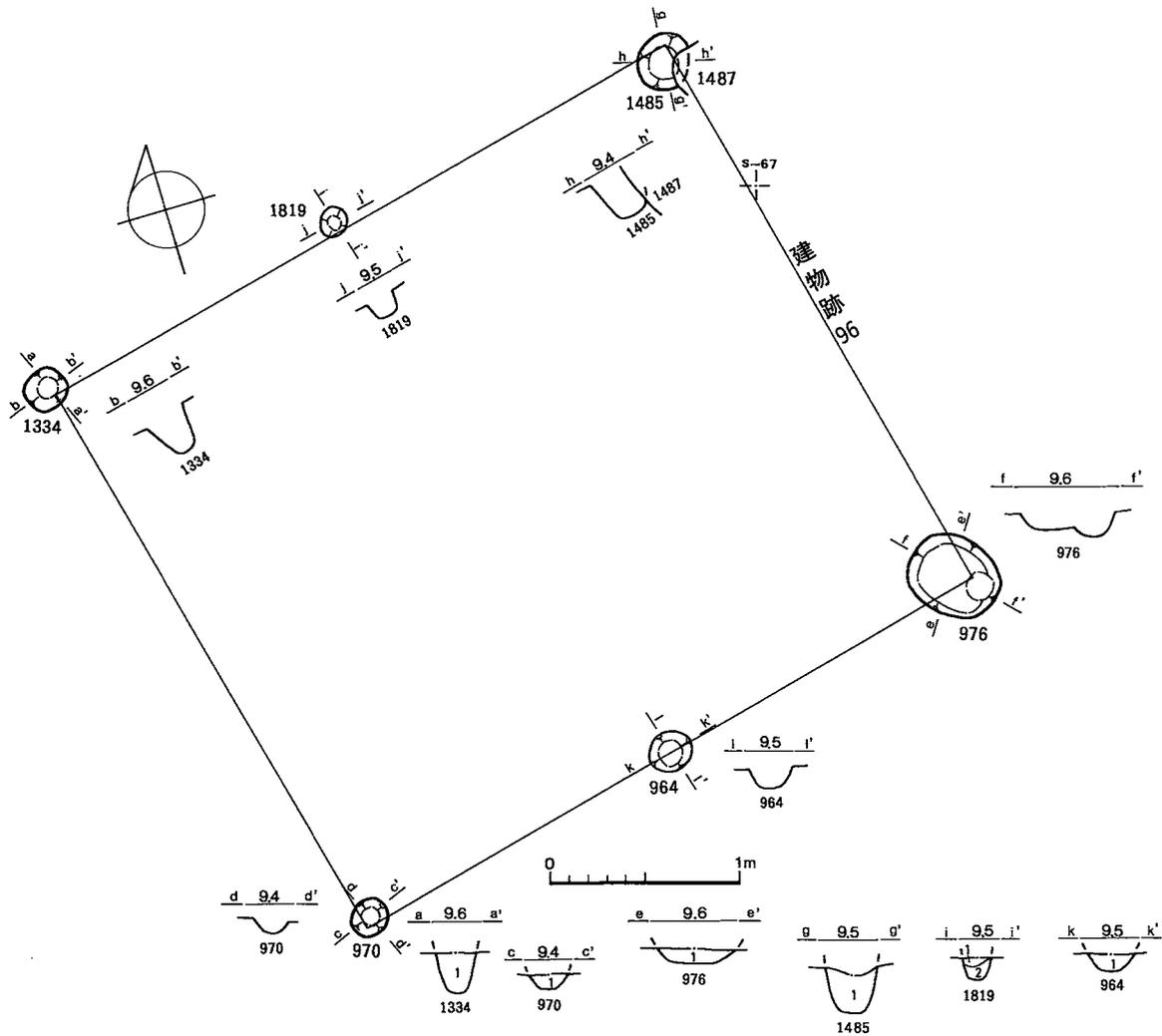
出土遺物：1485の覆土中からIVc-1が1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長形状に配列するものである。1819と964は支柱穴間の中央部にあることから支柱穴かとも考えられる。976の墳底南側には径約10cm、深さ約5cmのくぼみがある。1485と1487は重複している。1487は建物跡76の柱穴状ピットであることから見て、本建物跡は建物跡76より古いものである。

表IV-76 建物跡96の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1485	96	r-66	30 × (26)	17 × (16) / 24	9.10	①黒褐 (>En-a) 粘質	1485→1487、IVc-1
// -1334	//	s-66	22 × 20	12 × 12 / 21	9.21	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -970	//	//	21 × 18	10 × 9 / 9	9.23	①黒褐	
// -976	//	s-67	49 × 40	14 × 15 / 13	9.32	①褐>黄 (>En-a)	
// -1819	//	s-66	15 × 14	8 × 7 / 11	9.29	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -964	//	//	25 × 21	14 × 13 / 10	9.30	①黒 (>En-a) ザラザラ	



図IV-77 建物跡96

建物跡97 (図IV-2・78 表IV-77・195)

位置：r-65 s-65・66 標高9.45m付近、平坦地に位置する。

規模：991-1460・985-1403(東西)~2.38m 991-985・1460-1403(南北)~2.50m

長軸方向：N-12°-W 確認：SE-2層中 覆土：暗褐色土と黒褐色土が混在。

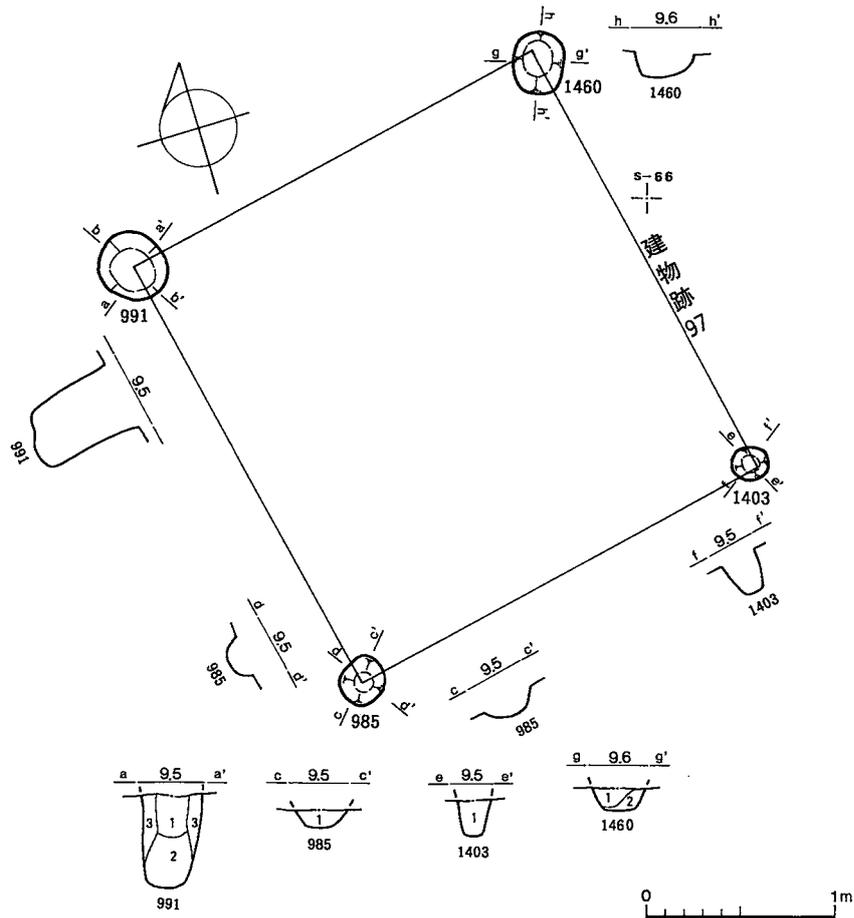
出土遺物：991の覆土中からIVb-4が1点出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

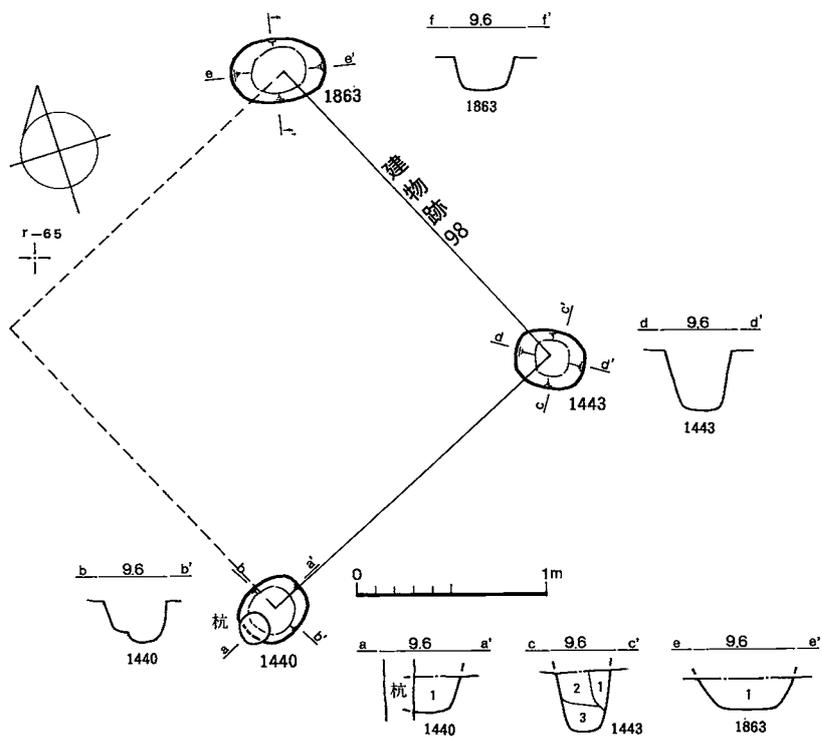
本建物跡は、支柱穴4基がほぼ正方形に配列するものである。991は他に比べ55cmと深く、墳底南側には径約12cmほどの浅いくぼみがある。柱跡であろうか。

表IV-77 建物跡97の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1460	97	r-65	32 × 26 / 20 × 16 / 13		9.34	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒① (>En-a) 黒い	
// -991	//	s-65	37 × 33 / 25 × 22 / 55		8.90	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 粘質 ③ ①>En-a	IVb-4
// -985	//	//	26 × 23 / 11 × 11 / 10		9.25	①黒褐 (>En-a)	
// -1403	//	s-66	18 × 18 / 9 × 10 / 20		9.22	①黒褐 (>En-a) 粘質	



図IV-78 建物跡97



図IV-79 建物跡98

建物跡98 (図IV-2・79 表IV-78・198)

位置：q-65 r-65 標高9.55m付近、平坦地に位置する。

規模：-1863・1440-1443(南西-北東)~1.98m -1440・1863-1443(北西-南東)~2.06m

長軸方向：N-25°-W 確認：SE-2層中 覆土：1440は黒褐色土で、他は暗褐色土

出土遺物：1443の覆土中から石鏃、スクレイパー、石斧が各1点ずつ出土している。

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基(北西の柱穴状ピットは未確認)がほぼ正方形に配列するものと思われる。

表IV-78 建物跡98の柱穴状ピット一覧

柱穴状ピット番号	建物跡番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	掘底レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1863	98	q-65	50 × 34 / 30 × 24 / 16		9.28	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1440	//	r-65	(38) × 32 / (26) × 24 / 22		9.24	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1443	//	//	36 × 29 / 19 × 19 / 32		9.17	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	石鏃、スクレイパー、石斧

建物跡99 (図IV-2・80 表IV-79)

位置：p-65・66 q-65・66 標高9.60m付近、平坦地に位置する。

規模：QSP3229-QSP3234・1507-QSP3236(東西)~2.10m

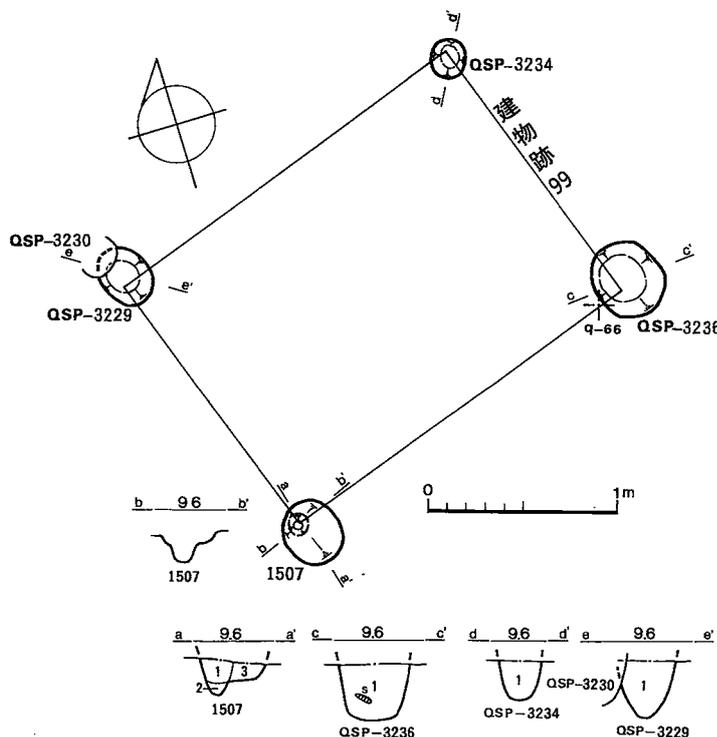
QSP3229-1507・QSP3234-QSP3236(南北)~1.58m

長軸方向：N-71°-E 確認：1507はSE-2層中、他のVIII層中 覆土：褐色土、暗褐色土、黒褐色土が混在

出土遺物：1507の覆土中からIVcが1点、フレイク1点、QSP-3229の覆土中からIVcが3点、礫が1点、QSP-3236の覆土中からIVcが3点、たたき石、フレイクが各1点ずつ出土している。

時期：覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

本建物跡は、支柱穴4基が長形状に配列するものと思われる。



図IV-80 建物跡99

表Ⅳ-79 建物跡99の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	建物跡 番号	位置	確認面 床(坑底)面 (cm)		坑底 レベル (m)	覆土(土層註記)	備考 (付設、出土遺物…)
			長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
QSP-3234	99	P-65	20 × 18	12 × 10 / 22	9.28	①褐灰	
〃 -3229	〃	〃	(33) × 25	(20) × 16 / 30	9.20	①黒褐	3229→3230
RLSP-1507	〃	q-65	35 × 30	5 × 5 / 18	9.32	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 粘質 ③暗褐 (>En-a)	IVc、フレイク
QSP-3236	〃	P-66, q-66	42 × 35	25 × 24 / 30	9.18	①黒褐	

3. 柱穴状ピット(RLP、RLSP) (図IV-81~162 表IV-80~185・192~198・212・214~216・226~230・235・236 図版14~49)

柱穴状ピットは1930基検出された。このうち土壌(RLP)として調査したものは34基である。また建物跡の柱穴状ピットは456基(RLPは25基)である。ここでは建物跡の柱穴状ピットを除く1474基(RLPは9基)について発掘区ごとに平面形、断面、エレベーションを掲載している。

確認・調査 柱穴状ピットは調査区の西~北側の台地上と緩斜面上方部に分布している。台地上のII・III層上位付近までは耕作により攪乱され、とくに69~75ライン、q~vラインをほぼ逆三角形に結ぶ範囲はVIII層中まで攪乱されていた。このため深く攪乱されているところはVIII層中で検出され、西側の台地上ではSE-2層上面~2層中、緩斜面上方部ではVI層上面付近、調査区北側ではVII層上面付近で、それぞれ検出した。平面確認後、半截し、調査を行う。

位置・分布 柱穴状ピットは調査区の西~北側、標高9m~10mの台地上とそれに続く緩斜面上方部に分布するが、とくに集中域を有するという傾向は認められない。VIII層中まで攪乱されているところは浅い柱穴状ピットが削平されている可能性が強い。ただ一部分ではあるがu-69とq-72付近を結ぶ中約3mほどは、柱穴状ピットや建物跡が希薄になっている。

台地の南~東に形成されている盛土遺構周辺では、柱穴状ピットと一部重なる部分が見られる。RMD(盛土D)、RMY(盛土Y)とはごく狭い範囲で一部重なり、RMZ(盛土Z)とはやや広い範囲で重なっている。RMW(盛土W)とは重なり合っていない。

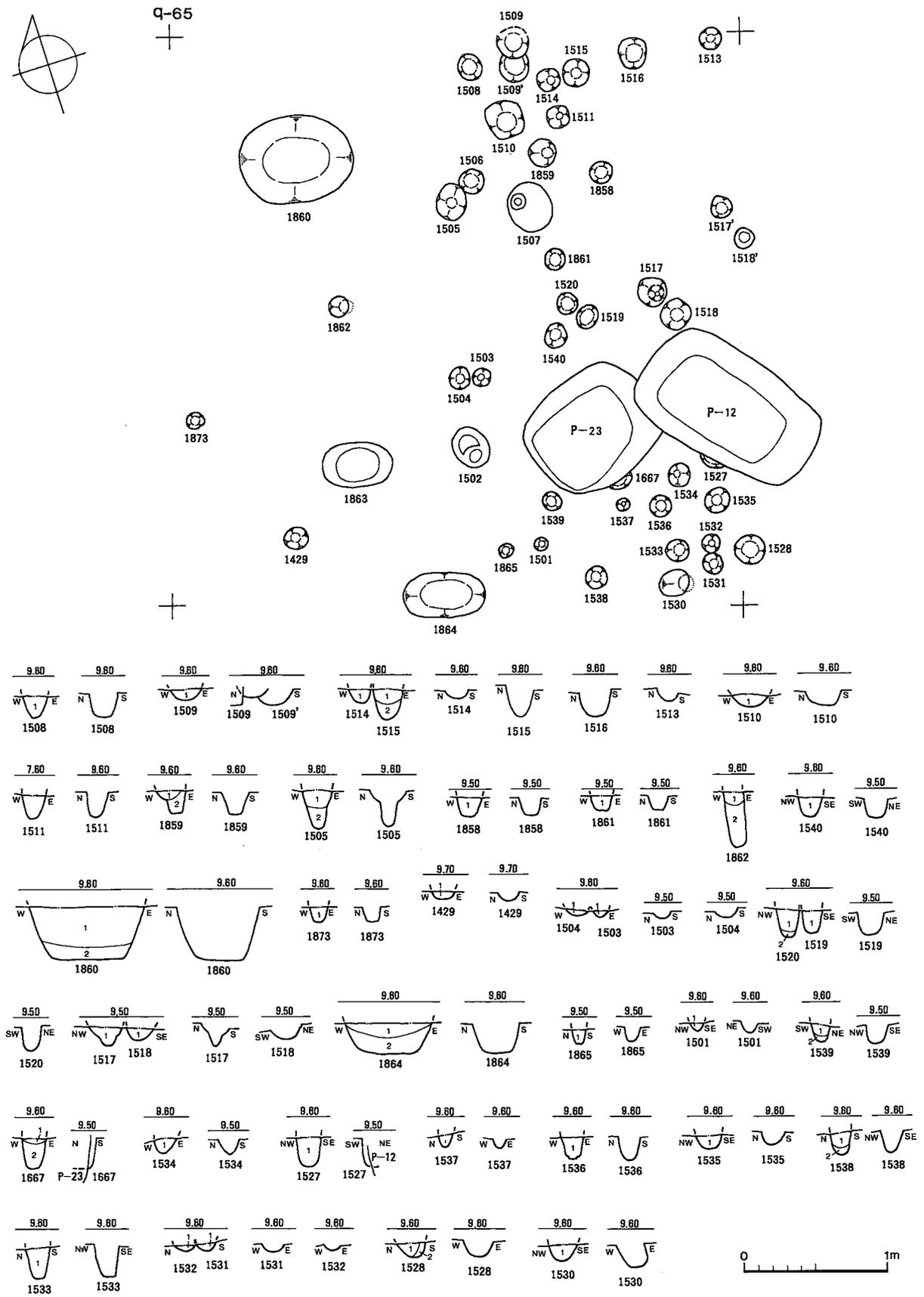
規模・覆土 柱穴状ピットは大半が径15cm~30cmである。この中でもとくに径20cm前後のものが多く、径10cm以下のものや径50cm以上のものもある。大型の柱穴状ピットは径50cm~1mで、舌状に張り出し部分を有するものもある。また断面形では、浅い皿状や碗状、長方形、細長い杭状のものもあり、壙底の一部に柱の痕跡を思わせる浅いくぼみが認められるものもある。

覆土は褐色土、暗褐色土、黒褐色土、黒色土などに黄色土や軽石(En-a)が混入する土である。暗褐色土中(壙底付近)に黒褐色土が混入するものもある。灰褐色土、暗黄褐色土、暗黄色土の覆土もある。なお黒褐色土に軽石まじりはSE-1層、暗褐色土に軽石まじりはSE-2層に相当するものと思われる。

遺物・時期 覆土中からはあまり多くはないが土器や石器などが出土している。土器はほとんどがIVcやIVc-1のもので、石器では石鏃、Rフレイク、石斧、砥石片なども出土しているが、大半がフレイクである。

覆土や出土遺物、また検出面などから見て、柱穴状ピットが構築された時期はIV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉であろうと思われる。

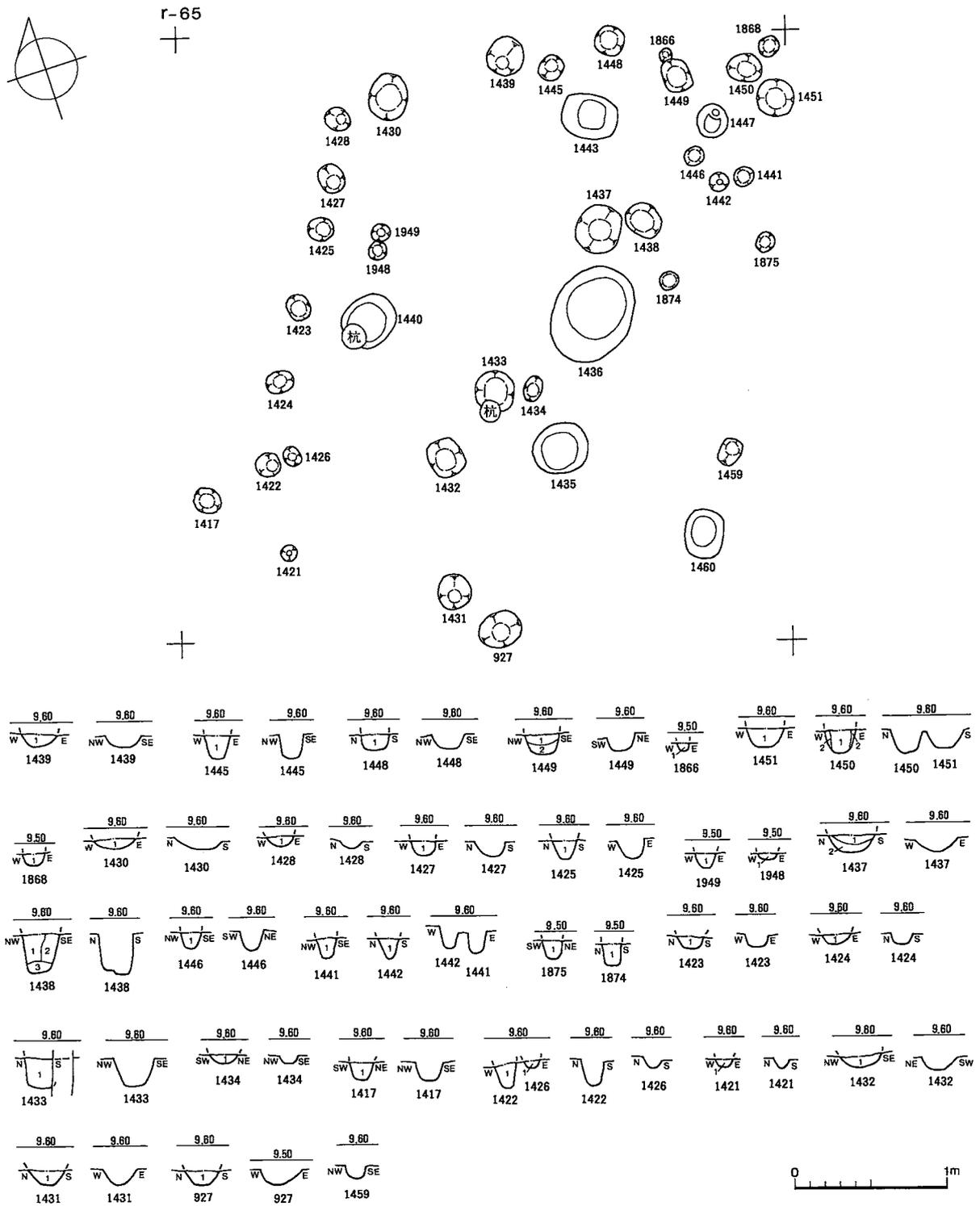
なお柱穴状ピットには、径、深さとも10cmほどの浅く、小さな杭状のピットが半円状に並ぶものが何ヵ所か見られる。おそらく建物跡に関連するものであろうと考えられるが、支柱穴や焼土などとの関係がはっきりしないため、ここでは個々の柱穴状ピットとして取り扱っている。



図IV-81 Q-65の柱穴状ピット

表IV-80 q-65の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(填底)面 (cm)	填底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1508	q-65	19 × 17 / 11 × 10 / 15		9.30	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1509	P-65、q-65	(22) × 22 / (13) × 12 / 8		9.44	①褐>黄 (>En-a)	
// -1509'	q-65	(23) × 21 / (23) × 15 / 12		9.38		
// -1514	//	16 × 16 / 6 × 6 / 10		9.43	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1515	//	20 × 20 / 8 × 8 / 21		9.30	①褐>黄 (>En-a) ②暗褐 (>En-a) 粘質土	フレイク
// -1516	//	21 × 19 / 12 × 12 / 17		9.31		
// -1513	P-65、q-65	15 × 15 / 6 × 6 / 8		9.42		
// -1860	q-65	80 × 60 / 50 × 30 / 37		9.10	①暗褐 (>En-a) ② ①+En-a	
// -1510	//	26 × 26 / 14 × 13 / 9		9.38	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1511	//	16 × 15 / 5 × 5 / 16		9.30	①暗褐 (>En-a)	
// -1505	//	25 × 22 / 7 × 8 / 27		9.24	①暗褐>黄 ②黒褐 (>En-a) 粘質	1505←1506
// -1506	//	18 × 17 / 9 × 10 / —		—		1505←1506 フレイク
// -1859	//	20 × — / 18 × — / 16		9.32	①褐>黄 ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -1858	//	16 × — / 10 × — / 12		9.31	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1861	//	15 × — / 10 × — / 10		9.35	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1517'	//	15 × 15 / 8 × 8 / —		—		
// -1518	//	22 × 20 / 9 × 9 / 7		9.32	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1517	//	21 × 20 / 4 × 4 / 14		9.30	①褐>黄 (>En-a)	
// -1519	//	18 × 13 / 11 × 9 / 17		9.27	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -1520	//	15 × 14 / 10 × 9 / 20		9.27	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a)	
// -1540	//	17 × 16 / 8 × 8 / 13		9.30	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1503	//	13 × 13 / 5 × 5 / 5		9.38	①暗褐 (>En-a)	
// -1504	//	16 × 15 / 7 × 6 / 6		9.40	①黒褐>黄	
// -1862	//	13 × — / 10 × — / 40		9.09	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐 (>En-a) 粘質	
// -1873	//	12 × — / 8 × — / 10		9.37	①暗褐、軟質	
// -1429	//	17 × 16 / 6 × 6 / 6		9.51	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1864	q-65、r-65	60 × 30 / 40 × 22 / 20		9.24	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1865	q-65	10 × — / 5 × — / 10		9.32	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1539	//	16 × 12 / 8 × 7 / 12		9.31	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗灰褐 (>En-a) 粘質	
// -1501	//	9 × 9 / 5 × 4 / 6		9.39	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1538	//	15 × 15 / 8 × 7 / 16		9.34	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗灰褐 (>En-a) 粘質	
// -1537	//	9 × 9 / 3 × 3 / 8		9.37	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1667	//	— × (19) / — × (10) / (22)		9.23	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐 (>En-a) ボロボロ	
// -1534	//	17 × 15 / 5 × 5 / 10		9.33	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -1527	//	— × — / — × — / (22)		9.23	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -1535	//	19 × 17 / 8 × 8 / 10		9.40	①暗褐>黄 (>En-a)	Rフレイク、フレイク
// -1536	//	15 × 15 / 8 × 7 / 16		9.30	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1533	//	18 × 15 / 9 × 9 / 23		9.26	①黒褐>黄 (>En-a)	フレイク
// -1532	//	12 × 12 / 5 × 5 / 4		9.44	①褐>黄 (>En-a)	
// -1528	q-65・66	22 × 20 / 13 × 12 / 10		9.41	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -1531	q-65	14 × 13 / 7 × 7 / 6		9.44	①褐>黄 (>En-a)	
// -1530	//	22 × 18 / 12 × 11 / 17		9.33	①暗褐>黄 (>En-a)	



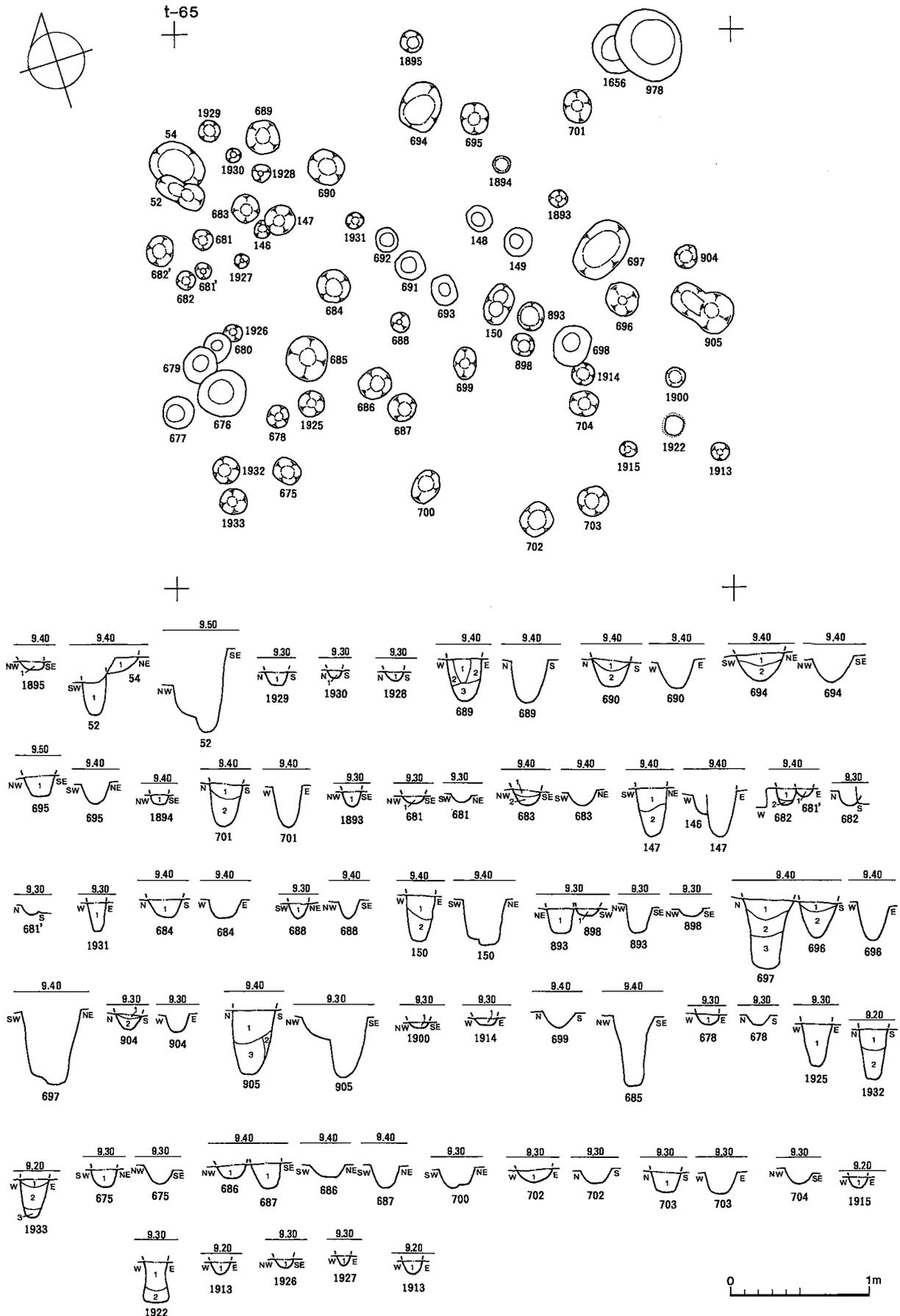
図IV-82 r-65の柱穴状ピット

表IV-81 r-65の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(坑底)面 (cm)		坑底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1868	r-65	14 × — / 10 × — / 8		9.34	①黒褐 (>En-a) ボソボソ	
// -1866	//	7 × — / 4 × — / 5		9.38	①暗褐>黄	1866→1449
// -1448	q-65、r-65	20 × 19 / 13 × 12 / 11		9.41	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1445	r-65	17 × 16 / 8 × 8 / 16		9.34	①暗褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -1439	//	25 × 24 / 8 × 9 / 9		9.42	①暗褐>黄 (>En-a) ボロボロ	
// -1449	//	22 × 19 / 13 × 12 / 13		9.38	①暗褐>黄 ②暗褐>黄 (>En-a)	1449←1866
// -1450	//	23 × 19 / 13 × 10 / 15		9.36	①暗灰褐 (>En-a) 粘質 ②En-a>①	
// -1451	r-65・66	24 × 24 / 14 × 13 / 12		9.39	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1446	r-65	13 × 12 / 8 × 8 / 10		9.38	①褐>黄 (>En-a)	
// -1442	//	12 × 12 / 4 × 4 / 14		9.39	①暗褐 粘質	
// -1441	//	13 × 13 / 9 × 8 / 13		9.36	①褐>黄 (>En-a)	
// -1875	//	12 × — / 7 × — / 12		9.32	①明褐 (>En-a)	
// -1874	//	11 × — / 9 × — / 14		9.27	①褐>黄 (>En-a)	
// -1438	//	24 × 20 / 16 × 14 / 25		9.23	①褐>黄 ②=① (>En-a) ③暗灰褐 (>En-a) 粘質	フレイク
// -1437	//	32 × 29 / 18 × 15 / 12		9.41	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1430	//	30 × 26 / 18 × 17 / 6		9.44	①暗褐 (>En-a)	
// -1428	//	18 × 16 / 7 × 7 / 7		9.45	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1427	//	19 × 15 / 9 × 9 / 9		9.40	//	
// -1425	//	17 × 15 / 9 × 9 / 12		9.38	//	
// -1949	//	12 × — / 5 × — / 10		9.31	//	
// -1948	//	12 × — / 8 × — / 4		9.37	①黒褐 軟質	
// -1423	//	16 × 15 / 10 × 10 / 8		9.39	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1424	//	18 × 14 / 9 × 8 / 6		9.40	①暗褐>黄	
// -1433	//	(25) × 25 / (18) × 15 / 20		9.29	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1434	//	17 × 12 / 9 × 8 / 6		9.43	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1459	//	18 × 14 / 9 × 9 / 8		9.38	—	
// -927	r-65、s-65	29 × 23 / 12 × 12 / 10		9.34	①黒褐 (>En-a)	
// -1431	r-65	23 × 22 / 9 × 9 / 9		9.34	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1432	//	26 × 23 / 15 × 14 / 8		9.38	①黒褐 (>En-a) 砂質	
// -1426	//	13 × 11 / 6 × 6 / 5		9.40	①暗褐>黄	
// -1422	//	16 × 16 / 8 × 8 / 16		9.28	①黒褐 (>En-a)	
// -1417	//	18 × 17 / 10 × 9 / 12		9.32	①暗灰褐 (>En-a) 粘質	
// -1421	//	11 × 10 / 3 × 3 / 5		9.38	①褐>黄 (>En-a)	

表IV-82 s-65の柱穴状ピット一覧

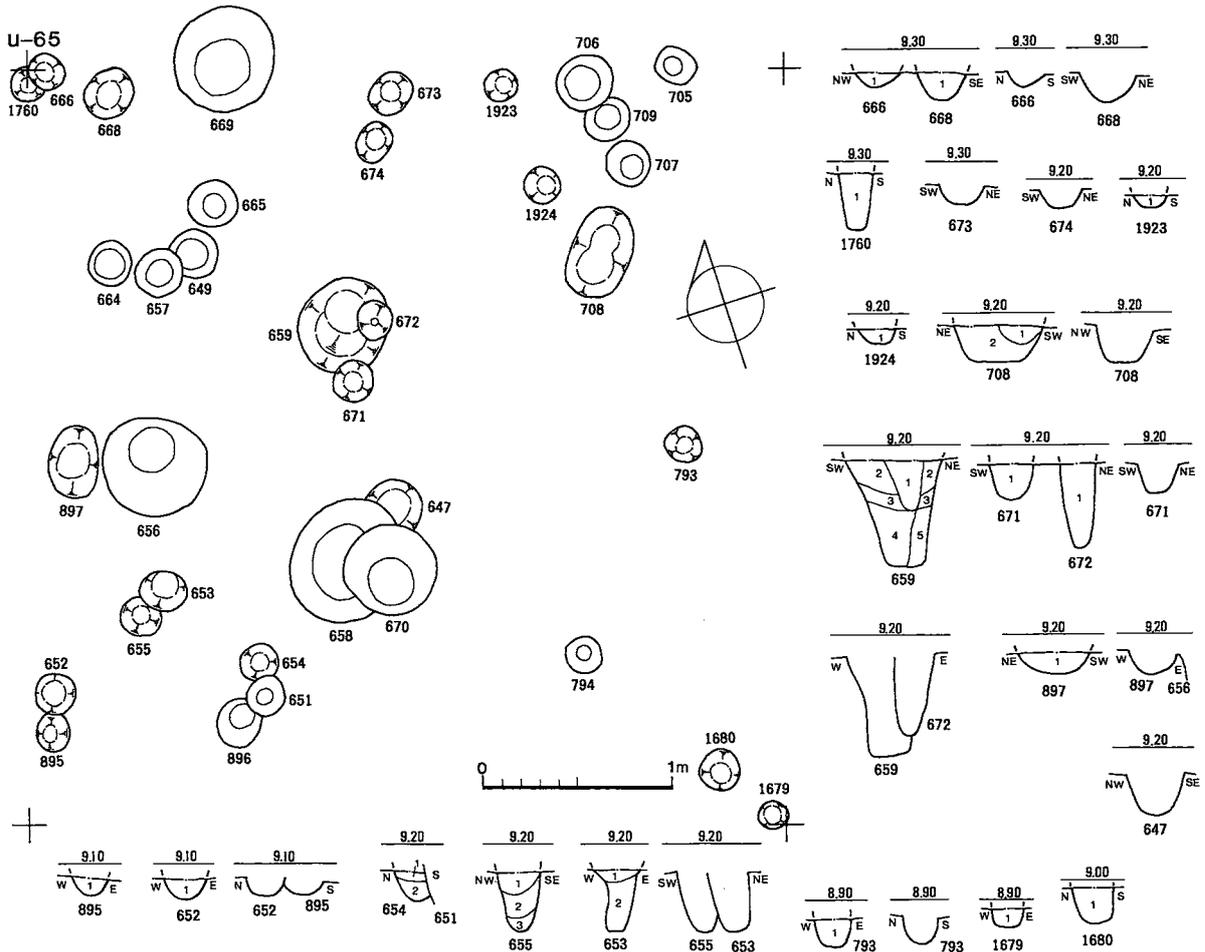
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(掘底)面 (cm)	掘底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-995	r-65, s-65	38 × 30 / 10 × 10 / 18		9.26	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 ③② (>En-a)	
// -998	//	26 × 24 / 16 × 17 / 6		9.36	①暗褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -993	//	16 × 14 / 8 × 7 / 5		9.40	①褐>黄 (>En-a)	
// -994'	s-65	(18) × 16 / 11 × 10 / 11		9.32		994'→994
// -994	//	24 × 21 / 12 × 12 / 23		9.20	①黒褐 ②暗褐>黄 (>En-a) ③=② (>En-a) ボソボソ ④暗灰褐 粘質	994←994', 996
// -996	//	(30) × 22 / (17) × 12 / 11		9.32	①黒 ボソボソ	996→994
// -992	//	26 × 23 / 21 × 14 / 10		9.32	①暗褐>黄 (>En-a) ②①<En-a	
// -1657	//	18 × 16 / 10 × 8 / 4		9.35	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -987	//	27 × 27 / 10 × 10 / 11		9.26	①黒 (>En-a) ボソボソ	
// -988	//	23 × 20 / 15 × 14 / 15		9.20	①暗褐>黄 ②暗灰褐 (>En-a) 粘質 ③②+En-a	
// -772	r-65, s-65	14 × 12 / 8 × 8 / 7		9.38	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -924	s-65	— × 17 / — × 10 / (11)		9.32	①褐>黄 (>En-a)	991←924
// -771	//	12 × 11 / 4 × 4 / 3		9.37	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -940	//	23 × 19 / 14 × 9 / 4		9.34	①黒褐 (>En-a)	
// -931	//	20 × 17 / 9 × 10 / 5		9.34	①黒褐 (>En-a)	
// -1360	//	11 × 9 / 3 × 3 / 9		9.39	①褐>黄	
// -1387	//	17 × 15 / 9 × 8 / 7		9.40	①黒褐 (>En-a) 軟質	
// -1350	//	21 × (18) / 10 × (10) / 17		9.16	①暗褐 軟質	1350←1356
// -1356	//	20 × 17 / 13 × 12 / 32		9.08	①褐>黄 (>En-a) 軟質	1356→1350, 南方向へ傾く
// -1887	s-65・66	21 × — / 10 × — / 62		8.75	①褐+黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a) 粘質 ③灰褐 粘質	
// -1950	s-65	11 × — / 6 × — / 17		9.17	①褐>黄 (>En-a)	
// -990	//	18 × 17 / 8 × 7 / 6		9.34	①黒	
// -997	//	18 × 16 / 9 × 9 / 14		9.23	①暗褐 (>En-a)	
// -983	//	26 × 24 / 12 × 12 / 22		9.16	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1951	//	13 × — / 2 × — / 10		9.22	①黒褐 (>En-a)	
// -1352	//	17 × 16 / 7 × 6 / 9		9.28	①黒 (>En-a) 軟質	
// -1348	//	22 × 20 / 12 × 10 / 5		9.33	①黒褐 (>En-a)	
// -1355	//	25 × 22 / 12 × 12 / 17		9.23	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -963	//	20 × 20 / 11 × 11 / 7		9.27	①黒 (>En-a)	
// -1953	//	19 × 15 / 10 × 10 / 8		9.19	①黒褐 (>En-a)	
// -1952	//	22 × 20 / 8 × 8 / 8		9.18	①黒褐 (>En-a)	
// -999	//	27 × 19 / 12 × 13 / 10		9.24	①暗褐>黄	999→985
// -965	//	20 × 20 / 11 × 10 / 9		9.24	①黒褐>黄 (>En-a)	
RLP-6	//	— × 50 / — × 28 / 26		8.94	*①暗褐>黄 (>En-a)	
RLSP-1896	//	16 × — / 3 × — / 9		9.18	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1897	//	7 × — / 2 × — / 7		9.20	①暗褐 (>En-a)	
// -989	//	29 × 21 / 13 × 14 / 12		9.21	①黒褐 (>En-a) ボソボソ	
// -1000	//	23 × 22 / 16 × 16 / 11		9.22	①黒褐 (>En-a) ② ①<En-a	



図IV-84 t-65の柱穴状ピット

表IV-83 t-65の柱穴状ピット一覧

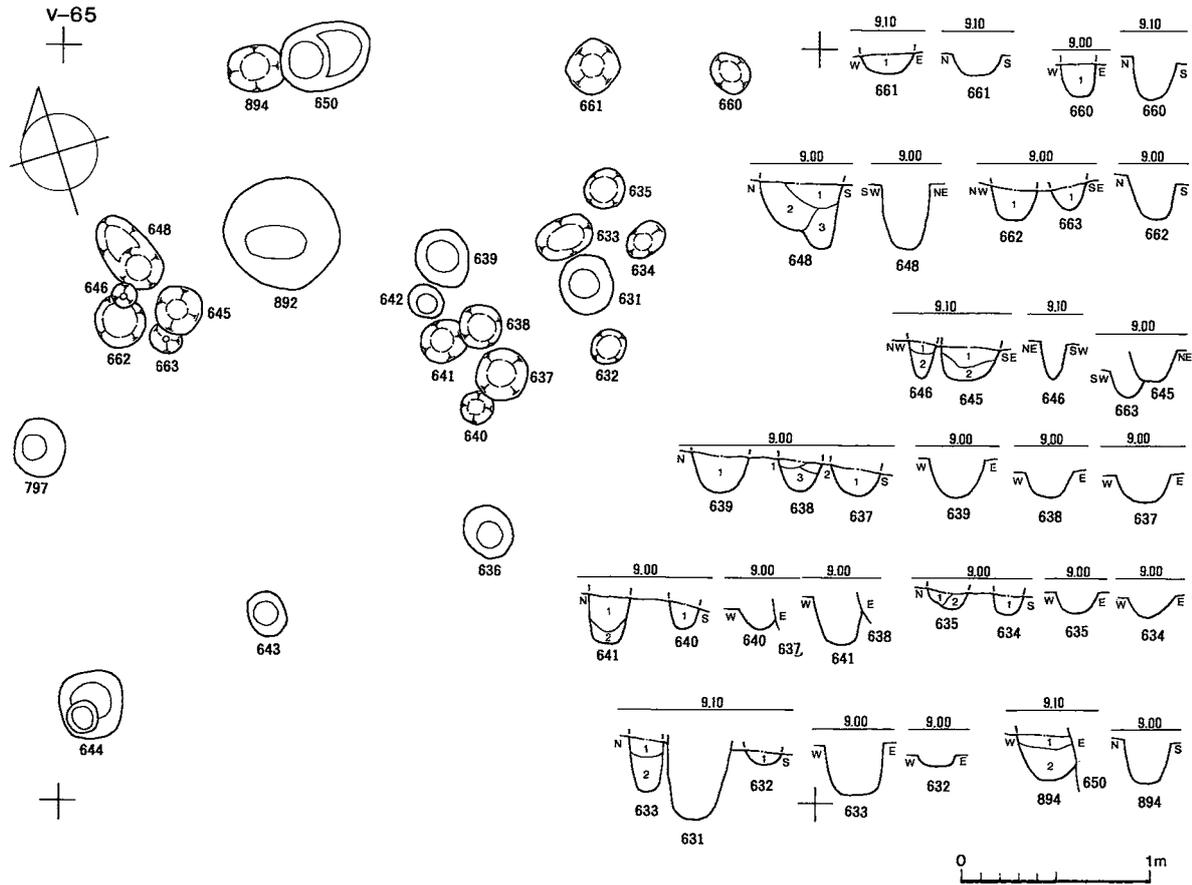
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(坑底)面 (cm)	坑底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1895	t-65	16 × - / 10 × - / 5		9.22	①黒褐 (>En-a)	
// -1929	//	16 × - / 9 × - / 10		9.10	①暗褐>黄 (+En-a)	
// -1930	//	10 × - / 4 × - / 5		9.15	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1928	//	14 × - / 3 × - / 6		9.13	①暗褐 (>En-a) ボロボロ	
// -689	//	25 × 24 / 11 × 11 / 30		8.97	①暗褐 (>En-a) ボソボソ ②黒褐>黄 (>En-a) ③②<En-a	
// -54	t-64・65	41 × (30) / 28 × (21) / 9		9.18	①暗褐 (>下にEn-a)	54→52
// -52	//	37 × 18 / 10 × 9 / 59		8.77	①暗褐 (>En-a)	52←54
// -683	t-65	21 × 20 / 8 × 8 / 11		9.14	①暗褐 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -682'	t-64	22 × 20 / 11 × 9 / -		-	-	
// -682	t-65	13 × 13 / 6 × 7 / 10		9.12	①黒褐>黄 (>En-a) ②①<En-a	
// -681'	//	12 × 12 / 5 × 4 / 7		9.15	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -681	//	16 × 15 / 8 × 6 / 5		9.16	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -146	//	- × 12 / - × 6 / 13		9.08	-	146→147
// -147	//	22 × 21 / 8 × 8 / 34		8.92	①暗褐>黄 (>En-a) ②①砂質ボロボロ	147←146
// -690	//	27 × 25 / 14 × 12 / 20		9.08	①黒褐 軟質 ②①>En-a	
// -1927	//	10 × 10 / 2 × 2 / 7		9.10	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1931	//	13 × - / 5 × - / 21		9.02	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -694	//	35 × 29 / 24 × 18 / 18		9.12	①黒褐 (>En-a) ②黒 粘質	
// -695	//	23 × 20 / 10 × 9 / 14		9.15	①黒 (>En-a)	
// -1894	//	12 × - / 11 × - / 6		9.15	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -701	//	24 × 20 / 8 × 8 / 31		9.00	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄	
// -1893	//	13 × - / 4 × - / 10		9.13	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -904	//	17 × 17 / 8 × 9 / 12		9.10	①暗褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -905	//	46 × 29 / 11 × 11 / 43		8.77	①暗褐>黄 (>En-a) ②En-a ③暗褐 (>En-a) ボソボソ	
// -1900	//	14 × - / 10 × - / 3		9.14	①暗褐 (>En-a)	
// -1922	//	15 × - / 16 × - / 29		8.84	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 ボソボソ	
// -1913	//	14 × - / 3 × - / 9		9.04	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1915	//	13 × - / 5 × - / 8		9.07	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -696	//	25 × 23 / 6 × 6 / 28		8.97	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄	
// -697	//	45 × 32 / 30 × 20 / 54		8.72	①暗褐 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ③黒褐 (>En-a) ボロボロ	
// -893	//	20 × 19 / 14 × 16 / 18		9.02	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -150	//	30 × 20 / 11 × 10 / 32		8.93	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -699	//	22 × 16 / 8 × 6 / 11		9.14	-	
// -898	//	17 × 16 / 8 × 8 / 4		9.14	①黒褐 (>En-a)	
// -1914	//	16 × - / 11 × - / 5		9.15	①暗褐+黄 (>En-a) 粘質	
// -704	//	21 × 18 / 10 × 9 / 9		9.11	-	
// -703	//	22 × 21 / 10 × 11 / 14		9.04	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -702	//	24 × 22 / 14 × 15 / 10		9.12	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -700	//	25 × 19 / 12 × 11 / 12		9.08	-	
// -687	//	21 × 20 / 10 × 10 / 18		9.07	①黒褐>黄 (>En-a) 軟質	
// -686	//	24 × 21 / 10 × 11 / 10		9.15	①黒褐 (>En-a) サラサラ	
// -688	//	14 × 14 / 3 × 3 / 11		9.12	①黒褐 (>En-a)	
// -684	//	24 × 23 / 14 × 12 / 12		9.13	①黒褐 (>En-a)	
// -1926	//	13 × - / 6 × - / 6		9.09	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -685	//	32 × 30 / 12 × 12 / 50		8.72	-	
// -1925	//	20 × - / 6 × - / 30		8.86	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -678	//	17 × 16 / 6 × 6 / 8		9.16	①暗褐	
// -675	//	20 × 17 / 10 × 9 / 12		9.10	①黒褐 (>En-a)	
// -1932	//	20 × - / 10 × - / 36		8.77	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗灰褐 粘質	
// -1933	//	20 × - / 7 × - / 28		8.86	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐+黄 (>En-a) ③黄+En-a>褐	



図IV-85 u-65の柱穴状ピット

表IV-84 u-65の柱穴状ピット一覧

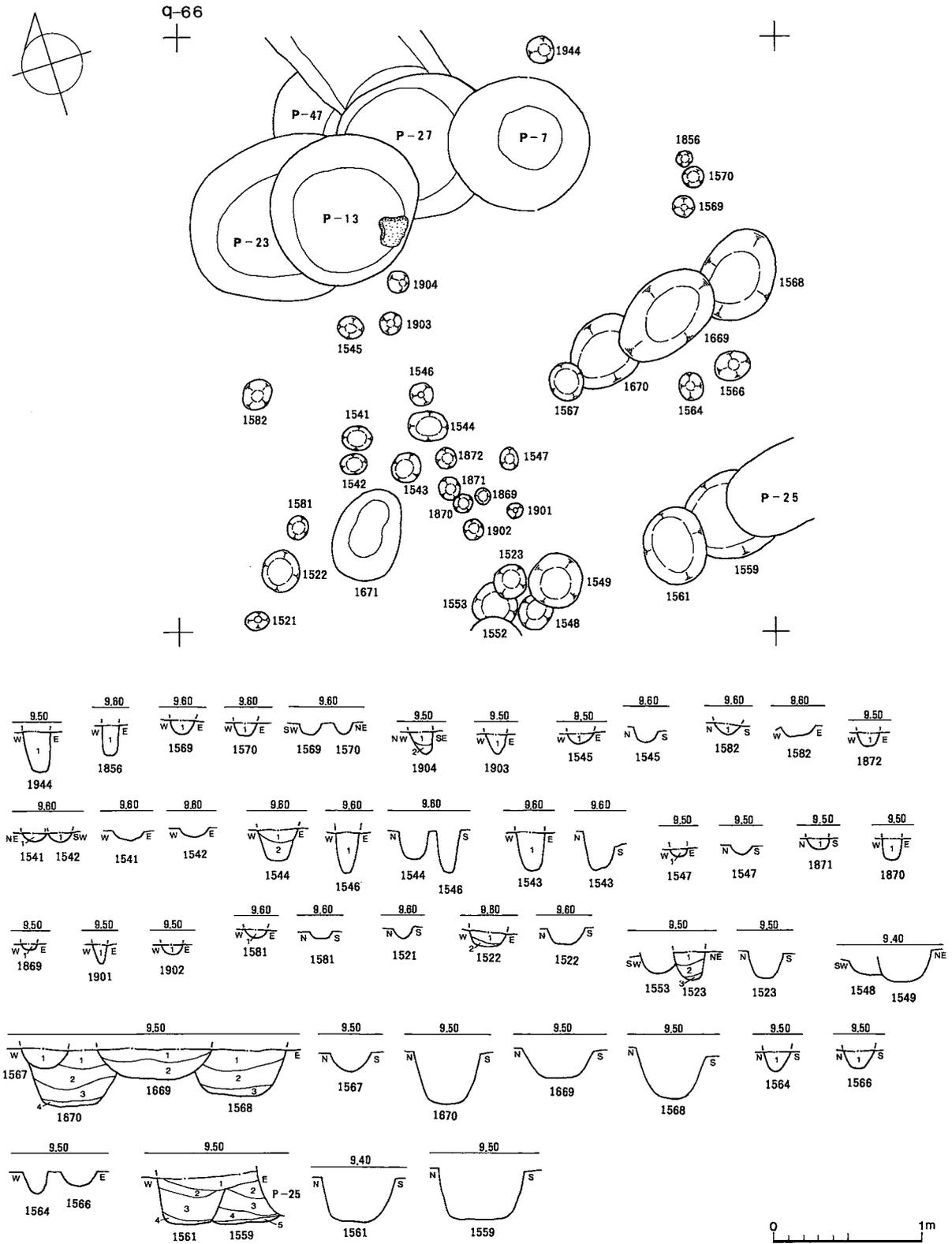
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1760	u-74-75	19 × - / 10 × - / 30	8.94	①黒褐>黄 (>En-a)	666←1760	
"-666	t-65・u-64	20 × 17 / 10 × 10 / 7	9.09	①黒褐 (>En-a) 軟質ザラザラ	666←1760	
"-673	u-65	24 × 21 / 11 × 10 / 9	9.07			
"-674	"	22 × 18 / 12 × 10 / 9	9.04			
"-1923	"	17 × - / 10 × - / 6	9.20	①黒褐>黄 (>En-a) 軟質		
"-1924	"	20 × - / 10 × - / 9	9.04	①黒褐>黄 (>En-a)		
"-708	"	50 × 32 / 32 × 19 / 19	8.93	①黒褐 (>En-a) ②=①ザラザラ		
"-793	"	20 × 19 / 9 × 9 / 14	8.67	①暗褐>黄 (>En-a) ジャリジャリ		
"-672	"	21 × 20 / 5 × 5 / 44	8.57	①黒>黄 (>En-a) ザラザラ	672←659	
"-671	"	22 × 21 / 11 × 10 / 18	8.84	"	671←659	
"-659	"	52 × 46 / 22 × (22) / 54	8.46	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a) 軟質 ③褐>黄 粘質 ④褐>黄 (>En-a) 軟質 ⑤暗黄褐 (>En-a) ボロボロ	659←671、672	
"-897	"	38 × 26 / 18 × 17 / 13	8.88	①黒褐 (>En-a) ザラザラ		
"-653	"	26 × 21 / 14 × 14 / 33	8.64	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) 粘質	653←655	
"-655	"	22 × (20) / 10 × 10 / 30	8.64	①暗褐>黄 軟質 ②=① (>En-a) ③暗褐>黄 (>En-a) ボロボロ	655→653、フレイク	
"-652	"	22 × 21 / 12 × 12 / 10	8.83	①黒褐 (>En-a)	652←895	
"-895	"	(21) × 18 / 9 × 7 / 10	8.83	①黒褐 (>En-a) ザラザラ		
"-654	"	20 × (20) / 10 × 10 / 12	8.90	①暗褐>黄 ②暗褐>黄 (>En-a)	654←651	
"-647	"	- × 30 / - × 18 / 23	8.74		フレイク	
"-1680	"	23 × 21 / 11 × 12 / 19	8.77	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) 砂質		
"-1679	u-65-66 v-65	15 × 14 / 10 × 10 / 9	8.76	①暗褐 (>En-a)		



図IV-86 v-65の柱穴状ピット

表IV-85 v-65の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-894	v-65	(30)×24 / 16×4 / 24		8.72	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	650←894
// -661	u-65, v-65	28×26 / 12×12 / 12		8.77	①黒褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -660	v-65	22×19 / 12×11 / 22		8.64	①黒 ボソボソ	
// -635	//	22×22 / 14×14 / 12		8.82	①黒褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -633	//	31×21 / 20×13 / 26		8.65	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -634	//	23×16 / 10×9 / 11		8.80	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -632	//	20×18 / 13×12 / 6		8.81	①黒 (>En-a) ザラザラ	
// -638	//	23×23 / 14×14 / 15		8.73	①暗褐 (>En-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a) ③黒褐 砂粒	638←641
// -641	//	(25)×22 / 12×12 / 25		8.65	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>小さなEn-a)	641→638
// -637	//	28×27 / 14×14 / 15		8.70	①黒褐 (>小さなEn-a) ボソボソ	637←640
// -640	//	18×17 / 10×9 / 12		8.73	①黒褐 (>En-a)	640→637
// -648	//	44×24 / 12×13 / 34		8.55	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③暗褐 (>En-a) ホロホロ	648→646
// -646	//	13×13 / 2×2 / 18		8.66	①黒 (>En-a) ②黒褐 (>En-a)	
// -662	//	27×24 / 18×18 / 18		8.72	①黒褐 (>En-a)	662→646
// -645	//	26×25 / 11×10 / 19		8.75	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 (>大きなEn-a)	645←663
// -663	//	18×(15) / 3×3 / 14		8.67	①黒褐 (>En-a)	663→645



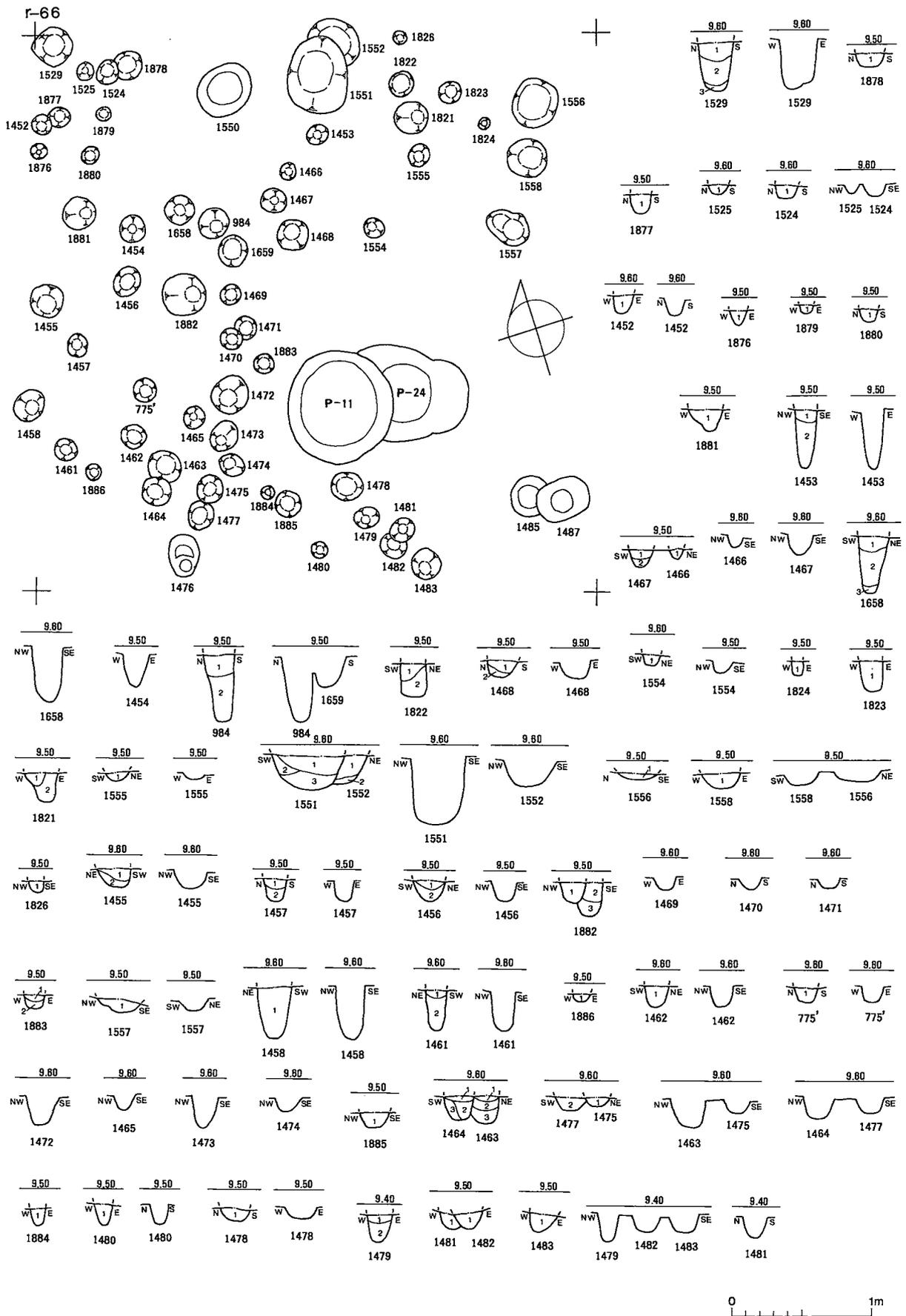
図IV-87 q-66の柱穴状ピット

表IV-86 q-66の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(城底)面 (cm)		城底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1944	q-66	18 × —	8 × — / 27	9.16	①暗褐 (>En-a)	
// -1856	//	12 × —	6 × — / 20	9.26	①暗褐 (>En-a)	
// -1570	//	14 × 14	8 × 8 / 9	9.42	①黒褐 (>En-a)	
// -1569	//	16 × 14	5 × 4 / 9	9.41	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -1568	//	65 × 48	38 × 30 / 32	9.08	①黒褐>黄 (>En-a) ②①に砂・黄色土混入、汚れている ③黒褐 粘質	1568→1669
// -1669	//	74 × 48	44 × 28 / 20	9.20	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a)	1669←1568、1670
// -1670	//	— × 45	— × 30 / 37	9.03	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ③②+砂 ボロボロ ④黒褐 粘質	フレイク 1670→1669、1567
// -1567	//	26 × 24	17 × 16 / 14	9.23	①黒褐 (>En-a) 粘質	1567←1670 原石
// -1559	//	— × 57	— × 43 / 33	9.04	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒①ボロボロ ③ 黄<小さなEn-a ボロボロ ④≒③やや黒い、 大きなEn-a混入 ⑤黒褐 粘質	1559→RLP25、1561
// -1561	//	50 × 43	37 × 26 / 30	9.03	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒①ボロボロ ③黒 褐 (>En-a) 粘質 ④黒褐 粘質	1561←1559 フレイク
// -1904	//	15 × —	3 × — / 15	9.28	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1903	//	14 × —	4 × — / 14	9.28	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1545	//	17 × 15	8 × 6 / 7	9.36	①明褐 (>En-a)	
// -1582	//	22 × 19	8 × 8 / 7	9.40	①黒褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -1546	//	15 × 15	3 × 3 / 28	9.18	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -1544	//	26 × 20	17 × 13 / 21	9.28	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒① (>En-a)	
// -1543	//	20 × 19	13 × 11 / 24	9.21	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1542	//	18 × 14	10 × 9 / 5	9.42	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1541	//	20 × 16	12 × 10 / 5	9.40	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -1581	//	16 × 14	9 × 8 / 5	9.44	①暗褐 (>En-a)	
// -1522	//	27 × 24	18 × 17 / 11	9.40	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 粘質	
// -1521	//	16 × 13	5 × 4 / 7	9.44	———	
// -1872	//	14 × —	7 × — / 9	9.33	①褐 (>En-a)	
// -1871	//	15 × —	8 × — / 7	9.34	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1870	//	12 × —	9 × — / 14	9.27	暗褐>黄 (>En-a)	
// -1869	//	10 × —	8 × — / 4	9.37	暗褐>黄 (>En-a)	
// -1547	//	14 × 12	7 × 7 / 5	9.31	①暗褐 (>En-a)	
// -1901	//	10 × —	2 × — / 13	9.27	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1902	//	14 × —	8 × — / 6	9.30	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1523	//	24 × 23	13 × 13 / 19	9.17	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ③暗褐	1523←1553
// -1553	//	30 × —	17 × — / 13	9.20	———	1553→1523
// -1549	//	38 × 37	22 × 21 / 22	9.15	———	1549←1548
// -1548	//	— × 21	— × 12 / 10	9.19	———	1548→1549
// -1564	//	19 × 16	6 × 6 / 14	9.24	①黒褐 粘質	
// -1566	//	24 × 20	8 × 8 / 13	9.28	①暗褐>黄 (>En-a)	

表IV-87 r-66の柱穴状ピット一覧(1)

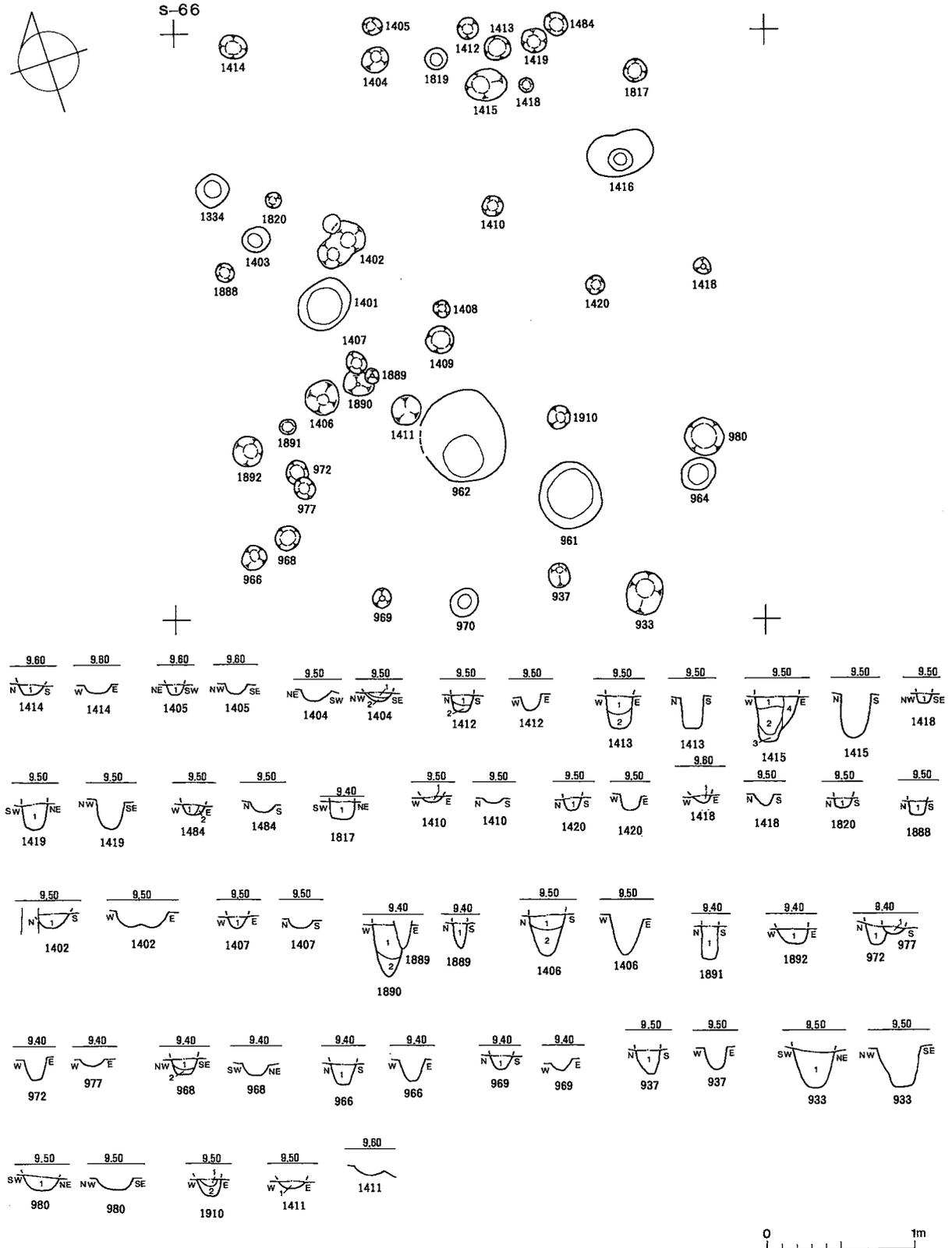
柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(城底)面 (cm)		城底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1529	^q _{r-65-66}	26 × 25	16 × 15 / 37	9.18	①暗褐 (>En-a) ②≒① (>En-a) ③暗灰褐	フレイク、礫
// -1525	r-66	13 × 12	4 × 4 / 8	9.44	①褐>黄	
// -1524	//	18 × 16	10 × 9 / 9	9.42	①黒褐 (>En-a) 粘質	1524←1878
// -1878	//	20 × —	14 × — / 7	9.35	①褐>黄 (>En-a) 軟質	1878→1524
// -1877	//	15 × —	10 × — / 13	9.31	①褐>黄 (>En-a)	1877→1452
// -1452	r-65-66	14 × 14	7 × 7 / 12	9.38	①暗褐>黄 (>En-a)	1452←1877
// -1879	r-66	10 × —	6 × — / 6	9.39	①褐>黄 やや粘質	
// -1876	//	12 × —	4 × — / 10	9.31	①褐>黄 (>En-a)	



図IV-88 r-66の柱穴状ピット

表IV-88 r-66の柱穴状ピット一覧(2)

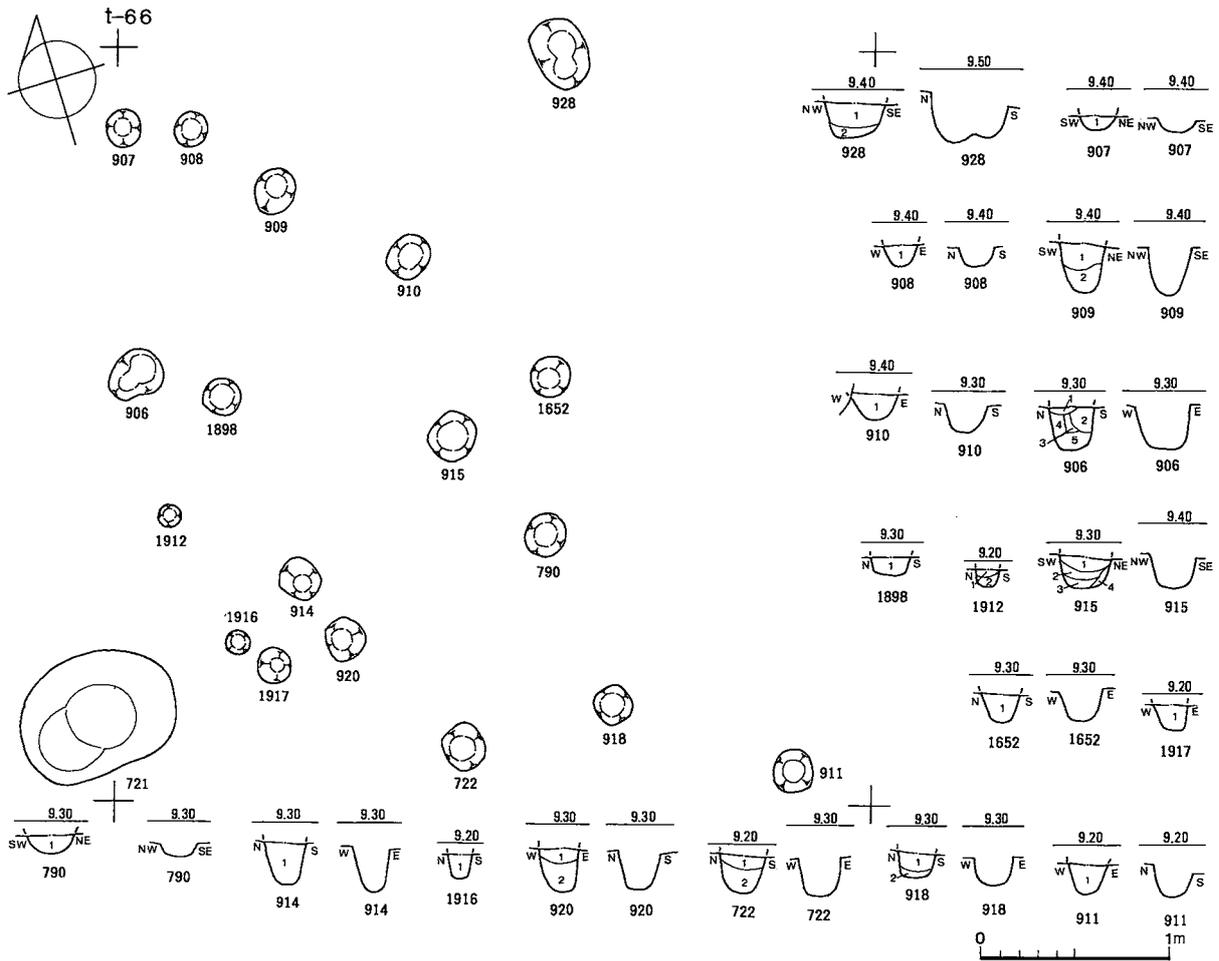
柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(城底)面 (cm)		城底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1880	r-66	12 × —	8 × — / 9	9.33	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1826	//	10 × —	5 × — / 7	9.33	①暗褐 (>En-a)	
// -1552	q-66, r-66	39 × —	24 × — / 21	9.31	①暗褐 (>En-a) ②=① (>En-a)	1552→1551
// -1551	r-66	56 × 43	30 × 25 / 23	9.01	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (>En-a) ③暗褐 (>En-a)	1551←1552、フレイク
// -1822	//	18 × —	16 × — / 23	9.12	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -1823	//	17 × —	12 × — / 20	9.20	①褐>黄 (>En-a)	
// -1821	//	23 × —	10 × — / 20	9.18	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -1824	//	8 × —	5 × — / 10	9.32	①褐+黄 (>En-a)	
// -1556	//	36 × 31	26 × 22 / 4	9.35	①暗褐 ボソボソ	
// -1558	//	29 × 27	17 × 16 / 10	9.32	①黒褐 (>En-a) ザラザラ	
// -1557	//	32 × 24	15 × 14 / 8	9.28	①黒褐 (>En-a) ザラザラ	
// -1555	//	16 × 14	8 × 8 / 6	9.33	①黒褐 ザラザラ	
// -1554	//	16 × 14	7 × 7 / 8	9.32	①褐>黄 (>En-a)	
// -1453	//	16 × 14	6 × 6 / 40	8.98	①暗褐>黄 (>En-a) ②=①ポロポロ	
// -1466	//	12 × 12	5 × 5 / 7	9.32	①褐>黄	
// -1467	//	19 × 17	6 × 6 / 13	9.27	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1468	//	23 × 23	12 × 12 / 12	9.28	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1881	//	23 × —	6 × — / 15	9.25	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1454	//	20 × 18	6 × 6 / 23	9.32	———	
// -1658	//	21 × 20	8 × 8 / 41	9.10	①褐>黄 (>En-a) ②=①ボソボソ ③灰褐 粘質	
// -984	//	22 × 22	9 × 9 / 48	8.96	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐 (>En-a) ボソボソ	
// -1455	r-65・66	24 × 23	13 × 13 / 13	9.36	①暗褐 ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -1456	r-66	22 × 18	12 × 11 / 15	9.26	①褐 (>En-a) ②①>黄 (>En-a)	
// -1457	//	17 × 14	9 × 8 / 16	9.28	①暗褐>黄 ②暗褐 (>En-a)	
// -1458	r-65・66	24 × 20	10 × 10 / 38	9.08	①褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -1461	r-66	16 × 15	8 × 7 / 28	9.15	①暗褐>黄 (>En-a) ②=①ボソボソ	
// -1882	//	30 × —	11 × — / 24	9.18	①明褐 (>En-a) ②暗褐 (>En-a) ③暗灰褐 粘質	
// -1659	//	22 × 20	16 × 17 / 22	9.21	———	
// -1469	//	15 × 14	11 × 9 / 9	9.37	———	
// -1470	//	16 × 16	9 × 8 / 9	9.38	———	1470←1471
// -1471	//	17 × (16)	9 × (10) / 7	9.37	———	1470←1471
// -1883	//	14 × —	10 × — / 10	9.30	①暗褐 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -1472	//	28 × 25	12 × 12 / 20	9.25	———	
// -1473	//	22 × 20	8 × 8 / 23	9.24	———	フレイク
// -1474	//	18 × 16	8 × 8 / 10	9.36	———	
// -1886	//	10 × —	5 × — / 5	9.37	①暗褐 (>En-a)	
// -1462	//	17 × 16	11 × 10 / 16	9.33	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1463	//	25 × (23)	14 × 14 / 20	9.26	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 ③暗灰褐 粘質	1464←1463
// -1464	//	21 × 20	12 × 11 / 17	9.32	①褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) 粘質 ③褐>黄 (>En-a)	1463→1464、フレイク
// -1465	//	16 × 15	4 × 5 / 11	9.37	———	
// -775'	//	17 × 16	9 × 8 / 11	9.38	①褐>黄 軟質	
// -1477	//	21 × 18	13 × 11 / 9	9.37	①暗褐 (>En-a)	1477→1475
// -1475	//	20 × 19	10 × 9 / 6	9.37	①暗褐>黄 (>En-a)	1475→1477
// -1884	//	10 × —	5 × — / 12	9.24	①褐>黄 (>En-a)	
// -1885	//	20 × —	12 × — / 10	9.25	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1480	//	12 × 12	6 × 6 / 16	9.24	①暗褐 (>En-a)	
// -1478	//	23 × 20	14 × 12 / 9	9.29	①褐>黄 (>En-a)	
// -1479	//	18 × 15	7 × 7 / 21	9.14	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐 (>En-a) ボロボロ	
// -1481	//	19 × 17	8 × 8 / 15	9.17	①暗褐 (>En-a)	1481←1482
// -1482	//	19 × (18)	10 × 10 / 12	9.21	①暗褐 (>En-a)	1482→1481
// -1483	//	22 × 21	10 × 9 / 12	9.21	①暗褐 (>En-a) ザラザラ	



図IV-89 s-66の柱穴状ピット

表IV-89 s-66の柱穴状ピット一覧

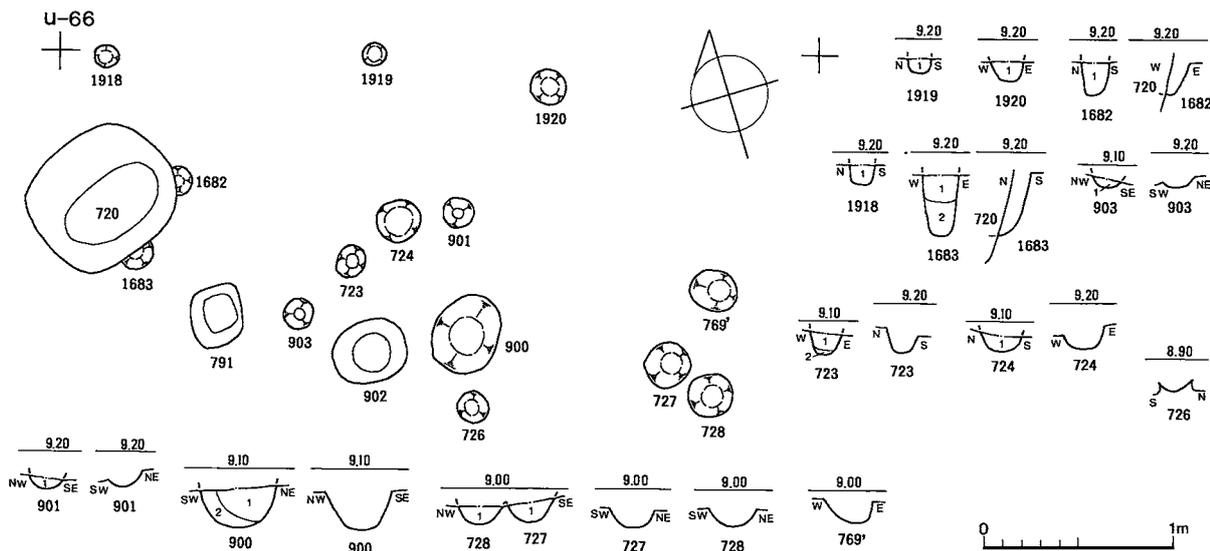
柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1414	s-66	19 × 16	11 × 10 / 6	9.40	①暗褐>黄	
// -1405	r-66, s-66	14 × 12	7 × 6 / 7	9.40	①褐	
// -1404	s-66	19 × 17	8 × 8 / 6	9.35	①褐>黄 ②①>黄 (>En-a)	
// -1412	r-66, s-66	14 × 14	7 × 7 / 11	9.28	①暗褐>黄 ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -1413	s-66	18 × 16	13 × 11 / 22	9.15	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ ②暗褐 (>En-a) 粘質	
// -1415	//	28 × 22	12 × 12 / 32	9.08	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 ボソボソ ③ ②>En-a ④暗褐>黄 (+En-a)	
// -1818	//	10 × -	7 × - / 6	9.32	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1419	r-66, s-66	17 × 16	9 × 9 / 18	9.17	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1484	//	16 × 15	10 × 9 / 7	9.28	①暗褐 ②①>黄 (>En-a)	
// -1817	s-66	17 × -	12 × - / 12	9.24	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1410	//	14 × 13	7 × 7 / 3	9.36	①褐>黄 (>En-a)	
// -1418	//	12 × 11	3 × 3 / 5	9.33	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1420	//	12 × 12	7 × 7 / 7	9.30	①黒褐 粘質	
// -1820	//	10 × -	6 × - / 6	9.32	①褐>黄 (>En-a)	
// -1888	//	13 × -	8 × - / 10	9.26	①黒褐 (>En-a) 軟質	
// -1402	//	36 × 23	10 × 10 / 9	9.30	①暗褐 (>En-a)	
// -1407	//	15 × 14	8 × 8 / 8	9.30	①暗褐 (>En-a)	1407←1890
// -1889	//	10 × -	2 × - / 17	9.17	①黒褐	1889←1890
// -1890	//	(17) × -	2 × - / 35	8.98	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗灰褐 (>En-a) 粘質	1890→1407, 1889
// -1411	//	20 × 20	- × - / 4	9.32	①暗褐 (>En-a)	
// -1406	//	24 × 23	8 × 8 / 27	9.12	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -1891	//	10 × -	8 × - / 22	9.09	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -1892	//	20 × -	10 × - / 10	9.19	①暗褐>黄 ボソボソ	
// -972	//	(15) × 16	(10) × 9 / 5	9.17	①暗褐>黄 (>En-a)	972→977
// -977	//	15 × 14	8 × 7 / 12	9.27	①黒 (>En-a)	977←972
// -968	//	18 × 17	12 × 11 / 11	9.20	①黒褐 (>En-a) ②①<En-a	
// -966	//	17 × 16	6 × 7 / 15	9.16	①黒褐 (>En-a)	
// -969	//	16 × 15	4 × 4 / 9	9.23	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -937	//	16 × 15	4 × 5 / 18	9.24	①暗褐 (>En-a) 粘質	
// -933	//	29 × 24	13 × 13 / 29	9.11	①暗褐	
// -980	//	26 × 24	17 × 16 / 10	9.32	①黒 (>En-a) ザラザラ	
// -1910	//	16 × -	8 × - / 11	9.28	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1408	//	11 × 10	6 × 5 / -	-	-	
// -1409	//	19 × 18	12 × 12 / -	-	-	



図IV-90 t-66の柱穴状ピット

表IV-90 t-66の柱穴状ピット一覧

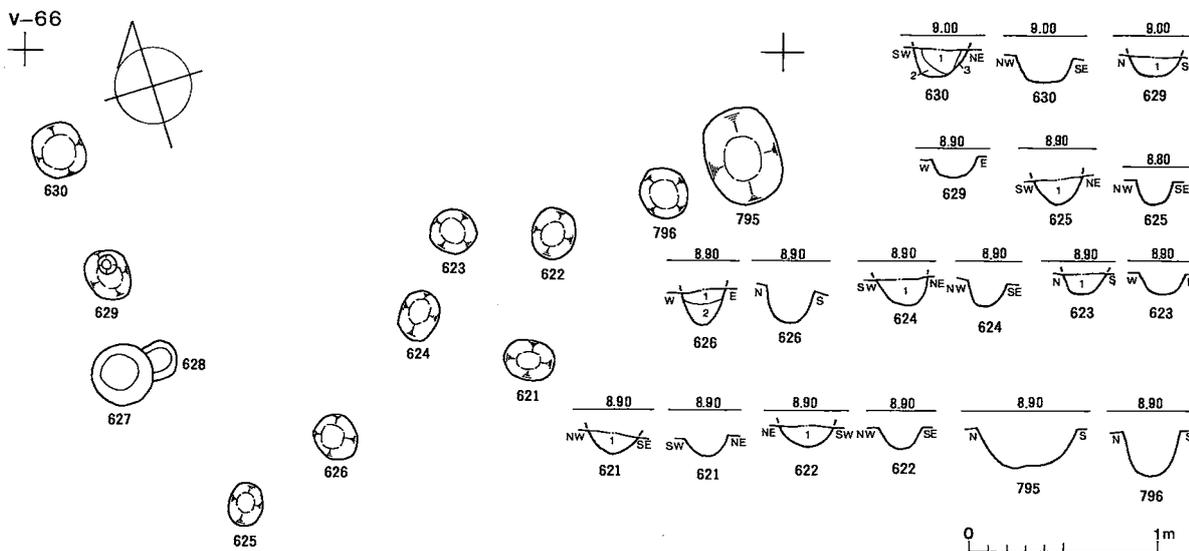
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(填底)面 (cm)	擴底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-928	s-66, t-66	38 × 28	25 × 14 / 26	9.12	①暗褐>黄(>En-a) ②黒褐(>En-a) 粘質	
"-907	t-65・66	20 × 18	10 × 9 / 8	9.18	①黒褐(>En-a) 粘質	
"-908	t-66	19 × 17	11 × 11 / 10	9.16	①黒褐(>En-a) ザラザラ	
"-909	"	25 × 22	12 × 12 / 23	9.01	①黒褐>黄(>En-a) ②黒褐(>En-a)	
"-910	"	24 × 21	14 × 12 / 14	9.08	①黒褐	
"-906	t-65・66	30 × 26	22 × 16 / 23	9.00	①黒褐>黄(>En-a) ②褐>黄(>En-a) ポソポソ ③暗褐>黄(>En-a) ④③<En-a ⑤灰褐(>En-a)	
"-1898	t-66	20 × -	17 × - / 9	9.13	①褐>黄(>En-a) 軟質	
"-1912	"	12 × -	8 × - / 9	9.06	①褐>黄(>En-a) ②褐>黄(>En-a)	
"-1652	"	22 × 20	11 × 12 / 16	9.06	①暗褐>黄(>En-a) ポソポソ	
"-915	"	26 × 23	16 × 16 / 17	9.06	①褐>黄(>En-a) ②En-a>褐>黄 ③灰褐 粘質 ④暗褐>黄	
"-790	"	24 × 20	13 × 12 / 10	9.12	①黒褐(>En-a) ザラザラ	
"-911	"	23 × 22	12 × 12 / 16	8.92	①黒褐(>下にEn-a)	
"-918	"	20 × 20	13 × 12 / 14	9.00	①褐>黄(>En-a) ②En-a>①ポロポロ	
"-722	"	24 × 22	14 × 14 / 22	8.94	①黒褐>黄(>En-a) ②褐>黄(>En-a)	フレイク
"-920	"	22 × 22	12 × 12 / 22	8.96	①暗褐>黄(>En-a) ②暗褐(>En-a) 粘質	
"-914	"	23 × 20	9 × 9 / 23	8.94	①暗褐>黄(>En-a) ポロポロ	
"-1916	"	12 × -	5 × - / 13	9.01	①褐>黄(>En-a)	
"-1917	"	18 × -	8 × - / 13	9.01	①暗褐>黄(>En-a)	



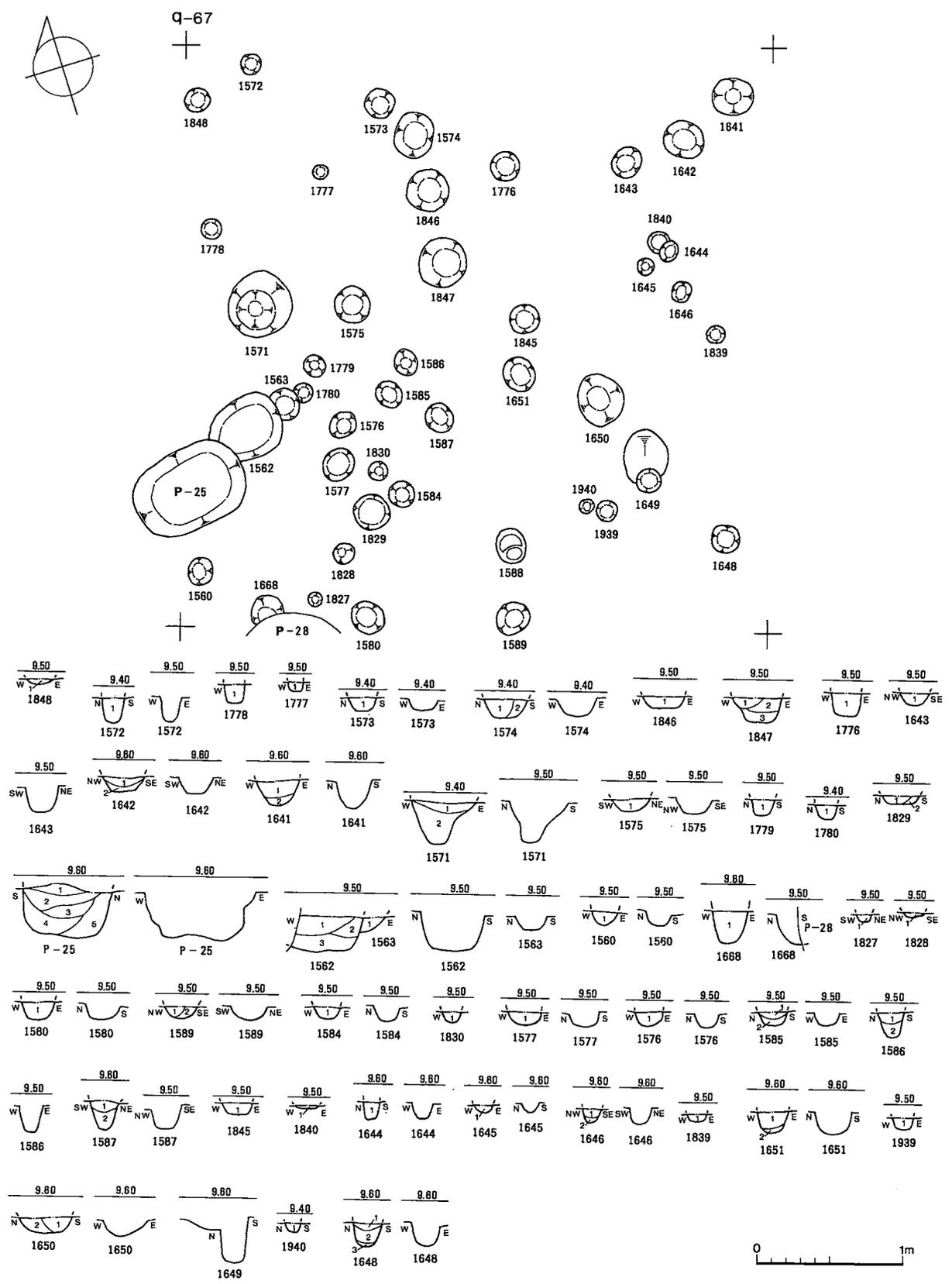
図IV-91 u-66の柱穴状ピット

表IV-91 u-66の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(填底)面 (cm)	填底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1918	t-66, u-66	13 × - / 10 × - / 11		9.03	①褐>黄 (>En-a)	
〃 -1919	〃	13 × - / 10 × - / 7		9.02	①褐>黄 (+En-a)	
〃 -1920	u-66	18 × - / 10 × - / 10		8.98	①褐>黄 (>En-a)	
〃 -1682	〃	15 × - / 6 × - / 16		8.92	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -1683	〃	18 × - / 8 × - / 32		8.76	①黒 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
〃 -903	〃	16 × 15 / 6 × 6 / 4		9.02	①暗褐 (>En-a) ボソボソ	
〃 -723	〃	17 × 15 / 7 × 7 / 14		8.93	①黒 (>En-a) ザラザラ ②暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -724	〃	22 × 23 / 14 × 15 / 13		8.95	①黒褐 (>En-a) 軟質	
〃 -901	〃	16 × 16 / 6 × 6 / 6		9.00	①黒褐 (>En-a)	
〃 -900	〃	42 × 34 / 20 × 18 / 20		8.77	①黒褐 (>En-a) ボソボソ ②黒褐 ボソボソ	
〃 -726	〃	16 × 16 / 8 × 8 / 5		8.73	――	
〃 -727	〃	24 × 23 / 12 × 12 / 11		8.80	①黒褐 (>En-a) ボロボロ	=1921
〃 -728	〃	23 × 24 / 12 × 12 / 10		8.81	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
〃 -769'	〃	25 × 22 / 12 × 12 / 12		8.83	――	



図IV-92 v-66の柱穴状ピット



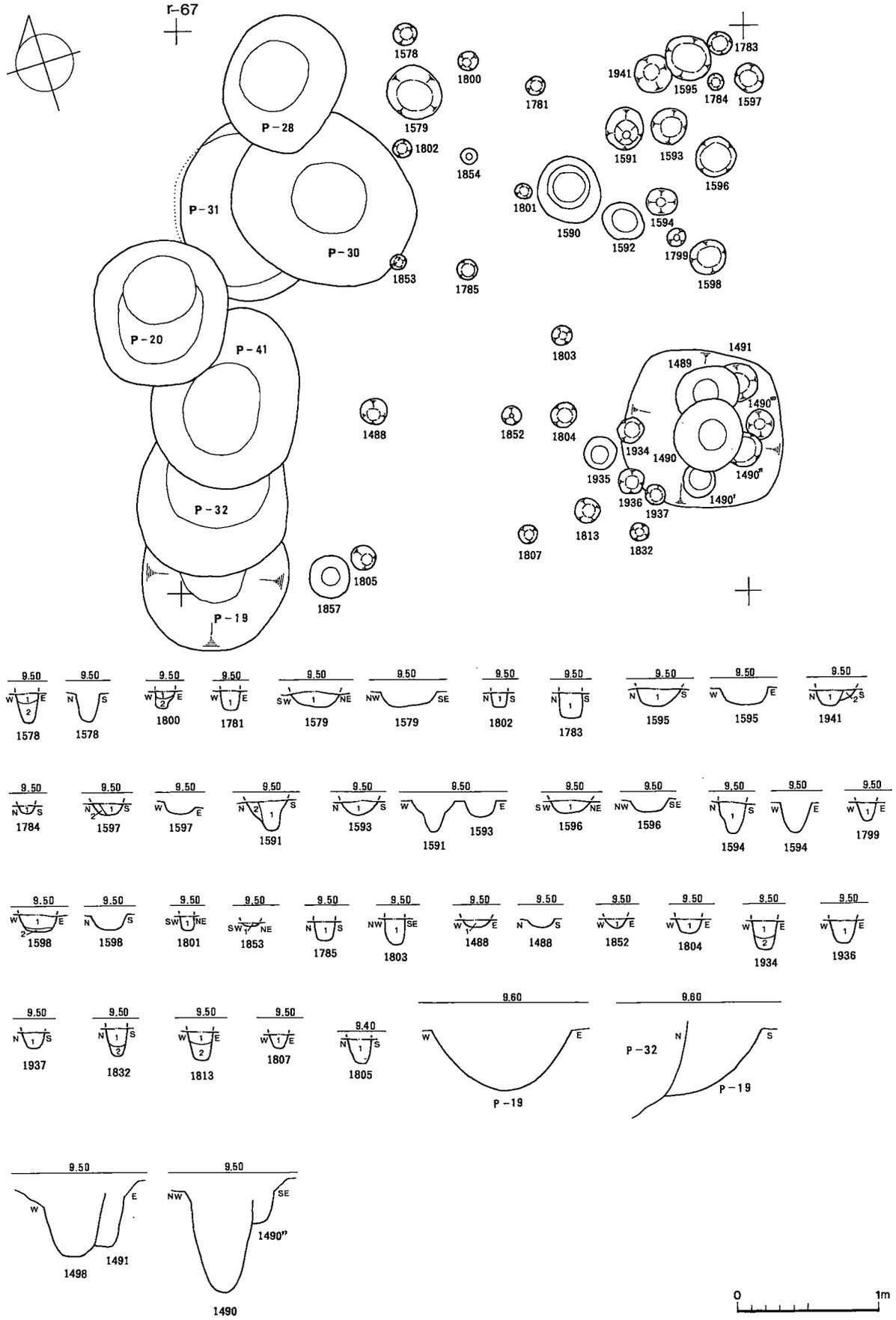
図IV-93 q-67の柱穴状ピット

表IV-92 v-66の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-630	v-66	29 × 26 / 18 × 18 / 14		8.76	①黒褐 (>En-a) ②①>黄 (>En-a) ボロボロ ③大きなEn-aがブロック状	
// -629	//	27 × 23 / 15 × 13 / 10		8.75	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -625	//	24 × 18 / 10 × 10 / 15		8.60	①黒褐 (>En-a)	
// -626	//	26 × 22 / 14 × 13 / 20		8.57	①黒>黄 ②黒 (>En-a) 軟質	
// -624	//	26 × 20 / 14 × 12 / 16		8.66	①黒褐 (>En-a) 砂質	
// -621	//	26 × 22 / 12 × 10 / 10		8.65	①黒 (>En-a) ザラザラ	
// -623	//	24 × 23 / 14 × 12 / 11		8.72	①黒>黄 (>En-a) 砂質	
// -622	//	26 × 24 / 14 × 12 / 11		8.70	①黒>黄	
// -796	//	28 × 25 / 16 × 14 / 24		8.55	————	
// -795	//	51 × 39 / 24 × 20 / 24		8.60	————	

表IV-93 q-67の柱穴状ピット一覧(1)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1848	q-67	17 × — / 12 × — / 3		9.41	①褐 (>En-a)	
// -1572	//	14 × 14 / 8 × 8 / 18		9.16	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1573	//	20 × 19 / 12 × 12 / 9		9.26	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1574	//	31 × 27 / 18 × 16 / 14		9.22	①黒褐 (>En-a) ②En-a>①	
// -1778	//	14 × — / 10 × — / 13		9.29	①褐>黄 (>En-a)	
// -1777	//	10 × — / 9 × — / 6		9.38	①暗褐	
// -1776	//	20 × — / 14 × — / 15		9.36	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -1846	//	30 × — / 17 × — / 8		9.30	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -1847	//	34 × — / 20 × — / 17		9.20	①暗灰 粘質 ②黒褐+黄 (>En-a) ③黒褐>黄 (>En-a)	
// -1845	//	20 × — / 13 × — / 7		9.38	①黒褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -1641	//	28 × 25 / 11 × 10 / 18		9.28	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 粘質	
// -1642	//	28 × 24 / 16 × 14 / 11		9.36	①黒褐 ザラザラ ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1643	//	21 × 19 / 11 × 11 / 9		9.22	①黒褐 ザラザラ	
// -1840	//	15 × — / 13 × — / 2		9.42	①褐>黄 軟質	1840→1644
// -1644	//	14 × 12 / 8 × 7 / 12		9.36	①黒褐>黄 (>En-a)	1644←1840
// -1645	//	11 × 11 / 6 × 6 / 5		9.41	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1646	//	14 × 13 / 10 × 7 / 11		9.34	①褐>黄 軟質 ②暗黄灰 軟質	
// -1839	//	12 × — / 8 × — / 4		9.37	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1571	//	44 × 42 / 10 × 11 / 30		9.06	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1575	//	25 × 24 / 14 × 14 / 10		9.27	①褐>黄 軟質	
// -1779	//	16 × — / 7 × — / 11		9.27	①褐>黄 (>En-a)	
// -1780	//	15 × — / 8 × — / 10		9.25	①褐>黄 (>En-a)	1780→1563
// -1563	//	22 × (20) / 13 × (13) / 10		9.26	①黒褐>黄 (>En-a)	1562←1563←1780
// -1562	//	(50) × 43 / (42) × 29 / 24		9.11	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ③①粘質	RLP-25←1562←1563、フレイク
RLP-25	q-66・67	78 × 54 / 57 × 38 / 33		9.17	①暗褐>黄 ②暗褐>黄 (>En-a) 軟質 ③暗褐>黄 (>En-a) ④③粘質 ⑤③En-a少ない	RLP-25←1562 フレイク、礫
RLSP-1560	q-67	18 × 17 / 12 × 9 / 10		9.30	①黒褐>黄	
// -1668	//	— × 21 / — × 13 / 23		9.18	①黒褐>黄 (>En-a)	=1855 RLP-28←1668
// -1827	//	10 × — / 6 × — / 5		9.35	①褐>黄 (>En-a)	
// -1580	q-67、r-67	24 × 20 / 14 × 13 / 12		9.31	①黒褐>黄 (>En-a)	フレイク
// -1828	q-67	16 × — / 6 × — / 3		9.38	①暗褐	
// -1829	//	25 × — / 18 × — / 5		9.36	①暗褐>黄 ②褐>黄 (>En-a)	
// -1830	//	13 × — / 6 × — / 7		9.33	①褐>黄 (+En-a)	
// -1584	//	18 × 18 / 10 × 10 / 9		9.32	①暗褐 (>En-a)	
// -1577	//	22 × 21 / 16 × 14 / 9		9.32	①褐>黄 (>En-a) 軟質	
// -1576	//	20 × 17 / 11 × 10 / 9		9.32	①暗褐黄 (>En-a)	
// -1585	//	20 × 17 / 12 × 10 / 10		9.34	①黒褐>黄 ザラザラ ②En-a>①	
// -1586	//	18 × 16 / 8 × 8 / 17		9.24	①黒褐>黄 (>En-a) ②暗褐 粘質	
// -1587	//	20 × 19 / 13 × 10 / 19		9.26	①褐>黄 (>En-a) ②褐 (>En-a)	フレイク
// -1650	//	35 × 30 / 17 × 14 / 11		9.32	①黒褐 ②①>En-a	



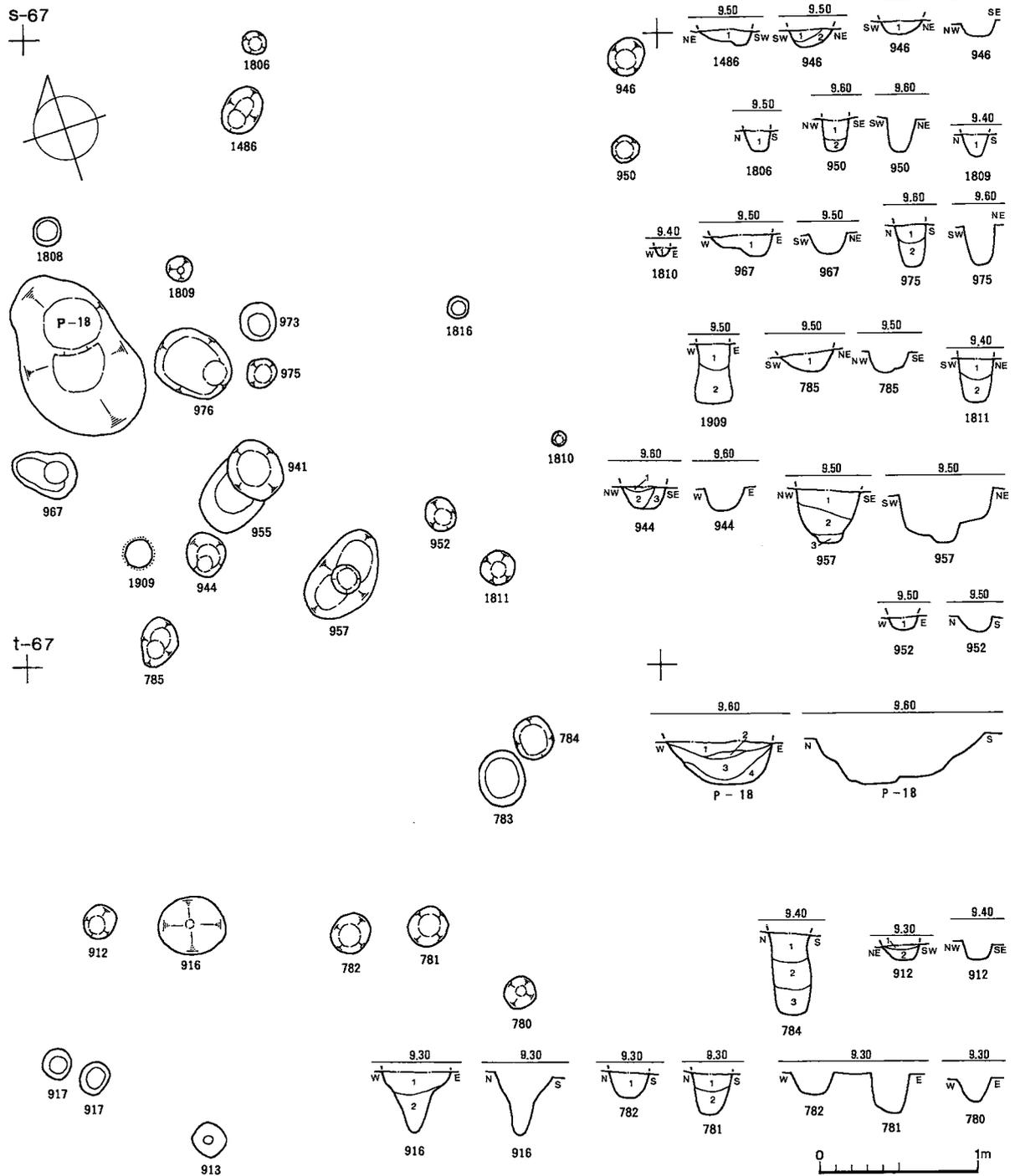
図IV-94 r-67の柱穴状ピット

表IV-94 q-67の柱穴状ピット一覧(2)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(坑底)面 (cm)	坑底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1651	q-67	24 × 21 / 17 × 12 / 14		9.30	①褐>黄 (>En-a) ②①+砂	
// -1649	//	16 × 17 / 11 × 11 / 32		9.14	———	
// -1648	//	19 × 19 / 13 × 12 / 17		9.28	①褐>黄 ②褐>黄 (>En-a) ③暗褐 粘質	
// -1940	//	10 × — / 6 × — / 7		9.37	①明褐 (>En-a)	火熱
// -1939	//	14 × — / 10 × — / 8		9.33	①明褐	火熱
// -1589	q-67、r-67	24 × 22 / 14 × 12 / 8		9.32	①黒褐 ②暗褐>黄	

表IV-95 r-67の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(坑底)面 (cm)	坑底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1578	q-67、r-67	16 × 16 / 9 × 9 / 20		9.20	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 粘質	
// -1800	r-67	14 × — / 6 × — / 12		9.30	①暗褐>黄 ②①>黄 (>En-a)	
// -1781	//	14 × — / 10 × — / 14		9.28	①褐>黄 (>En-a)	
// -1579	//	40 × 36 / 25 × 22 / 10		9.30	①黒褐>黄 (>En-a)	フレイク
// -1802	//	11 × — / 8 × — / 10		9.30	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1801	//	10 × — / 8 × — / 10		9.32	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1785	//	15 × — / 10 × — / 13		9.25	①褐>黄 (>En-a)	
// -1853	//	10 × — / 7 × — / 2		9.35	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1783	//	16 × — / 14 × — / 18		9.22	①褐>黄 (>En-a)	
// -1784	//	12 × — / 7 × — / 5		9.35	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1595	//	34 × 31 / 25 × 20 / 13		9.30	①暗褐>黄 (>En-a)	1595←1941
// -1941	//	27 × — / 10 × — / 10		9.30	①褐 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	1941→1595
// -1591	//	30 × 27 / 5 × 5 / 22		9.22	①黒褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	=1782
// -1593	//	25 × 25 / 15 × 14 / 10		9.32	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -1596	//	28 × 27 / 20 × 20 / 9		9.36	①褐>黄 (>En-a)	
// -1594	//	22 × 19 / 7 × 6 / 21		9.20	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -1799	//	14 × — / 3 × — / 13		9.28	①褐>黄 (>En-a)	
// -1598	//	26 × 24 / 18 × 14 / 12		9.32	①暗褐 (>En-a) ② ①+En-a	
// -1803	//	14 × — / 3 × — / 19		9.21	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1804	//	18 × — / 11 × — / 11		9.29	①褐>黄 (>En-a)	フレイク
// -1852	//	14 × — / 2 × — / 7		9.32	①褐 (>En-a)	
// -1488	//	19 × 18 / 10 × 9 / 5		9.33	①黒褐 (>En-a)	
// -1805	//	17 × — / 8 × — / 17		9.17	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1807	//	13 × — / 8 × — / 10		9.28	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1813	//	18 × — / 10 × — / 20		9.20	①暗褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1832	//	14 × — / 5 × — / 20		9.22	①褐 ②褐>黄 (>En-a)	石斧
// -1937	//	15 × — / 10 × — / 12		9.28	①褐>黄 (>En-a)	
// -1936	//	18 × — / 10 × — / 16		9.22	①褐>黄 (>En-a)	
// -1934	//	18 × — / 12 × — / 20		9.18	①褐 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1491	r-67・68	28 × (28) / 14 × (15) / 52		8.98	———	1489←1491
// -1490'''	//	22 × 20 / 8 × 8 / —		———	———	1490'''→1490''
// -1490''	//	23 × (24) / 18 × (17) / (33)		9.13	———	1490←1490''←1490'''
// -19	r-66・67 s-66・67	— × (104) / — × (48) / (48)		8.94	———	



図IV-95 s-67・t-67の柱穴状ピット

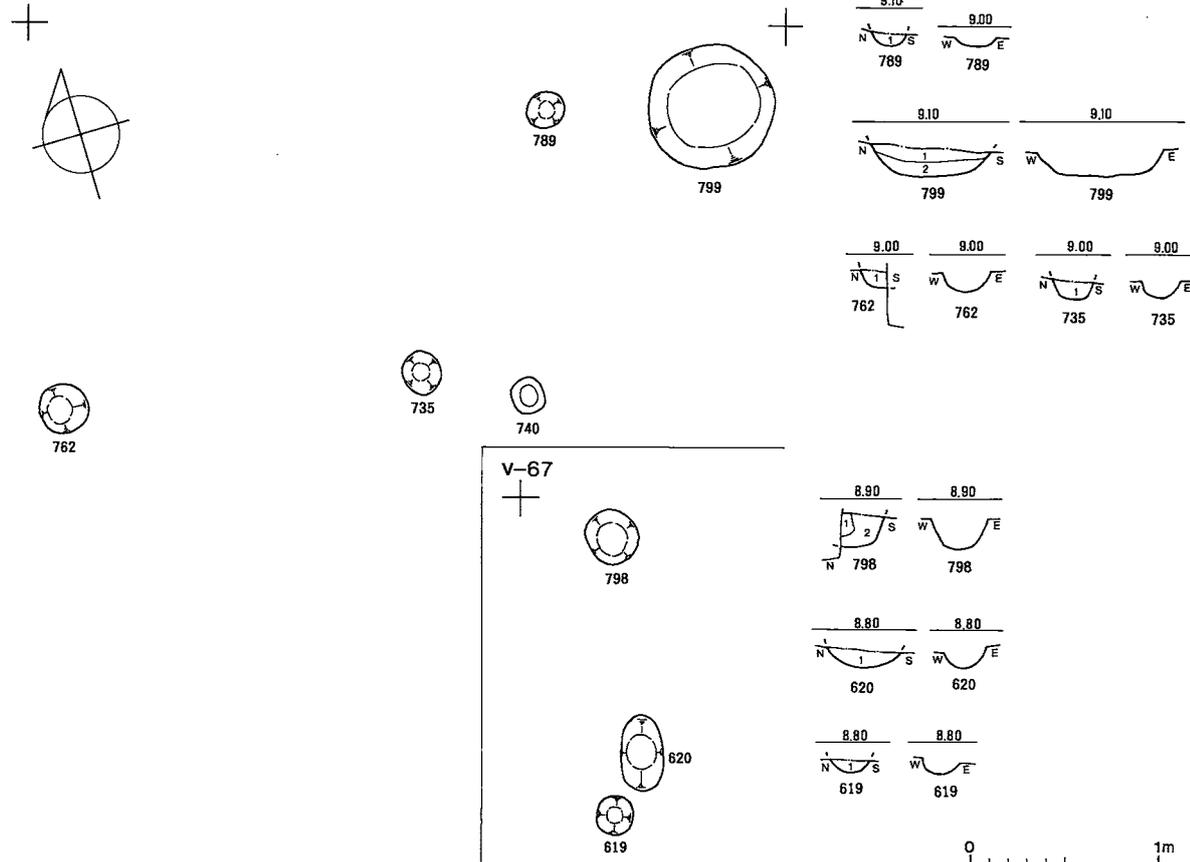
表IV-96 s-67の柱穴状態ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1806	r-67, s-67	16 × — / 10 × — / 13		9.24	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1486	s-67	31 × 24 / 11 × 11 / 10		9.32	①黒褐 (>En-a)	
// -946	//	25 × 22 / 13 × 13 / 9		9.36	①暗褐 (>En-a)	
// -950	//	18 × 16 / 11 × 11 / 20		9.24	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -1809	//	17 × — / 2 × — / 15		9.19	①褐>黄 (>En-a)	
// -975	//	20 × 18 / 12 × 11 / 27		9.21	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -976	//	49 × 40 / 14 × 15 / 13		9.30	①褐>黄 (>En-a)	
// -941	//	38 × 34 / 24 × 21 / 31		—	—	941←955
// -951	//	18 × — / 20 × — / 38		9.06	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	=951
// -944	//	27 × 26 / 17 × 14 / 14		9.29	①暗褐 ②暗褐>黄 (>En-a) ③暗褐>黄	礫
// -785	//	32 × 23 / 12 × 12 / 12		9.25	①黒褐 (>大きなEn-a)	
// -957	//	62 × 39 / 12 × 13 / 32		9.07	①褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③暗灰	
// -952	//	22 × 20 / 11 × 10 / 8		9.32	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1811	//	22 × — / 10 × — / 27		9.06	①明褐 (>En-a) ②明褐>黄 (>En-a)	
// -1810	//	10 × — / 5 × — / 5		9.29	①暗褐>黄 (>En-a)	
RLP-18	s-66・67	112 × 72 / 32 × 36 / 28		9.15	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄ボソボソ ③褐>黄 (+En-a) ④褐>黄 軟質	

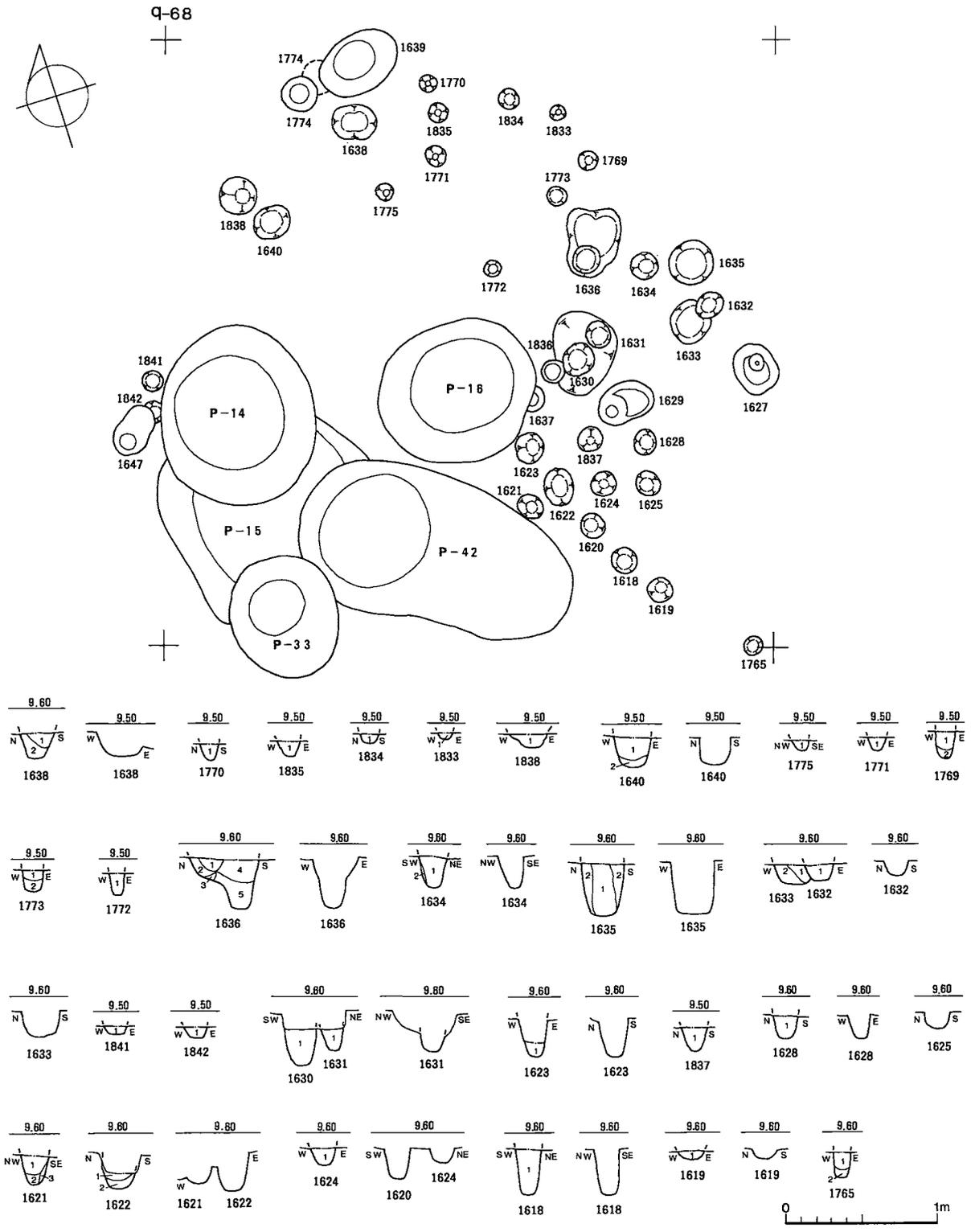
表IV-97 t-67の柱穴状態ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-784	t-67	24 × 24 / 20 × 18 / 32		8.79	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質 ③ ②+En-a ボロボロ	
// -912	//	22 × 20 / 11 × 12 / 12		9.13	①暗褐>黄 ②暗灰褐 (>En-a) 粘質	
// -916	//	43 × 37 / 5 × 5 / 39		8.83	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -782	//	27 × 24 / 14 × 14 / 16		9.09	①黒褐 (>下にEn-a) 粘質	
// -781	//	26 × 24 / 15 × 14 / 26		8.96	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -780	//	22 × 21 / 7 × 7 / 14		9.04	—	

u-67



図IV-96 u-67・v-67の柱穴状ピット



図IV-97 Q-68の柱穴状ピット

表IV-98 u-67の柱穴状ピット一覧

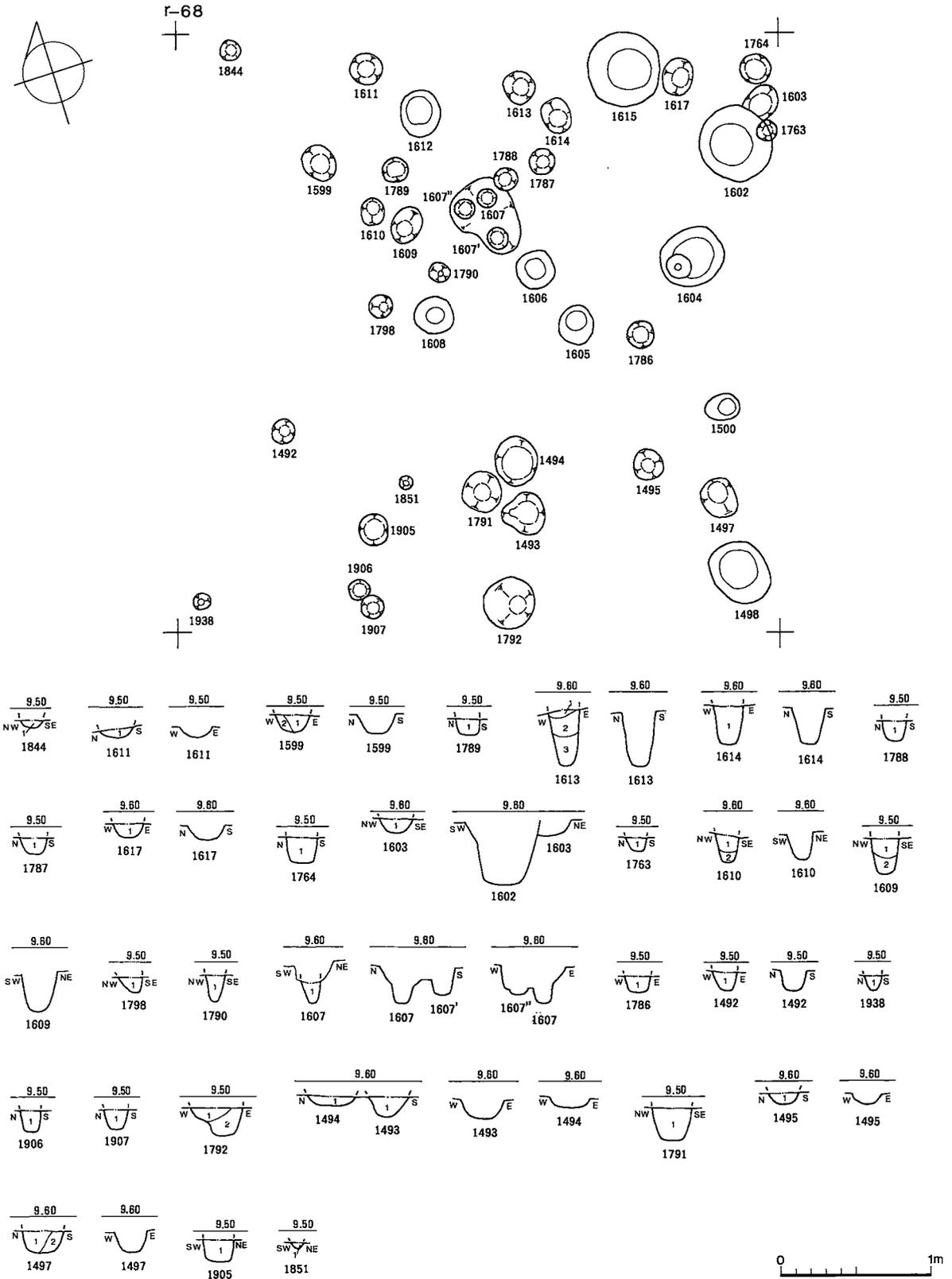
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-762	u-67	(26)×23 / (14)×13 / 10		8.80	①黒褐 (>En-a) ボロボロ	
// -735	//	22×20 / 10×10 / 8		8.77	①黒褐 (>En-a) ザラザラ	
// -789	//	20×19 / 9×9 / 7		8.90	①黒褐 (>En-a) ボロボロ	
// -799	//	67×43 / 50×13 / 13		8.82	①褐>黄 (>En-a) ②明褐 (+En-a) ボロボロ	

表IV-99 v-67の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-798	v-67	30×27 / 18×16 / 17		8.64	①黒 軟質 ②=① (>En-a) ザラザラ	
// -620	//	41×22 / 18×18 / 12		8.60	①黒褐>黄 (>En-a) 砂質	
// -619	//	21×20 / 9×8 / 8		8.63	①黒褐 ザラザラ	

表IV-100 q-68柱穴状ピット一覧

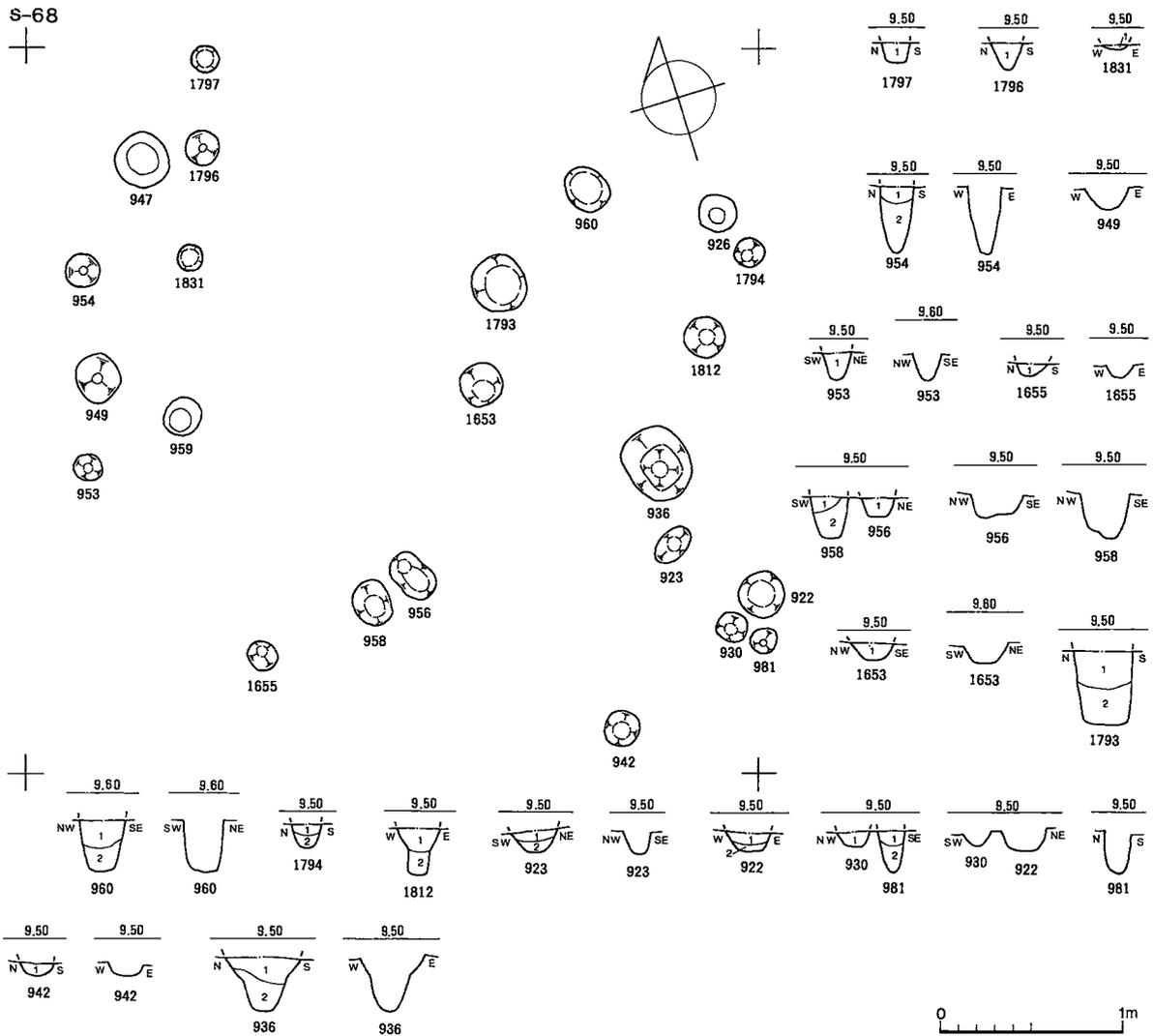
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1774'	q-68	— × — / — × — / —		—	—	
// -1638	//	29×23 / 17×13 / 16		9.28	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	フレイク
// -1770	//	12×— / 2×— / 11		9.25	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1835	//	14×— / 5×— / 10		9.28	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1834	//	13×— / 8×— / 6		9.36	①褐>黄 (>En-a)	
// -1833	//	10×— / 4×— / 5		9.39	①褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -1838	//	25×— / 10×— / 8		9.33	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1640	//	25×21 / 14×15 / 19		9.22	①褐 (>En-a) ②褐 (>En-a) 粘質	
// -1775	//	12×— / 3×— / 9		9.31	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1771	//	13×— / 3×— / 9		9.31	①褐>黄 (>En-a)	
// -1769	//	15×— / 5×— / 18		9.26	①褐>黄 (>En-a) ②褐+黄 (>En-a)	
// -1773	//	13×— / 10×— / 13		9.28	①暗褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1772	//	10×— / 6×— / 14		9.36	①褐>黄 (>En-a)	
// -1841	q-67	14×— / 10×— / 5		9.35	①褐>黄 (>En-a)	
// -1842	//	15×— / 9×— / 7		9.32	①暗褐>黄 (>En-a)	1842→RLP-14, 1647
// -1636	q-68	47×36 / 14×12 / 32		9.16	①褐>黄 ②=① (>En-a) ③En-a ④褐>黄 (>En-a) ⑤褐>黄 (>En-a)	フレイク、礫
// -1634	//	18×17 / 10×10 / 20		9.30	①黒褐>黄 (>En-a) 粘質 ② ①<En-a	砥石
// -1635	//	30×28 / 21×20 / 34		9.13	①黒褐 (>En-a) 粘質 ② ①>En-a	
// -1632	//	19×16 / 11×10 / 11		9.38	①暗褐>黄 (>En-a)	1632←1633
// -1633	//	(28)×26 / (21)×17 / 12		9.32	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	1633→1632
// -1631	//	17×17 / 12×10 / 27		9.22	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1837	//	17×— / 5×— / 16		9.23	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1628	//	16×14 / 10×9 / 15		9.31	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1625	//	16×15 / 9×8 / 11		9.38	—	
// -1624	//	18×18 / 6×7 / 14		9.39	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1622	//	25×19 / 15×11 / 24		9.21	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1623	//	20×18 / 10×8 / 25		9.20	①黒褐>黄 (>En-a) ザラザラ	フレイク
// -1621	//	18×15 / 8×7 / 19		9.26	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗灰褐 (>En-a) 粘質 ③ ①+En-a	
// -1618	//	18×16 / 10×10 / 30		9.18	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1619	//	16×16 / 8×8 / 6		9.42	①暗褐>黄	
// -1765	q-68、r-68	11×— / 8×— / 17		9.31	①褐>黄 (>En-a) ② ①<En-a	
// -1620	q-68	17×16 / 9×9 / 20		9.28	①暗褐 (>En-a) 粘質	
// -1630	//	23×20 / 14×12 / 34		9.14	①暗褐>黄 (>En-a) ボロボロ	



図IV-98 r-68の柱穴状ビット

表IV-101 r-68の柱穴状ピット一覧

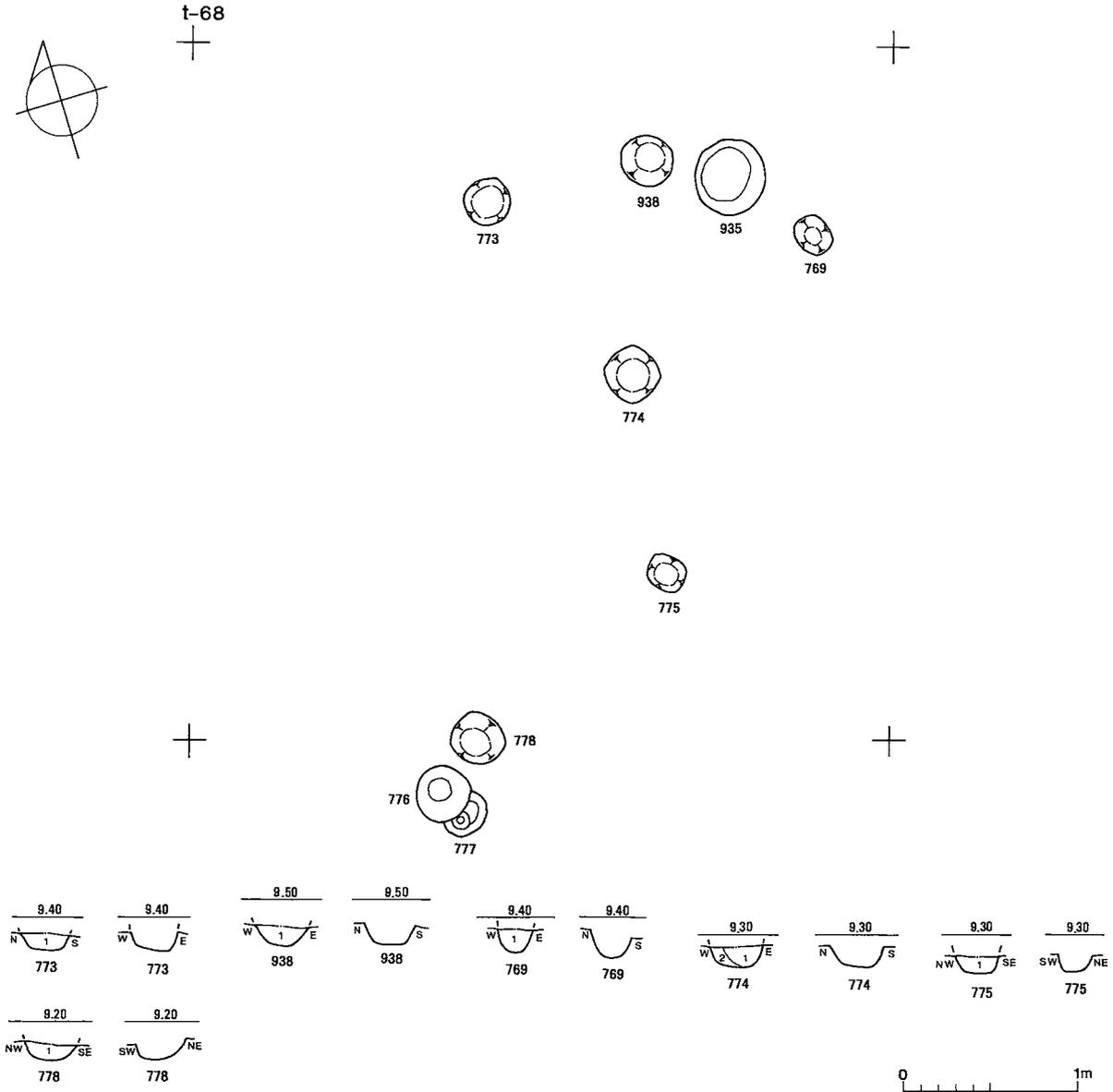
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(填底)面 (cm)	填底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1844	r-68	14 × - / 8 × - / 4		9.36	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1611	//	21 × 21 / 11 × 12 / 7		9.28	①暗褐 (>En-a) ザラザラ	
// -1599	//	25 × 21 / 13 × 12 / 12		9.32	①褐>黄 ② ①+En-a 軟質	
// -1789	//	16 × - / 15 × - / 10		9.30	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1610	//	18 × 16 / 9 × 8 / 17		9.27	①暗褐 (>En-a) ②=① 粘質	
// -1609	//	25 × 21 / 13 × 12 / 24		9.17	①暗褐 (>En-a) 粘質 ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1798	//	16 × - / 6 × - / 10		9.29	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1790	//	13 × - / 2 × - / 18		9.22	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1607	//	13 × 13 / 8 × 8 / 26		9.22	①暗褐 (>En-a)	
// -1607'	//	14 × 14 / 9 × 8 / 18		9.27	———	
// -1607''	//	14 × 14 / 9 × 9 / 19		9.27	———	
// -1788	//	16 × - / 10 × - / 13		9.26	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1787	//	17 × - / 10 × - / 10		9.32	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1614	//	22 × 19 / 12 × 12 / 26		9.24	①暗褐>黄 (>大きなEn-a)	
// -1613	//	23 × 20 / 12 × 11 / 38		9.10	①暗褐>黄 (>En-a) ② ①>En-aボロボロ	石鏃、フレイク
// -1617	//	25 × 20 / 13 × 11 / 9		9.41	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1764	//	20 × - / 15 × - / 16		9.26	①褐>黄 (+En-a) ボロボロ	
// -1603	//	(26) × 21 / (17) × 14 / 9		9.43	①黒 (>En-a)	1603→1602
// -1763	//	14 × - / 6 × - / 9		9.33	①暗褐>黄 (>En-a)	1602←1763
// -1786	//	17 × - / 2 × - / 10		9.29	①褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -1938	//	11 × - / 3 × - / 10		9.30	①褐>黄 (>En-a)	
// -1492	//	16 × 15 / 7 × 7 / 13		9.30	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1851	//	9 × - / 3 × - / 4		9.38	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1905	//	20 × - / 16 × - / 15		9.19	//	
// -1906	//	13 × - / 10 × - / 14		9.27	①褐+黄 (>En-a) 粘質	
// -1907	//	15 × - / 8 × - / 13		9.28	①褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -1792	//	34 × - / 12 × - / 18		9.24	①黒褐 (>En-a) ボソボソ ②暗褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -1791	//	26 × - / 12 × - / 21		9.20	①褐>黄 (>En-a)	
// -1494	//	32 × 28 / 22 × 21 / 7		9.42	①黒褐 (>En-a)	
// -1493	//	29 × 28 / 19 × 15 / 13		9.35	//	
// -1495	//	20 × 20 / 10 × 9 / 8		9.44	①褐>黄 (>En-a)	
// -1497	//	28 × 22 / 14 × 13 / 14		9.35	①褐>黄 軟質 ②褐>黄 (>En-a) 軟質	



図IV-99 s-68の柱穴状ピット

表IV-102 s-68の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(填底)面 (cm)	填底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1797	s-68	15 × - / 10 × - / 11		9.30	①暗褐>黄 (>En-a)	
"-1796	"	17 × - / 4 × - / 15		9.26	①暗褐>黄 (>En-a)	
"-1831	"	13 × - / 10 × - / 2		9.38	①暗褐 (>En-a)	
"-954	"	19 × 19 / 5 × 4 / 37		9.06	①褐>黄 ②暗褐>黄 (>En-a)	
"-949	"	28 × 26 / 5 × 4 / 11		9.30		
"-953	"	17 × 15 / 5 × 5 / 15		9.27	①褐>黄 (>En-a)	
"-1655	"	16 × 15 / 6 × 6 / 7		9.28	①褐>黄 (>En-a)	
"-958	"	25 × 20 / 12 × 11 / 24		9.09	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗灰褐 (>En-a) 粘質	フレイク
"-956	"	28 × 18 / 8 × 8 / 12		9.21	①褐>黄 (>En-a)	
"-1653	"	25 × 23 / 11 × 12 / 10		9.32	①暗褐>黄 (+En-a)	
"-1793	"	32 × - / 24 × - / 40		9.98	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	
"-960	"	26 × 22 / 18 × 16 / 24		9.16	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
"-1794	s-68・69	16 × - / 5 × - / 13		9.29	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
"-1812	s-68	23 × - / 10 × - / 25		9.15	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
"-936	"	42 × 34 / 10 × 10 / 30		9.10	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗灰褐 (>En-a) 粘質	
"-923	"	24 × 15 / 8 × 8 / 11		9.28	①暗褐 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
"-922	s-68・69	25 × 24 / 15 × 14 / 10		9.29	①黒褐 ②黒褐>黄 (>En-a)	
"-981	"	14 × 14 / 3 × 4 / 22		9.16	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	
"-930	s-68	17 × 15 / 7 × 6 / 8		9.32	①暗褐>黄 (>En-a)	
"-942	"	20 × 19 / 10 × 10 / 8		9.29	①黒褐 (>En-a)	



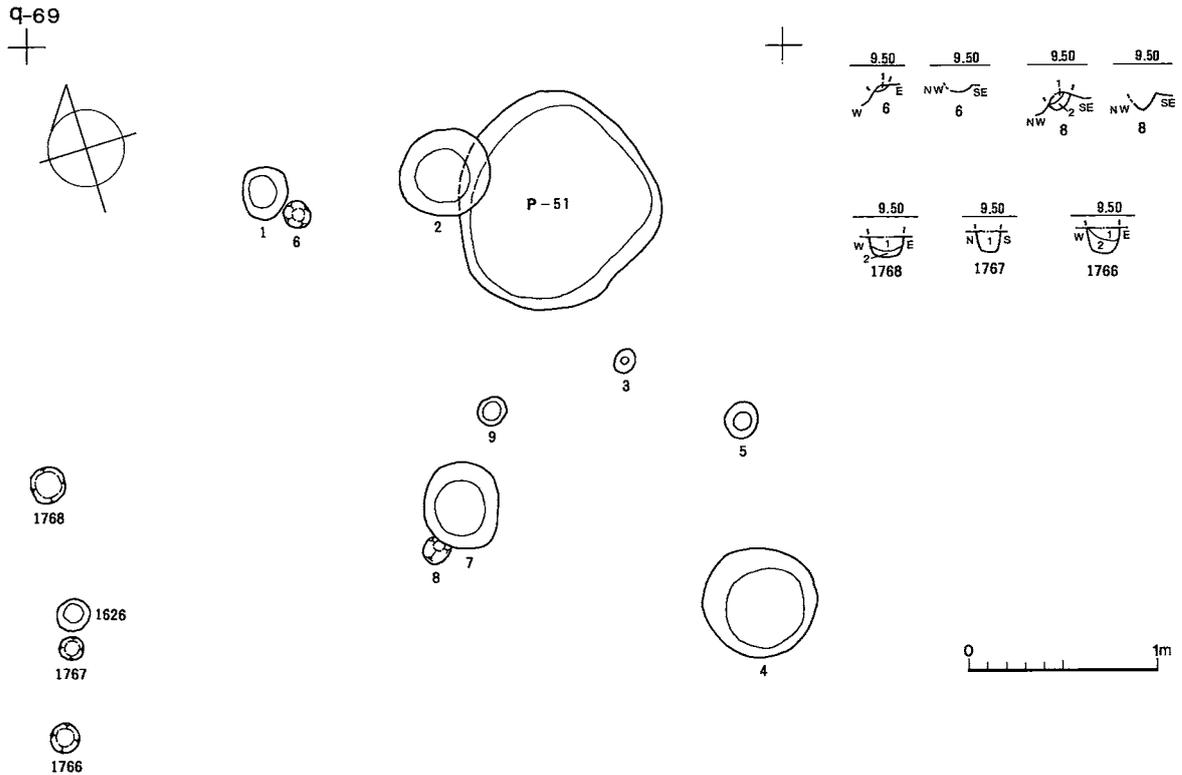
図IV-100 t-68の柱穴状ピット

表IV-103 t-68の柱穴状ピット一覧

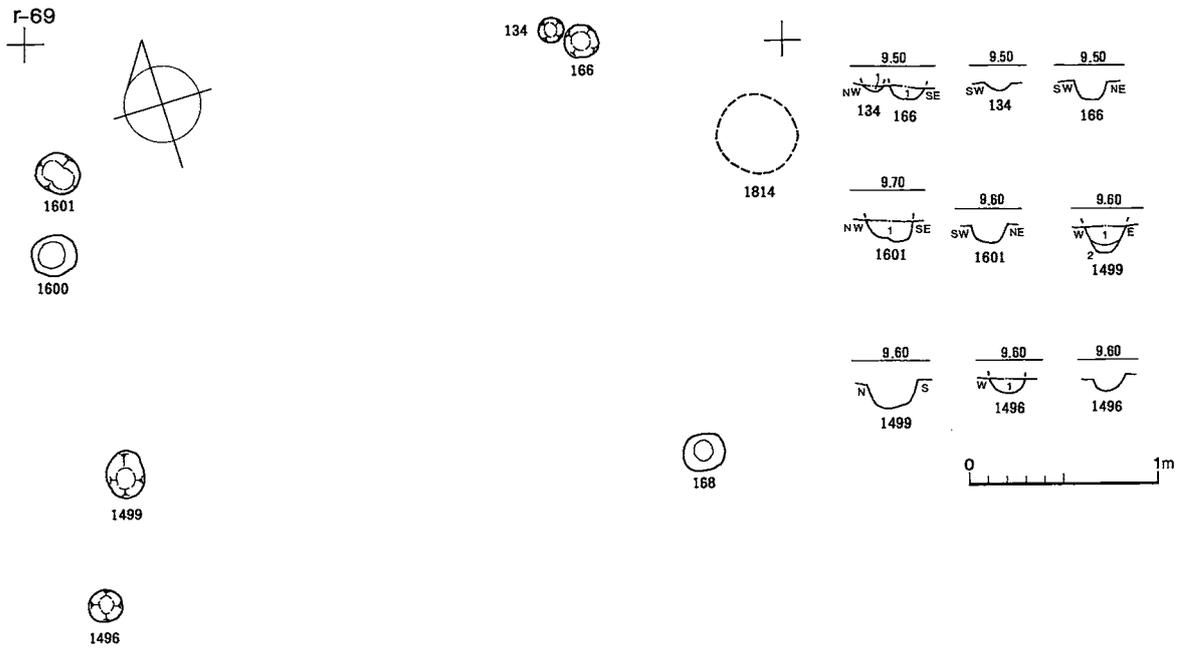
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-773	t-68	27 × 25	18 × 19 / 10	9.20	①黒褐 (>大きなEn-a)	
〃 -938	〃	31 × 29	17 × 17 / 11	9.24	①黒褐 (>En-a)	フレイク
〃 -769	〃	23 × 20	11 × 10 / 14	9.18	〃	
〃 -774	〃	30 × 30	19 × 19 / 14	9.12	①暗褐>黄 ザラザラ ② ①>En-a	
〃 -775	〃	22 × 20	14 × 12 / 10	9.08	①黒褐 (>En-a) 上ザラザラ 下粘質	
〃 -778	t-68・u-68	31 × 28	18 × 16 / 10	8.98	①暗褐>黄 (>En-a) ボロボロ	

表IV-104 q-69の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1768	q-69	20 × -	14 × - / 10	9.29	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
〃 -1767	〃	13 × -	7 × - / 11	9.31	①暗褐>黄 (>En-a)	炭化物混入
〃 -1766	〃	16 × -	11 × - / 13	9.30	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
〃 -6	〃	(13) × (13)	(8) × (8) / 3	9.36	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -8	〃	(14) × 14	(6) × 5 / 10	9.25	①褐>黄 ②褐>黄 (>En-a)	



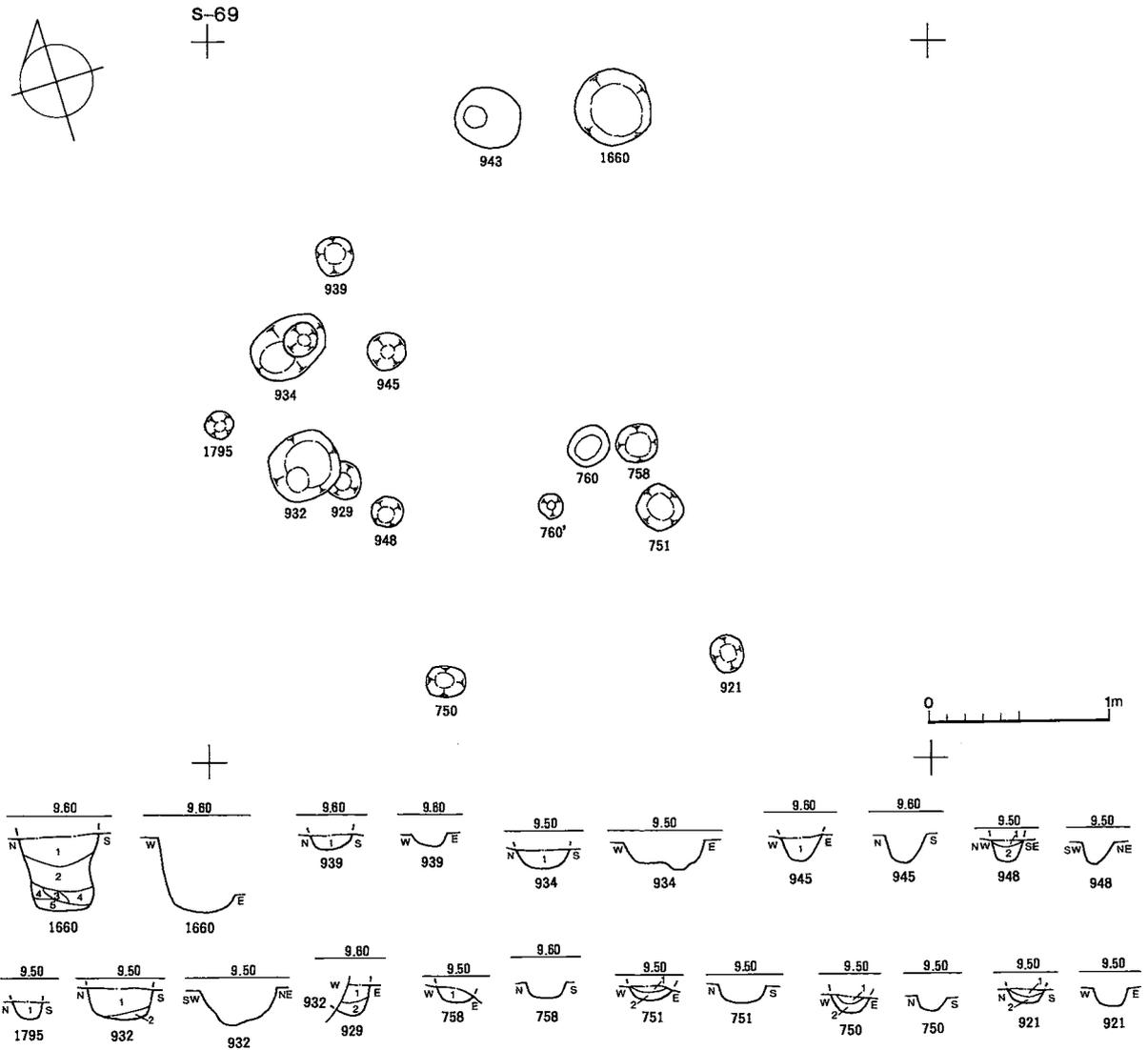
図IV-101 q-69の柱穴状ピット



図IV-102 r-69の柱穴状ピット

表IV-105 r-69の柱穴状ピット一覧

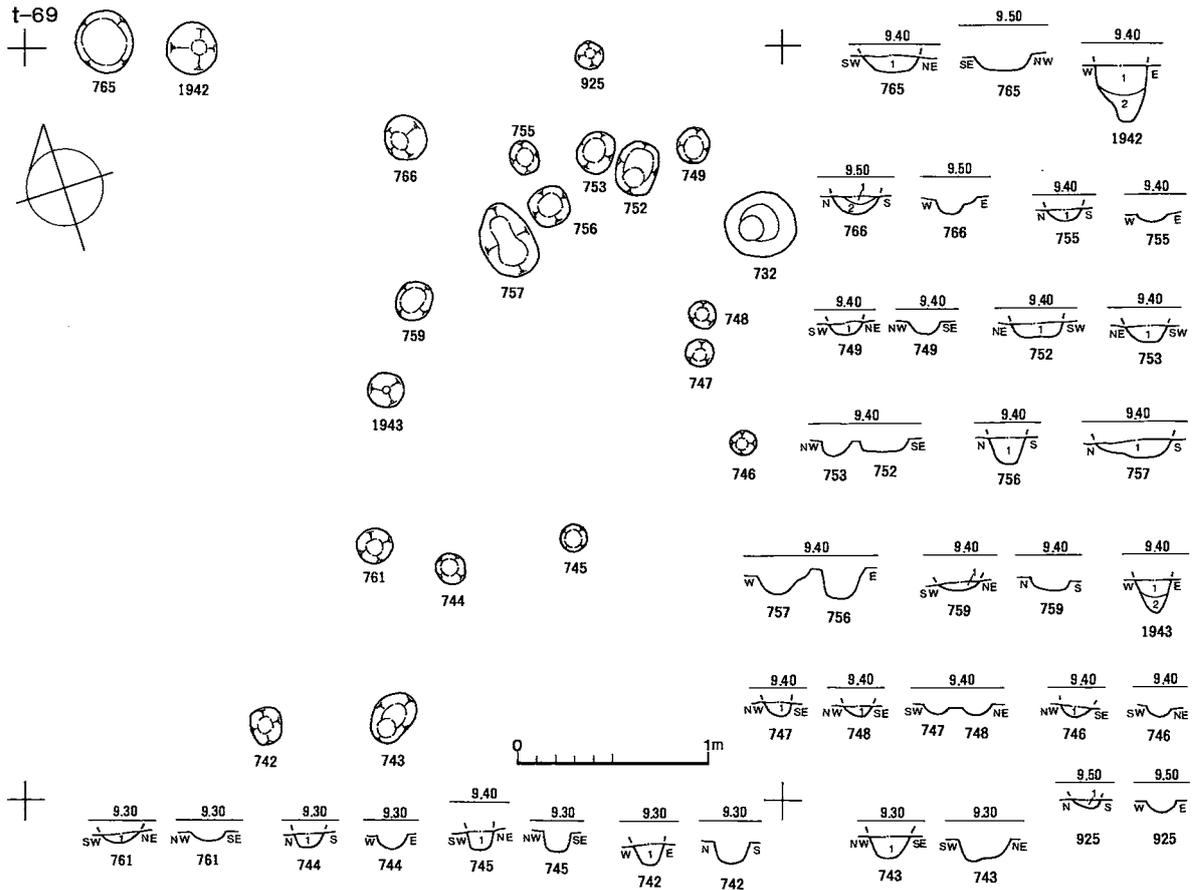
柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1601	r-69	24 × 20	18 × 12 / 11	9.42	①黒褐>黄 (>En-a) 軟質	
// -1499	//	25 × 21	12 × 11 / 16	9.34	①褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -1496	//	18 × 17	10 × 9 / 8	9.42	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -134	q-69	14 × 13	8 × 7 / 4	9.38	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -166	q-69・r-69	18 × 18	10 × 10 / 10	9.31	//	
// -1814	r-69・70	(43) × (41)	— × — / —	—	—	



図IV-103 s-69の柱穴状ピット

表IV-106 s-69の柱穴状ピット一覧

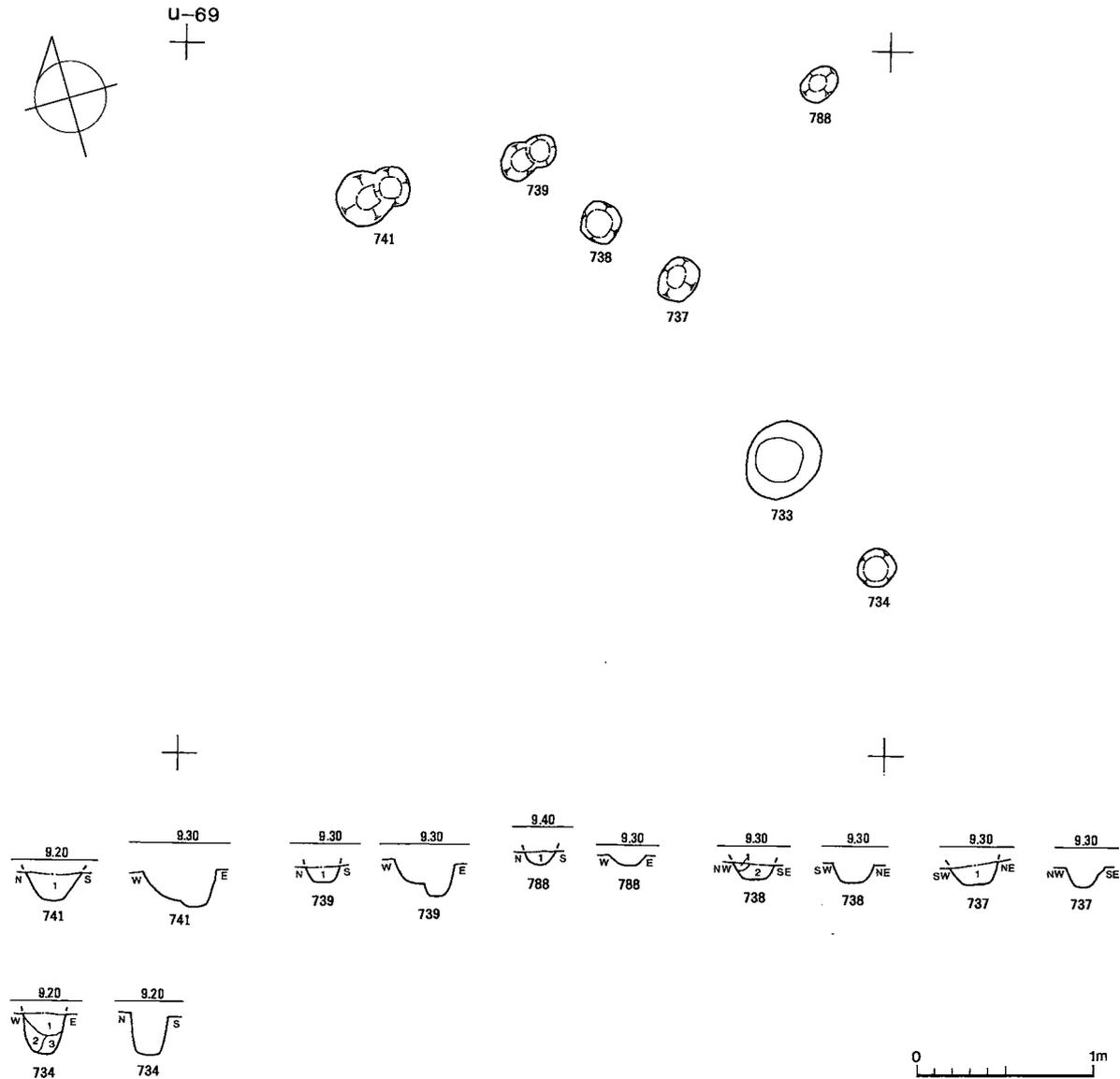
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	坑底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1660	s-69	42 × 42 / 30 × 28 / 42		9.06	①黒褐 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ③明褐 ④暗褐>黄 (>En-a) ⑤黒褐 (>En-a) 粘質	
〃 -939	〃	21 × 20 / 11 × 12 / 8		9.42	①黒褐 (>En-a) ザラザラ	
〃 -945	〃	22 × 21 / 8 × 7 / 14		9.31	①暗褐>黄 軟質	
〃 -934	〃	45 × 32 / 6 × 7 / 17		9.28	①黒褐>黄 (>En-a)	
〃 -1795	〃	16 × — / 8 × — / 9		9.26	①黒 ポソポソ	
〃 -932	〃	40 × 37 / 13 × 13 / 21		9.22	①黒褐 (>En-a) 粘質 ②En-a>黒褐>黄	932←929
〃 -929	〃	(22) × 20 / (11) × 10 / 18		9.28	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	929→932
〃 -948	〃	18 × 18 / 9 × 9 / 11		9.30	①暗褐 ②>En-a	
〃 -750	〃	23 × 18 / 11 × 8 / 9		9.28	①暗褐>黄 粘質 ②En-a>① 粘質	
〃 -760'	〃	14 × 13 / 6 × 6 / —		—	—	
〃 -758	〃	24 × 22 / 14 × 14 / 7		9.37	①黒褐 (>En-a) 粘質	
〃 -751	〃	26 × 24 / 15 × 14 / 8		9.34	①黒褐 (>En-a) ② ①>En-a	
〃 -921	〃	21 × 18 / 10 × 9 / 9		9.30	①暗褐>黄 ②暗褐 (>En-a) 粘質	



図IV-104 t-69の柱穴状ピット

表IV-107 t-69の柱穴状ピット一覧

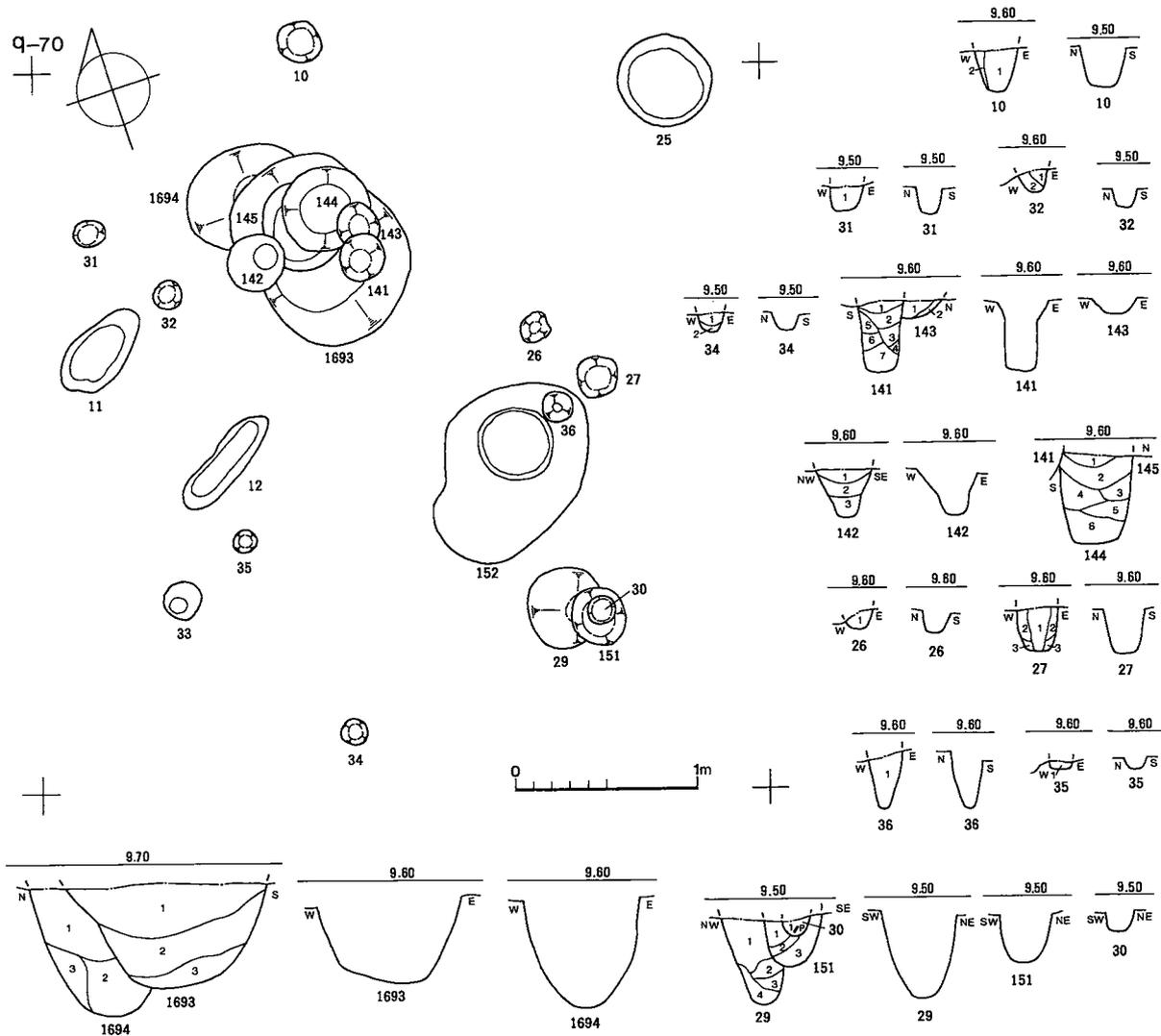
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(堀底)面 (cm)	堀底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-765	s-69・t-69	31 × 30	24 × 24 / 7	9.25	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -1942	〃	27 × --	6 × -- / 30	8.98	①暗褐>黄 ②暗灰褐 粘質	
〃 -766	t-69	24 × 23	10 × 8 / 10	9.30	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 ボソボソ	
〃 -925	s-69・t-69	15 × 14	6 × 5 / 5	9.34	①褐>黄 (>En-a)	
〃 -749	t-69	18 × 16	12 × 11 / 6	9.26	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -752	〃	28 × 22	12 × 12 / 8	9.25	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -753	〃	22 × 19	13 × 12 / 7	9.23	①褐>黄 (>En-a)	
〃 -755	〃	17 × 15	10 × 9 / 6	9.26	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -756	〃	21 × 20	13 × 12 / 13	9.18	①褐>黄 (>En-a)	=1908
〃 -757	〃	41 × 28	28 × 16 / 9	9.20	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い	
〃 -759	〃	21 × 20	17 × 12 / 6	9.22	①褐>黄 (>En-a)	
〃 -1943	〃	18 × --	2 × -- / 18	9.08	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -748	〃	15 × 14	7 × 7 / 5	9.26	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -747	〃	14 × 14	7 × 7 / 7	9.26	〃	
〃 -746	〃	14 × 12	6 × 6 / 6	9.24	〃	
〃 -745	〃	14 × 14	9 × 9 / 10	9.12	①暗褐>黄 (>En-a) 粘質	
〃 -744	〃	17 × 16	9 × 8 / 8	9.15	①黒褐>黄 (>En-a)	
〃 -761	〃	19 × 18	9 × 9 / 4	9.18	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
〃 -743	〃	29 × 21	10 × 10 / 10	9.10	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
〃 -742	〃	18 × 17	9 × 8 / 10	9.07	①黒褐>黄 (>En-a) 粘質、堅い	



図IV-105 u-69の柱穴状ピット

表IV-108 u-69の柱穴状ピット一覧

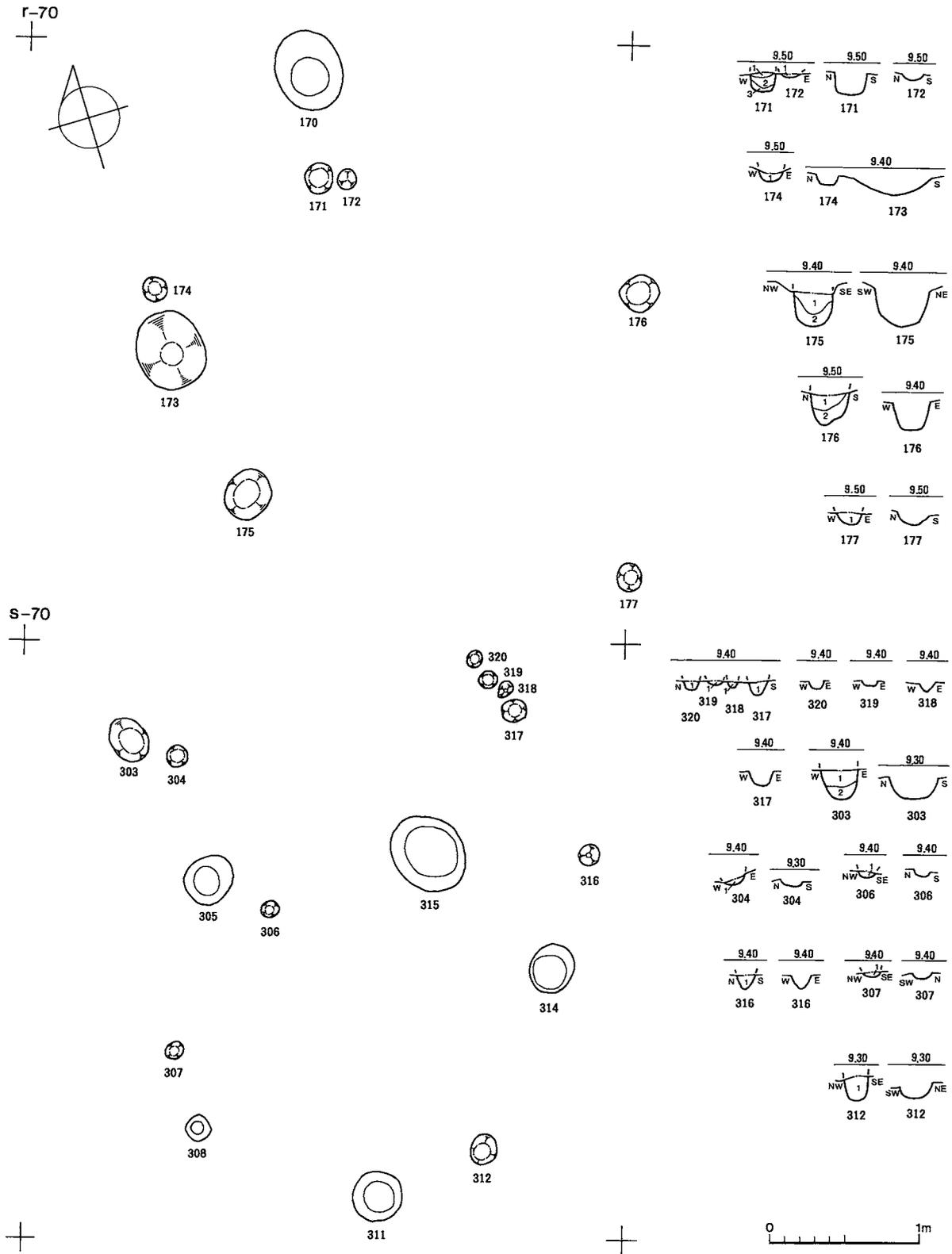
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP- 741	u-69	44 × 31 / 12 × 12 / 22		8.93	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// - 739	//	35 × 21 / 12 × 12 / 18		9.00	①黒褐 (>小さなEn-a) ザラザラ	
// - 738	//	23 × 22 / 15 × 15 / 10		9.09	①褐>黄 ボソボソ ②暗褐>黄 (>En-a)	
// - 788	//	23 × 17 / 11 × 10 / 8		9.18	①褐>黄 (>En-a)	
// - 737	//	26 × 21 / 13 × 10 / 11		9.17	①暗褐>黄 (>En-a)	
// - 734	u-69・70	22 × 21 / 16 × 14 / 23		8.89	①暗褐>黄 (>En-a) ② ①+En-a ボソボソ ③暗黄褐 (>En-a) 粘質	



図IV-106 q-70の柱穴状ピット

表IV-109 q-70の柱穴状ピット一覧(1)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-10	P-70	24 × 22	15 × 15 / 12	9.22	①淡黄褐 (>小さなEn-a) ② ①+En-a 粘質	
// -31	q-70	17 × 17	10 × 10 / 15	9.24	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -32	//	15 × 15	9 × 9 / 11	9.35	①褐>黄 (>En-a) ②≒① (>En-a)	
// -142	//	33 × 30	14 × 14 / 25	9.20	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③≒① 軟質、ボロボロ	142←145, 1693, 1694
// -141	//	26 × 24	12 × 12 / 38	9.08	①暗褐>黄 (>En-a) 堅く、ザラザラ ②暗褐 >黄 粘質 ③暗褐>黄 (>En-a) 粘質 ④≒ ③ (③より大きなEn-aが多い) ⑤褐>黄 (+ En-a) ⑥褐+黄 (>En-a) ⑦黄褐<En-a	141←143, 1693
// -143	//	25 × 23	14 × 12 / 9	9.38	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 軟質	141←143←144, 1693
// -1693	//	(80) × (80)	(45) × (58) / 48	9.05	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) ③En-a ボロボロ	1693←1694
// -1694	//	(70) × (58)	(24) × (24) / 60	9.00	①黒褐 (>小さなEn-a) ②≒① (①より小さ なEn-a) やや粘質 ③En-a ボロボロ	
// -26	//	15 × 15	9 × 9 / 12	9.35	①褐>黄 (>En-a)	
// -27	//	22 × 22	15 × 14 / 25	9.23	①褐>黄 (>En-a) ②≒① (軟質) ③≒② (En-a やや多く、ややボソボソ)	Rフレイク、フレイク
// -36	//	18 × 18	6 × 6 / 30	9.18	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	36←152, Rフレイク
// -35	//	12 × 12	8 × 8 / 6	9.39	①褐>黄 (>En-a)	
// -34	//	15 × 13	9 × 9 / 9	9.32	①褐>黄 (>En-a) ②En-a>褐 ボソボソ	



図IV-107 r-70・s-70の柱穴状ピット

表IV-110 q-70の柱穴状ピット一覧(2)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-30	q-70	16 × 16	12 × 12 / 12	9.29	①褐+黄 (>En-a) ボソボソ	30←-151
// -151	//	32 × 28	20 × 18 / 24	9.12	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③黄褐+En-a 堅い	
// -29	//	44 × 40	15 × 15 / 46	8.94	①暗褐>黄 (>En-a) 炭化物混入 ②=① (>大きなEn-a) ③=④ (堅く、暗褐多い) ④灰褐 (+En-a) 粘質	
// -144	//	48 × 46	28 × 26 / 48	9.03	①暗褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a) ③=② (②より大きなEn-a) ④褐>黄 (>En-a) ザラザラ ⑤褐>黄 (>小さなEn-a) 粘質 ⑥En-a+暗黄褐 ボロボロ	フレイク

表IV-111 r-70の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-171	r-70	19 × 19	12 × 12 / 14	9.29	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>小さなEn-a) ③黄褐+En-a ザラザラ	
// -172	//	13 × 12	— × — / 4	9.39	①褐<黄 (+En-a)	
// -174	//	16 × 15	9 × 6 / 6	9.28	①暗灰褐	
// -173	//	52 × 44	15 × 14 / 10	9.22		
// -175	//	34 × 30	20 × 16 / 25	9.03	①黒褐 粘質 ②=① En-aが少量混入	
// -176	r-70・71	24 × 22	16 × 15 / 19	9.14	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -177	//	19 × 16	9 × 7 / 9	9.30	①褐>黄 (>En-a)	

表IV-112 s-70の柱穴状ピット一覧

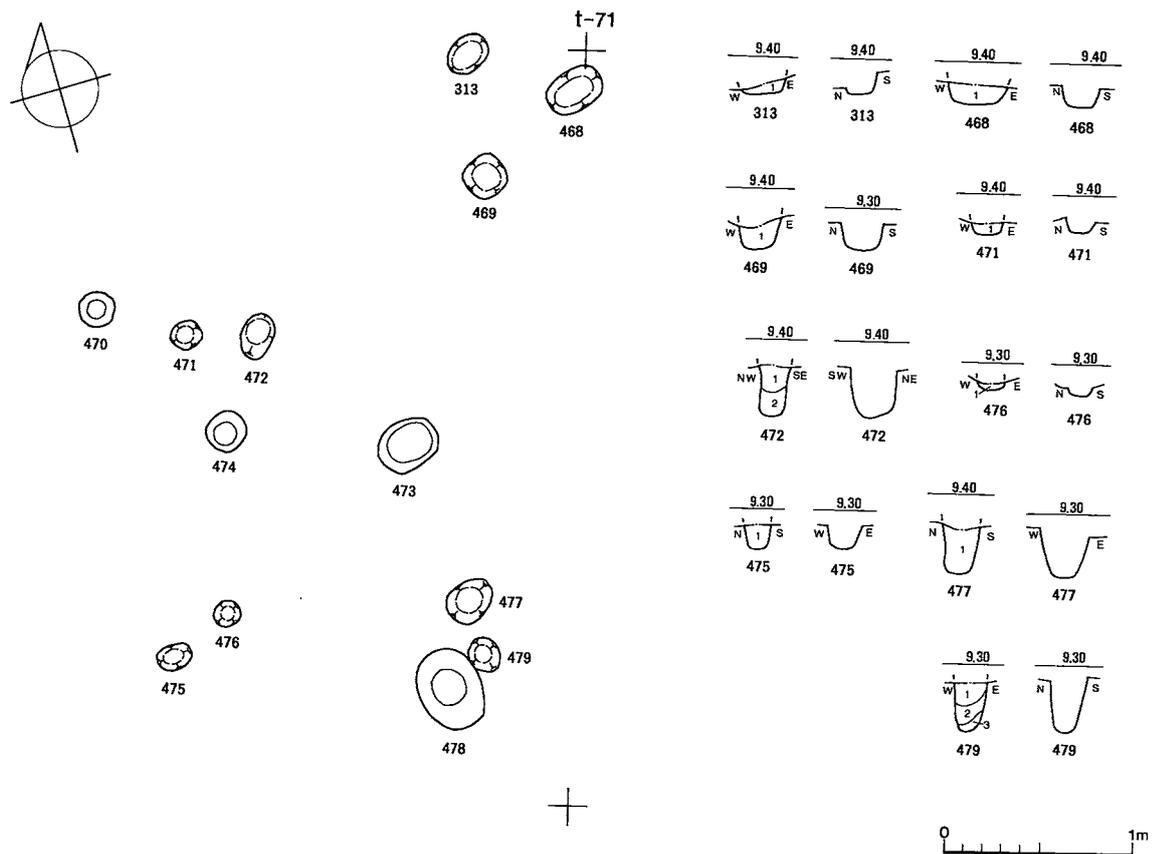
柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-303	s-70	31 × 24	18 × 19 / 19	9.08	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a)	
// -304	//	14 × 13	8 × 8 / 7	9.19	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -306	//	12 × 10	6 × 6 / 4	9.26	①褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -307	//	12 × 10	7 × 6 / 4	9.28	①黒褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -312	//	20 × 17	12 × 11 / 15	9.16	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -316	//	14 × 14	3 × 3 / 10	9.20	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -317	//	16 × 14	8 × 7 / 9	9.16	①暗褐>黄 (>En-a) 軟質	
// -318	//	11 × 8	2 × 2 / 6	9.19	①褐>黄 軟質	
// -319	//	12 × 11	7 × 7 / 3	9.22	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -320	//	11 × 9	6 × 6 / 4	9.20	①暗褐>黄 (>En-a)	

表IV-113 t-70の柱穴状ピット一覧

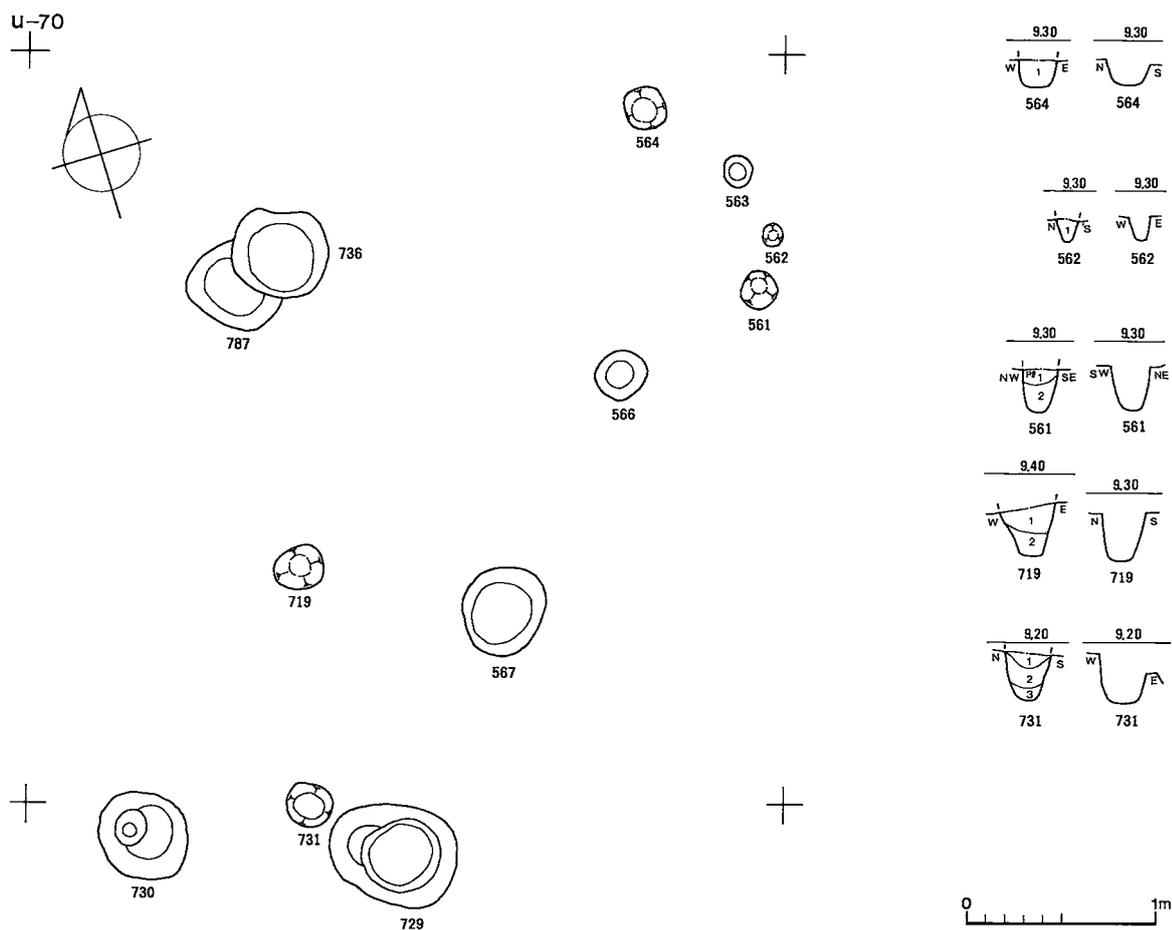
柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-313	s-70・t-70	24 × 18	17 × 13 / 13	9.20	①褐>黄 (>En-a)	
// -468	t-70・71	30 × 21	20 × 13 / 12	9.16	①褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -469	t-70	22 × 22	16 × 14 / 14	9.07	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -471	//	16 × 15	9 × 9 / 9	9.20	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ザラザラ	
// -472	//	24 × 17	14 × 12 / 27	8.99	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -475	//	18 × 13	10 × 8 / 14	9.10	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -476	//	14 × 13	8 × 7 / 4	9.14	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -477	//	26 × 20	14 × 13 / 27	8.97	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -479	//	19 × 16	10 × 8 / 30	8.94	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②=① (>En-a) ③暗褐>黄 (>En-a)	

表IV-114 u-70の柱穴状ピット一覧

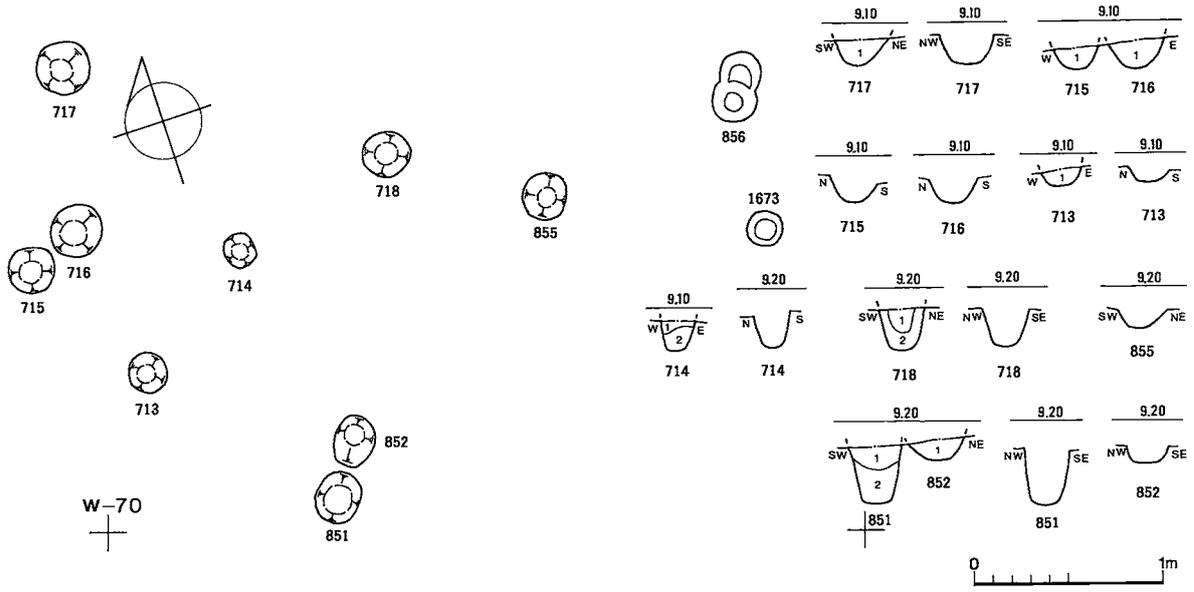
柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-564	u-70	22 × 21	13 × 13 / 14	9.06	①黒褐>黄 (>小さなEn-a) ザラザラ	
// -562	//	12 × 11	5 × 5 / 11	9.04	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -561	//	20 × 19	9 × 9 / 23	8.94	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②=① (>En-a) 軟質	
// -719	//	27 × 23	11 × 11 / 25	8.94	①暗褐>黄 ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -731	u-70・v-70	25 × 23	17 × 14 / 16	8.87	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (>En-a) ③暗褐>黄 (>En-a)	



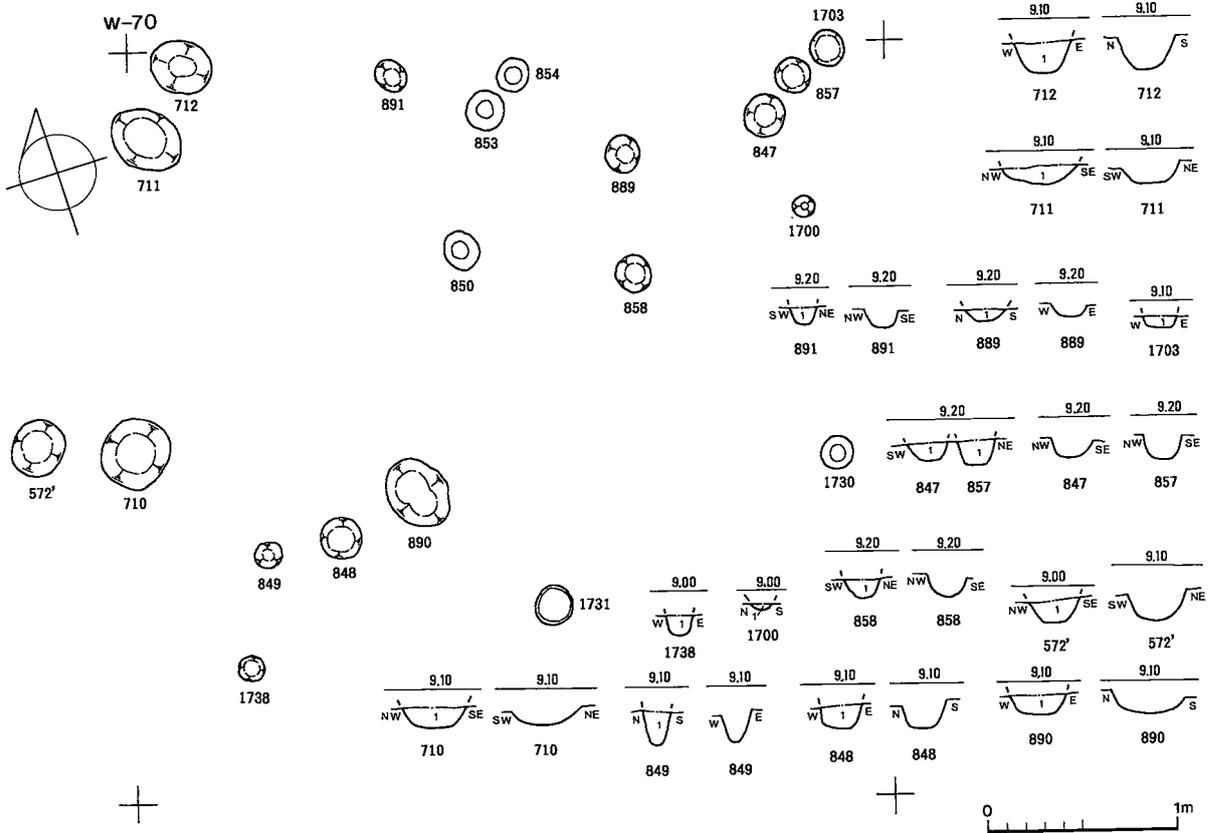
図IV-108 t-70の柱穴状ピット



図IV-109 u-70の柱穴状ピット



図IV-110 v-70の柱穴状ピット



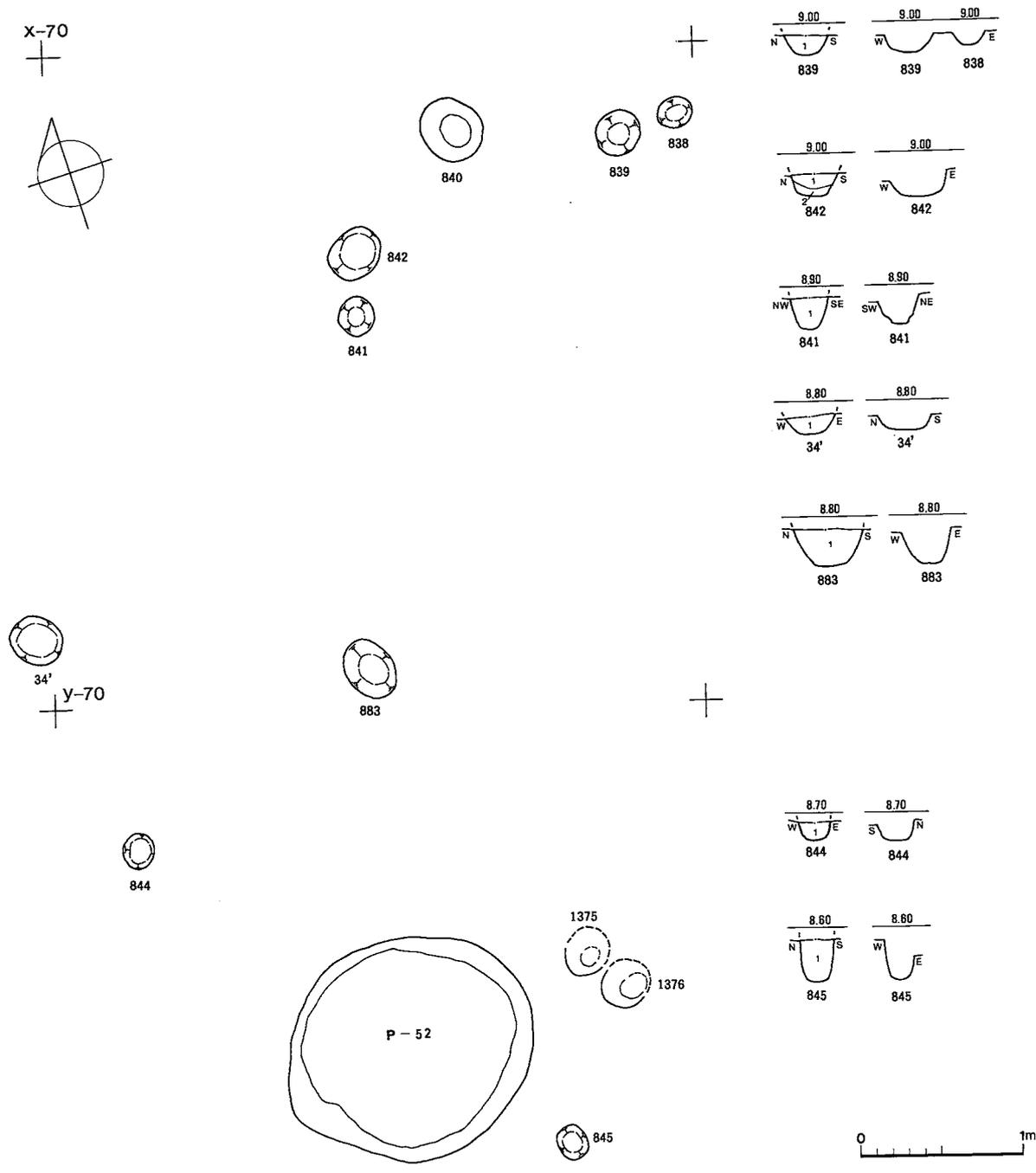
図IV-111 w-70の柱穴状ピット

表IV-115 v-69・70の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-717	v-69	29 × 29	12 × 12 / 16	8.88	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -715	〃	25 × 24	12 × 12 / 15	8.85	①黒 (>En-a) ザラザラ	
〃 -716	〃	29 × 27	13 × 14 / 13	8.84	〃	
〃 -714	v-70	18 × 16	9 × 8 / 15	8.88	①暗褐>黄 ②暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -713	〃	21 × 20	10 × 10 / 8	8.94	①黒褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
〃 -718	〃	25 × 24	15 × 12 / 20	8.88	①暗褐>黄 ②暗褐>黄 (+En-a)	
〃 -855	〃	25 × 23	10 × 10 / 10	8.98		
〃 -852	〃	28 × 22	11 × 11 / 11	8.97	①黒褐>黄 (>En-a)	
〃 -851	〃	28 × 24	15 × 15 / 30	8.75	①暗褐 (>小さなEn-a) ②黒褐 (>En-a)	

表IV-116 w-70の柱穴状ピット一覧

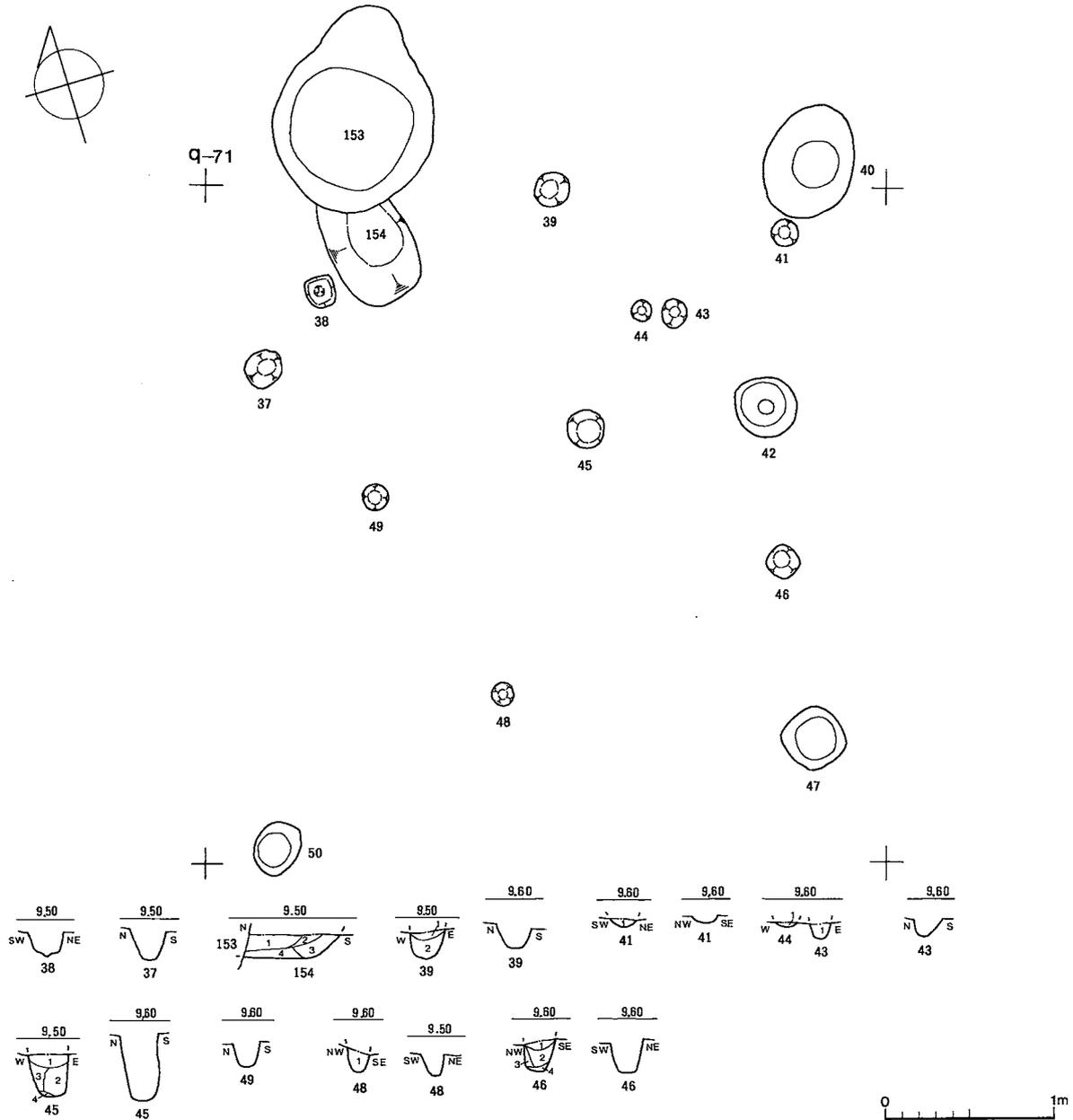
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-712	v-70・w-70	33 × 28	15 × 11 / 16	8.82	①黒褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
〃 -711	w-69・70	40 × 31	24 × 20 / 10	8.91	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -891	w-70	18 × 14	10 × 8 / 10	8.89	①黒褐 (>En-a)	
〃 -1703	v-70、w-70	18 × -	15 × - / 6	8.95	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -857	w-70	19 × 18	13 × 12 / 14	8.96	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
〃 -847	〃	22 × 20	12 × 12 / 10	8.98	〃	
〃 -1700	〃	10 × -	4 × - / 3	8.89	①暗褐>黄	
〃 -889	〃	19 × 18	10 × 10 / 7	9.02	①黒 ボソボソ	
〃 -858	〃	20 × 18	12 × 11 / 11	8.96	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
〃 -572'	w-69	30 × 26	17 × 16 / 13	8.80	①黒褐 (>En-a) ボロボロ	
〃 -710	w-69・70	37 × 34	21 × 20 / 12	8.90	①黒褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
〃 -849	w-70	15 × 14	6 × 6 / 18	8.80	①暗褐	
〃 -848	〃	22 × 22	14 × 15 / 13	8.85	〃	
〃 -890	〃	40 × 31	26 × 18 / 12	8.92	〃	
〃 -1738	〃	14 × -	9 × - / 10	8.77	①黒褐 (>En-a)	



図IV-112 x-70・y-70の柱穴状ピット

表IV-117 x-70・y-70の柱穴状ピット一覧

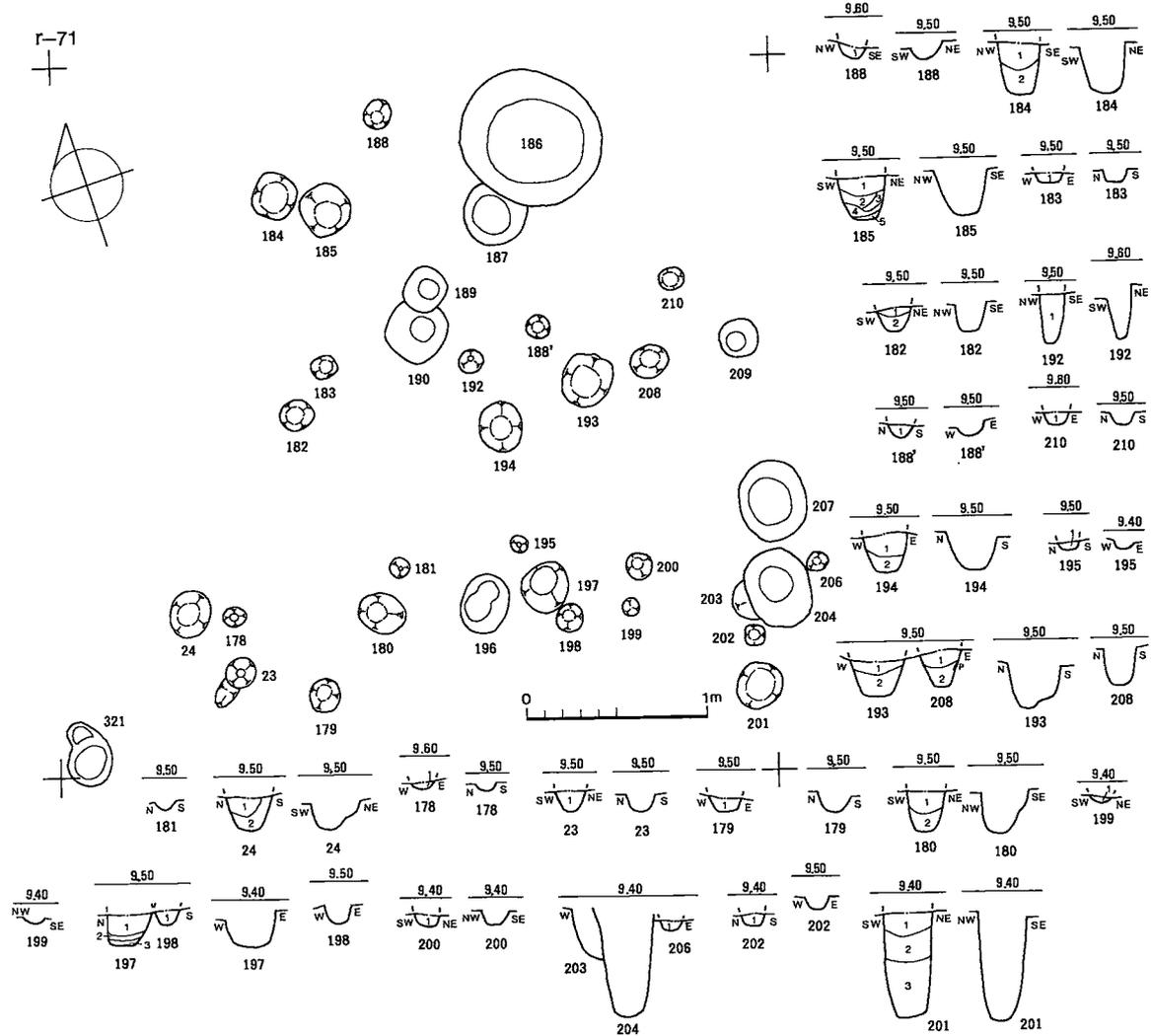
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-839	x-70	28 × 26 / 14 × 13 / 11		8.80	①暗褐	
〃 -842	〃	34 × 28 / 22 × 21 / 14		8.72	①暗褐 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -841	〃	24 × 22 / 12 × 11 / 19		8.66	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -883	〃	40 × 30 / 20 × 16 / 21		8.50	①暗褐>黄 (>下にEn-a)	
〃 -34'	x-69・70	32 × 29 / 23 × 22 / 9		8.61	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -838	x-70	22 × 18 / 14 × 10 / 9		8.84	——	
〃 -844	y-70	22 × 19 / 15 × 13 / 11		8.53	①暗褐>黄	
〃 -845	〃	21 × 18 / 13 × 12 / 26		8.26	①暗褐 (>En-a) 粘質	



図IV-113 q-71の柱穴状ピット

表IV-118 q-71の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-41	q-71	16 × 15 / 8 × 7 / 5		9.46	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -43	//	16 × 14 / 6 × 6 / 10		9.37	①褐>黄 (>En-a) 軟質、ボソボソ	
// -44	//	12 × 10 / 5 × 5 / 3		9.44	①褐+黄 (>En-a) 堅い	
// -39	p-71・q-71	22 × 20 / 11 × 10 / 16		9.26	①褐>黄 (>En-a) ②En-a+明黄褐	
// -154	q-71	— × 49 / — × 30 / 15		9.25	①褐>黄 (+En-a) 堅い ②暗褐>黄 (>En-a) ③=② (>En-a) ④褐>黄 (>小さなEn-a)	154→153
// -38	q-71	19 × 18 / 13 × 13 / 15		9.29	————	
// -37	//	22 × 21 / 10 × 10 / 20		9.26	————	
// -49	//	15 × 15 / 8 × 8 / 15		9.31	————	
// -45	//	22 × 22 / 14 × 12 / 39		9.12	①褐>黄 (>En-a) 堅い ②褐>黄 ボソボソ ③=② (>En-a) ④褐>黄 (>En-a) 堅い	
// -46	q-71	18 × 18 / 10 × 10 / 19		9.28	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②大きなEn-a> ① ③=① (黒っぽい砂混入) ④=① 粘質	
// -48	q-71	13 × 13 / 6 × 6 / 13		9.27	①褐>黄 (>En-a) 堅い	炭化物混入



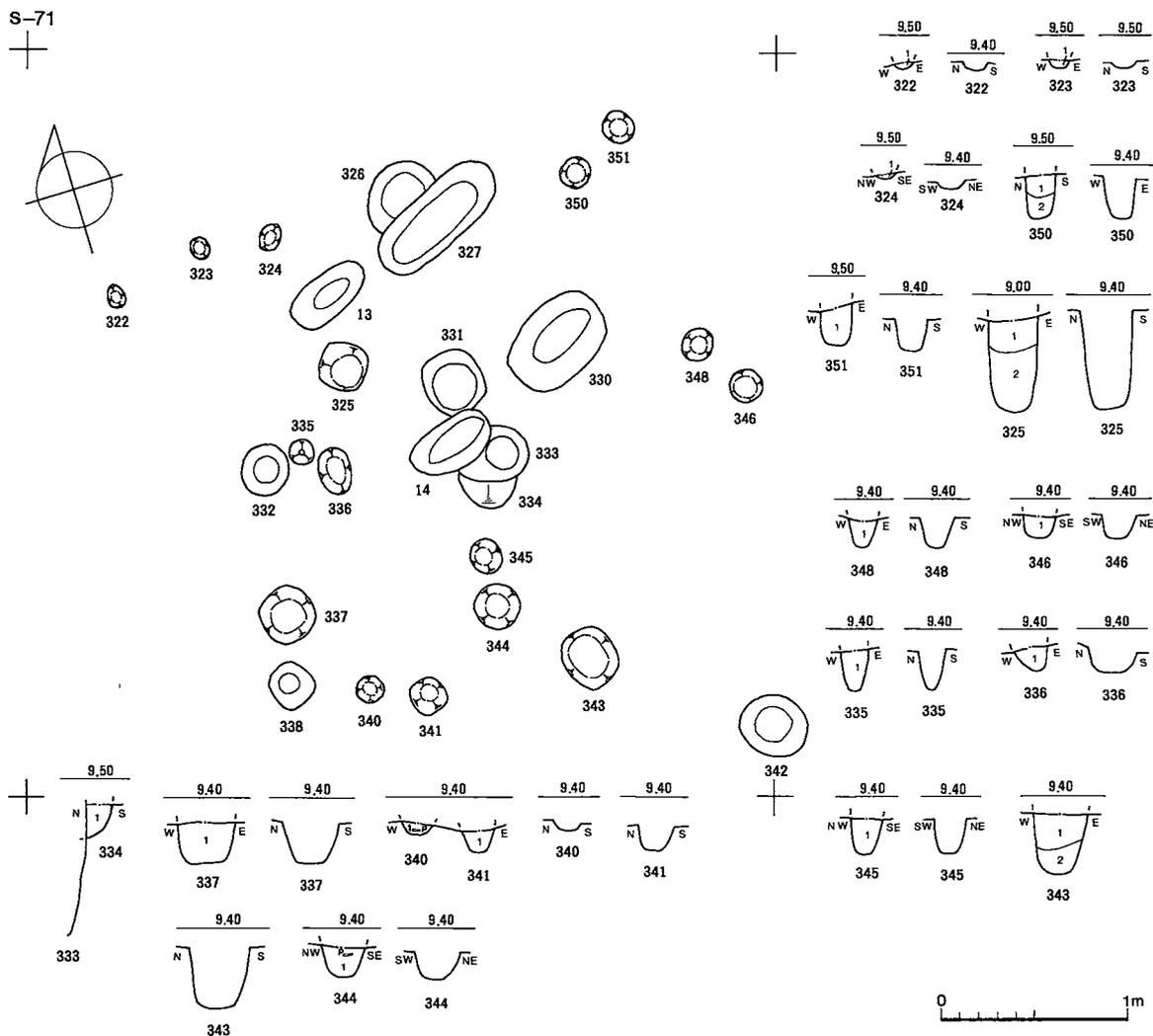
図IV-114 r-71の柱穴状ピット

表IV-119 r-71の柱穴状ピット一覧(1)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(よりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-188	r-71	16 × 14	7 × 7 / 10	9.36	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -184	//	25 × 23	18 × 16 / 30	9.14	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>小さなEn-a) ボソボソ	
// -185	//	28 × 27	15 × 15 / 24	9.17	①褐>黄 (>En-a) ②=① (>En-a) ボソボソ ③=①黄色土多く、粘質 ④褐 粘質	
// -182	//	19 × 18	9 × 9 / 15	9.23	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -183	//	14 × 12	7 × 7 / 5	9.34	①褐>黄 (>En-a)	
// -192	//	15 × 15	4 × 4 / 30	9.16	①褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -188'	//	13 × 13	7 × 7 / 8	9.34	①黒褐 (>En-a)	
// -210	//	13 × 12	8 × 8 / 8	9.39	①褐>黄	
// -208	//	20 × 18	10 × 10 / 20	9.24	①褐>黄 ②=①やや粘質	フレイク
// -193	//	30 × 26	16 × 16 / 28	9.12	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②灰褐 (>En-a) 粘質	
// -194	//	28 × 24	12 × 12 / 22	9.20	①暗褐>黄 (>En-a) ②灰褐 (>En-a) 粘質	
// -24	//	27 × 22	14 × 12 / 16	9.18	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -23	//	18 × 16	4 × 4 / 10	9.26	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -178	//	12 × 11	4 × 4 / 5	9.40	①褐>黄	
// -179	//	18 × 17	8 × 8 / 11	9.26	①褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -180	//	27 × 22	11 × 10 / 22	9.12	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	フレイク
// -181	//	11 × 11	2 × 2 / 5	9.32	——	フレイク
// -195	//	10 × 9	3 × 3 / 4	9.30	①褐>黄 (>En-a) 砂質	

表IV-120 r-71の柱穴状ピット一覧(2)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-197	〃	27 × 27 / 14 × 15 / 20		9.13	①褐>黄(>En-a)軟質 ②黒褐>黄(>En-a) ③灰褐(>En-a)	
〃 -198	r-71	15 × 15 / 7 × 7 / 12		9.25	①暗褐>黄(>En-a)	
〃 -199	〃	10 × 9 / 〃 × 〃 / 3		9.28	〃	
〃 -200	〃	15 × 14 / 7 × 6 / 8		9.24	①暗褐>黄(>En-a)	
〃 -201	r-71・72	27 × 24 / 18 × 17 / 68		8.67	①褐>黄(>En-a) ②褐>黄(>En-a) ザラ ザラ ③=② ポロポロ	礫
〃 -202	r-71	12 × 11 / 6 × 7 / 9		9.31	①暗褐>黄(>En-a)	
〃 -206	r-72	12 × 11 / 5 × 4 / 5		9.20	①暗褐>黄(>En-a)	



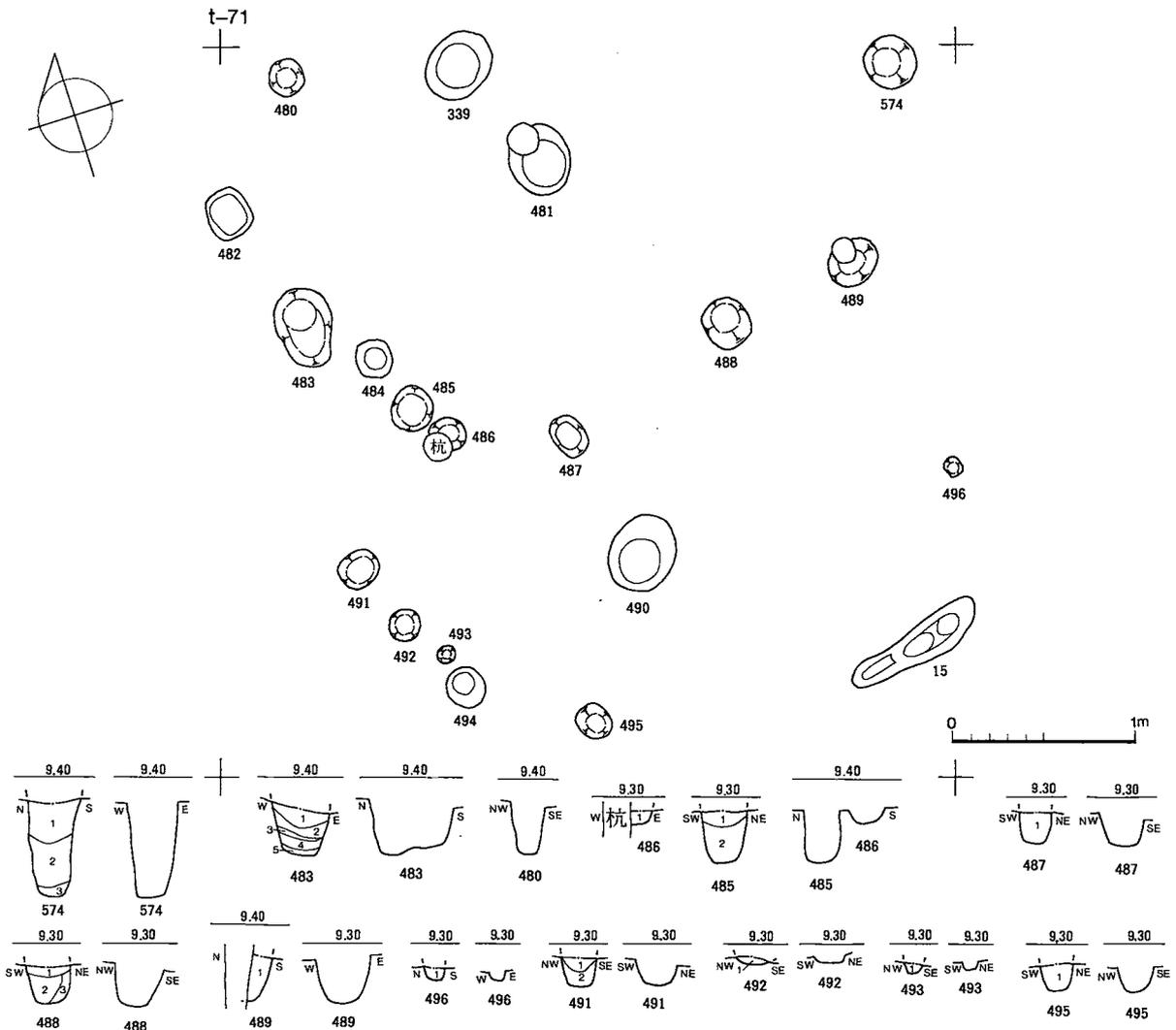
図IV-115 s-71の柱穴状ピット

表IV-121 s-71の柱穴状ピット一覧(1)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-322	s-71	12 × 10 / 6 × 5 / 4		9.31	①黒褐>黄(>En-a) ザラザラ	フレイク
〃 -323	〃	11 × 9 / 7 × 6 / 4		9.32	①暗褐>黄(>En-a)	
〃 -324	〃	14 × 11 / 7 × 6 / 4		9.27	〃	
〃 -350	〃	16 × 16 / 10 × 10 / 23		9.11	①褐>黄(>小さなEn-a) ②褐>黄(>En-a)	
〃 -351	〃	18 × 16 / 10 × 9 / 23		9.20	①暗褐>黄(>En-a)	
〃 -348	〃	16 × 16 / 9 × 10 / 16		9.13	①暗褐>黄(>En-a)	
〃 -346	〃	18 × 17 / 12 × 12 / 12		9.18	①褐>黄(>En-a)	

表IV-122 s-71の柱穴状ピット一覧(2)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(壊底)面 (cm)		壊底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-325	s-71	25 × 25 / 17 × 17 / 50		8.78	①黒褐>黄 (>En-a) 堅い ②=①やや軟質	フレイク
// -335	//	14 × 14 / 2 × 2 / 22		9.07	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -336	//	26 × 18 / 15 × 10 / 13		9.16	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -334	//	— × (30) / — × — / 18		9.17	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -337	//	29 × 29 / 16 × 18 / 23		9.04	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -340	//	14 × 14 / 8 × 8 / 6		9.21	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -341	//	19 × 19 / 9 × 9 / 13		9.11	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -343	//	32 × 24 / 24 × 18 / 32		8.96	①暗褐>黄 (>En-a) ②=①ボソボソ	
// -344	//	24 × 24 / 12 × 12 / 17		9.12	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	フレイク
// -345	//	18 × 16 / 9 × 9 / 18		9.10	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -326	//	42 × 36 / 24 × 26 / —		—	—	



図IV-116 t-71の柱穴状ピット

表IV-123 t-71の柱穴状ピット一覧

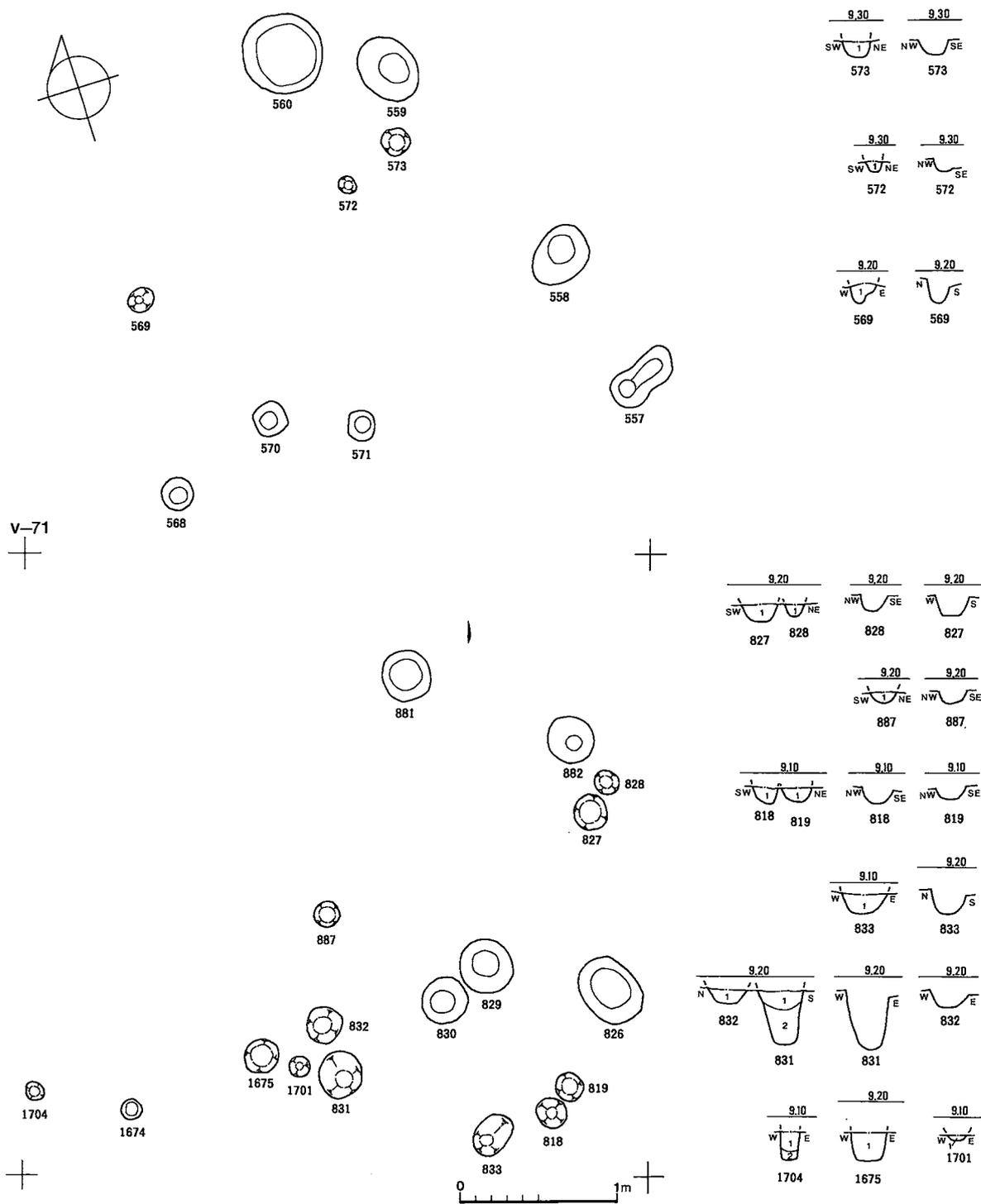
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-480	t-71	20 × 20 / 11 × 11 / 29		8.98	——	
// -483	//	44 × 22 / 32 × 18 / 30		8.97	①暗褐>黄 (>En-a) ②=①ボソボソ ③暗褐 ④=②堅い	
// -485	//	25 × 23 / 18 × 16 / 28		8.94	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a)	フレイク
// -486	//	21 × (18) / 10 × (10) / 8		9.16	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -487	//	24 × 18 / 16 × 12 / 19		9.03	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -488	//	27 × 24 / 16 × 15 / 24		8.94	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a) ボソボソ ③ ①+En-a	
// -489	//	28 × (23) / 15 × (12) / 27		8.96	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) 堅い	
// -574	s-71・t-71	28 × 28 / 15 × 15 / 5		8.74	①暗褐>黄 (>微小のEn-a) ②=①ボソボソ ③=① (①に黄色土多く混入) ポロポロ	
// -496	t-71・72	10 × 9 / 8 × 7 / 6		9.06	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -491	t-71	22 × 20 / 17 × 12 / 15		9.06	①暗褐>黄 ②=① (>En-a)	
// -492	//	18 × 18 / 11 × 11 / 4		9.20	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -493	//	10 × 8 / 6 × 5 / 5		9.16	①褐>黄 (>小さなEn-a) 堅く、砂質	
// -495	//	20 × 18 / 10 × 10 / 14		9.04	①暗褐>黄 (>En-a)	

表IV-124 u-71の柱穴状ピット一覧

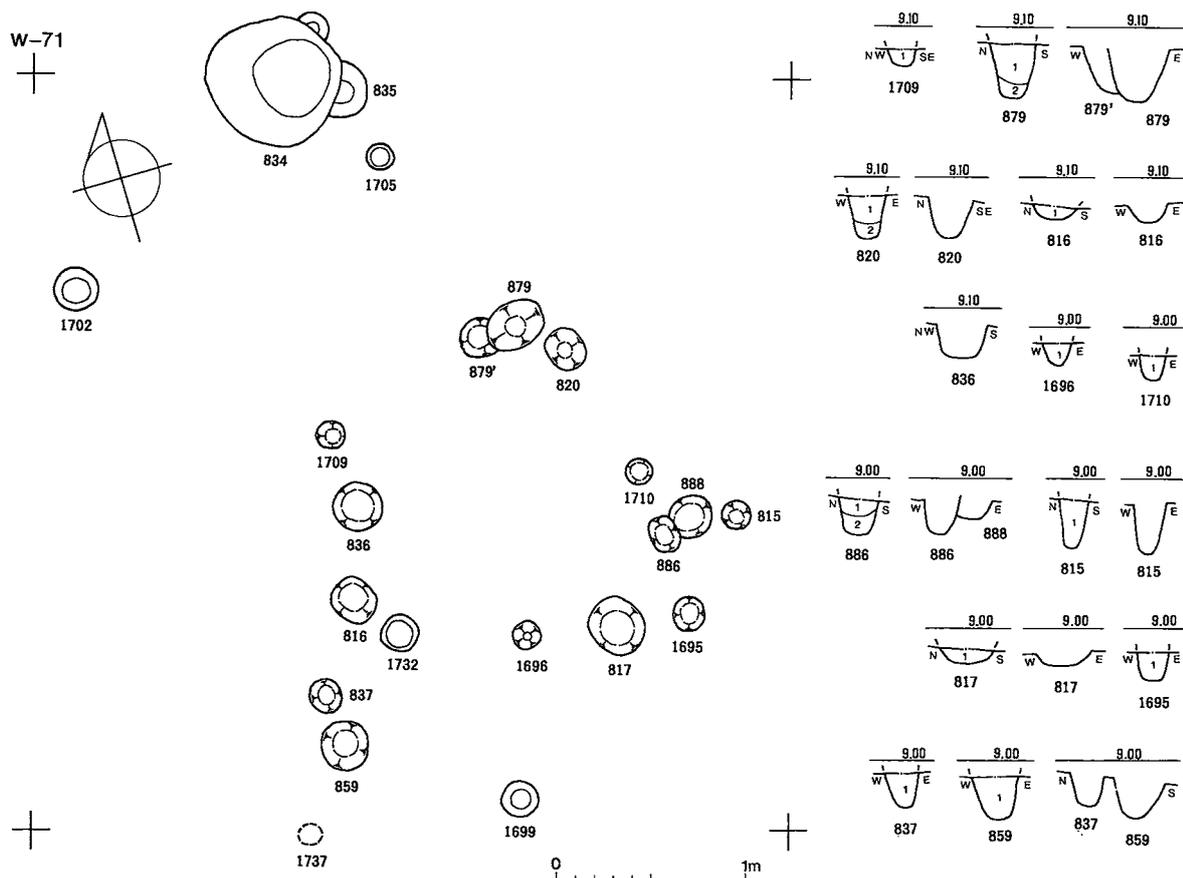
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-569	u-71	16 × 14 / 5 × 5 / 12		9.00	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -572	//	11 × 11 / 5 × 5 / 6		9.13	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -573	//	18 × 18 / 9 × 10 / 10		9.07	①暗褐>黄 (>En-a)	

表IV-125 v-71の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-828	v-71	16 × 15 / 9 × 8 / 10		9.04	①褐>黄 (>En-a) 軟質	
// -827	//	23 × 22 / 15 × 16 / 14		9.00	①黒褐 (>En-a) 軟質	
// -1704	//	11 × -- / 7 × -- / 18		8.82	①褐>黄 粘質 ② ①>En-a 粘質	
// -1675	//	25 × -- / 15 × -- / 25		8.81	①褐>黄 (>En-a)	
// -1701	//	13 × -- / 5 × -- / 3		8.94	①黒 ボソボソ	
// -887	//	16 × 15 / 10 × 10 / 8		9.04	①暗褐>黄 (>En-a) 軟質	
// -832	//	23 × 22 / 12 × 12 / 11		9.00	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -831	//	28 × 28 / 12 × 12 / 36		8.73	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い ②=① (>En-a) ボソボソ	
// -833	//	29 × 21 / 8 × 8 / 15		8.90	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -818	//	21 × 19 / 8 × 8 / 10		8.90	①黒褐 (>En-a)	
// -819	//	18 × 17 / 10 × 9 / 8		8.93	①暗褐>黄 (>En-a)	



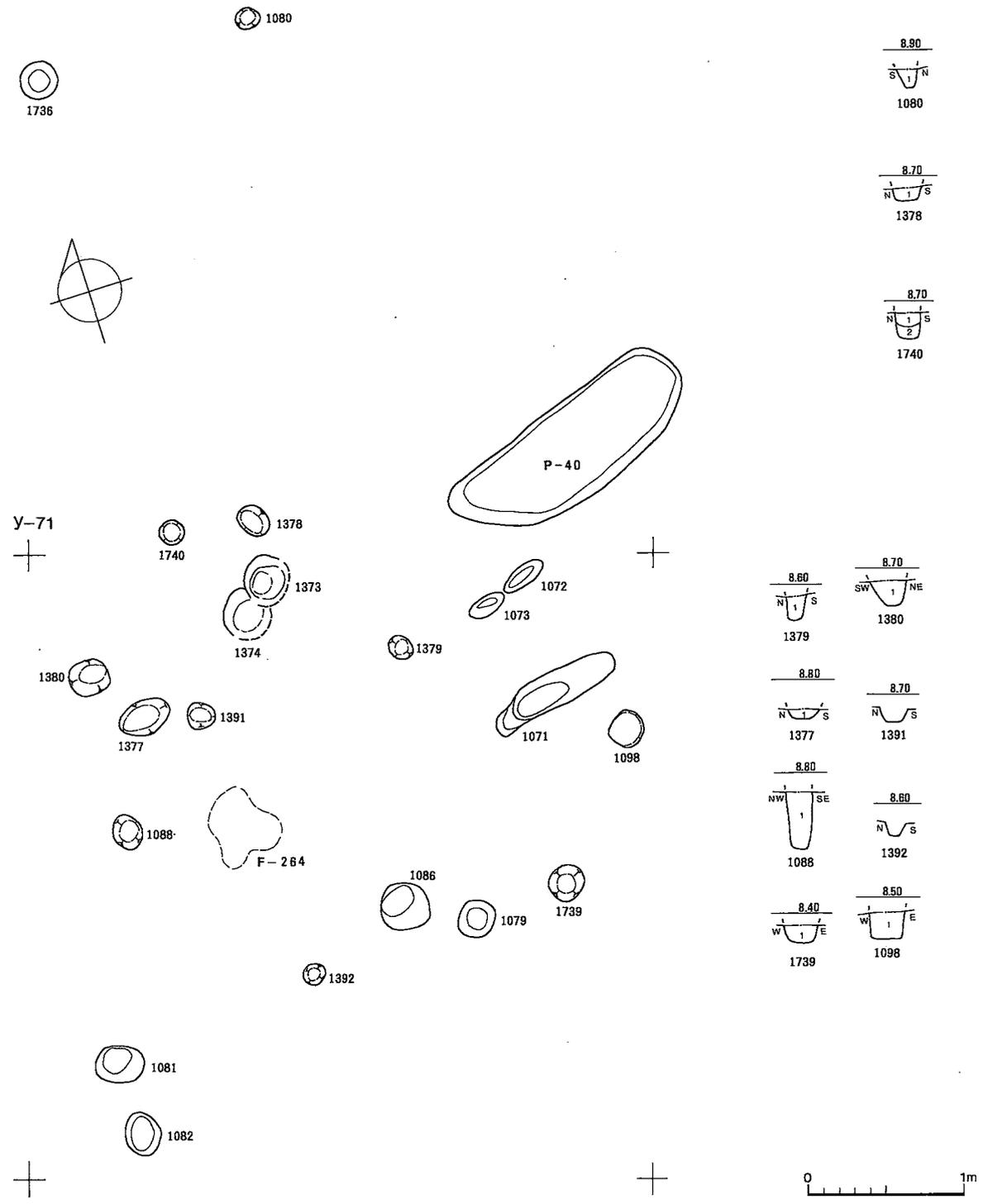
図IV-117 u-71・v-71の柱穴状ピット



図IV-118 w-71の柱穴状ピット

表IV-126 w-71の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	(付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-879	w-71	32 × 25 / 11 × 11 / 28		8.70	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	879←879'
" -879'	"	(22) × 21 / (14) × 12 / 24		8.74	—	879'→879
" -820	"	23 × 19 / 8 × 8 / 24		8.97	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) 粘質	
" -1709	"	15 × — / 8 × — / 9		8.88	①暗褐>黄 (>En-a)	
" -1710	"	13 × — / 8 × — / 13		8.72	①暗褐 (>En-a)	
" -836	"	26 × 26 / 18 × 16 / 18		8.82	—	
" -816	"	24 × 22 / 14 × 14 / 9		8.87	①暗褐>黄 (>En-a) 軟質	
" -837	"	18 × 16 / 10 × 9 / 18		8.76	①暗褐>黄 (>En-a)	
" -859	"	30 × 25 / 14 × 14 / 23		8.70	①暗褐>黄 (>En-a) 軟質	
" -1696	"	15 × — / 4 × — / 12		8.80	①暗褐>黄 (>En-a)	
" -1695	"	16 × — / 11 × — / 15		8.72	—	
" -817	"	30 × 28 / 19 × 18 / 8		8.80	①黒褐>黄 (>En-a)	
" -886	"	20 × 15 / 11 × 9 / 9		8.70	①暗褐>黄 (>En-a) ② ①>En-a 軟質	886←888
" -888	"	(24) × 22 / (16) × 14 / 18		8.78	—	888→886
" -815	"	15 × 15 / 8 × 8 / 27		8.60	①黒褐 (>En-a) 粘質	



図IV-119 x-71・y-71の柱穴状ピット

表IV-127 x-71の柱穴状ピット一覧

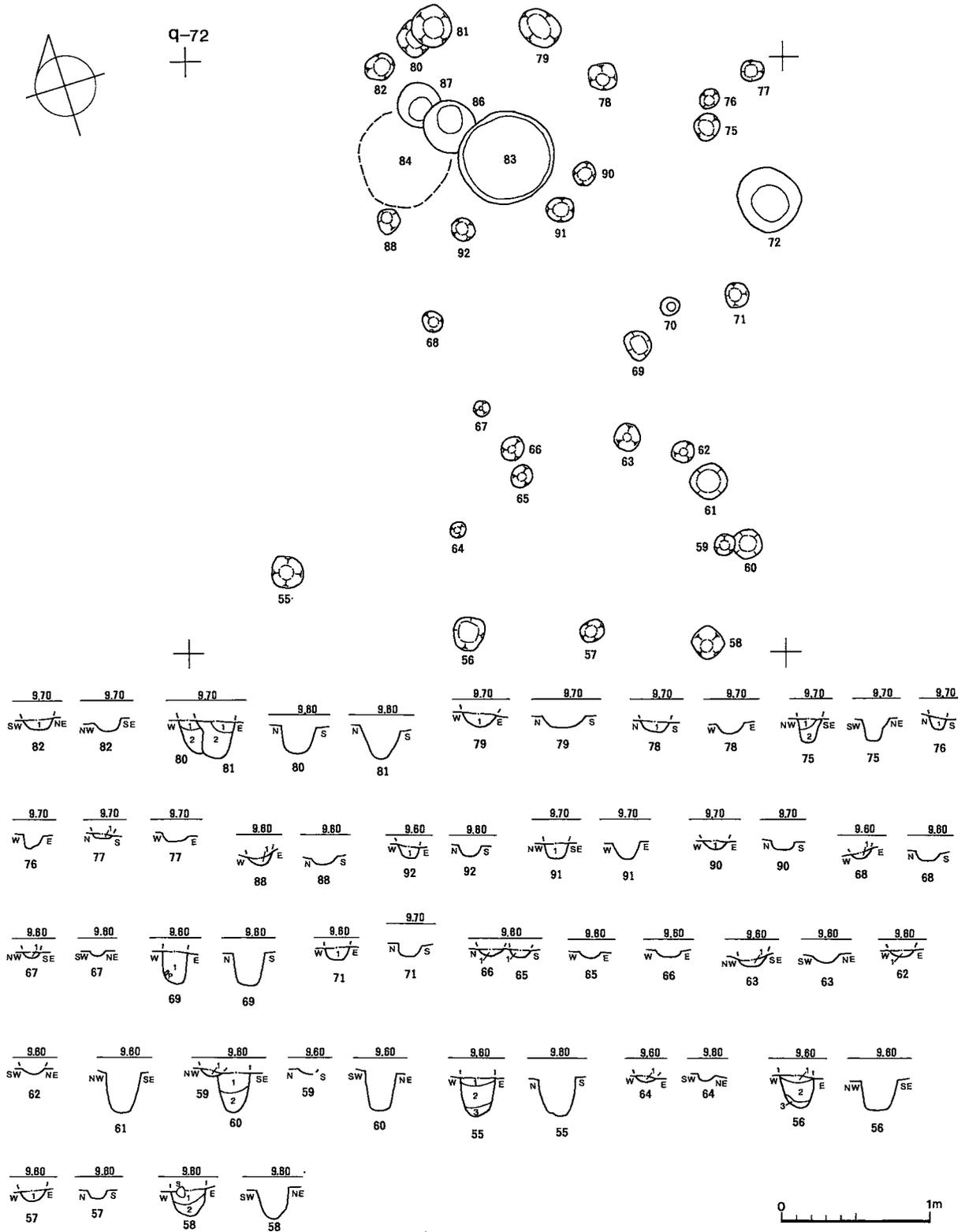
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1080	x-71	16 × 14 / 10 × 9 / 10		8.66	①黒褐 (しまり強い)	
// -1740	//	16 × — / 14 × — / 16		8.46	①褐 ②褐 (>En-a)	
// -1378	//	22 × 16 / 16 × 10 / 8		8.64	①黒褐 (しまり中)	

表IV-128 y-71の柱穴状ピット一覧

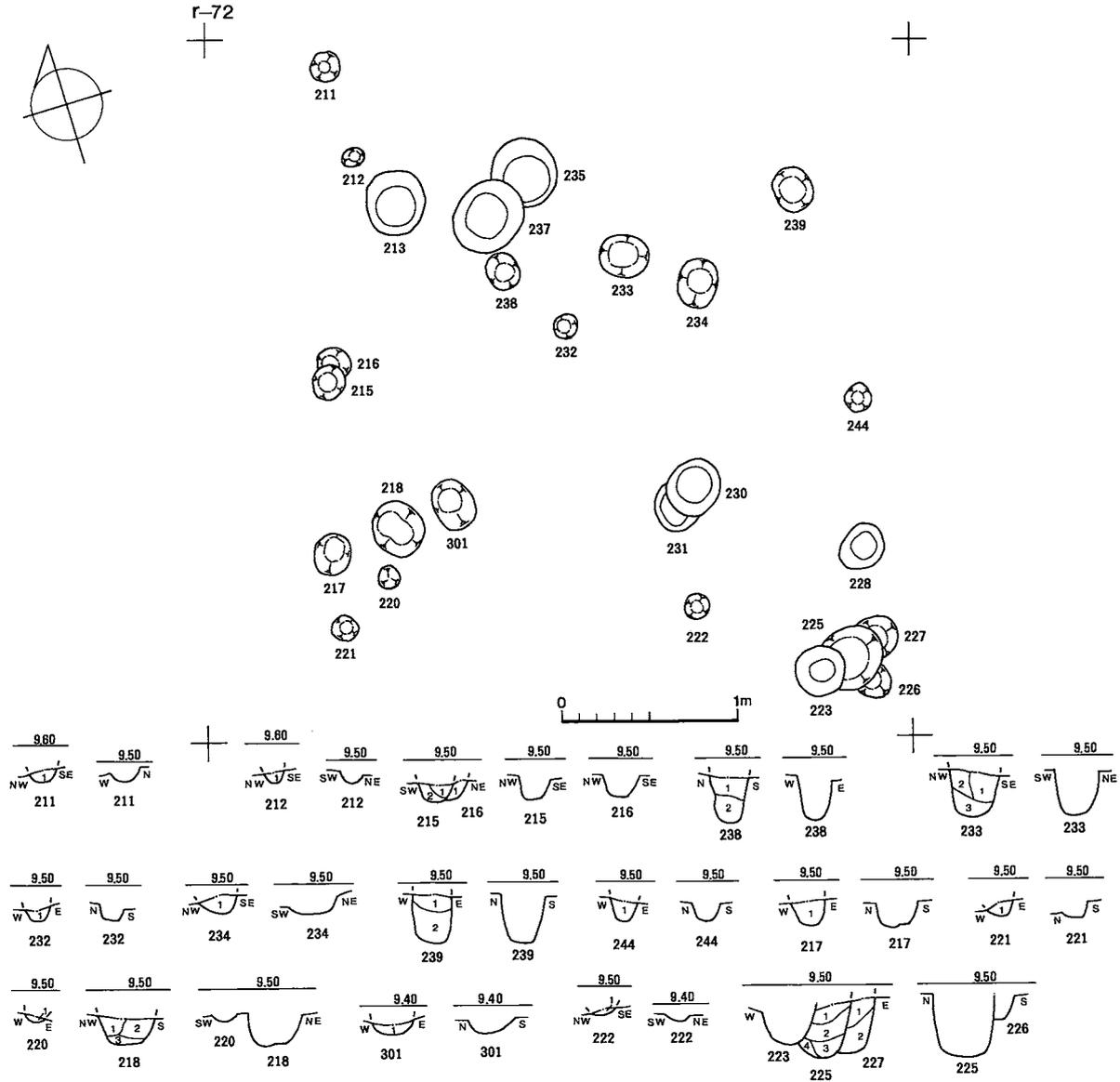
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1380	y-71	26 × 23 / 19 × 12 / 16		8.45	①黒褐 (しまり中)	
// -1377	//	34 × 23 / 25 × 16 / 6		8.54	//	
// -1391	//	18 × 18 / 9 × 14 / 9		8.52	——	
// -1088	//	23 × 19 / 13 × 13 / 37		8.31	①黒褐 (>φ 5 mm前後のEn-a しまりやや弱)	
// -1379	//	16 × 14 / 9 × 10 / 31		8.37	//	
// -1098	//	22 × 20 / 21 × 19 / 18		8.24	①にぶい赤褐+黒 (しまり弱)	
// -1739	//	22 × — / 13 × — / 12		8.20	①暗褐 (>En-a)	
// -1392	//	14 × 13 / 8 × 7 / 15		8.40	——	

表IV-129 q-72の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-82	p-72・q-72	18 × 18 / 12 × 11 / 9		9.48	①褐>黄 (>En-a)	
// -81	p-72	28 × 26 / 14 × 14 / 25		9.30	①褐>黄 (>En-a) 軟質 ②褐>黄 (>En-a) ボソボソ	81←80
// -80	//	22 × — / 12 × — / 20		9.33	①褐>黄 (>En-a) ②大きなEn-a>黄褐 (堅い)	80→81
// -79	//	28 × 22 / 18 × 12 / 10		9.51	①暗褐>黄 (>大きなEn-a)	
// -78	q-72	19 × 17 / 8 × 10 / 10		9.48	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -77	//	16 × 12 / 9 × 8 / 6		9.55	①明褐>黄 (>En-a)	
// -76	//	14 × 12 / 6 × 7 / 9		9.50	①褐>黄	
// -75	//	17 × 17 / 10 × 8 / 16		9.42	①褐>黄 (>大きなEn-a) ②=① (>小さなEn-a)	
// -90	//	16 × 14 / 8 × 8 / 6		9.50	①褐>黄 (>En-a)	フレイク
// -91	//	18 × 16 / 11 × 10 / 11		9.44	①褐>黄 (>En-a)	
// -92	//	15 × 14 / 8 × 8 / 10		9.46	①褐>黄 (>En-a)	
// -88	//	16 × 14 / 7 × 7 / 12		9.40	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -68	//	14 × 13 / 7 × 6 / 7		9.43	①褐>黄 (>En-a)	
// -67	//	11 × 10 / 2 × 2 / 3		9.47	①褐>黄 (>En-a)	
// -66	//	16 × 16 / 6 × 6 / 5		9.48	①褐>黄 (>En-a)	
// -65	//	14 × 14 / 6 × 6 / 5		9.48	①暗褐 (>En-a)	
// -64	//	12 × 11 / 5 × 5 / 5		9.44	①褐>黄 (>En-a)	
// -55	//	22 × 22 / 10 × 10 / 26		9.20	①褐>黄 (>小さなEn-a) ②=①ザラザラ ③=② 粘質	
// -56	//	22 × 22 / 14 × 13 / 21		9.25	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a) ボロ ボロ ③褐>黄 (>En-a)	Rフレイク
// -57	//	17 × 14 / 8 × 8 / 7		9.44	①褐>黄 (>En-a)	
// -58	q-72・r-72	20 × 20 / 8 × 8 / 21		9.30	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	たたき石
// -59	q-72	14 × 14 / 7 × 6 / 3		9.48	①暗褐 (>En-a)	59←60
// -60	//	18 × 18 / 12 × 10 / 27		9.24	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (+En-a)	60→59
// -61	//	23 × 22 / 16 × 15 / 30		9.23	——	フレイク
// -62	//	14 × 14 / 6 × 6 / 4		9.48	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -63	//	18 × 18 / 6 × 6 / 7		9.43	//	
// -69	//	20 × 17 / 12 × 10 / 22		9.28	①褐>黄 (>En-a) 堅い	
// -71	//	16 × 16 / 9 × 8 / 9		9.47	①褐>黄 (>En-a)	



図IV-120 Q-72の柱穴状ピット



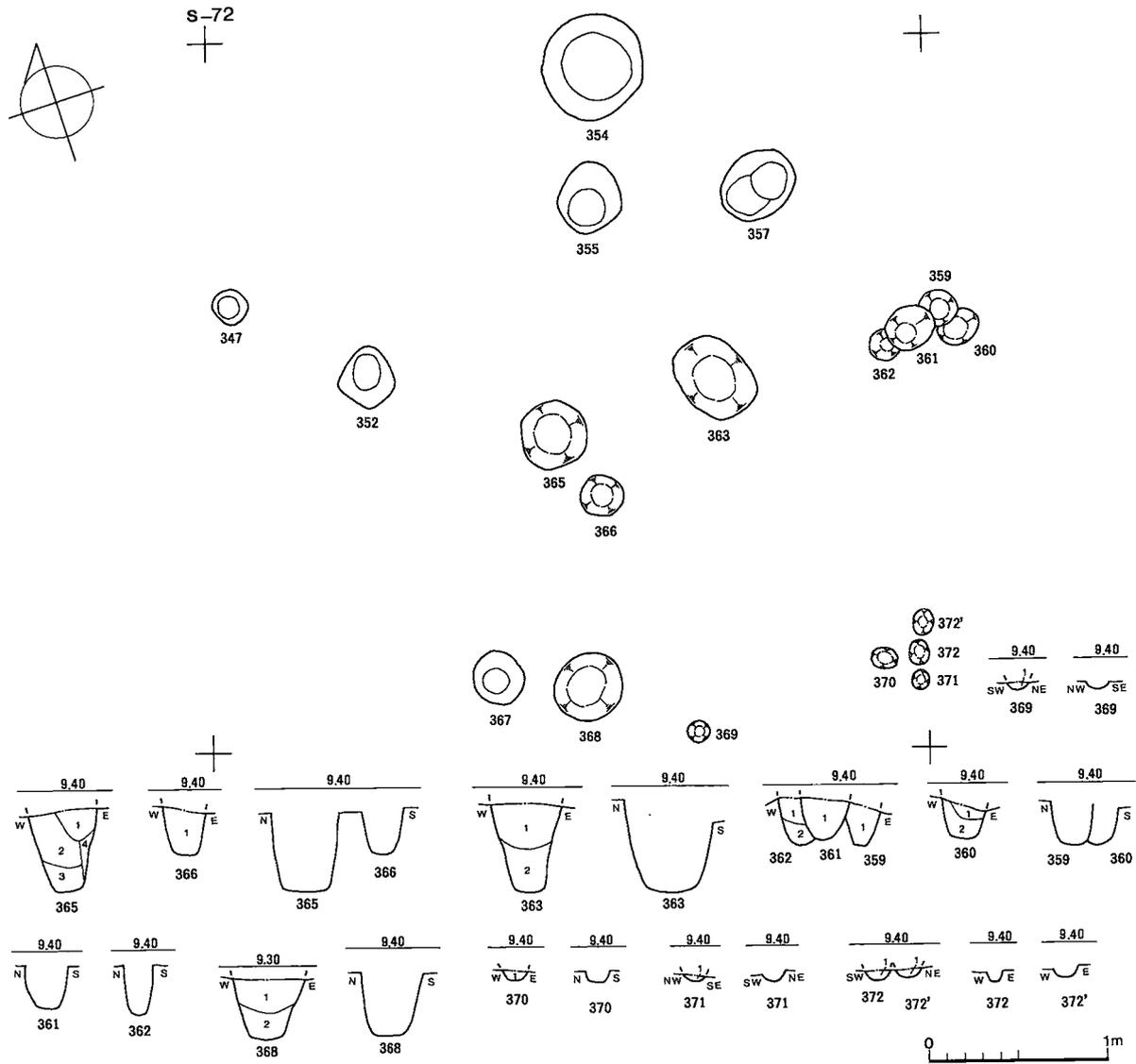
図IV-121 r-72の柱穴状ピット

表IV-130 r-72の柱穴状ピット一覧(1)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-211	r-72	16 × 15 / 7 × 7 / 7		9.39	①褐>黄 (>En-a)	
// -212	//	13 × 10 / 6 × 6 / 7		9.37	①En-a+暗黄褐	
// -238	//	22 × 18 / 11 × 11 / 26		9.15	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ポロポロ	
// -232	//	14 × 14 / 7 × 7 / 9		9.29	①褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -233	//	28 × 24 / 17 × 14 / 24		9.16	①En-a (>②) ②暗褐>黄 (>En-a) ③≒②ボソボソ	
// -234	//	28 × 23 / 14 × 14 / 9		9.32	①En-a+暗黄	
// -239	//	25 × 22 / 15 × 14 / 28		9.15	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -244	//	17 × 15 / 7 × 7 / 10		9.28	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -215	//	20 × 18 / 11 × 11 / 15		9.26	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒① (>En-a)	215←216
// -216	//	20 × 18 / 10 × 10 / 12		9.28	①暗褐>黄 (>En-a)	216→215
// -217	//	24 × 21 / 14 × 11 / 14		9.22	①褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -221	//	14 × 14 / 8 × 8 / 10		9.27	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -218	//	31 × 29 / 22 × 12 / 18		9.17	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒① (>En-a) ③暗褐>黄 (>En-a)	

表IV-131 r-72の柱穴状ピット一覧(2)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(坑底)面 (cm)		坑底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-220	r-72	13 × 12	— × — / 3	9.32	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -301	//	29 × 23	14 × 13 / 6	9.24	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -222	//	15 × 14	— × — / 4	9.30	①En-a>暗褐>黄	
// -225	//	(38) × 34	25 × 24 / 33	9.08	①暗褐>黄 (>En-a) ②En-a>① ③褐>黄 (>En-a) 砂質 ④褐 粘質	223←225←226、227
// -226	//	— × 21	— × 17 / 16	9.29	—	226→225
// -227	//	— × 24	— × 14 / 30	9.11	①En-a>褐 ②暗灰褐 (>En-a) 粘質	227→225



図IV-122 s-72の柱穴状ピット

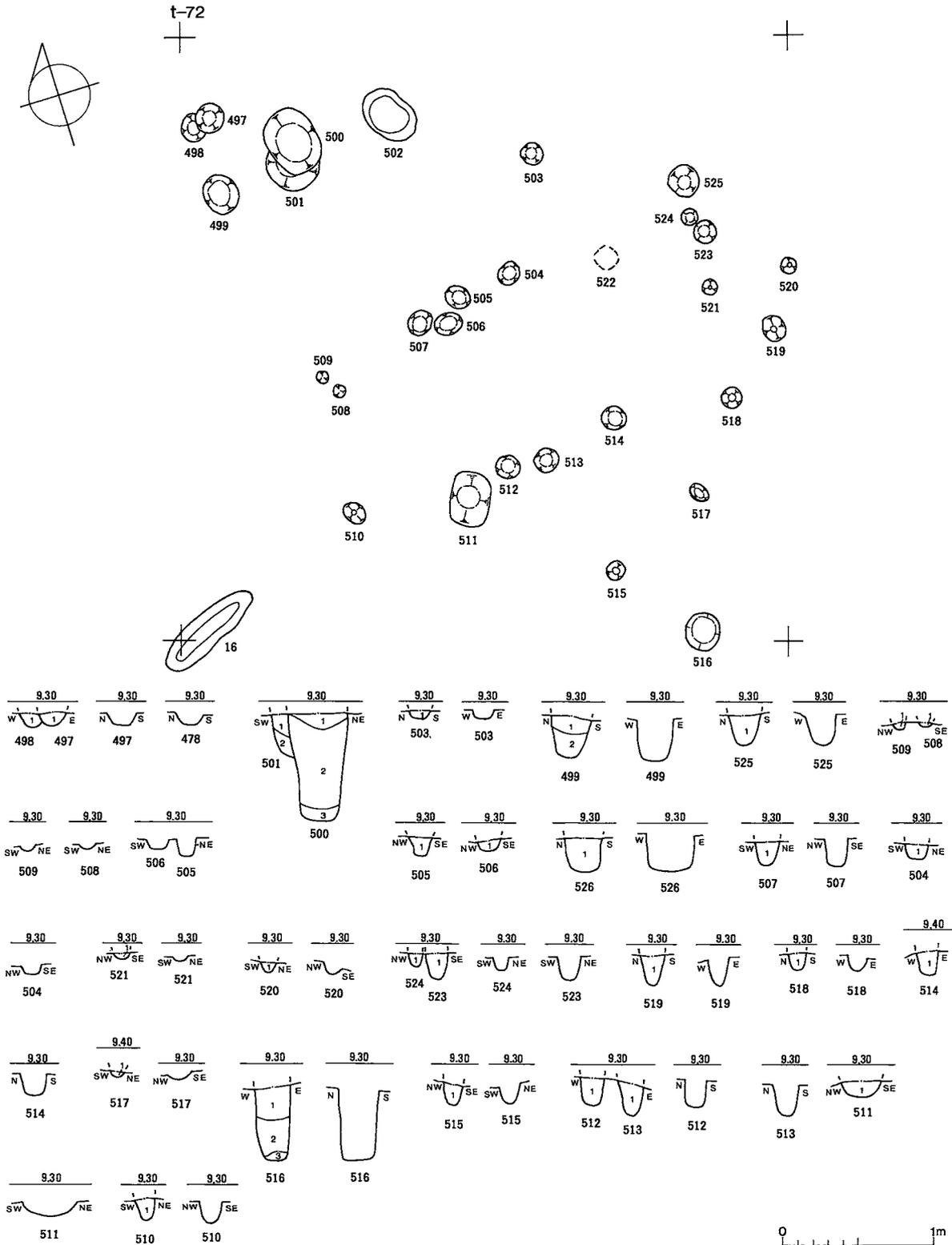
表IV-132 s-72の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-365	s-72	38 × 36	20 × 22 / 47	8.82	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ ③暗褐>黄 (>En-a) ボロボロ ④砂粒>②	
// -366	//	24 × 24	12 × 14 / 27	9.02	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -363	//	48 × 38	26 × 22 / 50	8.80	①暗褐>黄 (>大きなEn-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -362	//	18 × (18)	7 × 8 / 28	9.03	①暗褐>黄 (>大きなEn-a) ②=① ボソボソ	362→361
// -361	s-72・73	28 × 24	12 × 12 / 23	9.07	①暗褐>黄 (>En-a)	361←362、359
// -359	//	21 × (21)	12 × (12) / 25	9.04	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	361←359←360
// -360	s-73	24 × (19)	14 × (12) / 19	9.04	①暗褐>黄 (>En-a) ② ①+黄 (>小さなEn-a)	359←360
// -372'	s-72・73	14 × 11	6 × 6 / 6	9.20	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -372	s-72	14 × 11	7 × 6 / 5	9.18	//	
// -371	//	10 × 9	5 × 5 / 4	9.19	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -370	//	14 × 12	9 × 7 / 6	9.20	//	
// -369	//	12 × 12	5 × 5 / 4	9.22	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -368	//	40 × 36	24 × 20 / 35	8.90	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	

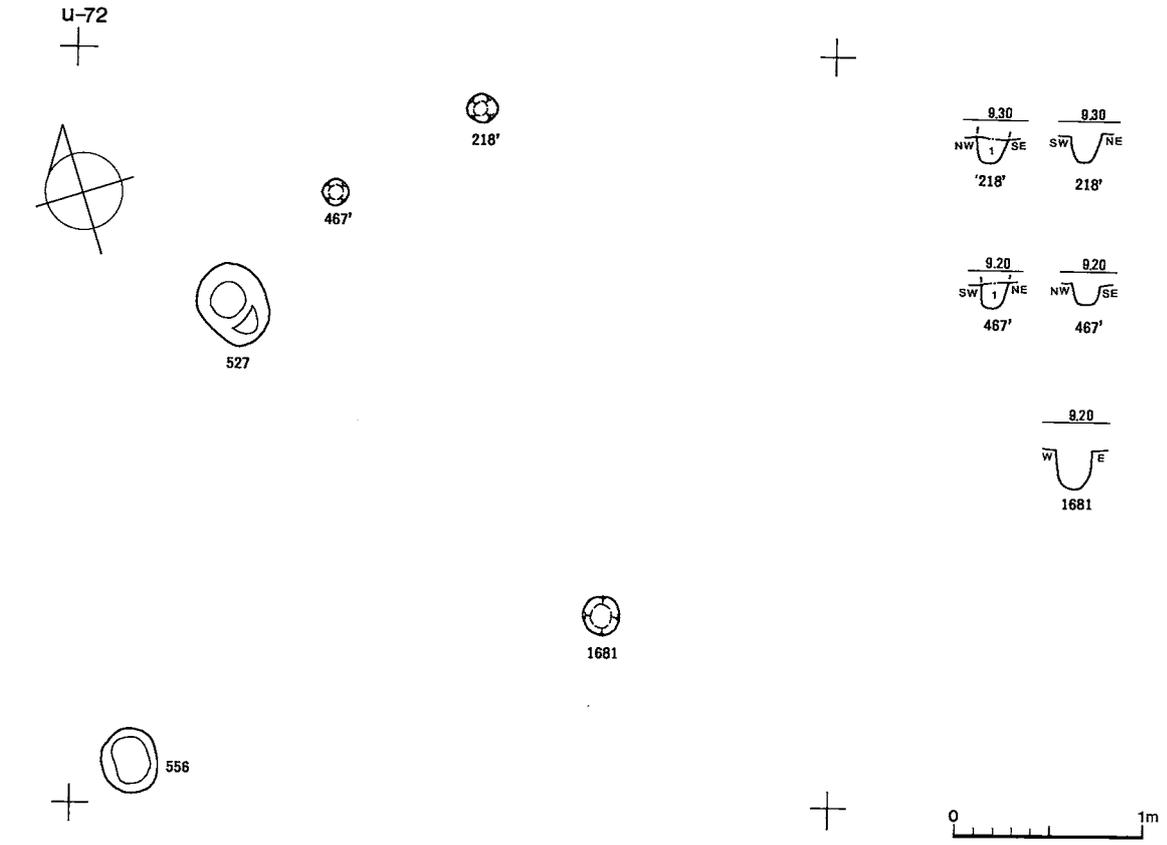
表IV-133 t-72の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-498	t-72	18 × 16	10 × 9 / 8	9.13	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -497	//	20 × 18	11 × 10 / 8	9.14	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -499	//	26 × 22	16 × 15 / 29	8.91	①暗褐>黄 (>En-a) ボロボロ ②暗褐>黄 (>小さなEn-a) ボロボロ	
// -500	//	44 × 33	26 × 22 / 72	8.50	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い、砂質 ②暗褐>黄 (>En-a) 砂質 ③暗褐>黄 (>En-a) 砂質	500←501 フレイク
// -501	//	35 × -	- × - / (30)	8.92	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a)	501→500
// -503	//	15 × 14	8 × 8 / 5	9.19	①褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -525	//	20 × 20	9 × 10 / 21	9.01	①暗褐 (>小さなEn-a) ボソボソ	
// -524	//	11 × 11	6 × 6 / 8	9.12	①褐>黄 (>En-a)	
// -523	//	15 × 15	8 × 8 / 15	9.06	①褐>黄 (>小さなEn-a) ボソボソ	
// -521	//	10 × 10	2 × 2 / 3	9.18	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -520	t-72・73	11 × 10	3 × 3 / 8	9.09	①暗褐 (>小さなEn-a)	
// -519	t-72	17 × 15	4 × 4 / 19	9.02	①黒褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -518	//	13 × 13	5 × 5 / 11	9.13	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) 堅い	
// -517	//	13 × 10	7 × 4 / 4	9.20	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -516	t-72・u-72	25 × 23	17 × 16 / 51	8.66	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ ②暗褐>黄 (>小さなEn-a) 軟質、ボソボソ ③暗灰褐 (>En-a) 粘質	
// -515	t-72	13 × 12	4 × 4 / 14	9.04	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ザラザラ	
// -514	//	16 × 14	10 × 9 / 16	9.09	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い	
// -513	//	15 × 14	8 × 8 / 20	8.96	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -512	//	16 × 15	9 × 9 / 17	9.02	//	
// -511	//	36 × 26	15 × 15 / 10	9.08	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -510	//	16 × 13	3 × 3 / 15	9.04	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -509	//	8 × 8	- × - / 6	9.10	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -508	//	8 × 8	- × - / 4	9.11	//	
// -507	//	17 × 14	10 × 9 / 16	9.01	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -506	//	18 × 14	12 × 9 / 7	9.12	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -505	//	16 × 14	10 × 9 / 13	9.07	//	
// -504	//	15 × 13	10 × 9 / 9	9.09	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	

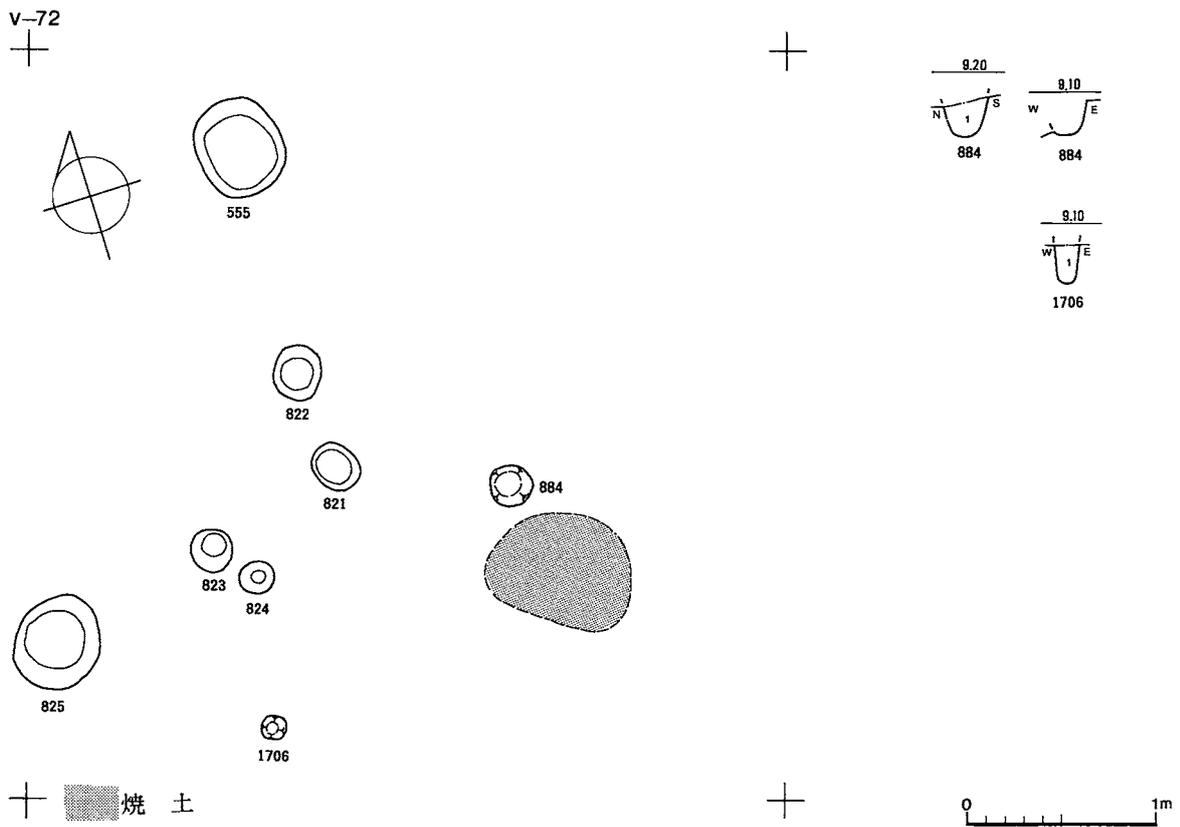
キウス4遺跡(6)R地区 平成10年度



図IV-123 t-72の柱穴状ピット



図IV-124 u-72の柱穴状ピット



図IV-125 v-72の柱穴状ピット

表IV-134 u-72の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-218'	u-72	15 × 14 / 7 × 7 / 16		9.06	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ザラザラ	
// -467'	//	13 × 13 / 8 × 8 / 13		9.00	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1681	//	20 × 20 / 12 × 11 / 20		8.84	——	

表IV-135 v-72の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-884	v-72	23 × 22 / 14 × 14 / 22		8.86	①暗褐 (>En-a) ザラザラ	
// -1706	//	13 × — / 6 × — / 20		8.78	①暗褐>黄 (>En-a)	

表IV-136 w-72の柱穴状ピット一覧

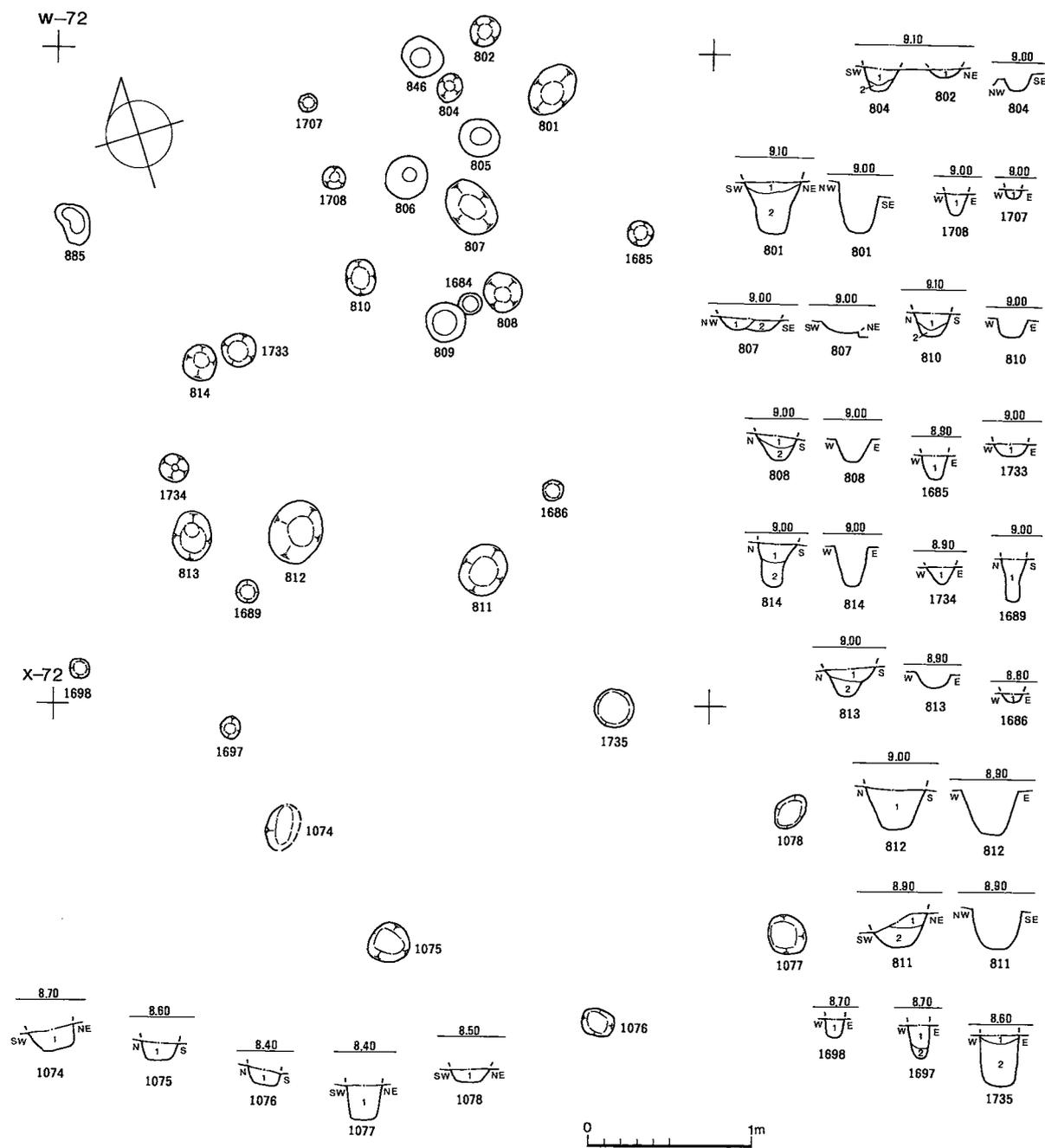
柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1707	w-72	10 × — / 6 × — / 5		8.87	①暗褐 (>En-a)	
// -1708	//	13 × — / 5 × — / 13		8.76	①黒褐 (>En-a) 軟質	
// -801	//	34 × 24 / 15 × 13 / 32		8.64	①黒褐 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a)	
// -804	//	18 × 16 / 6 × 7 / 13		8.82	①黒褐 (>En-a) ② ①>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -802	v-72	20 × 18 / 9 × 9 / 6		8.90	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -807	w-72	37 × 26 / 18 × 13 / 7		8.82	①黒褐 (>En-a) 粘質 ②黒褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -1685	//	15 × — / 8 × — / 15		8.63	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -808	//	24 × 22 / 10 × 10 / 14		8.74	①黒褐 ② ①>En-a	
// -810	//	22 × 18 / 13 × 11 / 14		8.82	——	
// -1733	//	20 × — / 13 × — / 7		8.78	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -814	//	22 × 20 / 9 × 10 / 27		8.68	①暗褐 (>En-a) 軟質 ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1734	//	17 × — / 3 × — / 11		8.68	①褐>黄 (>En-a)	
// -813	//	30 × 24 / 9 × 9 / 16		8.76	①黒褐 粘質 ② ①>En-a	
// -1698	//	11 × — / 8 × — / 11		8.51	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1689	//	14 × — / 8 × — / 26		8.59	①黒 (>En-a)	
// -812	//	39 × 32 / 18 × 17 / 24		8.56	①暗褐>黄 (>En-a) 軟質	
// -811	//	31 × 28 / 18 × 16 / 23		8.55	①暗褐>黄 ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1686	//	12 × — / 8 × — / 5		8.67	①黒褐>黄 (>En-a) 粘質	

表IV-137 x-72の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1697	x-72	14 × — / 7 × — / 20		8.38	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄	
// -1735	w-72・x-72	23 × — / 20 × — / 32		8.22	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -1074	x-72	(28) × (20) / (24) × (10) / 14		8.38	①黒褐 (しまりやや弱)	
// -1075	//	24 × 24 / 18 × 14 / 10		8.34	——	
// -1076	//	20 × 16 / 12 × 12 / 9		8.19	——	

表IV-138 x-73の柱穴状ピット一覧

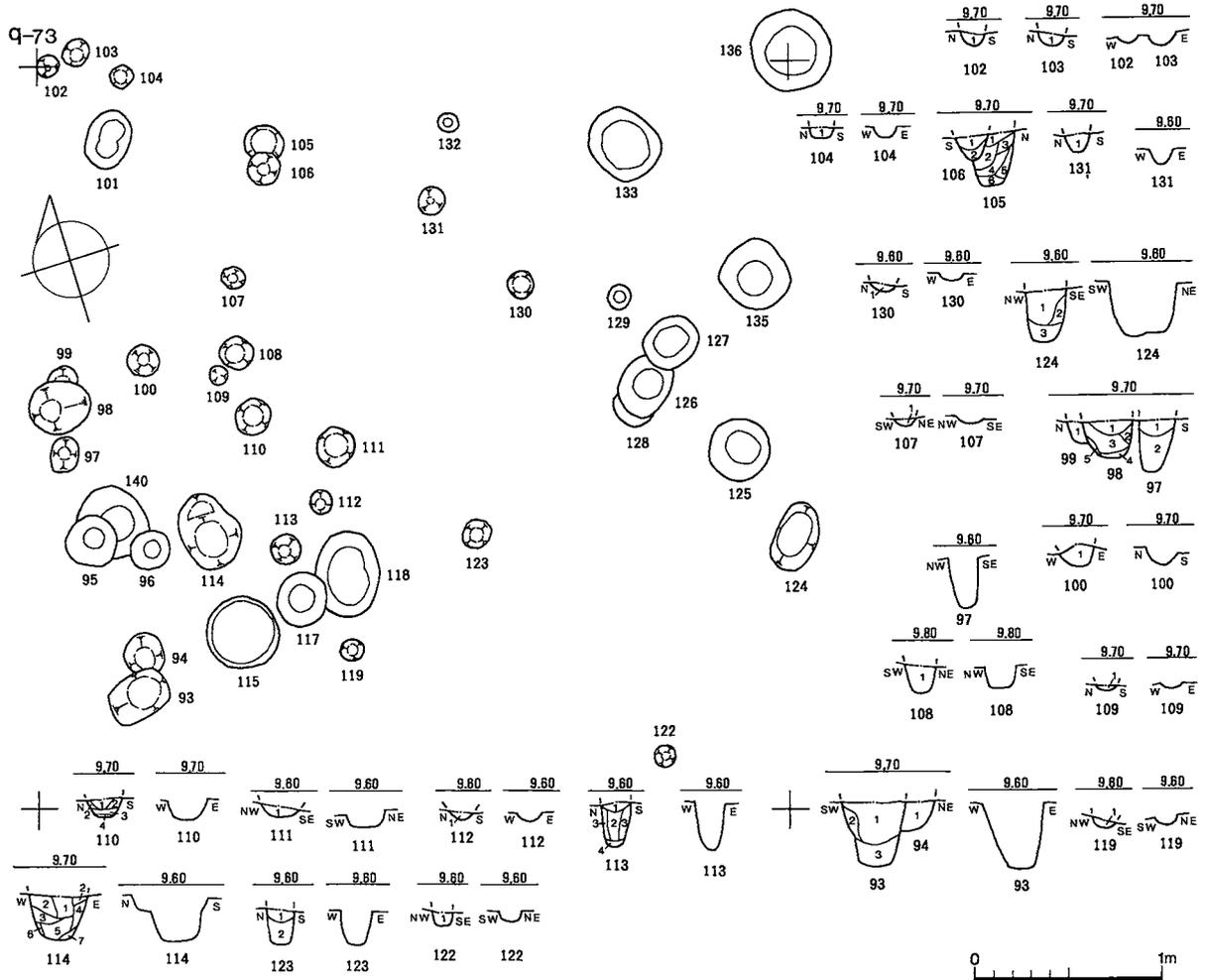
柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1077	x-73	26 × 22 / 19 × 17 / 22		7.98	①黒褐 (しまりやや弱)	
// -1078	//	24 × 17 / 20 × 12 / 8		8.22	①黒褐>φ5mm前後のEn-a (しまりやや弱)	



図IV-126 w-72・x-72・x-73の柱穴状ピット

表IV-139 q-73の柱穴状ピット一覧(1)

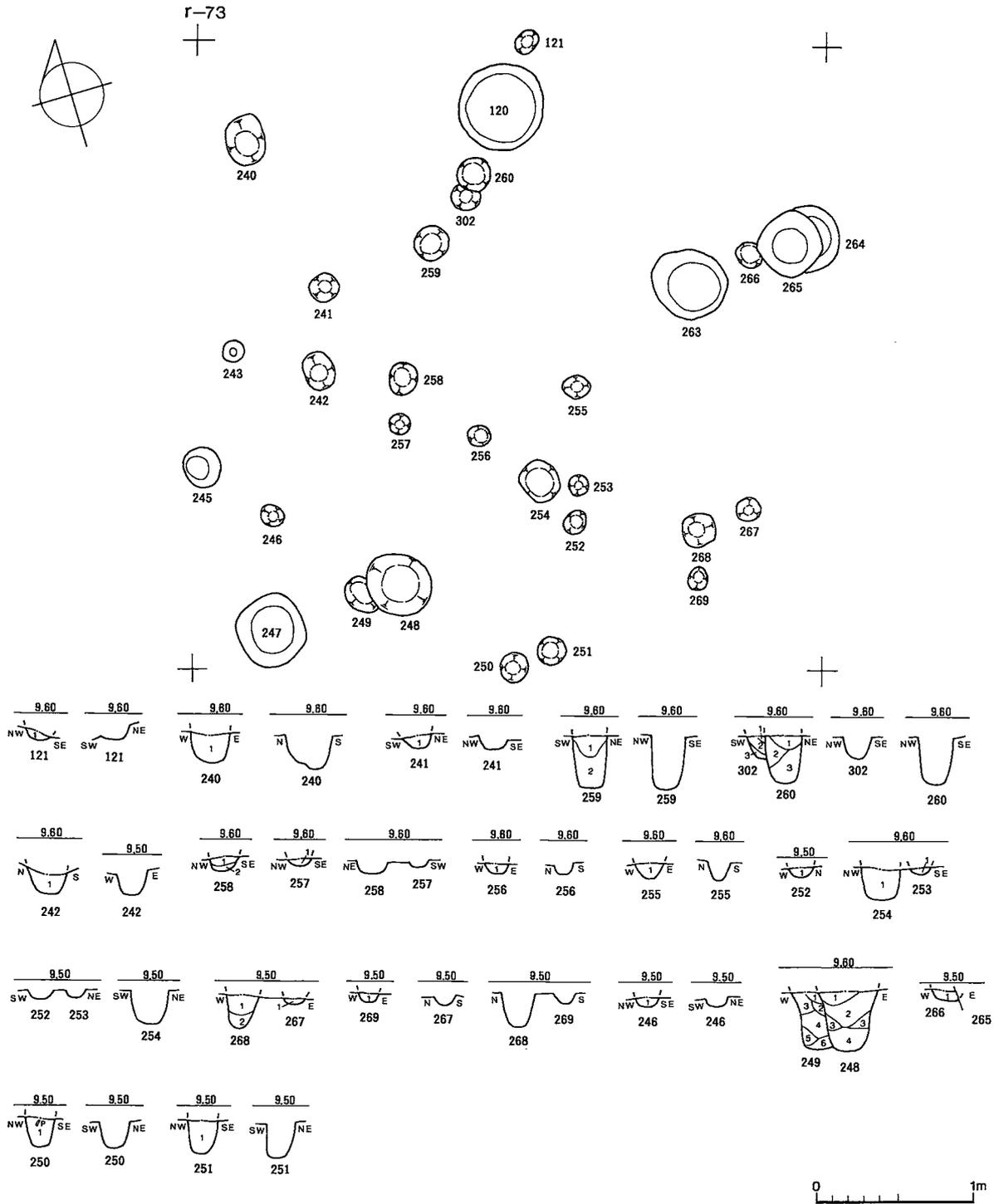
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	(付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-102	p-73・q-73	12 × 12	3 × 3 / 7	9.56	①暗黄灰	
〃 -103	p-73	15 × 13	8 × 8 / 9	9.56	①褐>黄 (>En-a)	
〃 -104	q-73	12 × 12	8 × 8 / 7	9.57	①褐>黄 (>En-a) 軟質	
〃 -105	〃	22 × (20) / 16 × (13)	29	9.30	①褐>黄 ②=① (>En-a) ③=① (②よりEn-aが少ない) ④=① (①より黒い) ⑤=② (小さなEn-a)	105→106
〃 -106	〃	17 × 17	7 × 7 / 16	9.44	①褐>黄 (>En-a) ②=① (①よりEn-a多い)	106←105
〃 -107	〃	14 × 11	7 × 6 / 4	9.54	①褐>黄 (>En-a)	
〃 -131	〃	15 × 14	4 × 4 / 9	9.41	①褐>黄 (>En-a)	
〃 -130	〃	13 × 13	9 × 9 / 4	9.52	①暗褐 (>En-a) 堅い	
〃 -124	q-73・74	37 × 22 / 24 × 15	30	9.20	①褐>黄 (>小さなEn-a) 粘質 ②①>大きなEn-a ③褐>黄 (>En-a) 粘質	
〃 -123	q-73	16 × 14	8 × 7 / 18	9.28	①暗褐>黄 (>En-a) ②En-a>暗黄褐	
〃 -99	〃	(14) × — / — × — / (8)	(8)	9.44	①暗褐>黄 (>大きなEn-a)	98←99



図IV-127 q-73の柱穴状ピット

表IV-140 q-73の柱穴状ピット一覧(2)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)			墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸	深さ			
RLSP-98	q-72・73	32 × 30	11 × 11	26	9.36	①暗褐>黄 (>大きなEn-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③≒① (>En-a) ④黒褐 粘質	98←99
〃 -97	q-73	19 × 14	7 × 7	27	9.27	①褐>黄 (>En-a) ②褐+黄 (>小さなEn-a)	
〃 -100	〃	16 × 16	6 × 6	9	9.49	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
〃 -109	〃	10 × 10	— × —	3	9.54	①En-a>黄褐	
〃 -108	〃	16 × 16	10 × 9	15	9.54	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
〃 -110	〃	19 × 16	10 × 10	12	9.44	①暗褐>黄 (>En-a) ② ①+大きなEn-a ③ ①>小さなEn-a ④En-a>黄褐 ボロボロ	
〃 -111	〃	21 × 20	14 × 14	9	9.40	①暗褐 (>En-a) 堅い	
〃 -112	〃	12 × 11	9 × 6	6	9.44	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
〃 -113	〃	16 × 16	6 × 6	26	9.28	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐 ボソボソ ③暗褐>黄 (>En-a) ④小さなEn-a+黄褐	
〃 -114	〃	40 × 30	20 × 17	25	9.29	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) フレイク ③≒② (>大きなEn-a) ④≒① (>大きなEn-a) ⑤≒① (①より暗く、軟質) ⑥En-a+ ③ ⑦暗褐>黄 (>En-a) 軟質	
〃 -93	〃	33 × 24	18 × 15	33	9.18	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い ②En-a>黄 ボロボロ ③暗褐>黄 (>En-a) 粘質	
〃 -119	〃	12 × 10	6 × 6	6	9.40	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -122	〃	11 × 11	5 × 5	9	9.40	①暗褐>黄 (>En-a)	



図IV-128 r-73の柱穴状ピット

表IV-141 r-73の柱穴状ピット一覧(1)

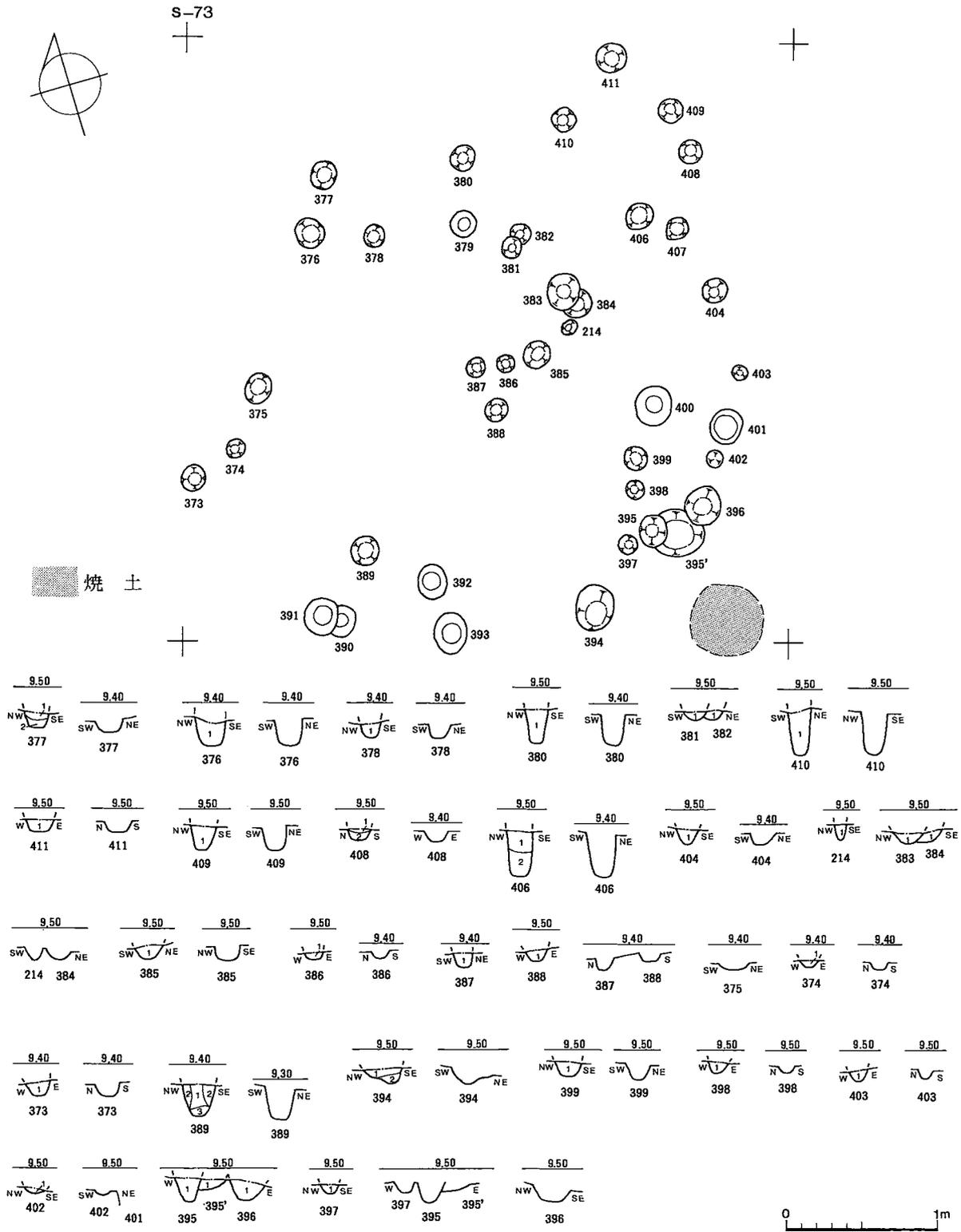
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(壊底)面 (cm)	壊底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-240	r-73	32 × 24 / 17 × 14 / 22		9.24	①黒褐 (ブロック状にEn-a混入)	
// -121	q-73・r-73	15 × 12 / 10 × 7 / 9		9.42	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -260	r-73	22 × 21 / 14 × 13 / 31		9.16	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒① (>小さなEn-a) 軟質 ③≒① (①より黒い) ポソポソ	260←302
// -302	r-73	19 × (17) / 6 × 8 / 15		9.33	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒① (>En-a) ③≒① (>En-a) 粘質	302→260

表IV-142 r-73の柱穴状ピット一覧(2)

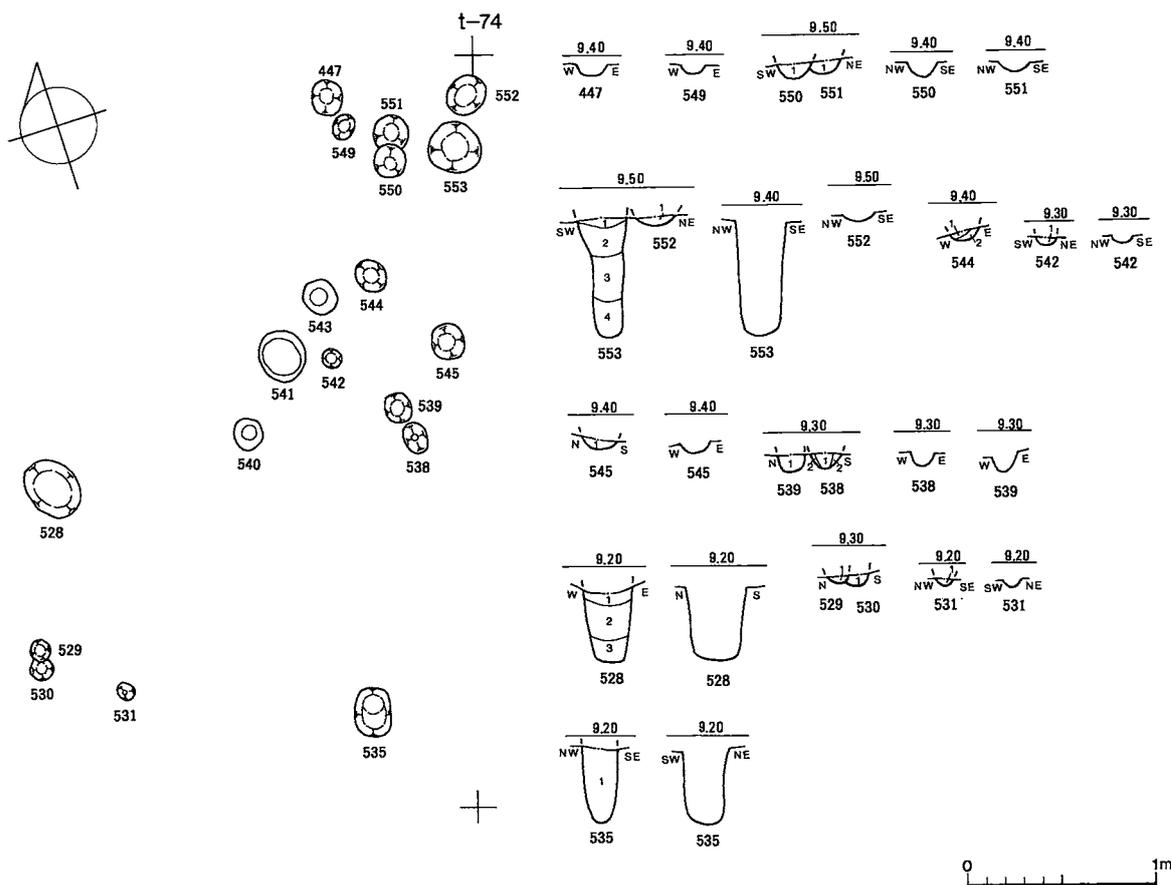
柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(坑底)面 (cm)		坑底 レベル (m)	覆土(土層注記)	(付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-259	r-73	23 × 22	14 × 12 / 34	9.12	①暗褐 (>小さなEn-a) ②=① (>En-a) ボソボソ	
// -241	//	18 × 17	6 × 8 / 10	9.38	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -242	//	24 × 19	11 × 11 / 16	9.24	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -258	//	20 × 18	12 × 11 / 9	9.38	①暗褐>黄 (>En-a) ②灰褐 (>En-a) 砂質	
// -257	//	13 × 13	6 × 6 / 5	9.42	①褐>黄 (>En-a)	
// -256	//	14 × 13	8 × 9 / 7	9.38	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -255	//	16 × 14	8 × 7 / 11	9.34	①褐>黄 (>En-a)	
// -266	//	18 × 16	12 × 11 / 10	9.34	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い	
// -254	//	25 × 24	18 × 17 / 21	9.22	①黒褐 粘質	
// -253	//	13 × 12	5 × 5 / 6	9.38	//	
// -252	//	15 × 13	8 × 8 / 7	9.37	①褐>黄 (>En-a) 砂質	
// -268	//	20 × 20	9 × 9 / 22	9.21	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① ボソボソ	
// -267	//	17 × 15	4 × 4 / 7	9.35	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -269	//	14 × 12	7 × 7 / 6	9.36	①褐>黄 (>En-a) 砂質	
// -249	//	24 × (20)	16 × (12) / 34	9.08	①褐>黄 (>En-a) ②=① (黄色土多い) ③ En-a ④暗褐>黄 (>小さなEn-a) ザラザラ ⑤暗褐>黄 (>小さなEn-a) ⑥En-a>黄褐	
// -248	//	44 × 38	24 × 23 / 38	9.06	①褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ ③ 暗褐>黄 (>小さなEn-a) ④En-a+暗黄褐ザラザラ	248←249
// -246	//	14 × 13	6 × 7 / 6	9.34	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -250	r-73・s-73	19 × 17	8 × 9 / 17	9.22	//	
// -251	r-73	18 × 18	10 × 10 / 21	9.36	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	

表IV-143 s-73の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(坑底)面 (cm)		坑底 レベル (m)	覆土(土層注記)	(付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-377	s-73	18 × 16	11 × 10 / 10	9.20	①暗褐>黄 (>En-a) ② ①>黄 (>En-a)	
// -376	//	20 × 18	12 × 12 / 18	9.12	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -378	//	14 × 14	8 × 8 / 9	9.17	①褐>黄 (>En-a) ボロボロ	
// -380	//	16 × 16	8 × 7 / 22	9.12	①褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -410	//	15 × 15	7 × 7 / 28	9.07	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -411	//	19 × 19	10 × 11 / 8	9.34	①暗褐>黄 (>En-a)	フレイク
// -409	//	16 × 15	8 × 7 / 16	9.22	//	
// -408	//	15 × 15	7 × 7 / 7	9.27	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -406	//	19 × 17	12 × 10 / 30	9.05	①暗褐>黄 (>En-a) ②=①ボソボソ	
// -407	//	14 × 14	10 × 9 / -	-	-	
// -404	//	16 × 15	7 × 7 / 8	9.27	①褐>黄 (>En-a)	
// -403	//	9 × 9	6 × 4 / 6	9.31	①暗褐>黄	
// -402	//	12 × 11	- × - / 3	9.32	①暗褐	
// -399	//	16 × 15	9 × 6 / 10	9.30	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -398	//	12 × 12	6 × 5 / 4	9.35	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -395	//	21 × 19	9 × 9 / 16	9.27	①暗褐>黄 (>大きなEn-a)	395←395'
// -396	//	16 × 14	12 × 12 / 14	9.28	①黒 (>En-a) ザラザラ	396←395'
// -395'	//	(34) × 32	(22) × 19 / 8	9.34	①暗褐>黄	395'→395, 396
// -397	//	12 × 12	5 × 5 / 3	9.34	①暗褐	
// -394	//	30 × 25	16 × 4 / 11	9.27	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (①よりEn-a少ない) 砂質	
// -382	//	13 × (13)	5 × 6 / 6	9.30	①黒褐>黄 (>En-a)	381←382
// -381	//	13 × 13	5 × 5 / 5	9.30	①黒褐>黄	381←382
// -383	//	24 × 22	10 × 9 / 8	9.29	①黒褐 (>En-a)	383←384
// -384	//	20 × (18)	10 × (9) / 9	9.29	①黒褐 (>小さなEn-a)	384←383
// -214	//	10 × 8	5 × 4 / 11	9.29	①暗褐>黄 軟質	
// -385	//	19 × 19	10 × 8 / 10	9.28	①黒褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -386	//	11 × 11	6 × 8 / 5	9.30	①暗褐>黄	
// -387	//	13 × 12	6 × 6 / 9	9.23	①黒褐>黄	
// -388	//	15 × 14	8 × 8 / 8	9.29	①黒褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -375	//	20 × 16	11 × 10 / 4	9.23	-	
// -374	//	12 × 11	6 × 6 / 5	9.24	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -373	s-72・73	16 × 15	8 × 8 / 10	9.18	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -389	s-73	19 × 18	11 × 10 / 22	9.03	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ ②暗褐>黄 (> 大きなEn-a) ③ ①>黄 (>En-a)	



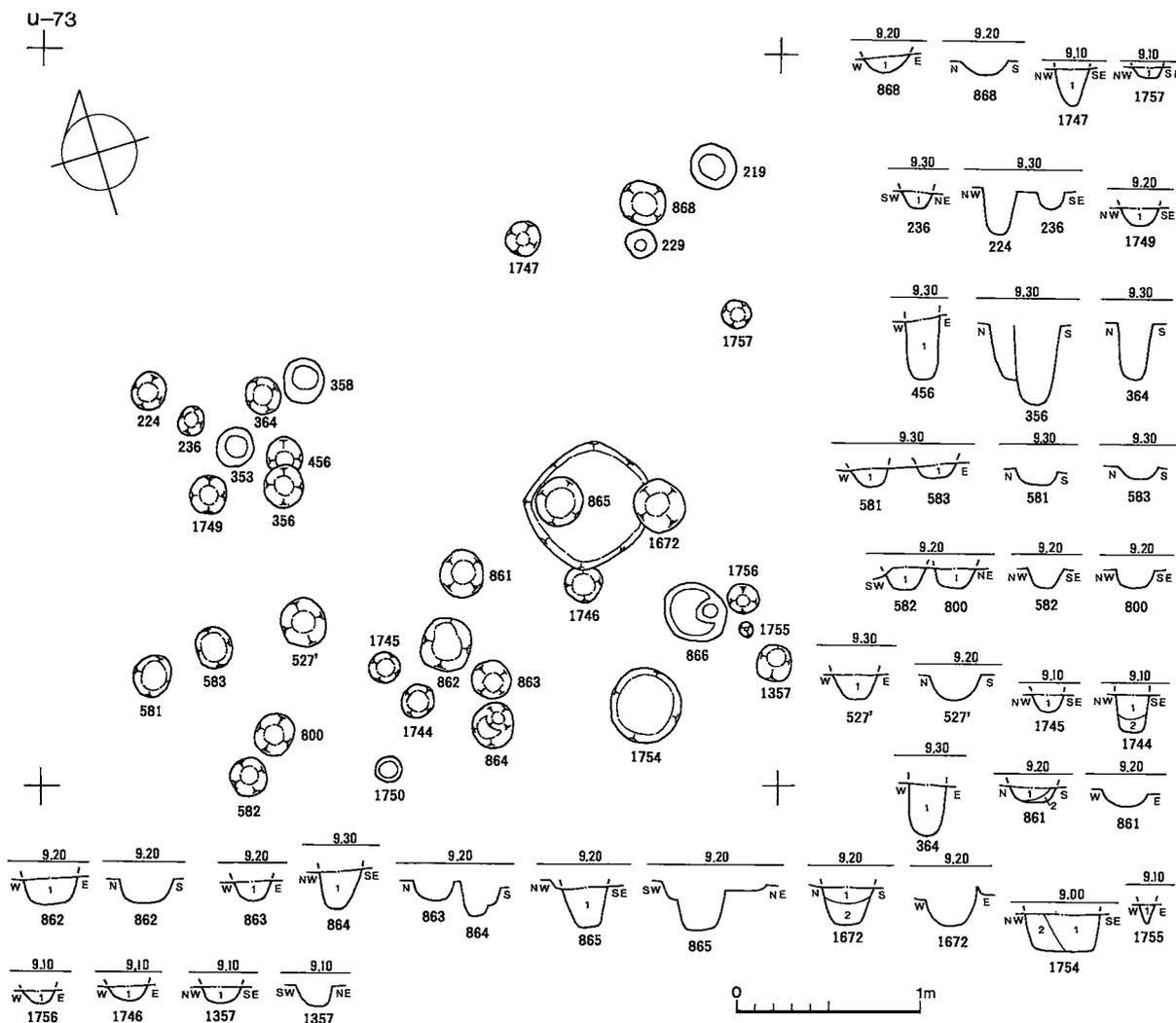
図IV-129 s-73の柱穴状ピット



図IV-130 t-73の柱穴状ピット

表IV-144 t-73の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-447	t-73	19 × 16	8 × 8 / 5	9.28	———	
// -549	//	13 × 12	6 × 6 / 5	9.30	———	
// -550	//	17 × 16	6 × 7 / 9	9.26	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	550←551
// -551	//	(19) × 18	7 × 9 / 6	9.28	①暗褐>黄 (>En-a)	551→550
// -552	t-73・74	21 × 18	13 × 10 / 3	9.30	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -553	//	28 × 26	16 × 15 / 60	8.71	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②≒①ボソボソ ③≒ ① 軟質、ザラザラ ④小さなEn-a ボロボロ	
// -544	t-73	18 × 15	8 × 8 / 6	9.20	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 ボソボソ	
// -545	//	18 × 18	9 × 9 / 6	9.20	①褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -542	//	9 × 9	6 × 6 / 4	9.17	①黒褐 (>En-a)	
// -539	//	16 × 14	8 × 8 / 11	9.08	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -538	//	16 × 13	3 × 3 / 9	9.12	①暗褐 粘質 ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -528	//	33 × 26	22 × 17 / 39	8.70	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 ボソボソ ③≒① 軟質	
// -529	//	12 × 10	6 × 6 / 4	9.10	①黒褐 (>En-a)	529←530
// -530	//	(12) × 11	7 × 6 / 7	9.08	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -531	//	8 × 5	2 × 2 / 4	9.07	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -535	//	26 × 18	17 × 12 / 40	8.73	①暗褐>黄 (>En-a) 中〜ボソボソ、下〜En-a多い	



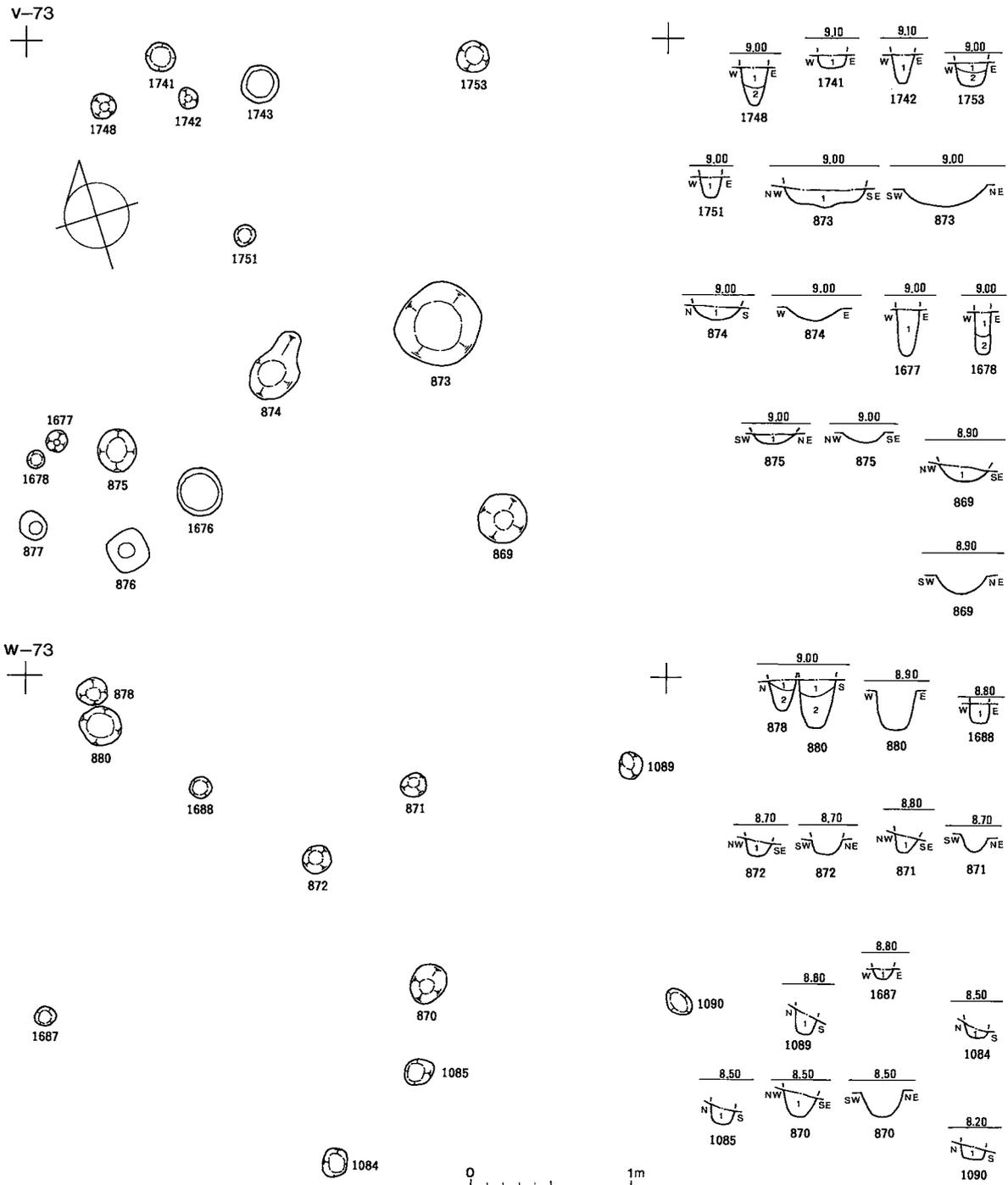
図IV-131 u-73の柱穴状ピット

表IV-145 u-73の柱穴状ピット一覽(1)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面		床(城底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(よりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ				
RLSP-1747	u-73	20 × -	4 × - / 2		8.85	①黒褐>黄 (>En-a) 軟質	
// -1757	//	15 × -	8 × - / 5		9.00	①黒褐 (>En-a)	
// -868	//	26 × 23	14 × 13 / 8		9.01	①黒褐 軟質	
// -224	//	21 × 19	11 × 10 / 25		8.94	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -236	//	15 × 14	7 × 8 / 9		9.08	①暗褐>黄	
// -364	//	20 × 20	11 × 11 / 27		8.86	①暗褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -456	//	20 × (18)	10 × (10) / 35		8.85	①褐>黄 (>En-a)	456→356
// -356	//	22 × 22	11 × 10 / 45		8.72	-	356←456
// -1749	//	20 × -	10 × - / 9		9.00	①黒褐 (>En-a)	
// -581	//	23 × 20	16 × 16 / 9		9.01	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -583	//	23 × 19	16 × 13 / 7		9.11	//	
// -582	u-73, v-73	20 × 20	10 × 10 / 12		9.02	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -800	u-73	23 × 20	10 × 11 / 10		9.02	//	
// -527'	//	26 × 24	12 × 12 / 14		9.00	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -1745	//	17 × -	10 × - / 10		8.94	①黒 (>En-a)	
// -1744	//	18 × -	13 × - / 20		8.83	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -862	//	29 × 26	20 × 17 / 14		8.97	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -861	//	25 × 25	13 × 12 / 9		9.02	①暗褐>黄 (>En-a) ② ①+En-a	
// -863	//	22 × 21	10 × 10 / 10		8.99	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -864	//	25 × 23	6 × 6 / 20		8.90	①暗褐>黄 (>En-a) 軟質	

表IV-146 u-73の柱穴状ピット一覧(2)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1754	u-73	40 × -	35 × - / 20	8.73	①暗褐>黄(+En-a) ②暗褐>黄(>En-a) 軟質	
// -1746	//	19 × -	12 × - / 7	8.94	①黒褐(>En-a)	
// -865	//	26 × 24	17 × 17 / 21	8.84	①黒褐(>En-a)	
// -1672	//	28 × 26	12 × 12 / 22	8.88	①黒褐>黄(>En-a) ②黒褐>黄(>En-a) とともに粘質	
// -1756	//	16 × -	7 × - / 7	8.92	①黒褐(>下にEn-a)	
// -1755	//	8 × -	2 × - / 11	8.88	①暗褐>黄	
// -1357	u-73・74	20 × 18	10 × 10 / 9	8.92	①黒褐>黄(>En-a)	



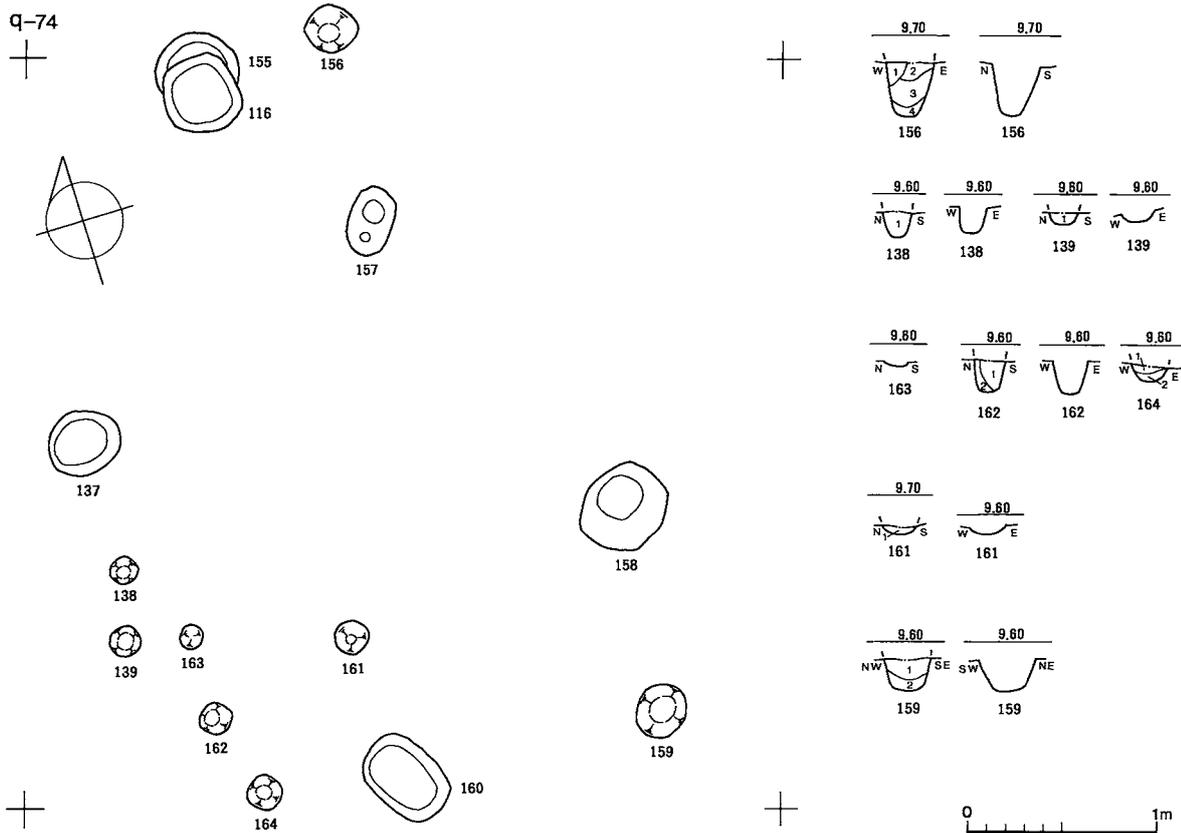
図IV-132 v-73・w-73の柱穴状ピット

表IV-147 v-73の柱穴状ピット一覧

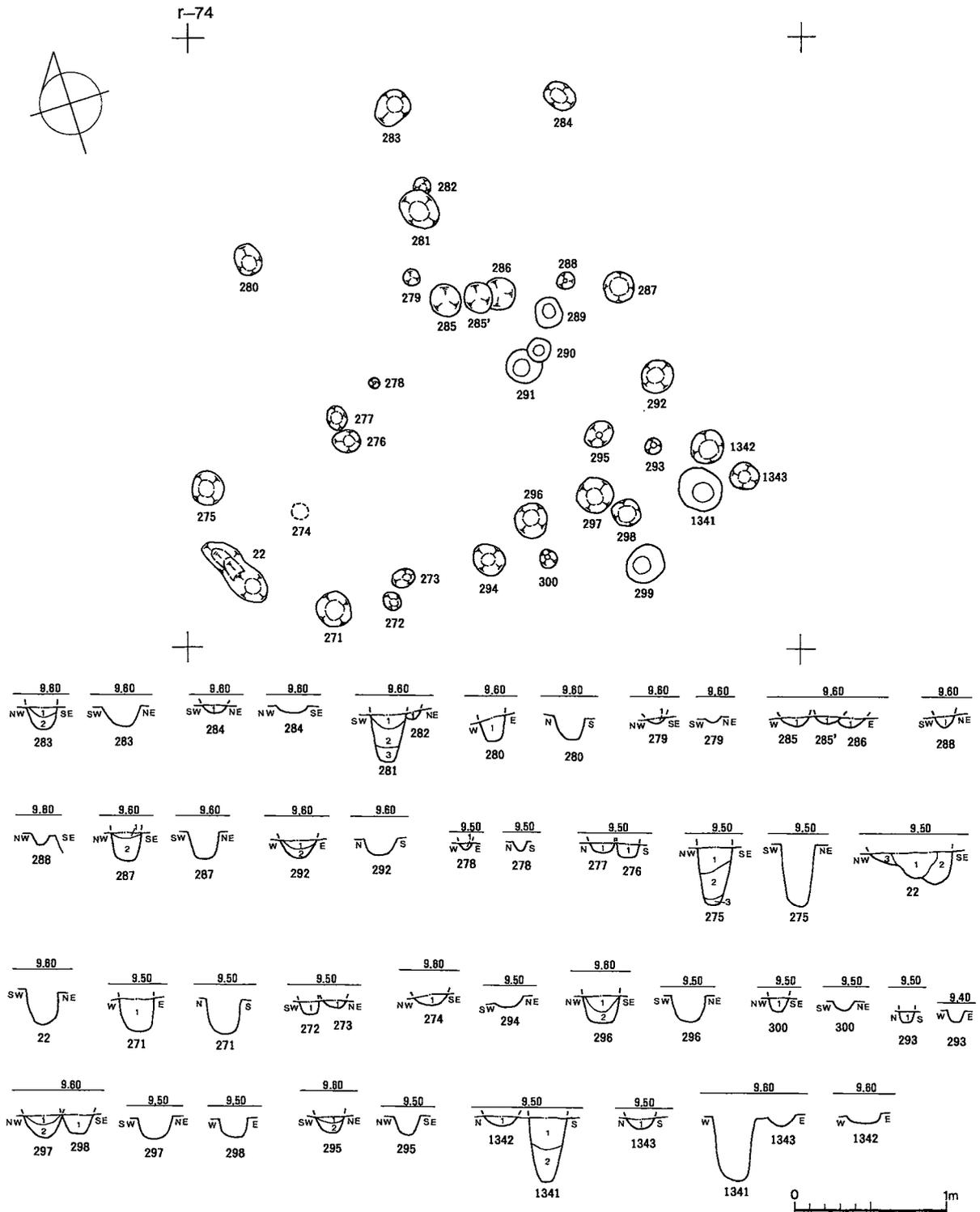
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(坑底)面 (cm)	坑底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1748	v-73	15 × - / 5 × - / 24		8.68	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1741	//	19 × - / 16 × - / 8		8.91	①黒褐 (>En-a)	
// -1742	//	15 × - / 4 × - / 18		8.81	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1753	//	20 × - / 13 × - / 15		8.79	①暗褐>黄 ②=① (>En-a)	
// -1751	//	13 × - / 8 × - / 12		8.80	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1677	//	13 × - / 4 × - / 29		8.62	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1678	//	10 × - / 8 × - / 26		8.63	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄	
// -875	//	27 × 24 / 16 × 13 / 6		8.88	①暗褐>黄	
// -874	//	(32) × 28 / 18 × 16 / 8		8.85	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -873	//	52 × 49 / 31 × 31 / 10		8.75	①暗褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -869	//	31 × 30 / 12 × 12 / 11		8.63	①暗褐 (>En-a)	

表IV-148 w-73の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(坑底)面 (cm)	坑底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-878	w-73	18 × 18 / 10 × 9 / 19		8.72	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 ともに粘質	
// -880	//	26 × 24 / 17 × 16 / 25		8.60	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 粘質	
// -1688	//	12 × - / 10 × - / 12		8.63	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1687	//	12 × - / 8 × - / 6		8.63	①暗褐>黄	
// -872	//	18 × 17 / 9 × 9 / 10		8.52	①黒褐	
// -871	//	16 × 15 / 7 × 6 / 10		8.54	①暗褐 (>En-a)	
// -870	//	25 × 22 / 10 × 9 / 17		8.26	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1089	//	16 × 16 / 10 × 7 / 12		8.28	①黒褐 (しまりやや弱)	
// -1085	//	19 × 16 / 11 × 11 / 10		8.22	//	
// -1084	//	18 × 16 / 12 × 10 / 6		8.27	//	
// -1090	//	19 × 14 / 14 × 9 / 8		8.00	//	



図IV-133 q-74の柱穴状ピット



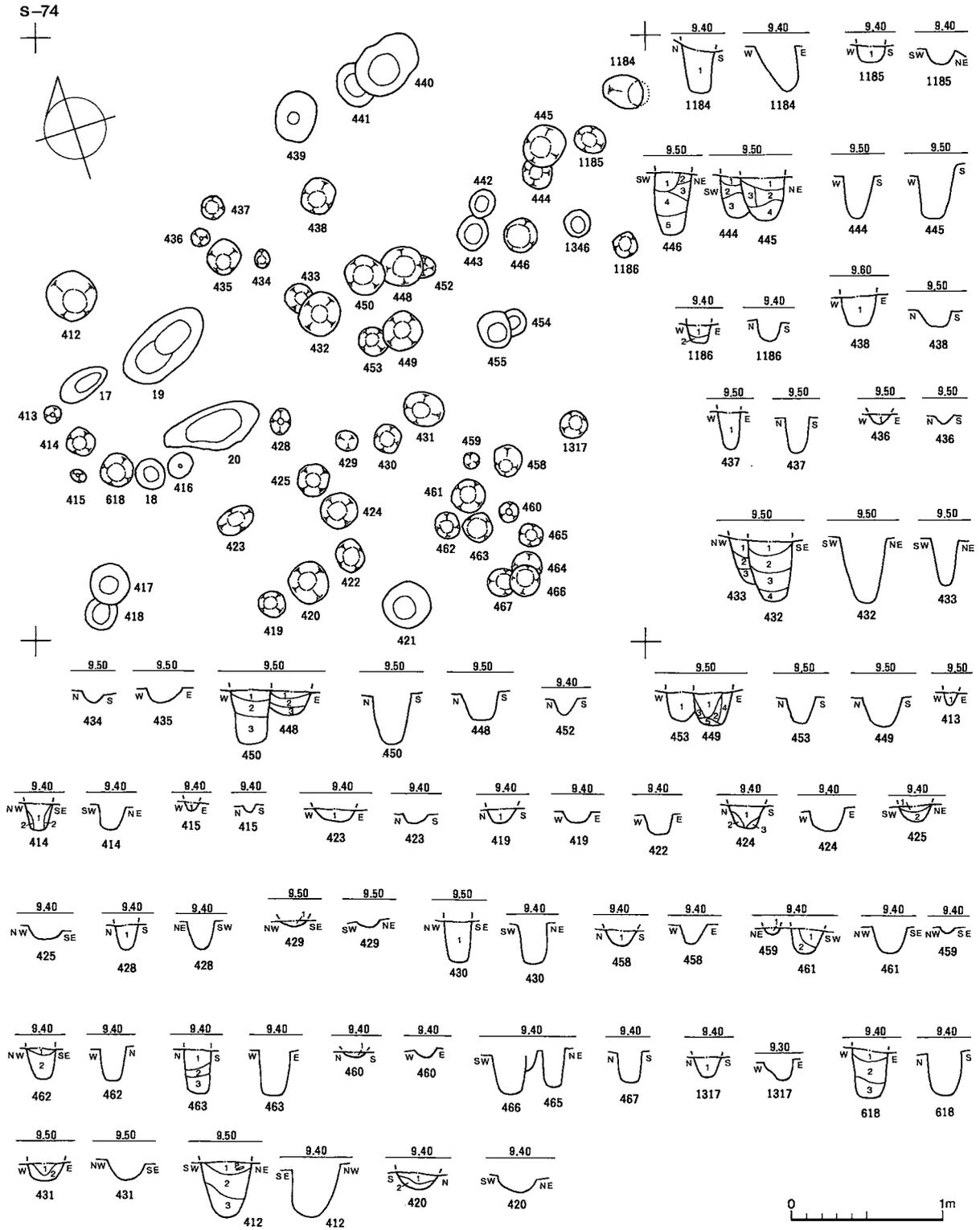
図IV-134 r-74の柱穴状ピット

表IV-149 q-74の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位 置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳 底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-156	p-74	25 × 25	11 × 10 / 28	9.26	①褐>黄 (>En-a) ②暗黄 (>En-a) ボロボロ ③黄>褐 (>En-a) ボソボソ ④暗黄 (>En-a) 粘質	
// -138	q-74	14 × 13	8 × 7 / 13	9.39	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -139	//	16 × 15	10 × 9 / 5	9.46	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ザラザラ	
// -163	//	13 × 12	— × — / 2	9.48	——	
// -162	//	18 × 16	8 × 9 / 18	9.34	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②≒① (>En-a)	
// -164	q-74・r-74	18 × 17	8 × 7 / 10	9.41	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -161	q-74	18 × 17	6 × 3 / 4	9.49	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -159	//	29 × 26	15 × 12 / 17	9.33	①黒褐 粘質 ② ①En-a	

表IV-150 r-74の柱穴状ピット一覧

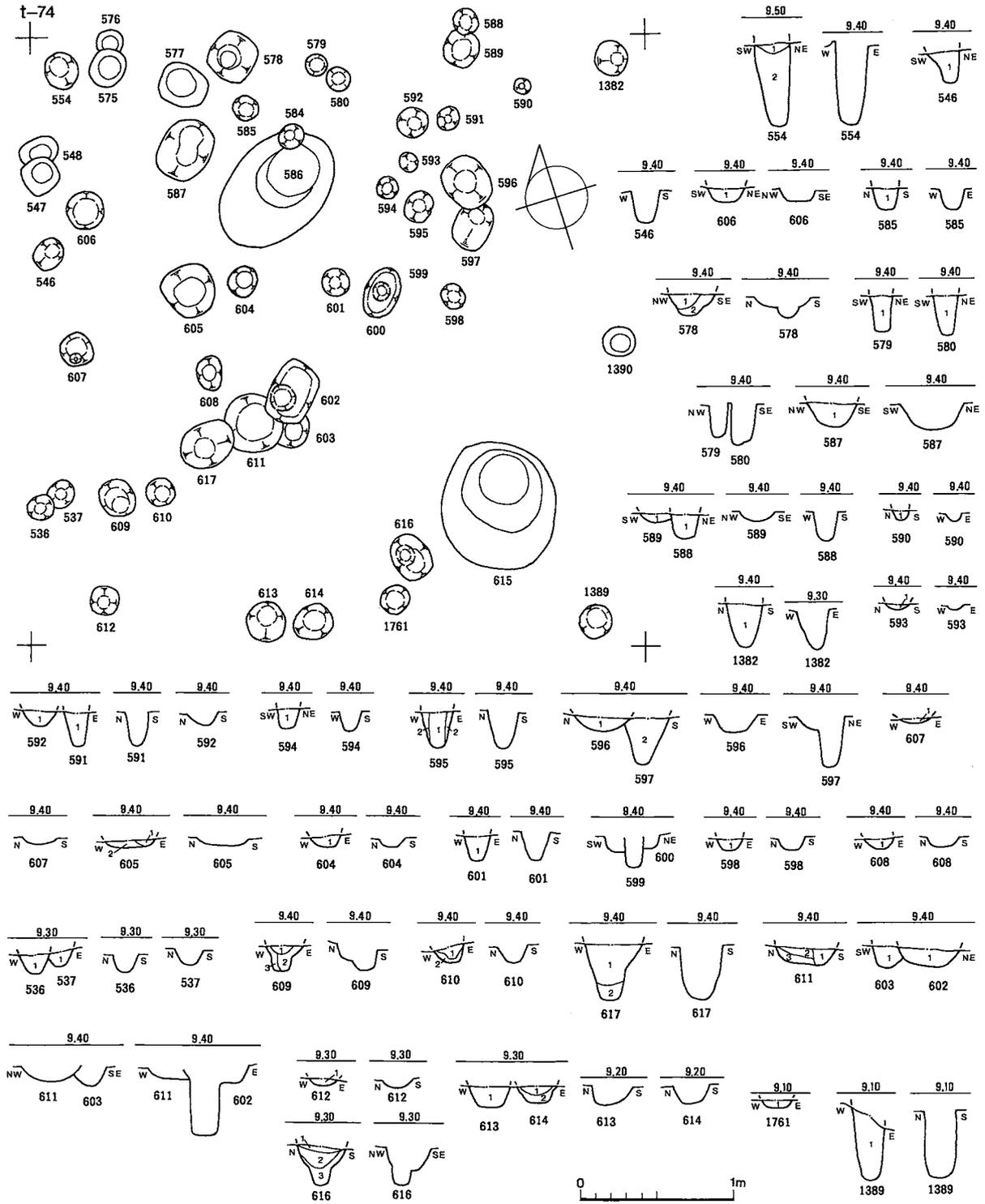
柱穴状 ピット番号	位 置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳 底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-283	r-74	25 × 20	11 × 12 / 14	9.38	①褐>黄 ②≒① (>小さなEn-a)	
// -284	//	25 × 20	11 × 10 / 4	9.47	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -281	//	28 × 22	14 × 12 / 31	9.19	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a) ボソボソ ③暗褐>黄 (>En-a)	281←282 フレイク
// -282	//	(12) × 10	(6) × 5 / 4	9.46	①暗褐>黄 (>En-a)	282→281
// -280	//	20 × 16	10 × 7 / 16	9.30	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -279	//	10 × 10	— × — / 3	9.43	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -285	//	23 × 20	12 × 8 / 6	9.41	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -285'	//	20 × 19	12 × 10 / 4	9.43	①褐>黄	285'←286
// -286	//	21 × 18	10 × 10 / 4	9.40	①褐>黄 (>En-a)	286→285'
// -288	//	12 × 11	2 × 2 / 7	9.40	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -287	//	21 × 20	13 × 12 / 17	9.30	①褐>黄 (>En-a) ②En-a>① ボソボソ	
// -278	//	7 × 6	— × — / 4	9.38	①褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -277	//	15 × 12	8 × 8 / 8	9.38	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い	
// -276	//	18 × 14	8 × 7 / 9	9.35	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い	
// -275	//	22 × 21	12 × 10 / 40	9.02	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②暗褐>黄 軟質 ③En-a>暗黄褐	
// -274	//	(12) × (10)	— × — / —	——	——	
// -22	//	53 × 20	13 × 10 / 22	9.22	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -271	//	23 × 22	15 × 13 / 25	9.16	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -272	//	13 × 11	6 × 5 / 8	9.29	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -273	//	15 × 12	6 × 5 / 6	9.32	//	
// -294	//	22 × 20	9 × 9 / 8	9.35	①暗褐>黄 (>En-a) ボロボロ	
// -296	//	42 × 42	11 × 11 / 17	9.27	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -300	//	12 × 11	4 × 3 / 7	9.35	①褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -297	//	43 × 42	11 × 11 / 15	9.28	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
// -298	//	18 × 17	11 × 10 / 13	9.29	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い	
// -295	//	19 × 16	4 × 4 / 12	9.31	①褐>黄 (>大きなEn-a) ②褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -293	//	10 × 10	4 × 4 / 8	9.27	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ボソボソ	
// -292	//	22 × 20	11 × 10 / 11	9.34	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -1342	//	22 × 21	13 × 11 / 5	9.40	①黒 (>En-a) ザラザラ	
// -1343	//	17 × 17	8 × 8 / 6	9.38	①黒褐	



図IV-135 S-74の柱穴状ピット

表IV-151 s-74の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位 置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳 底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1184	s-74・75	27 × 22 / 12 × 16 / 28		9.01	①黒褐>黄 (>En-a) 粘質	
// -1185	s-74	22 × 18 / 11 × 10 / 10		9.18	①黒褐 (>En-a)	
// -445	//	29 × 26 / 14 × 14 / 28		9.17	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒①ボソボソ ③En-a+② ④≒② (En-a多い) 軟質	445←444
// -444	//	(20) × 19 / (10) × 9 / 28		9.18	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒①ガラガラ ③砂粒のEn-aに②がわずかに混入、ボロボロ	444→445
// -446	//	22 × 22 / 17 × 16 / 39		8.98	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 ③≒②ボ ソボソ ④≒① (>En-a) 軟質 ⑤暗褐 粘質	
// -1186	//	16 × 15 / 9 × 8 / 12		9.17	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 粘質	
// -438	//	24 × 21 / 12 × 12 / 20		9.26	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -437	//	15 × 15 / 8 × 8 / 24		9.14	①褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -436	//	12 × 12 / 2 × 2 / 6		9.33	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -435	//	22 × 21 / 10 × 10 / 12		9.28	—	
// -434	//	12 × 10 / 5 × 5 / 8		9.28	—	
// -433	//	— × 18 / — × 8 / 29		9.07	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②≒①ボソボソ ③≒① (>大きなEn-a)	433→432
// -432	//	31 × 29 / 11 × 11 / 43		8.95	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒①ボソボソ ③≒① 軟質 ④En-a>黄褐	432←433
// -450	//	26 × 26 / 13 × 13 / 34		9.02	①褐>黄 (>小さなEn-a) ②≒①ボソボソ ③暗黄褐 (>小さなEn-a) 粘質	450←448
// -448	//	28 × 26 / 15 × 14 / 18		9.18	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>小さなEn-a) ③≒② (>En-a)	450←448←452
// -452	//	— × 15 / — × 4 / (10)		9.22	—	452→448
// -453	//	19 × 18 / 8 × 9 / 17		9.18	①暗褐+黄+En-a ガラガラ	453←449
// -449	//	26 × 24 / 12 × 11 / 24		9.15	①暗褐>黄 ②≒① (>小さなEn-a) ③暗褐>黄 (>小 さなEn-a) ④En-a>② ⑤En-a+暗黄褐 ガラガラ	449→453
// -412	//	32 × 31 / 17 × 15 / 34		9.00	①黒褐 ②①>黄 (>小さなEn-a) ③En-a ボロボロ	
// -413	//	11 × 11 / 3 × 3 / 9		9.28	①褐>黄 (+En-a) ボロボロ	
// -414	//	18 × 18 / 9 × 9 / 17		9.15	①褐>黄 (>En-a) ② ①<En-a	フレイク
// -415	//	10 × 8 / 2 × 2 / 5		9.27	①暗褐>黄	
// -618	//	22 × 22 / 13 × 12 / 28		9.01	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い ②≒① (>En-a) ボソボソ ③≒② 砂粒多い	
// -428	//	17 × 13 / 4 × 4 / 18		9.16	①暗褐>黄 (>En-a) 堅い、ガラガラ	
// -429	//	16 × 14 / — × — / 4		9.31	①暗褐>黄	
// -430	//	19 × 18 / 9 × 10 / 27		9.05	①暗褐>黄 (>En-a) ガラガラ	フレイク
// -431	//	27 × 22 / 12 × 10 / 14		9.24	①暗褐>黄 ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -425	//	21 × 21 / 9 × 10 / 9		9.22	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -423	//	26 × 16 / 12 × 9 / 9		9.20	①暗褐>黄 (>En-a) ガラガラ	
// -424	//	24 × 24 / 12 × 12 / 16		9.16	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)炭化物混入 ②暗褐>黄 (>小さなEn-a) ③≒② (>大きなEn-a)	
// -419	//	18 × 17 / 8 × 9 / 9		9.21	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -420	//	26 × 25 / 12 × 12 / 10		9.17	①黒褐 ② ①>En-a	
// -422	//	22 × 18 / 12 × 11 / 13		9.14	—	
// -458	//	21 × 18 / 9 × 9 / 12		9.21	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -459	//	10 × 10 / — × — / 4		9.28	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -461	//	22 × 22 / 11 × 10 / 18		9.15	①黒褐>黄 (>En-a) ②≒① (En-a含まず)	
// -460	//	13 × 13 / 5 × 5 / 6		9.26	①暗褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -462	//	18 × 16 / 8 × 8 / 21		9.09	①暗褐>黄 ②暗褐>黄 (>小さなEn-a)	Rフレイク
// -463	//	18 × 18 / 16 × 17 / 30		9.00	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②≒①ボソボソ ③≒① (>大きなEn-a)	
// -465	//	16 × 15 / 8 × 7 / 25		9.06	—	
// -464	//	20 × — / — × — / (13)		9.17	—	464→466
// -466	//	20 × 20 / 12 × 12 / 26		9.02	—	466←464、467
// -467	//	(18) × 18 / (11) × 10 / 29		9.10	—	467→466
// -1317	//	19 × 18 / 9 × 10 / 14		9.14	①暗褐 (>En-a)	



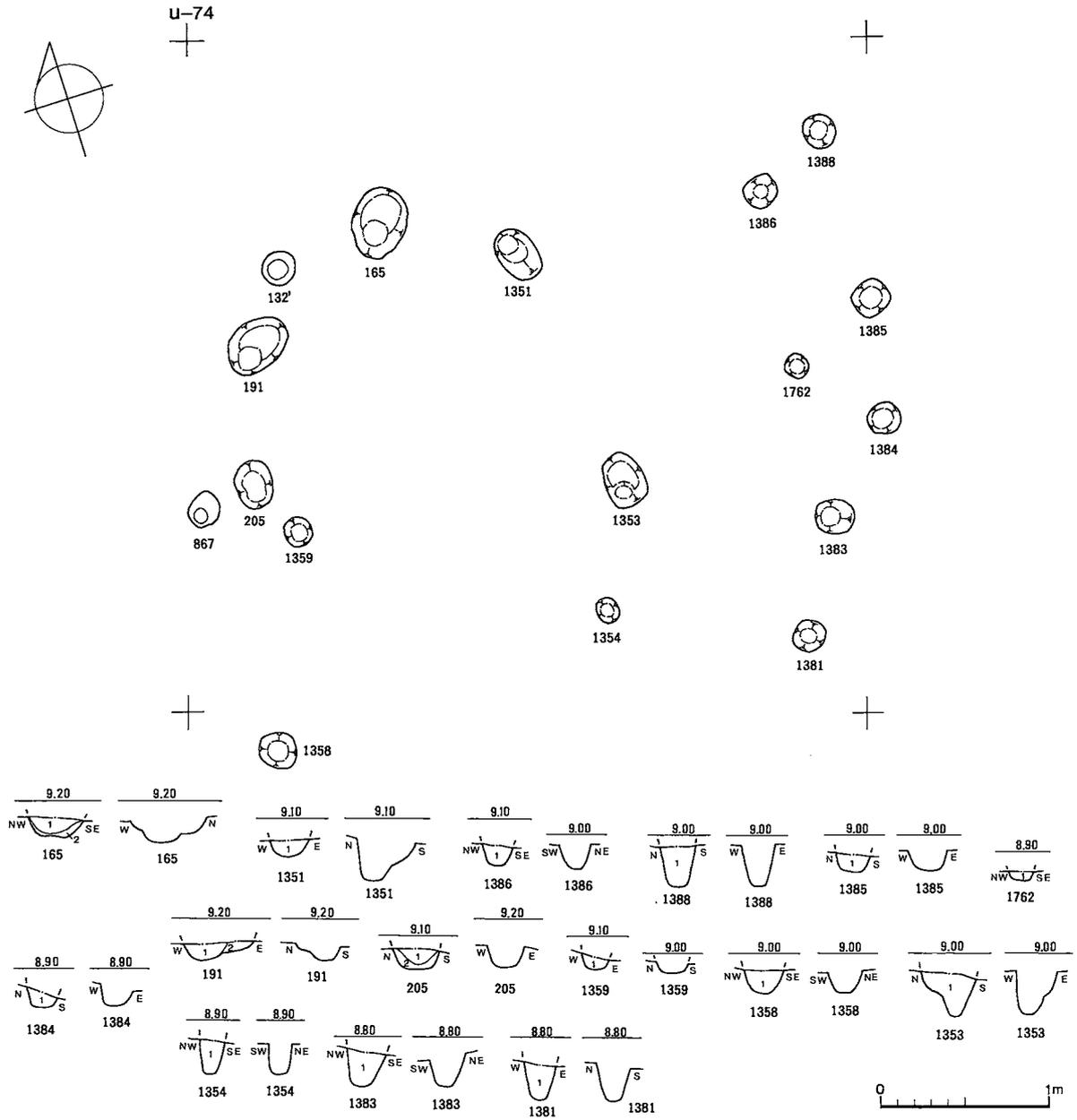
図IV-136 t-74の柱穴状ピット

表IV-152 t-74の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-554	t-74	24 × 21	13 × 12 / 53	8.79	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (En-a含まず) ボソボソ	石皿
〃 -578	s-74, t-74	31 × 30	16 × 16 / 14	9.15	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (①よりEn-a少ない)	
〃 -579	t-74	14 × 14	10 × 10 / 13	9.06	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -580	〃	16 × 15	9 × 9 / 16	9.01	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
〃 -585	〃	16 × 16	9 × 9 / 13	9.14	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
〃 -584	〃	16 × 15	7 × 7 / 10	—	暗褐>黄 (>En-a)	584←586
〃 -587	〃	41 × 33	27 × 25 / 18	9.11	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -606	〃	24 × 24	17 × 16 / 9	9.20	①褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
〃 -546	〃	21 × 18	10 × 10 / 21	9.07	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
〃 -588	s-74	16 × 16	10 × 8 / 18	9.10	①暗褐>黄 (>En-a)	588←589
〃 -589	s-74, t-74	24 × 23	14 × 12 / 6	9.22	①暗褐>黄	589→588
〃 -590	t-74	10 × 10	3 × 3 / 7	9.22	①暗褐>黄 ボソボソ	
〃 -1382	〃	24 × 21	9 × 8 / 28	8.98	①黒褐>黄 砂質	
〃 -592	〃	20 × 20	9 × 10 / 8	9.19	①黒褐	
〃 -591	〃	16 × 14	6 × 5 / 22	9.04	①黒褐 (>En-a)	
〃 -593	〃	13 × 10	— × — / 3	9.24	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -594	〃	15 × 14	8 × 8 / 12	9.15	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
〃 -595	〃	20 × 18	8 × 8 / 25	9.04	①暗褐>黄 (>En-a) ②En-a>暗黄褐	
〃 -596	〃	34 × 28	15 × 14 / 11	9.15	①黒褐 (>En-a)	596←597
〃 -597	〃	31 × 24	10 × 11 / 31	8.92	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	597→596
〃 -598	〃	16 × 15	8 × 8 / 8	9.18	①暗褐	
〃 -599	〃	12 × 12	7 × 6 / 22	9.06	—	599←600
〃 -600	〃	34 × 22	27 × 15 / 10	9.17	—	600→599
〃 -601	〃	19 × 18	8 × 8 / 19	9.11	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -604	〃	20 × 18	10 × 10 / 8	9.19	①暗褐 ザラザラ	
〃 -605	〃	34 × 32	18 × 20 / 6	9.20	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -607	〃	22 × 21	14 × 13 / 4	9.20	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -608	〃	23 × 17	10 × 8 / 8	9.20	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -602	〃	41 × 28	12 × 11 / 49	8.80	①暗褐>黄 (>En-a)	602←611←603
〃 -603	〃	— × —	— × — / 12	9.12	①褐>黄 (>En-a)	603→602, 611
〃 -611	〃	40 × (40)	24 × (24) / 11	9.17	①暗褐>黄 (>大きなEn-a) ②=① (En-a含まず) ③En-a>暗黄褐	603→611→602, 617
〃 -617	〃	37 × 29	14 × 14 / 36	8.90	①暗褐>黄 (>En-a) ②=① (>En-a) ボソボソ	617←611、磔
〃 -610	〃	19 × 18	10 × 10 / 13	9.14	①暗褐>黄 (>En-a) ②En-a>暗黄褐	
〃 -609	〃	26 × 23	17 × 14 / 17	9.07	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) ③En-a>暗褐	
〃 -537	〃	(20) × 17	8 × 7 / 11	9.11	①暗褐>黄 (>小さなEn-a)	537→536
〃 -536	t-73・74	17 × 16	8 × 7 / 12	9.06	①黒褐 (>En-a)	
〃 -612	t-74	19 × 18	9 × 8 / 6	9.12	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -613	〃	26 × 26	13 × 15 / 14	9.01	①黒 (>En-a) 軟質	
〃 -614	〃	25 × 23	14 × 14 / 11	9.02	①黒褐 (>En-a) ②En-a>黄灰	
〃 -616	〃	30 × 23	8 × 8 / 25	8.89	①暗褐>黄 (>小さなEn-a) ②=① (>En-a) ③暗褐>黄 (+En-a)	
〃 -1761	〃	19 × —	13 × — / 5	9.00	①黒褐>黄	
〃 -1389	〃	22 × 20	13 × 13 / 46	8.54	①暗褐 (>En-a)	

表IV-153 u-74の柱穴状ピット一覧(1)

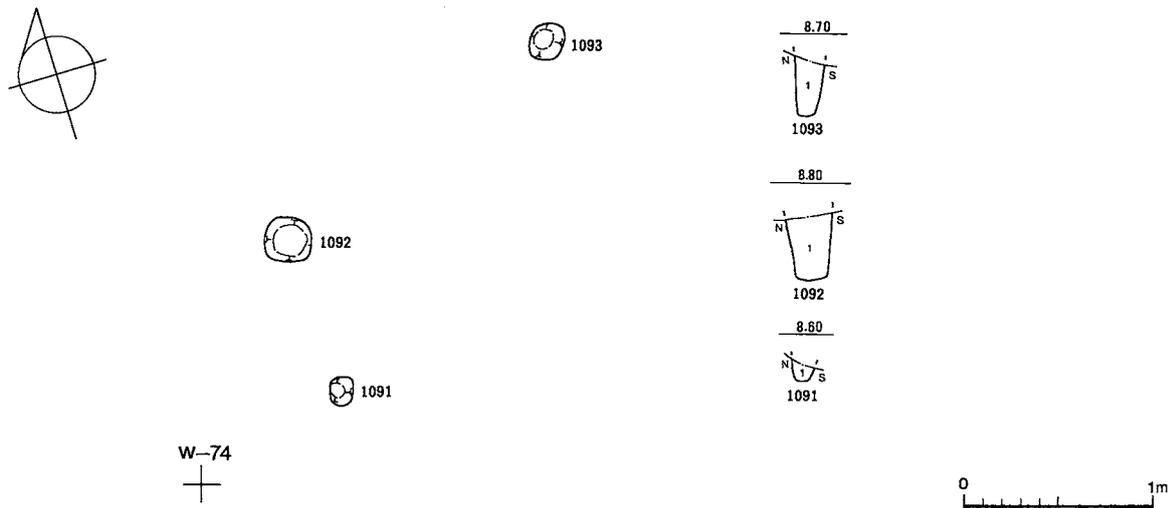
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1388	u-74	20 × 19	10 × 11 / 24	8.70	①黒褐 (>En-a) 粘質	
〃 -1386	〃	19 × 18	9 × 8 / 12	8.80	①黒褐 (>En-a) 粘質	
〃 -1385	u-74・75	22 × 20	12 × 12 / 10	8.79	①黒褐 粘質	
〃 -1762	u-74	15 × —	10 × — / 5	8.73	①黒褐	



図IV-137 u-74の柱穴状ピット

表IV-154 u-74の柱穴状ピット一覧(2)

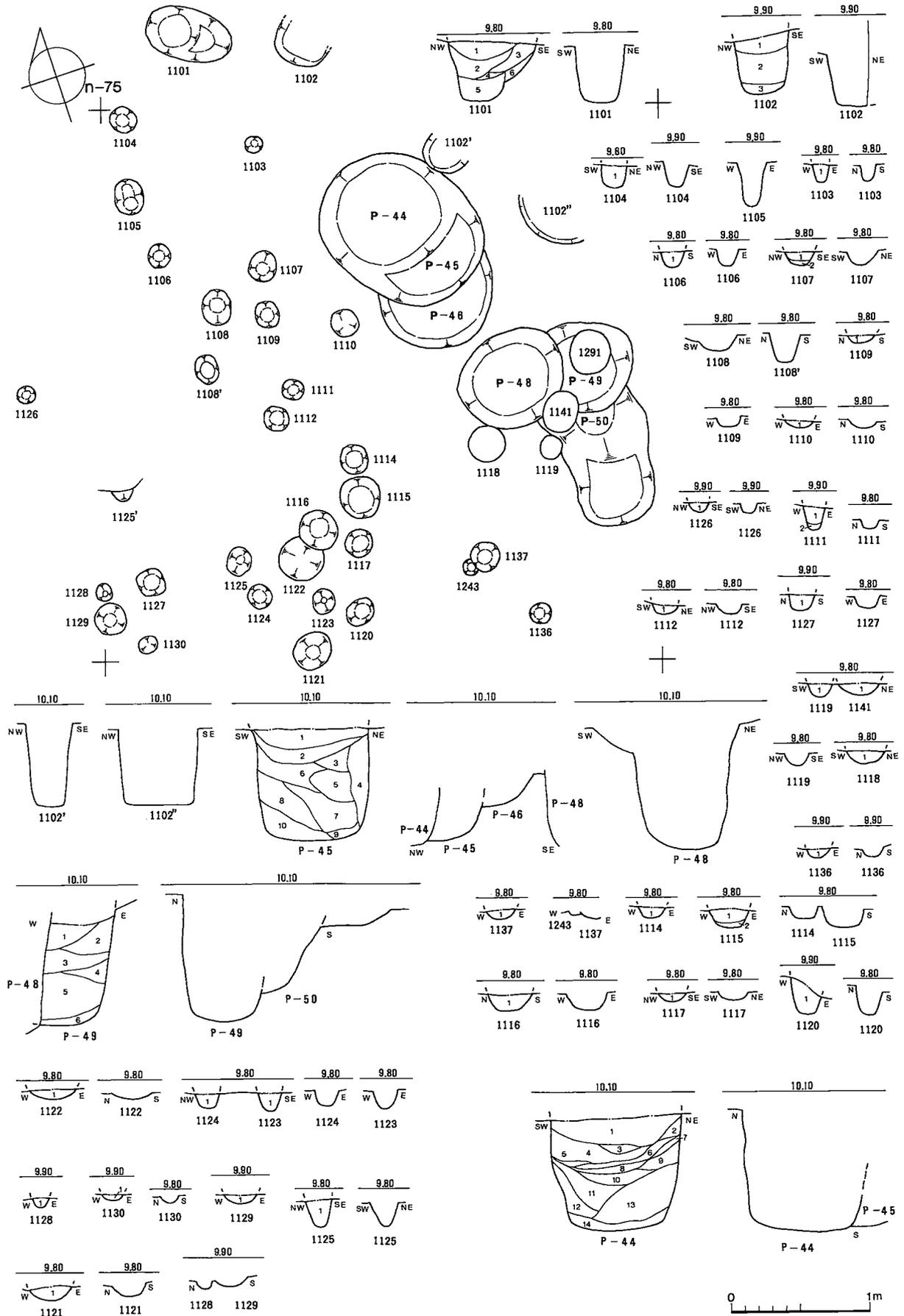
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1384	u-74	20 × 19 / 13 × 12 / 11		8.68	①黒褐>黄 (>En-a)	
〃 -1383	〃	24 × 21 / 12 × 12 / 21		8.51	①黒褐 (>En-a)	
〃 -1381	〃	18 × 18 / 9 × 10 / 22		8.43	①黒褐 粘質	
〃 -1354	〃	14 × 13 / 8 × 8 / 20		8.58	①黒褐 粘質	
〃 -1353	〃	32 × 24 / 8 × 10 / 25		8.64	①黒褐 (>En-a) 粘質	
〃 -1351	〃	34 × 22 / 12 × 12 / 25		8.72	①暗褐>黄 (>En-a)	たたき石
〃 -1358	v-74	22 × 21 / 12 × 12 / 14		8.76	①黒褐 (>En-a) 粘質	
〃 -1359	u-74	18 × 16 / 10 × 10 / 7		8.89	①黒褐>黄 (>En-a)	
〃 -165	〃	43 × 32 / 16 × 15 / 14		8.94	①暗褐>黄 軟質 ②暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -191	〃	40 × 28 / 16 × 14 / 10		8.94	①黒褐 ②=① (>En-a)	
〃 -205	〃	28 × 24 / 18 × 14 / 12		8.91	①暗褐 粘質 ② ①>En-a	



図IV-138 v-74の柱穴状ピット

表IV-155 v-74の柱穴状ピット一覧

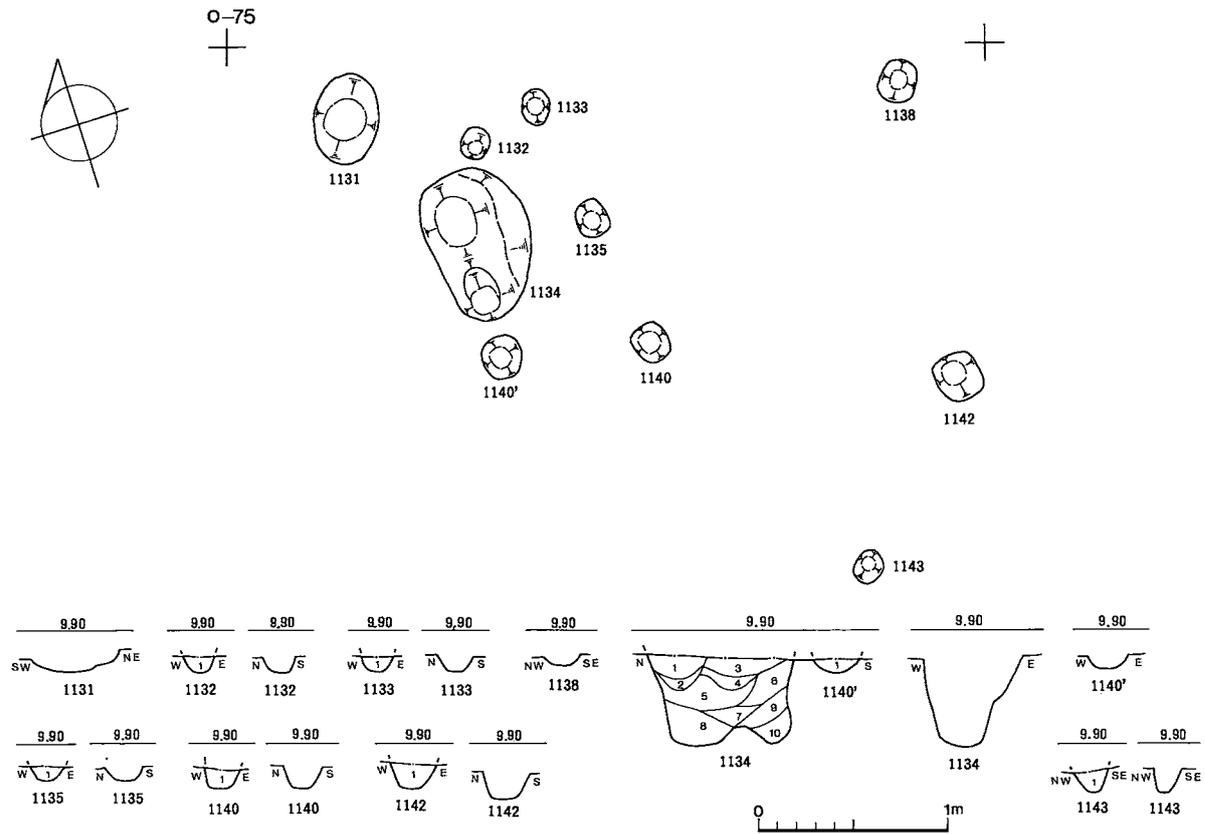
柱穴状 ピット番号	位 置	確認面	床(壙底)面 (cm)	壙 底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1093	v-74	21 × 19	11 × 10 / 22	8.26	①黒褐 (しまりやや弱)	
// -1092	//	26 × 24	18 × 17 / 36	8.28	①黒褐 (しまりやや弱)	磔
// -1091	//	16 × 13	8 × 6 / 10	8.45	①黒褐 (しまりやや弱)	



図IV-139 m-75・n-75の柱穴状ピット

表IV-156 m-75・n-75の柱穴状ピット一覧

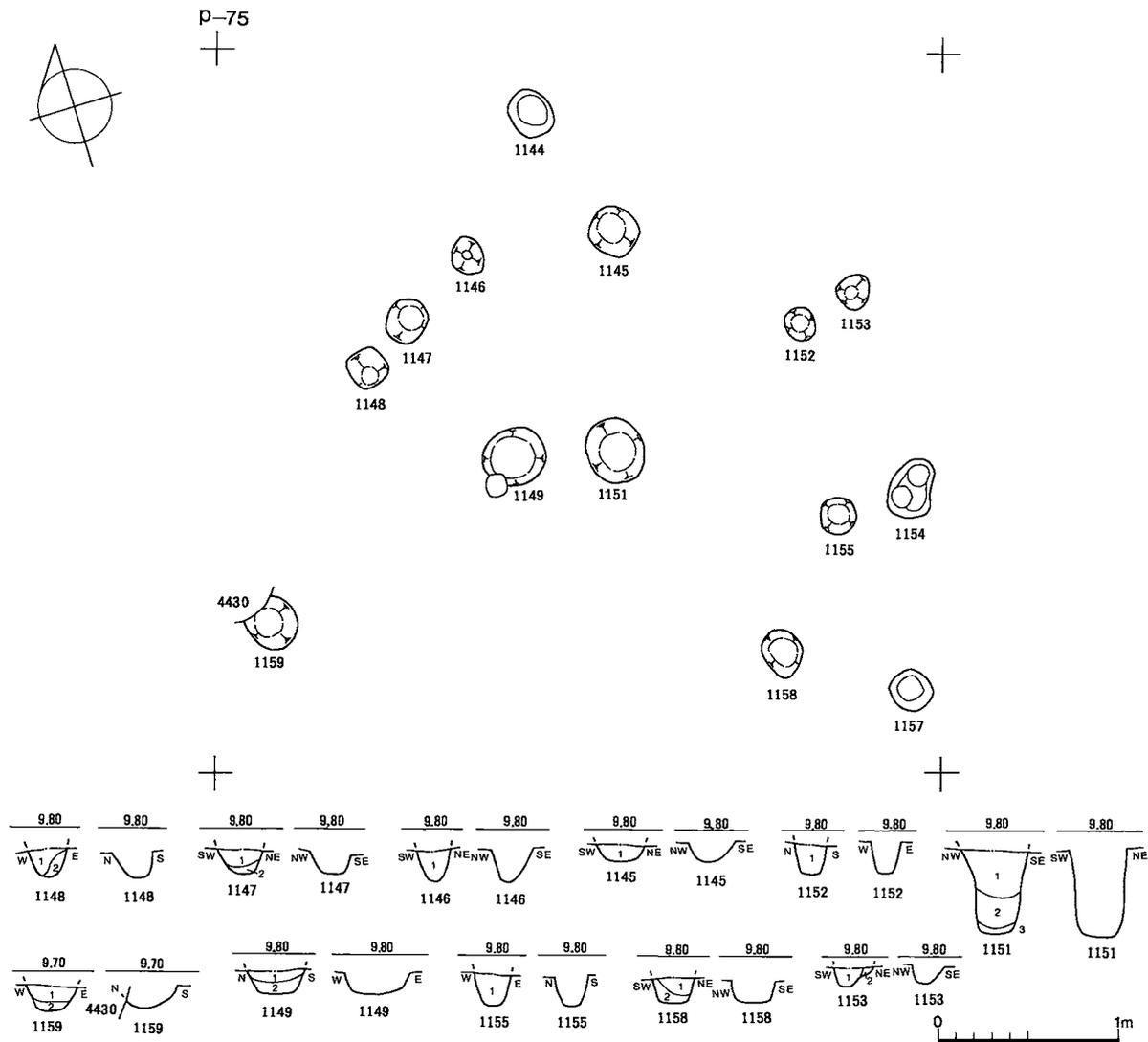
柱穴状 ピット番号	位 置	確認面	床(填底)面 (cm)	填 底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) *A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1101	m-75	33 × 37 / 24 × 24 / 43		9.29	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a) ③ En-a ガラガラ ④=③ (>En-a) ザラザラ ⑤灰褐 (>En-a) 粘質 ⑥砂質土	
" -1102	"	- × 39 / - × 32 / 42		9.34	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ③黒褐 粘質	
" -1102'	n-75	- × 33 / - × 23 / 60		9.36	—	
" -1102"	"	- × - / - × - / 55		9.38	—	
" -1103	"	12 × 12 / 6 × 6 / 13		9.61	①暗褐>黄 粘質	
" -1104	m-75, n-75	19 × 18 / 10 × 9 / 17		9.58	①黒褐>黄 (>En-a) 粘質	
" -1105	n-75	26 × 21 / 9 × 10 / 31		9.44	—	
" -1106	"	17 × 16 / 8 × 8 / 12		9.61	①暗褐>黄 (>En-a)	
" -1107	"	23 × 19 / 10 × 10 / 9		9.60	①暗褐 ② ①>黄 (>小さなEn-a)	
" -1108	"	26 × 21 / 11 × 12 / 10		9.61	—	
" -1108'	"	20 × 17 / 12 × 11 / 20		9.52	—	
" -1109	"	19 × 17 / 10 × 10 / 8		9.66	①暗褐>黄 (>En-a) 軟質	
" -1110	"	20 × 19 / - × - / 4		9.64	①暗褐>黄 (>En-a)	
" -1111	"	15 × 14 / 8 × 8 / 17		9.62	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
" -1112	"	19 × 18 / 11 × 10 / 7		9.62	①褐>黄 (>En-a)	
" -1114	"	22 × 20 / 12 × 12 / 9		9.64	①褐>黄 (>En-a)	
" -1115	"	30 × 29 / 20 × 19 / 13		9.57	①褐>黄 (>En-a) ②En-a>砂	
" -1116	"	29 × 27 / 14 × 14 / 12		9.58	①褐>黄 (>En-a)	1116←1122
" -1117	"	20 × 20 / 14 × 10 / 6		9.65	①褐>黄 (>En-a)	
" -1118	"	(26) × (26) / (14) × (14) / 9		9.65	①黒褐 (>En-a) ザラザラ	1118←RLP-48
" -1119	"	(18) × (16) / (8) × (8) / 9		9.64	①黒褐 (>En-a) ザラザラ	1119←RLP-50
" -1120	"	21 × 18 / 12 × 11 / 27		9.53	①暗褐>黄 (>En-a)	
" -1121	n-75, o-75	30 × 25 / 11 × 10 / 10		9.62	①褐>黄 (>En-a)	
" -1122	n-75	32 × 32 / - × - / 7		9.66	①褐>黄 (>En-a)	1122→1116
" -1123	"	18 × 17 / 4 × 4 / 15		9.58	①褐>黄 (>En-a)	
" -1124	"	17 × 15 / 11 × 10 / 11		9.60	①褐>黄 (>En-a)	
" -1125	"	21 × 18 / 7 × 8 / 16		9.52	①褐>黄 (>En-a) 粘質	
" -1125'	"	- × - / - × - / -		—	—	
" -1126	n-74	13 × 12 / 6 × 6 / 7		9.75	①暗褐>黄 (>En-a)	
" -1127	n-75	18 × 18 / 11 × 12 / 11		9.65	①褐>黄 (>En-a) 粘質	
" -1128	n-74・75	12 × 12 / 4 × 4 / 6		9.68	①褐>黄 (>En-a)	
" -1129	"	24 × 22 / 11 × 10 / 7		9.69	①褐>黄 (>En-a)	
" -1130	n-75	14 × 12 / - × - / 4		9.70	①褐>黄 (>En-a)	
" -1136	"	15 × 14 / 8 × 8 / 6		9.67	①暗褐>黄 (>En-a) ザラザラ	
" -1137	"	22 × 21 / 10 × 11 / 7		9.64	①褐>黄 (>En-a)	1137←1243
" -1141	"	(28) × - / (26) × - / 9		9.64	①黒褐>黄 (>En-a) ザラザラ	1141←RLP-48・49・50
" -1243	"	12 × (10) / 6 × (6) / 3		9.67	—	1243→1137
RLP-44	"	(90) × 98 / 69 × 74 / 89		9.08	①暗褐>黄 (>En-a) ②En-a ③En-a>① ④暗褐>黄 (>En-a) 明るい ⑤明褐>黄 軟 質 ⑥暗褐>黄 (>En-a) ポロポロ ⑦明灰黄 砂質 ⑧明黄 粘質 ⑨暗褐>黄 (>En-a) ⑩=⑨ (>小さなEn-a) ⑪明褐 (>En-a) 粘 質 ⑫明褐>黄 粘質 ⑬En-a+暗褐 ポロ ポロ ⑭小さなEn-a+砂	RLP-44← RLP-45 Rフレイク
" -45	"	- × (94) / - × (70) / 82		9.12	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (小さなEn- a) ③En-a>黄 ④En-a+砂 ⑤黄色で小 さなEn-aポロポロ ⑥褐>黄+En-a ⑦=④ (黒い) ⑧=⑤ ⑨③+⑧ ⑩En-a>暗褐色砂	RLSP-44← RLSP -45←RLSP-46 石鏃、フレイク、礫
" -46	"	- × (82) / - × (72) / (58)		9.36	—	Rフレイク、フレイク、礫
" -48	"	80 × 65 / 56 × 50 / 86		9.04	—	RLP-48←RLP-49、RLP-50 RLP-48→1118、1114
" -49	"	- × 66 / - × 50 / 91		9.11	①褐>黄 (+En-a) ②En-a>① ③=① (明 るく小さなEn-a) ④黄色いEn-a ⑤En-a+ 褐色砂 ⑥灰褐色粘質土+黄色いEn-a	RLP-48← RLP-49 ←RLP-50 RLP-49→1141
" -50	"	- × (64) / - × (30) / (67)		9.33	—	RLP-50←RLP48、RLP-49、 RLP-50→1141、1119



図IV-140 o-75の柱穴状ピット

表IV-157 o-75の柱穴状ピット一覧

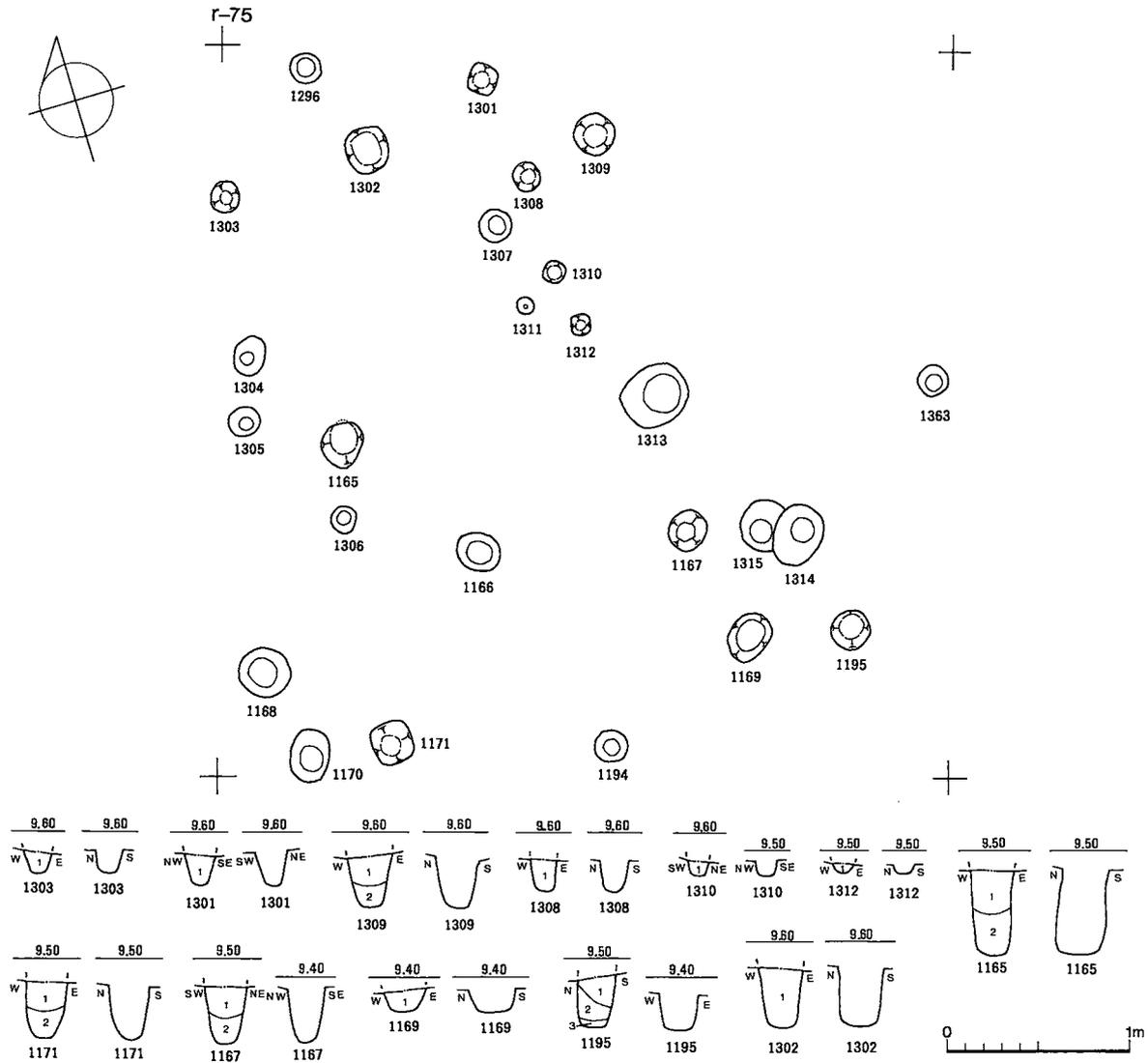
柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(壊底)面 (cm)			壊底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸	深さ			
RLSP-1131	o-75	48 × 34	23 × 22	9	9.68	—	
// -1132	//	17 × 15	8 × 8	8	9.67	①褐>黄 (>En-a)	
// -1133	//	19 × 15	10 × 9	9	9.68	①黒 (>En-a) 砂質	
// -1134	//	79 × 57	26 × 21	46	9.28	①黒褐 ②暗褐 (>En-a) ③褐>黄 ④③>En-a ⑤③>En-a ⑥褐>黄 (>En-a) ⑦⑥+En-a ⑧暗褐>黄 (>En-a) ⑨⑥+En-a ⑩暗灰褐 (>En-a) 粘質	フレイク
// -1135	//	20 × 18	10 × 9	8	9.69	①褐>黄 (>En-a)	
// -1138	//	23 × 20	10 × 10	5	9.71	—	
// -1140	//	21 × 19	10 × 11	12	9.66	①黒 砂質	
// -1142	//	25 × 23	13 × 13	14	9.60	①黒 (>En-a) 砂質	
// -1143	//	18 × 15	8 × 8	13	9.64	①褐>黄 (>En-a)	
// -1140'	//	23 × 21	12 × 11	6	9.69	①褐>黄 (>En-a)	



図IV-141 P-75の柱穴状ピット

表IV-158 P-75の柱穴状ピット一覧

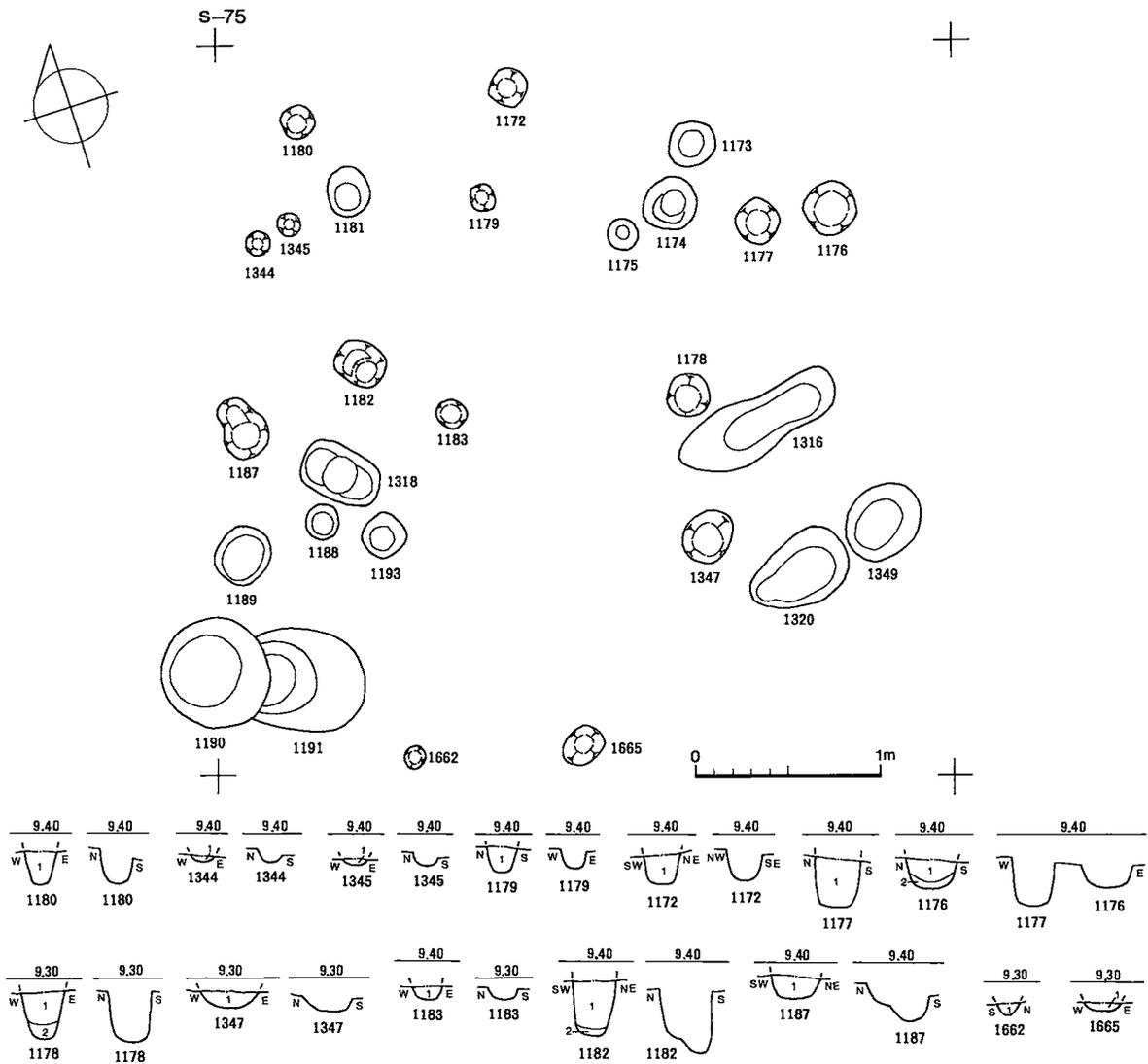
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1148	P-75	20 × 20	9 × 10 / 16	9.52	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1147	//	25 × 22	12 × 15 / 15	9.54	①黒 (>En-a) ザラザラ ②黒褐>黄 (>En-a)	
// -1146	//	22 × 18	5 × 5 / 17	9.50	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1145	//	27 × 26	16 × 16 / 11	9.62	①黒褐 (>En-a)	
// -1149	//	35 × 23	25 × 23 / 13	9.57	①黒 ② ① (>En-a) ザラザラ	
// -1151	//	37 × 32	21 × 20 / 47	9.20	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質 ③ ②>En-a 砂質	
// -1152	//	18 × 16	10 × 10 / 16	9.56	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1153	//	20 × 18	8 × 8 / 11	9.63	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
// -1155	//	21 × 20	12 × 12 / 17	9.51	①黒褐>黄 (>En-a) 砂質	
// -1158	//	25 × 22	17 × 14 / 14	9.54	①褐>黄 (>En-a) ②褐>黄 (>En-a)	
// -1159	//	— × 27	18 × 16 / 13	9.48	①暗褐>黄 (>En-a) 粘質 ②暗褐>黄 (>En-a) 軟質	1159←4430



図IV-143 r-75の柱穴状ピット

表IV-160 r-75の柱穴状ピット一覧

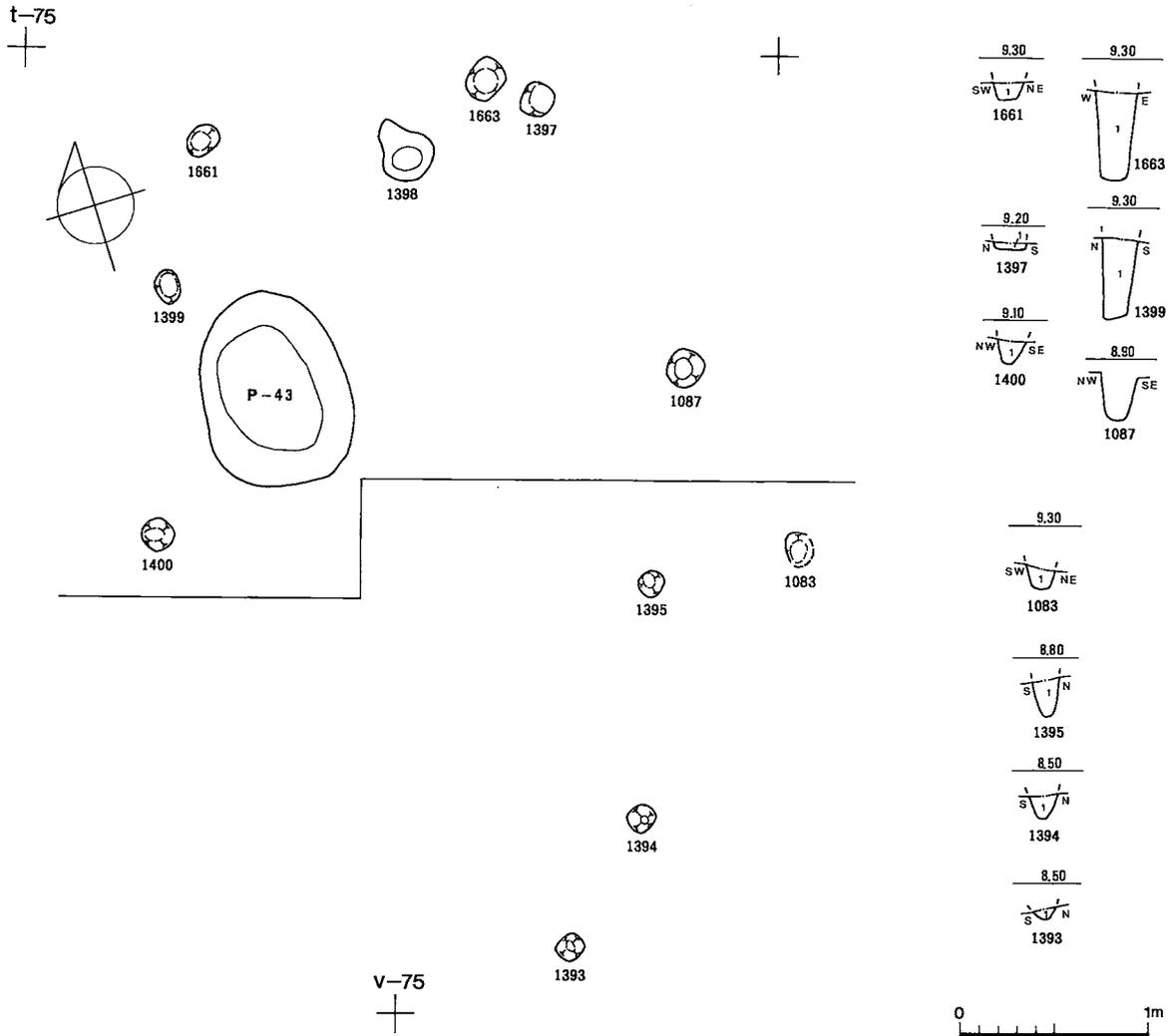
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(壊底)面 (cm)	壊底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1303	r-74・75	17 × 16	7 × 7 / 13	9.36	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -1302	r-75	25 × 24	18 × 15 / 32	9.13	①黒褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -1301	//	16 × 16	9 × 9 / 16	9.30	①暗褐 (>En-a)	
// -1309	//	22 × 22	13 × 12 / 28	9.18	①暗褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) ボソボソ	
// -1308	//	16 × 14	9 × 9 / 18	9.27	①黒褐>黄 (>En-a)	
// -1310	//	12 × 12	8 × 8 / 8	9.36	①暗褐 (>En-a)	
// -1312	//	11 × 11	8 × 8 / 5	9.37	①褐>黄 (>En-a)	
// -1165	//	24 × 23	19 × 15 / 47	8.92	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a)	
// -1167	//	22 × 20	11 × 10 / 32	9.04	①暗褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1169	//	28 × 21	18 × 14 / 11	9.21	①黒褐 (>En-a)	
// -1171	//	24 × 23	11 × 11 / 31	9.05	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -1195	//	22 × 21	14 × 13 / 28	9.11	①黒褐 (>En-a) ②En-a ③暗灰褐	



図IV-144 s-75の柱穴状ピット

表IV-161 s-75の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位 置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳 底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1180	s-75	18 × 18	10 × 11 / 18	9.12	①暗褐色>黄 (>En-a)	
〃 -1172	〃	21 × 19	10 × 11 / 16	9.12	①黒褐色>黄 (>En-a)	
〃 -1344	〃	13 × 12	6 × 6 / 4	9.24	①褐色>黄 (>En-a)	
〃 -1345	〃	12 × 11	6 × 6 / 4	9.22	①褐色>黄 (>En-a)	
〃 -1179	〃	15 × 13	8 × 7 / 14	9.20	①暗褐色>黄 (>En-a)	
〃 -1177	〃	23 × 23	16 × 14 / 26	9.01	①黒褐色>黄 (>En-a) 軟質	
〃 -1176	〃	28 × 28	19 × 18 / 16	9.10	①暗褐色>黄 (>En-a) ②灰褐色 粘質	
〃 -1187	〃	34 × 25	16 × 16 / 13	9.08	①黒褐色 (>En-a) ガラガラ	
〃 -1182	〃	28 × 23	11 × 12 / 34	8.90	①暗褐色>黄 (>En-a) ②暗灰褐色 (>En-a)	
〃 -1183	〃	16 × 15	11 × 10 / 7	9.19	①暗褐色>黄 (>En-a)	
〃 -1178	〃	23 × 23	14 × 14 / 26	8.95	①暗褐色>黄 (>En-a) ②暗灰褐色 (>En-a) 粘質	
〃 -1347	〃	30 × 25	18 × 17 / 8	9.12	①暗褐色>黄 (>En-a)	
〃 -1662	〃	12 × 11	7 × 6 / 6	9.12	①暗褐色 (>φ1cm前後のEn-a) しまり中	
〃 -1665	〃	24 × 18	11 × 10 / 5	9.13	①暗褐色 (>φ1cm前後のEn-a) しまり中	



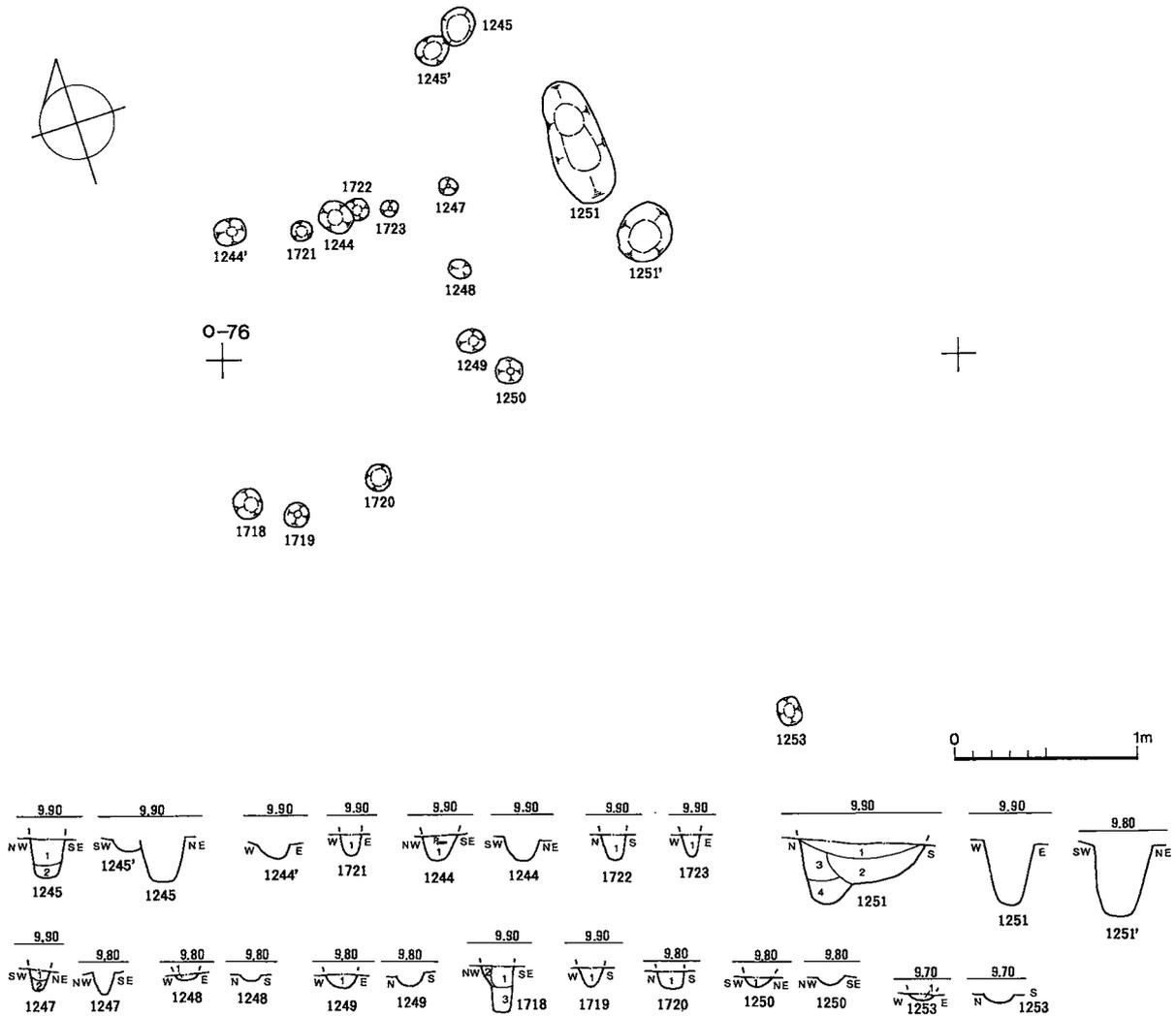
図IV-145 t-75・u-75の柱穴状ピット

表IV-162 t-75の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(坑底)面 (cm)	坑底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1661	t-75	18 × 14 / 10 × 9 / 10		9.18	①暗褐色(>φ1cm前後のEn-a) しまり中	
// -1663	//	22 × 19 / 13 × 13 / 48		8.65	①暗褐色(>φ1cm前後のEn-a) しまり中	石鏃
// -1397	//	18 × 17 / 15 × 13 / 4		9.07	①黒 しまり中	
// -1399	//	18 × 13 / 12 × 9 / 44		8.71	①暗褐色(>φ1cm前後のEn-a) しまり中	
// -1400	//	18 × 17 / 11 × 7 / 13		8.97	①暗褐色 しまり中	
// -1087	//	20 × 18 / 11 × 10 / 25		8.58	—	フレイク

表IV-163 u-75の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(坑底)面 (cm)	坑底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1395	u-75	14 × 13 / 7 × 7 / 20		8.50	①黒 しまり弱	
// -1083	//	(18) × (14) / (11) × (10) / 12		8.97	①黒 しまり中	
// -1394	//	15 × 14 / 4 × 4 / 14		8.24	①黒 しまり弱	
// -1393	//	15 × 14 / 5 × 6 / 6		8.31	//	



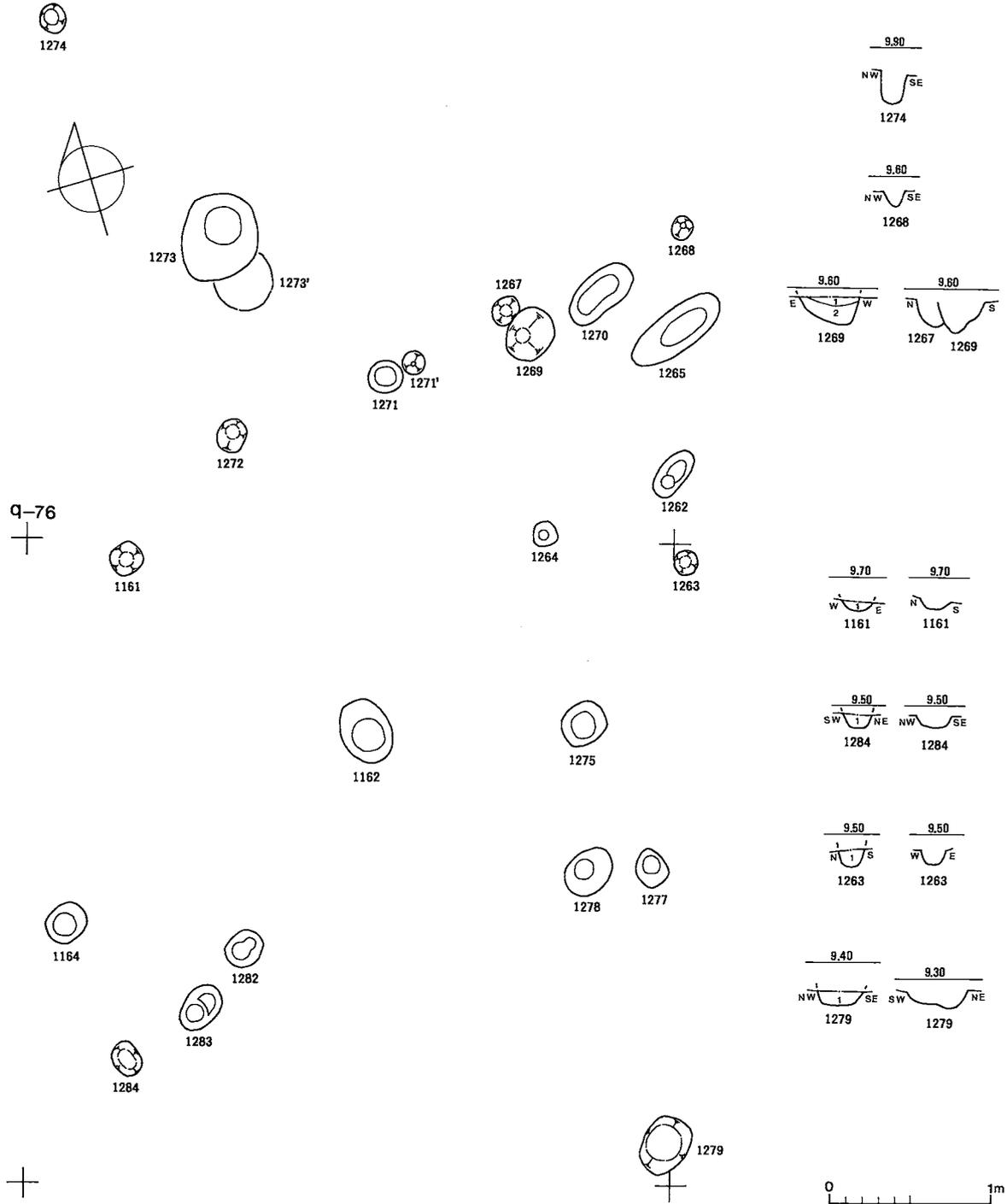
図IV-146 n-76・o-76の柱穴状ピット

表IV-164 n-76の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(壙底)面 (cm)	壙底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1245	n-76	21 × 17	16 × 12 / 25	9.53	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) 粘質	1245←1245'
〃 -1245'	〃	(20) × 15	12 × 9 / 7	9.70	—	1245'←1245
〃 -1244'	〃	18 × 14	5 × 5 / 8	9.66	—	
〃 -1721	〃	10 × —	6 × — / 11	9.68	①褐>黄 (>En-a)	
〃 -1244	〃	18 × 17	8 × 8 / 14	9.64	①暗褐>黄 (>En-a)	1244←1722
〃 -1722	〃	12 × —	5 × — / 14	9.66	①褐>黄 (>En-a)	1722→1244
〃 -1723	〃	10 × —	2 × — / 12	9.67	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -1247	〃	10 × 10	2 × 2 / 12	9.62	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -1248	〃	12 × 10	— × — / 3	9.69	①暗褐>黄	
〃 -1249	〃	15 × 13	6 × 6 / 7	9.66	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -1251	〃	69 × 31	18 × 16 / 36	9.40	①暗褐>黄 (>En-a) ②≒①(黒い) ポロポロ ③≒①(黒い) ④≒③ポロポロ	
〃 -1251'	〃	33 × 29	18 × 18 / 40	9.33	—	

表IV-165 o-76の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(壙底)面 (cm)	壙底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1250	o-76	14 × 14	4 × 4 / 6	9.67	①暗褐>黄 (>En-a)	
〃 -1253	〃	16 × 13	8 × 6 / 4	9.57	①黒褐>黄 (>En-a)	
〃 -1718	〃	16 × —	10 × — / 25	9.52	①②<En-a ②褐>黄 (>En-a) ③褐>黄 (>En-a)	
〃 -1719	〃	14 × —	2 × — / 10	9.66	①褐>黄 (>En-a)	
〃 -1720	〃	14 × —	10 × — / 9	9.65	①暗褐>黄 (>En-a)	



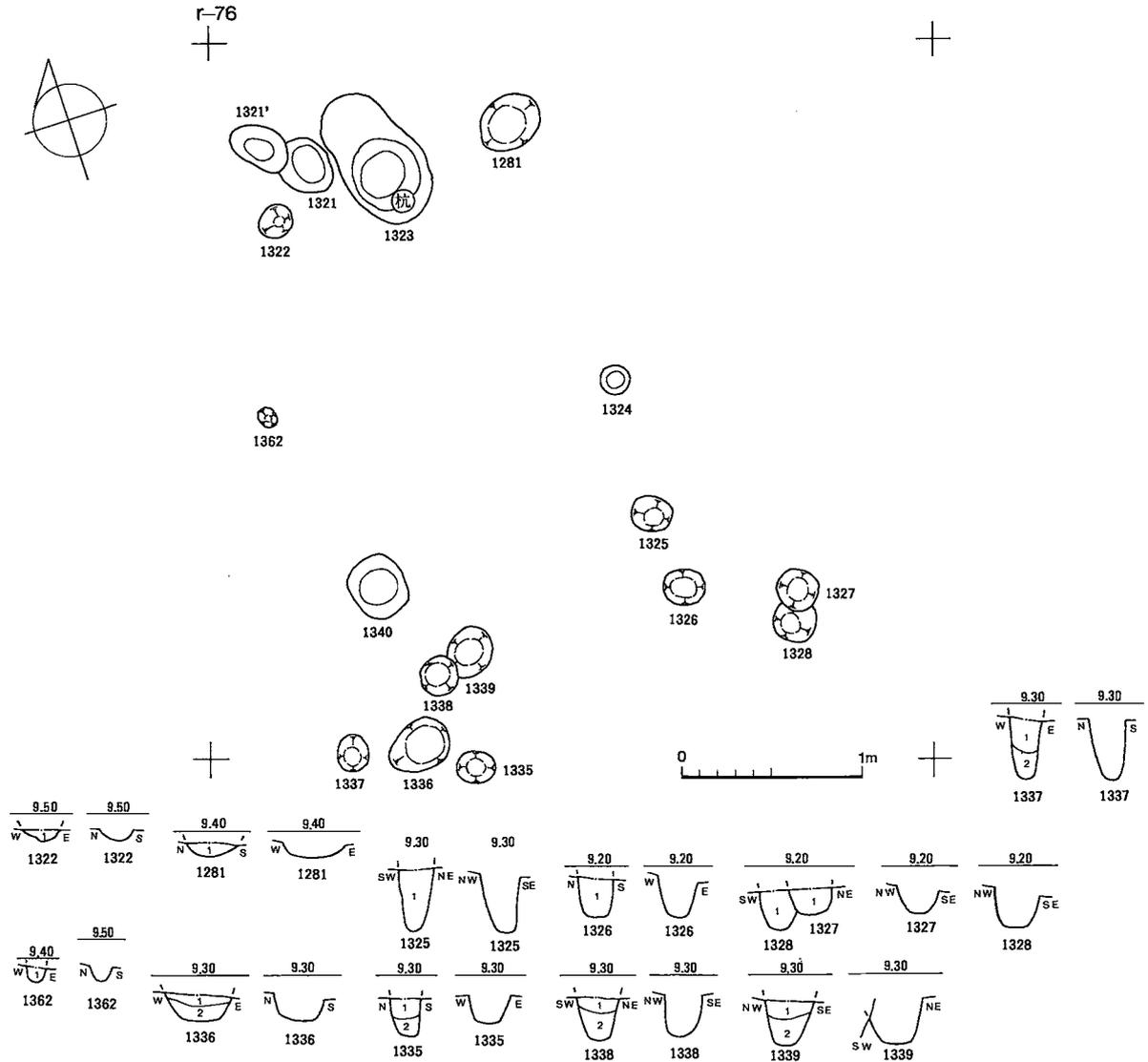
図IV-147 P-76・Q-76の柱穴状ピット

表IV-166 P-76の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(壙底)面 (cm)		壙底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1274	P-76	18 × 16	9 × 9 / 19	9.54	—	
〃 -1267	〃	19 × (16)	8 × (8) / 16	9.36	—	1267→1269
〃 -1269	〃	34 × 28	10 × 10 / 18	9.32	①黒褐 ザラザラ ②黒褐(>En-a) 堅く、粘質	1269←1267
〃 -1268	P-76・77	14 × 12	4 × 4 / 9	9.42	—	
〃 -1271'	P-76	14 × 14	3 × 3 / —	—	—	
〃 -1272	〃	21 × 17	9 × 9 / —	—	—	

表IV-167 q-76の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位 置	確認面 床(墳底)面 (cm)			墳 底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸	深さ			
RLSP-1161	q-76	20 × 18	9 × 8	5	9.50	①暗褐 (>En-a) ザラザラ	
// -1263	q-77	14 × 14	8 × 7	10	9.31	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1284	q-76	22 × 17	14 × 10	8	9.37	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1279	q-76・77	37 × 28	22 × 21	8	9.12	①黒褐 (>En-a) 粘質	



図IV-148 r-76の柱穴状ピット

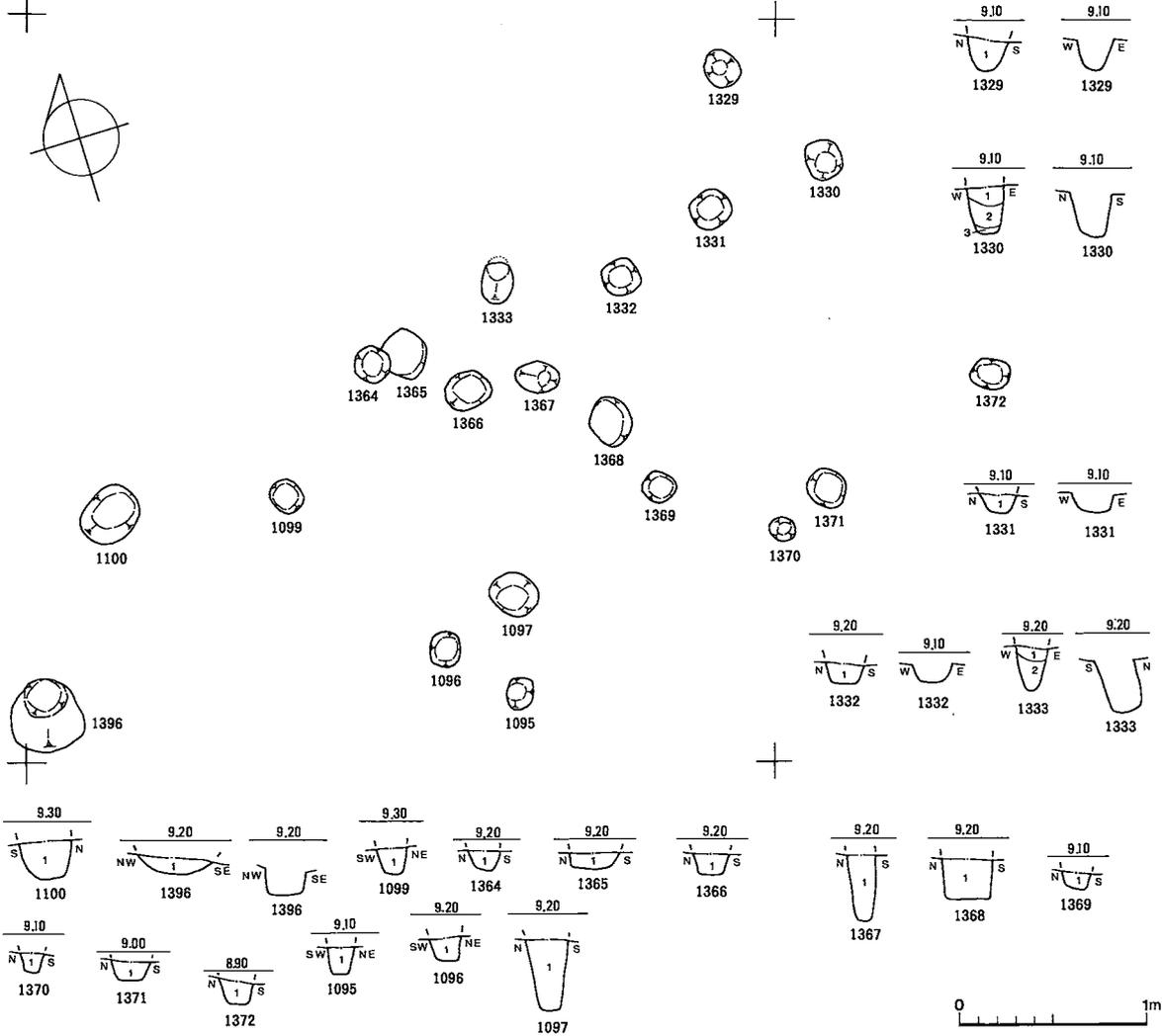
表IV-168 r-76の柱穴状ピット一覧(1)

柱穴状 ピット番号	位 置	確認面 床(墳底)面 (cm)			墳 底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸	深さ			
RLSP-1321'	r-76	34 × 22	17 × 12	6	—	①黒褐>黄 (>En-a)	1321'←1321
// -1322	//	20 × 18	6 × 6	6	9.34	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1281	//	36 × 29	22 × 19	8	9.26	①黒褐 (>En-a)	
// -1362	//	11 × 9	4 × 4	8	9.27	①暗褐>黄 (>En-a)	
// -1337	r-76, s-76	20 × 17	10 × 11	32	8.87	①黒褐>黄 (>En-a) ②黒褐 (>En-a)	たたき石
// -1336	//	36 × 26	23 × 20	14	9.04	①暗褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1335	//	20 × 18	11 × 10	21	9.02	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>En-a) 軟質	
// -1338	r-76	22 × 21	12 × 14	24	8.94	①暗褐 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ボソボソ	1338←1339
// -1339	//	(30) × 24	17 × 14	25	8.91	①黒褐 (>En-a) ②黒褐 (>En-a) 粘質	1339→1338
// -1325	//	23 × 20	11 × 11	35	8.83	①暗褐>黄 (>En-a)	

表IV-169 r-76の柱穴状ピット一覧(2)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1326	r-76		24 × 20 / 15 × 12 / 22	8.92	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1327	//		24 × 23 / 13 × 12 / 15	8.93	①暗褐>黄 (>En-a)	1327←1328、フレイク
// -1328	//		24 × (22) / 11 × 11 / 22	8.85	①黒褐>黄 (>En-a) 粘質	

s-76



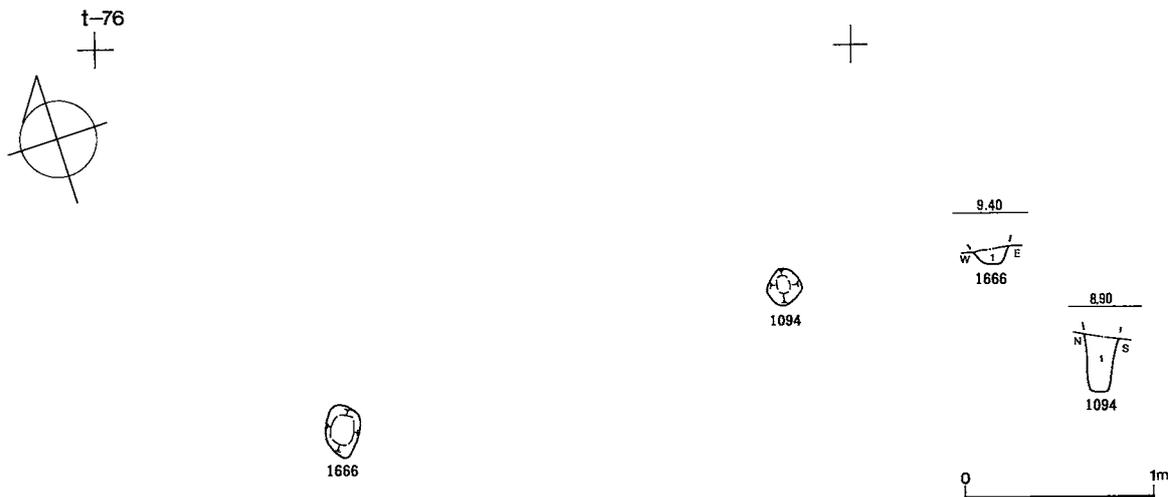
図IV-149 s-76の柱穴状ピット

表IV-170 s-76の柱穴状ピット一覧(1)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(城底)面 (cm)	城底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1329	s-76		20 × 18 / 8 × 8 / 17	8.82	①黒褐 (>En-a) 粘質	
// -1330	s-77		21 × 19 / 12 × 11 / 23	8.72	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a) ボソボソ	
// -1331	s-76		21 × 20 / 13 × 12 / 10	8.94	①黒褐 粘質	
// -1332	//		19 × 19 / 12 × 12 / 11	8.94	①黒褐>黄 粘質	
// -1333	//		22 × 17 / 12 × 11 / 30	8.76	①暗褐>黄 (>En-a) ②黒褐>黄 (>En-a)	
// -1100	//		33 × 26 / 22 × 17 / 20	8.99	①黒褐 しまりやや弱	
// -1396	s-75・76		40 × 33 / 17 × 18 / 19	8.90	①黒 しまり中	
// -1099	s-76		18 × 16 / 13 × 12 / 14	9.03	①黒褐 しまりやや弱	フレイク
// -1364	//		20 × 18 / 11 × 13 / 10	9.03	①黒 しまり中	1364←1365
// -1365	//		28 × (24) / 24 × (22) / 9	9.04	①黒 しまり中	1365→1364
// -1366	//		24 × 20 / 16 × 15 / 11	9.01	①黒 しまり中	
// -1367	//		24 × 18 / 7 × 8 / 36	8.75	①黒 しまり中	

表IV-171 s-76の柱穴状ピット一覧(2)

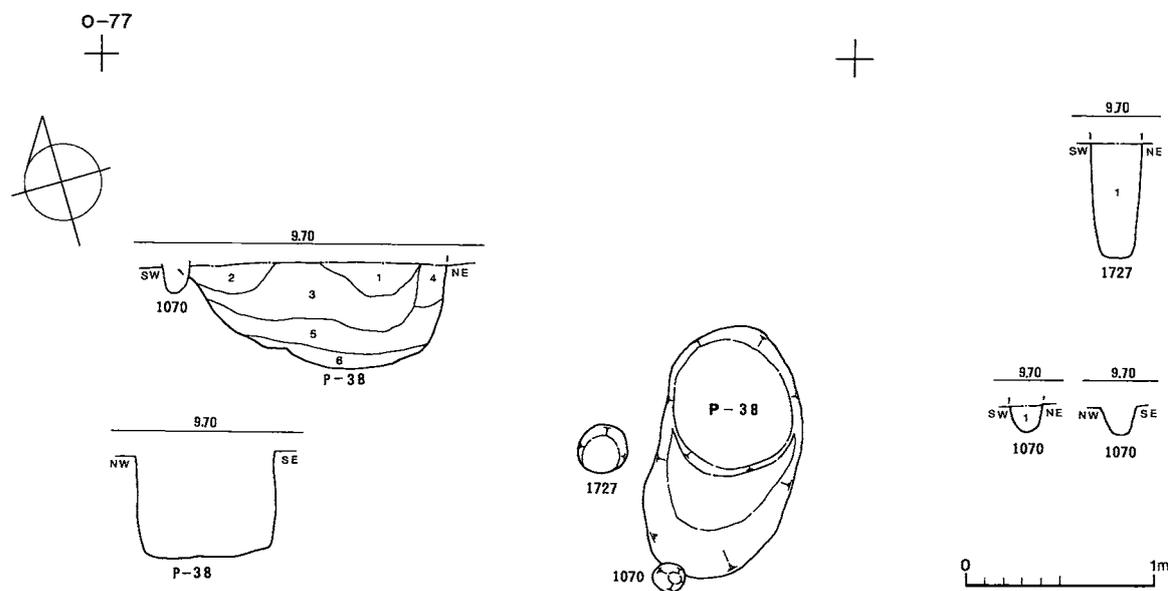
柱穴状 ピット番号	位 置	確認面 床(壊底)面 (cm)		壊 底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1368	s-76	28 × 22	24 × 18 / 21	8.88	①黒 しまり中	
// -1369	//	18 × 16	13 × 12 / 8	8.92	//	
// -1370	s-76・77	13 × 13	8 × 7 / 10	8.89	//	
// -1371	s-77	21 × 20	15 × 15 / 11	8.84	//	
// -1372	//	21 × 16	14 × 11 / 14	8.72	//	フレイク
// -1095	s-76	17 × 14	10 × 10 / 15	8.88	①黒褐 (>φ1cm前後のEn-a) しまりやや弱	
// -1096	//	19 × 16	13 × 12 / 13	8.94	①黒褐 しまりやや弱	
// -1097	//	25 × 22	14 × 14 / 39	8.67	//	



図IV-150 t-76の柱穴状ピット

表IV-172 t-76の柱穴状ピット一覧

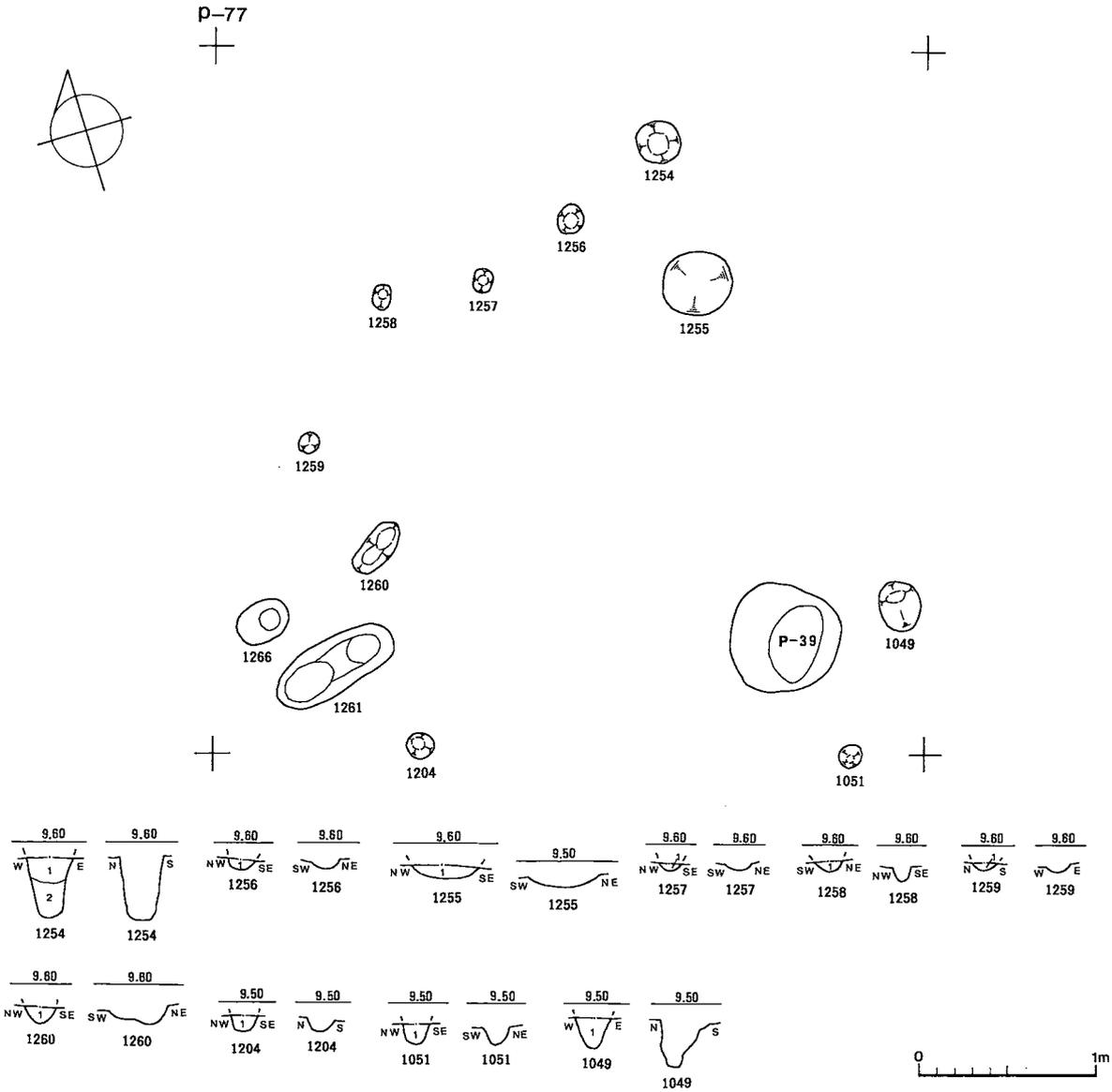
柱穴状 ピット番号	位 置	確認面 床(壊底)面 (cm)		壊 底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1666	t-76	27 × 18	16 × 12 / 10	9.13	①黒褐 しまり中	
// -1094	//	20 × 18	10 × 7 / 10	8.45	①黒褐 しまりやや弱	



図IV-151 o-77の柱穴状ピット

表IV-173 o-77の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(坑底)面 (cm)	坑底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1727	o-77	26 × -	15 × - / 60	8.95	①暗黄灰 粘質	
// -1070	//	18 × 16	7 × 6 / 15	9.42	①黒褐 (V+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	1070←RLP-38
RLP-38	o-77	138 × 74	68 × 65 / 56	9.02	①暗褐 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a) ②褐 (VIII) (>φ 2~10mmのEn-a) 砂まじる ③黄褐 (VI<VII+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a) ④黒褐 (V+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a) ⑤黒褐 (V+VI+VIII) (>En-a) 砂多い ⑥黒 (V) (>En-a)	RLP-38→1070 フ レイク



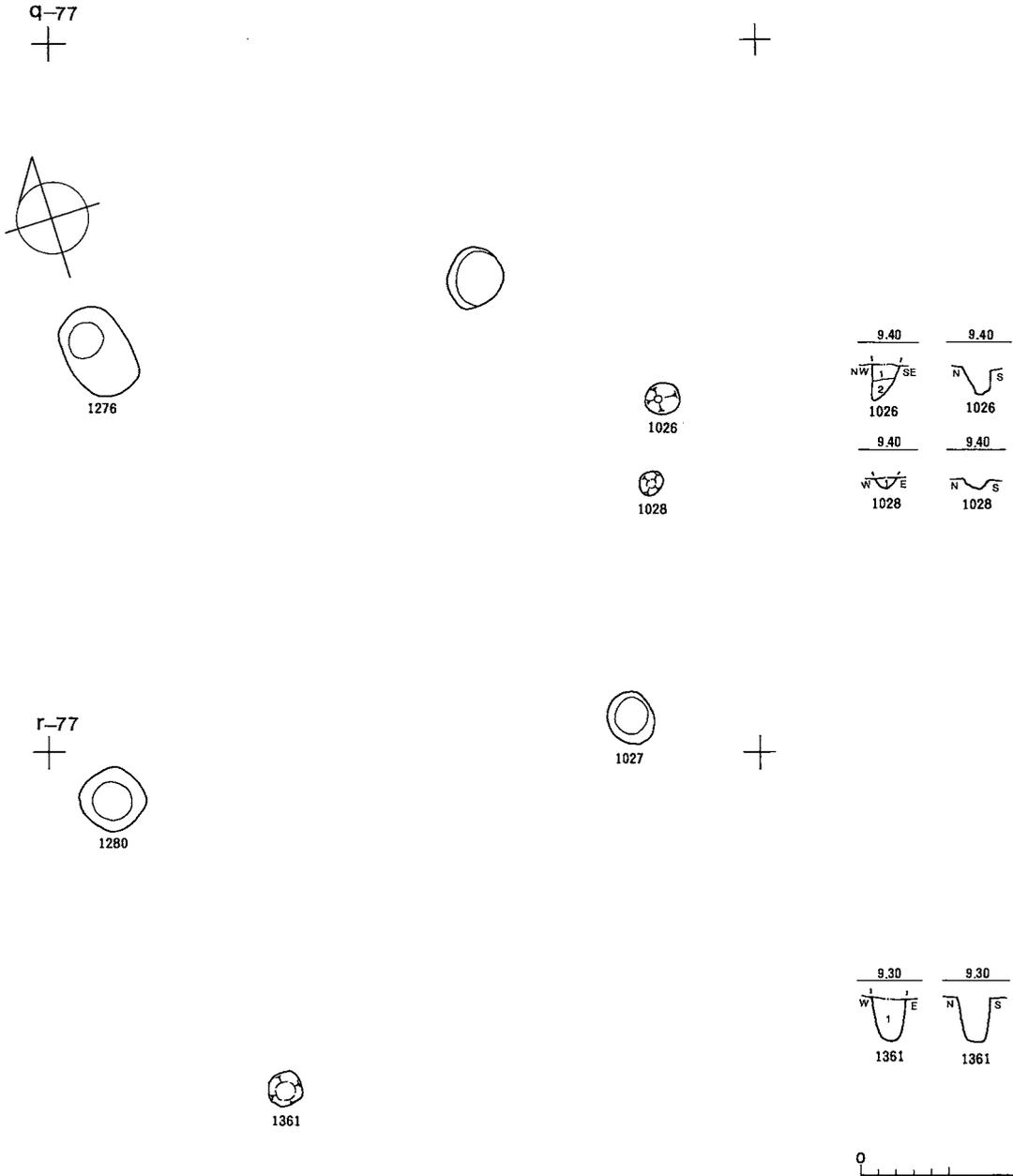
図IV-152 P-77の柱穴状ピット

表IV-174 P-77の柱穴状ピット一覧(1)

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(坑底)面 (cm)	坑底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1254	P-77	24 × 24	13 × 12 / 36	9.15	①暗褐>黄 (>En-a) ②暗褐>黄 (>小さなEn-a)	
// -1255	//	40 × 36	- × - / 8	9.36	①褐>黄 (>En-a)	
// -1256	//	17 × 14	8 × 8 / 7	9.45	①黒褐 (>En-a)	
// -1257	//	13 × 11	6 × 6 / 4	9.45	①黒褐 (>En-a)	
// -1258	//	14 × 10	5 × 6 / 6	9.40	①暗褐>黄 (>En-a)	

表IV-175 p-77の柱穴状ピット一覧(2)

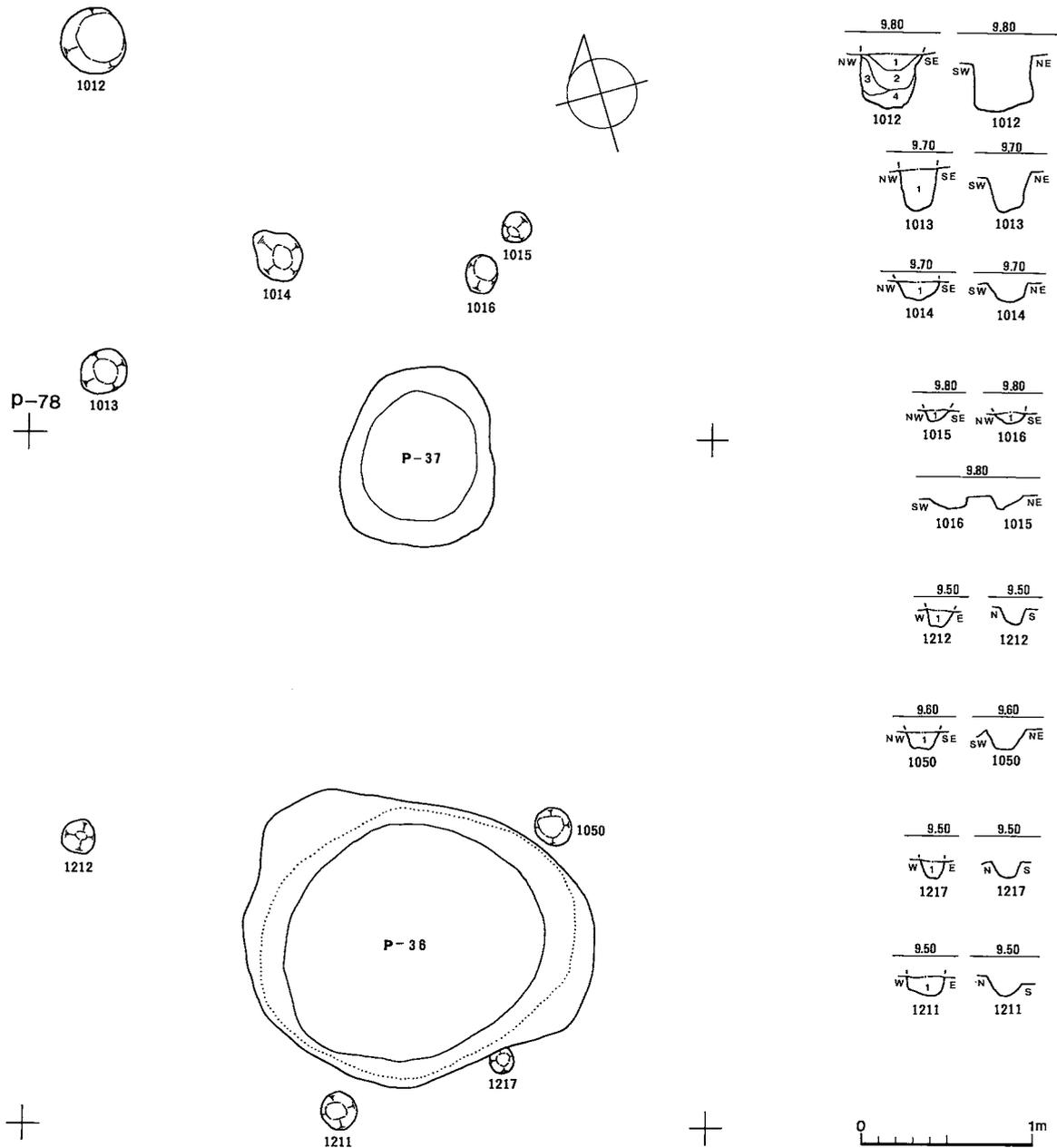
柱穴状 ピット番号	位 置	確認面 床(壙底)面 (cm)		壙底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1259	p-77	12 × 11	— × — / 4	9.44	①暗褐色>黄 (>En-a)	
// -1260	//	34 × 16	14 × 9 / 10	9.36	①黒褐色>黄 (>En-a)	
// -1204	p-77、q-77	15 × 14	8 × 6 / 7	9.34	①黒褐色(V+VII) (>En-a)	
// -1051	//	13 × 12	5 × 4 / 10	9.27	①暗褐色(VI+VII) (>φ5~10mmのEn-a)	
// -1049	p-77	28 × 24	6 × 12 / 27	9.15	①暗褐色(VI+VII) (>φ5~10mmのEn-a)	



図IV-153 q-77・r-77の柱穴状ピット

表IV-176 q-77・r-77の柱穴状ピット一覧

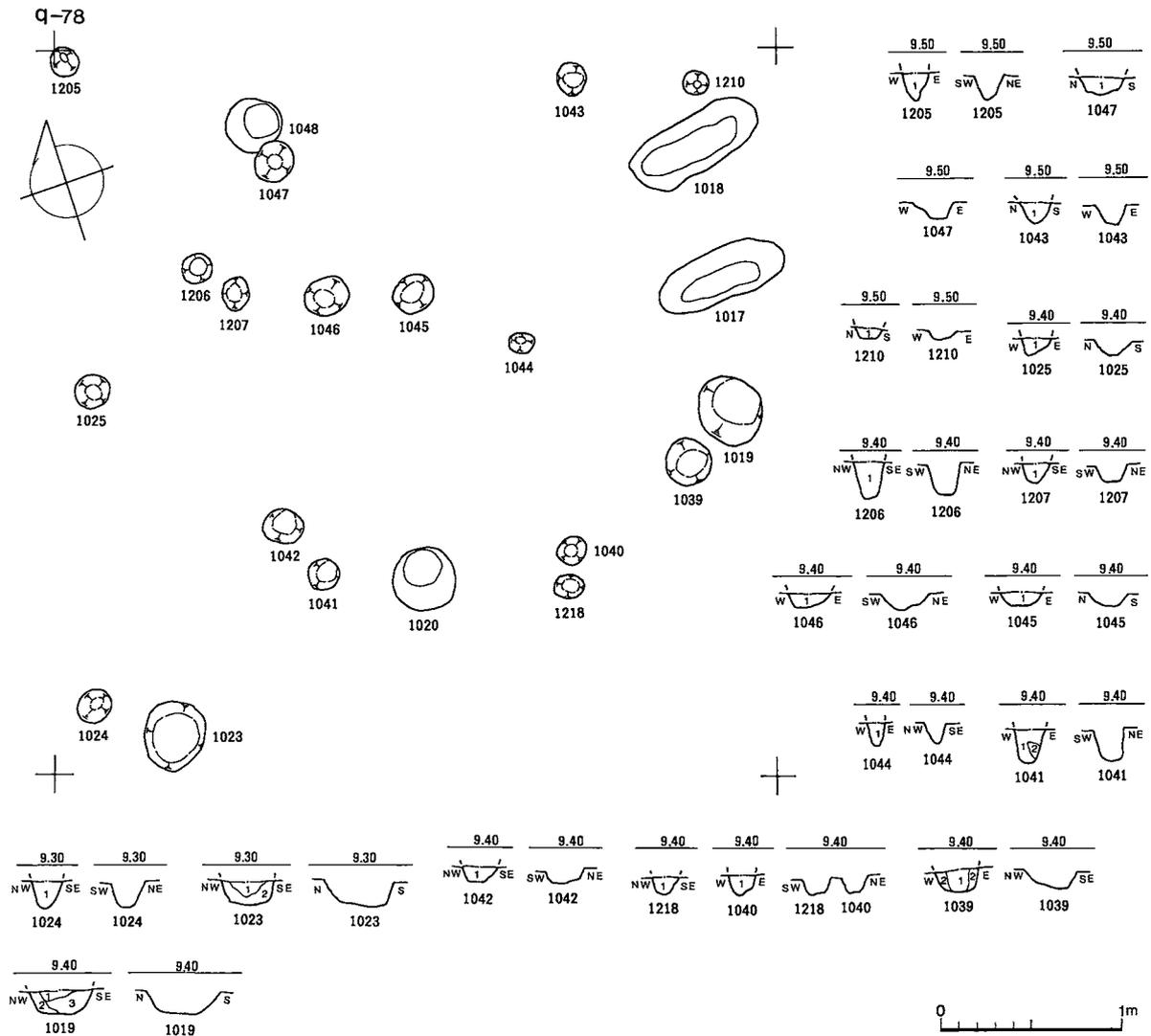
柱穴状 ピット番号	位 置	確認面 床(壙底)面 (cm)		壙底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1026	q-77	20 × 18	5 × 4 / 20	9.08	①暗褐色(VI+VII) (>φ5~10mmのEn-a) ②暗褐色(VI+VII) (>En-a)	
// -1028	//	14 × 13	6 × 5 / 6	9.18	①暗褐色(VI+VII) (>En-a)	
// -1361	r-77	19 × 18	11 × 10 / 23	8.84	①暗褐色>黄 (>En-a)	



図IV-154 o-78・P-78の柱穴状ピット

表IV-177 o-78・P-78の柱穴状ピット一覧

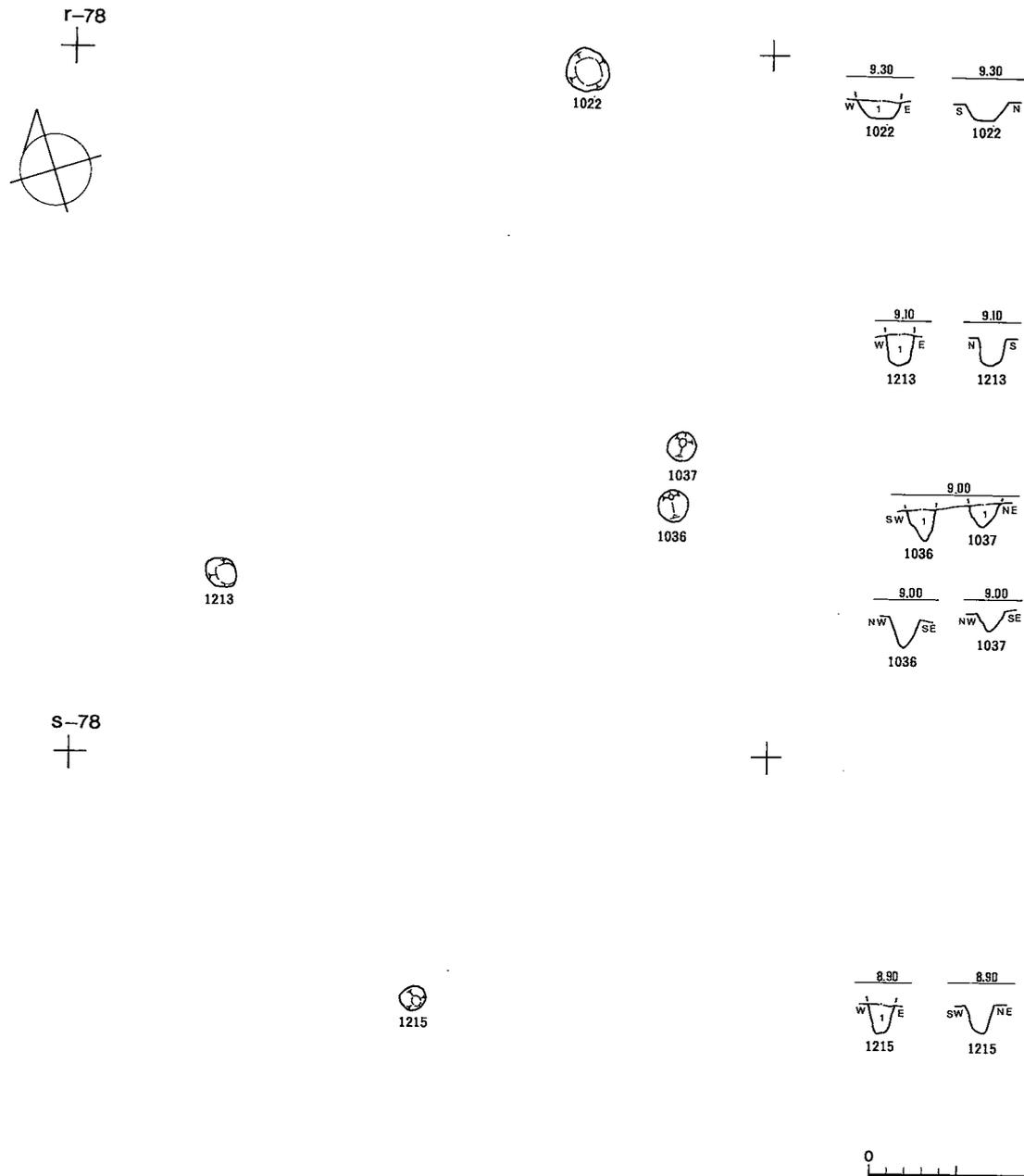
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(坑底)面 (cm)	坑底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1012	o-78	38 × 38 / 28 × 27 / 31		9.36	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a) ②黒褐色 (VI) ③黒褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a) ④黄褐色 (VII+VIII) (>φ 10mmのEn-a)	
〃 -1013	〃	29 × 25 / 14 × 16 / 24		9.36	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
〃 -1014	〃	34 × 28 / 14 × 13 / 12		9.53	①黒褐色 (VI+VIII) (>φ 5mmのEn-a)	
〃 -1015	〃	18 × 16 / 5 × 8 / 7		9.61	①黒褐色 (V+VIII) (>φ 5mmのEn-a)	
〃 -1016	〃	22 × 18 / 13 × 14 / 7		9.62	①黒褐色 (V+VIII) (>φ 5mmのEn-a)	
〃 -1212	P-78	20 × 19 / 5 × 6 / 10		9.34	①黒褐色 (V+VIII) (>φ 5mmのEn-a)	
〃 -1211	〃	22 × 22 / 12 × 10 / 11		9.27	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
〃 -1217	〃	15 × 14 / 7 × 8 / 10		9.26	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	RLP-36←1217
〃 -1050	〃	22 × 22 / - × - / 11		9.41	①黒褐色 (V+VIII) (>φ 5mmのEn-a)	



図IV-155 q-78の柱穴状ピット

表IV-178 q-78の柱穴状ピット一覧

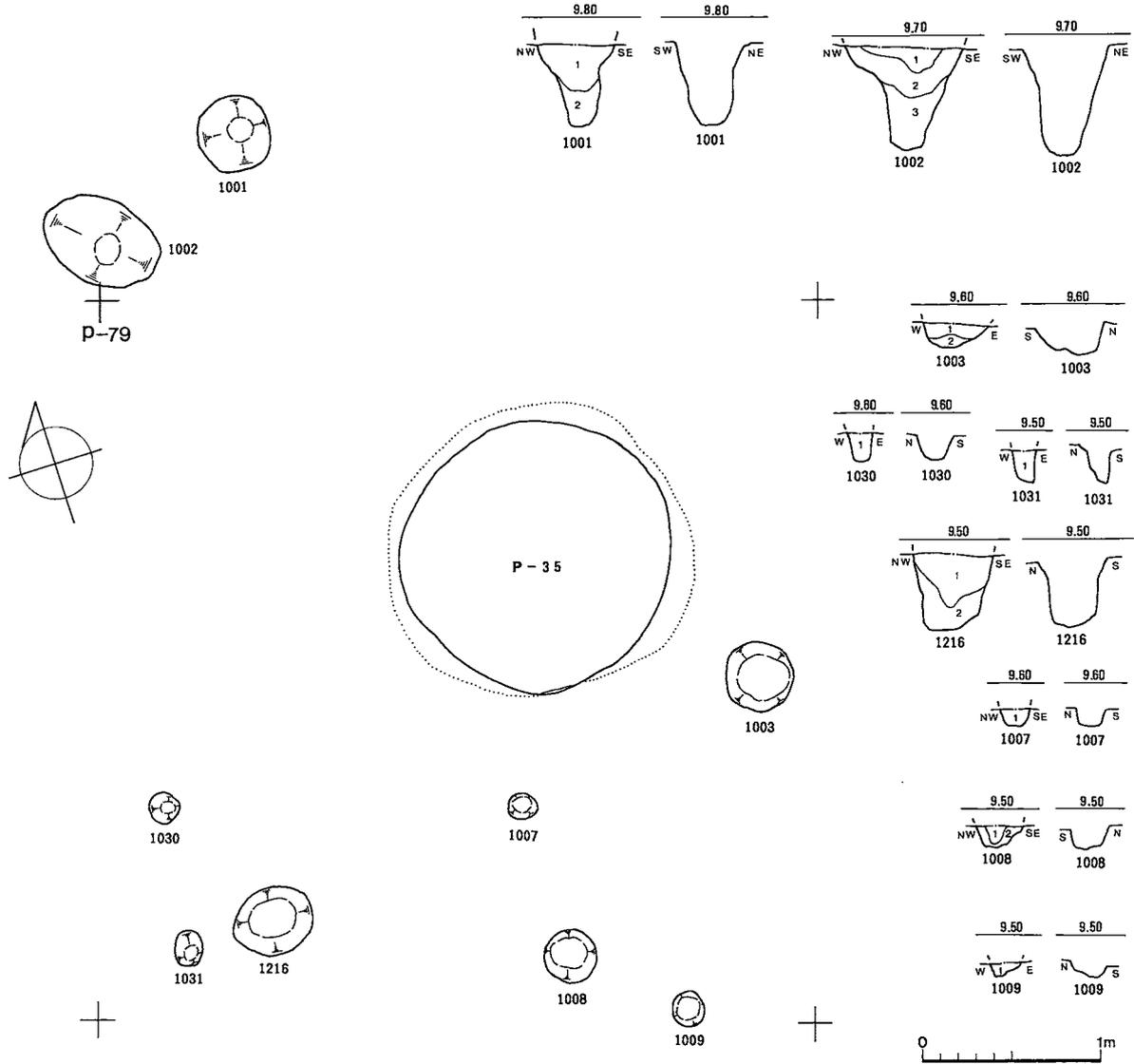
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(擴底)面 (cm)	擴底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1205	^{P-78} q-77-78		16 × 15 / 6 × 3 / 15	9.23	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1047	q-78		23 × 20 / 8 × 8 / 10	9.27	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	1047←1048
// -1043	//		18 × 16 / 8 × 11 / 12	9.24	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1210	//		14 × 14 / 4 × 5 / 6	9.30	①暗褐色 (VI)	
// -1025	//		19 × 19 / 9 × 8 / 10	9.22	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1206	//		17 × 16 / 10 × 9 / 20	9.15	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1207	//		19 × 15 / 10 × 9 / 10	9.22	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1046	//		24 × 21 / 10 × 12 / 9	9.22	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1045	//		23 × 21 / 14 × 11 / 8	9.23	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1044	//		14 × 11 / 5 × 4 / 13	9.18	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1041	//		17 × 17 / 13 × 11 / 18	9.08	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a) ②黄褐色 (VII) (>φ 2~20mmのEn-a ブロック状)	
// -1024	q-78		20 × 17 / 8 × 6 / 15	9.06	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1023	//		38 × 34 / 28 × 26 / 14	9.07	①黒褐色 (VI) ②暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	礫
// -1042	//		22 × 19 / 13 × 13 / 8	9.21	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1218	//		16 × 14 / 10 × 7 / 9	9.14	①暗褐色 (VI)	
// -1040	//		16 × 15 / 7 × 7 / 11	9.16	①暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1039	//		26 × 25 / 14 × 19 / 12	9.16	①暗褐色 (VI) ②暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1019	//		40 × 35 / 28 × 25 / 13	9.18	①黒暗褐色 (VI) ②暗褐色 (VI) ③暗褐色 (VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	



図IV-156 r-78の柱穴状ピット

表IV-179 r-78の柱穴状ピット一覧

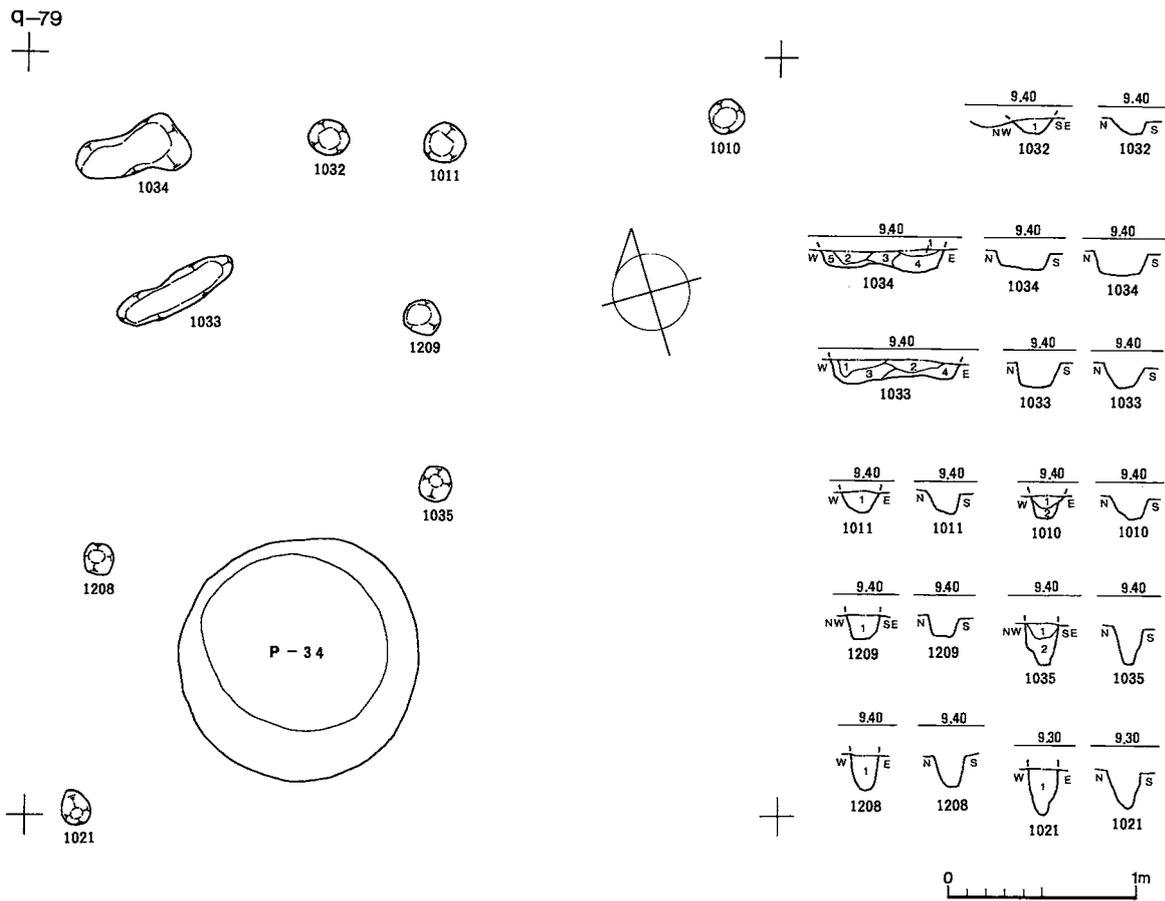
柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土 (土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1022	q-78・r-78	25 × 24	17 × 14 / 10	9.06	①黒褐 (VI)	
// -1213	r-78	20 × 16	14 × 12 / 18	8.84	①黒 (V b)	
// -1036	//	18 × 17	4 × 3 / 18	8.74	①暗灰褐 (VI+VII) (>En-a)	
// -1037	//	17 × 16	5 × 4 / 14	8.82	①暗灰褐 (VI+VII) (>En-a)	
// -1215	s-78	15 × 13	5 × 6 / 17	8.61	①黒 (V b)	



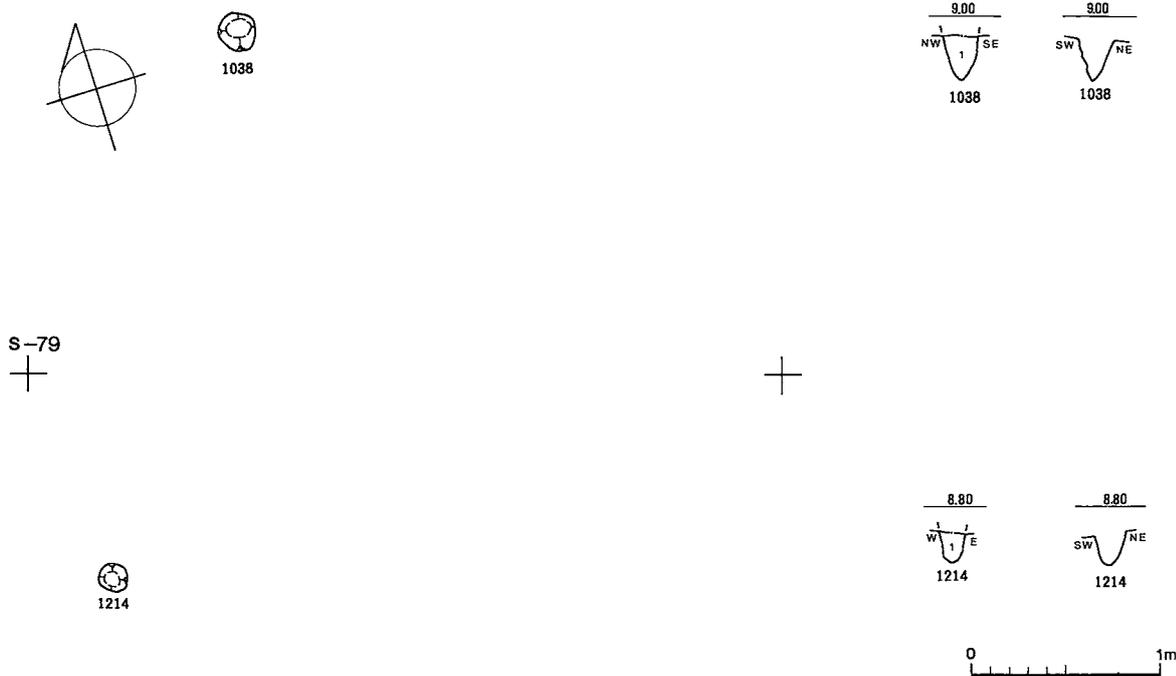
図IV-157 o-79・p-79の柱穴状ピット

表IV-180 o-79・p-79の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面 床(壊底)面 (cm)		壊底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) ※A→B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1001	o-79	44 × 43	14 × 14 / 46	9.40	①暗褐色(VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a) ②暗褐色(VI) (>En-a)	原石
// -1002	o-78・79	68 × 47	15 × 17 / 62	9.03	①暗褐色(VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a) ②暗褐色(VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a) ③黒褐色(VI)	礫
// -1003	p-79	39 × 38	26 × 26 / 17	9.32	①暗褐色(VI) (>En-a) ②暗褐色(VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	Rフレイク、フレイク、礫
// -1030	//	18 × 16	8 × 8 / 16	9.34	①暗褐色(VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1031	//	20 × 16	8 × 8 / 19	9.21	①暗褐色(VI) (>En-a)	
// -1216	//	46 × 38	27 × 21 / 43	9.00	①暗褐色(VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a) ②暗褐色(VI) (>En-a)	
// -1007	//	16 × 14	10 × 10 / 10	9.36	①暗黄褐色(VI+VII+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1008	//	30 × 30	20 × 16 / 12	9.28	①黒褐色(V+VIII) (>En-a) ②暗褐色(VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	
// -1009	//	19 × 18	13 × 13 / 8	9.27	①暗褐色(VI+VIII) (>φ 5~10mmのEn-a)	



図IV-158 q-79の柱穴状ピット



図IV-159 r-79・s-79の柱穴状ピット

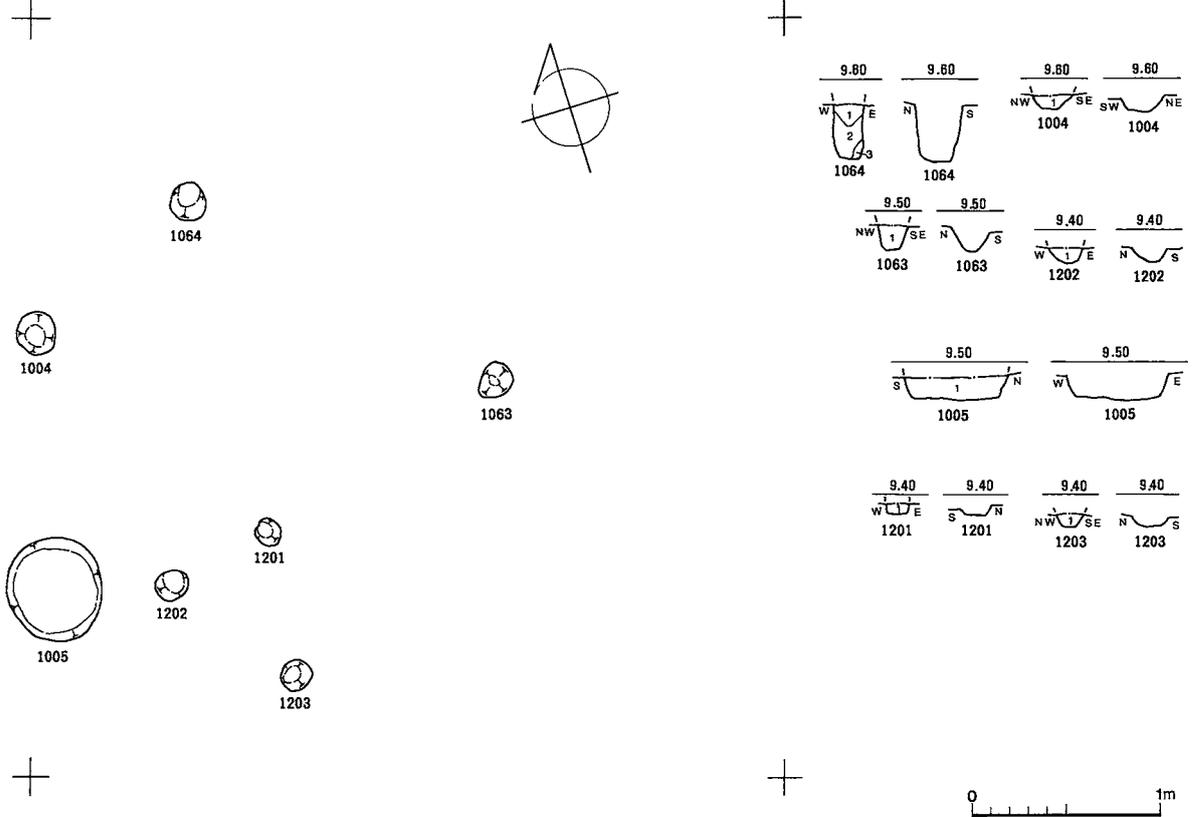
表IV-181 q-79の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位 置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳 底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) *A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1032	q-79	22 × 18	12 × 11 / 8	9.25	①暗褐色(VI)(>En-a)	
// -1034	//	60 × 23	50 × 20 / 12	9.22	①黒褐色(V+VIII)砂粒を含む ②暗褐色(VI)(>En-a) ③暗黄褐色(VI+VIII) ④黄褐色(VII+VIII)(>φ5~10mmのEn-a) ⑤暗褐色(VI+VIII)(>φ5~10mmのEn-a)	出入口状ピット
// -1033	//	67 × 17	58 × 12 / 13	9.21	①暗褐色(VI)(>En-a) ②黄褐色(VII+VIII)(>φ5~10mmのEn-a) ③暗褐色(VI+VIII)(>φ5~10mmのEn-a) ④暗黄褐色(VI+VII+VIII)(>φ5~10mmのEn-a)	出入口状ピット
// -1011	//	22 × 20	11 × 14 / 12	9.23	①暗褐色(VI)(>En-a)	
// -1010	//	19 × 17	14 × 10 / 12	9.20	①暗褐色(VI)(>En-a) ②黄褐色(II+VIII)(>φ5~10mmのEn-a)	
// -1209	//	19 × 18	12 × 13 / 13	9.16	①暗褐色(VI)(>En-a)	
// -1035	//	18 × 17	6 × 8 / 22	9.02	①暗黄褐色(VI+VIII) ②暗褐色(VI+VIII)(>φ5~10mmのEn-a)	
// -1208	//	17 × 16	7 × 9 / 19	9.06	①暗褐色(VI+VIII)(>φ5~10mmのEn-a)	
// -1021	//	18 × 16	6 × 7 / 24	8.94	①暗褐色(VI)(>En-a)	

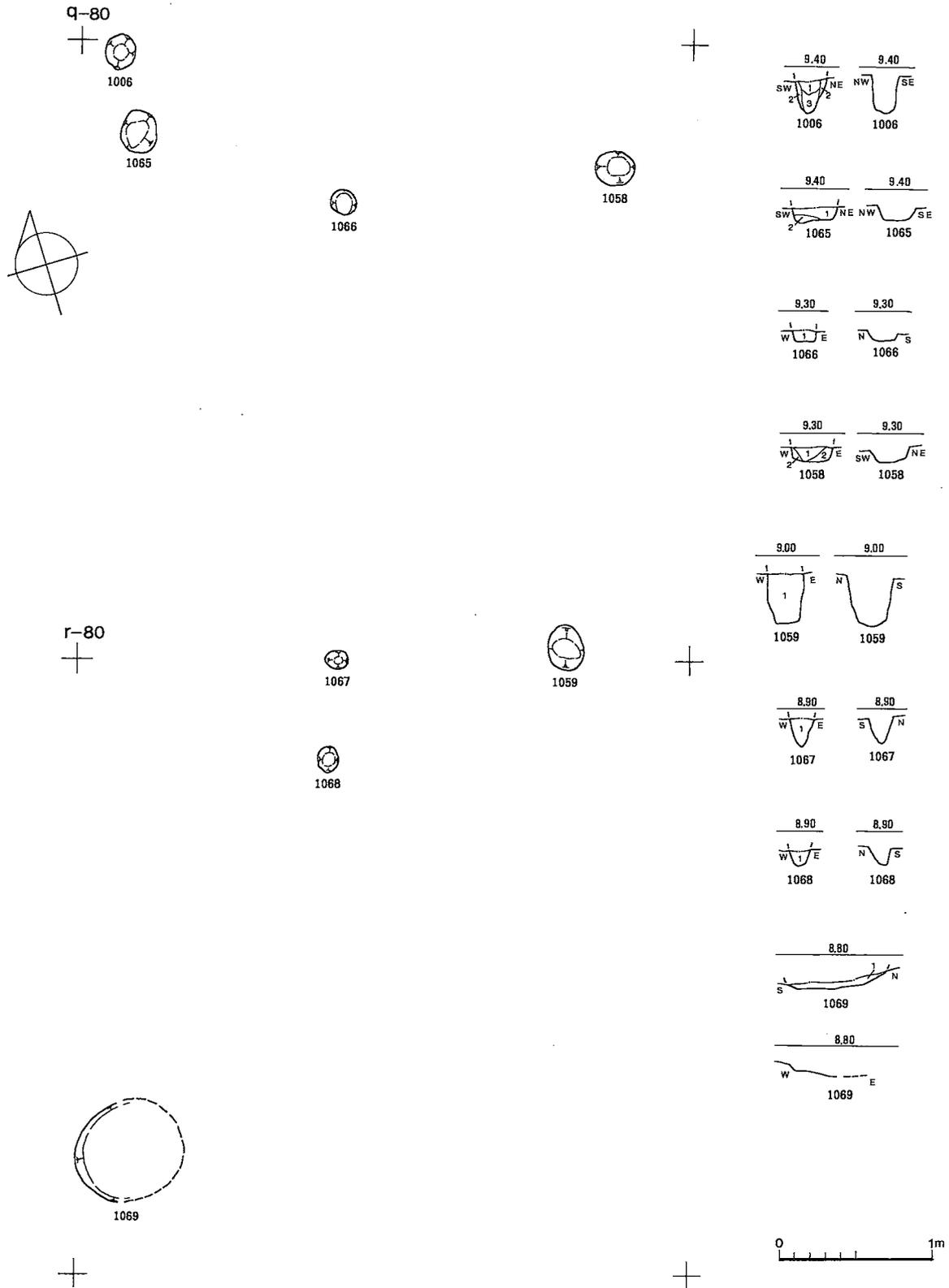
表IV-182 r-79・s-79の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位 置	確認面 床(墳底)面 (cm)		墳 底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備 考 (付設・出土遺物・その他) *A-B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸	長軸×短軸/深さ			
RLSP-1038	r-79	20 × 20	14 × 10 / 19	8.66	①黒(Vb)	
// -1214	s-79	15 × 14	9 × 7 / 17	8.50	①黒(Vb)	

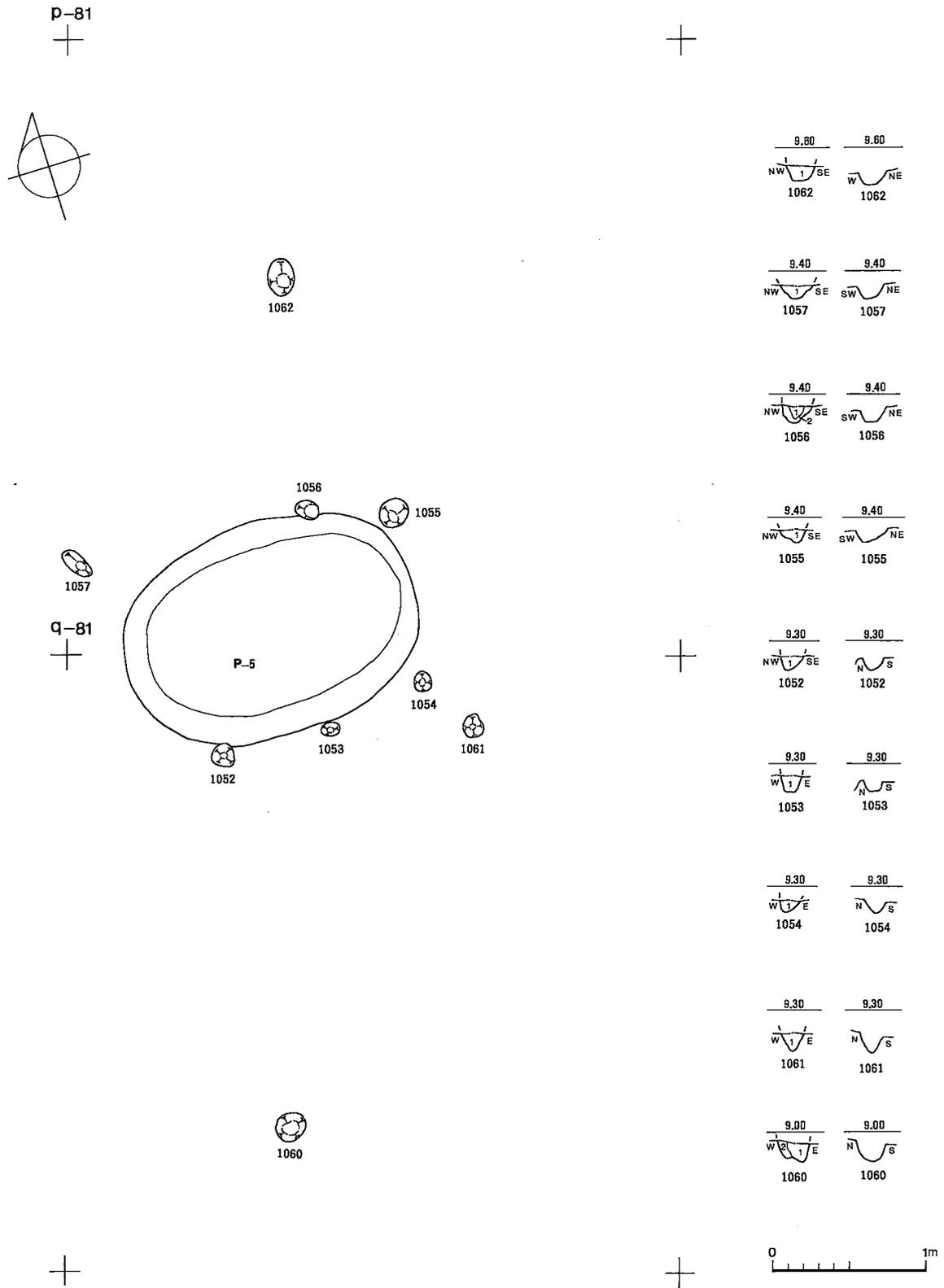
p-80



図IV-160 p-80の柱穴状ピット



図IV-161 q-80・r-80の柱穴状ピット



図IV-162 P-81・Q-81の柱穴状ピット

表IV-183 P-80の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1064	P-80	20 × 19 / 14 × 12 / 29		9.17	①暗褐色(VI+VIII) (>φ5~10mmのEn-a) ②暗褐色(VI) ③=①	
// -1004	P-79・80	23 × 21 / 12 × 11 / 8		9.43	①暗褐色(VI+VIII) (>φ5~10mmのEn-a)	
// -1063	P-80	19 × 16 / 5 × 7 / 14		9.29	①黒褐色(SE-1) (>φ5~10mmのEn-a)	
// -1202	//	18 × 16 / 11 × 13 / 8		9.22	①暗褐色(VI+VIII) (>φ5~10mmのEn-a)	
// -1005	P-79・80	56 × 51 / 46 × 42 / 13		9.30	①暗褐色(VI+VIII) (>φ5~10mmのEn-a)	
// -1201	P-80	15 × 13 / 9 × 8 / 5		9.30	①暗褐色(VI+VIII) (>φ5~10mmのEn-a)	
// -1203	//	16 × 16 / 10 × 8 / 7		9.22	①暗褐色(VI+VIII) (>φ5~10mmのEn-a)	

表IV-184 q-80・r-80の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1006	P-80, q-80	23 × 20 / 11 × 10 / 22		9.10	①暗褐色(VI) ②暗黄褐色(VI+VII) ③暗褐色(VI+VIII) (>φ5~10mmのEn-a)	
// -1065	q-80	28 × 24 / 18 × 14 / 10		9.18	①暗褐色(VI) ②暗褐色(VI+VIII) (>φ5~10mmのEn-a)	
// -1066	//	17 × 17 / 14 × 11 / 7		9.10	①黒褐色(VI)	
// -1058	//	26 × 22 / 15 × 12 / 10		9.11	①暗褐色(VI) ②暗黄褐色(VI+VII+VIII) (>φ5~10mmのEn-a)	
// -1059	q-80, r-80	29 × 23 / 15 × 18 / 33		8.54	①茶褐色(VII)	ロームピット
// -1067	//	15 × 12 / 5 × 5 / 18		8.65	①暗褐色(VI+VII+VIII) (>φ5~10mmのEn-a)	
// -1068	r-80	16 × 14 / 9 × 8 / 10		8.68	①黒褐色(VI)	
// -1069	//	68 × (68) / - × - / (23)		8.58	①黒(Vb)	

表IV-185 P-81・q-81の柱穴状ピット一覧

柱穴状 ピット番号	位置	確認面	床(墳底)面 (cm)	墳底 レベル (m)	覆土(土層注記)	備考 (付設・出土遺物・その他) *A←B(BよりAが新しい)
		長軸×短軸/長軸×短軸/深さ				
RLSP-1062	P-81	24 × 17 / 8 × 9 / 10		9.36	①暗褐色(VI+VIII) (>φ10~20mmのEn-a)	
// -1057	P-80・81	23 × 11 / 7 × 5 / 9		9.22	①暗褐色(VI+VIII) (>φ10~20mmのEn-a)	
// -1056	P-81	16 × 11 / 9 × 9 / 11		9.22	①黒褐色(V+VIII) (>En-a) ②暗褐色(VI+VIII) (>φ10~20mmのEn-a)	1056←RLP-5
// -1055	//	20 × 18 / 6 × 9 / 8		9.24	①暗褐色(VI+VIII) (>φ10~20mmのEn-a)	
// -1052	q-81	16 × 14 / 5 × 5 / 9		9.11	①暗褐色(VI+VIII) (>φ5~10mmのEn-a)	
// -1053	//	12 × 9 / 4 × 3 / 11		9.11	①暗褐色(VI+VIII) (>φ5~10mmのEn-a)	
// -1054	//	14 × 12 / 5 × 4 / 8		9.12	①暗褐色(VI) (>En-a)	
// -1061	//	15 × 13 / 4 × 4 / 12		9.03	①暗黄褐色(VI+VII) (>En-a)	
// -1060	//	21 × 18 / 12 × 9 / 13		8.81	①暗褐色(VI) (>En-a) ②暗黄褐色(VI+VII) (>En-a)	

4. 土壌 (RLP) (図IV-163~174 表IV-199・200・217・231・232・235・236 図版8~10・50)

土壌として調査した遺構のうち、柱穴状ピット以外のものを土壌として掲載している。土壌は12基である。これらは調査区北東隅の盛土上で1基、盛土周縁部で9基、調査区西側の台地上で2基検出されている。まとまりのようなものは見られないが、調査区北側で標高9.30m~9.70mの緩斜面上の盛土縁辺部で7基検出されている。

土壌には形状、覆土の堆積状態などから見て土壌墓と思われるもの、断面形がフラスコ状の貯蔵穴と思われるもの、そして性格・用途が不明のものなどがある。

遺物は土器、石器、骨片などが出土していて、土器ではIVcのものが多く、他にIb-1、Ib-4、IVa、IVb、IVc-1が少量出土している。石器ではフレイクが最も多く、他に石鏃、石斧、すり石、たたき石片なども出土している。

時期は、掘り込み面や出土遺物などから見て、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉のものである。

RLP-1 (図IV-163 表IV-199・217・231 図版8・50)

位置: P-90 標高9.65m~9.85m 規模: (1.37m)×0.8m/0.84m×0.32m/0.94m

平面形: 長楕円形状 長軸方向: N-85°-E

確認・調査: 盛土Aの調査中、盛土上面付近で暗褐色土と軽石が混じり合った汚れた土の落ち込みを検出した。半截し、調査を行う。

覆土: 覆土は大きく3層に分けられる。上層(土層図2・3・4)は暗褐色土と黄色土が混合したボソボソした土である。中層(土層図8・8'・9)は褐色土と黄色土が混じり合い、軽石が混入する土である。下層(土層図10)は墳底直上の土で、暗褐色土に軽石が混入する土である。

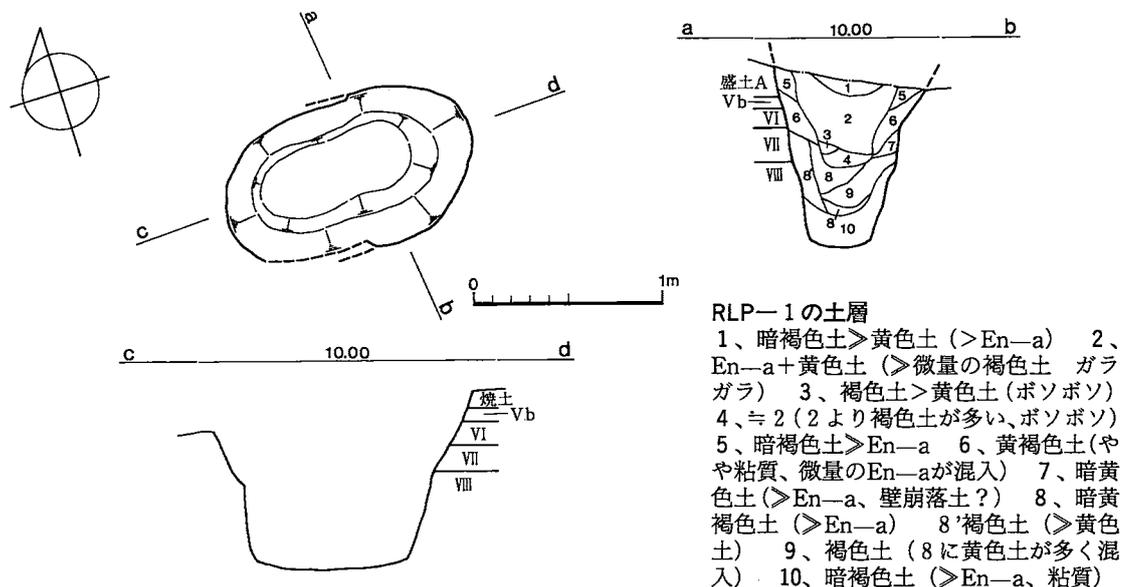
墳底: VIII層を深く掘り込んで構築している。ほぼ平坦。

壁: 墳底から外傾気味に立ち上がり、中程から内湾気味に大きく外傾する。

遺物出土状況: 覆土上層中からIVcの土器片が12点。IVc-1の土器片が1点、Rフレイク、フレイクが各2点ずつ、覆土中層中からIVcの土器片が11点、IVc-1の土器片とフレイクが各1点ずつ、覆土下層中からIVcの土器片が11点、フレイク10点(被熱1点)が出土している。まとまった出土状態ではない。

性格: 規模、形状、覆土の堆積状態は、1997年度I地区で検出された土壇(ILP5)などと酷似することから見て、土壇墓の可能性はある。

時期: 掘り込み面、出土遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。



図IV-163 RLP-1

RLP-4 (図IV-164 表IV-199・217・231 図版8・50)

位置: P-82・83 Q-82・83 標高9.30m付近、ほぼ北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模: 0.96m×0.96m/0.83m×0.83m/0.05m 平面形: 円形状

確認・調査: 盛土遺構の83ラインの小トレンチを調査中、盛土D-4層の落ち込みを検出した。

覆土: 盛土は軽石を多量に含む黒褐色土である。

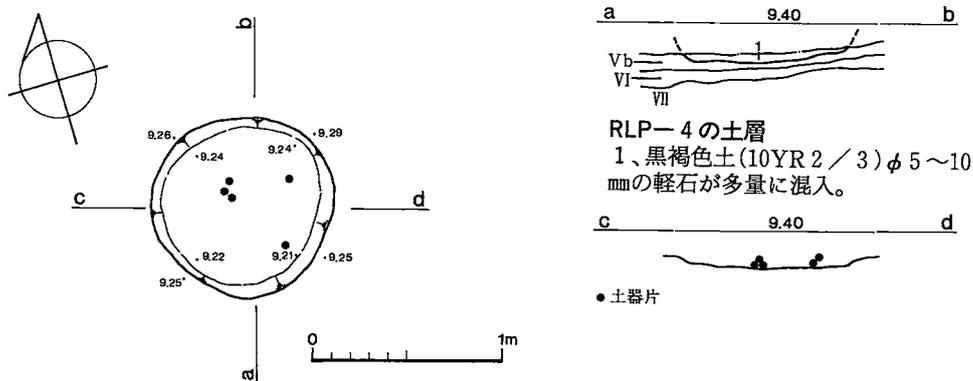
墳底: Vb層を掘り込んでいる。ほぼ平坦。

壁: 緩やかに立ち上がる。上部は不明。

遺物出土状況：覆土中からIVcの土器片4点、IVc-1の土器1点、石鏃1点、フレイク8点が出土している。まとまった出土状態ではない。

性格：不明である。

時期：掘り込み面や出土遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。



図IV-164 RLP-4

RLP-5 (図IV-165 表IV-199・217 図版9・50)

位置：P-81 Q-81 標高9.40m付近、ほぼ北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：1.93m×1.36m/1.70m×1.00m/0.30m 平面形：楕円形 長軸方向：N-84°-E

確認・調査：SE-1層を除去したところで、黒色土の落ち込みを検出した。半截して掘り下げ、墳底面および壁面を検出した。

覆土：覆土は、上位（土層図1・2・3）が軽石を多く含む黒褐色土（SE-1層相当）、下位（土層図4・5・6・7）は軽石を多く含む暗褐色土（SE-2層相当）を主体とする。

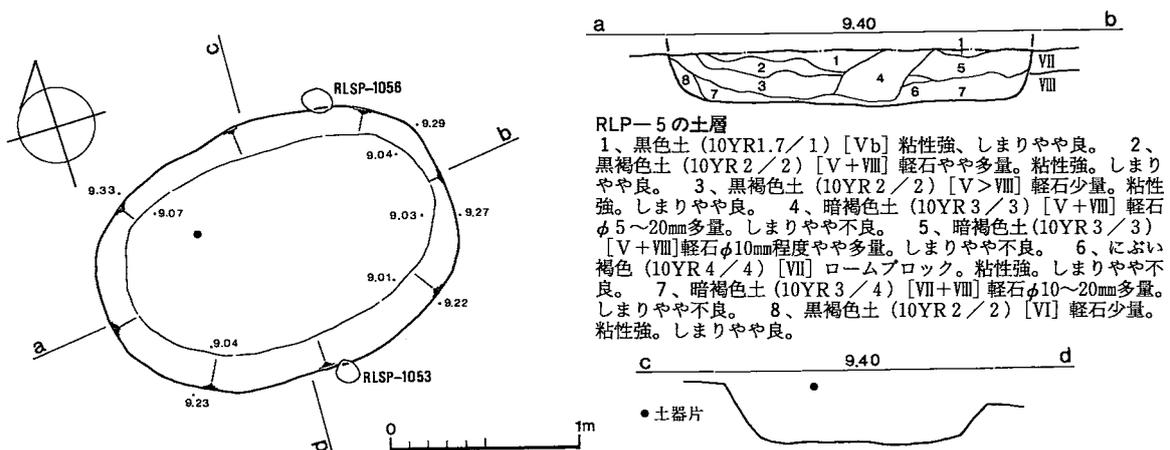
墳底：VIII層を掘り込んで構築している。ほぼ平坦。

壁：立ち上がりは急である。

遺物出土状況：確認面および覆土中からIbとIVcの土器片、フレイクが少量出土した。まとまった出土状態ではない。

性格：形状からは土墳墓を想定できるが、断定はできない。

時期：出土遺物や検出面などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。



図IV-165 RLP-5

RLP-12 (図IV-166 表IV-199・200・217・231 図版9・50・53)

位置: q-65・66 標高9.60m付近、ほぼ平坦地に位置する。

規模: 1.31m×0.74m/0.89m×0.46m/0.82m 平面形: 隅丸長方形

長軸方向: N-40°-W

確認・調査: SE-2層上面を精査し、III層下位の土を囲むように暗茶褐色土>En-aの落ち込みを検出した。半截して掘り下げ、墳底、壁面を検出した。

覆土: 覆土は暗褐色土、褐色土、黄色土、En-aなどが混り合った埋め戻し状の土である。

墳底: VIII層を深く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦。

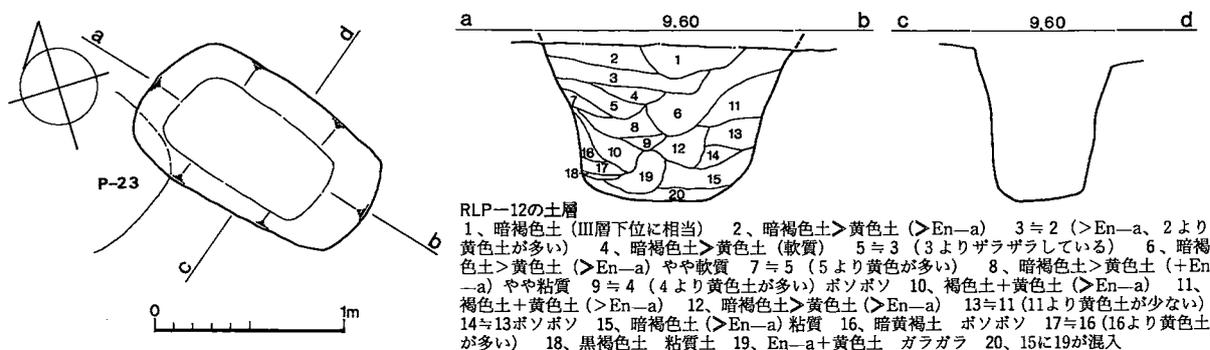
壁: 墳底からほぼ垂直的に立ち上がり、中程からやや外傾する。

遺物出土状況: 覆土上層中からIVcの土器片16点、IVc-1の土器片2点、Rフレイク1点、フレイク10点が出土し、覆土中層中からすり石片、石皿片が各1点ずつ、フレイク19点が出土している。覆土下層中からIVcの土器片16点、IVc-1の土器片1点、Rフレイク、礫が各1点ずつ、フレイク2点などが出土している。まとまった出土状態ではない。

性格: 規模、形状、覆土の堆積状態などから見て、土墳墓の可能性はある。

時期: 掘り込み面、出土遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

なお本遺構はRLP-23と重複しており、これより新しいものである。



図IV-166 RLP-12

RLP-34 (図IV-167 表IV-199・217・231 図版9・50)

位置: q-79 標高9.15m~9.35m、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模: 1.16m×1.13m/0.99m×0.89m/0.40m 平面形: 円形状

確認・調査: VI~VII層を掘り下げ中に黒色土の落ち込みを検出した。半截して掘り下げ、墳底および壁面を検出した。

覆土: 覆土は、壁面付近に軽石まじりの暗褐色土が堆積しているが、大部分は黒色土(Vb層)である。

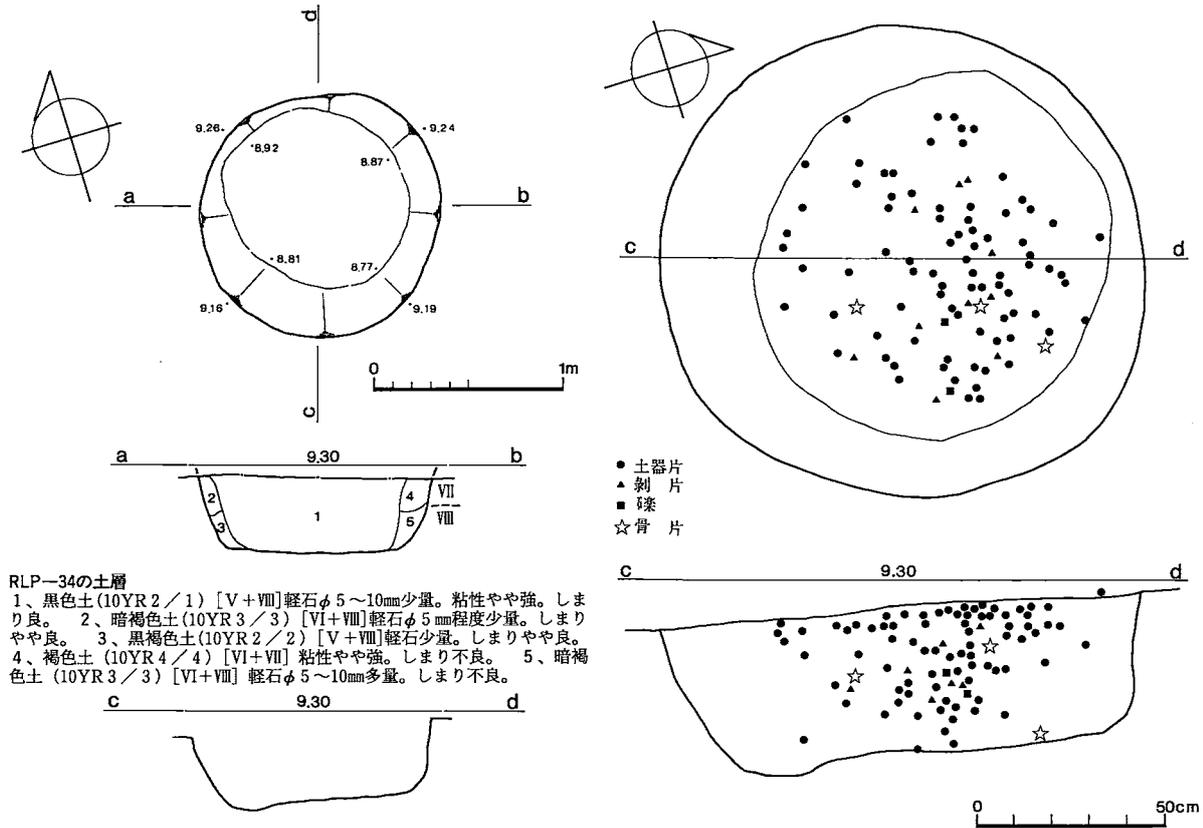
墳底: VIII層を掘り込んで構築されている。ほぼ平坦。

壁: 立ち上がりはやや急である。

遺物出土状況: 壁付近や墳底直上付近には遺物がなく、覆土上位~中位の黒色土から出土した。土器87点、石器等10点、骨片等3点である。土器はIVcのものがほとんどで、IVa、IVbの土器片が少量混在する。

性格: 土墳墓の可能性はあるが、断定はできない。

時期: 出土遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。



図IV-167 RLP-34

RLP-35 (図IV-168 表IV-199・200・217・231 図版9・50・53)

位置：P-79 標高9.60m付近、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：1.50m×1.47m/1.71m×1.66m/0.90m 平面形：円形状

確認・調査：SE-1層を除去後、黒色土の落ち込みを検出した。半截して掘り下げたところ、フラスコ状の断面が確認された。

覆土：覆土は、おおむね厚い軽石層と薄い黒褐色土の互層で、比較的短期間に堆積したものと思われる。

墳底：VIII層を深く掘り込んで構築されている。壁面との境界はやや不明である。

壁：緩やかに立ち上がり、内湾して上部でくびれ、開口部で外反している。

遺物出土状況：壁付近や墳底直上には遺物がなく、遺物の多くは薄い黒褐色土層から出土した。遺物は土器が27点、石器等13点や炭化材などが出土している。土器はIVcが22点、IVc-1が5点、石器では石斧、たたき石片、台石などで、やや大型の礫石器が出土している。

性格：貯蔵穴としての機能が想定できる。

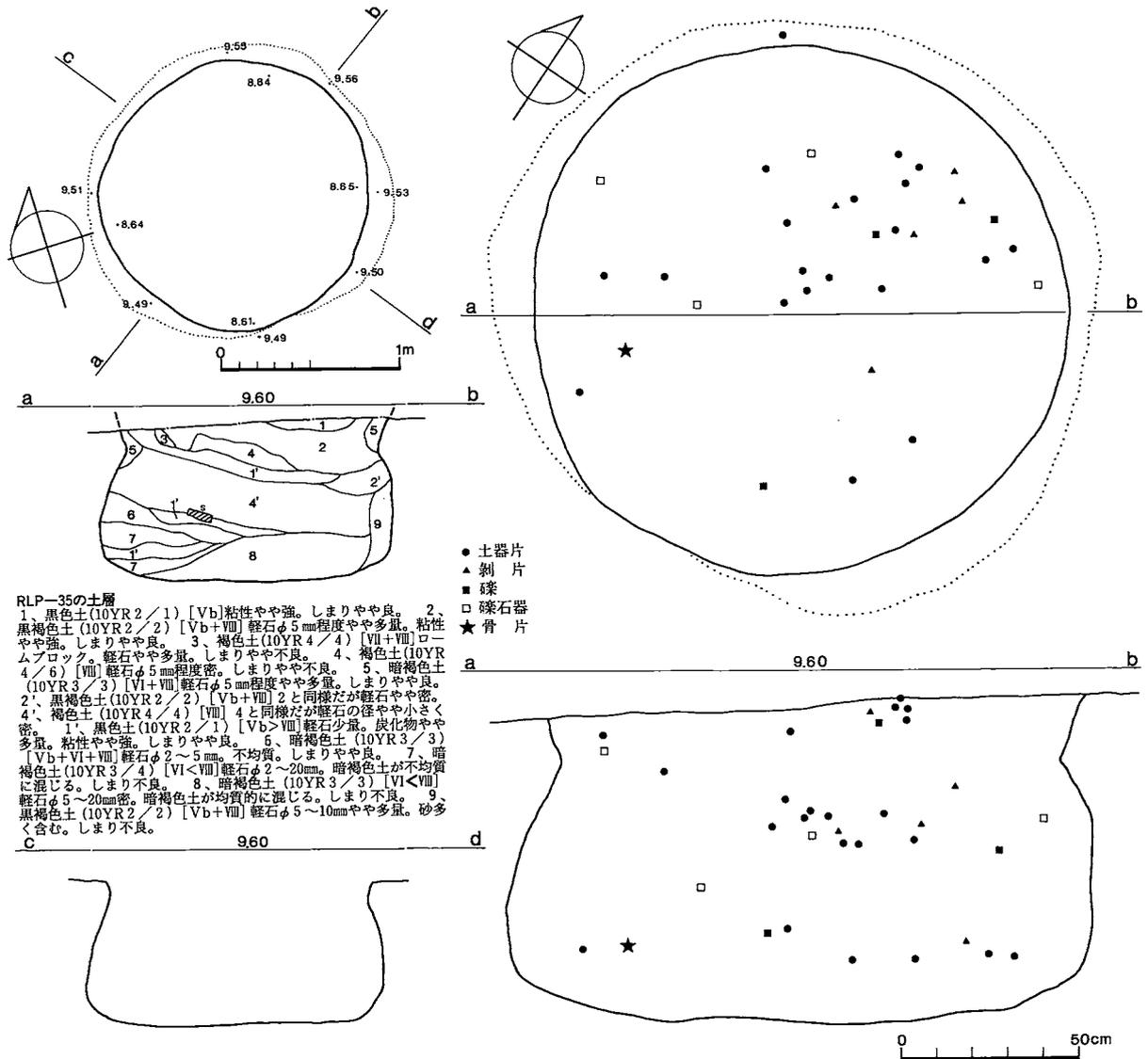
時期：掘り込み面や出土遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。

RLP-36 (図IV-169 表IV-199・200・217・231 図版9・50・53)

位置：P-78 標高9.55m付近、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：2.02m×1.66m/1.74m×1.35m/0.66m 平面形：楕円形 長軸方向：N-86°-W

確認・調査：SE-1層を除去後、黒色土の落ち込みを検出した。半截して掘り下げたところ、フラス



RLP-35の土層
 1、黒色土(10YR 2/1) [Vb]粘性やや強。しまりやや良。 2、黒褐色土(10YR 2/2) [Vb+VIII] 軽石φ5mm程度やや多量。粘性やや強。しまりやや良。 3、褐色土(10YR 4/4) [VII+VIII] ロームブロック。軽石やや多量。しまりやや不良。 4、褐色土(10YR 4/6) [VIII] 軽石φ5mm程度密。しまりやや不良。 5、暗褐色土(10YR 3/3) [VI+VIII] 軽石φ5mm程度やや多量。しまりやや密。 2'、黒褐色土(10YR 2/2) [Vb+VIII] 2と同様だが軽石やや密。 4'、褐色土(10YR 4/4) [VII] 4と同様だが軽石の径やや小さく密。 1'、黒色土(10YR 2/1) [Vb>VIII] 軽石少量。炭化物やや多量。粘性やや強。しまりやや良。 6、暗褐色土(10YR 3/3) [Vb+VI+VIII] 軽石φ2~5mm。不均質。しまりやや良。 7、暗褐色土(10YR 3/4) [VI<VIII] 軽石φ2~20mm。暗褐色土が不均質に混じる。しまり不良。 8、暗褐色土(10YR 3/3) [VI<VIII] 軽石φ5~20mm密。暗褐色土が均質的に混じる。しまり不良。 9、黒褐色土(10YR 2/2) [Vb+VIII] 軽石φ5~10mmやや多量。砂多く含む。しまり不良。

図IV-168 RLP-35

コ状の断面を確認した。

覆土：覆土は、下位に軽石層が厚く堆積し、その直上に薄い焼土・灰・粘土層がある (RLP36-F1)。この薄層は土壌外で形成された焼土を西よりの一定範囲に投入したものと考えられる。さらにその上位には軽石まじりの黒褐色土層があり、土壌上面にはその場で形成されたと考えられる焼土 (RLF263) が確認された。

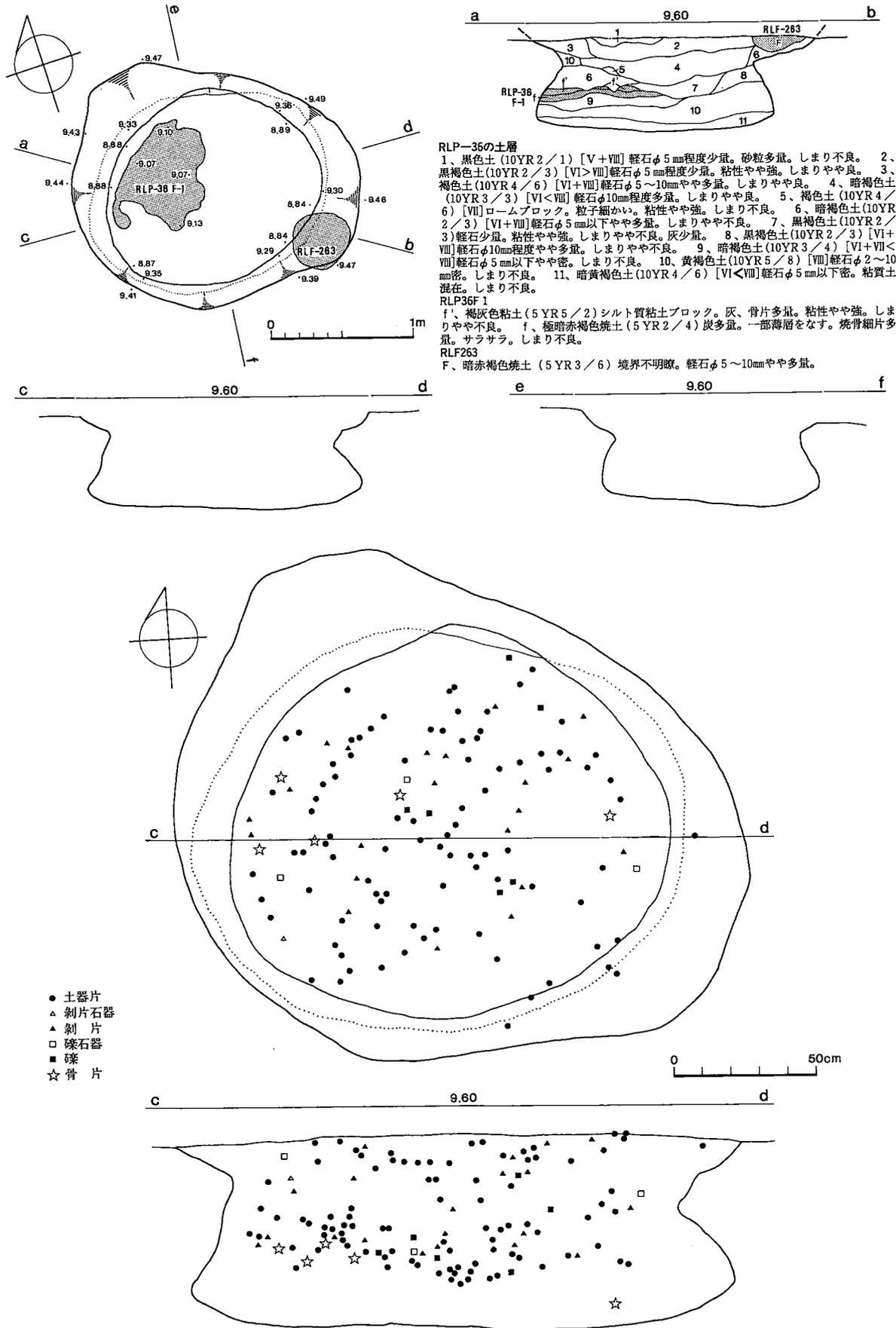
壇底：VIII層を深く掘り込んで構築されている。ほぼ平坦。

壁：緩やかに内湾して、上部でくびれて外反している。東側が外反の度合いが大きい。

遺物出土状況：RLP36-F1の面から上位で160点ほどの遺物が出土している。焼土からは焼骨片が出土している。土器はIVcのものがほとんどで、IVa、IVbの土器片もわずかに混在する。石器は石鏃、石斧、すり石、たたき石などが出土している。

性格：貯蔵穴としての機能が想定できるが、二次的に墓として利用している可能性がある。

時期：掘り込み面や出土遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。



図IV-169 RLP-36

RLP-37 (図IV-170 表IV-217・231 図版10)

位置：o-78 P-78 標高9.70m付近、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：1.03m×0.89m/0.76m×0.68m/0.18m 平面形：楕円形 長軸方向：N-18°-E

確認・調査：SE-1層の除去後、暗褐色土の落ち込みを検出した。半截して掘り下げ、墳底および壁を検出した。

覆土：覆土は軽石まじりの暗褐色土である。SE-2層相当。

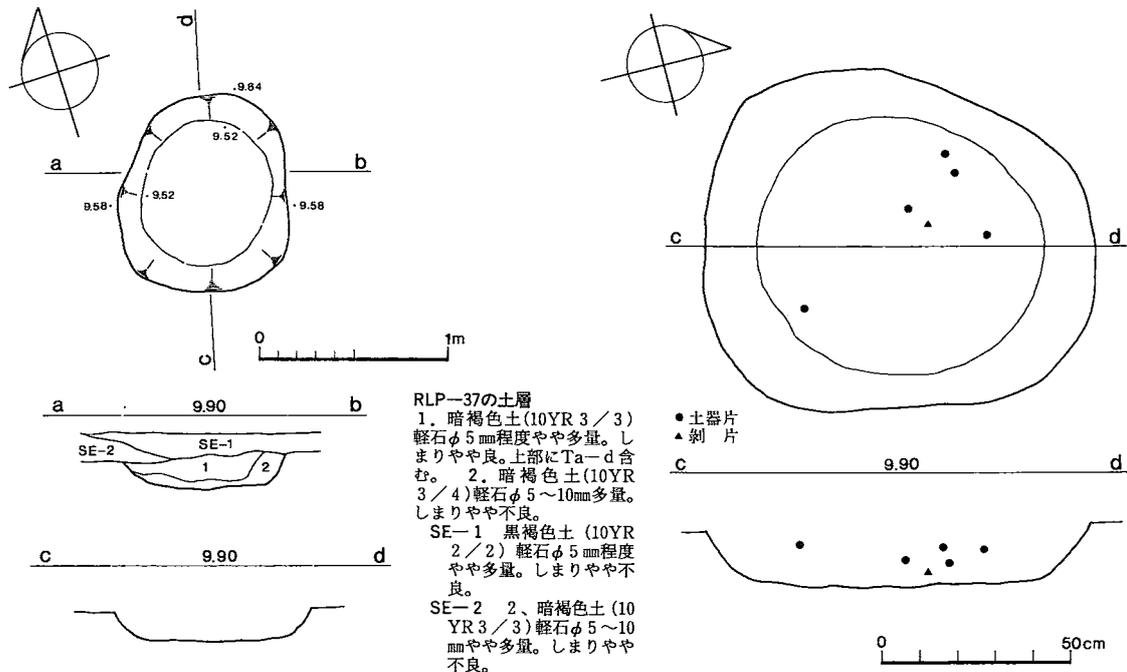
墳底：VIII層を掘り込んで構築されている。平坦。

壁：立ち上がりは緩やかである。

遺物出土状況：覆土中からIVcの土器片5点、フレイク1点が出土している。まとまった出土状態ではない。

性格：不明である。

時期：掘り込み面や出土遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。



図IV-170 RLP-37

RLP-39 (図IV-171 表IV-199・217・231 図版10・50)

位置：P-79 標高9.60m付近、北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：0.65m×0.64m/0.46m×0.29m/0.25m 平面形：不整円形 長軸方向：N-20°-W

確認・調査：SE-1層を除去後、暗褐色土の落ち込みを検出した。半截して掘り下げ、墳底および壁を検出した。

覆土：覆土は、下位にVIII層相当の軽石が堆積し、上位~中位はSE-2層相当の軽石まじりの暗褐色土である。

墳底：VIII層を掘り下げて構築されている。平坦。

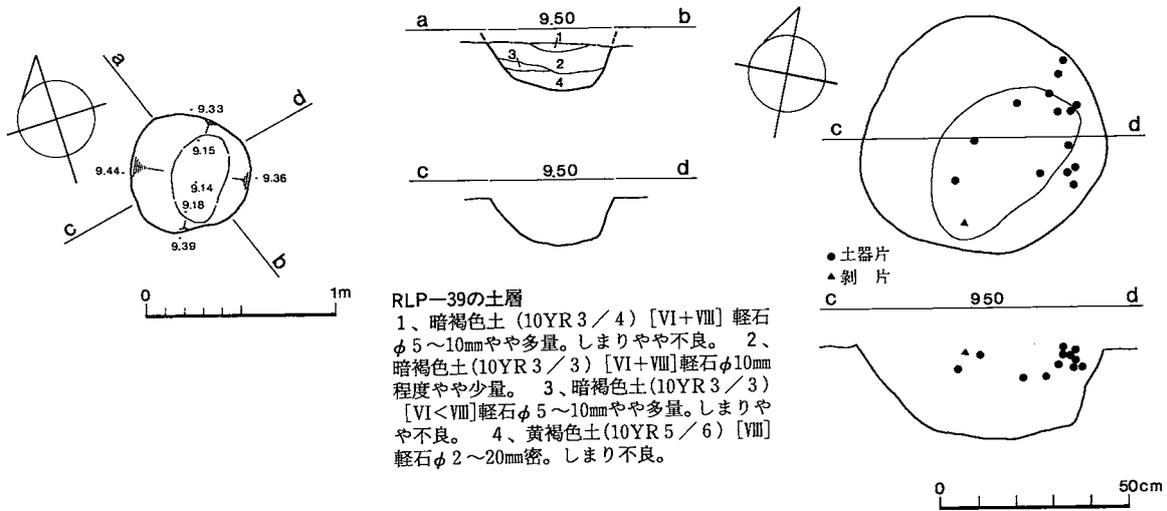
壁：墳底面との境界は不明瞭であるが、立ち上がりはやや急である。

遺物出土状況：覆土上位からIVcの土器片とフレイクがわずかに出土している。まとまった出土状態で

はない。

性格：不明である。

時期：掘り込み面や出土遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。



図IV-171 RLP-39

RLP-40 (図IV-172 表IV-217・231)

位置：x-71・72 標高8.50m付近、南側に張り出す台地上に位置する。建物跡1・2の北東側に近接する。

規模：1.80m×0.60m/1.54m×0.50m/0.12m 平面形：楕円形 長軸方向：N-68°-E

確認・調査：建物跡1・2の調査中、出入口ピットのすぐ北側で褐灰色の粘土塊を検出した。粘土塊は径50cmほど、厚さ約8cmの円盤状であった。遺構を想定し、周囲を精査したところ、楕円形の輪郭を確認した。

覆土：覆土は軽石が多量にまじる褐色土である。

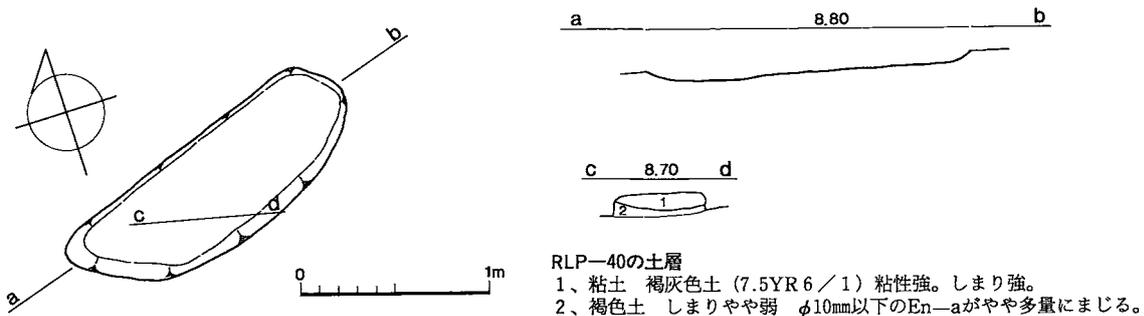
坑底：おおむね平坦であるが、東から西へやや傾斜する。

壁：立ち上がりはわずかであり、不明。

遺物出土状況：覆土中からIb-1の土器3点、IVcの土器3点、スクレイパー1点などが出土している。また褐灰色の粘土が出土している。

性格：粘土貯蔵穴の可能性はある。

時期：周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期と思われる。



図IV-172 RLP-40

RLP-51 (図IV-173 表IV-199・217・231 図版10・50)

位置: q-69 周辺は耕作によりVIII層中まで攪乱されている。平坦地に位置するものと思われる。

規模: 1.13m×1.02m/1.00m×0.85m/0.36m 平面形: 不整円形 長軸方向: N-60°-E

確認・調査: VIII層中で軽石まじりの暗褐色土の落ち込みを検出した。半截して掘り下げ、壙底、壁の立ち上がりを確認した。

覆土: 覆土は大きな軽石まじりの暗褐色粘質土や暗黄色粘質土が不安定な状態で堆積する。中程に暗赤紫色砂質土が薄く見られる。

壙底: VIII層を掘り込んで構築されている。やや凹凸があり、軟質。

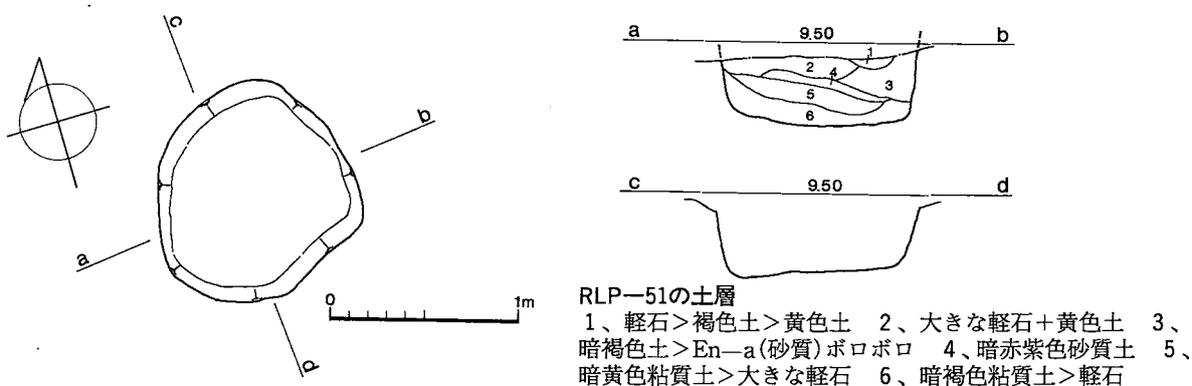
壁: 立ち上がりはやや垂直気味である。

遺物出土状況: 遺物はまとまった出土状態ではない。覆土中からIVcの土器片が16点、IVc-1の土器片が1点、石器ではフレイク2点などが出土している。

性格: 不明である。東~南へかけての壁面が不明瞭であったことなどから考えると、風倒木痕の可能性もある。

時期: 出土遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。

なお本遺構はRLSP-2と重複しており、これより古いものである。



図IV-173 RLP-51

RLP-52 (図IV-174 表IV-199・200・217・231 図版10・50・53)

位置: y-70 標高8.85m付近、台地の先端部に位置する。

規模: 1.60m×1.37m/1.32m×1.18m/0.30m 平面形: 楕円形状 長軸方向: N-79°-E

確認・調査: 包含層調査中、VII層上面付近で暗黄褐色土の落ち込みを検出した。半截し、調査を行う。

覆土: 覆土は、上層は暗褐色土に黄色土、下層(壙底上)は黒褐色土に黄色土がそれぞれ混入し、ともに軽石が混じり粘質土である。

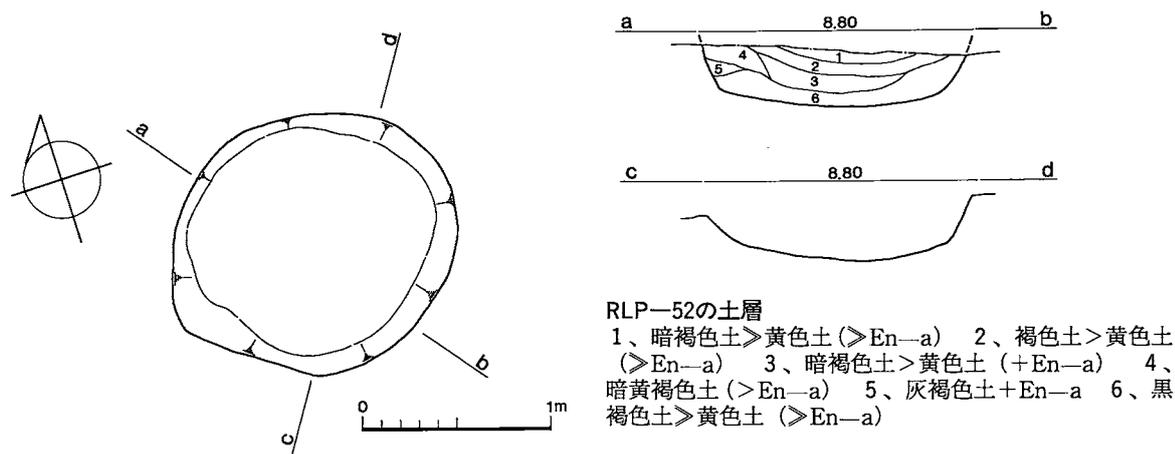
壙底: VII層中に構築されている。やや浅くくぼみ、軟質である。

壁: 緩やかに外傾する。

遺物出土状況: まとまった出土状態ではない。覆土中からIb-1、IVcの土器片が3点ずつ、スクレイパーなどが出土している。

性格: 不明である。

時期: 覆土、周辺出土の遺物などから、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。



図IV-174 RLP-52

5. 焼土 (RLF) (図IV-175~179 表IV-186~191・201~203・218・233・235・236 図版11・51~53)

IV章で取り扱っている焼土は、Vb層上面付近で検出したものである。焼土の数は238カ所である。これらの焼土について分布、構造、遺物出土状況、時期、性格などを全体の状況、傾向を記し、個々の焼土については、規模、検出層位などを一覧表にして掲載した。

分布 Vb層上面は標高7.80m~10.10mで、中央部南側の低地部方向にむかって緩やかに傾斜している。ほとんどの焼土はこの緩斜面上に分布している。分布域は大きく以下の4カ所にまとめることができる。①調査区北東側の標高9.10m~10.10mの緩斜面上、②標高8.50m付近のほぼ等高線沿いの緩斜面上、③調査区西側の台地上(標高9.60m付近)、④調査区南西隅の標高7.80m付近のVd層中。また3カ所であるが中央部低地部(標高8.00m付近)にも焼土が見られる。①は1997年度I地区の調査で検出された焼土群から広がっているものであろう。

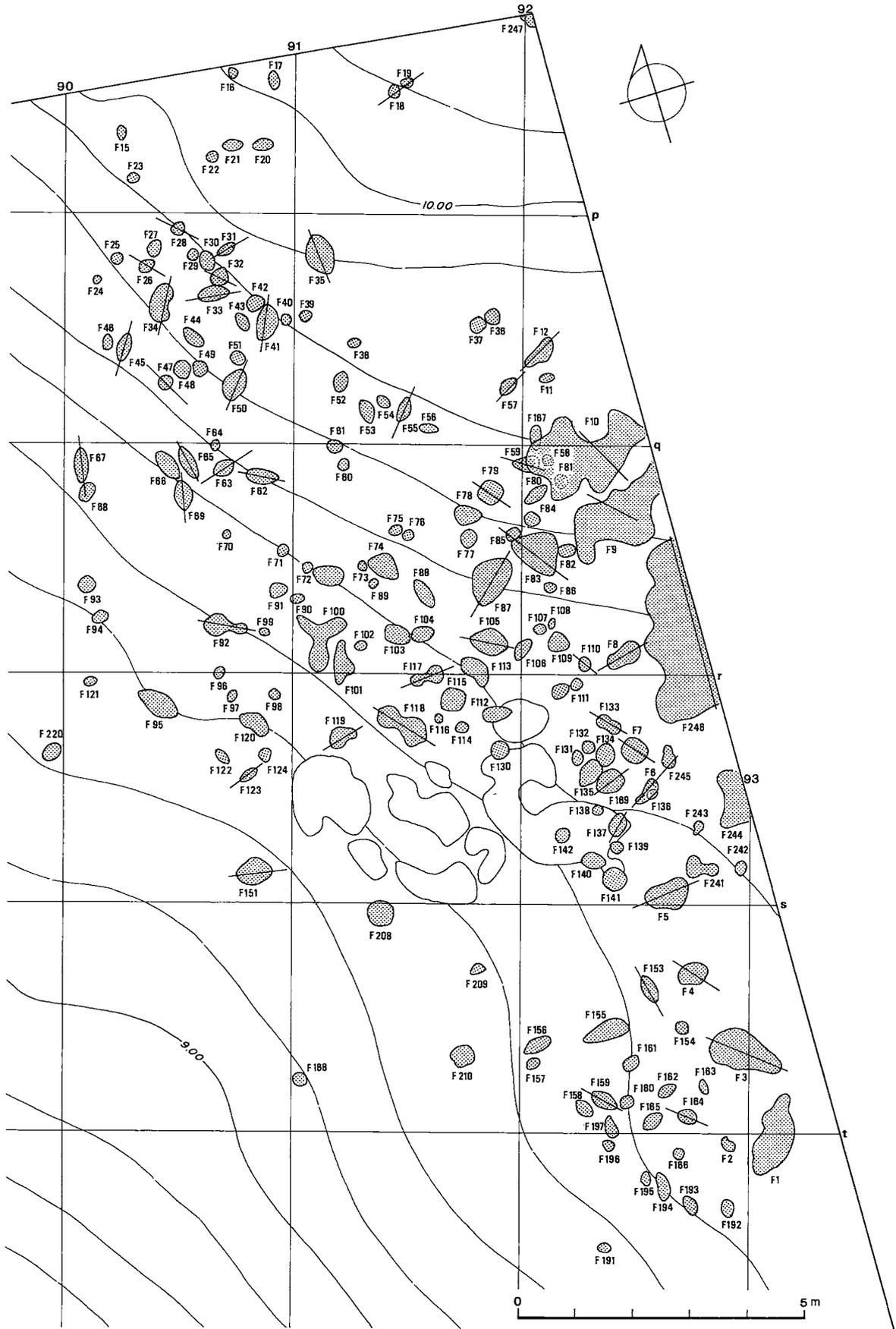
構造 平面形は、円形、楕円形、台形、三角形、ひょうたん形、不整形など千差万別で、輪郭も不分明なものもある。このため規模など明確に把握しがたいものも多かった。

規模は、長径0.14m~5.90mまで種々あるが、0.20m~0.40mのものが多いようである。とくにRLF-246(長径約3.00m)、RLF-202(長径約4.00m)、RLF-200(長径約5.50m)、RLF-190(長径約5.90m)は大きい焼土である。

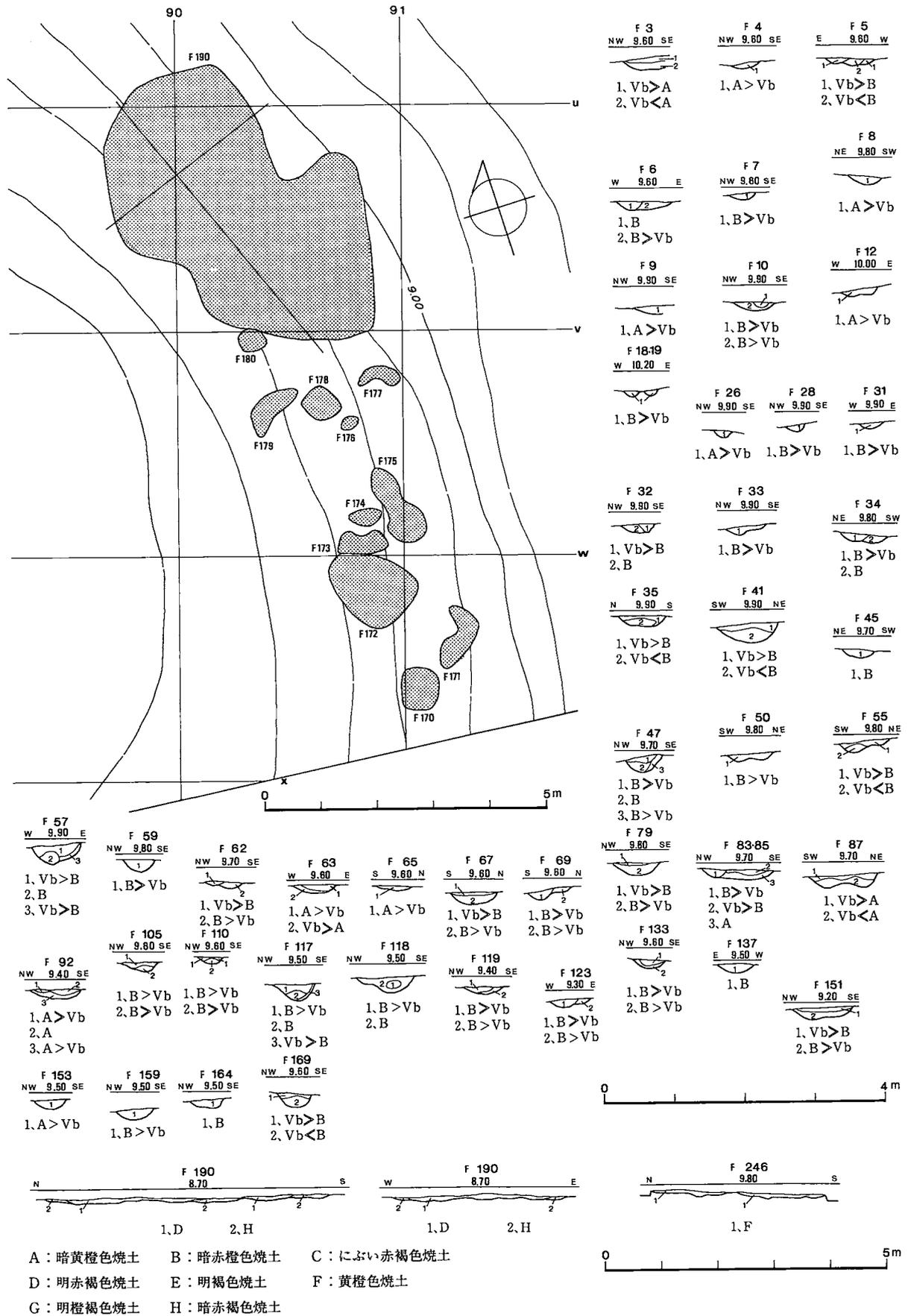
断面形は、大半がレンズ状で、なかには波状のものもある。層厚は最大0.20mで、0.05m~0.08mのものが多く、0.01mほどのものもある。

色調は、おおよそ暗黄橙色、暗赤橙色、明赤橙色に大別することができ、これらにVb層が混入するものと混入していないものがある。暗黄橙色焼土にはVb層を混入するものが多く、北東部に分布する焼土に多い。Vd層中の焼土は明赤橙色でVb層は混入していない。Vb層が混入する焼土は動いているかあるいは強度の火熱を受けていないものと思われる。Vb層が混入していないものやわずかに混入するものは原位置を保っている焼土と思われる。

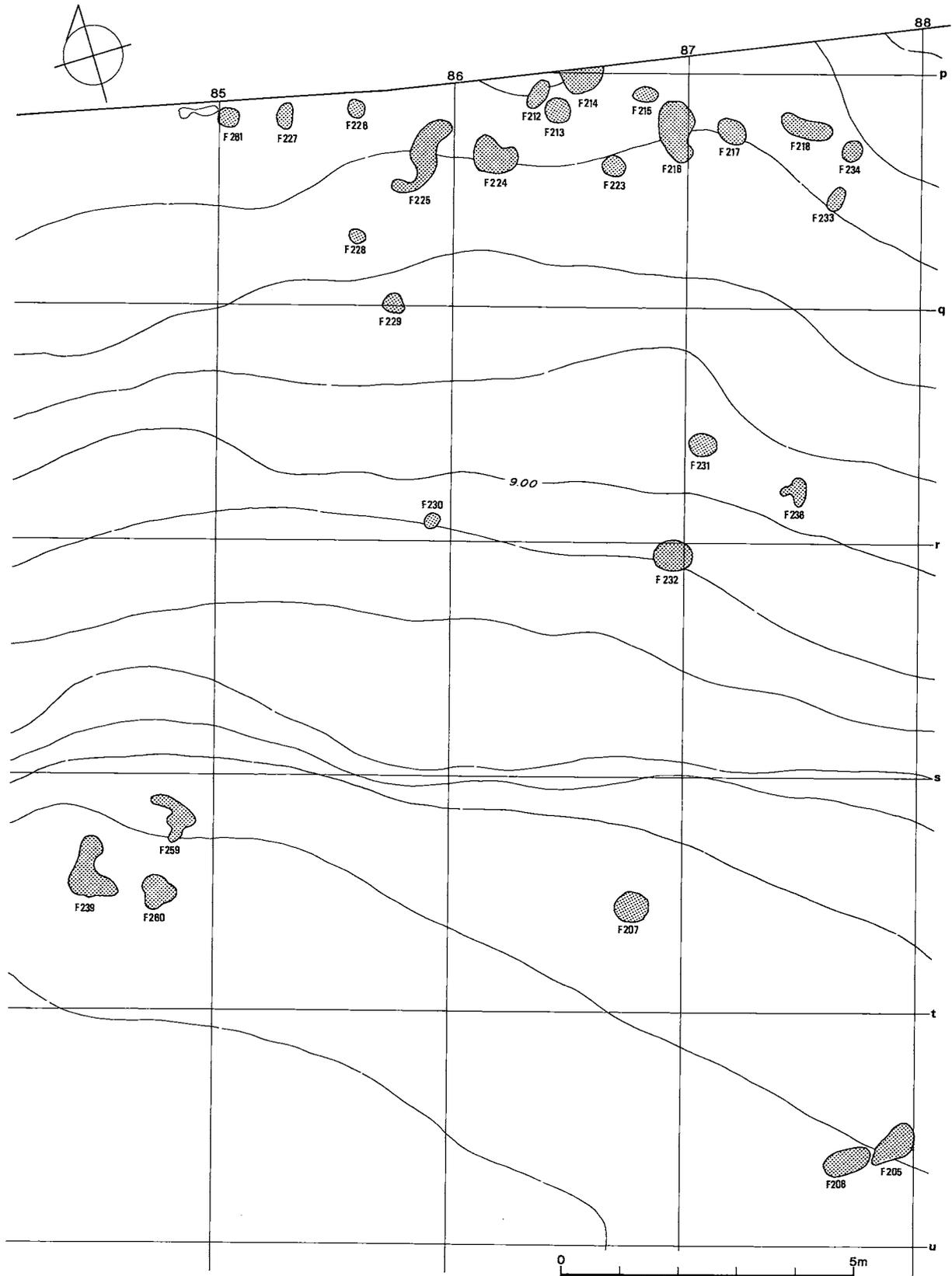
遺物出土状況 RLF-14、185、199、200、201、240、251、254、256、257、258、263、264の焼土中あるいは焼土直上から遺物が出土している。出土総数は1455点で、この内訳は土器が1295点、石器などが160点である。遺物の出土した焼土のうちRLF-256、257、258からは全体の約95%を占める1375点の遺物が出土している。土器は、Ib、IVa、IVb-2、IVcのものが出土しており、中でもIVcの土器は1272点で、全体の約99%を占めている。石器では、石鏃、スクレイパー、石斧、すり石、砥石など



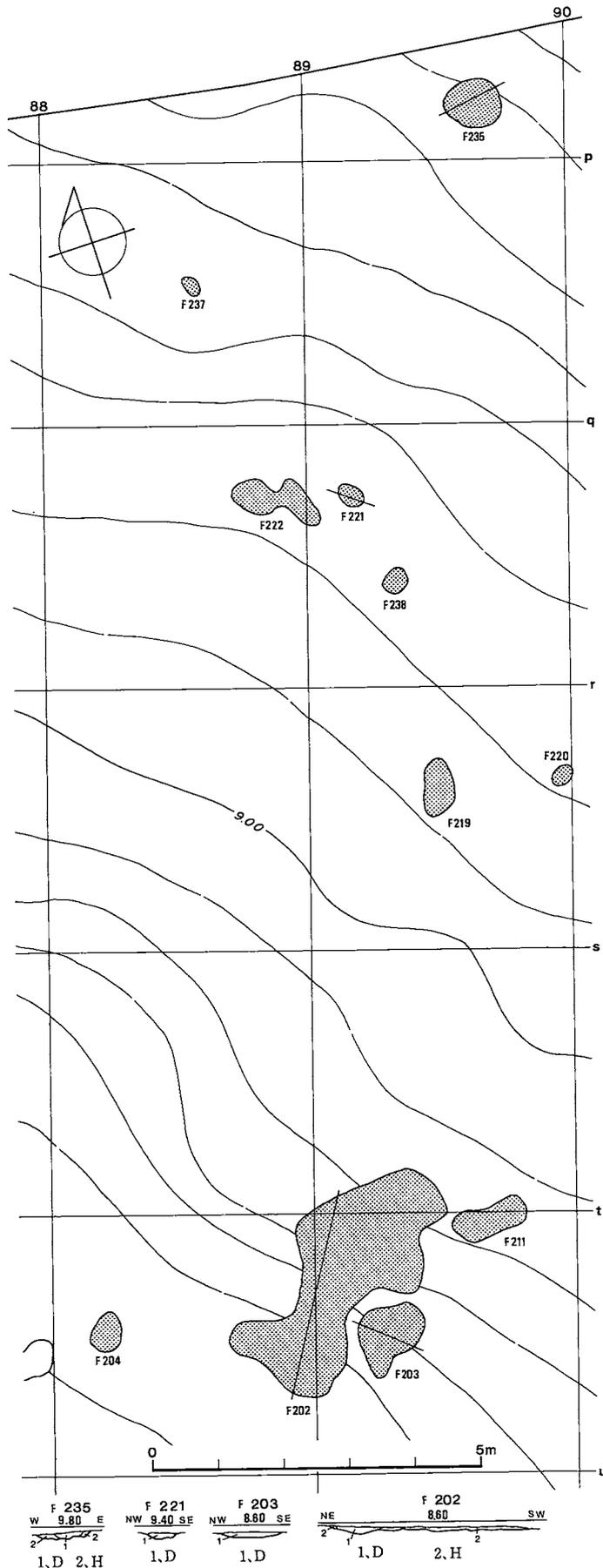
図IV-175 焼土位置図(1)



図IV-176 焼土位置図(2)と土層図(1)



図IV-177 焼土位置図(3)



図IV-178 焼土位置図(4)と土層図(2)

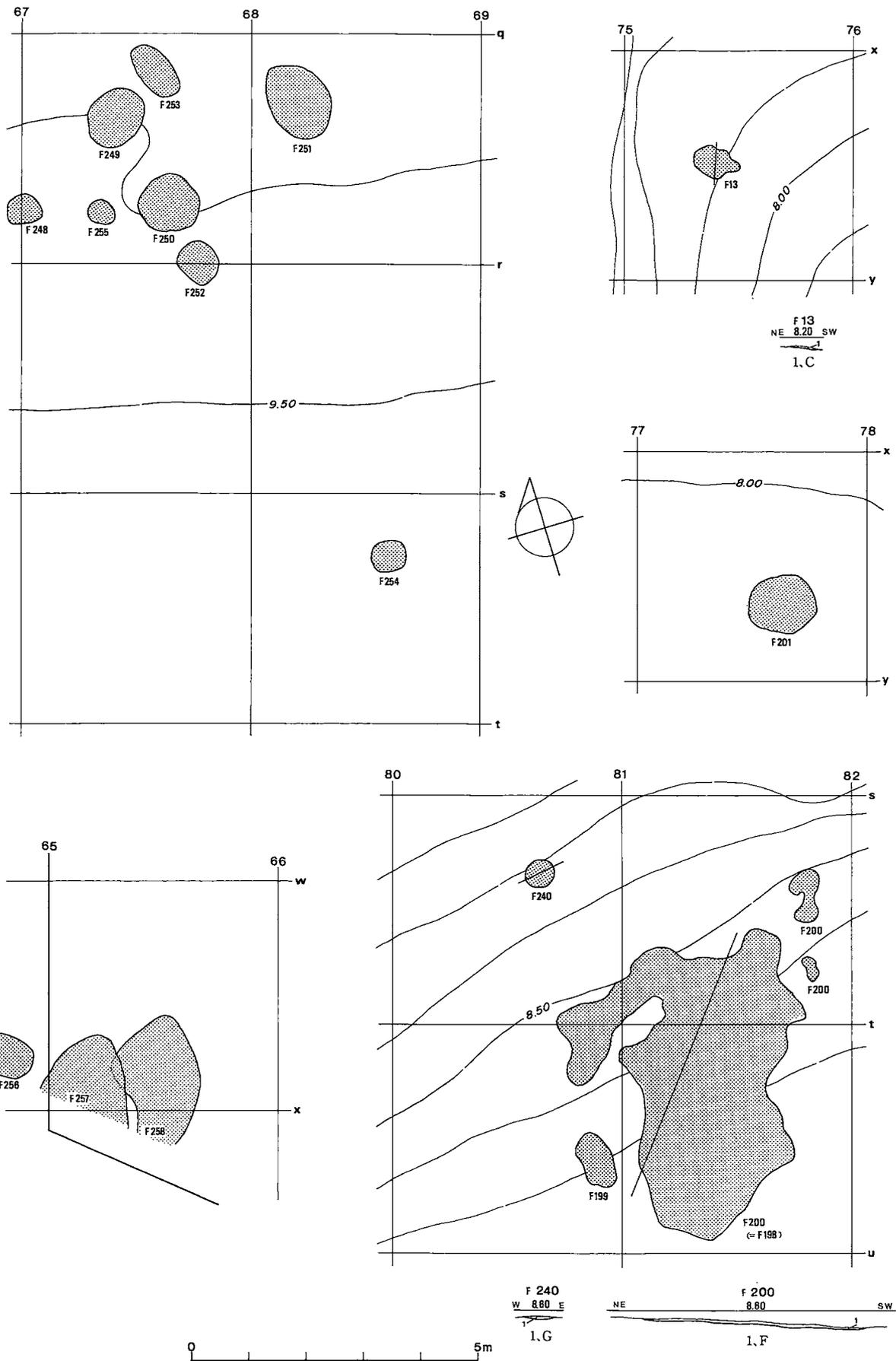
が出土しているが、フレイク、礫が全体の約86%を占めている。

上記以外の各焼土についても、フローテーション試料から土器細片、石器細片、炭化物、骨片等の微細遺物が得られている (VI章付編参照)。

時期 検出層位や出土遺物、周辺出土の遺物などから見て、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期に形成されたものと思われる。ただ個々の焼土の形成時期を明確にするのはむずかしいが、形成時期にそれ程大きな時間差はないものと思われる。

性格 1997年度のI地区同様、Vb層上面付近から多くの焼土が検出されたのではあるが、それらには動いている焼土、強度の火熱を受けていない焼土、強度の火熱を受けて原位置を保っている焼土などがある。これらの形成事情、自然発生的なものなのか、人為的なものなのか、さらに人為的なものならば、その用途は…。分布や堆積状況などから、その性格などを明らかにすることはできなかった。

なおRLF-263、RLF-264は遺構に伴って検出されたものである。RLF-263はRLP-36の覆土最上層にあり、RLP-36が土壌墓として再利用されたものならば埋葬にかかわる性格が想定される。またRLF-264は建物跡1・2の地床炉である。



図IV-179 焼土位置図(5)と土層図(3)

表IV-186 焼土一覽(1)

遺構番号	位置	規模 (cm)			検出層位	色調 (土層注記)	備考
		長径	短径	厚さ			
RLF-1	s-93、t-93	150	57		Vb層上面	極暗赤褐色	不整形
// -2	t-92	30	18		//	暗赤橙色	//
// -3	s-92・93	130	69	4	//	①Vb>暗黄橙色焼土②Vb<暗黄橙色焼土	//
// -4	s-92	51	40	4	//	①暗黄橙色焼土>Vb	楕円形
// -5	r-92、s-92	80	55	4	//	①Vb>暗赤橙色焼土②Vb<暗赤橙色焼土	ひょうたん形
// -6	r-92	50	13	6	//	①暗赤橙色焼土 ② ①>Vb	くつぺら形、F-136の上
// -7	//	45	41	5	//	①暗赤橙色焼土>Vb	隅丸長方形状
// -8	q-92	64	36	7	//	①暗黄橙色焼土>Vb	くつぺら形
// -9	//	(200)	(107)	6	//	//	不整形
// -10	p-92、q-92	(210)	(143)	5	//	①暗赤橙色焼土>Vb ②暗赤橙色焼土>Vb	不整形、F-58、59、81の下
// -11	p-92	28	15		//	暗黄橙色	楕円形
// -12	//	64	28	5	//	①暗黄橙色焼土>Vb	不定形
// -13	x-75	77	50	2	//	①にぶい赤褐色土	//
// -14							欠番
// -15	o-90	23	17		//	暗黄橙色	長楕円形
// -16	//	19	15		//	//	楕円形
// -17	//	34	19		//	//	長楕円形
// -18	o-91	24	20	4	//	①暗赤橙色焼土>Vb	三角形状
// -19	//	21	17	4	//	//	//
// -20	o-90	38	21		//	暗赤橙色	長楕円形
// -21	//	38	20		//	//	//
// -22	//	19	19		//	//	円形状
// -23	//	20	18		//	//	長円形状
// -24	//	15	12		//	暗黄橙色	三角形状
// -25	//	20	18		//	//	長円形状
// -26	p-90	30	22	5	//	①暗黄橙色焼土>Vb	楕円形
// -27	//	30	23		//	暗黄橙色	//
// -28	//	25	22	6	//	①暗赤橙色焼土>Vb	//
// -29	//	19	19		//	暗赤橙色	隅丸方形状
// -30	//	38	30		//	//	楕円形
// -31	//	35	18	4	//	①暗赤橙色焼土>Vb	長楕円形
// -32	//	22	19	7	//	①Vb>② ②暗赤橙色焼土	三角形状
// -33	//	55	27	5	//	①暗赤橙色焼土>Vb	長楕円形
// -34	//	63	31	5	//	①Vb>② ②暗赤橙色焼土	不定形
// -35	p-91	70	52	8	//	①Vb>暗赤橙色焼土 ②Vb<暗赤橙色焼土	長楕円形
// -36	//	28	26		//	暗赤橙色	不整楕円形
// -37	//	27	25		//	//	台形状
// -38	//	23	18		//	//	楕円形
// -39	//	23	19		//	//	長円形状
// -40	p-90	18	18		//	//	隅丸方形状
// -41	//	64	38	14	//	①Vb>暗赤橙色焼土 ②Vb<暗赤橙色焼土	三角形状
// -42	//	30	26		//	暗赤橙色	台形状
// -43	//	35	20		//	//	長楕円形
// -44	//	46	25		//	//	//
// -45	//	50	23	6	//	①暗赤褐色焼土	//
// -46	//	25	17		//	暗赤橙色	//
// -47	//	25	24	12	//	① ②>Vb ②暗赤橙色焼土 ③ ②>Vb	楕円形
// -48	//	33	20		//	暗赤橙色	//

表IV-187 焼土一覽(2)

遺構番号	位置	規模 (cm)			検出層位	色調 (土層注記)	備考
		長径	短径	厚さ			
RLF-49	p-90	28	26		Vb層上面	暗赤橙色	三角形状
// -50	//	56	38	4	//	①暗赤橙色焼土>Vb	菱形
// -51	//	27	23		//	暗赤橙色	隅丸長方形状
// -52	p-91	36	26		//	//	長楕円形
// -53	//	44	26		//	//	//
// -54	//	27	20		//	//	楕円形
// -55	//	44	22	8	//	①Vb>暗赤橙色焼土 ②Vb<暗赤橙色焼土	長楕円形
// -56	//	36	17		//	暗赤橙色	//
// -57	//	36	22	13	//	①Vb>② ②暗赤橙色焼土 ③②>Vb	//
// -58	q-92	23	18		//	暗赤橙色	楕円形
// -59	q-91・92	46	30	8	//	①暗赤橙色焼土>Vb	二等辺三角形状
// -60	q-91	21	17		//	暗赤橙色	長円形
// -61	p-91、q-91	28	23		//	//	楕円形
// -62	q-90	58	26	4	//	①Vb>暗赤橙色焼土 ②暗赤橙色焼土>Vb	やや太い棒状
// -63	//	40	28	6	//	①暗黄橙色焼土>Vb ②Vb>暗黄橙色焼土	長楕円形
// -64	p-90、q-90	20	16		//	暗黄橙色	//
// -65	q-90	60	23	3	//	①暗黄橙色焼土>Vb	ラグビー・ボール状
// -66	//	58	26		//	暗黄橙色	//
// -67	//	60	25	6	//	①Vb>暗赤橙色焼土 ②暗赤橙色焼土>Vb	//
// -68	//	36	25		//	暗赤橙色	長楕円形
// -69	//	52	34	5	//	①暗赤橙色焼土>Vb ②暗赤橙色焼土>Vb	丸味のある菱形
// -70	//	14	12		//	暗赤橙色	台形状
// -71	//	21	20		//	//	楕円形
// -72	q-91	20	18		//	//	//
// -73	//	18	16		//	//	//
// -74	//	60	40		//	//	三角形状
// -75	//	25	16		//	//	楕円形
// -76	//	20	17		//	//	長円形状
// -77	//	30	26		//	//	台形状
// -78	//	48	35		//	//	三角形状
// -79	//	40	40	8	//	①Vb>暗赤橙色焼土 ②暗赤橙色焼土>Vb	隅丸方形状
// -80	q-92	50	20		//	暗赤橙色	ラグビー・ボール状
// -81	//	25	22		//	//	楕円形
// -82	//	32	22		//	//	//
// -83	q-91、q-92	92	70	8	//	①暗赤橙色焼土>Vb ②Vb>暗赤橙色焼土 ③暗黄橙色焼土>Vb	三角形状
// -84	q-92	30	24		//	暗赤橙色	楕円形
// -85	q-91	28	20	6	//	①暗赤橙色焼土>Vb ②暗赤橙色焼土<Vb ③暗黄橙色焼土>Vb	隅丸長方形状
// -86	q-92	24	18		//	暗黄橙色	楕円形
// -87	q-91	92	64	10	//	①Vb>暗黄橙色焼土 ②Vb<暗黄橙色焼土	三角形状
// -88	//	58	25		//	暗黄橙色	ラグビー・ボール状
// -89	//	20	16		//	//	楕円形
// -90	q-90・91	24	15		//	//	長楕円形
// -91	q-90	32	26		//	//	三角形状
// -92	//	78	39	6	//	① ②>Vb ②暗黄橙色焼土 ③ ②>Vb	ひょうたん形
// -93	//	30	29		//	暗黄橙色	円形
// -94	//	30	22		//	//	楕円形

表IV-188 焼土一覽(3)

遺構番号	位置	規模 (cm)			検出層位	色調 (土層注記)	備考
		長径	短径	厚さ			
RLF-95	r-90	78	40		Vb層上面	暗黄橙色	長楕円形
// -96	q-90、r-90	23	17		//	//	楕円形
// -97	r-90	22	18		//	//	//
// -98	//	22	18		//	//	//
// -99	q-90	20	12		//	//	長円形
// -100	q-91	88	80		//	//	Y字状
// -101	q-91、r-91	78	38		//	//	不定形
// -102	q-91	22	15		//	//	楕円形
// -103	//	48	22	7	//	//	不整楕円形
// -104	//	44	28		//	//	長楕円形
// -105	//	70	46	6	//	①暗赤橙色焼土>Vb ②暗赤橙色焼土>Vb	菱形
// -106	q-91・92	42	22		//	暗赤橙色	ラグビー・ボール状
// -107	q-92	24	19		//	//	楕円形
// -108	//	19	12		//	//	長楕円形
// -109	//	38	32		//	//	三角形状
// -110	//	26	22	5	//	①暗赤橙色焼土>Vb ②暗赤橙色焼土>Vb	楕円形
// -111	r-92	23	17		//	暗赤橙色	//
// -112	r-91	52	46		//	//	不整楕円形
// -113	q-91、r-91	60	32		//	//	不定形
// -114	r-91	25	19		//	//	楕円形
// -115	//	40	39		//	//	隅丸方形状
// -116	//	16	14		//	//	長円形
// -117	q-91、r-91	58	33	12	//	① ②>Vb ②暗赤橙色焼土 ③Vb>②	ひょうたん形
// -118	r-91	97	52	12	//	① ②>Vb ②暗赤橙色焼土	//
// -119	//	52	34	6	//	①暗赤橙色焼土>Vb ②暗赤橙色焼土>Vb	不定形
// -120	r-90	56	30		//	暗赤橙色	//
// -121	//	23	16		//	//	長円形状
// -122	//	32	18		//	//	ラグビー・ボール状
// -123	//	37	17	6	//	①暗赤橙色焼土>Vb ②暗赤橙色焼土>Vb	//
// -124	//	23	22		//	暗赤橙色	楕円形状
// -125							欠番
// -126							//
// -127							//
// -128							//
// -129							//
// -130	r-91	30	30		Vb層上面	暗赤橙色	台形状、F186より上
// -131	r-92	26	19		//	//	長楕円形
// -132	//	24	22		//	//	楕円形
// -133	//	47	23	5	//	①暗赤橙色焼土>Vb ②暗赤橙色焼土>Vb	サングラス形
// -134	//	39	33		//	暗赤橙色	楕円形
// -135	//	50	34		//	//	不整楕円形
// -136	//	20	14	4	//	//	長円形、F6の下
// -137	//	43	26	6	//	①暗赤橙色焼土	菱形状
// -138	//	17	17		//	暗赤橙色	円形状、F186の上
// -139	//	24	19		//	//	長円形、F186の上
// -140	//	42	28		//	//	長楕円形、F186の上
// -141	//	40	38		//	//	隅丸方形状、F186の上
// -142	//	28	24		//	//	長円形、F186の上

表IV-189 焼土一覽(4)

遺構番号	位置	規模 (cm)			検出層位	色調 (土層注記)	備考
		長径	短径	厚さ			
RLF-143							欠番
// -144							//
// -145							//
// -146							//
// -147							//
// -148							//
// -149							//
// -150							//
// -151	r-90	64	48	8	Vb層上面	①Vb>暗赤橙色焼土 ②暗赤橙色焼土>Vb	菱形
// -152							欠番
// -153	s-92	52	26	6	Vb層上面	①暗黄橙色焼土>Vb	ラグビー・ボール状
// -154	//	28	22		//	暗黄橙色	楕円形
// -155	//	74	33		//	//	三角形状
// -156	//	54	23		//	//	ラグビー・ボール状
// -157	//	26	18		//	//	長円形
// -158	//	38	22		//	//	ラグビー・ボール状
// -159	//	53	29	7	//	①暗赤橙色焼土>Vb	//
// -160	//	28	22		//	暗赤橙色	楕円形
// -161	//	33	22		//	//	長楕円形
// -162	//	35	21		//	//	ラグビー・ボール状
// -163	//	30	16		//	//	//
// -164	//	37	25	6	//	①暗赤橙色焼土	長楕円形
// -165	//	40	25		//	暗赤橙色	//
// -166	t-92	21	19		//	//	楕円形
// -167	p-92、q-92	44	21		//	//	菱形ラグビー・ボール状、F-10の上
// -168	s-91	24	22		//	//	隅丸長方形状
// -169	r-92	51	42	8	//	①Vb>暗赤橙色焼土 ②Vb<暗赤橙色焼土	不整楕円形
// -170	w-90・91	75	65		Vb層中	暗赤橙色	台形状
// -171	w-91	104	65		Vb層上面付近	//	不整形
// -172	v-90、w-90・91	155	120		//	//	三角形状
// -173	v-90	92	39		//	//	サングラス形
// -174	//	60	30		//	//	三角形状
// -175	v-90・91	146	70		//	//	変形ひょうたん形
// -176	v-90	36	23		//	//	長楕円形
// -177	//	73	29		//	//	サングラス形
// -178	//	60	55		//	//	台形状
// -179	//	106	40		//	//	サングラス形
// -180	u-90、v-90	46	39		//	//	台形状
// -190	t-89・90、u-89・90、v-90	590	380	10	//	①明赤褐色焼土 ②暗赤褐色焼土	不整形
// -191	t-92	23	17		//	暗赤橙色	長楕円形
// -192	//	32	22		//	//	//
// -193	//	37	21		//	//	ラグビー・ボール状
// -194	//	52	22		//	//	変形ラグビー・ボール状
// -195	//	24	16		//	//	長楕円形
// -196	//	23	19		//	//	三角形状
// -197	s-92、t-92	42	20		//	//	不定形
// -198							=200
// -199	t-80	41	22	3	//	明褐色焼土	不整楕円形、Ib

表IV-190 焼土一覽(5)

遺構番号	位置	規模 (cm)			検出層位	色調 (土層注記)	備考
		長径	短径	厚さ			
RLF-200	s-80・81 t-80-81	520	250	3	Vb層 上面付近	①黄橙色焼土	不整形、Ib、Vc、Vc-1、碟
// -201	x-77	120	100		V層上面	暗黄橙色	長円形、Vc
// -202	s-88・89 t-88-89	400	180	11	Vb層 上面付近	①明赤褐色焼土 ②暗赤褐色焼土	不整形
// -203	t-89	105	80	9	//	①明赤褐色焼土	//
// -204	t-88	58	37	2	//	暗赤褐色	楕円形
// -205	t-87	102	55	1	//	明赤褐色	//
// -206	//	83	38	2	//	//	//
// -207	s-86	62	55	1	//	赤褐色	//
// -208	r-91、s-91	45	44		//	暗赤褐色	円形状
// -209	s-91	30	18		//	//	三角形状
// -210	//	42	39		//	//	不定形
// -211	s-89、t-89	112	48		//	//	不整形
// -212	p-86	52	24	6	//	極暗赤褐色	楕円形
// -213	//	50	40	7	//	//	//
// -214	//	76	(40)	8	//	//	//
// -215	//	43	20	5	//	//	//
// -216	p-86・87	107	56	8	//	//	不整形
// -217	p-87	48	42	5	//	//	楕円形
// -218	//	82	29	7	//	//	不整形
// -219	p-89	89	45	8	//	赤褐色	楕円形
// -220	r-89	33	33	6	//	//	円形状
// -221	q-89	40	28	8	//	①暗赤褐色焼土	楕円形
// -222	q-88・89	142	46	7	//	赤褐色	不整形
// -223	p-86	41	26	4	//	極暗赤褐色	楕円形
// -224	//	82	56	7	//	//	不整形
// -225	p-85	142	47	6	//	//	//
// -226	//	17	15	4	//	暗赤褐色	//
// -227	//	41	21	6	//	//	楕円形
// -228	//	28	16	4	//	極暗赤褐色	//
// -229	p-85、q-85	41	29	4	//	//	//
// -230	q-85	26	22	3	//	//	//
// -231	q-87	44	38	5	//	//	//
// -232	r-86	66	50	3	//	//	//
// -233	p-87	42	24	3	//	//	//
// -234	//	36	32	6	//	//	//
// -235	o-89	90	82	10	//	①明赤褐色焼土 ②暗赤褐色焼土	//
// -236	q-87	50	35	2	//	極暗赤褐色	不整形
// -237	p-88	35	22	4	//	//	楕円形
// -238	q-89	42	30		//	暗赤褐色	//
// -239	s-84	100	88	4	//	橙褐色	不定形
// -240	s-80	54	47	4	//	①明橙褐色焼土	円形状、Vc
// -241	r-92	(44)	50	3	//	明褐色	ひょうたん形
// -242	//	28	19	1	//	//	楕円形
// -243	//	14	14	3	//	//	不定形
// -244	//	95	34	5	//	//	不明
// -245	//	37	20	3	//	//	略ひょうたん形
// -246	q-92、r-92	300	(94)	7	//	①黄橙色焼土	不明
// -247	o-91・92	(35)	(28)	5	//	橙褐色	//

表IV-191 焼土一覽(6)

遺構番号	位置	規模 (cm)			検出層位	色調 (土層注記)	備考
		長径	短径	厚さ			
RLF-248	q-66・67	58	46	10	SE-2層 上面付近	赤橙色焼土	台形状
// -249	q-67	112	90	12	//	//	楕円形
// -250	//	105	102	10	//	//	長円形状
// -251	q-68	142	103	12	//	暗赤橙色焼土	長楕円形、フレイク
// -252	q-67、r-67	75	64	6	//	暗赤褐色焼土	台形状
// -253	q-67	110	56	5	//	暗赤橙色焼土	棒状
// -254	s-68	60	52	3	//	//	隅丸方形状、IVc
// -255	q-67	46	40	3	//	//	楕円形
// -256	w-64	—	(70)	20	Vd層	明赤橙色焼土	不明、IVb-4、IVc、IVc-1
// -257	w-65、x-65	—	(160)	20	//	//	不明、F258の上、Ib、IVb-2、IVb-4、IVc、IVc-1、石鏃、石斧
// -258	//	—	(150)	20	//	//	不明、F257の下、IVa、IVb-4、IVc、IVc-1、石鏃、石斧
// -259	s-84	85	62	4	Vb層 上面付近	赤褐色	不整形
// -260	//	56	56	3	//	//	//
// -261	p-85	35	35	8	//	暗赤褐色	円形状
// -263	p-78	41	41	12	—	//	円形状、RLP36覆土中、IVc、IVc-1
// -264	y-71	52	48	7	—	にぶい赤褐色	不整形、建物跡1・2の地床跡、IVc-1

6. 流水跡 (RLR) (図IV-180・181 表IV-204~207・219・233・235・236 図版12・13・54・55・56)

縄文時代後期に属する流水跡は4カ所であるが、2カ所 (RLR-1・7) は木製品を伴出しているため、今回の報告書で取り扱う予定である。本書では2カ所について記載している。

この流水跡は、1996年度L地区、1997年度A地区でそれぞれ検出された「河道跡」と同じ性格のものである。おそらく降雨時のみに流れた自然流水跡であろうと思われる。ただ遺物が出土していること、また遺跡の形成や遺跡内の自然地形を考える上でそれなりの意味をもつものと思われるので、遺構の項で取り扱っている。

流水跡は、調査区西端部の緩斜面上 (標高8.50m付近) と中央低地部の最南端部 (標高7.80m付近) で検出された。ともに流水跡の一部が検出されただけであるため、流れの方向や全体像などは明瞭でない。

RLR-2 (図IV-180 図版12)

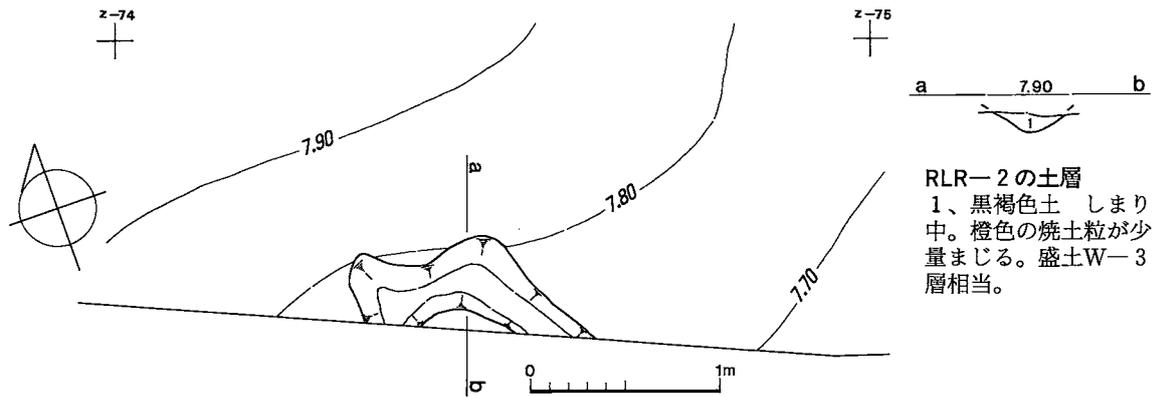
位置：z-74 標高7.80m付近の低地部に位置する。

確認・調査・土層：Vb層上面で盛土W-3層の土が筋状に落ち込んでいるのを確認した。同層を除去した結果蛇行する溝状の流水跡であることが判明した。検出部分が小範囲であるため流れた方向などは不明である。幅は広い部分で40cmほどである。覆土は盛土W-3層の1層である。

底・壁：底はVb層中にあり、おおむね平坦である。断面は上方が大きく広いV字状である。

遺物出土状況：遺物は出土していない。

時期：確認面から考えると、縄文時代後期後葉の時期で、盛土形成前のものであろう。



図IV-180 RLR-2

RLR-3 (図IV-181 表IV-204~207・219・233 図版12・13・54~56)

位置：v-65・66・67・ w-65・66・67 標高8.40m~8.70m、ほぼ北→南へ傾斜する緩斜面上に位置する。

規模：長さは約8.80m (西側はQ地区に続いている)、最大幅は約0.5m、最大深は約0.30mである。

確認・調査・土層：SE-2層上面付近で、ほぼ東西方向に細長く伸びる溝状の落ち込みを検出した。

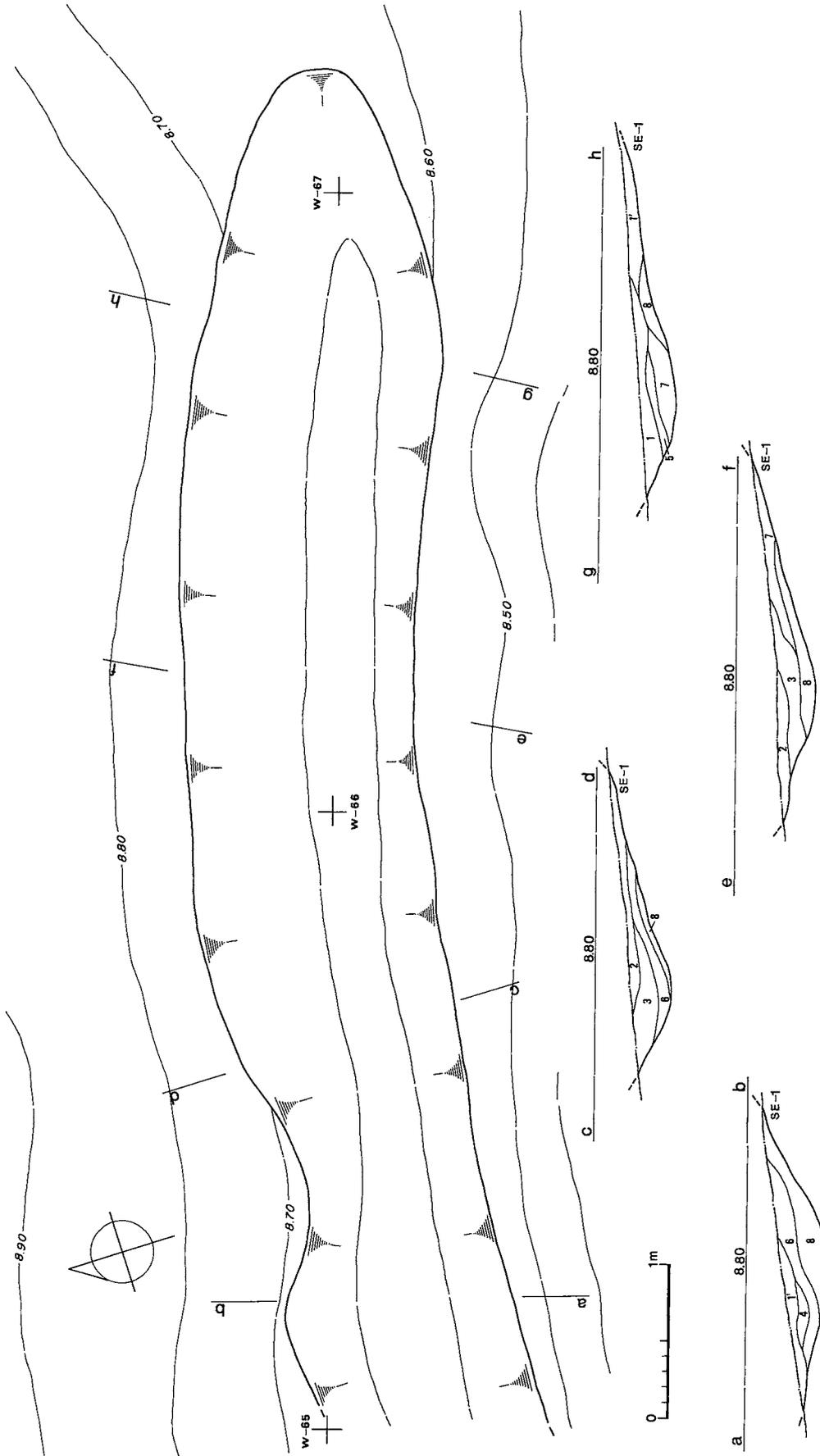
4本の土手を設定して掘り下げ、調査を行う。覆土中から遺物が多く出土し、基本的に位置、レベルを記録しつつ1点ずつ取り上げた。

覆土は黒褐色土、黄色土、軽石がまじり合った土であるが、大きく3層に分けられる。覆土上層(土層図1・1'・2・3・4)は黒褐色土に黄色土が少量まじる。軽石も含み、やや砂質土である。炭化物を多く含む。覆土中層(土層図5・6・7)は黒褐色土に黄色土、軽石が混入する。覆土下層(土層図8 底直上)は黒褐色土に少量の黄色土がまじり、軽石を多く含む。やや粘質土で、炭化物が混入する。

底・壁：底はVd層中にあり、平坦である。w-67の杭付近からはじまり、西方向へわずかに傾斜している。南側がやや深くなっており、ゆるやかな傾斜で立ち上っている。

遺物出土状況：遺物は覆土上層から多く出土している。出土総点数は991点、この内訳は土器845点、石器等146点である。土器はIVcのものが659点と最も多く、他にIIIb、IVa、IVb-4、IVc-1が出土している。石器等では、石鏃、石斧、砥石、石皿などが出土しているが、フレイク(87点)と礫(41点)で約87%を占めている。他遺構に比べて礫や礫石器の多いのが目につく。

時期：検出層位や出土遺物などから見て、IV群c類土器を伴う縄文時代後期後葉の時期のものと思われる。



RLR-3の土層
 1、黒褐色土 > En-a 1' ≒ 1 砂質 2、黒褐色土 > En-a 3、黒褐色土 > 黄色土 (+ En-a) 炭化物多く含む 4 ≒ 1' 1'より軽石少ない 5、黒褐色土 (+ En-a) 6、黒褐色土 > 黄色土 (> En-a) 7、黒褐色土 > 黄色土 (粘質) 炭化物混入 8、黒褐色土 > 黄色土 (+ En-a)

図IV-181 RLR-3

7. 出土遺物

(1) 柱穴状ピット (RLP) 出土の土器 (図IV-182・183 表IV-192・193 図版43・44)

主に建物跡67～73の大型柱穴状ピットから出土した土器を掲載する。突瘤や沈線を多用する典型的な堂林式がほとんどを占め、他の時期の土器の混入がほとんど見られないのが特徴である。器壁がうすく、幅広の無文帯やハの字状短刻線など堂林式の新しい段階の要素をもつものが目立つ。

RLP-6 1・2はIV群c類(c-1類)。2は胴部のくびれ部分。鋸歯状沈線が密に施されている。

RLP-7 3～8はIV群c-1類堂林式。3は曲線帯状文の区画内に弱い刻みを施したもの。赤色顔料が薄く付着している。5は鋭い切出形口唇で、平行沈線のうち2～4本が波状になっている。7はつまみあげたような貼瘤がついており、堂林式の新しい段階に属する。8は堂林式の新しい段階に属する注口土器。胴部は小さな貼瘤を中心として渦状にえがかれた帯状文の区画内にハの字短刻線が並ぶ。模式図を示したが、山形の短刻線の列と6単位の蕨手風のモチーフが並んでいる。隣接する発掘区の遺物包含層出土の土器片と接合している。

RLP-11 9～11はIV群c類(c-1類)。9は片口。浅鉢に付くものと思われる。

RLP-13 12～15はIV群c類(c-1類)。12は細い無文帯2本をくぼませて、帯状文を浮き立たせている。13は堂林式の新しい段階のものともみられる。口縁波頂部の数が多い。なお12・13は、隣接する大型の柱穴状ピット(RLP-27・RLP-7)の土器片と接合した。15は無文帯の幅が広い。

RLP-14 16～18はIV群c類(c-1類)。17は角形の口唇上に丁寧にLR縄文が施されている。

RLP-15 19～21はIV群c類(c-1類)。20の注口部には、瘤の部分まで縄文が施文されている。

RLP-17 22はIV群c-1類堂林式。沈線区画をせずに短刻線が施されている。

RLP-19 23はIV群c-1類堂林式。

RLP-20 26はIV群c-1類堂林式。幅広の無文帯をもつ。湾曲が弱く、かなり大型の深鉢になるものと見られる。堂林式の新しい段階に属するものと思われる。

RLP-23 24はIV群b-4類の注口土器。頸部との境目に刻み列が巡る。25はIV群c-1類堂林式。

RLP-25 27はIV群c-1類堂林式。口縁の一部がやや外反している。

RLP-27 28・29はIV群c類(c-1類)。28の注口土器の貼瘤はやや小さい。

RLP-28 30・31はIV群c-1類堂林式。30は小波状ぎみの口縁で、平行沈線が口唇へ流れてしまっている。なおこれらの土器と3～8(RLP-7)および16～18(RLP-14)は同じ建物跡と考えられる柱穴状ピットから出土している。

RLP-30 33・34はIV群c-1類堂林式。28・29(RLP-27)と同じ建物跡と考えられる柱穴から出土している。33は平行沈線が曲線化し、つまみあげたような突瘤が施されている。

RLP-31 32・35・36はIV群c-1類堂林式。19～21(RLP-15)と同じ建物跡と考えられる柱穴状ピットから出土している。また、32・36は隣接する大型柱穴状ピット出土の土器と接合した。32は横位だけでなく縦位にも弧線文が施されている。35・36は文様構成がやや乱れている。

RLP-38 37はIV群b-4類。器壁はそれほど厚くない。内面口唇直下に沈線が巡っている。

RLP-42 38はIV群c-1類堂林式。

RLP-44 39はIV群c類。胴部くびれがやや強い。

RLP-45 40・41はIV群c類(c-1類)。40は口唇下に弱い段をもつ。

RLP-48 42・43はIV群c類(c-1類)。43は器壁が非常にうすく、格子目文がえがかれている。

(2) 柱穴状ピット(RLSP)出土の土器(図IV-184・185 表IV-194・195 図版45・46)

建物跡に関係するものと、関係が確認できなかったものをあわせて掲載する。突瘤や沈線を多用する典型的な堂林式がほとんどを占めるが、盛土遺構に近い位置にあるピットなどに刻み列をもつ古段階の土器が見られる。

- RLSP-4 1はIV群c類。2はIII群b類とみられるが、詳細は不明である。
- RLSP-17 3はIV群c-1類堂林式。器壁が非常にうすい。弧線文がやや乱れている。
- RLSP-40 4はIV群c-1類堂林式。鋭い切出形口唇である。
- RLSP-47 5はIV群c-1類堂林式。瘤に指紋が明瞭に残っている。
- RLSP-115 6はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-120 7はIV群c-1類堂林式。細い沈線で規則的に鋸歯状沈線をえがいている。
- RLSP-145 8・9はIV群c類。8は隣接する柱穴状ピット(RLSP-141)出土の土器と接合した。
- RLSP-153 11はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-158 10はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-177 12はIV群b-4類としたが、刻みが細かい。
- RLSP-186 13はIV群c-1類堂林式。7(RLSP-120)と同じ建物跡と考えられる柱穴状ピットから出土している。
- RLSP-248 14はIV群c類。内面・外面・断面いずれも赤褐色を呈している。
- RLSP-263 15はIV群c-1類堂林式。内面調整が粗い。瘤に指紋が明瞭に残っている。
- RLSP-338 16はIV群c-1類堂林式。沈線施文後に縄文を転がしている。内面のケズリ痕が明瞭である。
- RLSP-348 17はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-352 18はIV群c-1類堂林式。平行沈線のつなぎ目がみられる。
- RLSP-354 19はIV群c-1類堂林式。弧線文がきれいにえがかれ、間を磨り消している。口唇や内面の調整も丁寧である。
- RLSP-355 20はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-363 21はIV群c類。内面・外面・断面いずれも黒色を呈している。
- RLSP-439 22はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-462 24はIV群c類。弧線文が多方向にえがかれている。
- RLSP-465 23はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-500 25はIV群c類。太く浅い沈線で文様を施している。
- RLSP-560 26・27はIV群b-4類。刻み列は太く整然としている。26の内面には炭化物が多量に付着している。28はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-586 29はIV群c-1類堂林式。内面に炭化物が多量に付着している。
- RLSP-602 30はIV群c-1類堂林式。突瘤を補修孔として利用した跡がある。
- RLSP-615 31はIV群c-1類堂林式。32はIV群b-4類だが、刻み列の部分にも縄文が施文されていたり、つまみあげたような突瘤が見られるなど新しい要素が見られる。
- RLSP-647 33はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-648 34はIV群c-1類堂林式。無文地に突瘤が施される、数少ないものである。
- RLSP-649 35はIV群c類。弧線文や弱い刻みが見られるが、明確に分類できない。
- RLSP-708 36はIV群c類。器壁が非常にうすい。

- RLSP-720 37・38はIV群c-1類堂林式。38は突瘤の調整があまり丁寧でない。
- RLSP-721 39・40は同一個体で、IV群c類に属する。幅広の無文帯をもつ胴部くびれの部分である。
- RLSP-773 41はIV群c-1類堂林式。平行沈線のつなぎ目がみられる。
- RLSP-797 42はIV群c-1類堂林式。内面のケズリ痕が明瞭である。
- RLSP-880 43はIV群c類。内面の調整がやや粗い。
- RLSP-943 44はIV群c類。胴部の張り出し部を帯状に弱くくぼませている。
- RLSP-944 45はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-991 46はIV群c類。やや強いくびれ部に細い刻み列が見られる。器面が粗い。
- RLSP-1002 47はIV群c類。器壁がうすい。
- RLSP-1020 48はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-1086 49はIV群c類。内面のケズリ痕が明瞭である。
- RLSP-1163 50・51はIV群c類(c-1類)。51は弧線文が乱れている。
- RLSP-1177 52はIV群c類。
- RLSP-1192 53は綱文土器。節を磨り消している。
- RLSP-1206 54はIV群c類。
- RLSP-1215 55はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-1260 56は形態不明の土製品。LR縄文が施されている。脚付鉢の脚部とも考えられる。
- RLSP-1269 57はIV群c類。木葉沈線文の間が磨り消されている。
- RLSP-1271 58はIV群c類。内面および断面の一部が赤褐色を呈している。
- RLSP-1273 59はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-1314 60はIV群c類。
- RLSP-1321 61はIV群c類。太く浅い沈線である。なお、57(RLSP-1269)および59(RLSP-1273)と同じ建物跡と考えられる柱穴状ピットから出土している。
- RLSP-1351 62はIV群c-1類堂林式。器壁がうすい。
- RLSP-1358 63はIV群b-4類、胴部のくびれはそれほど強くない。
- RLSP-1361 64はIV群c類。
- RLSP-1389 65はIV群c類。褐鉄鉱が全面に付着している。
- RLSP-1435 66はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-1436 67はIV群b-4類。鋭い切出形口唇である。68はIV群c類。
- RLSP-1526 72はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-1529 69はIV群c-1類堂林式。器面に炭化物が多量に付着している。
- RLSP-1562 71はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-1570 73はIV群c-1類堂林式。
- RLSP-1588 70はIV群c-1類堂林式。平行沈線のうち2本が口唇に達して弧線文になっている。
- RLSP-1629 74はIV群c-1類堂林式。ハの字状短刻線がきれいに並んでいる。
- RLSP-1639 75はIV群c-1類堂林式。器壁がうすい。74(RLSP-1629)と同じ建物跡と考えられる柱穴状ピットから出土している。

(3) 柱穴状ピット (RLP) 出土の石器 (図IV-186・187・190 表IV-196・197 図版47)

柱穴状ピット (RLP) からは315点の石器等が出土している。定形的な石器は35点で、このうち22点を図示している。

1はRLP-6覆土出土の石鏃である。IA 4 b。尖頭部は欠損している。側縁部は直線状で、側面の稜線は直線状である。薄手で、丁寧に作られている。石質は黒曜石。

2はRLP-7覆土上層出土の石斧である。IVA 8。基部上半部は欠損している。薄手で、左側縁部と刃部を研磨しているが、他は自然面が残る。石質は緑色泥岩。

3はRLP-10覆土中層出土の石斧である。IVA 5。基部を欠損する。薄手で、刃部裏面を丁寧に研磨している。基部裏面には一部自然面が残る。石質は緑色泥岩。

4はRLP-11覆土中層出土の石斧である。IVA 5。基部を欠損する。厚手で、刃部を丁寧に研磨している。側縁部はえぐられたように大きく欠けている。これは研磨後、二次的に手を加えられたようである。石質は緑色泥岩。

5・6はRLP-13出土の石器である。5は覆土上層出土の石鏃である。IA 7 b。尖頭部は欠けている。側縁部は直線状で、側面の稜線はジグザグ状である。肉厚で、作りは粗い。石質は黒曜石。

6は墳底直上出土の石皿である。VIII A 1。残存状態からみて、約2/3は欠損している模様である。側縁部も調整し、かたちを整えており、表裏両面とも大きくくぼんでいる。表面にはたたき痕も残る。石質は砂岩。

7はRLP-14覆土中層出土のたたき石である。VA 4。表裏両面にたたき痕が残る。石質は砂岩。

8・9はRLP-15出土の石器である。8は覆土上層出土のRフレイクである。XA 1 b。表裏両面に剝離面残り、周縁に刃部を作り出している。スクレイパーの破損品と思われる。石質は黒曜石。

9は覆土中層出土のたたき石である。VA 3。周縁部全体にたたき痕とすり面が残る。石質は緑色泥岩。

10はRLP-20覆土中層出土の石鏃である。IA 8。表裏両面に礫皮面が残る。茎、刺突部を作り出しているようであるが先端部は欠けている。石鏃未成品の石錐への転用品かと思われる。石質は黒曜石。

11~14はRLP-23出土の石器である。11は覆土上層出土の石鏃である。IA 8。肉厚で、尖頭部を欠く。未成品である。石質は黒曜石。

12は覆土上層出土の石斧である。IVA 4。自然礫を素材とし、刃部とその周辺および右側縁部を研磨している。石質は片岩。

13は覆土中層出土の石斧である。IVA 5。わずかに自然面が残るが、やや肉厚で、全体に丁寧に研磨されている。刃部には使用痕が見られる。石質は緑色泥岩。

14は覆土上層出土のたたき石である。VA 4。表裏両面にたたき痕が残る。石質は泥岩。

15はRLP-27覆土最下層出土のスクレイパーである。IIIB 6。上端に打面が、表面には礫皮面が残る。左側縁部から下端にかけて調整加工し、刃部を作り出している。石質は黒曜石。

16はRLP-28覆土上層出土のスクレイパーである。IIIB 6。上端に打面があり、周縁部を調整加工し、刃部を作り出している。左側縁部に粗いつまみ部状のものが見られることから、つまみ付きナイフの未成品かと思われる。被熱している。石質は黒曜石。

17・18はRLP-30覆土中層出土の石器である。17はスクレイパーである。IIIB 6。下辺部の表裏両面を調整加工し、刃部を作り出している。表面には礫皮面が残る。石質は黒曜石。

18はRフレイクである。XA 1 b。両側縁部を調整加工し、刃部を作り出している。スクレイパーの破損品と思われる。石質は黒曜石。

19はRLP-45覆土出土の石鏃である。IA 7 c。側縁部は外に張り出し気味で、側面の稜線はゆるや

かな波状を呈する。左右のかえしと基部を欠損する。石質は黒曜石。

20はRLP-46覆土出土のRフレイクである。XA1b。礫皮面が残り、右側縁部にこまかな加工痕が見られる。石質は黒曜石。

21はRLP-47覆土上層出土のRフレイクである。XA1b。礫皮面が残り、下端部に粗い加工痕が見られる。石質は黒曜石。

40はRLP-33壙底直上出土の台石である。VIII A 1。破損品。表裏両面にたたき痕が残る。破損部には火熱を受けた様子が伺える。石質は安山岩。

(4) 柱穴状ピット (RLSP) 出土の石器 (図IV-187~190 表IV-198 図版48・49)

柱穴状ピット (RLSP) からは289点の石器などが出土している。定形的な石器は55点で、このうち39点を図示した。

1はRLSP-覆土4層出土のRフレイクである。XA1b。石槍の破損品と思われる。石質は黒曜石。

2はRLSP-12覆土出土のRフレイクである。XA1b。石槍の破損品と思われる。石質は黒曜石。

3はRLSP-25覆土中位出土のたたき石である。VA2。表裏両面や上下端部にたたき痕が残る。石質は砂岩。

4~8はRLSP-36覆土出土のRフレイクである。XA1b。石質は黒曜石。

4は表面に礫皮面が残り、側縁部に加工痕が見られる。5は上端に打面が残り、加工痕が見られる。

6は表面に礫皮面が残り、右側縁部に加工痕が見られる。被熱している。7は上端に打面が残り、両側縁部に加工痕が見られる。8は上端に打面が残り、表面に礫皮面が残る。側縁部に加工痕が見られる。

9はRLSP-120覆土出土のたたき石である。VA1。破損品。下端部全面にたたき痕がある。石質は緑色泥岩。

10はRLSP-153覆土出土のたたき石である。VA2。破損品。周縁部にたたき痕が見られる。石質は片麻岩。

11はRLSP-155覆土出土の石鏃である。IA7c。側縁部は直線状、側面の稜線はジグザグ状である。茎が長い。石質は黒曜石。

12はRLSP-235覆土出土のたたき石である。VA2。周縁部全体にたたき痕が見られる。石質は片麻岩。

13はRLSP-347覆土出土の石鏃である。IA7c。側縁部は直線状、側面の稜線はゆるやかな波状を呈する。調整は粗く、左右非対称である。石質は黒曜石。

14はRLSP-392覆土出土の石皿である。VIII A 1。破損品。表面全体にすり面が見られ、中央部はくぼんでいる。砂質は砂岩。

15はRLSP-462覆土出土のRフレイクである。XA1b。上端に打面、礫皮面が残る。下端部に加工痕が見られる。石質は黒曜石。

16はRLSP-490覆土出土の石斧である。VA5。全面を非常に丁寧に研磨している。石質は緑色泥岩。

17はRLSP-554覆土出土の石皿である。VIII A 1。破損品。表面にすり面が残る。破片2点が接合したものである。石質は砂岩。

18はRLSP-560覆土出土のたたき石である。VA4。表裏両面と下端部にたたき痕が残る。石質は砂岩。

19はRLSP-651覆土出土のスクレイパーである。IIIB6。破損品。上端に打面、表面に礫皮面が残

る。左側縁部を調整加工し、刃部を作り出している。右側縁部にはわずかな加工痕がある。石質は黒曜石。

20・21はRLSP-834覆土出土の石器である。20は石鏃である。IA7c。尖頭部は欠損している。側縁部は内湾気味で、側面の稜線は直線状である。かえしや茎などを見ると、非常に丁寧に調整加工されている。石質は黒曜石。

21は砥石である。VIIIb8。破損品のためもとのかたちは不明である。表面はくぼみ、すり面が見られる。溝状のくぼみも残っている。石質は砂岩。

22はRLSP-943覆土出土のたたき石である。VA8。破損品。下端面にたたき痕がある。石質は砂岩。

23はRLSP-978覆土出土のRフレイクである。XA1b。石錐の破損品と思われる。石質は黒曜石。

24・25はRLSP-1081覆土出土の石器である。24は石斧である。IVA8。粗い加工痕が見られる未成品である。石質は緑色泥岩。

25はたたき石である。VA2。周縁部にたたき痕が見られる。石質は片麻岩。

26はRLSP-1163覆土出土のたたき石である。VA3。ほぼ全面にたたき痕が見られる。石質は片麻岩。

27はRLSP-1337覆土出土のたたき石である。VA3。破損品であるが、周縁部にたたき痕が見られる。石質は珪岩。

28はRLSP-1375覆土出土の砥石である。VIIIb8。破損のため全体は不明である。表裏両面にすり面がある。石質は砂岩。

29～31はRLSP-1443覆土出土の石器である。29は石鏃である。IA8。左側縁部は粗い調整が施されているが、右側縁部は未調整。未成品であろう。石質は黒曜石。

30はスクレイパーである。IIIB8。つまみ付ナイフの破損品と思われる。石質は黒曜石。

31は石斧である。IVA5。基部を欠損する。刃部は丁寧に研磨されている。石質は緑色泥岩。

32はRLSP-1526覆土出土のスクレイパーである。IIIB6。上端に打面が残りに、周縁部を調整加工して刃部を作り出している。石質は黒曜石。

33はRLSP-1535覆土出土のRフレイクである。XA1b。周縁部に加工痕が見られる。石質は黒曜石。

34・35はRLSP-1588覆土出土の石器である。34は石鏃である。IA7b。側縁部は直線状、側面の稜線はジグザグ状である。やや左右非対称である。石質は黒曜石。

35はRフレイクである。XA1b。石鏃の未成品と思われる。石質は黒曜石。

36はRLSP-1613覆土出土の石鏃である。IA7c。側縁部は外に張り出し気味で、側面の稜線は直線状である。基部を欠損する。石質は黒曜石。

37はRLSP-1663覆土出土の石鏃である。IA7c。側縁部は直線状、側面の稜線はゆるやかな波状を呈する。表面に礫皮面、裏面に剝離面が残る。薄手である。石質は黒曜石。

38はRLSP-1690覆土出土のすり石である。VIA2。表裏両面や下端面にすり面が残る。くぼみ石と称されるたたき石を転用しているものであろう。石質は安山岩。

39はRLSP-1832覆土出土の石斧である。IVA8。表面や刃部の一部が研磨されているが、自然礫の様子が残る未成品であろう。石質は緑色泥岩。

(5) 土壌 (RLP) 出土の土器 (図IV-191・192 表IV-199 図版50)

一部縄文時代早期のものが見られるが、大部分はやはり縄文時代後期後半に属するものである。

RLP-1 墳底付近の覆土(8層)から出土した土器を掲載した。1はIV群c類の注口土器。注口部が剝落した跡がある。2・3はIV群c-1類。同一個体とみられ、貼瘤が見られるなど堂林式の新段階に属すると思われる。

RLP-4 4・5は典型的なIV群c-1類堂林式。

RLP-5 6・7は遺構確認面において出土した東釧路Ⅲ式・Ⅳ式の土器。覆土中には8のようにIV群c類が含まれている。

RLP-12 9はIV群c-1類堂林式。平縁に山形の小突起がある。

RLP-34 10はIV群a類。うすく剝落している。11はIV群b-4類。弱い刻み列をもつ、波状口縁の土器。12はIV群c類。縦位の区画後に羽状縄文を充填している。13・14はIV群c-1類堂林式。14は注口土器の頸部直下。器壁が薄く、ハの字状短刻線が施されている。15・16はIV群c類の注口土器。15は剝落した注口部の跡にアスファルトで補修をしている。16は注口部を中心として帯状文が渦状にえがかれている。

RLP-35 17は覆土中位の黒色土層から出土したIV群c-1類堂林式の深鉢形土器。突瘤が巡るが、途中から施されなくなっている。

RLP-36 18は組紐圧痕のあるI群b-1類東釧路Ⅲ式土器。19はIV群b-4類。刻み列と突瘤をもち、器壁がやや厚い。20・21・23・24はIV群c-1類堂林式。20は器面が丁寧に磨かれている。21はやや広口の壺形系統の土器で、おそらく注口がつくものと思われる。24はイナズマ状沈線文があり、胴部くびれがやや強く、古段階に属するものと思われる。22はIV群c類。

RLP-39 25はIV群c-1類堂林式の鉢形土器。

RLP-51 26はIV群c-1類。小波状口縁で器壁がうすい。堂林式の新段階に属するものと思われる。

RLP-52 27はI群b-4類東釧路Ⅳ式土器である。2条並列の撚糸文が施されている。

(6) 土壌 (RLP) 出土の石器 (図IV-193 表IV-200 図版53)

土壌からは112点の石器等が出土している。定形的な石器は15点で、このうち7点を図示した。

1はRLP-12覆土上層出土のすり石である。VIA 2。ほぼ全面にすり面が見られる。石質は珪岩。

2・3はRLP-35出土の石器である。2は覆土1層出土のたたき石である。VA 2。表裏両面にたたき痕が見られる。石質は砂岩。

3は覆土2層出土の石皿である。VIII A 1。破損品。表面にたたき痕が見られる。側縁には火熱を受けた痕跡がある。石質は砂岩。

4～6はRLP-36覆土1層から出土した石器である。4は石鏟である。側縁部は外へ張り出し気味で、側面の稜線はジグザグ状である。左右非対称で、調整は粗い。石質は黒曜石。

5はたたき石である。VA 2。周縁部などにたたき痕が見られ、表裏両面にすり面が残る。石質は緑色泥岩。

6はたたき石である。VA 3。一部にすり面が残る。石質は片麻岩。

7はRLP-52覆土出土のスクレイパーである。III B 6。上端に打面が残る。側縁部と下端部を調整加工して刃部を作り出している。石質は黒曜石。

(7) 焼土 (RLF) 出土の土器 (図IV-194～196 表IV-201・202 図版51～53)

焼土出土の土器は、被熱層の遺物包含層(Vb層・Vd層)の状況を反映しており、焼土形成時に同

時に使用されたものと考えられるものは確認できなかった。なお、遺物を掲載した焼土以外の焼土にもフローテーションサンプルに小破片が多数含まれている。

RLF-257 出土土器点数が712点と多いが、これは被熱層の遺物包含層(Vd層)に起因する。また二次焼成よるためか、色調がやや白色ないし明褐色化した土器が多い。

1は縄文時代早期に属するものと思われるが、不明確である。

2はIV群b-2類手稲式に属する。幅の狭い平行沈線に楕円区画文が組み合わされ、蛇行沈線の系譜をひいている。鯨潤式の前段階につながるモチーフである。

3~9はIV群b-4類。口唇直下の刻み列は2段がほとんどであるが、1段のものも見られる(9)。5は内面に円形刺突が縦位に3か所施されている。6は波状口縁の波頂部の三角地帯が無文になっている。10~19・25はIV群c-1類堂林式である。10~16は突瘤が施されている。14・15は沈線がやや乱れている。19は胴部の沈線はきれいな弧線文であるが、口縁直下の平行沈線が1本で、堂林式のやや新しい段階のものと思われる。25は無文の鉢であるが、台がつくものと思われる。器面調整はあまり行き届いていない。20~24・26はIV群c類。これらもほとんど堂林式と思われる。20は木葉文の周囲を磨り消してレリーフのように浮きだたせている。十腰内V群にも見られる手法である。22は底部付近で、弧線文を組み合わせて菱形をえがいている。23・24は注口土器。24の注口下の瘤は比較的小さい。26は台付鉢の台部。無文で接地部分と底部側は厚くなっている。

27は焼成粘土塊。細い棒状工具で幾度も筋を入れているようすが観察できる。

RLF-258 RLF-257と同様に遺物量が多い。

28はIV群a類。太いLR縄文による施文である。内面は粗い。

29~32はIV群b-4類。29は胴部のくびれが強い。30は細い斜行沈線がえがかれている。33~42・47・49・50はIV群c-1類堂林式である。42は波状口縁で、それ以外は平縁とみられる。37は小型の深鉢と考えられる。器壁が薄く、胴部くびれがやや強い。38はやや太い曲沈線で無文部と縄文施文部との境界をなしている。41は無文の器面がやや粗い。42は口唇直下から連続してイナズマ状沈線文が施されている。49の無文の鉢は、接合した破片の色調がそれぞれ異なっており、被熱の度合いの差を示している。43~46・48はIV群c類。これらもやはり堂林式と思われる。鋸歯文・弧線文・木葉文がえがかれている。48は磨消を伴う。

RLF-14 51はIV群c-1類堂林式。52はIV群c類。注口土器の胴部で、渦状の帯状文に羽状縄文が充填されている。

RLF-199 53はIV群b-4類。胴部くびれがやや強い。

RLF-200 54はIV群b-4類。羽状縄文を丁寧に施文している。55はIV群c-1類堂林式。56~58も堂林式と見られる。58は頸部に張り出しをもっている。59は団子状の焼成粘土塊。

RLF-201 60はIV群c類。丁寧に羽状縄文が施文されている。

RLF-240 61はIV群c類。胴部くびれ部に無文帯が見られる。

RLF-263 フラスコ状ピットの覆土上面に形成された焼土から出土している。62はIV群c-1類堂林式。

RLF-264 建物1または2の炉と考えられる焼土から出土している。63はIV群c-1類堂林式。

(8) 焼土 (RLF) 出土の石器 (図IV-197 表IV-203 図版53)

焼土からは160点の石器等が出土している。定形的な石器は21点で、このうち8点を図示した。

1~5はRLF-258の焼土中から出土した石器である。1は石鎌である。IA7c。側縁部、側面の稜線ともに直線状である。作りは丁寧であるが、基部を欠損する。石質は頁岩。

2はスクレイパーである。IIIB 6。裏面に礫皮面が残り、周縁を粗く打ち欠いている。明瞭な刃部は作られていない。未成品。石質は黒曜石。

3はスクレイパーである。IIIB 5。右側縁部を調整加工して刃部を作り出している。石質は黒曜石。

4は石斧である。IVA 8。基部、刃部が大きく破損している。全面を研磨していたものと思われる。石質は片岩。

5は石皿である。VIII A 1。破損品。表面にはたたき痕の上すり面が残っている。石質は砂岩。

6～8はRLF-258の焼土中から出土した石器と石製品である。6は石鏃である。IA 8。側縁部は直線状、側面の稜線はほぼ直線状である。左側縁部と茎部は欠損している。石質は黒曜石。

7は石鏃である。IA 7c。茎部を欠損する。側縁部は内湾気味、側面の稜線はジグザグ状である。石質は黒曜石。

8は石製品である。垂飾で、孔は貫通している。石質はカンラン岩。

(9) 流水跡 (RLR) 出土の土器 (図IV-198・199 表IV-204～206 図版54～56)

RLR-3 出土土器点数が845点と多いが、これは流水が開析した遺物包含層 (Vd層) に起因する。

1は貼付隆帯が幅6mmしかない点が気になるが、貼り付け後に別の原体で施文する点や胎土から、IV群a類とみられる。2もIVa類。

3～21はIV群b-4類。3・4・13・16は弧線文を組み合わせて文様を構成している。5・7は波頂部の刻み列で囲まれた部分を磨り消している。10は、口唇部が刻み列というよりは縦位の沈線になっている。17～21には刻み列と突瘤が施され、19～21では刻み列が1列になり、縄文後期中葉的な要素がなくなりつつある。

22～29・36～39・42はIV群c-1類堂林式。切出形口唇が比較的少ない。24は弧線文を組み合わせた文様だが、やや乱れている。27はやや幅の狭い無文帯を上部に設けている。37・39は小型の鉢。38はSE-1層出土土器片と、42はVd層出土土器片とそれぞれ接合している。42は3グリッド間で接合した深鉢形土器。口唇は角形を基本とするが、丸みを帯び一定しない。突瘤はその位置を上下させながら一巡する。29～35・40・41はIV群c類。これらも堂林式がほとんどであろう。弧線文をえがくものが多い。34は注口土器の肩部に沿って平行波線が密にえがかれている。35はベンガラとみられる赤色顔料が内面にうすく付着している。40は丸みを帯びた底部で、底面に1円玉大の上げ底を施しており、注口土器と思われる。

(10) 流水跡 (RLR) 出土の石器 (図IV-200 表IV-207 図版56)

流水跡からは146点の石器等が出土した。定形的な石器は18点で、このうち6点を図示した。

1～6はRLR-3覆土1層から出土石器である。1はスクレイパーである。IIIB 6。上端に打面が残る。側縁下半部を調整加工して刃部を作り出している。石質は黒曜石。

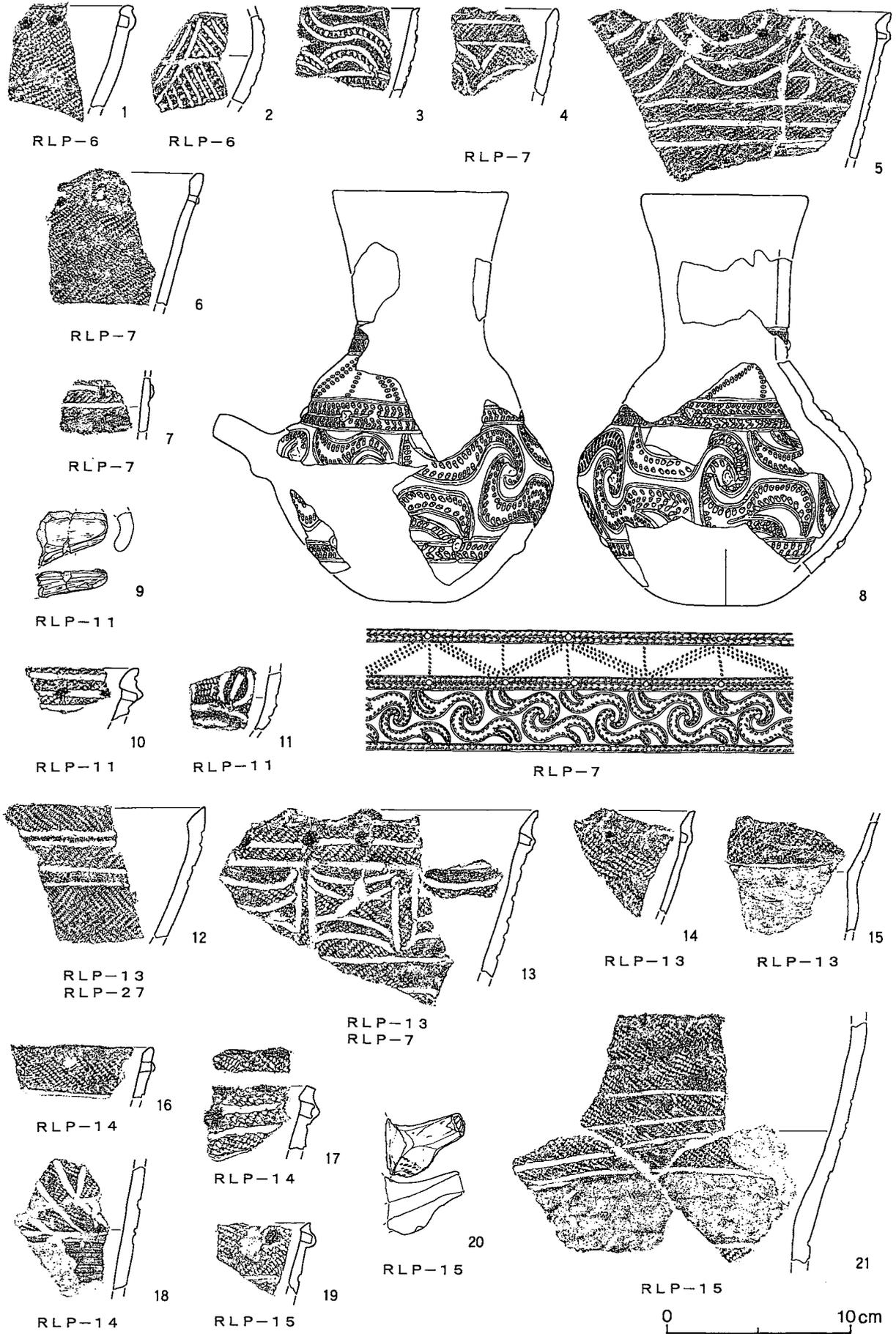
2はスクレイパーである。IIIB 6。上端に打面、下端部には礫皮面が残る。左側縁部を調整加工して刃部を作り出している。石質は黒曜石。

3はスクレイパーである。IIIB 6。側縁部に礫皮面が残る。下端部を調整加工して刃部を作り出している。石質は黒曜石。

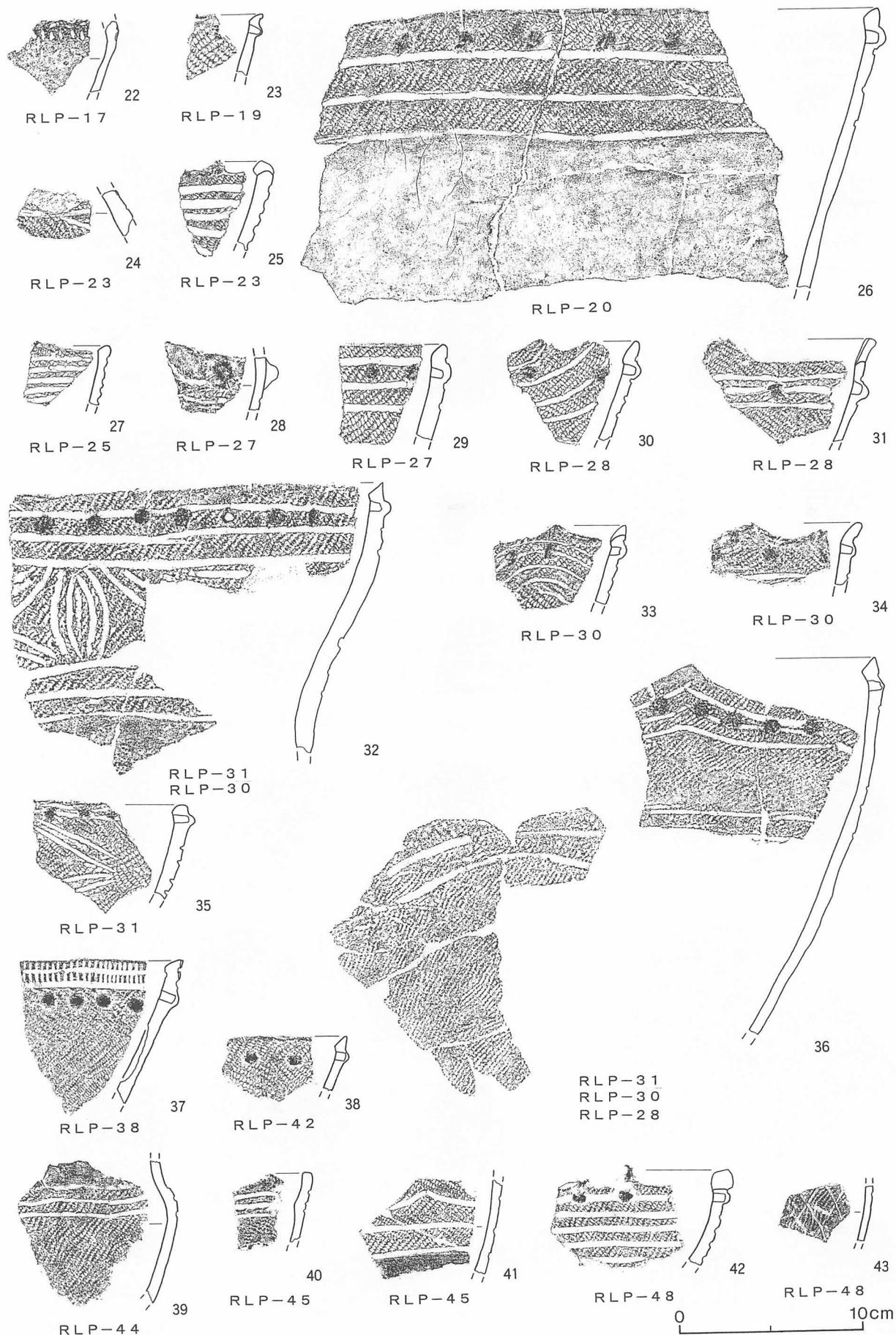
4は石斧である。IVA 5。基部を欠損する。刃部を丁寧に研磨している。石質は片岩。

5は石斧である。IVA 5。基部上部欠損する。裏面に礫皮面が残る。他は丁寧に研磨している。石質は緑色泥岩。

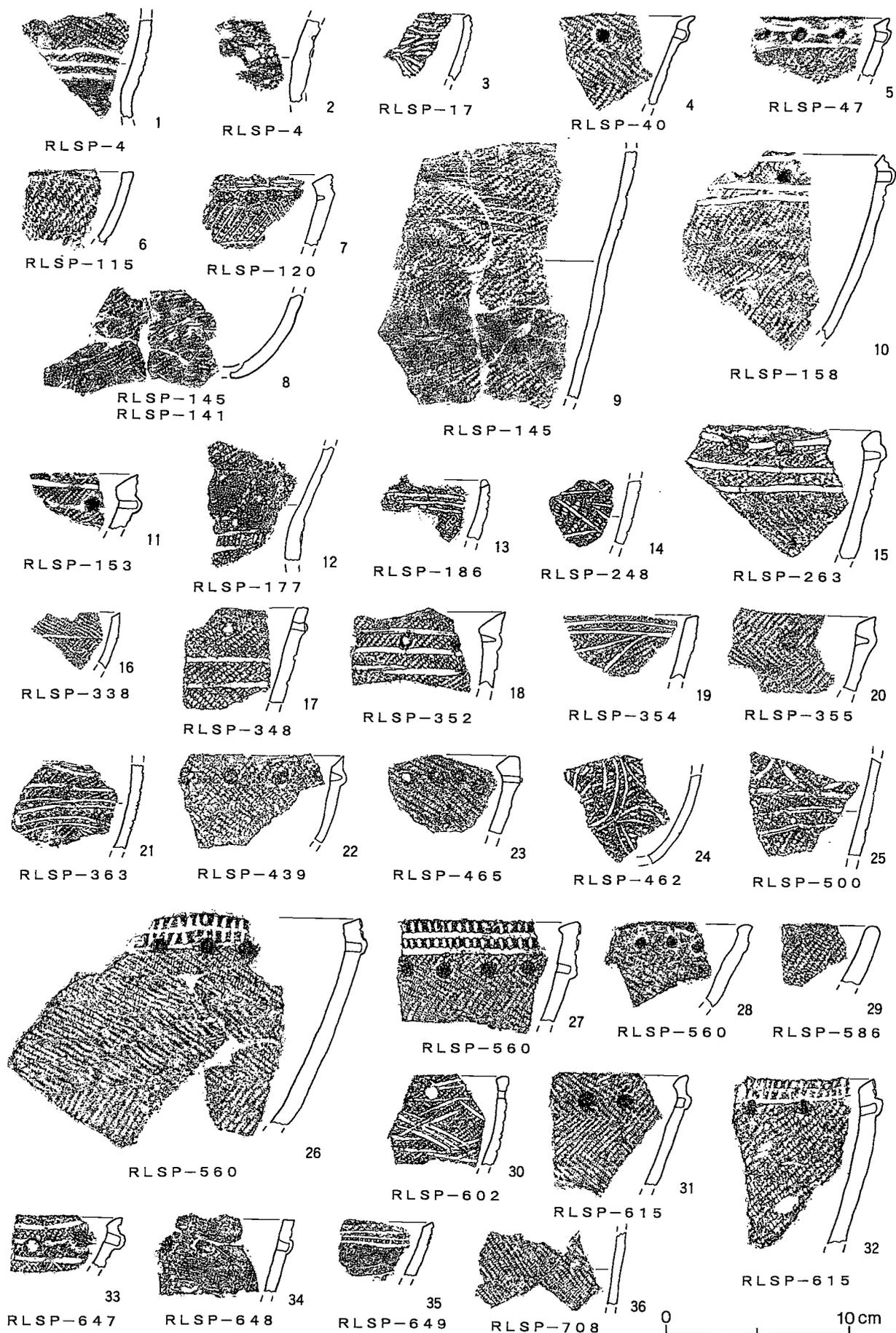
6は石皿である。VIII A 8。表面にすり面が見える。石質は砂岩。



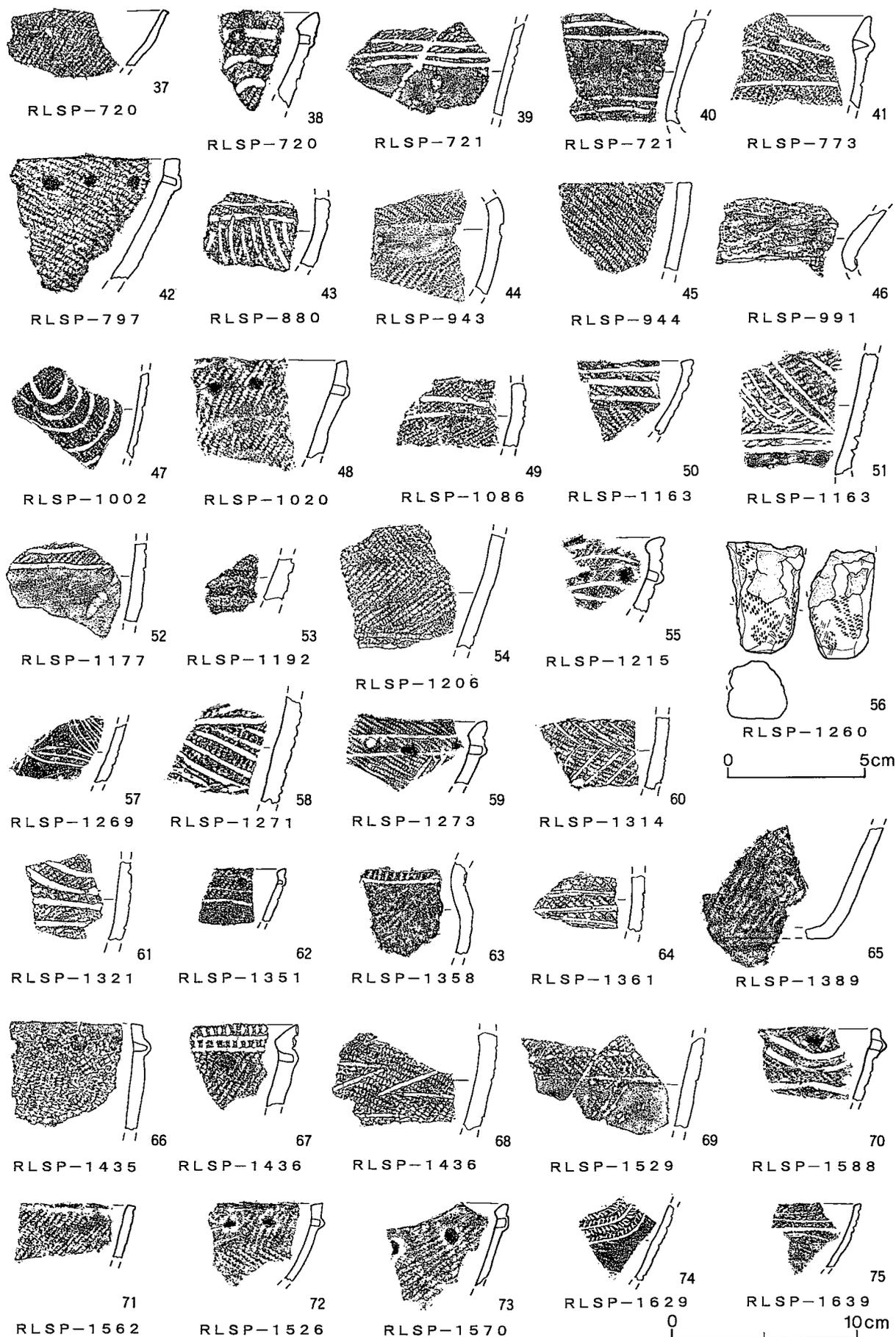
図IV-182 柱穴状ピット (RLP) 出土の土器(1)



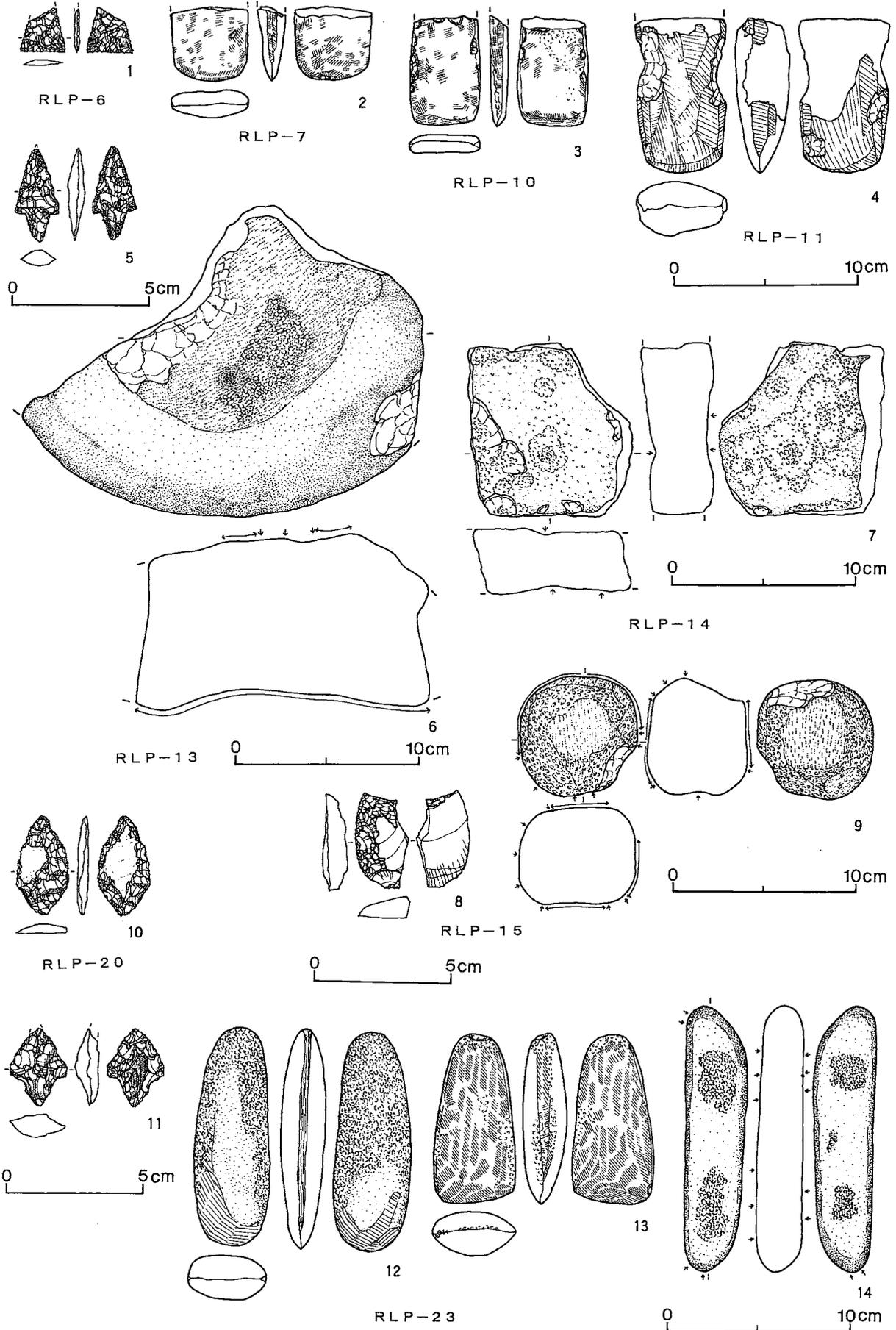
図IV-183 柱穴状ピット (RLP) 出土の土器(2)



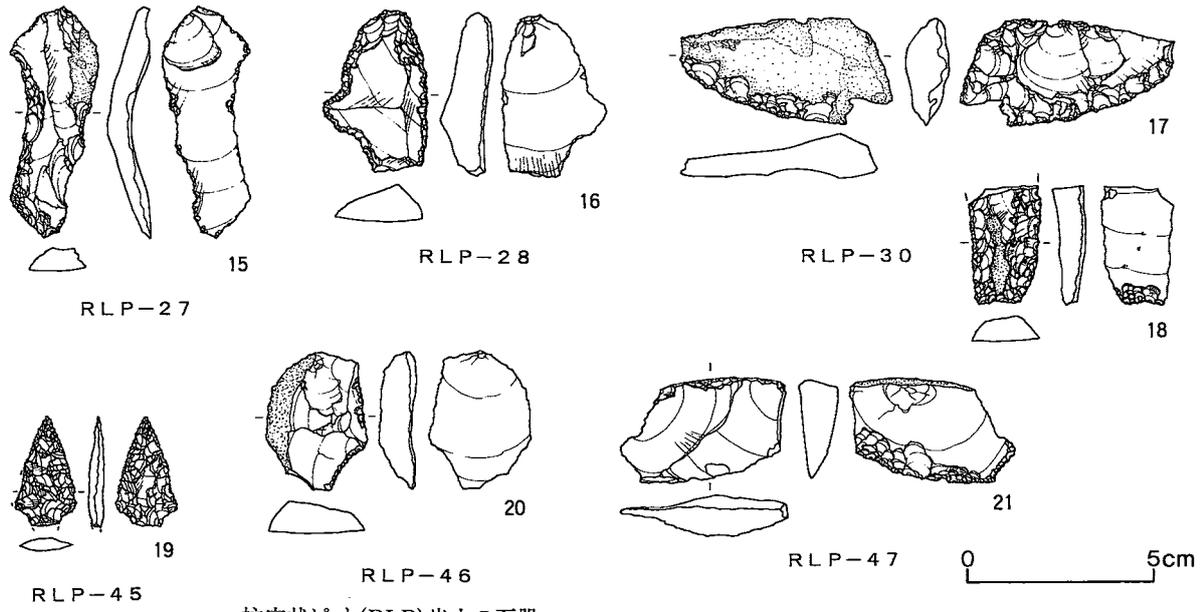
図IV-184 柱穴状ピット (RLSP) 出土の土器(1)



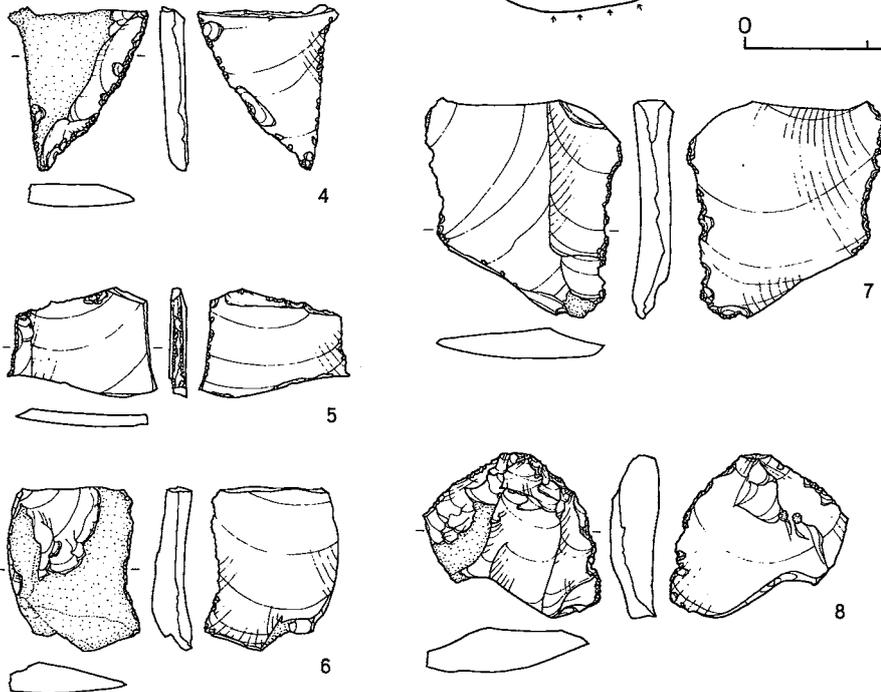
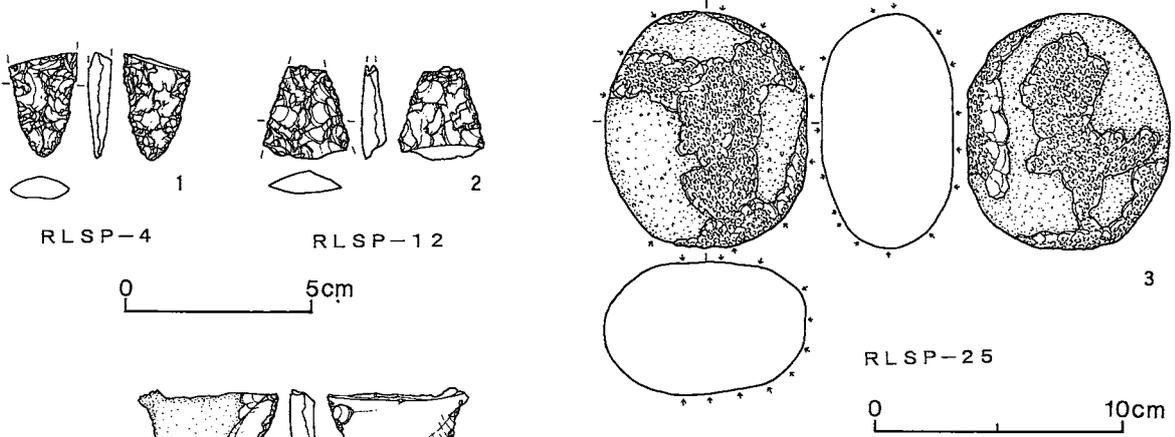
図IV-185 柱穴状ピット (RLSP) 出土の土器(2)



図IV-186 柱穴状ピット (RLP) 出土の石器(1)

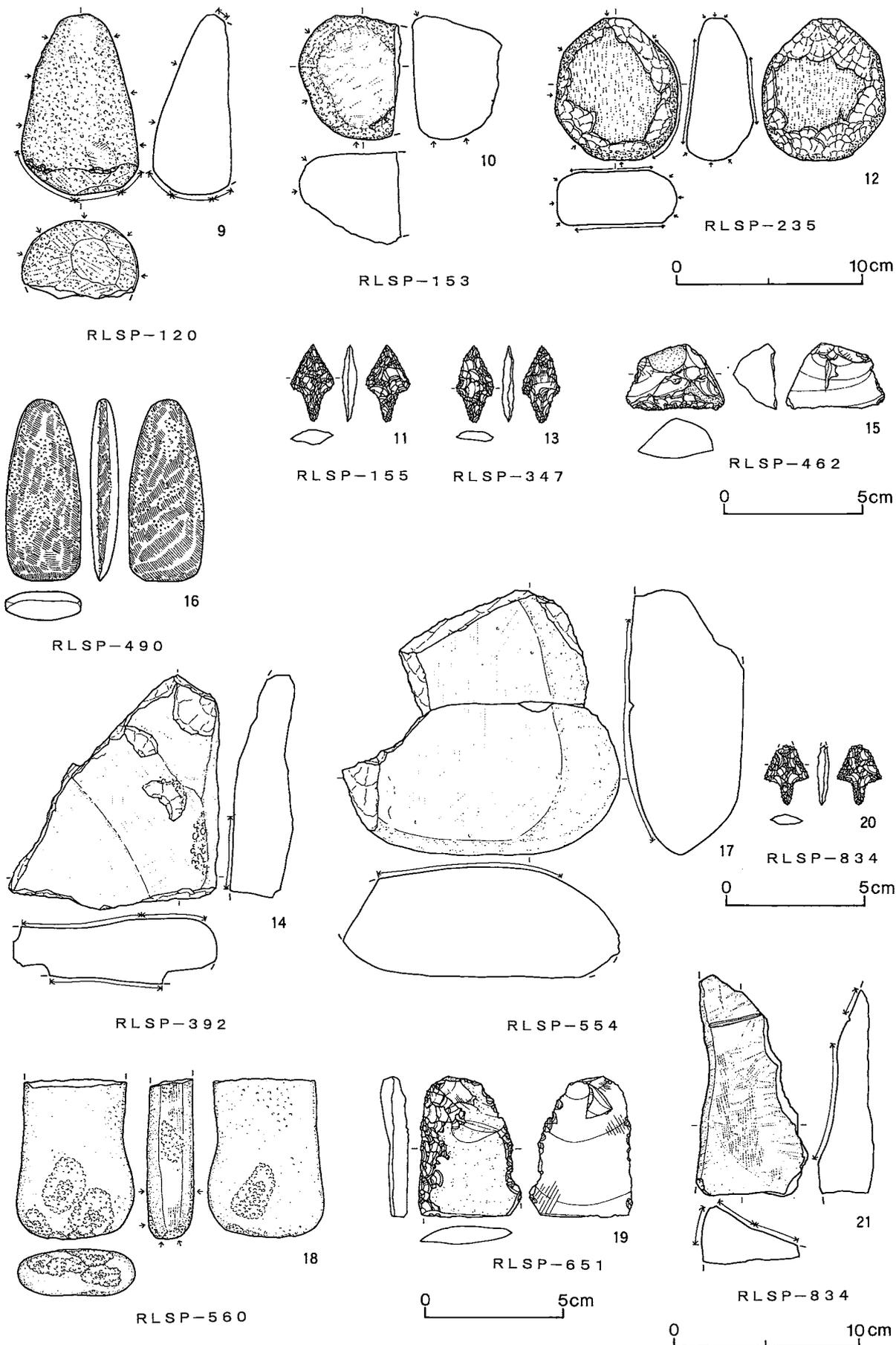


柱穴状ピット(RLP)出土の石器

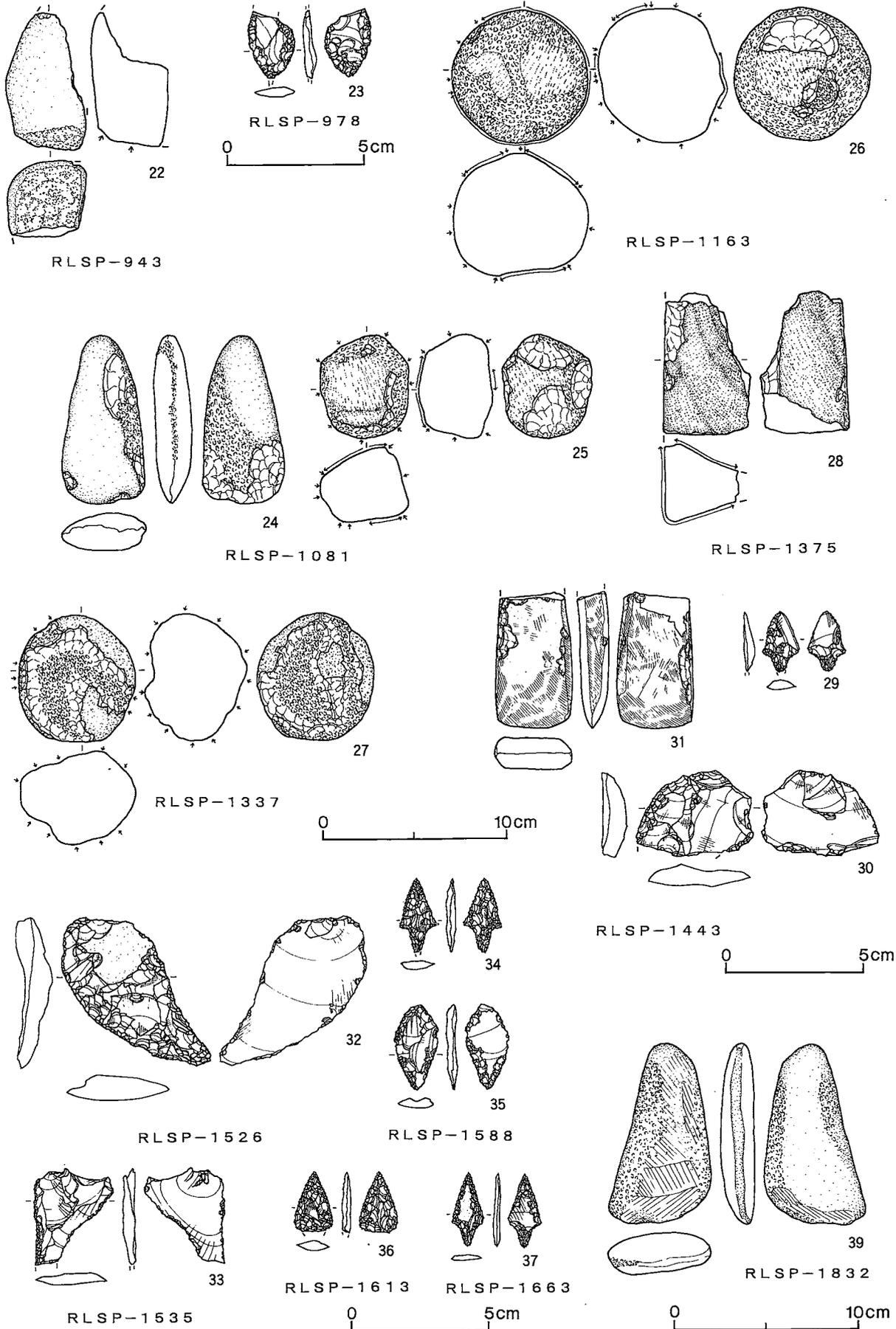


柱穴状ピット(RLSP)出土の石器

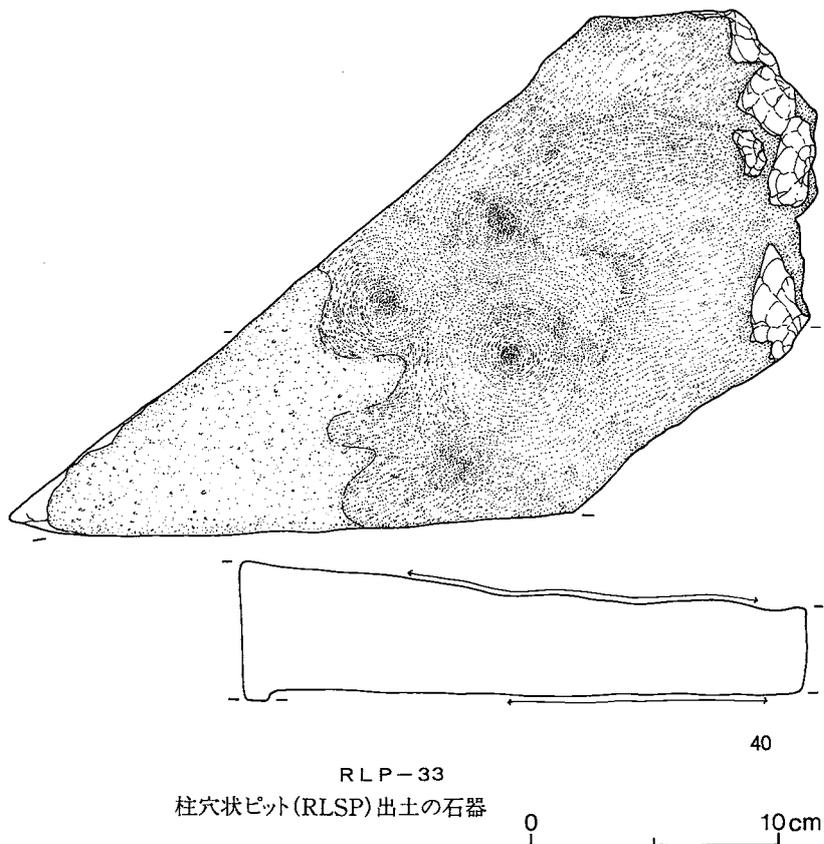
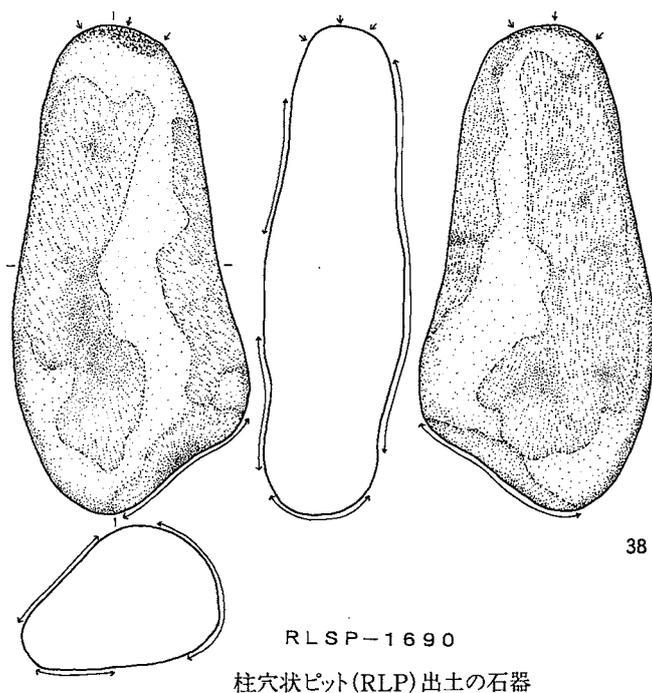
図IV-187 柱穴状ピット(RLPとRLSP)出土の石器(2)



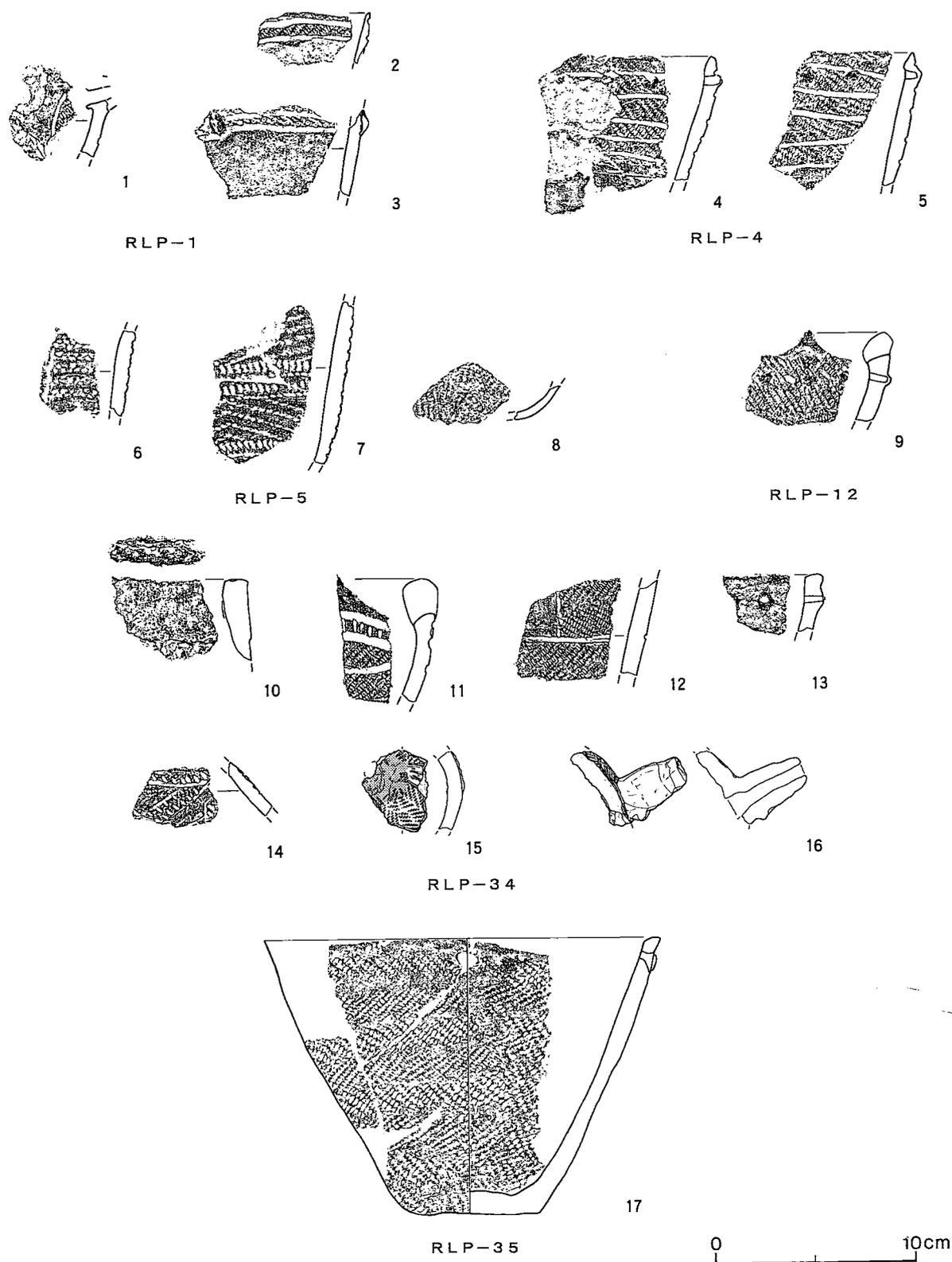
図IV-188 柱穴状ピット (RLSP) 出土の石器(3)



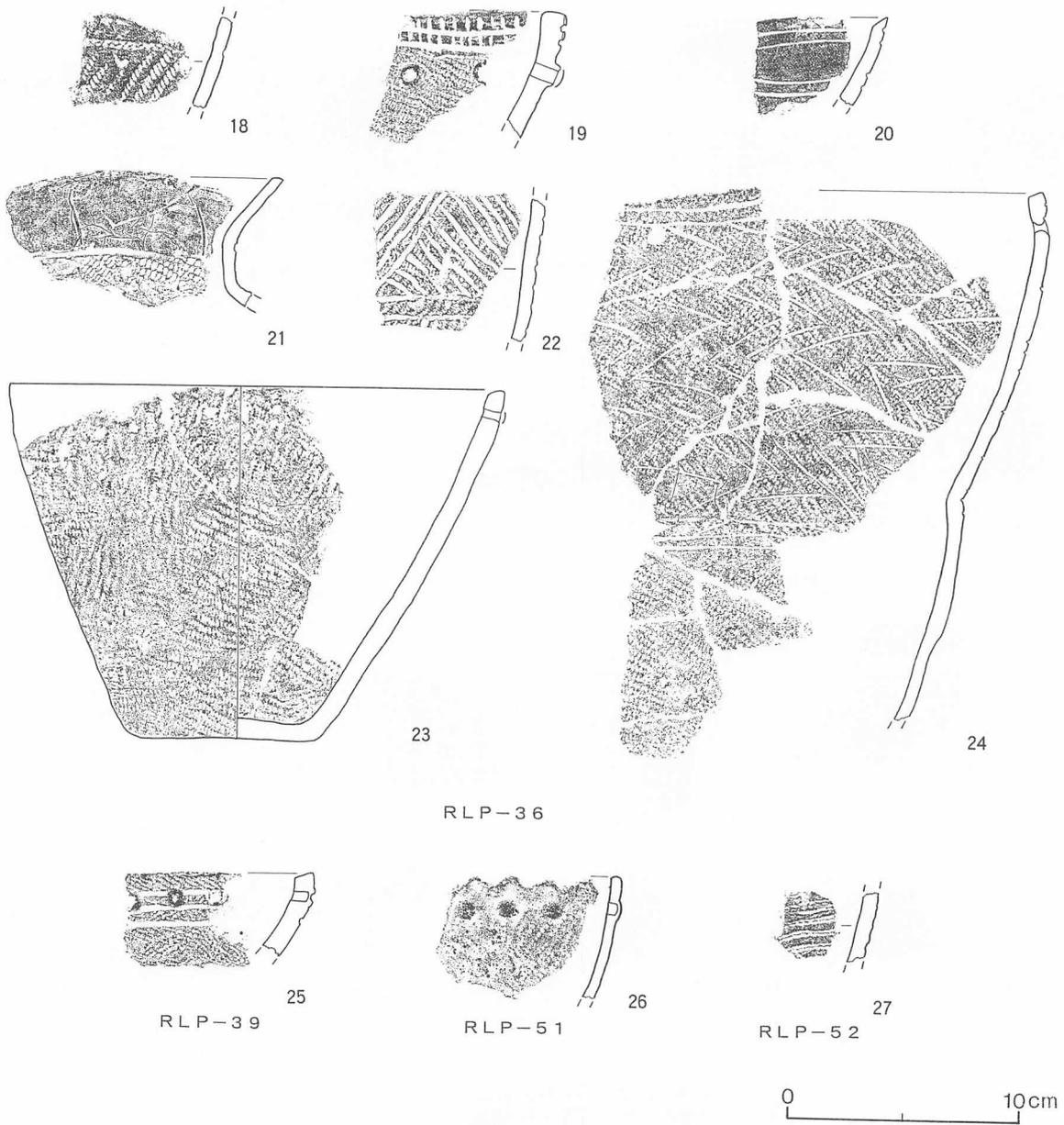
図IV-189 柱穴状ピット (RLSP) 出土の石器(4)



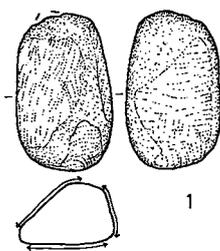
図IV-190 柱穴状ピット (RLPとRLSP) 出土の石器(5)



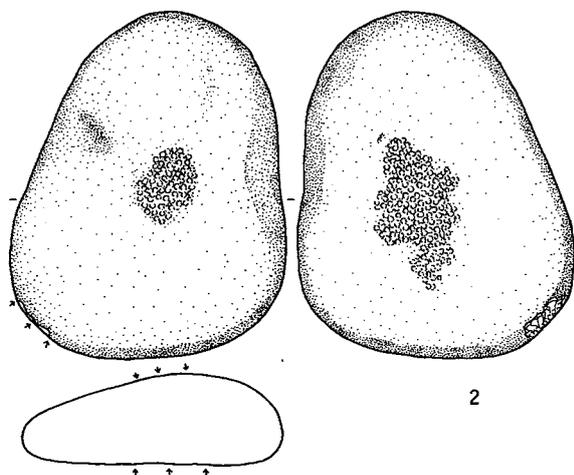
図IV-191 土壙 (RLP) 出土の土器(1)



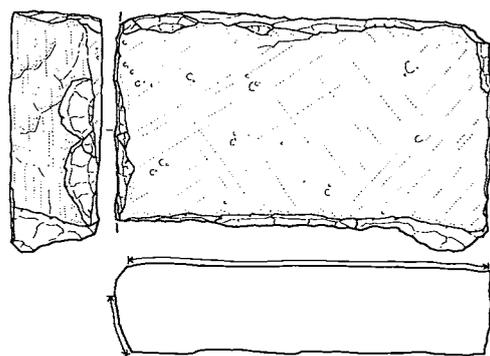
図IV-192 土壙 (R L P) 出土の土器(2)



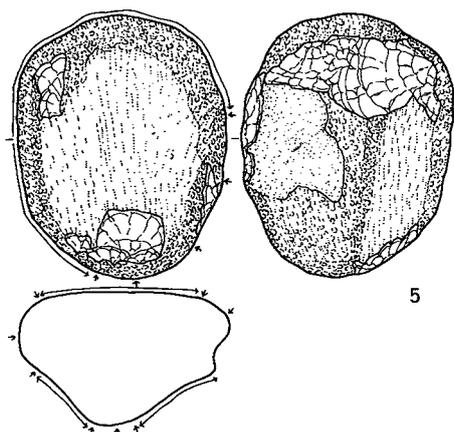
RLP-12



RLP-35

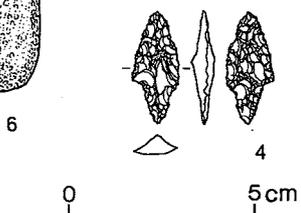
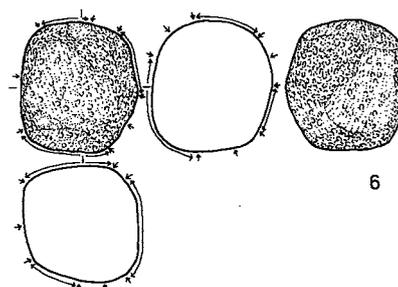


0 10cm

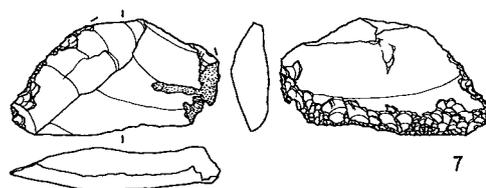


RLP-36

0 10cm



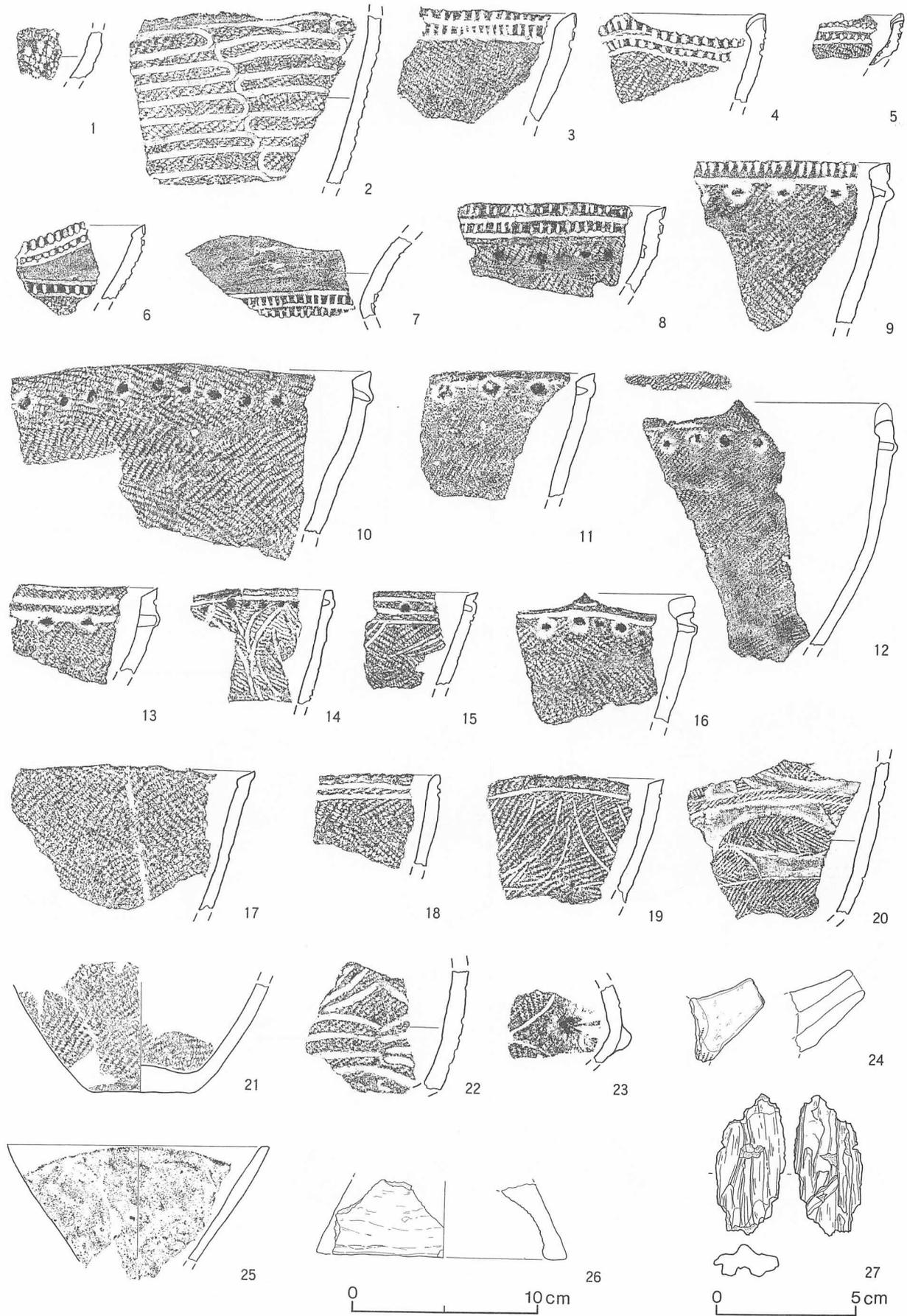
0 5cm



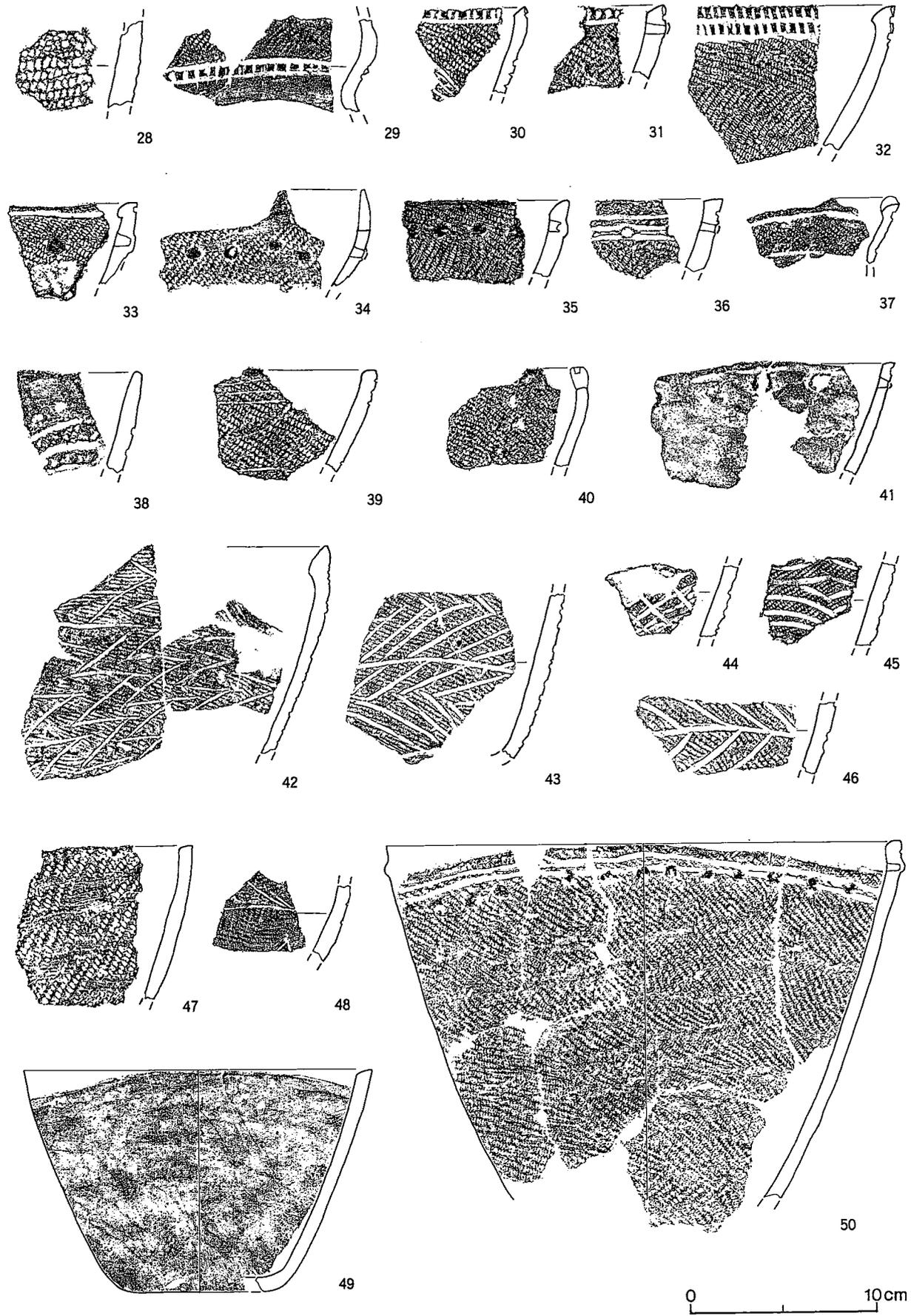
RLP-52

0 5cm

図IV-193 土壇 (RLP) 出土の石器

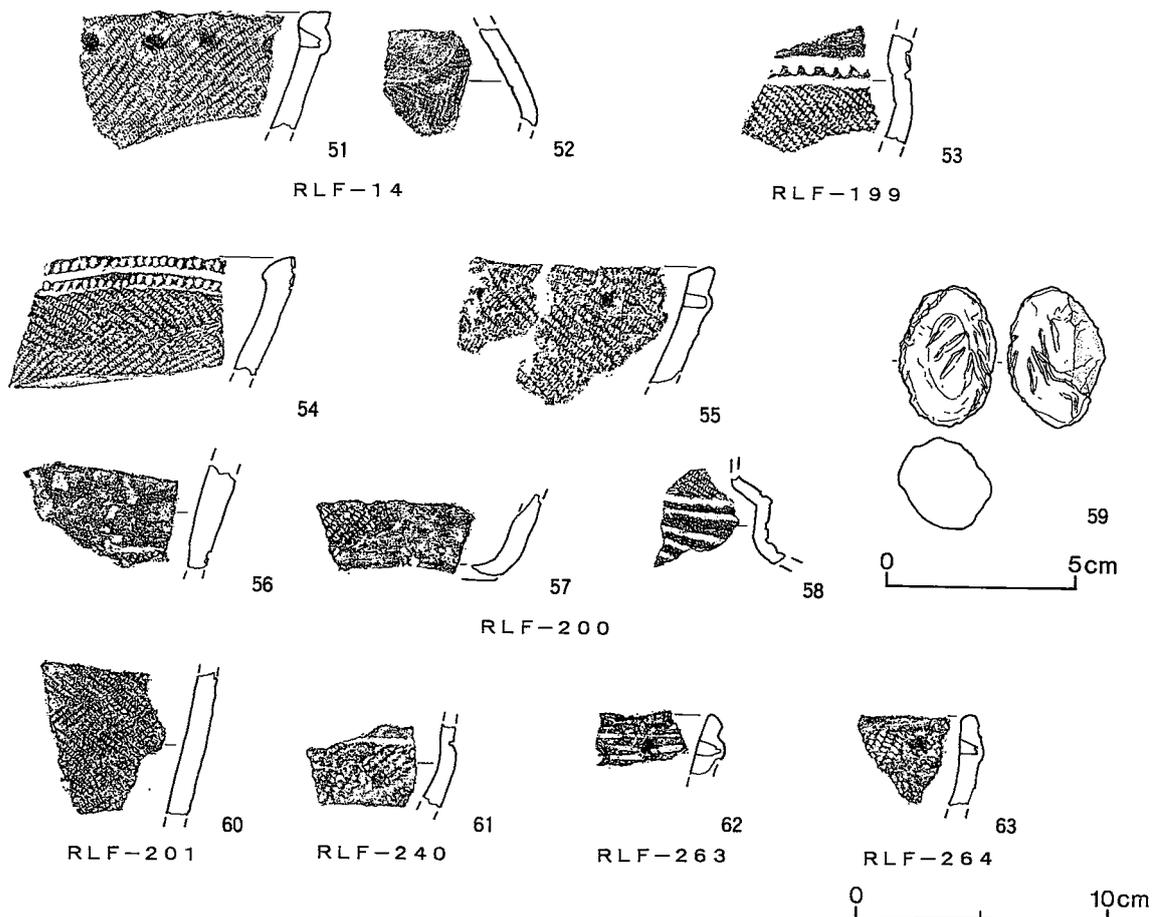


図IV-194 焼土 (RLF) 出土の土器(1)

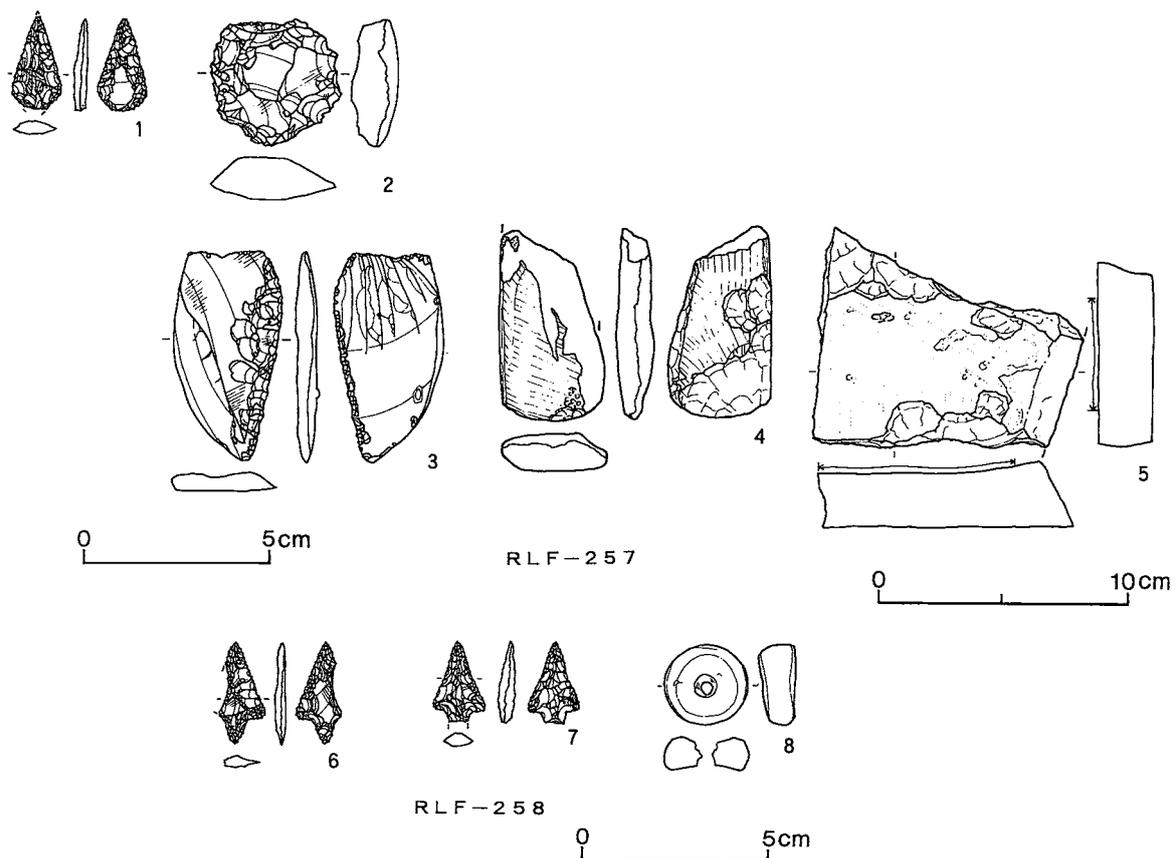


RLF-258

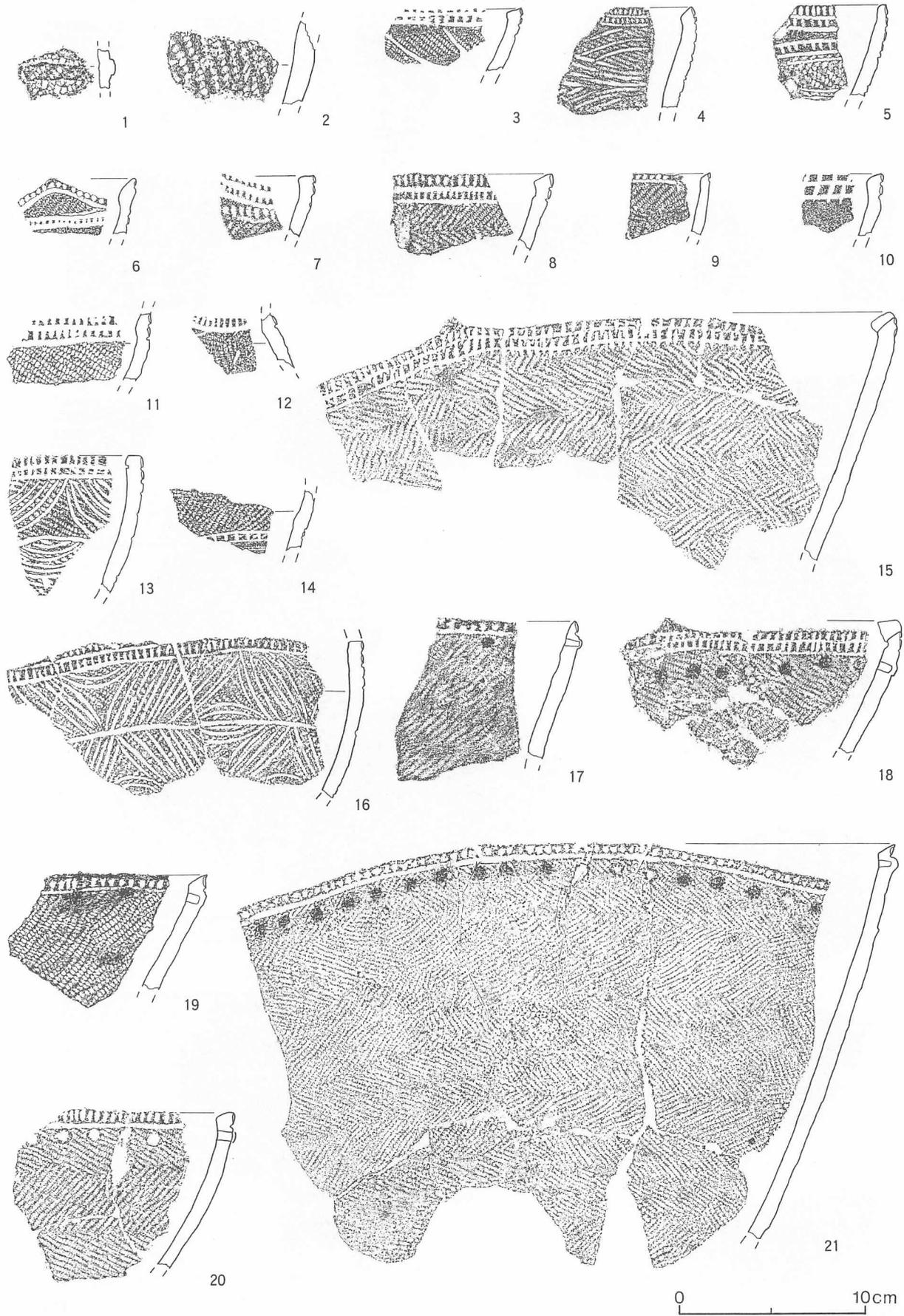
図IV-195 焼土 (RLF) 出土の土器(2)



図IV-196 焼土 (RLF) 出土の土器(3)

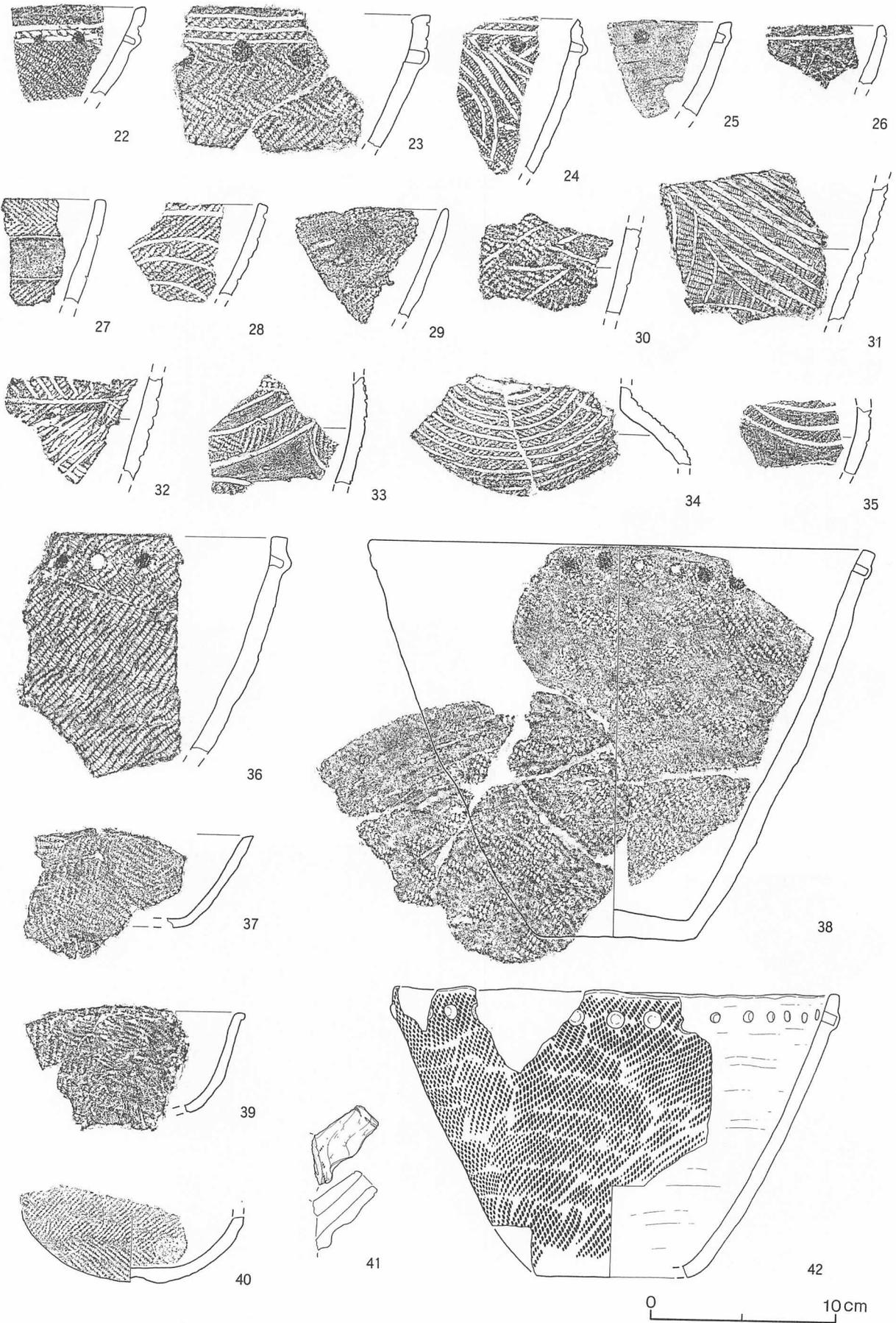


図IV-197 焼土 (RLF) 出土の石器



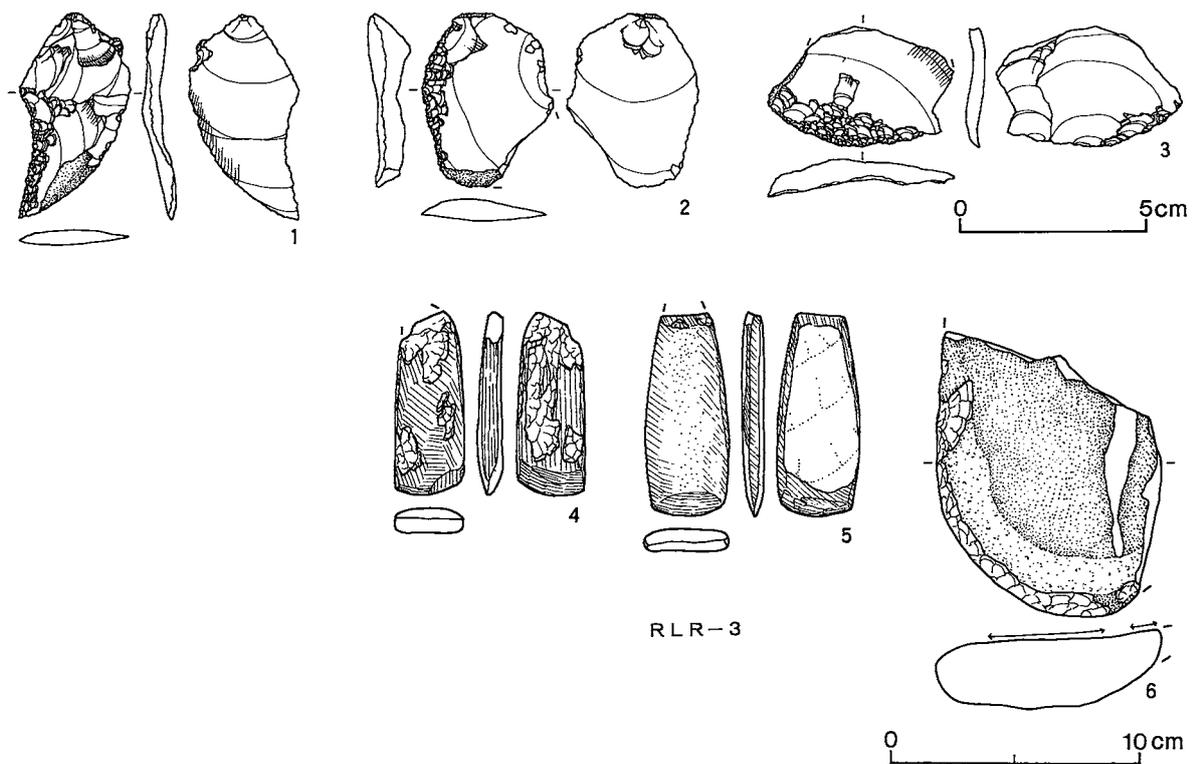
RLR-3

図IV-198 流水跡 (RLR) 出土の土器(1)



RLR-3

図IV-199 流水跡 (RLR) 出土の土器(2)



図IV-200 流水跡 (RLR) 出土の石器

表IV-192 柱穴状ピット(RLP)出土掲載土器一覽(1)

図番号	遺構	層位	発掘区	点数	分類	器種	部位	文様/地文	建物No.
図IV-182-1	RLP-6	覆土	s-65	1	IVc-1	深鉢	口縁	突瘤/LR縄文	
図IV-182-2	〃	〃	〃	1	IVc-1	〃	胴	鋸歯状沈線/縄文	
図IV-182-3	RLP-7	覆土上位	q-66	1	IVc-1	〃	口縁	曲線带状文・刻み列/無文:赤彩	建物跡67
図IV-182-4	〃	〃	〃	1	IVc-1	〃	〃	平行沈線・弧線文/羽状縄文	〃 67
図IV-182-5	〃	〃	〃	6	IVc-1	〃	〃	突瘤・平行沈線・曲沈線/LR縄文	〃 67
図IV-182-6	〃	〃	〃	1	IVc-1	〃	〃	〃 /LR縄文	〃 67
図IV-182-7	〃	〃	〃	1	IVc-1	鉢	胴	貼瘤・平行沈線/LR縄文	〃 67
図IV-182-8	〃	〃	〃	10	IVc-1	注口	頸~胴	} 曲線带状文・ハの字状短刻線・貼瘤・平行沈線/無文 胴最大径15.6cm・推定高22cm 接合 残存率約40%	〃 67
		SE-1	q-65	2					
		〃	r-66	2					
		SE-2	q-66	2					
		攪乱	〃	3					
図IV-182-9	RLP-11	覆土上位	r-66	1	IVc	浅鉢	片口	無文	建物跡73'
図IV-182-10	〃	〃	〃	1	IVc-1	深鉢	口縁	突瘤・平行沈線/LR縄文	〃 73'
図IV-182-11	〃	〃	〃	1	IVc	鉢	胴	平行沈線・弧線文/LR縄文	〃 73'
図IV-182-12	RLP-13 RLP-27	覆土中位 〃	q-66 〃	1 1	IVc-1	深鉢	口縁	} 带状文/羽状縄文・磨消 接合	建物跡68
図IV-182-13	RLP-13 RLP-7	覆土上位 〃	〃 〃	2 2	IVc-1	〃	〃		
		SE-1	〃	1					
図IV-182-14	RLP-13	覆土下位	〃	1	IVc-1	〃	〃	突瘤/RL縄文	〃 68
図IV-182-15	〃	覆土上位	〃	1	IVc-1	〃	胴	無文帯/LR縄文	〃 68
図IV-182-16	RLP-14	〃	q-68	2	IVc-1	〃	口縁	突瘤・平行沈線/RL縄文	建物跡67
図IV-182-17	〃	〃	〃	1	IVc-1	〃	〃	〃・〃 /羽状縄文(含口唇)	〃 67
図IV-182-18	〃	〃	〃	2	IVc	〃	胴	鋸歯状沈線・無文帯/羽状縄文	〃 67
図IV-182-19	RLP-15	覆土中位	〃	1	IVc-1	〃	口縁	突瘤・無文帯/羽状縄文	建物跡71
図IV-182-20	〃	〃	〃	1	IVc	注口	注口	LR縄文	〃 71
図IV-182-21	〃	覆土上位 覆土中位	〃 〃	2 1	IVc	深鉢	胴	} 接合 平行沈線・無文帯/RL・LR縄文	〃 71
図IV-183-22	RLP-17	覆土上位	〃	1	IVc-1	鉢	胴	ハの字状短刻線/無文	
図IV-183-23	RLP-19	覆土下位	r-67	1	IVc-1	深鉢	口縁	突瘤/羽状縄文	
図IV-183-24	RLP-23	〃	q-65	1	IVb-4	注口	胴	刻み列・带状文/RL縄文・磨消	建物跡73
図IV-183-25	〃	覆土中位	〃	1	IVc-1	鉢	口縁	平行沈線・弧線文/LR縄文	〃 73
図IV-183-26	RLP-20 〃	〃 覆土下位	r-66 〃	2 2	IVc-1	深鉢	〃	} 接合 突瘤・平行沈線・無文帯/LR縄文 平縁・切出形口唇	建物跡68
図IV-183-27	RLP-25	覆土	q-66	1	IVc-1	鉢	〃	平行沈線/羽状縄文	
図IV-183-28	RLP-27	覆土中位	〃	1	IVc	注口	胴	貼瘤・曲沈線/縄文	建物跡69
図IV-183-29	〃	〃	〃	1	IVc-1	深鉢	口縁	突瘤・平行沈線/LR縄文	〃 69
図IV-183-30	RLP-28	覆土下位	r-67	1	IVc-1	〃	〃	〃・〃 /羽状縄文	建物跡67
図IV-183-31	〃	覆土上位	〃	1	IVc-1	〃	〃	〃・〃 /RL縄文	〃 67
図IV-183-32	RLP-30 RLP-31	覆土中位 覆土下位	〃 〃	6 2	IVc-1	〃	〃	} 接合 突瘤・平行沈線・弧線文・無文帯/LR縄文	建物跡71
図IV-183-33	RLP-30	覆土上位	〃	1	IVc-1	〃	〃	突瘤・曲沈線/羽状縄文	建物跡69
図IV-183-34	〃	〃	〃	1	〃	〃	〃	〃・平行沈線/RL縄文	〃 69
図IV-183-35	RLP-31	覆土中位	〃	1	IVc-1	〃	〃	〃・〃・斜行沈線/羽状縄文	建物跡71
図IV-183-36	〃 RLP-30	覆土下位 覆土上位	〃 〃	5 4	IVc-1	〃	〃	} 接合 突瘤・平行沈線/LR縄文 波状口縁・切出形口唇	〃 71
図IV-183-37	RLP-38	覆土1	q-79	1	IVb-4	〃	〃	刻み列・突瘤/羽状縄文	
図IV-183-38	RLP-42	覆土中位	q-68	1	IVc-1	鉢	〃	突瘤/羽状縄文	建物跡70
図IV-183-39	RLP-44	覆土	n-75	1	IVc	深鉢	胴	平行沈線・無文帯/LR縄文	
図IV-183-40	RLP-45	〃	〃	1	IVc-1	注口	口縁	〃 /縄文	

表IV-193 柱穴状ピット (RLP) 出土掲載土器一覧(2)

図番号	遺構	層位	発掘区	点数	分類	器種	部位	文様/地文	建物No.
図IV-183-41	RLP-45	覆土	n-75	2	IVc	深鉢	胴	平行沈線・無文帯/羽状縄文	
図IV-183-42	RLP-48	〃	〃	1	IVc-1	〃	口縁	突瘤・平行沈線/LR縄文	
図IV-183-43	〃	〃	〃	1	IVc	鉢	胴	格子目状沈線/LR縄文	

表IV-194 柱穴状ピット (RLSP) 出土掲載土器一覧(1)

図番号	遺構	層位	発掘区	点数	分類	器種	部位	文様/地文	建物No.
図IV-184-1	RLSP-4	覆土3	q-69	1	IVc	深鉢	胴	平行沈線・無文帯/RL・LR縄文	建物跡55
図IV-184-2	〃	覆土9	〃	1	IIIb	〃	〃	縄端圧痕/縄文	〃 55
図IV-184-3	RLSP-17	覆土	s-74	1	IVc-1	鉢	口縁	突瘤・平行沈線・弧線文/縄文	建物跡7
図IV-184-4	RLSP-40	〃	q-71	1	IVc-1	深鉢	〃	〃/羽状縄文	建物跡51
図IV-184-5	RLSP-47	〃	〃	1	IVc-1	〃	〃	〃・平行沈線/LR縄文	建物跡53
図IV-184-6	RLSP-115	〃	q-73	1	IVc-1	鉢	〃	LR縄文	建物跡43
図IV-184-7	RLSP-120	〃	r-73	1	IVc-1	深鉢	〃	突瘤・平行沈線・鋸歯状沈線/縄文	建物跡41
図IV-184-8	RLSP-145	〃	q-70	3	IVc	鉢	底	} 接合 LR縄文	
	RLSP-141	覆土下位	〃	1					
図IV-184-9	RLSP-145	覆土	〃	6	IVc	深鉢	胴	LR縄文	
図IV-184-10	RLSP-158	〃	q-74	2	IVc-1	〃	口縁	突瘤・平行沈線/LR縄文	
図IV-184-11	RLSP-153	〃	p-71	1	IVc-1	〃	〃	〃・〃/〃	建物跡54
図IV-184-12	RLSP-177	〃	r-71	1	IVb-4	〃	胴	刻み列・無文帯/〃	
図IV-184-13	RLSP-186	〃	〃	1	IVc-1	鉢	口縁	平行沈線・弧線文/縄文	建物跡41
図IV-184-14	RLSP-248	〃	r-73	1	IVc	〃	胴	イナズマ状沈線/LR縄文	
図IV-184-15	RLSP-263	〃	〃	1	IVc-1	深鉢	口縁	突瘤・平行沈線/羽状縄文	建物跡90
図IV-184-16	RLSP-338	〃	s-71	1	IVc-1	鉢	〃	平行沈線/羽状縄文	
図IV-184-17	RLSP-348	〃	〃	1	IVc-1	深鉢	〃	突瘤・平行沈線/羽状縄文	
図IV-184-18	RLSP-352	〃	s-72	1	IVc-1	〃	〃	〃・〃/LR縄文	建物跡47
図IV-184-19	RLSP-354	〃	〃	1	IVc-1	鉢	〃	平行沈線・弧線文/〃	
図IV-184-20	RLSP-355	〃	〃	1	IVc-1	深鉢	〃	突瘤/羽状縄文	
図IV-184-21	RLSP-363	〃	u-73	1	IVc	鉢	胴	平行沈線・弧線文/LR縄文	
図IV-184-22	RLSP-439	〃	s-74	1	IVc-1	深鉢	口縁	突瘤/羽状縄文	建物跡89
図IV-184-23	RLSP-465	〃	〃	1	IVc-1	〃	〃	〃/RL縄文	
図IV-184-24	RLSP-462	〃	〃	1	IVc	鉢	胴	弧線文/LR縄文	
図IV-184-25	RLSP-500	〃	t-72	1	IVc	深鉢	〃	平行沈線・弧線文/羽状縄文	
図IV-184-26	RLSP-560	〃	u-71	5	IVb-4	〃	口縁	刻み列・突瘤/羽状縄文	建物跡34
図IV-184-27	〃	〃	〃	1	IVb-4	〃	〃	〃・〃/〃	〃 34
図IV-184-28	〃	〃	〃	5	IVc-1	〃	〃	突瘤/RL・LR縄文	〃 34
図IV-184-29	RLSP-586	〃	t-74	1	IVc-1	鉢	〃	LR縄文	建物跡4
図IV-184-30	RLSP-602	〃	〃	1	IVc-1	〃	〃	突瘤・平行・鋸歯状沈線/LR縄文	
図IV-184-31	RLSP-615	〃	〃	1	IVc-1	深鉢	〃	〃/羽状縄文	建物跡4
図IV-184-32	〃	〃	〃	2	IVb-4	〃	〃	刻み列・突瘤/LR縄文	〃 4
図IV-184-33	RLSP-647	〃	u-65	1	IVc-1	〃	〃	突瘤・平行沈線・鋸歯状沈線/縄文	
図IV-184-34	RLSP-648	〃	v-65	2	IVc-1	〃	〃	〃/無文	
図IV-184-35	RLSP-649	〃	u-65	1	IVc	鉢	〃	平行沈線・弱い刻み列・無文帯/縄文	建物跡64
図IV-184-36	RLSP-708	〃	〃	1	IVc	深鉢	胴	} 接合 RL縄文	
		SE-1	〃	1					
図IV-185-37	RLSP-720	覆土	u-66	3	IVc-1	浅鉢	口縁	LR縄文	建物跡93
図IV-185-38	〃	〃	〃	1	IVc-1	深鉢	〃	突瘤・平行沈線・曲沈線/LR縄文	〃 93
図IV-185-39	RLSP-721	〃	t-65	1	IVc	〃	胴	} 接合 平行沈線・無文帯/LR縄文	建物跡94
		SE-1	〃	1					
図IV-185-40	〃	覆土	〃	1	IVc	〃	〃	〃	〃 94
図IV-185-41	RLSP-773	〃	t-68	1	IVc-1	〃	口縁	突瘤・平行沈線/羽状縄文	
図IV-185-42	RLSP-797	〃	v-64	1	IVc-1	〃	〃	突瘤/RL縄文	建物跡59

表IV-195 柱穴状ピット(RLSP)出土掲載土器一覧(2)

図番号	遺構	層位	発掘区	点数	分類	器種	部位	文様/地文	建物No.
図IV-185-43	RLSP-880	覆土	w-73	1	IVc	〃	胴	平行沈線・弧線文/羽状縄文	
図IV-185-44	RLSP-943	〃	s-69	1	IVc	〃	〃	磨消・RL・LR縄文	建物跡12
図IV-185-45	RLSP-944	〃	s-67	2	IVc-1	〃	口縁	RL縄文	
図IV-185-46	RLSP-991	〃	s-65	1	IVb-4	〃	胴	刻み列・無文帯	建物跡97
図IV-185-47	RLSP-1002	〃	o-78	1	IVc	鉢	〃	渦文/羽状縄文	
図IV-185-48	RLSP-1020	〃	q-78	1	IVc-1	深鉢	口縁	突瘤/LR縄文	建物跡3
図IV-185-49	RLSP-1086	〃	y-71	1	IVc	〃	胴	平行沈線/LR縄文	建物跡1
図IV-185-50	RLSP-1163	〃	q-75	1	IVc-1	鉢	口縁	〃 / 〃	建物跡5
図IV-185-51	〃	〃	〃	1	IVc	深鉢	胴	〃・曲沈線・無文帯/LR縄文	〃 5
図IV-185-52	RLSP-1177	〃	s-75	1	IVc	〃	〃	〃・無文帯/LR縄文	
図IV-185-53	RLSP-1192	〃	s-76	1	IIa	鉢	〃	網文・節の磨消	
図IV-185-54	RLSP-1206	〃	q-78	1	IVc	深鉢	〃	平行沈線・/羽状縄文	
図IV-185-55	RLSP-1215	〃	p-77	2	IVc-1	〃	口縁	突瘤・平行沈線/羽状縄文	
図IV-185-56	RLSP-1260	〃	〃	1	土製品			LR縄文	
図IV-185-57	RLSP-1269	〃	p-76	1	IVc	注口	胴	木葉沈線文	建物跡5'
図IV-185-58	RLSP-1271	〃	〃	1	IVc	深鉢	〃	平行沈線・鋸歯状沈線/縄文	建物跡27'
図IV-185-59	RLSP-1273	〃	〃	1	IVc-1	〃	口縁	突瘤・平行・鋸歯状沈線/RL縄文	建物跡5'
図IV-185-60	RLSP-1314	〃	v-75	1	IVc	〃	胴	鋸歯状沈線/RL縄文	建物跡30'
図IV-185-61	RLSP-1321	〃	r-76	1	IVc	〃	〃	平行沈線・曲沈線/LR縄文	建物跡5'
図IV-185-62	RLSP-1351	〃	u-74	1	IVc-1	〃	口縁	突瘤・平行沈線・無文帯/LR縄文	
図IV-185-63	RLSP-1358	〃	v-74	1	IVb-4	〃	胴	刻み列/LR縄文	
図IV-185-64	RLSP-1361	〃	r-77	1	IVc	〃	〃	平行沈線/RL縄文	
図IV-185-65	RLSP-1389	〃	t-74	1	IVc	〃	底	RL・LR縄文	
図IV-185-66	RLSP-1435	〃	r-65	1	IVc-1	〃	口縁	突瘤/LR縄文	建物跡76
図IV-185-67	RLSP-1436	〃	〃	1	IVb-4	〃	〃	刻み列・突瘤/LR縄文	建物跡75
図IV-185-68	〃	〃	〃	1	IVc	〃	胴	イナズマ状沈線/羽状縄文	〃 75
図IV-185-69	RLSP-1529	〃	r-66	2	IVc	〃	〃	平行沈線・無文帯/羽状縄文	
図IV-185-70	RLSP-1588	〃	q-67	1	IVc-1	〃	口縁	突瘤・平行沈線/RL縄文	建物跡81
図IV-185-71	RLSP-1562	〃	q-66	1	IVc-1	鉢	〃	LR縄文	
図IV-185-72	RLSP-1526	〃	〃	1	IVc-1	〃	〃	突瘤/羽状縄文	
図IV-185-73	RLSP-1570	〃	q-65	1	IVc-1	深鉢	〃	〃/LR縄文	
図IV-185-74	RLSP-1629	〃	q-68	1	IVc-1	鉢	胴	ハの字状短刻線/縄文	建物跡80
図IV-185-75	RLSP-1639	〃	〃	1	IVc-1	〃	口縁	平行沈線・弧線文/縄文	〃 80

表IV-196 柱穴状ピット(RLP)出土掲載石器一覧(1)

図番号	遺構	発掘区	層位	遺物番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	建物No.
図IV-186-1	RLP-6	s-65	覆土		石鏃	IA4b	(1.6)	1.6	0.2	(0.5)	黒曜石	
図IV-186-2	RLP-7	q-66	覆土上層		石斧	IVA8	(4.0)	4.2	1.5	(32.0)	緑色泥岩	建物跡67
図IV-186-3	RLP-10	s-65	覆土中層		〃	IVA5	(5.9)	3.8	1.0	(42.2)	〃	建物跡74
図IV-186-4	RLP-11	r-66	〃		〃	〃	(8.3)	4.95	2.9	(177.8)	泥岩	建物跡73'
図IV-186-5	RLP-13	q-66	覆土上層		石鏃	IA7b	(3.3)	1.6	0.62	(1.9)	黒曜石	建物跡68
図IV-186-6	〃	〃	墳底直上		石皿	VIII A1	(18.8)	11.5	12.1	(3600.0)	砂岩	〃 68
図IV-186-7	RLP-14	q-68	覆土中層		たたき石	VA4	(9.2)	8.9	3.9	(422.1)	〃	建物跡67
図IV-186-8	RLP-15	〃	覆土上層		Rフレイク	XA1b	3.45	1.9	0.9	5.0	黒曜石	建物跡71
図IV-186-9	〃	〃	覆土中層		たたき石	VA3	6.3	6.5	5.4	406.1	緑色泥岩	〃 71
図IV-186-10	RLP-20	r-66	〃		石鏃	IA8	3.55	1.9	0.4	2.4	黒曜石	建物跡68
図IV-186-11	RLP-23	q-65	覆土上層		〃	〃	(2.8)	2.0	0.88	3.2	〃	建物跡73・73'
図IV-186-12	〃	〃	〃		石斧	IVA4	11.8	4.1	2.4	168.7	片岩	〃 73・73'
図IV-186-13	〃	〃	覆土中層		〃	IVA5	9.15	4.45	2.4	135.9	緑色泥岩	〃 73・73'
図IV-186-14	〃	〃	覆土上層		たたき石	VA4	14.35	3.4	2.5	240.0	泥岩	〃 73・73'
図IV-187-15	RLP-27	q-66	覆土最下層		スクレイパー	III B6	6.12	2.33	1.1	7.1	黒曜石	建物跡69

表IV-197 柱穴状ピット (RLP) 出土掲載石器一覧(2)

図番号	遺構	発掘区	層位	遺物 器号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	建物No.
図IV-187-16	RLP-28	r-67	覆土上層		スクレイパー	III B6	4.3	2.8	1.35	9.2	黒曜石	建物跡67
図IV-187-17	RLP-30	〃	覆土中層		〃	〃	2.79	4.55	1.22	13.5	〃	建物跡69
図IV-187-18	〃	〃	〃		Rフレイク	X A1b	(3.15)	1.9	0.9	(5.3)	〃	〃 69
図IV-187-19	RLP-45	n-75	覆土		石鏃	I A7c	(2.9)	1.65	0.4	(1.6)	〃	
図IV-187-20	RLP-46	〃	〃		Rフレイク	X A1b	3.65	2.7	1.0	8.4	〃	
図IV-187-21	RLP-47	q-66	覆土上層		〃	〃	2.8	4.4	1.1	9.6	〃	
図IV-190-40	RLP-33	q-68	城底直上	1	台石	III A1	(20.5)	(31.7)	5.9	(3900.0)	安山岩	建物跡68

表IV-198 柱穴状ピット (RLSP) 出土掲載石器一覧

図番号	遺構	発掘区	層位	遺物 器号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	建物No.
図IV-187- 1	RLSP-4	q-69	覆土4層		Rフレイク	X A1b	(2.8)	1.77	0.62	(2.5)	黒曜石	建物跡55
図IV-187- 2	RLSP-12	q-70	覆土		〃	〃	(2.47)	2.28	0.65	(2.9)	〃	建物跡12
図IV-187- 3	RLSP-25	〃	〃		たたき石	V A2	9.4	8.0	5.2	452.2	砂岩	建物跡55
図IV-187- 4	RLSP-36	〃	〃		Rフレイク	X A1b	4.39	3.68	0.69	9.1	黒曜石	
図IV-187- 5	〃	〃	〃		〃	〃	2.83	3.99	0.48	5.4	〃	
図IV-187- 6	〃	〃	〃		〃	〃	4.39	3.55	1.05	13.2	〃	
図IV-187- 7	〃	〃	〃		〃	〃	5.81	5.21	1.0	25.2	〃	
図IV-187- 8	〃	〃	〃		〃	〃	4.41	4.72	1.2	21.3	〃	
図IV-188- 9	RLSP-120	r-73	〃		たたき石	V A1	9.6	6.2	4.3	339.8	緑色泥岩	建物跡41
図IV-188-10	RLSP-153	p-71	〃		〃	V A2	6.6	(5.5)	4.9	(306.3)	片麻岩	建物跡54
図IV-188-11	RLSP-155	q-74	〃		石鏃	I A7c	2.75	1.55	0.5	1.2	黒曜石	建物跡45
図IV-188-12	RLSP-235	r-72	〃		たたき石	V A2	7.5	6.5	3.5	313.9	片麻岩	建物跡46
図IV-188-13	RLSP-347	s-72	〃		石鏃	I A7c	2.7	1.3	0.43	1.2	黒曜石	建物跡49・49'
図IV-188-14	RLSP-392	s-73	〃		石皿	VIII A1	(12.5)	(11.2)	3.6	(420.0)	砂岩	建物跡7'
図IV-188-15	RLSP-462	s-74	〃		Rフレイク	X A1b	2.35	3.48	1.5	8.9	黒曜石	
図IV-188-16	RLSP-490	t-71	〃		石斧	IV A5	9.7	4.0	1.5	97.5	緑色泥岩	建物跡9
図IV-188-17	RLSP-554	t-74	〃		石皿	VIII A1	(14.1)	(14.8)	6.7	(1630.0)	砂岩	
図IV-188-18	RLSP-560	u-71	〃		たたき石	V A4	(8.5)	6.2	2.5	(214.3)	〃	建物跡34
図IV-188-19	RLSP-651	u-65	〃		スクレイパー	III B6	(5.0)	3.65	1.0	(15.5)	黒曜石	建物跡59'
図IV-188-20	RLSP-834	w-71	〃		石鏃	I A7c	(2.15)	1.6	0.4	(0.8)	〃	建物跡34
図IV-188-21	〃	〃	〃		砥石	VII B8	(11.9)	(5.9)	3.1	(167.4)	砂岩	〃 34
図IV-189-22	RLSP-943	s-67	〃		たたき石	V A8	(7.2)	(4.3)	(4.1)	(149.6)	〃	建物跡12
図IV-189-23	RLSP-978	t-65	〃		Rフレイク	X A1b	(2.41)	(1.72)	0.45	(1.5)	黒曜石	建物跡85
図IV-189-24	RLSP-1081	y-71	〃		石斧	IV A8	9.0	4.5	2.05	120.4	緑色泥岩	建物跡1
図IV-189-25	〃	〃	〃		たたき石	V A2	5.55	4.8	4.2	185.9	片麻岩	〃 1
図IV-189-26	RLSP-1163	q-75	〃		〃	V A3	7.1	7.3	6.9	600.0	〃	建物跡 5
図IV-189-27	RLSP-1337	r-76	〃		〃	〃	6.8	6.8	5.9	303.4	珪岩	
図IV-189-28	RLSP-1375	y-70	〃		砥石	VII B8	(7.6)	(4.7)	4.1	(154.8)	砂岩	建物跡2
図IV-189-29	RLSP-1443	r-65	〃		石鏃	I A8	(2.15)	1.25	0.4	(0.8)	黒曜石	建物跡98
図IV-189-30	〃	〃	〃		スクレイパー	III B8	(3.05)	4.15	0.9	(9.4)	〃	〃
図IV-189-31	〃	〃	〃		石斧	IV A5	(7.3)	4.1	1.7	(92.2)	緑色泥岩	〃
図IV-189-32	RLSP-1526	q-66	〃		スクレイパー	III B6	5.3	5.4	1.0	15.1	黒曜石	
図IV-189-33	RLSP-1535	q-65	〃		Rフレイク	X A1b	(3.45)	2.85	0.48	(3.4)	〃	
図IV-189-34	RLSP-1588	q-67	〃		石鏃	I A7b	(2.65)	1.35	0.35	(0.8)	〃	建物跡81
図IV-189-35	〃	〃	〃		Rフレイク	X A1b	3.06	1.59	0.41	1.6	〃	〃 81
図IV-189-36	RLSP-1613	r-68	〃		石鏃	I A7b	(2.15)	1.4	0.32	(0.9)	〃	
図IV-189-37	RLSP-1663	t-75	〃		〃	I A7c	2.6	1.2	0.25	0.4	〃	
図IV-190-38	RLSP-1690	u-66	〃		すり石	VI A2	19.2	9.4	6.5	1410.0	安山岩	
図IV-189-39	RLSP-1832	r-67	〃		石斧	IV A8	9.1	5.5	2.3	141.7	緑色泥岩	

表IV-199 土壌(RLP)出土掲載土器一覧

図番号	遺構	層位	発掘区	遺物 番号	点数	分類	器種	部位	文様/地文	備考
図IV-191-1	RLP-1	覆土8	P-90		1	IVc	注口	胴	木葉文/羽状縄文	
図IV-191-2	〃	〃	〃		1	IVc-1	鉢	口縁	平行沈線/LR縄文	
図IV-191-3	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	胴	〃・貼瘤・刺突列/RL縄文	
図IV-191-4	RLP-4	覆土1	Q-82	4	1	IVc-1	深鉢	口縁	突瘤・平行沈線・無文帯/RL縄文	} 接合
				5	2					
図IV-191-5	〃	〃	〃	3	1	IVc-1	〃	〃	〃・〃・〃/〃	
図IV-191-6	RLP-5	〃	P-81		1	Ib-1	〃	胴	組紐圧痕	
図IV-191-7	〃	〃	〃	1	3	Ib-4	〃	〃	捺糸文・絡条体圧痕	
図IV-191-8	〃	〃	〃		1	IVc	鉢	底	縄文	
図IV-191-9	RLP-12	覆土上位	Q-65	1	1	IVc-1	深鉢	口縁	突瘤/RL・LR縄文	
図IV-191-10	RLP-34	覆土1	Q-79	76	1	IVa	〃	〃	縄文圧痕(口唇上)	
図IV-191-11	〃	〃	〃	17	1	IVb-4	〃	〃	刻み列・弧線文/LR縄文	
図IV-191-12	〃	〃	〃	60	1	IVc	〃	胴	縦位带状文・平行沈線/羽状縄文	
図IV-191-13	〃	〃	〃	67	1	IVc-1	〃	口縁	突瘤/無文	
図IV-191-14	〃	〃	〃	54	1	IVc-1	注口	胴	ハの字状短刻線/磨消・縄文	
図IV-191-15	〃	〃	〃	70	1	IVc	〃	〃	木葉文/羽状縄文	アスファルト補修
図IV-191-16	〃	〃	〃	84	1	IVc	〃	注口	曲線带状文/羽状縄文	
図IV-191-17	RLP-35	覆土3	P-79	2	1	IVc-1	深鉢	口~底	突瘤・貫通孔/羽状縄文 口径20.0cm 底径6.8cm 器高13.9cm	} 接合
				5	1				平縁・切出形口唇、平底	
				24	2					
				35	1					
				36	1					
図IV-192-18	RLP-36	覆土1	P-78	5	1	Ib-1	深鉢	胴	組紐圧痕・縄文	
図IV-192-19	〃	〃	〃	73	1	Ib-4	〃	口縁	刻み列・突瘤/RL縄文	
図IV-192-20	〃	覆土2	〃	114	1	IVc-1	鉢	〃	平行沈線・弧線文/無文	
図IV-192-21	〃	覆土1	〃	70	3	IVc-1	注口	〃	無文帯/RL縄文	
図IV-192-22	〃	〃	〃	14	1	IVc	深鉢	胴	鋸歯状沈線・平行沈線/羽状縄文	
図IV-192-23	〃	〃	〃	45	3	IVc-1	〃	口~底	突瘤/乱れた羽状縄文 口径21.7cm 底径8.0cm 器高15.4cm	} 接合
				68	1				平縁・弱い切出形口唇、平底	
		覆土2		86	1					
				96	1					
				100	1					
図IV-192-24	〃	覆土1	〃	26	1	IVc-1	〃	口~底	平行沈線・イナズマ状沈線文/RL縄文 平縁・角形口唇、やや弱い くびれ	} 補修孔あり } 接合
				32	2					
				35	2					
				87	5					
		覆土2		106	1					
				113	1					
				117	1					
	RLP-36F1	覆土1		5	2					
				7	1					
				9	1					
図IV-192-25	RLP-39	〃	P-77	1	2	IVc-1	〃	口縁	突瘤・平行沈線/羽状縄文	
図IV-192-26	RLP-51	覆土	Q-69		1	IVc-1	〃	〃	〃/LR縄文	小波状口縁
図IV-192-27	RLP-52	〃			1	Ib-4	〃	胴	捺糸文	

表IV-200 土壌 (RPL) 出土掲載石器一覧

図番号	遺構	発掘区	層位	遺物 番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図IV-193-1	RLP-12	q-65	覆土上層		すり石	VIA2	6.2	3.8	2.6	73.1	珉岩	
図IV-193-2	RLP-35	p-75	覆土1層	14	たたき石	VA2	13.75	10.9	4.0	780.0	砂岩	
図IV-193-3	〃	〃	覆土2層	34	石皿	VIA1	(9.5)	(14.8)	3.7	(866.5)	〃	
図IV-193-4	RLP-36	p-78	覆土1層	11	石鎌	IA7c	2.95	1.25	0.6	1.06	黒曜石	
図IV-193-5	〃	〃	〃	1	たたき石	VA2	10.5	8.3	5.7	710.0	緑色泥岩	
図IV-193-6	〃	〃	〃	90	〃	VA3	5.2	4.6	4.7	191.9	片麻岩	
図IV-193-7	RLP-52	y-72	覆土	1	スクレイパー	III B6	(3.1)	5.5	1.15	15.86	黒曜石	

表IV-201 焼土 (RLF) 出土掲載土器一覧(1)

図番号	遺構	層位	発掘区	遺物 番号	点数	分類	器種	部位	文様/地文	備考
図IV-194-1	RLF-257	焼土	w-65		1	Ib	深鉢	胴	短縄文	
図IV-194-2	〃	〃	〃		1	IVb-2	〃	〃	平行沈線・楕円区画文/LR縄文	
図IV-194-3	〃	〃	〃		1	IVb-4	〃	口縁	刻み列/羽状縄文	
図IV-194-4	〃	〃	〃		1	IVb-4	〃	〃	〃 /LR縄文	
図IV-194-5	〃	〃	〃		1	IVb-4	鉢	〃	〃 /RL縄文	内面刺突
図IV-194-6	〃	〃	〃		1	IVb-4	深鉢	〃	〃 ・磨消/RL縄文	
図IV-194-7	〃	〃	〃		1	IVb-4	〃	胴	〃 ・無文帯	
図IV-194-8	〃	〃	〃		1	IVb-4	〃	口縁	〃 ・突瘤/羽状縄文	
図IV-194-9	〃	〃	〃		1	IVb-4	〃	〃	〃 ・ 〃 / 〃	
図IV-194-10	〃	〃	〃		2	IVc-1	〃	〃	突瘤/羽状縄文	} 接合
	RLF-258	〃	〃		1				平縁・切出形口唇	
図IV-194-11	RLF-257	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	〃 /LR縄文	
図IV-194-12	〃	〃	〃		2	IVc-1	〃	〃	〃 / 〃	
図IV-194-13	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	〃 ・ 平行沈線/LR縄文	
図IV-194-14	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 曲沈線/RL縄文	
図IV-194-15	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	〃 ・ 鋸歯状沈線/羽状縄文	
図IV-194-16	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	〃 ・ 平行沈線/羽状縄文	
図IV-194-17	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	羽状縄文	
図IV-194-18	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	平行沈線/羽状縄文	
図IV-194-19	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	〃 ・ 弧線文/LR縄文	
図IV-194-20	〃	〃	〃		2	IVc	〃	胴	木葉文・磨消・平行沈線/羽状縄文	
図IV-194-21	〃	〃	〃		7	IVc	〃	底	LR縄文	} 接合
	RLF-258	〃	〃		1				底径5.8cm	
図IV-194-22	RLF-257	〃	〃		1	IVc	〃	胴	平行沈線・弧線文/LR縄文	
図IV-194-23	〃	〃	〃		1	IVc	注口	〃	貼瘤・木葉文/羽状縄文	
図IV-194-24	〃	〃	〃		1	IVc	〃	注口	RL縄文	
図IV-194-25	〃	〃	〃		6	IVc-1	鉢	口縁	無文	
図IV-194-26	〃	〃	〃		1	IVc	台付鉢	台	〃	
図IV-194-27	〃	〃	〃		1	焼成粘土塊			不整形	
図IV-194-28	RLF-258	〃	〃		1	IVa	深鉢	胴	LR縄文	
図IV-194-29	〃	〃	〃		2	IVb-4	〃	〃	刻み列・無文帯/LR縄文	
図IV-194-30	〃	〃	〃		1	IVb-4	〃	口縁	〃 ・ 斜行沈線/RL縄文	
図IV-194-31	〃	〃	〃		1	IVb-4	〃	〃	〃 ・ 突瘤/羽状縄文	
図IV-194-32	〃	〃	〃		1	IVb-4	〃	〃	〃 /羽状縄文	
図IV-194-33	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	突瘤・平行沈線/羽状縄文	
図IV-194-34	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	〃 /LR縄文	
図IV-194-35	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	〃 /羽状縄文	
図IV-194-36	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	〃 ・ 平行沈線/羽状縄文	
図IV-194-37	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	平行沈線・無文帯/羽状縄文	} 接合
	RLF-257	〃	〃		1					
図IV-194-38	RLF-258	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	曲沈線/LR縄文	

表IV-202 焼土(RLF)出土掲載土器一覧(2)

図番号	遺構	層位	発掘区	遺物番号	点数	分類	器種	部位	文様/地文	備考
図IV-195-39	RLF-258	焼土	w-65		2	IVc-1	深鉢	口縁	平行沈線/RL縄文	
図IV-195-40	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	〃	RL縄文	
図IV-195-41	〃	〃	〃		4	IVc-1	〃	〃	突瘤/無文	
図IV-195-42	〃	〃	〃		2	IVc-1	〃	〃	イナズマ状沈線文/RL縄文	} 接合
	RLR-3	1	〃	203	3				波状口縁・切出形口唇	
図IV-195-43	RLF-258	焼土	〃		2	IVc	〃	胴	鋸歯状沈線・平行沈線/RL縄文	
図IV-195-44	〃	〃	〃		1	IVc	〃	〃	格子目文/LR縄文	
図IV-195-45	〃	〃	〃		1	IVc	〃	〃	弧線文/〃	
図IV-195-46	〃	〃	〃		1	IVc	〃	〃	弧線文・平行沈線/RL縄文	
図IV-195-47	〃	〃	〃		1	IVc-1	〃	口縁	LR縄文	
図IV-195-48	〃	〃	〃		1	IVc	鉢	胴	木葉文/羽状縄文	
図IV-195-49	〃	〃	〃		5	IVc-1	深鉢	口~底	無文 口径18.6cm 器高12.0cm	
図IV-195-50	〃	〃	〃		10	IVc-1	〃	口~胴	突瘤・平行沈線/RL縄文	} 接合
	RLF-257	〃	〃		3				平縁・丸みを帯びた口唇	
図IV-196-51	RLF-14	〃	y-75	2	1	IVc-1	〃	口縁	突瘤/LR縄文	
図IV-196-52	〃	〃	〃	3	1	IVc	注口	胴	曲線带状文/羽状縄文	
図IV-196-53	RLF-199	〃	t-80	1	1	IVb-4	深鉢	〃	刻み列・無文帯/RL縄文	
図IV-196-54	RLF-200	〃	t-81	32	1	IVb-4	〃	口縁	刻み列・無文帯/羽状縄文	
図IV-196-55	〃	〃	〃	4	3	IVc-1	〃	〃	突瘤・RL縄文	
図IV-196-56	〃	〃	〃	16	1	IVb-4	〃	胴	刻み列・無文帯	
図IV-196-57	〃	〃	〃	33	1	IVc	〃	底	LR縄文	
図IV-196-58	〃	〃	〃	23	1	IVc	注口	頸	平行沈線・無文帯/RL縄文	} 接合
			t-80	25	2					
図IV-196-59	〃	〃	t-81	14	1	焼成粘土塊			卵形(沈線あり)	
図IV-196-60	RLF-201	〃	x-77		1	IVc	深鉢	胴	羽状縄文	
図IV-196-61	RLF-240	〃	s-80	1	1	IVc	〃	〃	無文帯/LR縄文	
図IV-196-62	RLF-263	〃	p-78	1	1	IVc-1	〃	口縁	突瘤・平行沈線/LR縄文	
図IV-196-63	RLF-264	〃	y-71	1	1	IVc-1	〃	〃	〃/LR縄文	

表IV-203 焼土(RLF)出土掲載石器一覧

図番号	遺構	発掘区	層位	遺物番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図IV-197-1	RLF-257	w-65	焼土中		石鏃	IA7c	(2.4)	(1.3)	(0.35)	(1.0)	黒曜石	
図IV-197-2	〃	〃	〃		スクレイパー	III B6	3.35	3.4	1.25	13.7	〃	
図IV-197-3	〃	〃	〃		〃	III B5	5.5	2.9	6.0	8.0	〃	
図IV-197-4	〃	〃	〃		石斧	IV A8	(7.5)	4.1	1.5	(58.1)	片岩	
図IV-197-5	〃	〃	〃		石皿	VII A1	(8.7)	(10.7)	2.7	(275.8)	砂岩	
図IV-197-6	RLF-258	〃	〃		石鏃	IA8	2.4	(1.2)	0.3	(0.6)	黒曜石	
図IV-197-7	〃	〃	〃		〃	IA7b	(2.15)	1.35	0.45	(0.9)	〃	
図IV-197-8	〃	〃	〃		石製品		2.1	2.1	0.9	5.1	カンラン岩	垂飾

表IV-204 流水跡(RLR)出土掲載土器一覧(1)

図番号	遺構	層位	発掘区	遺物番号	点数	分類	器種	部位	文様/地文	備考
図IV-198-1	RLR-3	1	v-66	373	1	IVa	深鉢	胴	貼付隆帯/縄文	
図IV-198-2	〃	〃	〃	397	1	IVa	〃	〃	RL縄文	
図IV-198-3	〃	〃	v-65	318	1	IVb-4	〃	口縁	刻み列・弧線文/RL縄文	
図IV-198-4	〃	〃	w-66	498	1	IVb-4	〃	〃	〃・〃/〃	
図IV-198-5	〃	〃	v-66	551	1	IVb-4	鉢	〃	〃・〃・磨消/RL縄文	
図IV-198-6	〃	〃	w-66	535	1	IVb-4	〃	〃	〃/LR縄文	
図IV-198-7	〃	〃	v-66	291	1	IVb-4	深鉢	〃	〃/〃	
図IV-198-8	〃	〃	w-65	518	1	IVb-4	〃	〃	刻み列/羽状縄文	
図IV-198-9	〃	〃	v-66	133	1	IVb-4	〃	〃	〃/〃	

表IV-205 流水跡 (RLR) 出土掲載土器一覽(2)

図番号	遺構	層位	発掘区	遺物 層位	点数	分類	器種	部位	文様/地文	備考
図IV-198-10	RLR-3	1	v-66	38	1	IVb-4	深鉢	口縁	刻み列/無文	
図IV-198-11	〃	〃	〃	545	1	IVb-4	〃	胴	〃 /RL縄文	
図IV-198-12	〃	〃	w-64	353	1	IVb-4	注口	〃	〃 ・曲線帯状文/羽状縄文	
図IV-198-13	〃	〃	v-65	298	1	IVb-4	深鉢	口縁	〃 ・弧線文/RL縄文	内面赤彩
図IV-198-14	〃	〃	v-66	243	1	IVb-4	〃	胴	〃 ・無文帯/LR縄文	
図IV-198-15	〃	〃	v-65	68	2	IVb-4	〃	口縁	〃 /羽状縄文 平縁+突起・切出形口唇	} 接合
			〃	285	1					
		SE-1	v-66	68	1					
		〃	v-65		1					
		〃	w-66		1					
図IV-198-16	〃	1	v-66	182	1	IVb-4	〃	胴	刻み列・平行沈線・鋸歯状沈線・弧線文/羽状縄文	} 接合
			〃	207	1					
			〃	262	1					
			〃	263	1					
			〃	275	1					
図IV-198-17	〃	〃	v-65	504	1	IVb-4	〃	口縁	刻み列・突瘤/LR縄文	
図IV-198-18	〃	〃	v-66	193	1	IVb-4	〃	〃	〃 ・ 〃 /羽状縄文 平縁+突起・切出形口唇	} 接合
			〃	195	1					
			〃	215	1					
			〃	216	1					
図IV-198-19	〃	〃	w-65	318	1	IVb-4	〃	〃	刻み列・突瘤/LR縄文	
図IV-198-20	〃	〃	〃	192	1	IVb-4	〃	〃	〃 ・ 〃 /羽状縄文 平縁・切出形口唇	} 接合
			v-66	193	1					
			w-64	355	2					
図IV-198-21	〃	〃	v-66	231	4	IVb-4	〃	口~胴	刻み列・突瘤/羽状縄文 平縁・切出形口唇	} 接合
			〃	389	10					
			w-66	534	1					
図IV-199-22	〃	〃	w-65	300	1	IVc-1	鉢	口縁	突瘤・平行沈線/RL縄文	
図IV-199-23	〃	〃	v-6	62	2	IVc-1	深鉢	〃	〃 ・ 〃 /羽状縄文	
図IV-199-24	〃	〃	w-66	404	1	IVc-1	〃	〃	〃 ・ 〃 ・ 弧線文/羽状縄文	
図IV-199-25	〃	〃	v-65	297	1	IVc-1	〃	〃	〃 /無文	
図IV-199-26	〃	〃	w-66	187	1	IVc-1	鉢	〃	平行沈線・弧線文	
図IV-199-27	〃	〃	w-65	528	1	IVc-1	深鉢	〃	無文帯/羽状縄文	
図IV-199-28	〃	〃	w-66	105	1	IVc-1	〃	〃	平行沈線・弧線文/LR縄文	
図IV-199-29	〃	〃	w-65	489	1	IVc-1	鉢	〃	LR縄文	
図IV-199-30	〃	〃	v-65	17	1	IVc	深鉢	胴	イナズマ状沈線文/RL・LR縄文	
図IV-199-31	〃	〃	w-65	437	1	IVc	〃	〃	弧線文/羽状縄文	
図IV-199-32	〃	〃	〃	320	1	IVc	〃	〃	鋸歯状沈線・平行沈線/LR縄文	
図IV-199-33	〃	〃	〃	527	1	IVc	注口	〃	曲線帯状文(・刻み)/LR縄文	
図IV-199-34	〃	〃	v-66	123	1	IVc	〃	〃	平行沈線/RL・LR縄文	} 接合
		SE-1	〃		1					
図IV-199-35	〃	1	〃	265	1	IVc	〃	〃	曲線帯状文/LR縄文	内面赤彩
図IV-199-36	〃	〃	〃	429	1	IVc-1	深鉢	口~胴	突瘤/LR縄文 平縁・角形口唇	} 接合
			〃	270	1					
図IV-199-37	〃	〃	〃	90	2	IVc-1	鉢	口~底	RL・LR縄文 平縁・切出形口唇	} 接合
			〃	278	1					
図IV-199-38	〃	〃	w-65	436	4	IVc-1	深鉢	〃	突瘤/RL縄文 口径27.4cm 底径8.4cm 器高21.3cm 平縁・角形口唇・平底	} 接合
			v-65	435	1					
			〃	53	2					
		SE-1	〃		1					

表IV-206 流水跡(RLR) 出土掲載土器一覧(3)

図番号	遺構	層位	発掘区	遺物番号	点数	分類	器種	部位	文様/地文	備考	
図IV-199-39	RLR-3	1	w-66	562	1	IVc-1	鉢	口～底	RL・LR縄文 平縁・角形口唇	} 接合	
				557	1						
図IV-199-40	〃	〃	w-65	479	1	IVc	〃	底	羽状縄文		
図IV-199-41	〃	〃	〃	8	1	IVc	注口	注口	縄文		
図IV-199-42	〃	〃	v-66	383	4	IVc-1	深鉢	口～底	突瘤/RL縄文 口径24.0cm 底径8.4cm 器高15.7cm 平縁・角形口唇・平底	} 接合	
				393	1						
				w-66	412						1
				〃	571						6
				〃	580						1
v d下位	w-67	1	1								

表IV-207 流水跡(RLR) 出土掲載石器一覧

図番号	遺構	発掘区	層位	遺物番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図IV-200-1	RLR-3	w-66	覆土1層	497	スクレイパー	III B6	5.4	2.95	0.9	6.59	黒曜石	
図IV-200-2	〃	v-65	〃	307	〃	〃	4.6	(3.5)	1.1	(11.0)	〃	
図IV-200-3	〃	w-65	〃	336	〃	〃	(3.2)	4.9	1.0	(8.53)	〃	
図IV-200-4	〃	v-65	〃	322	石斧	IV A5	(7.2)	2.75	1.05	(40.0)	片岩	
図IV-200-5	〃	〃	〃	321	〃	〃	(7.95)	3.3	0.9	(50.0)	緑色泥岩	
図IV-200-6	〃	v-66	〃	384	石皿	VII A1	(11.35)	(8.9)	3.3	(300.0)	砂岩	

表IV-208 遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLP)

遺構名	出土層位	I b	I b-1	I b-4	IIa	IIIb	IVa	IVb-4	IVc	IVc-0	IVc-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLP-7	覆土上層								116		38				154
RLP-10	〃 中層								10						10
	〃 下層								8						8
計									18						18
RLP-11	覆土上層								26		4				30
	〃 中層								11						11
計									37		4				41
RLP-13	覆土上層								27		5				32
	〃 中層								10		2				12
	〃 下層								14		4				18
計									51		11				62
RLP-14	覆土上層								39		11				50
	〃 中層								15						15
	〃 下層								2						2
計									56		11				67
RLP-15	覆土上層								16		2				18
	〃 中層								32		2				34
	〃 下層								16		1				17
計									64		5				69
RLP-20	覆土上層								1		6				7
	〃 中層								17		3				20
	〃 下層								4		3				7
計									22		12				34
RLP-23	覆土上層								15		1				16
	〃 中層								9		1				10
	〃 下層							1	31		2			1	35
計								1	55		4			1	61
RLP-24	覆土中層								2		1				3
RLP-27	〃 上層								20		2				22
	〃 中層								6		3				9
	〃 下層								4						4
計									30		5				35
RLP-28	覆土上層								45		10				55
	〃 中層								4		3				7
	〃 下層								2		1				3
計									51		14				65
RLP-30	覆土上層								5		3				8
	〃 中層								90		17				107
計									95		20				115
RLP-31	覆土上層								9		25				34
	〃 中層								4		3				7
計									13		28				41
RLP-33	覆土上層								3						3
	〃 中層								5		2				7
計									8		2				10
RLP-42	覆土中層										1				1
合計								1	618		156			1	776

表Ⅳ-209 遺構別出土土器一覽 建物跡(RLSP)(1)

遺構名	出土層位	Ib	Ib-1	Ib-4	IIa	IIIb	IVa	IVb-4	IVc	IVc-0	IVc-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLSP-4	覆土3層								1						1
	〃 4層								6						6
	〃 9層					2			2						4
計						2			9						11
RLSP-5	覆土1層								7						7
RLSP-7	覆土								3		2				5
RLSP-20	〃								7						7
RLSP-25	覆土上層								3						3
RLSP-40	覆土								3		1				4
RLSP-47	〃								1		1				2
RLSP-87	〃								1						1
RLSP-95	〃								3						3
RLSP-101	〃								2		1				3
RLSP-115	〃										1				1
RLSP-118	〃								1						1
RLSP-120	〃								3		1				4
RLSP-127	〃								2						2
RLSP-133	〃								1		1				2
RLSP-136	〃								1						1
RLSP-140	〃								1						1
RLSP-142	覆土上位								1						1
	〃 下位								5						5
計									6						6
RLSP-144	覆土上位								2		1				3
	〃 下位								1						1
計									3		1				4
RLSP-145	覆土								40		3			1	44
RLSP-153	〃								17		2				19
RLSP-155	〃								1						1
RLSP-158	〃								5		2				7
RLSP-186	〃								36		1				37
RLSP-189	〃								1						1
RLSP-204	〃								2						2
RLSP-224	〃								2						2
RLSP-231	〃										1				1
RLSP-235	〃								1						1
RLSP-247	〃								2		1				3
RLSP-263	〃								6		1				7
RLSP-264	〃								4		4				8
RLSP-265	〃										1				1
RLSP-299	〃								3						3
RLSP-314	〃								2						2
RLSP-315	〃								2						2
RLSP-321	〃								3						3
RLSP-333	〃								3						3
RLSP-338	〃										2				2
RLSP-352	〃								2		2				4
RLSP-354	〃								5		2				7
RLSP-355	〃								3		1				4

表IV-210 遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLSP) (2)

遺構名	出土層位	I b	I b-1	I b-4	II a	III b	IV a	IV b-4	IV c	IV c-0	IV c-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLSP-416	覆土								1						1
RLSP-439	〃								1		1				2
RLSP-473	〃								1						1
RLSP-478	〃								1						1
RLSP-481	〃								3						3
RLSP-490	〃								3						3
RLSP-541	〃								2						2
RLSP-548	〃								2						2
RLSP-556	〃								1						1
RLSP-559	〃							1	3						4
RLSP-560	〃							9	8		1				18
RLSP-568	〃								1						1
RLSP-575	〃								1						1
RLSP-586	〃										1				1
RLSP-615	〃						1	2	6		7				16
RLSP-627	〃								3						3
RLSP-631	〃								4						4
RLSP-642	〃										1				1
RLSP-649	〃								3						3
RLSP-650	〃								1						1
RLSP-656	〃								7						7
RLSP-669	〃								4						4
RLSP-670	〃								8		1				9
RLSP-705	〃								2						2
RLSP-706	〃								2						2
RLSP-707	〃								1						1
RLSP-720	〃								4		7				11
RLSP-721	〃								14		1				15
RLSP-730	〃								1						1
RLSP-797	〃								5		1				6
RLSP-822	〃								1						1
RLSP-823	〃								1						1
RLSP-826	〃								1						1
RLSP-834	〃								4						4
RLSP-840	〃								2						2
RLSP-876	〃								3						3
RLSP-882	〃								1						1
RLSP-892	〃								2						2
RLSP-896	〃								1						1
RLSP-943	〃								1						1
RLSP-947	〃								2						2
RLSP-978	〃								1						1
RLSP-991	〃							1							1
RLSP-1020	〃								1		1				2
RLSP-1086	〃								5		2				7
RLSP-1150	〃								18						18
RLSP-1163	〃								6		1				7
RLSP-1170	〃								1						1
RLSP-1174	〃								2						2

表Ⅳ-211 遺構別出土土器一覧 建物跡 (RLSP) (3)

遺構名	出土層位	I b	I b-1	I b-4	II a	III b	IV a	IV b-4	IV c	IV c-0	IV c-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLSP-1193	覆土								1						1
RLSP-1263	〃								7						7
RLSP-1269	〃								1						1
RLSP-1270	〃								1						1
RLSP-1271	〃								1						1
RLSP-1273	〃								3		2				5
RLSP-1275	〃								3						3
RLSP-1276	〃								1						1
RLSP-1280	〃								1						1
RLSP-1300	〃								7						7
RLSP-1314	〃								1						1
RLSP-1315	〃								1						1
RLSP-1321	〃								3						3
RLSP-1323	〃								1						1
RLSP-1340	〃								2						2
RLSP-1374	〃								4		2				6
RLSP-1376	〃								1						1
RLSP-1401	〃								2						2
RLSP-1435	〃								2		1				3
RLSP-1436	〃							1	10		3				14
RLSP-1443	〃													3	3
RLSP-1485	〃										1				1
RLSP-1490	〃								15		2				17
RLSP-1498	〃								1						1
RLSP-1507	〃								1						1
RLSP-1588	〃										1				1
RLSP-1602	〃								1						1
RLSP-1629	〃										1				1
RLSP-1639	〃								3		1				4
RLSP-1671	〃								2						2
RLSP-1935	〃								1						1
合計						2	1	14	420		71			4	512

表Ⅳ-212 遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLP) (1)

遺構名	出土層位	I b	I b-1	I b-4	II a	III b	IV a	IV b-4	IV c	IV c-0	IV c-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLP-6	覆土								37		9				46
RLP-17	覆土上層								2						2
RLP-19	〃 中層								17						17
	〃 下層								9		2				11
計									26		2				28
RLP-22	覆土1層								1						1
RLP-25	覆土								7		1				8
RLP-29	覆土上層								6						6
	〃 下層								5						5
計									11						11
RLP-38	覆土1層								1						1
	〃 5層								3						3
計									4						4

表IV-213 遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLP) (2)

遺構名	出土層位	I b	I b-1	I b-4	IIa	IIIb	IVa	IVb-4	IVc	IVc-0	IVc-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLP-43	覆土							1	12		1				14
RLP-44	〃								22						22
RLP-45	〃								23		2				25
RLP-46	〃								26		2				28
RLP-47	覆土上層								2						2
RLP-48	覆土								37		6				43
合計								1	210		23				234

表IV-214 遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLSP) (1)

遺構名	出土層位	I b	I b-1	I b-4	IIa	IIIb	IVa	IVb-4	IVc	IVc-0	IVc-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLSP-22	覆土								1						1
RLSP-30	〃								1						1
RLSP-32	〃								4						4
RLSP-36	覆土								12		5				17
	覆土上位								7		2				9
	〃 中位								3		3				6
	〃 下位								6						6
計									28		10				38
RLSP-41	覆土								1						1
RLSP-51	〃								1						1
RLSP-56	〃								4						4
RLSP-58	〃								5		1				6
RLSP-61	〃								6						6
RLSP-69	〃								2						2
RLSP-108	〃								3						3
RLSP-141	覆土上位								7						7
	〃 下位								4						4
計									11						11
RLSP-177	覆土							1							1
RLSP-181	〃								14						14
RLSP-208	〃								2						2
RLSP-226	〃								1						1
RLSP-248	〃								3						3
RLSP-259	〃								9						9
RLSP-260	〃										1				1
RLSP-268	〃								1						1
RLSP-275	〃								2						2
RLSP-281	〃								2						2
RLSP-302	〃								1						1
RLSP-325	〃								2						2
RLSP-340	〃								2						2
RLSP-343	〃								1						1
RLSP-344	〃								13						13
RLSP-345	〃								1						1
RLSP-348	〃										1				1
RLSP-362	〃								2						2
RLSP-363	〃								2						2
RLSP-376	〃										1				1
RLSP-408	〃								1						1

表Ⅳ-215 遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLSP) (2)

遺構名	出土層位	Ib	Ib-1	Ib-4	IIa	IIIb	IVa	IVb-4	IVc	IVc-0	IVc-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLSP-412	覆土								5						5
RLSP-414	〃								1						1
RLSP-430	〃								4						4
RLSP-435	〃								14						14
RLSP-453	〃								2						2
RLSP-462	〃								1						1
RLSP-465	〃								1		1				2
RLSP-500	〃								5						5
RLSP-561	〃								2						2
RLSP-578	〃								1						1
RLSP-580	〃								4						4
RLSP-582	〃										1				1
RLSP-592	〃								1						1
RLSP-596	〃								1						1
RLSP-597	〃								2						2
RLSP-602	〃								1		1				2
RLSP-603	〃								7						7
RLSP-612	〃								1						1
RLSP-617	〃								1						1
RLSP-618	〃								2						2
RLSP-647	〃								9		4				13
RLSP-648	〃										2				2
RLSP-652	〃								1						1
RLSP-655	〃								1		1				2
RLSP-671	〃								1						1
RLSP-708	〃								1						1
RLSP-718	〃								1						1
RLSP-722	〃								6						6
RLSP-773	〃										1				1
RLSP-786	〃								1						1
RLSP-831	〃								5						5
RLSP-873	〃								1						1
RLSP-880	〃								1						1
RLSP-883	〃								1						1
RLSP-900	〃								1						1
RLSP-931	〃								1						1
RLSP-936	〃								1						1
RLSP-944	〃								3		2				5
RLSP-983	〃								1						1
RLSP-993	〃								7						7
RLSP-995	〃								2						2
RLSP-998	〃								1						1
RLSP-1001	〃								3						3
RLSP-1002	〃								10						10
RLSP-1003	〃								2						2
RLSP-1008	〃								1						1
RLSP-1022	〃								1						1
RLSP-1023	〃								1						1
RLSP-1030	〃								1						1
RLSP-1036	〃								2						2
RLSP-1038	〃								1						1

表IV-216 遺構別出土土器一覧 柱穴状ピット (RLSP) (3)

遺構名	出土層位	I b	I b-1	I b-4	II a	III b	IV a	IV b-4	IV c	IV c-0	IV c-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLSP-1100	覆土								1						1
RLSP-1101	〃								4						4
RLSP-1117	〃								1						1
RLSP-1134	〃								1						1
RLSP-1167	〃								1						1
RLSP-1177	〃								3						3
RLSP-1192	〃				1				2						3
RLSP-1206	〃								3						3
RLSP-1217	〃								1						1
RLSP-1255	〃										2				2
RLSP-1260	〃											1			1
RLSP-1279	〃								1						1
RLSP-1329	〃								1						1
RLSP-1339	〃								4						4
RLSP-1351	〃								8		1				9
RLSP-1358	〃							1	2		1				4
RLSP-1361	〃								1						1
RLSP-1368	〃								1						1
RLSP-1383	〃								1						1
RLSP-1389	〃								5						5
RLSP-1396	〃										1				1
RLSP-1445	〃								1						1
RLSP-1456	〃								1						1
RLSP-1465	〃								1						1
RLSP-1467	〃								2						2
RLSP-1478	〃								2						2
RLSP-1491	〃								1						1
RLSP-1506	〃								1						1
RLSP-1510	〃										1				1
RLSP-1526	〃										1				1
RLSP-1529	〃								2						2
RLSP-1530	〃								1						1
RLSP-1533	〃								1						1
RLSP-1543	〃								1		1				2
RLSP-1551	〃							1							1
RLSP-1561	〃								1						1
RLSP-1562	〃								9		2				11
RLSP-1567	〃								3		1				4
RLSP-1568	〃								7		1				8
RLSP-1574	〃								1						1
RLSP-1580	〃								1						1
RLSP-1636	〃								2						2
RLSP-1638	〃								4						4
RLSP-1660	〃								2						2
RLSP-1669	〃								2		1				3
RLSP-1670	〃								2						2
RLSP-1677	〃								1						1
RLSP-1860	〃								4		1				5
RLSP-1862	〃								1						1
RLSP-1895	〃								1						1
合計					1			3	346		41	1			392

表Ⅳ-217 遺構別出土土器一覽 土壙 (RLP)

遺構名	出土層位	Ib	Ib-1	Ib-4	IIa	IIIb	IVa	IVb-4	IVc	IVc-0	IVc-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLP-1	覆土1層								6		1				7
	〃 2層								6						6
	〃 8層								11		1				12
	〃 10層								14						14
	計								37		2				39
RLP-4	覆土1層								29		2				31
RLP-5	覆土1層		1	3					1						5
RLP-12	覆土上層		1						9		1			2	13
RLP-34	覆土1層						1	1	77		8				87
RLP-35	覆土1層								17		2				19
	〃 2層								1						1
	〃 3層								4		3				7
	計								22		5				27
RLP-36	覆土1層			1				4	67		25			2	99
	〃 2層								19		4				23
	焼土1層								5						5
	計			1				4	91		29			2	127
RLP-37	覆土1層								5						5
RLP-39	覆土中位								13		2				15
RLP-40	覆土		3						3						6
RLP-51	覆土上層								11		1				12
	〃 下層								5						5
	計								16		1				17
RLP-52	覆土上層								1						1
	〃 下層								1						1
	計								2						2
合計			5	4			1	5	305		50			4	374

表Ⅳ-218 遺構別出土土器一覽 焼土 (RLF)

遺構名	出土層位	Ib	Ib-1	Ib-4	IIa	IIIb	IVa	IVb-4	IVc	IVc-0	IVc-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLF-14	焼土								6		3				9
RLF-199	〃	1													1
RLF-200	〃	1							33		2		1	2	39
RLF-201	〃								2						2
RLF-240	〃								1						1
RLF-254	〃								1						1
RLF-256	〃							2	28		5				35
	焼土上位							2	26		4				32
	〃 下位							2	24		5				31
	計							6	78		14				98
RLF-257	焼土	1					1	25	570		111		1	3	712
RLF-258	〃					1		8	364		54			1	428
RLF-263	〃								2		1				3
RLF-264	〃										1				1
合計		3				1	1	39	1,057		186		2	6	1,295

表Ⅳ-219 遺構別出土土器一覽 流水跡 (RLR)

遺構名	出土層位	Ib	Ib-1	Ib-4	IIa	IIIb	IVa	IVb-4	IVc	IVc-0	IVc-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLR-3	覆土					1	2	63	659	1	119				845

V その他の遺構と遺物

1. 概要

本章では縄文時代後期以外の時期に属する住居跡2軒、土壇2基、焼土10ヵ所、流水跡7ヵ所と出土遺物について説明し、掲載している。

遺構は、住居跡、土壇、焼土、流水跡の順に記載し、いずれも番号順に説明している。

住居跡は位置、規模、確認・調査・土層、床面、壁、炉跡、遺物出土状況、時期、その他の順で説明する。土壇、焼土、流水跡はIV章と同じ記述順序である。

出土遺物は、土壇出土の土器・石器、住居跡出土の遺物（RLH-1出土の土器・石器、RLH-2出土の土器・石器の順）、流水跡出土の土器・石器の順にまとめて掲載している。また出土遺物と掲載土器・石器は一覧表にして図版のあとに掲載している。

2. 住居跡 (RLH) (図V-1・2 表V-2・3・8・11・15・16 図版7・57・58)

住居跡は調査区中央部付近のVI層およびVII層上面付近で検出されたものである。ともに地面を掘りくぼめた竪穴住居跡である。

遺物は、土器、石器などが出土しており、土器は縄文時代早期、中期、後期のものが出土している。石器では、砥石片やフレイクなどが出土している。

検出面や出土遺物などから1軒(RLH-1)は縄文時代早期のものであるが、他の1軒(RLH-2)は、確実な時期は特定し得なかった。

RLH-1 (図V-1 表V-2・3・8・11 図版6・57)

位置：u-79・80 v-79・80 標高7.70m付近、北→南へ傾斜する斜面下部に位置する。

規模：5.80m×4.62m / (4.80m)×(4.05m) / 0.62m 平面形：円形状 床面積：(18.2m²)

確認・調査・土層：u-79・80、v-79・80の包含層調査中、v-80の杭付近のVII層上面付近でVc層が円形状にくぼんでいるのを確認した。遺構が想定されたため土層観察用の土手を設定して掘り下げ、平坦な面の広がりや壁の立ち上がりを確認した。このため規模などから住居跡と判断した。

覆土は大きく三層に分けられた。覆土1層はVc層、覆土2層は軽石が多量に混じる黒色土、覆土3層は砂層である。覆土1・2層には砂の混じる部分があり、本遺構がRLR-8により浸食を受けていることも考え合わせると、流水の影響によるものと考えられる。

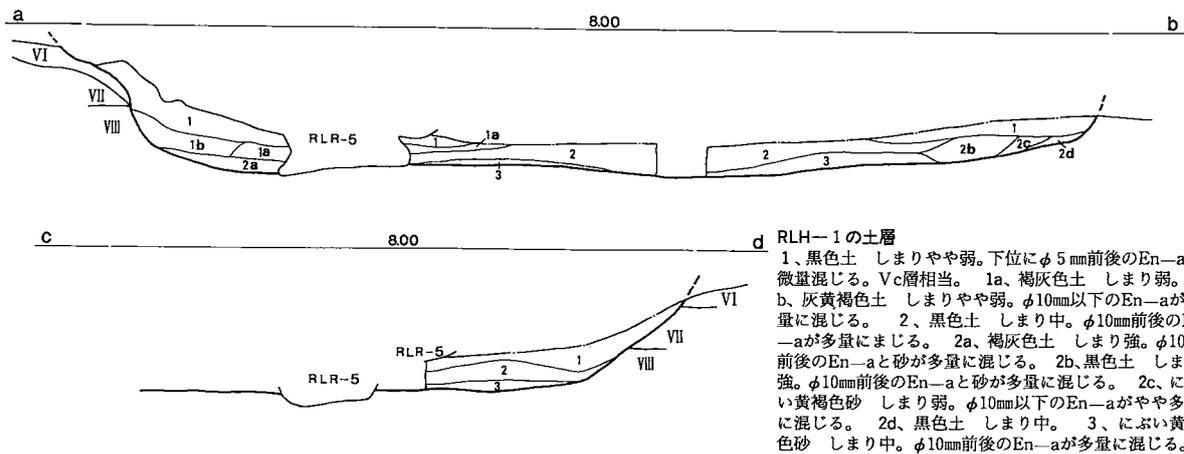
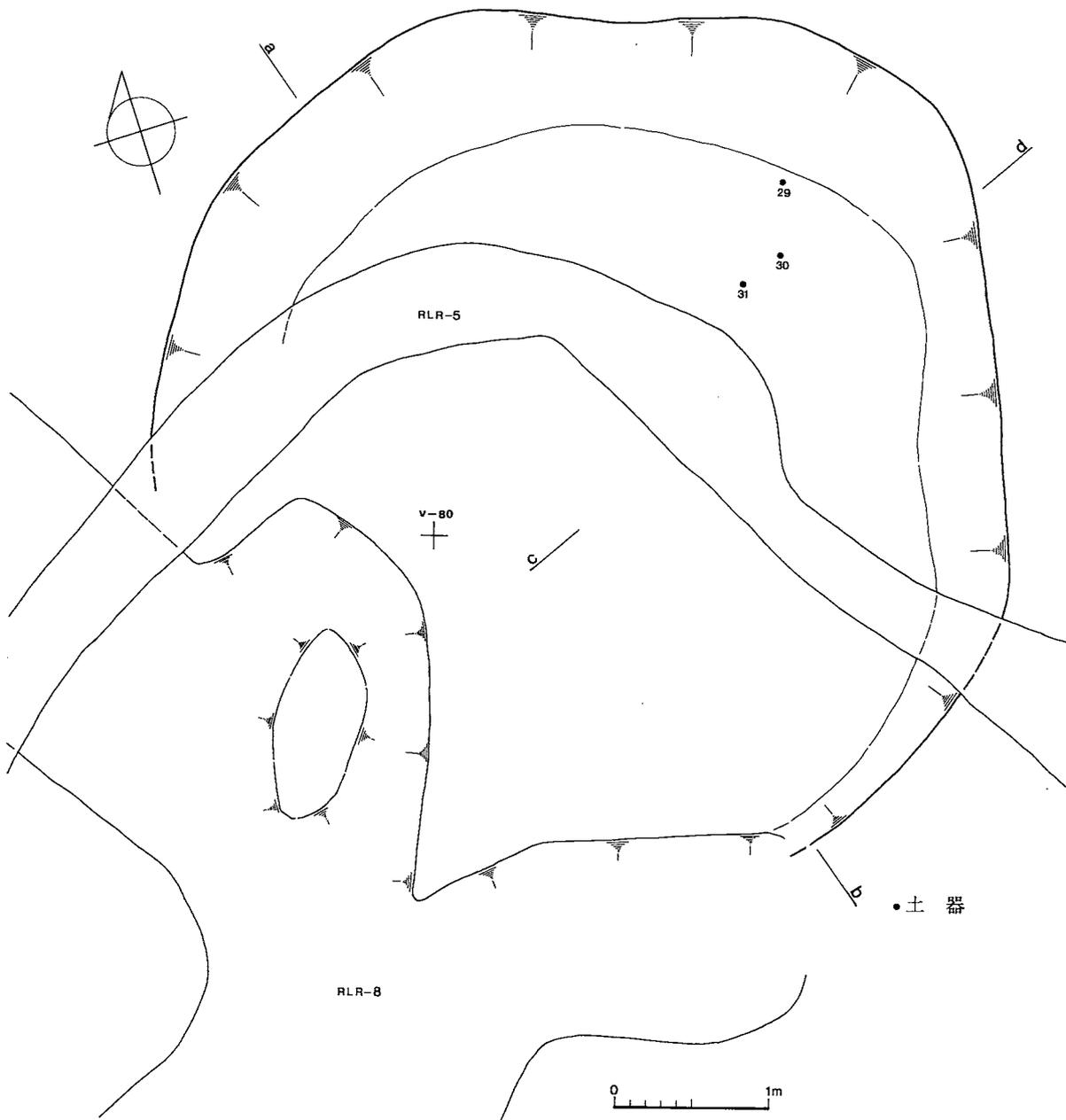
床面：VIII層中に構築され、おおむね平坦であるが、中央付近がやや低い。南西側はRLR-8の浸食を受けている。RLR-5による浸食も溝状に見られる。

壁：確認面からの壁高は、東・北側で50cmほど、南側は15cmほどである。南西側はRLR-5とRLR-8の浸食を受けており、RLR-5による浸食は南西側の壁にも一部見られる。

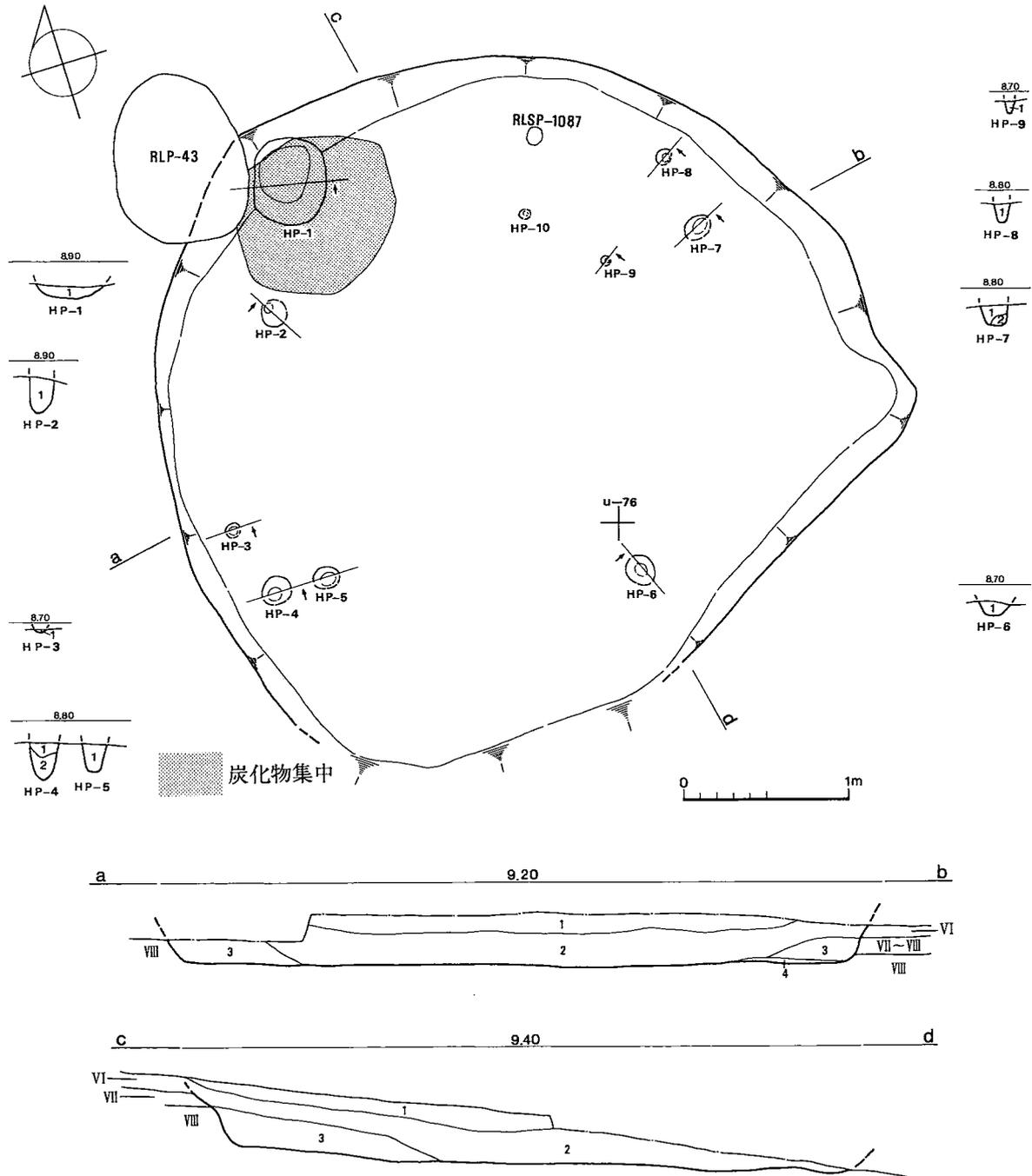
炉跡：焼土などは検出されていない。

遺物出土状況：遺物は33点出土した。土器は26点、石器などは7点である。床面からはIb-4の土器片が2点、フレイクが1点出土している。覆土中からはI群b類土器など24点、石器では石鋸など6点出土した。まとまった出土状態ではない。

時期：確認面、床面や周辺出土も遺物などから、縄文時代早期後半の時期と思われる。



図V-1 RLH-1



RLH-2の土層

- 1、黒色土 しまり中。φ10mm前後のEn-aが少量混じる。Vb層相当。
 - 2、黒色土 しまり中。φ10mm前後のEn-aが多量に混じる。
 - 3、褐色土 しまり中。φ10mm前後のEn-aが多量に混じる。
 - 4、黒褐色土 しまりやや弱。φ10mm以下のEn-aが少量混じる。
- HP-1の土層
- 1、暗褐色土 しまり中。φ5mm前後の炭化物が多量に混じる。φ10mm前後のEn-aが少量混じる。(0.53m×0.44m/0.34m×0.26m/0.06m)
- HP-2の土層
- 1、黒色土 しまり中 φ10mm以下のEn-aが少量混じる。(径0.15m 深さ0.22m)
- HP-3の土層
- 1、黒色土 しまりやや弱。(径0.08m 深さ0.02m)
- HP-4の土層
- 1、灰黄褐色土 しまりやや弱。φ10mm前後のEn-aが少量混じる。

- 2、黒色土 しまり弱。φ10mm前後のEn-aが少量混じる。(径0.18m 深さ0.24m)
- HP-5の土層
- 1、褐灰色土 しまりやや弱。φ10mm以下のEn-aが少量混じる。(径0.16m 深さ0.18m)
- HP-6の土層
- 1、黒褐色土 しまりやや弱。φ10mm以下のEn-aが少量混じる。(径0.20m 深さ0.08m)
- HP-7の土層
- 1、褐灰色土 しまりやや弱。φ10mm以下のEn-aが少量混じる。
 - 2、黒色土 しまりやや弱。(径0.16m 深さ0.12m)
- HP-8の土層
- 1、褐色土 しまり中。φ10mm以下のEn-aが微量混じる。(径0.10m 深さ0.12m)
- HP-9の土層
- 1、黒色土 しまり中。(径0.06m 深さ0.07m)
- HP-10の土層
- 1、黒色土 しまりやや弱。(径0.06m 深さ0.01m)

図V-2 RLH-2

RLH-2 (図V-2 表V-2・3・8・11 図版6・7・58)

位置: t-75・76 u-75・76 標高8.70m付近 北→南へ傾斜する斜面の上部付近に位置する。

規模: 4.42m×4.12m/4.06m×3.80m/0.32m 平面形: 不整形円形 床面積: 12.7m²

確認・調査・土層: t-75・76、u-75・76の包含層調査中、u-76の杭付近のVI層で、軽石の混じる黒色土が円形状に広がっているのを確認した。遺構を想定して土層観察用の土手を設定し、掘り下げたところ、平坦な面の広がりや壁の立ち上がりを確認した。このため規模などから住居跡と判断した。

覆土は四層に分けられた。覆土1層はVb層、覆土2層は軽石が多量に混じる黒色土であるが、遺構外のVI層へと漸移的に変化する。覆土3層は軽石の混じる褐色土で、南側では見られない。覆土4層は床面上にある土である。

床面: VIII層中に構築されている。北から南へやや傾くが、おおむね平坦である。北壁際で炭化物の集中(RLH2C1)を検出した。

壁: 壁高は、斜面上側で30cmほどである。北側の立ち上がりは急であるが、南側になるにつれて緩やかで、床面との境が不明瞭になる。

炉跡: 焼土などは検出されなかった。

付属ピット: 円形の掘り込み(RLH2HP1)1基、柱穴(RLH2HP2~10)9基を検出した。HP-1はC1掘り下げ中に検出した。覆土中にはC1と同様の径5mmほどの炭化物が多量に混じっていた。柱穴は住居跡の東側に3カ所、西側に4カ所、北側と南側にそれぞれ1カ所検出された。

遺物出土状況: 遺物は465点出土した。土器が417点、石器などが48点である。床面からは土器が23点、石器は砥石3点、フレイクなどが3点出土した。覆土中からはIb、IIIb、IVa、IVc、IVc-1の土器が378点出土し、石器では石錐、すり石片など42点出土した。覆土の上位からはIVaの土器が多く出土している。これは埋まりきらない堅穴のくぼ地を何らかのかたちで利用したためと考えられる。

時期: 覆土上位のIV群a類土器から、縄文時代後期初頭より古い。しかし床面の土器は散発的な出土で、本住居跡に伴うものとは断定できず、付属ピットの土器は特徴が乏しく時期不明である。このため時期決定にはいたらなかった。なお床面の炭化物集中(RLH2C1)の¹⁴C年代測定結果は、

4300±50、補正¹⁴C 4290±50 (Beta-138108) である。

またフローテーション用の資料として、土層観察用の土手(c-d)の床面から5cm上までの土壌を採取した。その際a-b間の土手との交点で北側と南側に分けて採取した。

3. 土壇(RLP) (図V-3・4 表V-4・5・9・12・15・16 図版8・57)

土壇は、調査区の東側、標高8.50m付近の緩斜面上で2基が検出された。ともに性格や用途などを特定し得るものは見つからなかった。

遺物は、土器や石器が出土しているが、Ib-4の土器片が1点とスクレイパーが1点、たたき石片が1点出土しただけである。

検出面などから見て、ともに縄文時代早期に属するものである。

RLP-2 (図V-3 表V-4・5・9・12 図版8・57)

位置: v-90 標高8.45m付近、東から西へ傾斜する緩斜面上に位置している。

規模: 1.42m×1.32m/1.22m×1.16m/0.23m 平面形: 方形に近い隅丸長方形

長軸方向: 北西-南東

確認・調査: VII層上面でVb層の落ち込みを確認した。東西方向に半截して掘り下げ、壇底と壁の立ち

上がりを確認した。

覆土：覆土は四層に分けられる。覆土1層はVb層が土壌のくぼみに堆積したものである。覆土2層中には、間層として層厚1cmほどの黒色粘質土がレンズ状に入っている。覆土3・4層は壁の崩落土と思われる。覆土は自然堆積状である。

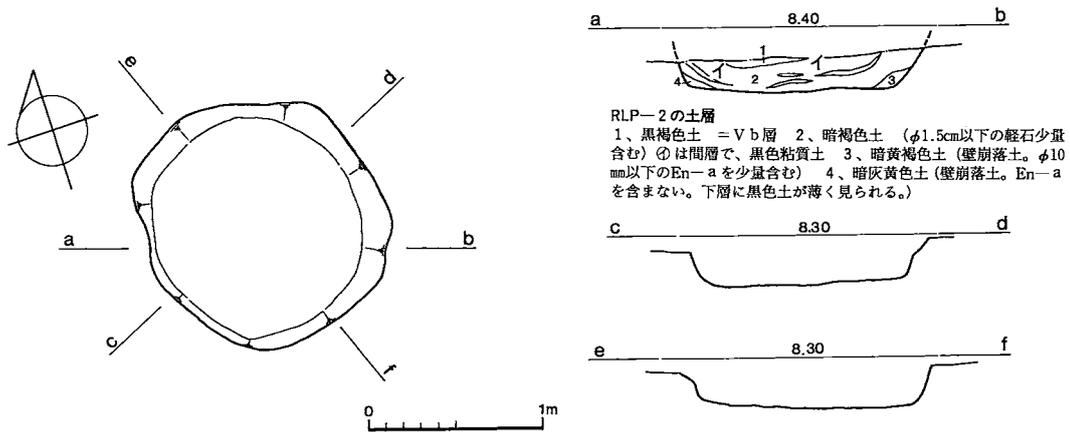
壇底：VIII層中に構築している。ほぼ平坦。

壁：立ち上がりは急である。

遺物出土状況：遺物は覆土中から土器1点、石器が2点出土している。土器はI群b-4類のもの、石器はスクレイパー、たたき石片各1点ずつが出土した。

性格：不明である。

時期：確認面や覆土出土の遺物などから見て、I群b-4類土器を伴う、縄文時代早期後半の時期のものと思われる。



図V-3 RLP-2

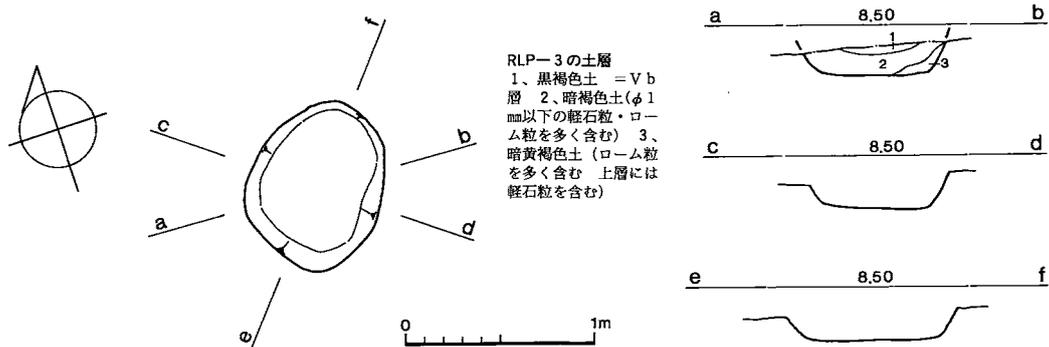
RLP-3 (図V-4 図版7)

位置：v-90 標高8.55m付近、東から西へ傾斜する緩斜面上に位置している。RLP-2の北北東約2.3mのところにある。

規模：0.85m×0.69m/0.72m×0.54m/0.17m 平面形：卵形 長軸方向：北北東-南南西

確認・調査：VII層上面でVb層の落ち込みを確認した。東西方向に半截して掘り下げ、壇底と壁の立ち上がりを確認した。

覆土：覆土は三層に分けられる。覆土1層は黒褐色粘質土、Vb層が土壌のくぼみに堆積したものであ



図V-4 RLP-3

る。覆土2層は暗褐色土である。RLP-2のような黒色土の間層は見られない。覆土は自然堆積状である。

壙底：Ⅷ層中に構築されている。平坦。

壁：立ち上がりは急である。

遺物出土状況：覆土、壙底などから遺物は出土していない。

性格：不明である。

時期：RLP-2と近接し、平面形が類似することから見て、縄文時代早期後半の時期のものと思われる。

4. 焼土 (RLF) (図V-5 表V-1・13・15・16 図版11)

V章で取り扱った焼土はVb層中で検出された10ヵ所である。分布、構造、遺物出土状況、時期、性格などを全体的に記し、個々の焼土については一覧表にして掲載した。

分布 検出された焼土のうち9ヵ所 (RLF181~189) は、調査区東側 (標高9.20m~9.50m)、北東から南西へ傾斜する緩斜面上に分布している。r-91・92周辺である。他の1ヵ所 (RLF262) は85ラインの北壁際 (標高9.35m付近) で検出した。

構造 平面形は、楕円形状のものもあるが、大半は形が一定せず、不定形である。

規模は、長径100cm~150cmのものも多く、長径33cm (RLF188) や長径315cm (RLF186) のようなものもある。

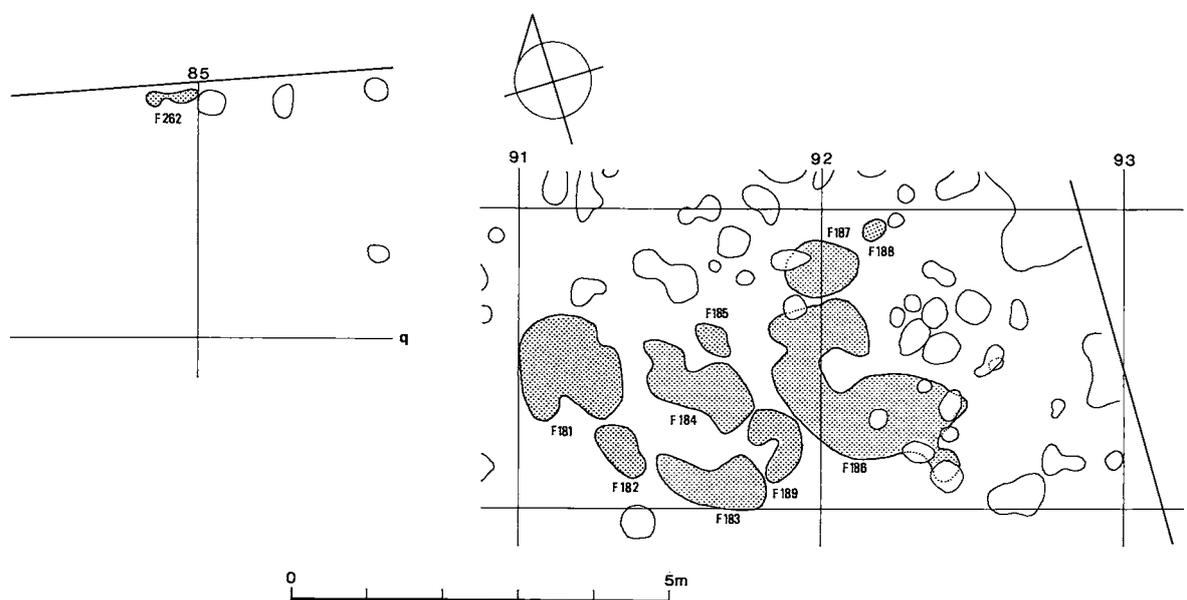
断面形は、浅い皿状で、層厚は10cm前後である。

色調は、赤橙色で、混入物はほとんど見られない。

遺物出土状況 遺物は、RLF185でフレイクが1点出土しただけである。なお焼土の一部を土壌サンプルとして採取し、フローテーション処理とした結果、微小の土器片とフレイク・チップなどが少量出土している。

時期 Vb層上面付近検出の焼土を除去し、その下層 (Vb層中) から検出されたものであることから考えると、縄文時代早期の時期に属するものと思われる。

性格 色調などから見ると原位置を保っているものと思われるが、明確な性格などは不明である。



図V-5 焼土位置図

表V-1 焼土一覧

遺構番号	位置	規模 (cm)			検出層位	色調 (土層注記)	備考
		長径	短径	厚さ			
RLF-181	r-91	155	148		VI層上面付近	赤橙色焼土	不定形
182	〃	93	49		〃	〃	〃
183	〃	154	70		〃	〃	〃
184	〃	168	74		〃	〃	〃
185	〃	59	35		〃	〃	〃
186	r-91・92	315	146		〃	〃	〃
187	〃	100	75		〃	〃	楕円形、F112の下
188	r-92	33	24		〃	〃	〃
189	r-91	102	66		〃	〃	不定形
262	p-84	74	16		〃	暗赤褐色焼土	不整形

5. 流水跡 (RUR・RLR) (図V-6~10 表V-6・7・10・14~16 図版12・13・59・60)

縄文時代後期以外の流水跡は7ヵ所である。これらは調査区中央南側の低地部で検出された。ほぼ地形に沿って南西方向にのびている。RUR-1がIII層上面で検出された以外は、Vb層中やVII層上面付近で検出されたものである。すべて自然流水跡である。

遺物は、Ib、Ib-1、Ib-4の土器片やスクレイパー、すり石片などの石器や石製品(垂飾)が出土しており、クルミ殻や流木なども見つっている。

RUR-1が縄文時代後期より新しい時期のもの、RLR-8~10が検出面などから見て縄文時代早期に属するものである。RLR-4~6は縄文時代に属するものであるが、明確な時期は不明である。

RUR-1 (図V-6 図版12)

位置：w-79~83 x-77~82 y-75~77 z-75 標高8.60m~9.00m、東→西へ緩やかに傾斜する緩斜面に位置する。

確認・調査・土層：重機によりII層(Ta-a)を除去したところ、南側低地部分のIII層上面でII層が落ち込んだ流水跡を確認した。流水跡はw-84から南西方向のz-75に向かっており、規模は長さ約40m、幅0.3m~0.6m、深さ約0.2mである。土層断面はx-79とx-80の杭付近の二カ所で観察した。それによれば、流水跡はII層に覆われ、III層中にあるB-Tmを切っている。

底・壁：底面はやや凹凸がある。壁は急に立ち上がり、片側が2段になっている部分もある。

遺物出土状況：覆土などから遺物は出土していない。

時期：B-Tm(10世紀頃降下)より新しく、Ta-a(A.D.1739年降下)より古い年代のものである。

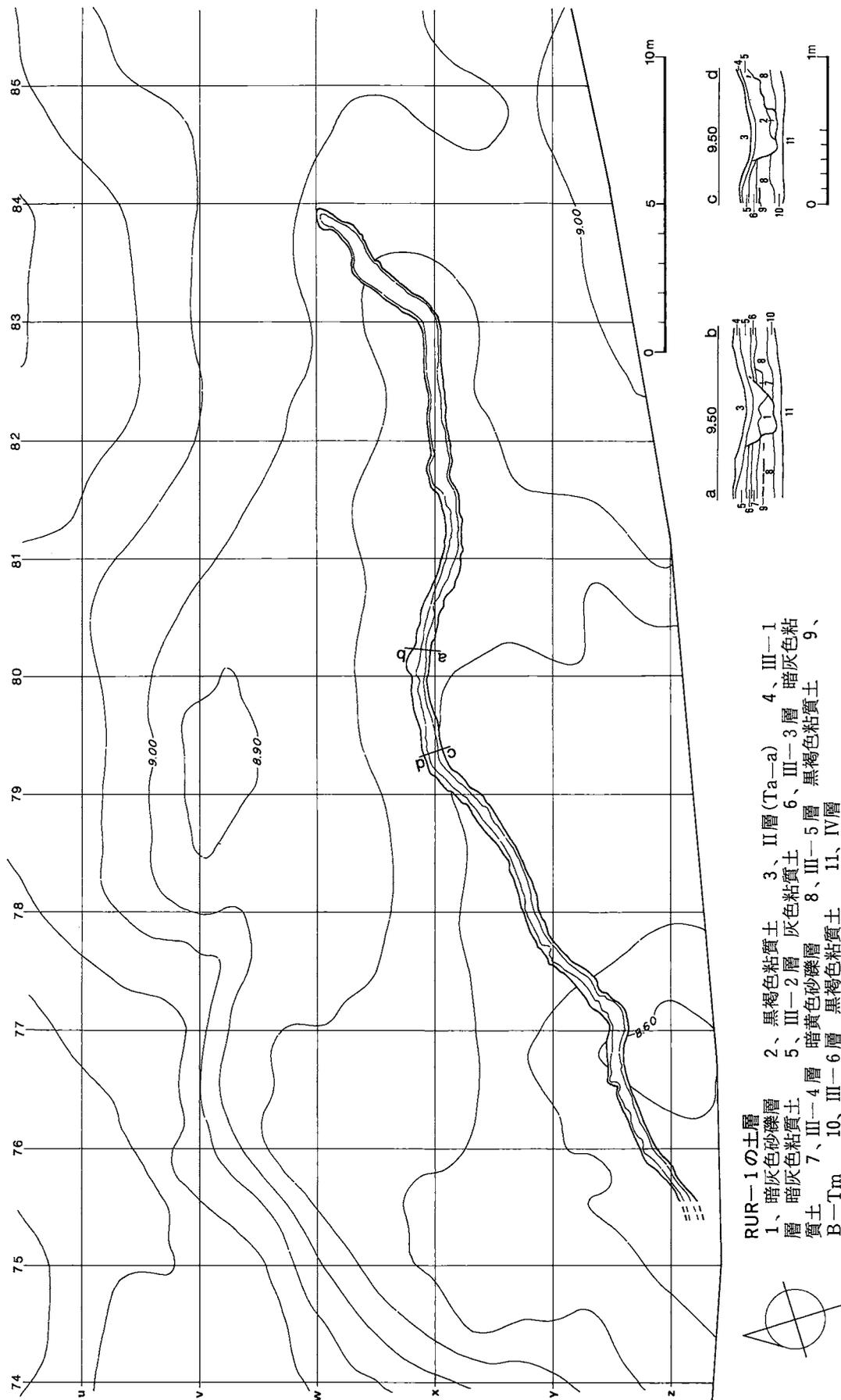
なおx-79の土層断面(a-b)によれば、流水跡はB-Tmより約10cm上のIII-3層(暗灰色粘質土)を切っている。

RLR-4 (図V-7 図版13)

位置：w-76・77 x-75・77 y-74~76 z-74・75 標高7.35m~7.82m、北東から南西は緩やかに傾斜する緩斜面上に位置している。

確認・調査・土層：低地に堆積する白色粘土層上面で、黒色泥炭層の落ち込みを確認した。落ち込みはx-77あたりから75ライン南端の低い方向に向かって伸びていたため、流水跡とした。覆土は黒色泥炭層である。

底・壁：白色粘土層中にあり、底面はおおむね平坦で、壁はやや広がり気味である。x-77付近はき



RUR-1の土層
 1、暗灰色砂礫層
 2、黒褐色粘質土
 3、II層(Ta-a)
 4、III-1層
 5、III-2層 灰色粘質土
 6、III-3層 暗灰色粘質土
 7、III-4層 暗黄色砂礫層
 8、III-5層 黒褐色粘質土
 9、質土
 B-Tm 10、III-6層 黒褐色粘質土
 11、IV層

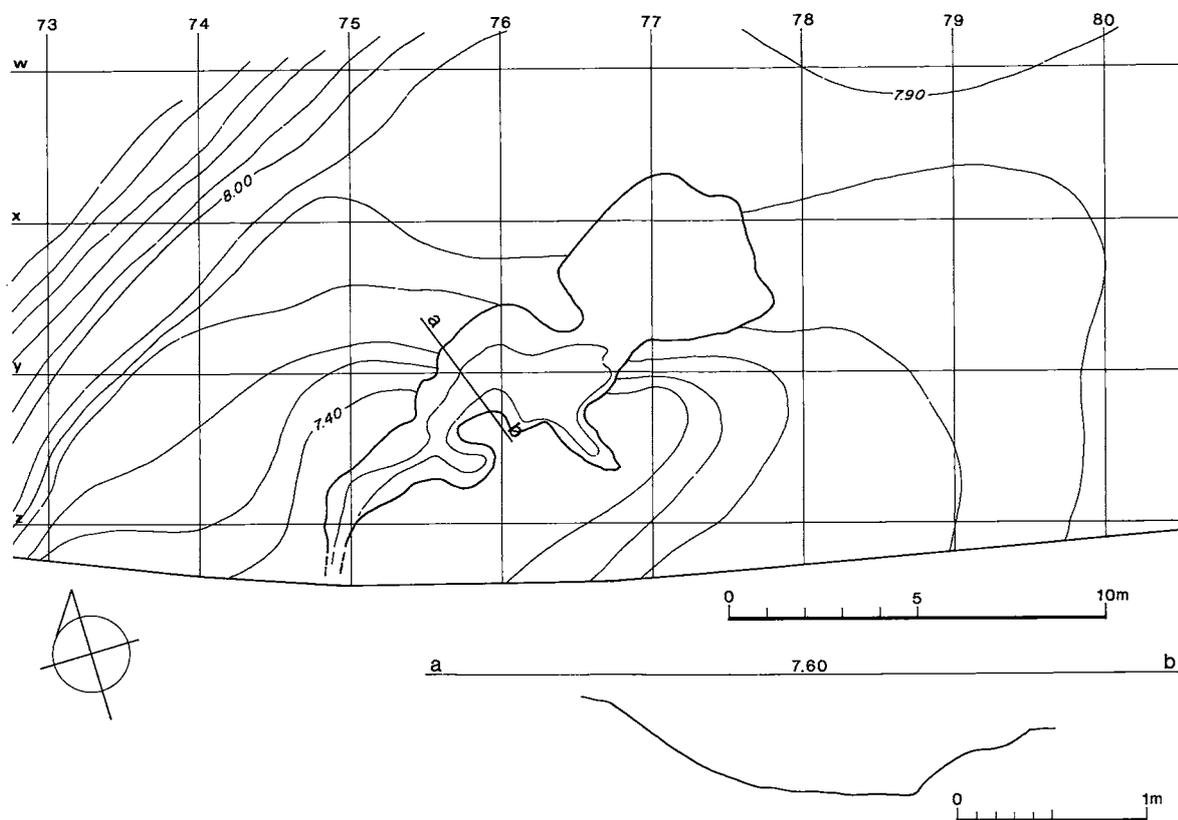
図V-6 RUR-1

わめてなだらかで、壁は不明瞭である。

遺物出土状況：遺物は出土していない。

時期：確認した層位から、縄文時代早期後半～縄文時代前期のものと考えられる。

RLR-5 (図V-8 表V-6・10・14 図版13・59)



図V-7 RLR-4

位置：u-79・80・82~86 v-78~86 w-74~79・81・84~87 x-73~76・87 y-73・74 z-73・74 標高7.00m~8.00mの緩斜面に位置している。

確認・調査・土層：V c層上面で、斜面の裾部に沿うように蛇行する砂の帯を確認し、流水跡とした。流水跡は、x-87の調査区外からのびてきており、75ラインの南端部に向かって蛇行しながら流れていたようである。RLH-1の床・壁を一部壊している。

底・壁：VII層を削っている。75ライン付近ではレンズ状の浅いくぼみである。

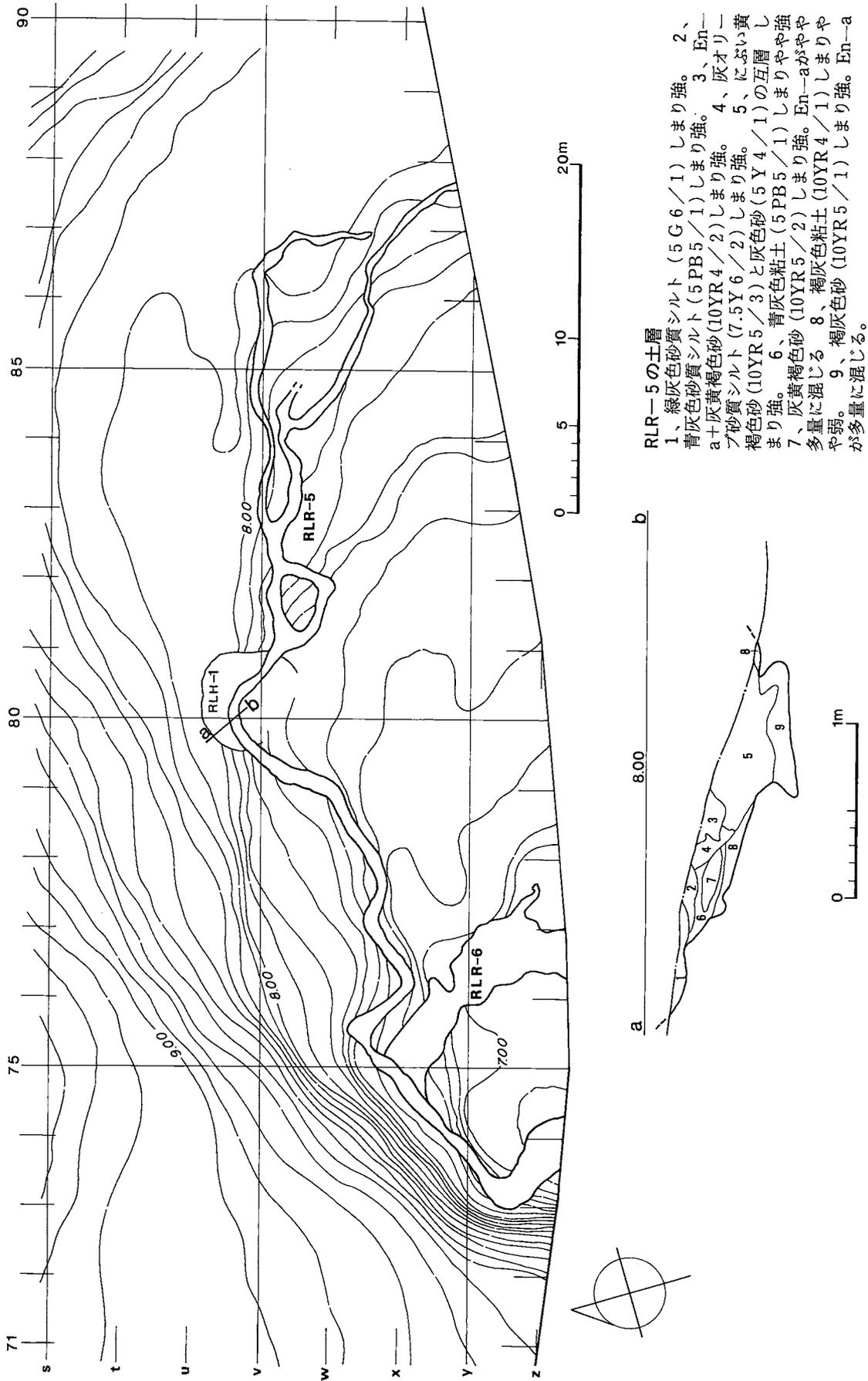
遺物出土状況：遺物は7点出土した。ともに川砂層から出土したものである。土器はI群b-4類のもの3点などで、礫1点も出土している。また流木片も数点ある。

時期：確認した層位から、縄文時代早期後半～縄文時代前期のものと考えられる。

なお、本流水跡はRLH-1の床面や壁の一部を浸食していることから、RLH-1(縄文時代早期末葉)より新しいものである。

RLR-6 (図V-8)

位置：w-75 x-74~76 y-75~77 z-76・77 標高6.90m~7.40m付近の緩傾斜面に位置する。



RLR-5の土層

- 1、緑灰色砂質シルト(5G6/1)しまり強。
- 2、青灰色砂質シルト(5PB5/1)しまり強。
- 3、En-a+灰黄褐色砂(10YR4/2)しまり強。
- 4、灰オリーブ砂質シルト(7.5Y6/2)しまり強。
- 5、にぶい黄褐色砂(10YR5/3)と灰色砂(5Y4/1)の互層しまり強。
- 6、青灰色粘土(5PB5/1)しまりやや強。
- 7、灰黄褐色砂(10YR5/2)しまり強。En-aがやや多量に混じる。
- 8、褐灰色粘土(10YR4/1)しまりやや弱。
- 9、褐灰色砂(10YR5/1)しまり強。En-aが多量に混じる。

図V-8 RLR-5・6

確認・調査・土層：y-76のVc層上面で砂の帯を確認し、流水跡とした。流水跡は南北にのびており、x-75の杭付近でRLR-5と重なっている。75ラインの土層断面での土層観察によれば、本流水跡はRLR-5に切られていた。75ライン以西のVc層上面で確認できたのはRLR-5だけで、本流水跡は確認できなかった。

底・壁：VII層を削っている。底・壁は、75ライン付近ではレンズ状である。

遺物出土状況：遺物は出土していない。

時期：確認した層位から、縄文時代早期後半～縄文時代前期のものと考えられる。

RLR-8 (図V-9・10 表V-6・7・10・11 図版13・59・60)

位置：u-79 v-79・80 w-77~79 x-76・77 標高6.70m~7.70mの緩斜面に位置している。

確認・調査・土層：RLH-1の調査中、南西側の床、壁が検出されず、砂とEn-a混じりの土が帯状に南西方向へのびているのが確認された。また周辺を精査したところ、VII層上面で同様の帯状の落ち込みを検出した。流水跡と判断し、本流水跡はRLH-1の南西部を浸食し、南西方向の低い部分に向って流れRLR-10に合流している。

底・壁：底はVII層を削り、おおむね平坦である。壁はやや急傾斜であるが、RLR-10との合流地点では緩やかになっている。

遺物出土状況：遺物は108点出土した。土器は93点、石器などは15点である。すべて覆土中からの出土で、土器はI群b類のもの11点、I群b-1類のもの21点、I群b-4類のもの60点などである。石器では、スクレイパー2点、すり石片1点、Rフレイク2点などが出土している。

時期：RLH-1を浸食していることなどから見て、縄文時代早期後半～縄文時代前期のものと考えられる。

RLR-9 (図V-9 表V-14 図版13)

位置：w-79~82、x-77~82、y-77 標高6.70m~7.40mの緩斜面に位置している。

確認・調査・土層：RLR-8の調査中、VII層上面で砂とEn-aまじりの土が帯状に南西方向へのびているのを確認した。RLR-8とは1.5m前後の距離を保ちながらRLR-10に合流している。

底・壁：底はVII層を削り、壁はやや急傾斜であるが、RLR-10の合流地点では緩やかになっている。

遺物出土状況：遺物は覆土上層でUフレイクが1点出土したのみである。

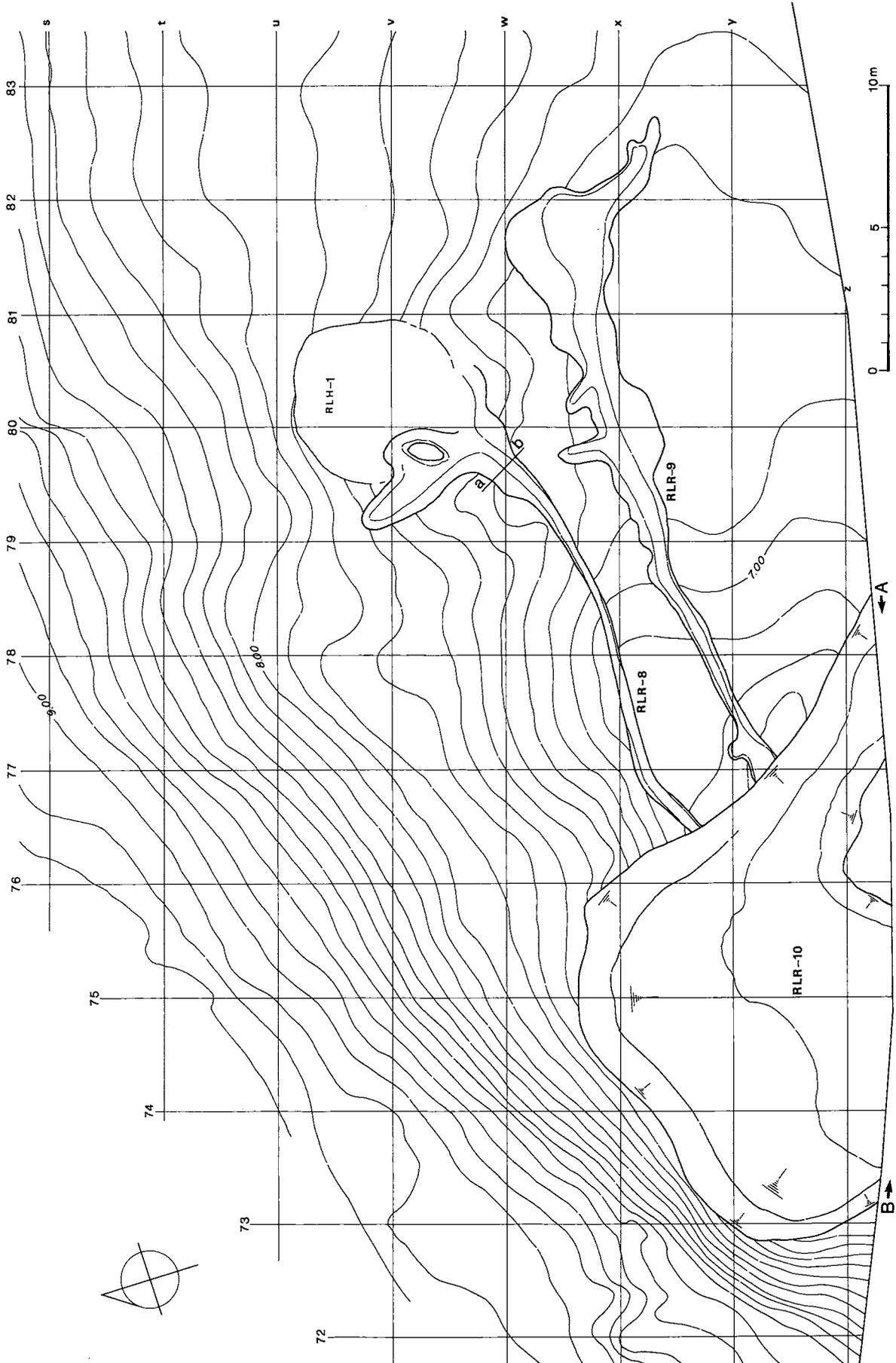
時期：覆土の類似などからRLR-8と同時期と思われる。

RLR-10 (図V-9・10 表V-6・7・10・14 図版13・59・60)

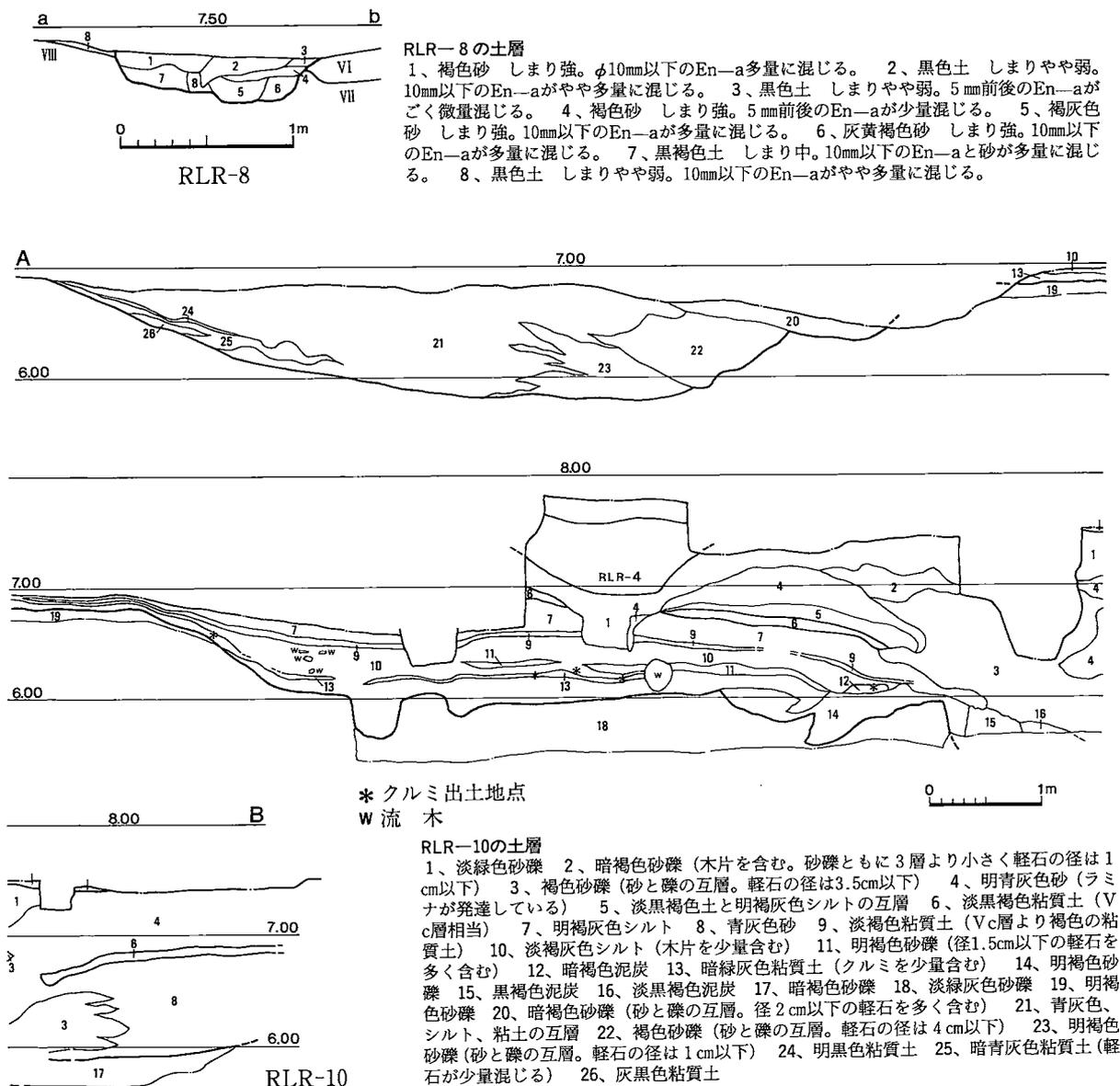
位置：w-74・75 x-73~76、y-72~77 z-73~74 標高6.70m~7.40mの緩斜面に位置している。

確認・調査・土層：Vb層を除去したところ南側低地部で、南北約12m、東西約22mの広い範囲に砂礫層の落ち込みを確認した。z-76ではVII層+VIII層が島状に残っていることから、南東方向から何回かにわたり水が流れ地山を大きく削っていることが予想された。このためこの部分の砂礫層を重機により1m~2m掘り下げ、その後人力により部分的に地山と思われるところまで掘り下げた。

土層断面は南側の鋼矢板側で約2.5mほどを観察した。東側は地山(標高5.60m)までの検出は容易であったが、西側は覆土が深く(標高5.40m)途中までしか下げられなかった。この土層断面にRLR-4~6の落ち込みが見られるが、流水底面は特定できなかった。中央最上部にVb層泥炭の落ち込み



図V-9 RLR-8・9・10



図V-10 RLR-8・10のセクション図

があり、これがRLR-4の流水跡に相当するものであろう。この下には砂礫層、さらにその下に層厚2cm~6cmのVc層が堆積している。Vc層はRLR-4の下層と西側3mのところでも切られており、おそらくRLR-5、6に相当する流水跡があったと思われる。Vc層の下にはシルト、粘質土、砂、礫、泥炭が堆積している。

土層断面の西端は流水跡の立ち上がりまで図示していないが、実際は西壁の立ち上がりまで掘り下げた。また図中西端の底面立ち上がりには支笏軽石堆積物（標高5.80m）が確認されており、本流水跡は少なくともこの層まで削っていることがわかる。

底・壁：底面で5カ所の落ち込みを確認した。北東壁際に4カ所、Y-76の島状の地形の北側に1カ所である。平面形は楕円形あるいは隅丸長形状で、確認面での大きさは長軸1.50m~3.40m、短軸0.9m~1.6m、深さ0.1m~0.6mである。これらの落ち込みは流水跡上に連続していることと、平面形が整わず、壁面がオーバーハングしていることから流水によってえぐられたものと思われる。

遺物出土状況：底面にある5カ所の落ち込みのうち2カ所からI群b-4類の土器片3点、石製品（垂

飾)1点が出土した。またw-74のRLR-10肩付近で石皿が1点出土した。また自然遺物として、11層からクルミの殻が4点、8層から流木が少量出土した。

時期：流水跡の底面にある落ち込みから出土した土器片などから見て、縄文時代早期後半の時期に属するものと思われる。Vb層が堆積するころ(縄文時代早期～同前期)にはほぼ埋まり切ったようである。

6. 出土遺物

(1) 住居跡(RLH)出土の土器(図V-12・13 表V-2 図版57・58)

RLH-1 (図V-12 表V-2 図版57)

縄文早期末葉の東釧路IV式がほとんどであるが、遺物量は少ない。

1は縄文早期後半のものと思われる。6はI群b-1類東釧路III式に属するものと思われる。短縄文と縄端圧痕の一部がみられる。2～5・7・8はI群b-4類東釧路IV式。色調は大部分が黒色である。器面内側はあまり平滑ではない。2は縄端圧痕が2段見られる。4・8は羽状の撚糸文。5・7は2条並列の撚糸文で菱形文を構成する。5は縄線文が口縁部に4条見られる。

RLH-2 (図V-13 表V-2 図版58)

縄文早期後半、後期前葉、後期後葉のおよそ3段階の時期がある。

1・5はI群b類とみられる。1は絡条体圧痕文が施されている。5は底面をわずかに張り出させている。住居跡床面から出土した。2～4は縄文早期から中期にかけての土器と思われるが、詳細は不明である。器面がやや磨り減っている。2・3は住居跡内のピットから出土した。4は無文で、胎土は砂粒などの混入が少ない。

6はIII群b類と思われる。やや粗い胎土で、押引とみられる沈線が施されている。7～10はIV群a類余市式。器壁は厚く、胎土は粗い。7は器表面が剥落しているが、口唇上や内面にも縄文が施文されている。8～10は高師小僧や鉄分が付着して器面が赤色がかっている。10は貼付隆帯が5本巡るものと思われ、器形を推定復元した。貼付隆帯の幅とその間隔が約2cmごとになっている。

11・12はIV群c-1類堂林式。住居跡の東側は傾斜面で掘り込みが浅く、縄文時代後期の遺物が覆土に混入したものと思われる。

(2) 住居跡(RLH)出土の石器(図V-12 表V-3 図版57・58)

住居跡からは55点の石器等が出土している。定形的な石器は9点で、このうち4点を図示した。

1はRLH-1覆土2層出土の石鋸である。VIIA 1。石質は砂岩。

2～4はRLH-2出土の石器である。2は覆土2層出土の石錐である。IIA 3。石質は黒曜石。

3は覆土3層出土のRフレイクである。XA1b。破損品。側縁部に加工痕が見られる。石質は黒曜石。

4は覆土1層出土のすり石である。VIA 1。下端に帯状のすり面が見られる。石質は安山岩。

(3) 土壌(RLP)出土の土器(図V-11 表V-4 図版57)

RLP-2 1はI群b-4類東釧路IV式で、撚糸文で菱形を構成するものと思われる。

(4) 土壌(RLP)出土の石器(図V-11 表V-5 図版57)

出土した2点のうち1点を図示した。

1はRLP-2覆土1層出土のスクレイパーである。IIIB 2。周縁を調整加工して、刃部を作り出している。石質は黒曜石。

(5) 流水跡 (RLR) 出土の土器 (図V-14 表V-6 図版59)

RLR-5 1・2はI群b-4類東釧路IV式。自縄自卷的な撚糸文。2には口唇上にも施文している。

RLR-8 3~7・9はI群b-1類東釧路III式。3~5・9は3~5本の横位の組紐圧痕がみられる。3は胴部下半部のものと思われ、貼付隆帯上に押圧により連続的に窪みをつけている。9も同様に2カ所(4カ所とみられる)貼付隆帯が付いている。また、9の口唇は半分ほどがやや突出して、口唇上にも施文されている。7は絡条体圧痕が縦位と横位に見られる。

8・10~21はI群b-4類東釧路IV式。ほとんどが羽状の撚糸文で菱形を構成するもの。10~12は2本並列の撚糸文。14~16は口縁部および胴中央部に短縄文を施している。撚糸が細かい。8・17の口縁部にも短縄文が施されている。18は口縁部に4本の撚糸文圧痕がみられる。

22はIV群c類堂林式。一部流水跡上位の土層が混在する部分があり、そこから出土した。

RLR-10 23は東釧路IV式。羽状の撚糸文で菱形を構成するものと思われる。

24・25は流水跡中の窪地 (RLNP-1) から出土した。東釧路IV式と思われるが、器面がすり減っており、判然としない。

(6) 流水跡 (RLR) 出土の石器 (図V-15 表V-7 図版60)

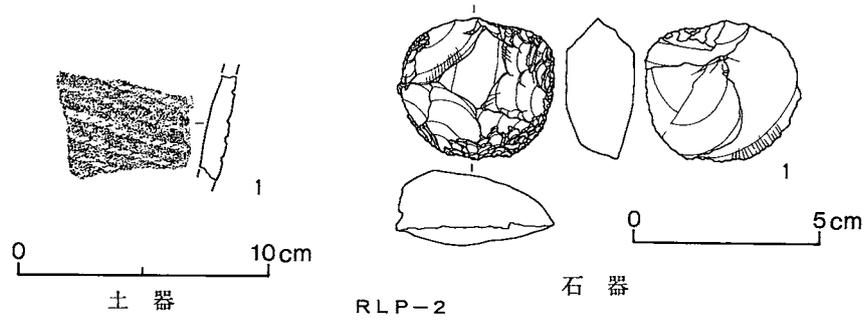
流水跡からは39点の石器等が出土した。定形的な石器は14点で、このうち5点を図示した。

1~3はRLR-8出土の石器である。1は覆土4層出土のスクレイパーである。III B 3。上端部に礫皮面が残る。下端部を丁寧に調整加工して、刃部を作り出している。被熱している。石質は黒曜石。2は覆土2層出土のスクレイパーである。III B 5。破損品、側縁部を調整加工して、刃部を作り出している。石質は頁岩。

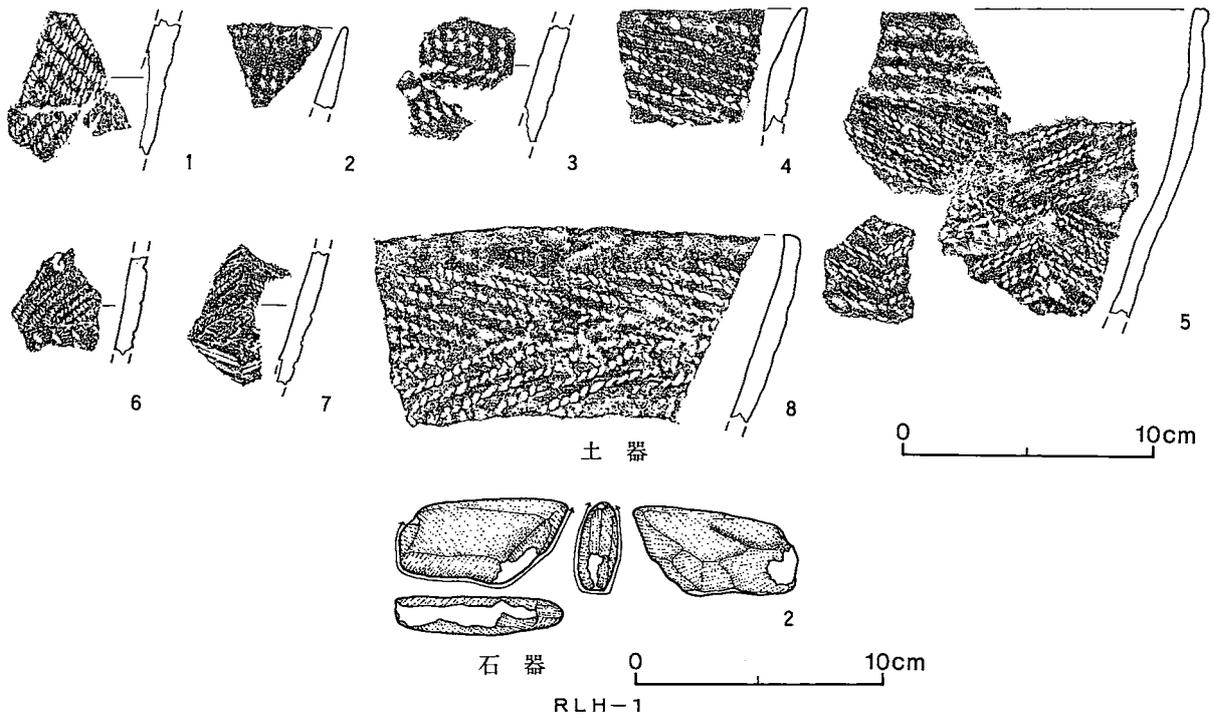
3は覆土4層出土のすり石である。IV A 1。破損品。下端部に帯状のすり面が見られる。石質は砂岩。

4・5はRLR-10出土の石器である。4は覆土中出土の石皿である。VIII A 1。表裏両面にたたき痕、すり面が見られる。石質は砂岩。

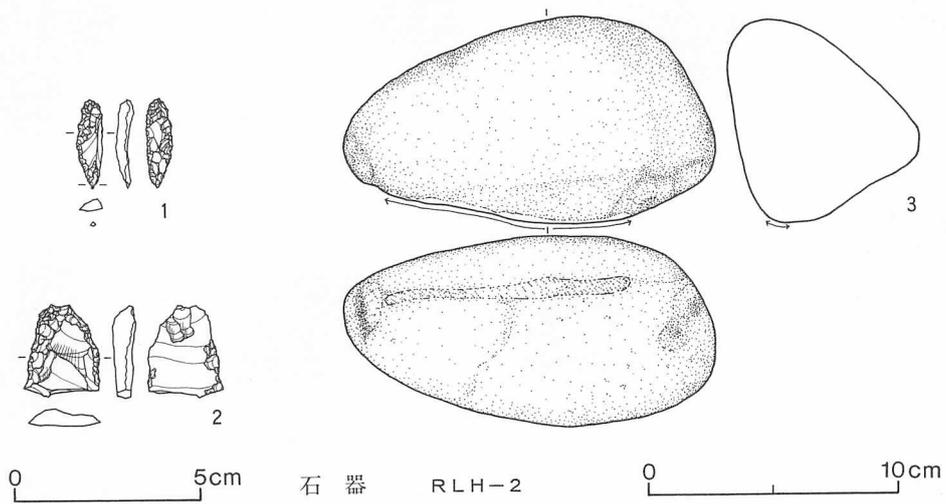
5は底に見られたくぼみ (RLNP-1) 中から出土した石製品である。垂飾で、丁寧に磨かれ、作られている。石質は蛇紋岩。



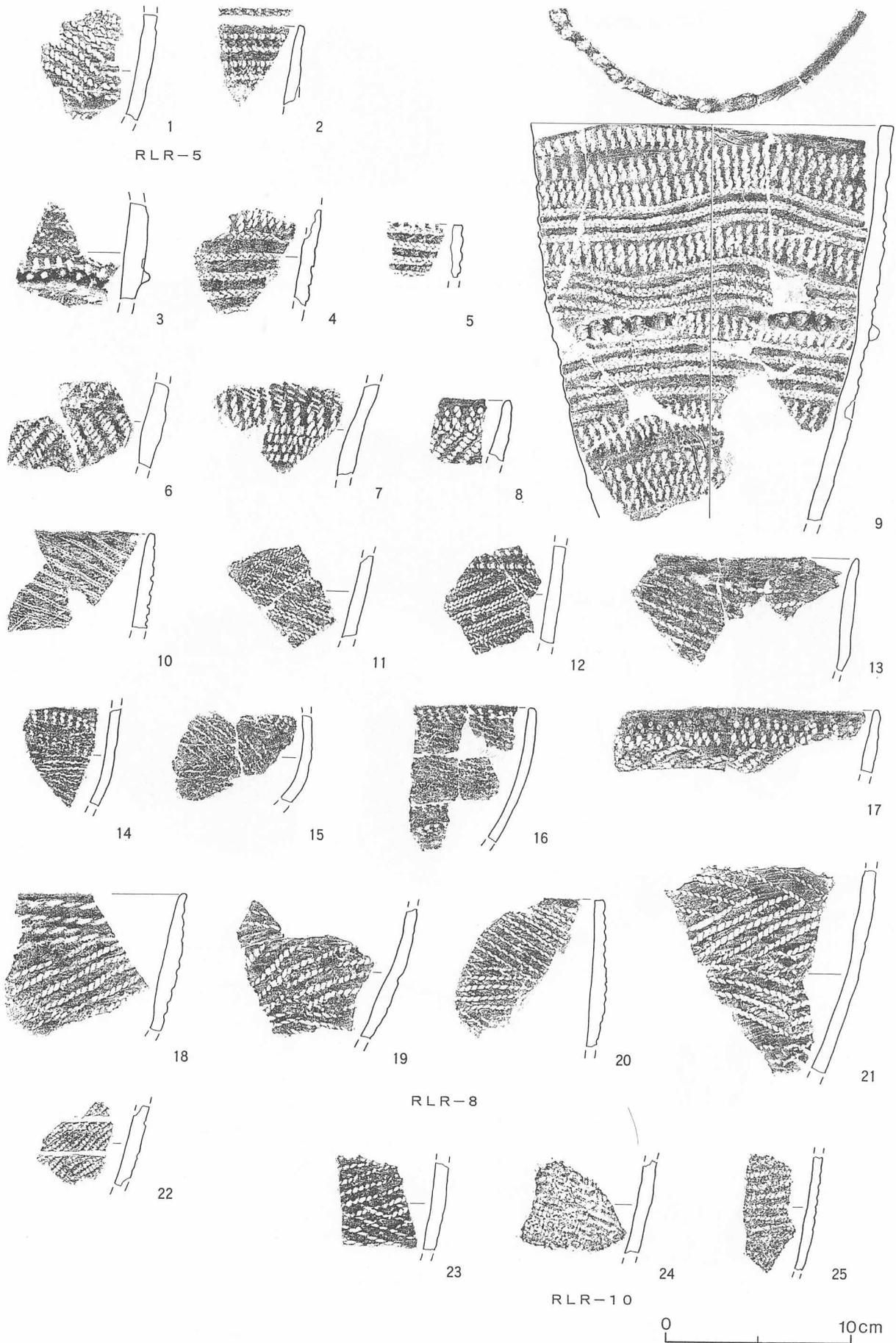
図V-11 土壌(RLP)出土の遺物

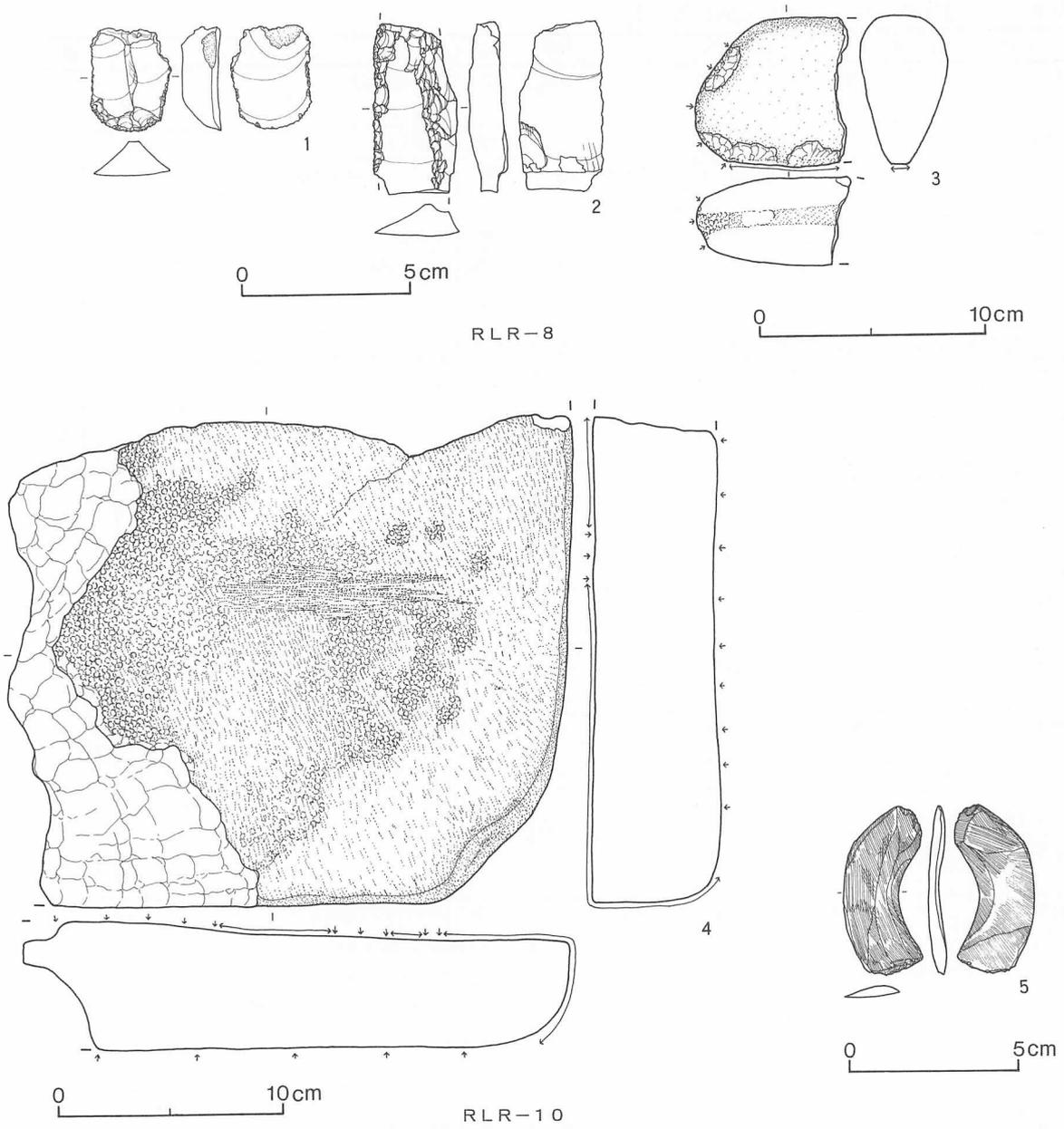


図V-12 住居跡(RLH-1)出土の遺物(1)



図V-13 住居跡 (RLH-2) 出土の遺物(2)





図V-15 流水跡 (RLR) 出土の石器

表V-2 住居跡(RLH)出土掲載土器一覽

図番号	遺構	層位	発掘区	遺物番号	点数	分類	器種	部位	文様/地文	備考
図V-12-1	RLH-1	覆土1層	u-80	1 2	1 1	Ib	深鉢	胴	RL・LR縄文	} 接合
図V-12-2	〃	2層	v-79	17	1	Ib-4	〃	口縁	縄端圧痕	
図V-12-3	〃	3層	u-80	1 24	1 1	Ib-4	〃	胴	〃・縄文圧痕	} 接合
図V-12-4	〃	〃	v-80	19	1	Ib-4	〃	口縁	捺糸文	
図V-12-5	〃 RLR-8	〃 2層 2 3	v-79 w-79 v-79	15 19 25	1 1 1	Ib-4	〃	口~胴	〃・縄線文	} 接合
図V-12-6	RLH-1	覆土2層	u-80	27	1	Ib-1	〃	胴	短縄文・縄端圧痕・LR縄文	
図V-12-7	〃	〃	v-80	4	1	Ib-4	〃	〃	捺糸文	
図V-12-8	〃	床面	u-80	30 31	1 1	Ib-4	〃	口縁	〃	} 接合
図V-13-1	RLH-2	覆土3層	t-75	1	1	Ib-1	〃	胴	絡条体圧痕・短縄文	
図V-13-2	RLH-2	HP-1 覆土1層	〃	5 10	1 2	不明	〃	口縁	LR縄文 口唇上刻み	} 接合
図V-13-3	RLH-2	〃	〃	7	1	〃	〃	胴	2と同一	
図V-13-4	〃	覆土1層	〃	29 49	1 1	〃	〃	〃	無文	} 接合
図V-13-5	〃	床面	〃	178 179	7 2	Ib	〃	底	縄文 底径10.2cm	
図V-13-6	〃	覆土1層	〃	26 28	1 1	IIIb	〃	口縁	沈縁(押引)/縄文	} 接合
図V-13-7	〃	〃	〃	138	1	IVa	〃	〃	口唇および内面RL縄文	
図V-13-8	〃	〃 2層	〃	165	1	IVa	〃	胴	LR縄文	
図V-13-9	〃	〃 1層	〃	16 27	1 2	IVa	〃	〃	RL縄文	} 接合
図V-13-10	〃	〃	t-76 〃 〃 〃 〃 t-75 〃 2層	40 41 42 46 47 48 u-75	3 1 11 2 1 5 2	IVa	〃	口~胴	貼付隆帯/LR縄文 推定口径24.5cm 推定器高約35cm 内面縦位の強いナデ調整痕	
図V-13-11	〃	〃 1層	t-75	9	2	IVc-1	鉢	口縁	平行沈線/羽状縄文	
図V-13-12	〃	〃	〃	11	1	IVc-1	〃	〃	突瘤・平行沈線/縄文	

表V-3 住居跡(RLH)出土掲載石器一覽

図番号	遺構	発掘区	層位	遺物番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図IV-12-1	RLH-1	v-79	覆土2層	22	石鋸	VI A1	3.45	6.65	1.6	40.4	安山岩	
図IV-13-2	RLH-2	t-75	〃	74	石錐	II A3	2.4	0.7	0.5	0.67	黒曜石	
図IV-13-3	〃	〃	〃 3層		Rフレイク	X A1b	2.5	2.0	0.6	2.8	〃	
図IV-13-4	〃	〃	〃 1層	51	すり石	VI A1	8.25	14.7	7.2	1070.0	安山岩	

表V-4 土壌(RLP)出土掲載土器一覽

図番号	遺構	層位	発掘区	遺物番号	点数	分類	器種	部位	文様/地文	備考
図V-11-1	RLP-2	覆土2層	v-90	3	1	Ib-4	深鉢	胴	捺糸文	

表V-5 土壌(RLP)出土掲載石器一覽

図番号	遺構	発掘区	層位	遺物番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図IV-11-1	RLP-2	v-90	覆土1層	2	スクレイパー	III B2	3.7	4.2	2.0	28.75	黒曜石	

表V-6 流水跡 (RLR) 出土掲載土器一覧

図番号	遺構	層位	発掘区	遺物 番号	点数	分類	器種	部位	文様/地文	備考
図V-14-1	RLR-5	川砂	u-80		1	Ib-4	深鉢	胴	捺糸文	
図V-14-2	〃	〃	u-79		1	Ib-4	〃	口縁	縄文圧痕	
図V-14-3	RLR-8	覆土4層	v-80	79	3	Ib-1	〃	胴	組紐圧痕・短縄文・貼付隆帯	
図V-14-4	〃	〃	〃	65	2	Ib-1	〃	〃	〃・〃	
図V-14-5	〃	覆土3層	w-79	26	1	Ib-1	〃	口縁	〃・〃・口唇上刻み	
図V-14-6	〃	〃4層	v-79	71	1	Ib	〃	胴	LR・RL縄文	} 接合
		〃3層	v-80	75	1					
図V-14-7	〃	〃4層	v-79	62	1	Ib-1	〃	〃	絡条体圧痕・短縄文	} 接合
		〃3層	w-79	27	1					
図V-14-8	〃	〃2層	v-80	45	1	Ib	〃	口縁	短縄文・LR縄	
図V-14-9	〃	〃4層	〃	66	2	Ib-1	〃	口~胴	組紐圧痕・短縄文・貼付隆帯	} 接合
			〃	67	3				平縁だが口縁の一部突出	
			〃	68	1				口唇上刺突	
			〃	69	3				口径19.8cm	
		〃2層	w-79	24	1					
		〃1層	w-80		1					
図V-14-10	〃	〃1層	w-79	3	1	Ib-4	〃	口縁	捺糸文	} 接合
		Vc下位	w-78		1					
図V-14-11	〃	覆土2層	v-79	20	1	Ib-4	〃	胴	捺糸文	} 接合
		〃1層	〃	4	1					
図V-14-12	〃	〃	〃	5	1	Ib-4	〃	〃	捺糸文・縄文圧痕	} 接合
			〃	6	1					
図V-14-13	〃	〃2層	〃	15	2	Ib-4	〃	口縁	捺糸文	} 接合
			〃	16	1					
図V-14-14	〃	〃1層	〃	42	1	Ib-4	〃	胴	捺糸文・縄端圧痕	
図V-14-15	〃	〃3層	〃	28	1	Ib-4	〃	〃	〃・〃	} 接合
			〃	32	1					
		Vc	〃		1					
図V-14-16	〃	覆土3層	〃	77	3	Ib-4	〃	口~胴	捺糸文・縄端圧痕・口唇上縄文	} 接合
			〃	59	1					
		〃4層	〃	61	1					
図V-14-17	〃	〃2層	v-80	52	4	Ib-4	〃	口縁	捺糸文・縄端圧痕	} 接合
			〃	47	2					
図V-14-18	〃	〃1層	v-79	17	1	Ib-4	〃	〃	捺糸文・縄線文	
図V-14-19	〃	〃	w-79	2	2	Ib-4	〃	胴	〃	
図V-14-20	〃	〃4層	v-79	58	2	Ib-4	〃	口縁	〃	
図V-14-21	〃	〃2層	〃	22	1	Ib-4	〃	胴	〃	
図V-14-22	〃	〃4層	v-80	79	1	IVc	〃	〃	平行沈線/LR縄文	
図V-14-23	RLR-10	〃1層	z-73		1	Ib-4	〃	〃	捺糸文	
図V-14-24	〃	NP-1	y-73		1	Ib	〃	〃	縄文	
図V-14-25	〃	〃	〃		1	Ib	〃	〃	捺糸文	

表V-7 流水跡 (RLR) 出土掲載石器一覧

図番号	遺構	発掘区	層位	遺物 番号	名称	分類	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重さ(g)	石質	備考
図V-15-1	RLR-8	v-79	覆土4層		スクレイパー	III B3	3.05	2.35	1.1	6.9	黒曜石	
図V-15-2	〃	v-80	〃2層	46	〃	III B5	(5.0)	2.5	1.15	(13.26)	頁岩	
図V-15-3	〃	v-79	〃4層	60	すり石	VI A1	6.5	(6.75)	3.8	(210.0)	砂岩	
図V-15-4	RLR-10	w-74			石皿	VII A1	(21.3)	(24.5)	6.4	(4710.0)	〃	
図V-15-5	〃	y-73	RLNP-1	1	石製品	垂飾	4.9	1.6	0.4	4.8	蛇紋岩	

表V-8 遺構別出土土器一覧 住居跡(RLH)

遺構名	出土層位	Ib	Ib-1	Ib-4	IIa	IIIb	IVa	IVb-4	IVc	IVc-0	IVc-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLH-1	覆土1層	2													2
	〃 2層	4		11											15
	〃 3層			7											7
	床面			2											2
計		6		20											26
RLH-2	覆土1層	4				3	181		46		3			2	239
	〃 2層	1				4	67		24					3	99
	〃 3層		1			6			6					2	15
	床面	10							8					4	22
	HP-1								2					14	16
計		15	1			13	248		86		3			25	391
合計		21	1	20		13	248		86		3			25	417

表V-9 遺構別出土土器一覧 土壙(RLP)

遺構名	出土層位	Ib	Ib-1	Ib-4	IIa	IIIb	IVa	IVb-4	IVc	IVc-0	IVc-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLP-2	覆土			1											1

表V-10 遺構別出土土器一覧 流水跡(RLR)

遺構名	出土層位	Ib	Ib-1	Ib-4	IIa	IIIb	IVa	IVb-4	IVc	IVc-0	IVc-1	土製品	焼成 粘土塊	不明	合計
RLR-5	川砂			3					1					2	6
RLR-8	覆土1層		1	13											14
	〃 2層	5	1	30											36
	〃 3層	5	3	9											17
	〃 4層	1	16	8					1						26
計		11	21	63					2					2	99
RLR-10				3											3
合計		11	21	66					2					2	102

VI 自然科学的手法による分析・鑑定

1 放射性炭素年代測定

株式会社 地球科学研究所

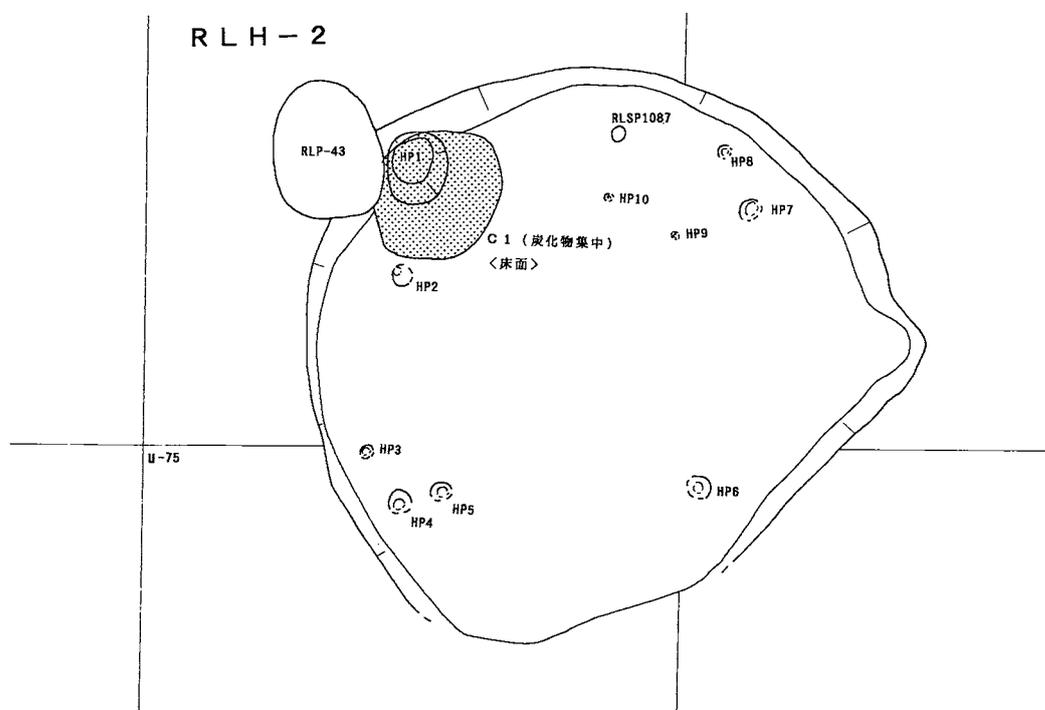
試料番号	¹⁴ C年代 (y BP)	補正 ¹⁴ C年代 (y BP)
Beta-138108 (KS4R1)	4300±50	4290±50

測定方法：AMS（加速器質量分析）

前処理：酸-アルカリ-酸 洗浄

試料種：炭化物

採取位置：竪穴住居跡内の炭化物集中域（RLH2-C1）



図VI-1 年代測定試料採取位置

2 キウス4遺跡R地区から出土した縄文時代の植物種子

よしぎまさかず つばきさかやすよ
吉崎昌一・椿坂恭代

1) 遺跡と調査の概要

遺跡の名称：キウス4遺跡R地区

遺跡の所在：北海道千歳市中央208-16ほか

調査の機関：財団法人北海道埋蔵文化財センター

調査担当者：佐川俊一ほか

調査期間：平成10年(1998年)5月6日～11月11日

遺跡の立地：R地区はキウス4遺跡の南西部に位置する。標高9～10mの段丘面および標高7～8mの低地になっており、その間は、南から西側は段丘崖、東側は緩斜面になっている。

遺構と年代：縄文時代早期末葉の土壌1基、縄文時代後期後葉の周堤墓に隣接する盛土遺構の直下とこれに隣接する遺物包含層中の焼土遺構およびC-14年代測定で4300yrs±50BP、補正年代で4290yrs±50BPという数値が得られている縄文時代中期後半?の堅穴住居跡、詳しくは本編参照のこと。

2) 扱った資料

分析資料として扱った炭化植物は、縄文時代後期後葉の周堤墓に隣接する盛土遺構の直下と盛土遺構に隣接する遺物包含層中で検出された焼土遺構、縄文時代中期後半?の住居跡の床面、柱穴、ならびに縄文時代早期末葉の土壌から土壌が採取され、調査班の手でフローテーション法処理された。ここから得られた浮遊炭化物と残渣が得られ、この中から種子が選別され送付されてきた。これらの資料について実体顕微鏡と走査型電子顕微鏡で観察並びに撮影を行った。検出された植物種子の出土表は表VI-1に示しておいた。

3) 各地区から検出された種子

[縄文時代後期後葉盛土遺構周辺から得られたもの]

ヒエ属 *Echinochloa Beauv.* (図版VI-1-1、RLP036から出土)

盛土遺構に隣接する包含層中の焼土(RLF251)と土壌内焼土の灰層(RLP036)から2粒出土している。いずれも内・外穎の取れた穎果の状態で見出された。種子は2粒ともやや胴部が膨らみ、栽培型に近い形態を示す。図示した資料は、長さ1.5mm、幅1.15mm、厚さ0.6mm。

イネ科 GRAMINEAE (図版VI-1-2、RLF257から出土)

盛土遺構に隣接する包含層中の焼土(RLF257)から1粒出土。種子の形態と大きさからは野生種の形態であるが、資料が1粒しか検出されておらず、これ以上の分類は困難である。図示した資料は、長さ1.1mm、幅0.65mm、厚さ0.4mm。

アサ *Cannabis sativa L.* (図版VI-1-3、RLF257から出土)

盛土遺構に隣接する包含層中の焼土(RLF251, 257, 258)から出土している。果実は卵形で扁平である。背の部分に2条の稜角がある。図示した資料は、長さ2.9mm、幅2.2mm、厚さ1.7mm。

タデ科POLYGONACEAE (図版VI-1-4、RLF252から出土)

盛土遺構に隣接する包含層中の焼土 (RLF200,252) から出土している。種子は三稜の形態を持つ。縦に稜がやや突起する。これらの特徴からギシギシ属 *Rumex* L. に分類できると思うが、この仲間には同じような形態を持つものが多く、種類の特定はできない。図示した資料は長さ2.0mm、幅1.1mm。

キク科COMPOSITAE (図版VI-1-5a,5b、RLF28から出土)

盛土遺構に隣接する包含層中の焼土 (RLF28,200,252,256,257,258,259,260) と土壌焼土の灰層 (RLP036) から出土している。

瘦果は長卵形で縦の筋としわがあり、ヨモギ属 *Artemisia* L. に類似している。ヨモギ瘦果の場合、加熱されると表面の薄い果皮が破れて種子がでてくる。出土した資料は、薄い果皮が付着していたため表面の観察はできたが、キク科の種子は種類が多く詳細な分類は困難である。図示した資料は長さ1.5mm、幅0.55mm。

ユリ科LILIACEAE (図版VI-1-6a,6b、RLF246から出土)

盛土遺構に隣接する包含層中の焼土 (RLF246) から2片出土している。形態的にはネギ属 *Allium* L. に分類できるが、資料の保存状態が悪いため詳細は不明である。図示した資料は破損しており計測はできなかった。

ブドウ科VITIDACEAE (図版VI-1-7a,7b、RLF257から出土)

盛土遺構に隣接する包含層中の焼土 (RLF251,257,258) から出土している。扁平球形で背面には凹んだヘソがある。腹面にはたて筋の両側に凹みがあり、ブドウ属 *Vitis* L. 種子の形態に類似するが、完形の資料が2粒と少量のうえ、保存状態が悪い。それであえて科レベルの分類にとどめておいた。図示した資料は長さ3.9mm、幅3.0mm、厚さ2.0mm。

ブナ科FAGACEAE (図版VI-1-8、RLF28から出土)

盛土遺構に隣接する包含層中の焼土 (RLF28) から2片 (0.01g) 出土している。資料の保存状態が悪いため、詳細な分類と計測はできなかった。

クルミ属 *Juglans* L. (図版VI-1-9a,9b、RLF258から出土)

盛土遺構に隣接する包含層中の焼土 (RLF200,249,251,256,257,258) と土壌焼土灰層 (RLP036) から1.29g出土している。いずれも内果皮の細片である。資料のいくつかに残存している表面構造組織の特徴から、オニグルミ *Juglans ailanthifolia* Carr. であろう。

不明種子1 (図版VI-2-10a,10b-RLF190、VI-2-11a,11b-RLF257から出土)

図示した2-10aの資料は、盛土遺構に隣接する包含層中の焼土 (RLF190) から1粒出土しているが、手元に比較資料がないため分類できなかった。2-11aに示す資料は球形で表面で組織構造を持つが、その一部分に奇妙な穴があいている例が見られる。形態から見て、これがはたして植物種子と言えるのかどうか判断しかねる。この種のものについて情報があれば御教示願いたい。図示した資料2-10a：長さ3.1mm、幅2.0mm。2-11a：長さ1.6mm、幅1.2mm。

不明種子2

資料の保存状態が悪いため同定出来なかったもの。

[縄文時代早期末葉および中期後半?の遺構から得られたもの]

マタタビ属*Actinidia* Lindl. (図版VI-2-12、RLP002から出土)

縄文時代早期末葉の土壌(RLP002)から1粒出土した。卵形で種子の表面に網目模様がある。マタタビ*Actinidia polygama* Planch. et Maxim. とサルナシ*Actinidia arguta* Planch. の種子は形態と表皮の細胞構造が類似する。たった1粒の出土では分類が困難である。図示した資料は：長さ1.9mm、幅1.3mm、厚さ0.8mm。

キハダ属*Phellodendron* Rupr. (図版VI-2-13、RLP002から出土)

縄文時代中期後半?の住居跡北床面(RLH002)と床面炭化物集中(RLH2C1)から2片出土している。図示した資料の計測は破片のためできなかった。

ウルシ属*Rhus* L. (図版VI-2-14、RLH002から出土)

縄文時代中期後半?の住居跡南床面(RLH002)から1粒出土している。種子の表皮が剥離しており、子葉は扁平でウルシ属*Rhus* L. の形態を示すが、資料の保存状態が悪いため種類の特定はできない。北海道にはツタウルシ*Rhus ambigua*、ヤマウルシ*Rhus trichocarpa*、ヌルデ*Rhus javanica*、は分布しているが、ウルシ*Rhus succedanea*はないといわれている。図示した資料は、長さ1.9mm、幅2.3mm、厚さ2.0mm。

その他にタデ科POLYGONACEAEの種子が縄文時代早期末葉の土壌(RLP002)から1片出土しているが、破損のため図示することができなかった。キク科COMPOSITAEの種子が縄文時代中期後半?の住居跡南床面、北床面(RLH002)と縄文時代早期末葉の土壌(RLP002)から出土しているが、縄文時代後期末葉の遺構から検出されている種子と殆ど同種類であった。また、不明1の土壌(RLP003)から出土した種子は図版VI-2-10aに図示した資料と同じである。その他に資料の保存状態が悪いため分類できなかったものを不明2にまとめておいた。

4) まとめ

ヒエ属の穎果は2例しか得られなかったが、図示したように胴部が膨らみ、栽培型の縄文ヒエとしての典型的な形態を示している。東日本において我々がこうした栽培型のヒエと呼ぶものは、縄文時代早期末から出現しはじめ、縄文時代中期になると普遍的に見られるようになる(吉崎 1991、1992、1997)。この現象に絡めて、ヒエ栽培は東日本で出現したという仮説を述べたことがある(吉崎 1997)。しかし、西日本の縄文時代中期の粟津貝塚からもヒエが出土するところをみると(中川 1997)、この栽培化が日本列島のどの地域で、いつ始まったのかについては、まだ、確定的なことは言えない段階だと考えは始めている。もし、縄文ヒエの栽培が、西日本でも東日本と同様に古くから開始されているとすれば、イネの渡来時期が縄文時代前半にまでさかのぼる可能性とともに、これに伴って大陸からのヒエの伝播の可能性についても視野に入れなければならないかもしれない。資料の増加を待ちたいと思う。

アサは食用や油脂植物としても利用されたであろうが、これを加熱して発生する煙を吸引する、といった用途を考えることは不可能であろうか。縄文時代の幻覚剤が明らかになっていないので議論す

ることは難しいが、毒キノコやイケマ（ガガイモ科 *Metaplexis japonica* Makino）（知里 1993）などの利用とともに、ドラッグ問題はいずれ避けて通れないテーマになりそうに思う。特に今回の出土地点が明らかに儀礼に関係していると見られるので、注意しておきたい。

キク科COMPOSITAEの瘦果はヨモギの可能性があるので面白い。以前、この種のもので周堤墓に隣接する盛土中の焼土にとまって出土したことに注目したことがある（吉崎・椿坂 1998 360-361）。アイヌ民族の例では、ヨモギは儀礼的な色彩（萱野 1996）が強いので葬送儀礼との関連を持つかもしれない。

キハダは、アイヌ民族の間では果実を生食したり、乾燥して保存しスパイス様に煮込み料理などに利用している。北海道の縄文時代遺跡から普遍的に出土し、その利用の伝統が現代のアイヌ民族の中にまで続いているのであろう。

今回扱った植物遺体の殆どが周堤墓に隣接する包含層中あるいは盛土直下の焼土遺構から得られたものであった。言い換えれば、儀礼に関係する遺構に関連する可能性のある部分からの検出である。盛土遺構中の考古学的人為遺物を見ても、調査者は漆塗り土器やミニチュア土器、スタンプ形土製品などが出土し、焼骨の細片が多量に存在するなど特異性を指摘している。こうした特異性が、この遺構を含む遺跡全体の理解を進めるための植物遺体の組成にも認められるかどうかについては、今後、他の地区の整理が進めば検討可能かもしれない。

引用文献

萱野 茂

1996: 萱野茂のアイヌ語辞典. 三省堂 東京

知里真志保

1993: 知里真志保著作集 別巻1 分類アイヌ語辞典 動物編・植物編. 平凡社 東京

中川 治

1997: 粟津湖底遺跡第3貝塚 滋賀県教育委員会編本文編・図版編

吉崎昌一

1991: フゴッペ貝塚から出土した植物遺体とヒエ属種子についての諸問題.

(財)北海道埋蔵文化財センター編「フゴッペ貝塚」535-547, (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書第72集, (財)北海道埋蔵文化財センター, 札幌

1992: 青森県富ノ沢(2)遺跡出土の縄文時代中期の炭化植物種子. 青森県教育委員会編『富ノ沢(2)遺跡IV発掘報告書』31097-1110, 青森県教育委員会

1997a: 中野B遺跡におけるヒエ属種子の検出. (財)北海道埋蔵文化財センター編「函館市中野B遺跡(III)―平成7年度―」615-618, (財)北海道埋蔵文化財センター, 札幌

1997b: 縄文時代の栽培植物. 「第四紀研究」36(5), 343-346. 第四紀学会, 東京

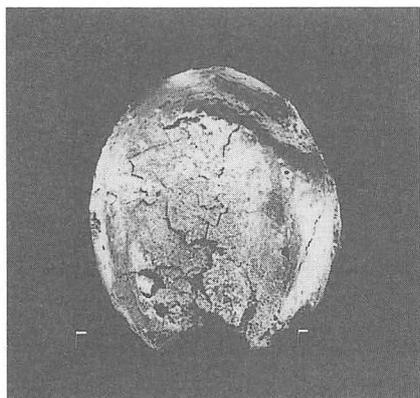
吉崎昌一・椿坂恭代

1998: キウス4遺跡から出土した炭化植物種子について (財)北海道埋蔵文化財センター編, (財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第124集 「千歳市 キウス4遺跡 (2)」509p.357-367 (財)北海道埋蔵文化財センター発行, 札幌

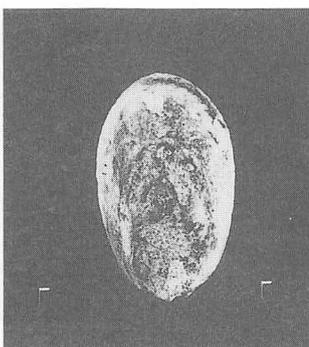
表VI-1 キウス4遺跡R地区出土炭化種子

資料番号	遺構名	土壌採取 グリップ	層位	時期	ヒエ属 (粒)	イネ科 (粒)	アサ (粒)	タデ科 (粒)	キク科 (粒)	ユリ科 (片)	マタタビ属 (粒)	キハダ属 (片)	ブドウ科 (粒)	ウルシ属 (粒)	アサ科 (g)	クルミ属 (g)	不明1 (粒)	不明2 (片)
1	RLF28		焼土	縄文時代後期末葉					0.11						0.01		1	1
2	RLF190		焼土	"													1	
3	RLF200		焼土	"				2	0.93							0.02		
4	RLF246		焼土	"														
5	RLF249		焼土	"														
6	RLF251		焼土	"	1		8						3			0.01		2
7	RLF252		焼土	"				9	3							0.08		1
8	RLF256		焼土	"					9							0.01		
9	RLF257		焼土	"	1		1		12				1			0.14		47
10	RLF258		焼土	"			1	8	55				2			0.78		18
11	RLF259		焼土	"					49									
12	RLF260		焼土	"					25									
13	RLF261		焼土	"														
20	RLP036		土壌焼土灰層	"	1				2							0.25		
14	RLH002		南床面	縄文時代中期後半?	2		1	2	16	11	155	1	3	9	0.01	1.29	68	18
15	RLH002		北床面	"					2					1				3
16	RLH2C1		床面炭化物集中	"					4									
17	RLH2HP1		柱穴	"												<0.00		1
18	RLP002		土壌	縄文時代早期末葉					6									4
19	RLP003		土壌	"				1	1		1					0.56		7
								1	1							0.56	1	8
								1	1							0.56	1	15

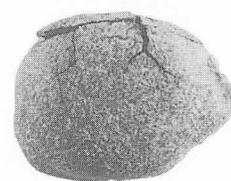
キク科種子: 0.1g-約1050粒



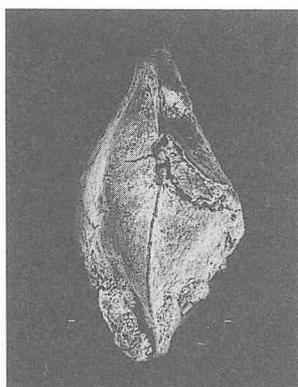
1 ヒエ属



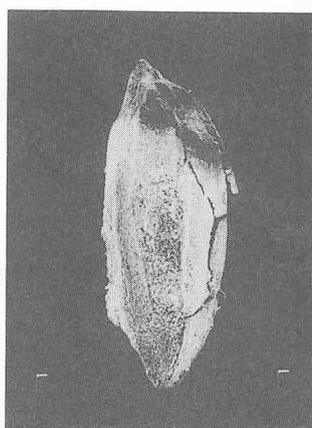
2 イネ科



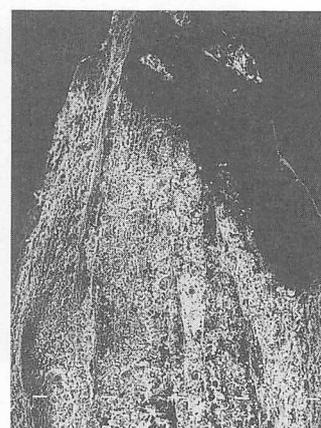
3 アサ



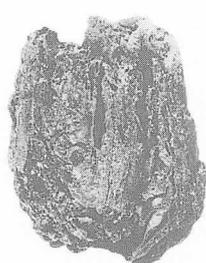
4 タデ科



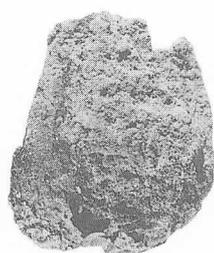
5a キク科



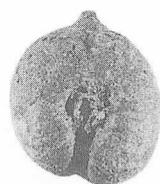
5b 5a表面の拡大×150



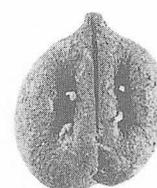
6a ユリ科



6b



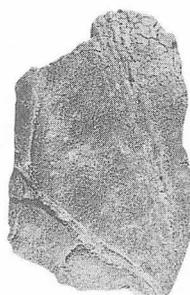
7a ブドウ科背面



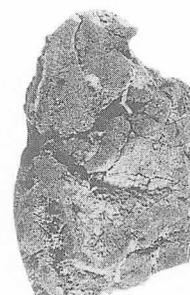
7b 腹面



8 ブナ科



9a クルミ属



9b

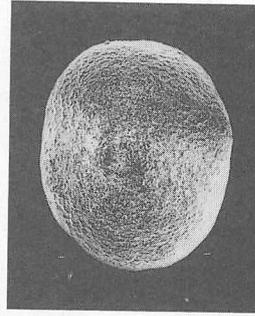
キウス4遺跡R地区出土炭化種子(1)



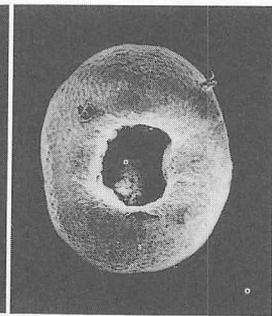
10a 不明



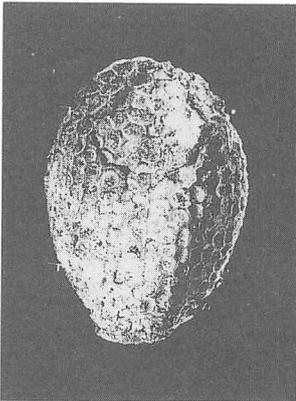
10b



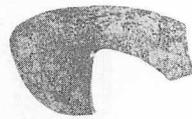
11a 不明



11b



12 マタタビ属



13 キハダ属



14 ウルシ属

キウス4遺跡R地区出土炭化種子(2)

3 千歳市キウス4遺跡R地区出土動物遺存体

高橋 理/千歳サケのふるさと館

はじめに

千歳市のキウス4遺跡R地区において、焼土と土壌より動物遺存体および骨器・角器が回収された。これらの遺構・遺物は縄文時代後期後葉のものである。

筆者に分析の機会を与えられた(財)北海道埋蔵文化財センター佐川俊一氏およびスタッフの方々に御礼申し上げます。

動物遺存体

動物遺存体はFloatation法およびHand-Pickによって回収された。回収方法の詳細については本論を参照されたい。表に各遺構ごとの二つの方法による回収遺物を提示した。動物遺存体は次のとおりである。

魚綱 Osteichthyes

サケ目 Salmoniformes

サケ科 Salmonidae non det.

コイ目 Cypriniformes

コイ科 Cyprinidae non det.

ほか 魚綱 Osteichthyes non det.

鳥綱 Aves non det.

哺乳綱 Mammalia

齧歯目 Rodentia non det.

偶蹄目 Artiodactyla

シカ科 Cervidae

ニホンジカ *Cervus nippon*

イノシシ科 Suidae

イノシシ *Sus scrofa leucomystax*

ほか 哺乳綱 Mammalia non det.

コメント

Floatation法とHand-Pickによって回収された動物遺存体は以上のとおりであった。予想されたことではあるが、Floatation法によってはるかに多いサケ科 Salmonidae やコイ科 Cyprinidae の椎骨・脱落歯などが回収された。細かいメッシュサイズによって、より多くの情報が得られることが改めて確かめられたわけである。多量の土壌すべてをFloatation法で処理することは時間や労力の点から困難なことが多い。乾燥フルイも含めて、いずれの方法によるかは例えば少量の土壌を異なる方法で処理し、どのサイズのどんな遺物が含まれているかを判断したうえで、処理法の選択あるいはその併用などを総合的に決定していけばよいものと思われる。

今回の動物遺存体の出土は、種類数や量的にさほど多いとはいえない。これは盛土遺構出土遺物が、分析の対象から除外されていることによる。このことは換言すると、盛土遺構そのものの性格が単なる土壌の大規模な人為堆積ではないことを示していると考えられる。今回もイノシシ *Sus scrofa leucomystax* が36号土壌や257号焼土から検出されているが、これらの遺構を含むあるいは隣接する盛

土遺構においては、はるかに多量の遺物の検出が予想される。居住域や他の生活域におけるイノシシ *Sus scrofa leucomystax* やヒエ属 *Echinochloa* sp.の検出が、盛土遺構におけるそれに比較してはるかに少ないことから、この遺構を儀礼の場ではなかったかとの仮説が提示されている(高橋・太子:1998、吉崎・椿坂:1998など)。また、サケ科 Salmonidae 魚類の出土部位の極端な偏りからも、保存処理の存在とともに儀礼がその目的のひとつであった可能性も考えたことがある。ヒエ属 *Echinochloa* sp.種子は今回も焼土と土壌から1点ずつではあるが検出されている^(註)。

現在も処理が進められている大量に回収された盛土遺構の土壌の総合的な分析の試みによって、この問題に一定の見通しが立つことを期待したい。「総合的」とは、単に盛土遺構の土壌の分析にとどまるのではなく、周堤墓群や住居群の分析 Dataをも取り込んだ「キウス4遺跡の総合的」な考察を意味する。

註 北海道大学埋蔵文化財調査室 椿坂恭代氏のご教示による。

引用文献

- 高橋 理・太子夕佳(1998)「千歳市キウス4遺跡出土動物遺存体」
『千歳市 キウス4遺跡(2)』pp.345-356
財北海道埋蔵文化財センター
- 吉崎昌一・椿坂恭代(1998)「キウス4遺跡から出土した炭化植物種子について」
『千歳市 キウス4遺跡(2)』pp.357-367

表VI-2 千歳市キウス4遺跡R地区出土動物遺存体(1)

サンプル	フローテーションサンプルNo.	遺構名	埋物番号	層位	動物遺存体	部位	数量	備考
1	315/316/317	RLF200		覆土	サケ科 Salmonidae non det.	脱落歯	2	被熱
					サケ科 Salmonidae non det.	椎骨 fr.	84	被熱なし
					魚綱 Osteichthyes non det.	鰭棘ほか fr.	578	被熱多い
					ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	臼歯 歯冠 fr.	34	被熱
					哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	8	被熱
2	565/572/573	RLF251		覆土	サケ科 Salmonidae non det.	脱落歯	18	被熱
					サケ科 Salmonidae non det.	椎骨 fr.	165	被熱少ない
					魚綱 Osteichthyes non det.	鰭棘ほか fr.	1590	被熱少ない
					ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	臼歯 歯冠 fr.	1	被熱
					哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	22	被熱なし
					哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	46	被熱
3	582	RLF253		覆土	哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	478	被熱
4	587	RLF256		覆土	サケ科 Salmonidae non det.	椎骨 fr.		被熱なし
					魚綱 Osteichthyes non det.	鰭棘ほか fr.	2017	被熱なし
					哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	6	被熱なし
5	597/598/599/600/601/602/603	RLF257		覆土	サケ科 Salmonidae non det.	脱落歯	196	被熱
					サケ科 Salmonidae non det.	椎骨 fr.	1165	被熱少ない
					魚綱 Osteichthyes non det.	鰭棘ほか fr.	9231	被熱少ない
					魚綱 Osteichthyes non det.	椎骨 fr.	54	被熱なし
					鳥綱 Aves sp.	不明 fr.	4	被熱なし
					ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	臼歯 歯冠 fr.	1	被熱なし
					ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	種子骨	1	被熱なし
					ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	第2or5指趾 基節骨	1	被熱なし
					ニホンジカ <i>Cervus nippon</i> ?	基状舌骨? fr.	1	被熱なし
					骨器? (擦痕あり)	ニホンジカ中足骨背側	1	被熱
哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	513	被熱					
6	663/664/665/666/667/668	RLF258		覆土	サケ科 Salmonidae non det.	脱落歯	57	被熱
					サケ科 Salmonidae non det.	椎骨 fr.	1049	被熱3割
					魚綱 Osteichthyes non det.	椎骨 fr.	39	被熱なし
					魚綱 Osteichthyes non det.	鰭棘ほか fr.	4470	被熱なし
					ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	臼歯 歯冠 fr.	17	被熱
					哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	371	被熱
7	2/6	RLP2		覆土	哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	68	被熱
8	19/20/23/24/25/26	RLP36		F1	サケ科 Salmonidae sp.	脱落歯	1	被熱
					ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	中足骨 背側fr.	1	被熱
					ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	中足骨 底側fr.	1	被熱
					ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	中手骨 底側fr.	1	被熱
					哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	347	被熱
9		RLP10		覆土 中位	ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	中足骨 背側fr.	1	被熱
					哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	5	被熱
10		RLP14		覆土	ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	基節骨 近位端fr.	1	被熱
					ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	中手骨 底側fr.	2	被熱
					角器 (刺突具?)	ニホンジカ角	1	被熱 2点接合
					哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	16	被熱
11		RLP15		覆土	骨器 素材不明 基部(?)に挟り	不明	1	被熱 擦痕多数
					哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	17	被熱
13		RLP36	3	F1	ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	中足骨 底側fr.	1	被熱
					イノシシ <i>Sus scrofa leucomystax</i>	副手根骨	1	被熱
					哺乳綱 Mammalia spp.	不明 fr.	2	被熱
14		RLF257		FO	哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	16	被熱
15		RLF258		FO	哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	3	被熱

表VI-3 千歳市キウス4遺跡R地区出土動物遺存体(2)

16	RLR3	1	哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	7	被熱
17	RLF257	FO	哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	6	被熱 微細片多数
18	RLF257	FO	サケ科 Salmonidae non det.	脱落歯	30	被熱なし
			サケ科 Salmonidae non det.	椎骨 fr.	168	被熱なしやや多い
			コイ科 Cyprinidae sp.	椎骨	3	被熱
			コイ科 Cyprinidae sp.	第一頸椎	1	被熱
			魚綱 Osteichthyes non det.	鰭棘ほか fr.	123	被熱
			齧歯目 Rodentia sp.	下顎 切歯	1	被熱
			ニホンジカ <i>Cervus nippon</i>	白歯 歯冠 fr.	1	被熱なし
			哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	13	被熱なし
19	RLF257	FO	サケ科 Salmonidae non det.	脱落歯	41	被熱
			サケ科 Salmonidae non det.	椎骨 fr.	3	被熱
			サケ科 Salmonidae non det.	椎骨	3	被熱
			コイ科 Cyprinidae	椎骨 fr.	5	被熱
			コイ科 Cyprinidae	椎骨	1	被熱
			鳥綱 Aves non det.	右腕骨 近位端を欠く	1	被熱
			鳥綱 Aves non det.	右上腕骨 近位端fr.	1	被熱
			齧歯目 Rodentia sp.	尾椎	1	被熱なし
			哺乳綱 Mammalia non det.	不明 fr.	68	被熱やや多い
			イノシシ <i>Sus scrofa leucomystax</i>	右上顎骨 第三後臼歯および歯槽	1	やや被熱
			イノシシ <i>Sus scrofa leucomystax</i>	右上顎骨 第三・四前臼歯、第一後臼歯および歯槽	1	やや被熱
			イノシシ <i>Sus scrofa leucomystax</i>	白歯 歯冠fr.	細片多数	被熱 黒色化

表VI-5 フローテーション試料一覧(2)

試料番号	遺跡名	グリッド	層位	調査月日	水洗前乾燥重量(g)	水洗前乾燥体積(cc)	残留量(g)	残留土器	洗石屑重量(g)	洗石屑体積(cc)	洗石屑重量(g)	洗石屑体積(cc)	洗石屑重量(g)	洗石屑体積(cc)	浮遊物	植物遺存体	動物遺存体	備考
F 55*1	RLF029		FD	909	1270	1.8	50	2.6	0.2	3.0	0.0	+	3.0					
F 55*2	RLF031		焼土	907	2005	1.8	20		0.0			+	0.2					
F 55*3	RLF032		焼土	919	2780	3.3	80	8.3	1.9	0.0	1.6	+	10.7					
F 55*4	RLF032		焼土	919	3120	4.1	110	21.9	0.2	0.1	2.5	+	13.6					
F 55*5	RLF033		焼土	907	3740	4.3	40	1.3	0.0	0.0		-	3.1					
F 55*6	RLF034		焼土	907	1860	2.2	20		0.0	0.0		-	1.5					
F 55*7	RLF034		焼土	907	2350	3.7	30		0.0	0.0	0.0	+	2.4					
F 55*8	RLF034		焼土	907	2410	3.3	20		0.1	0.1		+	0.2					
F 56	RLF035		焼土	907	2150	2.5	40	12.5	0.0	0.0	0.0	+	1.8					
F 57	RLF035		焼土	907	3500	3.0	40	5.7	0.1	0.0	0.0	+	10.2					
F 58*1	RLF035		焼土	907	4810	6.0	60	0.2	0.0	0.0		+	5.3					
F 58*2	RLF035		焼土	917	3050	3.7	20		0.1			+	0.2					
F 58*3	RLF035		焼土	917	2255	2.8	20	0.1	1	0.1		+	2.7					
F 58*4	RLF035		焼土	917	3260	3.9	30	0.1	0.1		0.0	+	1.0					
F 59*1	RLF036		F1	1030	3870	6.0	480	8.5	1.7	0.8	6.7	+	53.8					
F 59*2	RLF038		焼土	926	960	1.3	50	12.5	0.5	0.0	0.8	-	2.0					
F 60*1	RLF040	s80	焼土	905	2400	3.0	180	19.3	1.3	0.0	0.7	+	0.9					
F 60*2	RLF041		焼土	917	3340	4.1	30		0.0			-	1.9					
F 60*3	RLF041		焼土	917	3750	4.7	20	2.6	0.2			+	1.0					
F 60*4	RLF041		焼土	917	3560	4.2	20		0.0	0.0		-	2.2					
F 60*5	RLF041		焼土	907	3290	4.3	30					-	0.8					
F 60*6	RLF046		焼土	907	1800	2.5	10			0.0		-	0.3					
F 60*7	RLF047		焼土	907	2180	3.0	30		0.0	0.0	0.0	+	0.0					
F 61*1	RLF050		焼土	907	5780	6.0	60		5.5		0.0	-	4.5					
F 61*2	RLF050		焼土	917	2500	3.1	30		0.0			+	6.3					
F 61*3	RLF055		焼土	907	2310	3.1	40	3.7	0.0			+	3.4					
F 62*1	RLF057		焼土	907	5380	6.6	50	0.8		0.0		+	0.5					
F 62*2	RLF059		焼土	907	3020	3.9	50		0.0			-	3.1					
F 62*3	RLF059		焼土	907	4400	5.3	60	0.1	0.0		0.1	+	5.9					
F 62*4	RLF062		焼土	907	3470	4.9	160	16.7	1.5	0.1		+	7.5					
F 62*5	RLF062		焼土	907	3470	4.9						0.0						
F 62*6	RLF063		焼土	917	2310	3.0	20	0.5	0.0	0.0		+	2.3					
F 62*7	RLF063		焼土	917	2310	3.0						0.0						
F 62*8	RLF065		焼土	917	1560	2.0	40		0.0	0.0		+	0.2					
F 62*9	RLF065		焼土	907	1830	2.6	20	0.6	0.0	0.0		+	0.3					
F 63	RLF067		焼土	907	2500	3.0	20	0.0	0.0	0.0		+	0.1					
F 64*1	RLF067		焼土	907	3970	4.5	40	0.3	0.1	0.1	0.0	+	2.0					
F 64*2	RLF068		焼土	907	2150	2.6	80	7.4	0.4	0.6	1.5	+	33.9					
F 64*3	RLF069		焼土	908	3420	4.1	40	11.1	0.0	0.2		+	3.1					
F 64*4	RLF069		焼土	908	2830	4.1	30	0.4	0.0	0.1	0.0	+	14.8					
F 64*5	RLF071		焼土	917	2450	3.6	30	1.4	0.4	0.0		+	8.2					
F 64*6	RLF071		焼土	917	2270	3.2	20	0.9	0.0	0.0		+	8.5					
F 64*8	RLF079		焼土	908	3200	4.2	20		0.0	0.0		-	1.1					
F 64*9	RLF079		焼土	908	2150	3.0	20		0.4	0.0		+	2.7					
F 65	RLF083		焼土	917	4080	6.0	30	0.1	0.0	0.0	0.0	+	4.8					
F 66*1	RLF083		焼土	917	4580	6.0	39	0.1	0.0	0.0	0.1	+	7.0					
F 66*2	RLF083		焼土	908	1920	2.6	10	7.1	0.0	0.0		+	0.2					
F 66*3	RLF083		焼土	908	3140	4.0	20	2.3	0.1	20.5	0.1	+	2.2					
F 66*4	RLF083		焼土	917	2200	2.8	20		0.0	0.1		+	0.9					
F 66*5	RLF083		焼土	908	2640	3.6	20	1.8	0.1			+	1.9					
F 67*1	RLF085		焼土	908	2150	2.8	20	0.8		0.0	0.0	+	0.7					
F 67*2	RLF087		焼土	918	2355	3.0	10		0.0			-	0.4					
F 67*3	RLF087		焼土	908	2860	3.8	20	1.1	0.1		0.2	+	2.6					
F 67*4	RLF087		焼土	908	3450	4.3	20	2.7	0.1	0.0		+	7.2					
F 67*5	RLF087		焼土	918	4130	4.9	30	1.9	1	4.4	0.0	+	6.9					
F 67*6	RLF087		焼土	918	2140	2.8	10	0.5	0.0	0.0		-	0.2					
F 67*7	RLF087		焼土	918	3690	4.6	20	1.2	0.1	0.0	0.0	+	6.1					
F 67*8	RLF087		焼土	918	2735	3.6	30	2.0	0.1	0.0		+	3.6					
F 67*9	RLF088		焼土	917	1970	2.5	20		0.0	0.0		-	0.4					
F 68*1	RLF092		焼土	908	1670	2.5	10		4.4	0.0	0.0	-	1.9					
F 68*2	RLF092		焼土	908	2720	3.0	20	0.2	0.1	0.2		+	2.8					
F 69	RLF103		焼土	908	2020	2.7	10		0.0	0.0		+	0.2					
F 70	RLF103		焼土	908	2580	3.1	10		0.0	0.0		+	1.4					
F 71	RLF105		焼土	909	1930	3.2	20	2.8	0.6			+	1.3					
F 72	RLF105		焼土	909	2840	3.8	20	0.2	0.3	0.0		+	3.5					
F 73	RLF105		焼土	909	2440	3.2	10	0.3	0.6	0.0		+	12.0					
F 74	RLF105		焼土	918	2565	3.3	20	12.1	0.0			-	1.9					
F 75	RLF105		焼土	918	2670	3.0	20	2.9	0.1	0.0		+	0.7					
F 76	RLF110		焼土	909	2775	4.7	30		0.0	20.6		-	0.0					
F 77	RLF117		焼土	909	2650	3.7	10		0.0			-	0.5					
F 78	RLF117		焼土	909	2830	3.6	10		0.0			-	2.5					
F 79	RLF116	r91	焼土	925	3730	4.8	30	7.1	0.0	0.0		-	8.7					
F 80	RLF118		焼土	918	2910	3.7	10		0.2			-	0.9					
F 81	RLF118		焼土	918	2780	3.9	10		0.0	0.1		-	3.2					
F 82*1	RLF118		焼土	925	5010	6.2	100		0.2	69.2		+	13.3					
F 82*2	RLF118		焼土	918	3670	4.9	10		0.0	0.0		-	3.0					
F 83	RLF119		焼土	909	2530	3.0	50				0.0	-	1.5					
F 67*10	RLF87		焼土	918	5270	9.5	30	2.8	0.2	0.0		+	5.0					
F 84	RLF119		焼土	909	3030	4.0	10	0.2	0.0	0.0		-	1.5					
F 85	RLF123		焼土	909	1800	1.8	10		0.2			-	1.1					
F 86	RLF125		焼土	909	1670	2.0	10	1.7	0.0	0.0		-	0.8					
F 87	RLF125		焼土	909	2760	3.3	10		0.0	0.0		-	1.6					
F 88	RLF126		焼土	909	2980	3.5	10		0.0	0.0		-	1.0					

表VI-6 フローテーション試料一覧(3)

試料番号	遺構名	グ リ ド	層位	調査月日	水洗前 乾燥体 容積 (cc)	水洗前 乾燥体 容積 (cc)	浸漬 時間 (日)	浸漬 温度 (℃)	浸漬 液 種類	浸漬 液 濃度 (%)	浸漬 液 体積 (cc)	浸漬 液 成分 (%)	浸漬 液 pH	浮遊物	植物遺存体	動物遺存体	備考
F 89	RLF126		焼土	909	2070	3.0	10			0.0	0.0			-	0.5		
F 90	RLF127		焼土	909	2910	4.1	10	0.6		0.0	0.0			-	0.7		
F 91	RLF127		焼土	909	3890	4.6	10			0.0	0.0			-	0.0		
F 92	RLF128		焼土	909	2410	3.1	10	0.0		0.0	0.0			-	0.0		
F 93	RLF133		焼土	909	2170	3.0	10	0.5		0.0	0.0			-	2.5		
F 94	RLF136		焼土	909	370	0.7	10			0.0	0.0			0	0.4		
F 95	RLF137		焼土	909	3510	4.5	10	0.8		0.0	0.0			-	3.6		
F 96	RLF137		焼土	909	2275	3.0	10			0.0	0.0			-	0.8		
F 97	RLF137		焼土	909	3180	4.0	10	2.1		0.0	0.0			-	0.8		
F 98	RLF138		焼土	918	1855	2.5	10	0.4		0.0	0.0	0.0	0	0	0.2		
F 99	RLF138		焼土	918	1930	2.3	10	4.9		0.0	0.0			-	10.4		
F 100	RLF144		焼土	909	2910	3.5	10			0.0				-	0.4		
F 101	RLF144		焼土	909	2660	3.5	20	8.8		0.0	0.0	0.1	+	+	0.9		
F 102	RLF144		焼土	909	2025	2.6	10	4.7		0.0	0.0			+	1.3		
F 103	RLF144		焼土	909	2580	3.2	10	0.2		0.1	0.1	0.0	+	+	2.3		
F 104	RLF148		焼土	910	3120	4.0	10	0.3		0.0	0.0	0.0	0	0	2.5		
F 105	RLF148		焼土	910	3080	4.3	20	2.6		0.1	0.1		+	+	1.4		
F 106	RLF150		焼土	909	3880	4.8	20	16.2		0.0			-	-	9.4		
F 107	RLF150		焼土	918	2430	3.0	10	1.1		0.0	0.0		+	+	4.2		
F 108	RLF150		焼土	918	2600	2.9	10	3.4		0.0		0.0	-	-	16.0		
F 109	RLF150		焼土	918	2340	2.9	10	1.4		0.0	0.0		+	+	1.7		
F 110	RLF150		焼土	909	3020	3.3	10	8.5		0.0	0.2		+	+	7.3		
F 111	RLF150		焼土	909	2030	2.2	30	26.5		0.0			+	+	1.2		
F 112	RLF150		焼土	918	3420	4.1	10	3.5		0.1	0.1	0.0	+	+	11.8		
F 113	RLF150		焼土	917	4150	5.2	20	4.6		0.1	0.1		+	+	3.2		
F 114	RLF150		焼土	918	4210	5.2	10	3.0		0.0	0.0	0.0	-	-	2.4		
F 115	RLF150		焼土	918	3150	4.1	20	1.6		0.0	0.3	0.1	+	+	3.4		
F 117	RLF150		焼土	917	3685	4.6	10	0.4		0.0	0.1		+	+	0.2		
F 118	RLF150		焼土	918	3910	5.2	10	0.1			0.4		-	-	2.7		
F 119	RLF150		焼土	918	2455	3.1	10	0.6		0.1		0.0	+	+	2.7		
F 120	RLF150		焼土	918	3925	5.0	30	18.6		0.1	0.6	0.1	+	+	7.7		
F 121	RLF150		焼土	918	3860	4.8	10	2.3		0.0	0.0	0.1	+	+	7.0		
F 122	RLF150		焼土	917	2710	3.6	10	0.2			0.0		-	-	7.0		
F 123	RLF150		焼土	918	3360	4.3	20	1.3		0.1	0.2	0.2	+	+	6.7		
F 124*1	RLF150		焼土	918	2460	3.2	10	0.2		0.0	0.1	0.1	+	+	3.5		
F 124*2	RLF150		焼土	917	3580	4.9	20	2.2		0.0	0.2	0.1	+	+	8.0		
F 125	RLF151		焼土	918	1910	2.2	10	0.0		0.0			0	0	0.5		
F 126	RLF151		焼土	918	2170	2.5	10	0.4		0.0			-	-	1.4		
F 127	RLF151		焼土	909	1780	2.1	10	0.4		0.0			+	+	2.8		
F 128	RLF151		焼土	909	3280	4.1	10	0.5		0.0	0.0		-	-	0.2		
F 129	RLF152		焼土	917	2920	3.6	30	21.2		0.1			-	-	7.2		
F 130	RLF152		焼土	917	2450	2.9	10	0.8		0.1		0.1	+	+	0.2		
F 131	RLF152		焼土	917	3050	3.1	10	0.2		0.0		0.0	+	+	0.2		
F 132	RLF152		焼土	909	4540	5.3	10	2.8		0.0			+	+	9.6		
F 133	RLF152		焼土	917	2880	4.0	20	11.8		0.0	0.0		+	+	2.2		
F 134	RLF152		焼土	917	1850	2.7	10	0.0		0.0	0.0	0.0	+	+	0.4		
F 135	RLF152		焼土	909	4320	5.3	20	0.8		0.0	0.4		-	-	17.2		
F 136	RLF153		焼土	910	2920	3.7	10	0.0		0.0		0.0	0	0	1.8		
F 137	RLF159		焼土	909	4680	5.8	20			0.0	0.0	0.0			7.6		
F 138	RLF164		焼土	910	3685	4.6	20	0.2		0.0	0.0	0.0	0	0	10.9		
F 139	RLF167		焼土	908	980	1.1	20						-	-	0.2		
F 140	RLF169		焼土	909	1625	2.7	20			0.0			-	-	0.5		
F 141	RLF169		焼土	909	2330	3.2	20			0.0			+	+	1.5		
F 142	RLF169		焼土	909	2750	3.5	30			0.0		0.0	+	+	3.3		
F 143	RLF181		焼土	1002	3270	3.9	20						-	-	0.2		
F 144	RLF181		焼土	1001	4220	5.1	10			0.0		0.0	-	-	2.6		
F 145	RLF181		焼土	1001	2830	3.9	10			0.0	0.0	0.0	+	+	0.9		
F 146	RLF181		焼土	1001	5570	6.6	10			0.0			-	-	8.3		
F 147	RLF181		焼土	1001	2490	3.0	10			0.0		0.0	-	-	0.1		
F 148	RLF181		焼土	1001	2580	3.2	10			0.0		0.0	-	-	0.2		
F 149	RLF181		焼土	1001	2920	3.2	230	37.1		0.5	16.6	9.9	+	+	4.4		
F 150	RLF181		焼土	1001	3300	5.0	10			0.0	0.1		-	-	6.1		
F 151	RLF181		焼土	1002	2020	2.5	10			0.0		0.0	-	-	0.0		
F 152	RLF181		焼土	1002	2170	4.0	20				0.0	0.0	-	-	0.5		
F 153	RLF181		焼土	1002	2300	3.0	20			0.0	8.6	0.0	-	-	3.7		
F 154	RLF181		焼土	1002	2500	3.0	10			0.0	0.0	0.0	-	-	1.0		
F 155	RLF181		焼土	1002	2670	3.0	10			0.0			-	-	0.0		
F 156	RLF181		焼土	1002	2770	3.0	10						-	-	0.3		
F 157	RLF182		焼土	1001	2790	3.1	10						-	-	2.0		
F 158	RLF183		焼土	1001	2070	2.5	10					0.0	0	0	6.6		
F 159	RLF183		焼土	1001	2590	3.6	10			0.0			-	-	3.0		
F 160	RLF184		焼土	1001	3020	4.0	10			0.0			-	-	0.1		
F 167	RLF186		焼土	1002	3880	4.7	10	0.0		0.3			-	-	2.7		
F 190	RLF187		焼土	1002	3370	4.1	10	0.2					-	-	2.3		
F 196	RLF190		焼土	1005	3320	4.0	5	0.0		0.0	-	0.0	-	-	15.0		
F 197	RLF190		焼土	1005	2470	4.7	7	0.6		-	0.0	0.0	-	-	8.2		
F 198	RLF190		焼土	1003	2690	3.2	7	-		-	-	-	-	-	11.2		
F 315	RLF200	s80	焼土	1014	3260	4.0	13	0.7		0.0	-	0.7	+	+	7.2		
F 316	RLF200	s80	焼土	1014	2830	3.8	37	1.6		0.1	0.0	0.8	+	+	5.4		
F 317	RLF200	s80	焼土	1014	2940	3.9	80	10.5		0.1	0.0	0.8	+	+	12.2		
F 386	RLF201		焼土	1008	1970	2.5	60	31.8		0.1	0.0	2.2	0	0	12.0		
F 387	RLF202		焼土	1005	2100	3.0	10			0.0			-	-	2.6		
F 431	RLF203		焼土	1005	2770	4.0	10	0.5		0.0			0	0	3.9		

表VI-8 フローテーション試料一覧(5)

試料番号	通称名	グロット	層位	調査月日	水洗前乾燥重(g)	水洗前乾燥体積(cc)	残滓重(g)	残滓土器	残滓石類高(g)	残滓フレンジ(%)	残滓片(%)	残滓骨片(%)	残滓灰化物(%)	浮遊物	植物遺存体	動物遺存体	備考
F 569	RLF251		焼土	1016	2210	2.9	110	0.5		0.3	0.0	0.1	+	1.2			
F 570	RLF251		焼土	1016	4935	6.0	700	19.5		0.4	0.0	0.0	+	13.2			
F 571	RLF251		焼土	1016		2.8	100	4.0		0.9	0.5	0.2	+	1.0	ヒエ属(1粒)アサ(8片)ブドウ科(3片)クルミ属(0.08g)不明(1粒)	サケ科(脱落歯、椎骨)ニホンジカ(臼歯)	
F 572	RLF251		焼土	903	1710	2.0	120	8.1		1.2	0.0	0.0	+	3.6			
F 573	RLF251		焼土	1016	3910	5.0	450	0.1		1.9	0.0	0.0	+	3.7			
F 577	RLF251		焼土	1016	4350	5.1	410	0.0		0.4	0.0	0.1	+	3.8			
F 578	RLF252		焼土	1016	1900	3.0	500	0.6		0.0	0.0	-	-	5.9			
F 579	RLF252		焼土	1016	3590	4.6	540	1.4		0.5	1.0	0.0	+	9.5			
F 580	RLF252		焼土	1016	3560	4.4	530	4.1		0.4	0.2	0.0	+	10.2			
F 581	RLF252		焼土	1016	3010	3.8	30	1.1		0.6	0.0	0.0	+	14.4	タデ科(9粒)キク科(3粒)		
F 582	RLF253		焼土	1016	4460	5.1	51	0.9	1	1.9	0.0	0.0	+	1.4		哺乳類(不明)	
F 583	RLF253		焼土	1016	4350	5.2	490	5.3		2.1	0.0	2.5	+	3.6			
F 584	RLF254		焼土	1016	2100	2.5	220	0.1		0.1	0.0	0.3	+	7.6			
F 585*1	RLF254		焼土	1016	3000	4.0	320	4.0		0.3	0.0	0.1	+	4.6			
F 585*2	RLF254		焼土	1016	4860	6.1	500	-		0.2	0.0	0.7	-	10.5			
F 586	RLF255		焼土	1016	1580	2.4	130	3.4		0.0	0.0	-	-	5.0			
F 587	RLF256		焼土	1020	3630	4.1	190	6.1		0.4	0.0	0.0	+	3.8	キク科(9粒)クルミ属(0.01g)	サケ科(椎骨)	
F 588	RLF256		焼土	1020	4160	5.0	240	80.3		0.2	8.0	4.4	+	10.2			
F 589	RLF256		焼土	1020	2860	4.0	290	162.6	2	1.1	0.0	4.0	+	8.1			
F 590	RLF256		焼土	1020	2650	3.0	220	133.8		0.2	0.0	2.9	+	6.0			
F 591	RLF256		焼土	1020	3370	4.0	330	188.0		0.0	0.1	4.5	+	6.0			
F 592	RLF256		焼土	1020	2620	3.0	230	129.2		1.5	0.3	3.5	+	6.4			
F 593	RLF256		焼土	1020	2520	3.0	180	39.4	2	0.6	0.2	4.0	+	2.9			
F 594	RLF256		焼土	1020	2500	3.0	210	98.7		0.4	0.6	4.5	+	4.6			
F 595	RLF256		焼土	1020	2860	4.0	270	130.9		0.1	1.9	3.3	+	8.1			
F 596	RLF256		焼土	1020	3170	4.0	240	85.8		0.3	0.1	4.1	+	3.9			
F 597	RLF257		焼土	1003	2475	2.9	170	59.8		0.4	0.2	4.7	+	1.9			
F 598	RLF257		焼土	1020	2325	3.3	300	111.3		0.6	0.6	4.1	+	10.6			
F 599	RLF257		焼土	1020	2770	3.0	280	134.0		0.4	0.7	3.6	+	10.4			
F 600	RLF257		焼土	1103	2630	3.6	380	40.6		0.5	0.2	6.3	+	12.0			
F 601	RLF257		焼土	1103	2595	3.6	450	25.3		0.5	0.3	4.4	+	16.6			
F 602	RLF257		焼土	1103	4570	5.4	180	55.6		0.7	0.4	3.3	+	16.7			
F 603	RLF257		焼土	1020	1935	2.2	90	24.8		0.8	0.0	2.4	+	2.7			
F 604	RLF257		焼土	1020	2005	2.7	80	4.4	1	0.3	3.9	2.7	+	2.2			
F 605	RLF257		焼土	1020	2255	2.7	230	104.8		0.3	0.3	2.8	+	2.7			
F 606	RLF257		焼土	1020	3410	4.0	890	201.8	1	1.3	###	4.9	+	5.0			
F 607	RLF257		焼土	1020	2475	3.0	120	39.9	1	3.6	0.5	3.6	+	4.6			
F 608	RLF257		焼土	1103	3150	3.9	130	16.6		0.3	0.2	3.2	+	8.3			
F 609	RLF257		焼土	1103	5010	6.0	270	23.3		4.6	0.2	21.8	+	13.3			
F 610	RLF257		焼土	1103	3945	4.8	140	12.3		2.5	0.2	2.6	+	7.3			
F 611	RLF257		焼土	1103	4070	5.0	430	20.2		3.2	0.8	14.3	+	12.8			
F 612	RLF257		焼土	1103	1820		320	9.6		0.3	0.0	4.5	-	3.3			
F 613	RLF257		焼土	1103	3870	5.0	350	36.4		3.1	0.7	10.6	+	13.3			
F 614	RLF257		焼土	1103	2510	3.0	30	-		0.0	-	0.0	+	2.8			
F 615	RLF257		焼土	1103	3065	3.9	90	15.0		0.3	0.0	2.5	+	5.3			
F 616	RLF257		焼土	1103	2500	3.4	500	22.9		0.3	0.1	3.8	+	6.2			
F 617	RLF257		焼土	1103	2330	2.9	300	2.9		0.5	0.6	7.3	+	3.9			
F 618	RLF257		焼土	1003	2270	3.0	160	11.8		1.5	0.7	7.9	+	3.3			
F 619	RLF257		焼土	1003	3370	4.0	340	117.6		0.7	10.0	3.3	+	12.1			
F 621	RLF257		焼土	903	2150	3.0	140	23.9		0.5	1.4	6.3	+	5.1			
F 622	RLF257		焼土	903	1950	2.5	140	20.9	1	4.4	0.0	6.5	+	4.6			
F 623	RLF257		焼土	903	2110	2.5	130	10.8		0.4	0.1	3.7	+	3.3			
F 624	RLF257		焼土	913	1700	2.0	150	25.5		0.3	0.3	6.1	+	2.3			
F 625	RLF257		焼土	1003	2955	4.0	280	30.5		2.4	2.5	11.9	+	3.5			
F 626	RLF257		焼土	1020	1730	2.0	110	12.1		0.2	2.1	1.8	+	3.3			
F 627	RLF257		焼土	1020	2680	3.0	170	47.3	1	0.4	12.6	2.9	+	8.6			
F 628	RLF257		焼土	1020	4380	5.9	250	93.6		1.5	0.9	7.0	+	8.6			
F 629	RLF257		焼土	1020	2800	4.0	400	163.4		1.4	0.0	3.6	+	9.4			
F 630	RLF257		焼土	1020	2840	4.0	250	35.3		0.4	0.3	3.7	+	65.1			
F 631	RLF257		焼土	1020	2670	3.0	230	99.8	3	1.7	1.6	80.9	+	5.9			石炭2倍
F 632	RLF257		焼土	1020	3790	5.0	270	52.0		0.6	0.3	6.4	+	18.1			
F 633	RLF257		焼土	1020	1980	2.0	120	7.4		0.6	0.0	3.0	+	5.5			
F 634	RLF257		焼土	1103	1750	2.5	150	34.0		0.3	0.0	12.4	+	2.3			
F 635	RLF257		焼土	1103	2195	4.9	480	51.2		0.6	0.0	20.6	+	10.0			
F 636	RLF257		焼土	1103	3400	4.0	240	38.1		0.7	0.1	7.2	+	7.3			
F 637	RLF257		焼土	1103	2700	3.5	270	41.1		1.2	0.2	22.4	+	6.1			
F 638	RLF257		焼土	903	3980	5.0	350	44.7		1.2	0.4	12.3	+	10.4			
F 639	RLF257		焼土	913	2240	3.0	230	30.5		2.8	0.0	7.8	+	3.2			
F 640	RLF257		焼土	913	2420	2.5	230	18.0		0.2	0.0	10.3	+	4.0			
F 641	RLF257		焼土	913	3360	3.9	170	35.4		2.7	3.9	4.8	+	1.4			
F 642	RLF257		焼土	913	4190	5.0	410	30.6		7.6	0.3	18.3	+	5.2			
F 643	RLF257		焼土	913	2900	4.0	240	18.8		0.5	0.0	11.1	+	3.5			
F 644	RLF257		焼土	1020	3970	5.0	280	130.6		8.8	0.2	5.0	+	12.6			
F 645	RLF257		焼土	1028	2910	3.0	200	31.9		3.2	0.0	2.1	+	3.6			
F 646	RLF257		焼土	1028	2510	3.0	140	6.3		5.6	0.0	2.4	+	2.2			
F 647	RLF257		焼土	1103	2220	3.1	240	24.6		0.4	0.2	21.9	+	6.2			
F 648	RLF257		焼土	1103	2550	3.1	230	25.9		0.5	1.3	22.9	+	3.9			
F 649	RLF257		焼土	1103	3960	5.0	250	44.3		0.6	1.9	11.0	+	10.3			
F 650	RLF257		焼土	913	2070	2.8	100	19.3		2.1	0.7	2.9	+	7.4			
F 651	RLF257		焼土	913	2410	3.0	130	28.9		0.8	0.0	3.2	+	5.8			
F 652	RLF257		焼土	913	3280	4.9	150	23.0		1.2	0.1	3.8	+	8.8			
F 653	RLF257		焼土	1102	3270	4.0	180	33.6		6.5	0.1	4.3	+	9.9			

表VI-9 フローテーション試料一覧(6)

別号	遺物名	グロッド	層位	調査月日	水洗前乾燥量(g)	水洗前乾燥体積(cc)	浸漬時間(分)	浸漬土量(g)	浸漬石量(g)	浮遊物(%)	浮遊物量(g)	浮遊物量(%)	浮遊物	植物遺存体	動物遺存体	備考
F 654	RLF257		焼土	1103	2200	3.0	220	55.6		1.8	0.7	15.3	+	2.4		
F 655	RLF257		焼土	1103	2770	4.0	250	48.4		1.7	1.1	13.4	+	6.1		
F 656	RLF257		焼土	1103	2800	3.0	230	63.5		1.2	0.1	17.7	+	5.4		
F 657	RLF257		焼土	1103	3900	5.0	270	75.0		2.0	0.7	21.4	+	3.2		
F 658	RLF257		焼土	1103	3970	5.0	220	21.4		1.3	0.4	12.0	+	5.8		
F 659	RLF257		焼土	1103	4070	5.0	210	34.8		1.1	5.7	6.6	+	9.0		
F 660	RLF257		焼土	1103	4760	6.0	350	71.1		2.2	1.2	18.7	+	13.5		
F 661	RLF257		焼土	1103	4870	6.5	270	15.8		3.4	0.1	17.7	+	13.8		
F 662*1	RLF257		焼土	1103	5120	6.0	490	104.8		6.1	4.3	25.3	+	8.4		
F 662*2	RLF257		焼土	1103	4670	5.8	350	81.8		3.1	0.4	19.2	+	13.5		
F 662*3	RLF257		焼土	1020	3660	4.4	210	86.6		1.1	4.4	3.8	+	4.4		
F 662*4	RLF257		焼土	1103	4030	4.7	1240	23.4		0.5	0.1	2.5	+	11.0		
F 662*5	RLF257		焼土	1103	3660	4.1	160	33.0		0.6	0.4	3.7	+	4.0		
F 662*6	RLF257		焼土	1020	3600	4.1	240	129.4		16.8	0.1	3.8	+	4.4		
F 662*7	RLF257		焼土	1020	2195	2.5	130	12.6		0.5	0.1	2.5	+	2.0		
F 662*8	RLF257		焼土	1103	4470	5.9	520	62.1		2.0	0.3	16.8	+	24.4		
F 663	RLF258		焼土	1020	4330	5.3	370	86.5	2	4.4	0.9	20.4	+	12.3		
F 664	RLF258		焼土	1020	2400	2.9	250	88.9		0.6	1.8	8.4	+	5.7		
F 665	RLF258		焼土	1020	4680	5.7	470	202.3	2	16.6	0.8	20.7	+	6.6		
F 666	RLF258		焼土	1020	2305	3.1	60	11.1		2.1	0.7	4.5	+	6.2		
F 667	RLF258		焼土	1020	2905	3.7	180	86.3	2	4.2	0.2	8.5	+	4.0		
F 668	RLF258		焼土	1020	3030	3.6	170	40.9	1	3.9	0.1	6.6	+	4.3		
F 723	RLF259		焼土	1021	2970	4.5	50	-		0.1	0.5	0.5	-	16.8	キク科(49粒)不明2(6片)	
F 724	RLF260		焼土	1021	2850	4.0	30	6.4		0.1	0.0	0.0	-	7.1	キク科(25粒)不明2(1片)	
F 725	RLF261	F1		1021	1525	1.8	10	0.0		0.0	-	-	+	0.5	不明2(6片)	
F 728	RLF262		焼土	1022	750	1.4	10	-		0.0	0.0	0.0	-	1.5		
F 729	RLF263		焼土	1028	3620	5.0	390	8.1		1.3	0.0	0.0	+	161.7		
F 733	RLF264		焼土	1027	4970	6.0	170	-		0.1	0.0	0.0	-	1.1		
H 1	RLH002	南床面		1029	2000	2.7	70	-		-	-	-	-	8.1		
H 2	RLH002	南床面		1029	1920	3.0	210	0.7		-	-	-	-	14.0		
H 3	RLH002	南床面		1029	2140	3.1	760	-		-	-	-	-	45.2		
H 4	RLH002	南床面		1029	1800	3.7	390	-		-	-	-	-	144.7		
H 5	RLH002	南床面		1029	2590	3.7	160	1.1		0.0	-	-	-	63.1		
H 6	RLH002	南床面		1029	2710	3.7	240	-		0.0	-	-	-	86.0	キク科(2粒)ウルシ属(1粒)不明2(3片)	
H 7	RLH002	南床面		1029	2540	3.7	200	-		0.0	-	-	-	138.8		
H 8	RLH002	南床面		1029	2720	3.8	90	0.6		0.0	-	-	+	21.4		
H 9	RLH002	南床面		1029	3050	4.8	460	-		0.0	-	-	-	57.6		
H 10	RLH002	北床面		1029	2240	2.8	560	-		0.0	-	-	-	28.4		
H 11	RLH002	北床面		1029	2100	2.9	100	-		0.0	-	-	-	33.7		
H 12	RLH002	北床面		1029	2360	3.2	240	0.0		-	-	-	-	53.6		
H 13	RLH002	北床面		1029	2180	3.3	700	-		0.0	-	-	-	97.5	キク科(4粒)キハダ属(1片)	
H 14	RLH002	北床面		1029	2820	3.8	460	-		0.0	-	-	-	50.5		
H 15	RLH002	北床面		1029	3400	4.3	190	-		0.0	-	-	-	50.4		
H 16	RLH002	北床面		1029	3810	5.6	430	0.2		0.0	-	-	-	119.7		
H 17	RLH2C1	床面		1028	2900	4.2	150	8.1		0.0	-	-	+	32.9		
H 18	RLH2C1	床面		1028	4240	5.9	230	12.3		0.0	-	-	+	37.6		
H 19	RLH2C1	床面		1028	3270	4.8	180	-		+	+	-	+	46.2	キハダ属(1片)不明2(1片)	
H 20	RLH2C1	床面		1028	3120	4.2	180	1.1		0.0	0.0	-	-	32.4		
H 21	RLH2HP1	覆土		1029	1000	1.7	90	6.7		0.0	0.0	0.0	-	14.0	クルミ属(<0.00g)	
P 1	RLP002	覆土		1009	2770	3.0	10	-		-	-	-	-	3.6		
P 2	RLP002	覆土		1019	1970	2.0	170	36.3		3.7	0.0	0.4	-	11.9		
P 3	RLP002	覆土		1019	2720	3.0	10	-		-	-	-	-	5.4		
P 4	RLP002	覆土		1019	2870	3.5	10	-		-	-	-	-	5.8		
P 5	RLP002	覆土		1019	3270	3.5	20	-		-	-	-	-	7.4		
P 6	RLP002	覆土		1019	3270	4.1	140	26.8		0.7	0.1	1.3	+	10.8	タデ科(1粒)キク科(1粒)マタタビ属(1粒)クルミ属(0.56g)不明2(7片)	哺乳類(不明)
P 7	RLP002	覆土		1019	3560	4.0	10	-		-	-	-	-	9.7		
P 8	RLP002	覆土		1019	3720	5.0	40	-		-	-	-	-	8.5		
P 9	RLP002	覆土		1019	3970	5.0	30	1.0		-	-	-	-	6.7		
P 10	RLP002	覆土		1019	4570	5.5	20	-		0.0	-	-	-	9.9		
P 11	RLP002	覆土		1019	5370	6.0	20	-		-	-	-	-	8.2		
P 12	RLP003	覆土		1009	2870	3.2	20	-		0.1	-	-	-	2.7		
P 13	RLP003	覆土		1009	4070	5.1	10	-		0.0	-	-	-	3.6		
P 14	RLP003	覆土		1019	2170	2.0	40	-		-	-	-	-	6.8		
P 15	RLP003	覆土		1019	2670	3.0	20	-		-	-	-	-	4.1	不明1(1粒)不明2(8片)	
P 16	RLP003	覆土		1019	3270	4.0	20	-		0.1	-	-	-	5.0		
P 17	RLP003	覆土		1019	3520	4.0	10	-		0.0	-	-	-	3.3		
P 18	RLP003	覆土		1019	4520	5.0	30	-		-	-	-	-	9.3		
P 19	RLP036	F1		1030	1820	1.0	180	0.5		0.5	0.0	0.4	+	11.5		
P 20	RLP036	F1		1030	2520	3.0	310	1.8		0.9	0.0	0.5	-	85.9		
P 21	RLP036	F1		1030	2570	4.0	250	5.8		1.2	0.4	2.4	+	21.3		
P 22	RLP036	北底層		1031	3780	4.8	1390	0.0		0.0	-	-	+	91.3		
P 23	RLP036掘工区	F1		1030	3170	4.3	280	13.9		2.6	0.0	2.6	+	77.5		
P 24	RLP036掘工区	F1		1030	3860	5.0	350	27.1		0.6	0.0	1.3	-	24.5	ヒユ属(1粒)キク科(2粒)クルミ属(0.25g)	
P 25	RLP036掘工区	F1		1030	3900	4.8	580	3.2		0.0	0.0	1.3	+	62.3		
P 26	RLP036掘工区	F1		1030	2910	4.1	310	3.4		2.4	0.0	1.4	+	81.0		
P 27	RLP038	灰底上層		1025	2395	3.3	800	0.0		0.0	-	-	-	37.4		
P 28	RLP038	灰底上層		1025	2520	3.3	850	-		0.0	-	-	-	40.2		

炭化種子が検出されたサンプル

Ⅶ ま と め

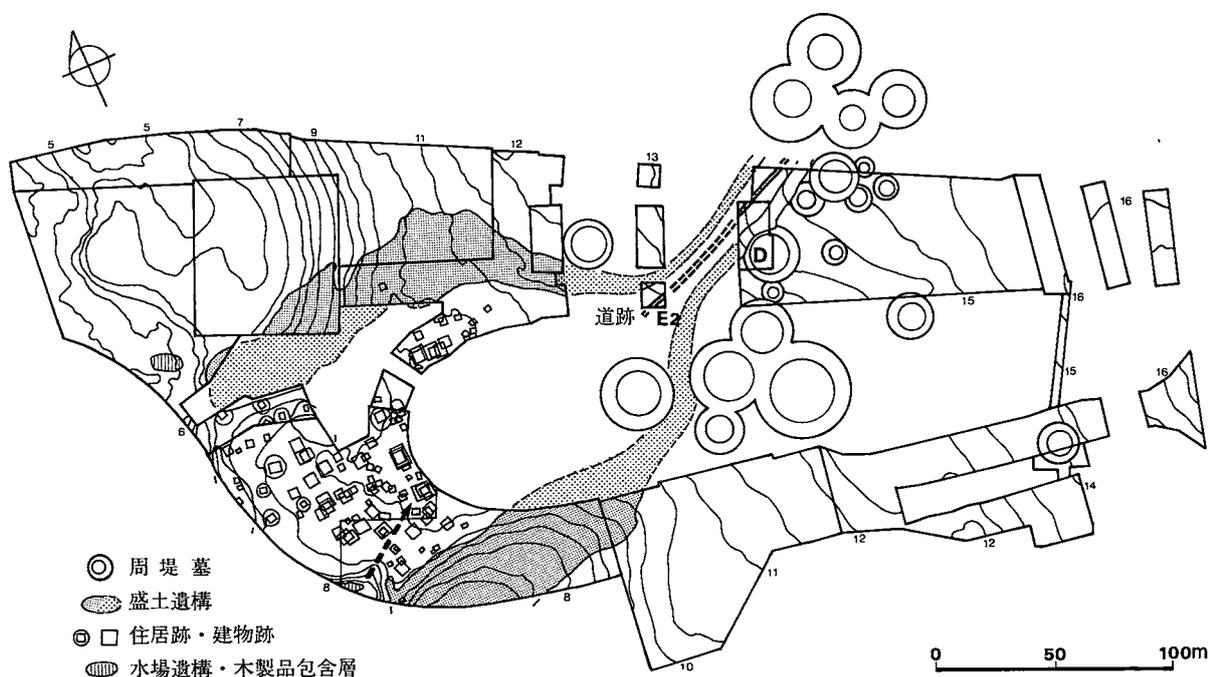
平成10年度R地区で検出された遺構のうち、本書で取り扱った遺構は、建物跡127軒、住居跡2軒、柱穴状ピット1474基、土壇14基、焼土248カ所、流水跡9カ所である。これらの遺構から出土した遺物の総数は6,066点で、この内訳は土器が4,948点、石器等は1,118点である。ほかに獣骨、魚骨、クルミ殻、漆の塗膜なども出土している。以下に遺構と遺物について整理し、成果と問題点を記してまとめとする。

1. 遺構

遺構はⅢ層上面、盛土上面、SE層中、Vb層上面とVb層中、白粘土層上面、Vd層中、VI層、VII層上面などで検出された。建物跡と柱穴状ピットは調査区西～北側の台地上とその周辺部、住居跡と流水跡は中央低地部付近、土壇は主に盛土遺構の縁辺部、焼土は主に東側緩斜面上に、というおおまかな分布域がうかがえる。これらの遺構の時期は、縄文時代早期に属するものは住居跡1軒、土壇2基、焼土10カ所、流水跡1カ所である。縄文時代早期～前期に属する遺構は流水跡が5カ所である。縄文時代後期に属する遺構は、建物跡127軒、柱穴状ピット1474基、土壇12基、焼土238カ所、流水跡が2カ所である。時期が不明なものは、Ta-aより古くB-Tmより新しい時期の流水跡が1カ所、縄文時代後期初頭より古い住居跡が1軒である。

i) 柱穴状ピット

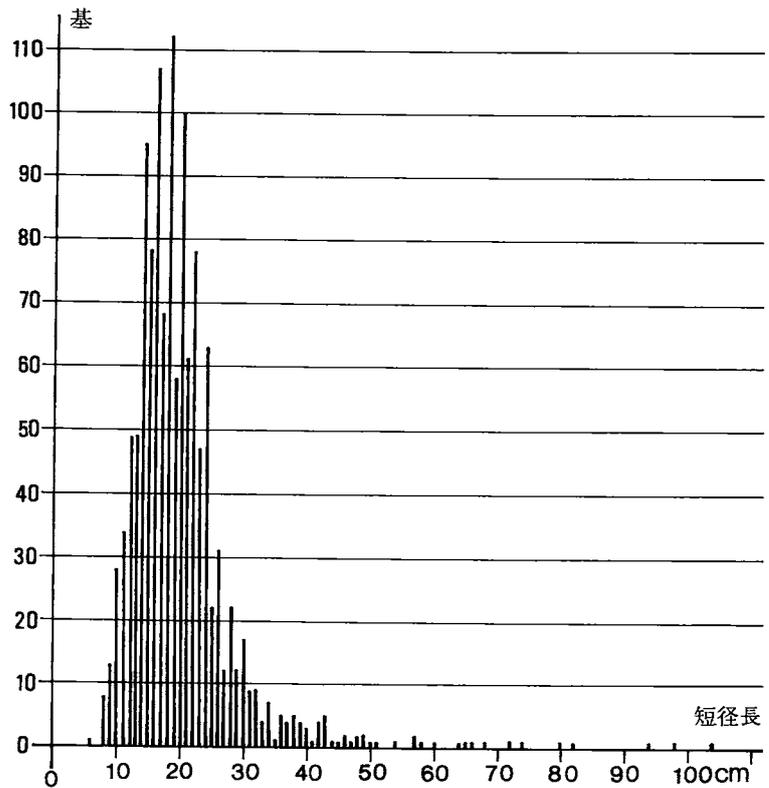
分布 柱穴状ピットの分布には著しい集中域などは見られない。q-69~72、r-68~72、s-70~72、t-70~72周辺の分布がやや希薄であるが、この周辺は耕作によってⅧ層中まで深く攪乱されていて、浅い柱穴状ピットは削平されてしまっていることも考えられるので、とくにこの周辺が希薄であったとは断言できない。しかしながらu-69とq-72を結ぶ線上付近は、前述の状況を考慮しても他に比べ希薄である。u-69の南側は、木製品や杭跡などが見つかった低地部から緩やかな勾配で入り込む沢地形の沢頭付近にあたり、またu-69→q-72方向のほぼ延長線上にはD、E2地区で見つかった「道跡」がある(図Ⅶ-1)。このような諸状況を踏まえてこの希薄部分を見ると、一時



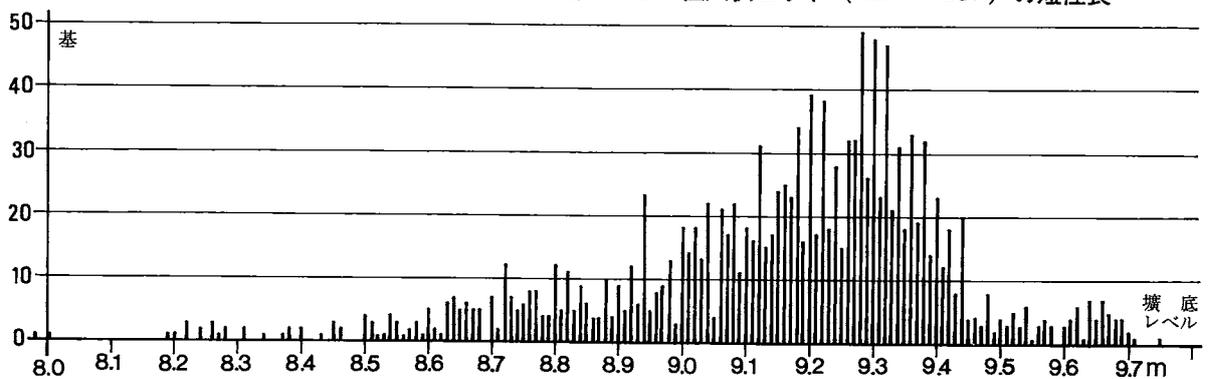
図Ⅶ-1 キウス4遺跡全体略図

期道跡であったための希薄部分と考えられないだろうか。ただし踏み固められた様子や斜面に階段状のものは確認できなかったので、断言はできない。建物跡の新旧関係を踏まえ、キウス4遺跡全体の中で再検討しなければならない課題としたい。

規模 柱穴状ピットの規模は、平面形の短径で見ると、最小径6cmから最大径104cmまでである。中でも径10cm～径24cmのものが多く、全体の約70%を占めている(図VII-2)。削平されている柱穴状ピットが多いため深さは良好な比較材料とはなりえないようである。ここでは壙底レベルを示しておく。壙底レベルは標高7.98mから9.75



図VII-2 柱穴状ピット (RLR・RLSP) の短径長



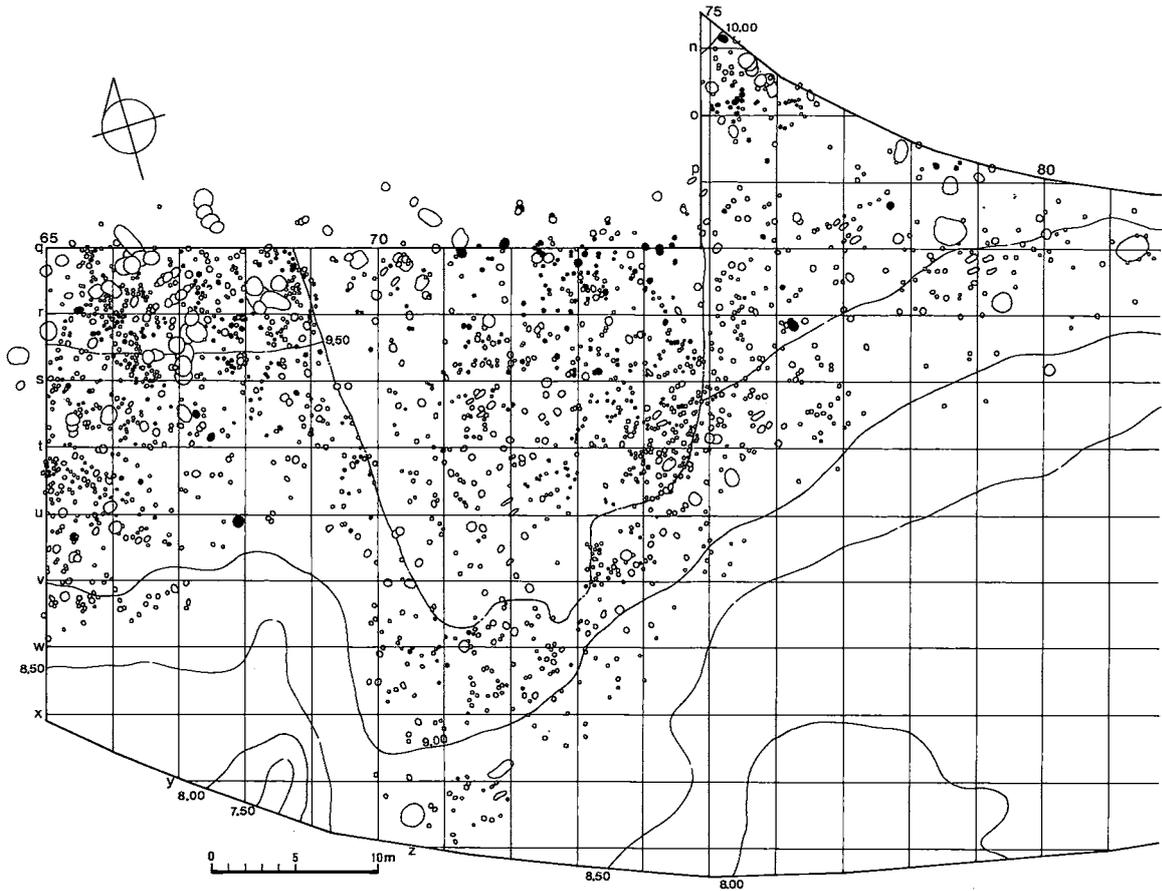
図VII-3 柱穴状ピット (RLR・RLSP) 壙底レベル

mまでである。中でも標高8.95m～9.45mのものが全体の約74%を占めている(図VII-3)。

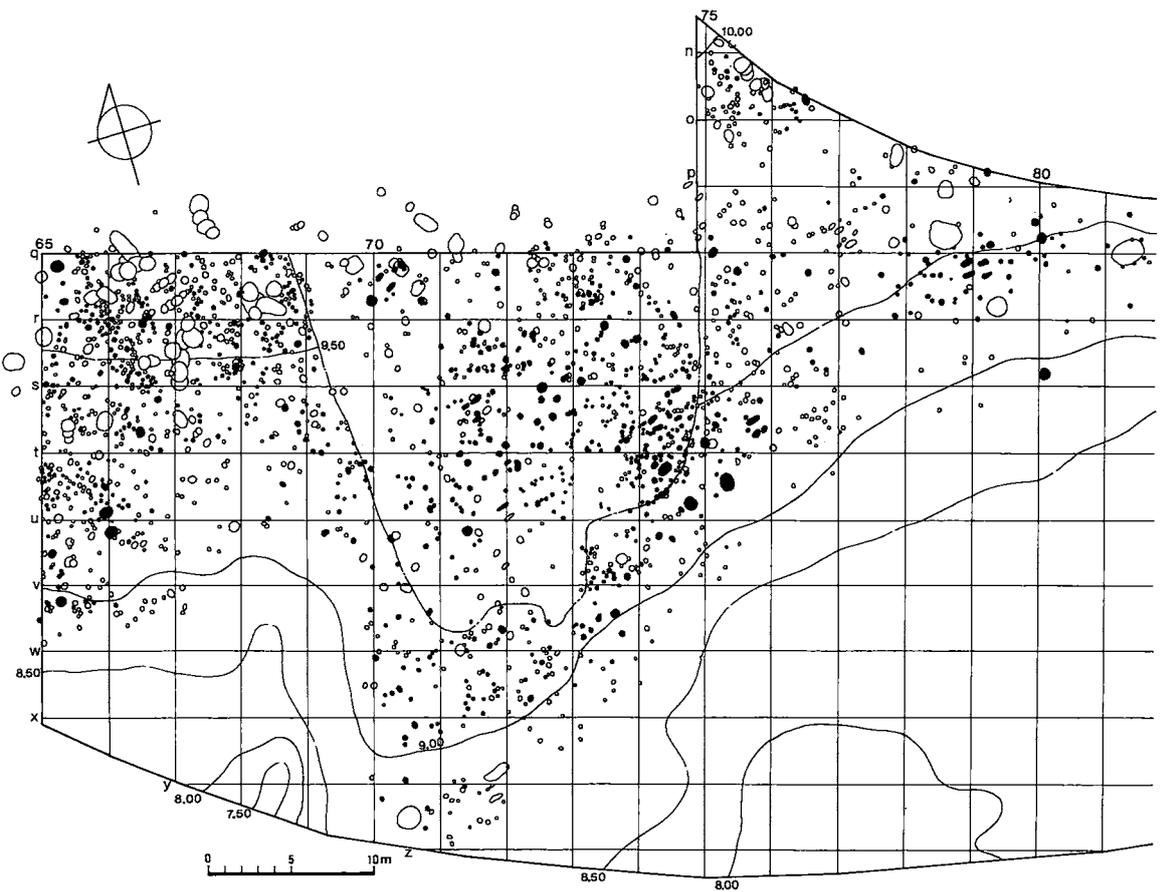
覆土 柱穴状ピットの覆土(残存部分)は、①黒色土、②黒褐色土、③暗褐色土、④褐色土、にそれぞれ黄色土や軽石(En-a)が混じる土である。その他に⑤暗褐色土や褐色土に少量の黒褐色土が混じるもの(壙底に多く見られる)や暗黄色土、灰褐色土、暗黄褐色土などもある。覆土の違いによって柱穴状ピットの分布にそれほど特徴的な様子は見られない。ただ西側台地には①～⑤の柱穴状ピットが混在し、その南東側緩斜面上には①、②の柱穴状ピットが多いようである。また④の柱穴状ピットは台地上の北側に多く分布する、というおおまかな分布傾向はうかがえる(図VII 4～8)。

重複による新旧関係 重複する柱穴状ピットは131例ある。このうち同じ覆土どうしの重複例は72例ある。それ以外の重複例を見ると、以下のような結果が得られた。

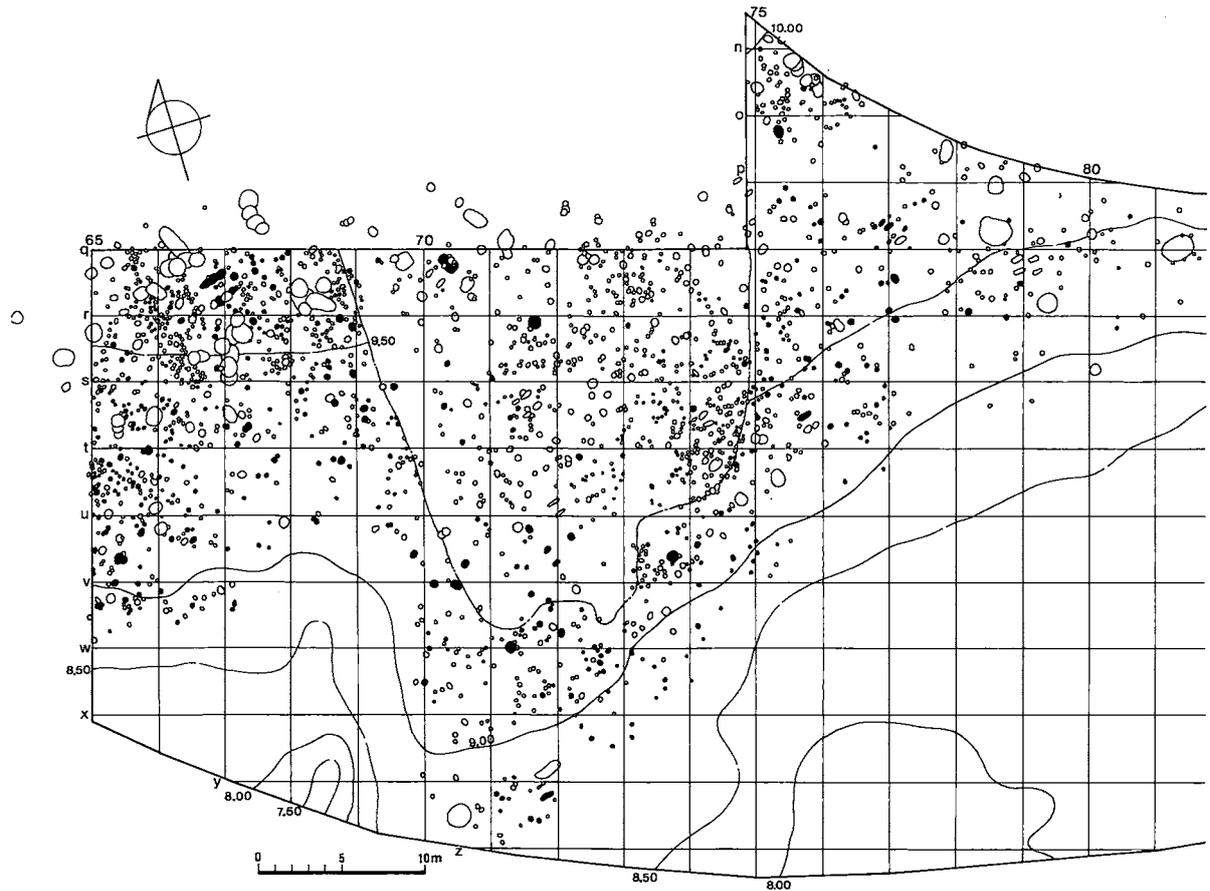
- ③と④の柱穴状ピットが重複する13例のうち12例は③の柱穴状ピットが④のものを切っている。
- ②と④の柱穴状ピットが重複する3例は、すべて②の柱穴状ピットが④のものを切っている。
- ②と③の柱穴状ピットが重複する11例のうち7例は②の柱穴状ピットが③のものを切っている。



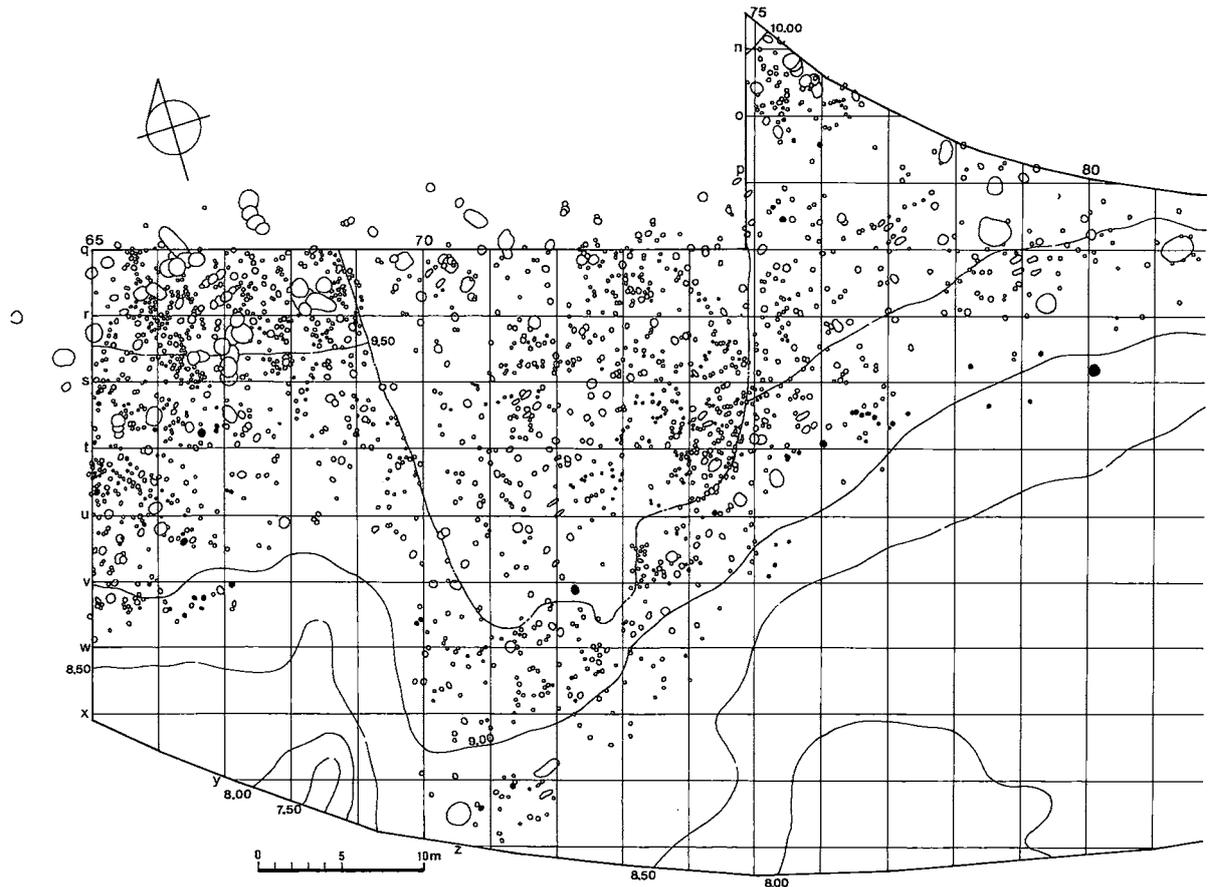
図VII-4 柱穴状ピット分布図(1) (覆土が褐色土)



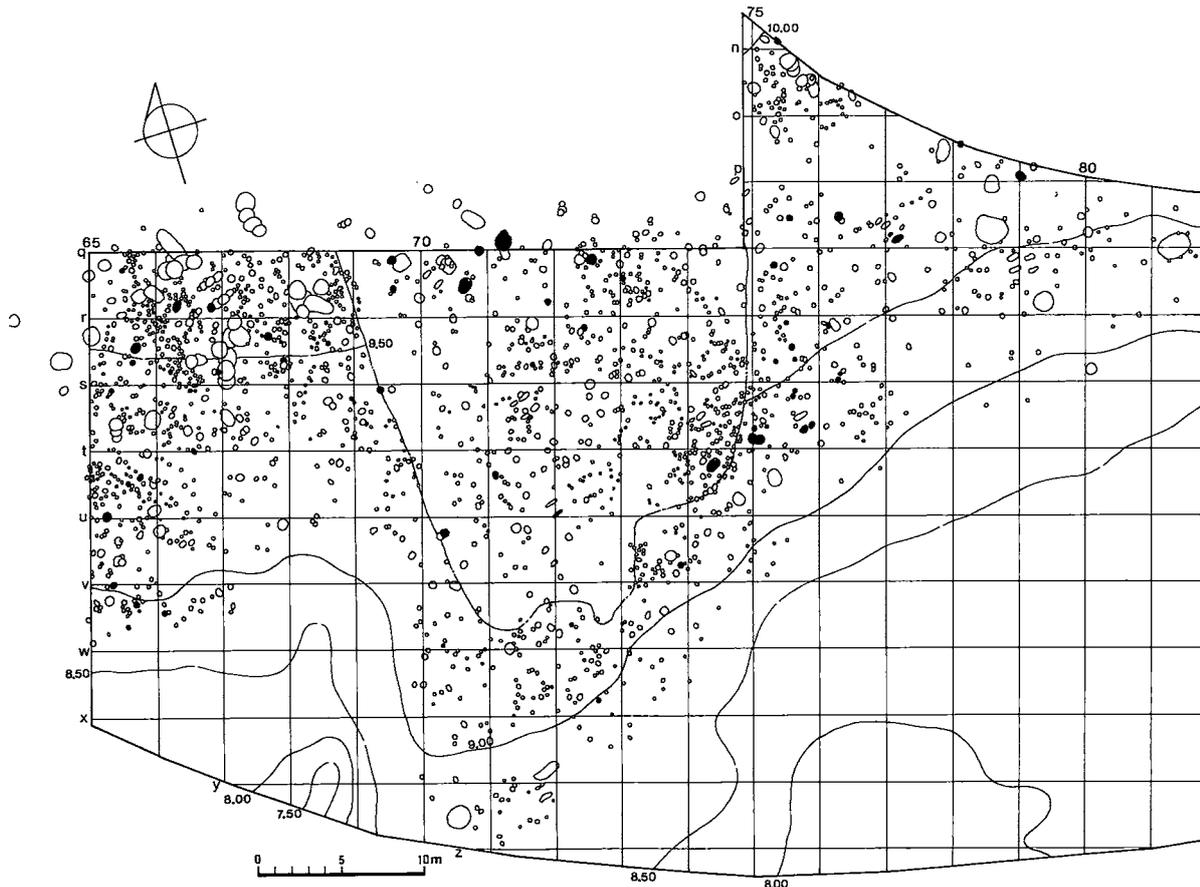
図VII-5 柱穴状ピット分布図(2) (覆土が暗褐色土)



図VII-6 柱穴状ピット分布図(3) (覆土が黒褐色土)



図VII-7 柱穴状ピット分布図(4) (覆土が黒色土)



図VII-8 柱穴状ピット分布図(5) (覆土が暗褐色土>黒褐色土)

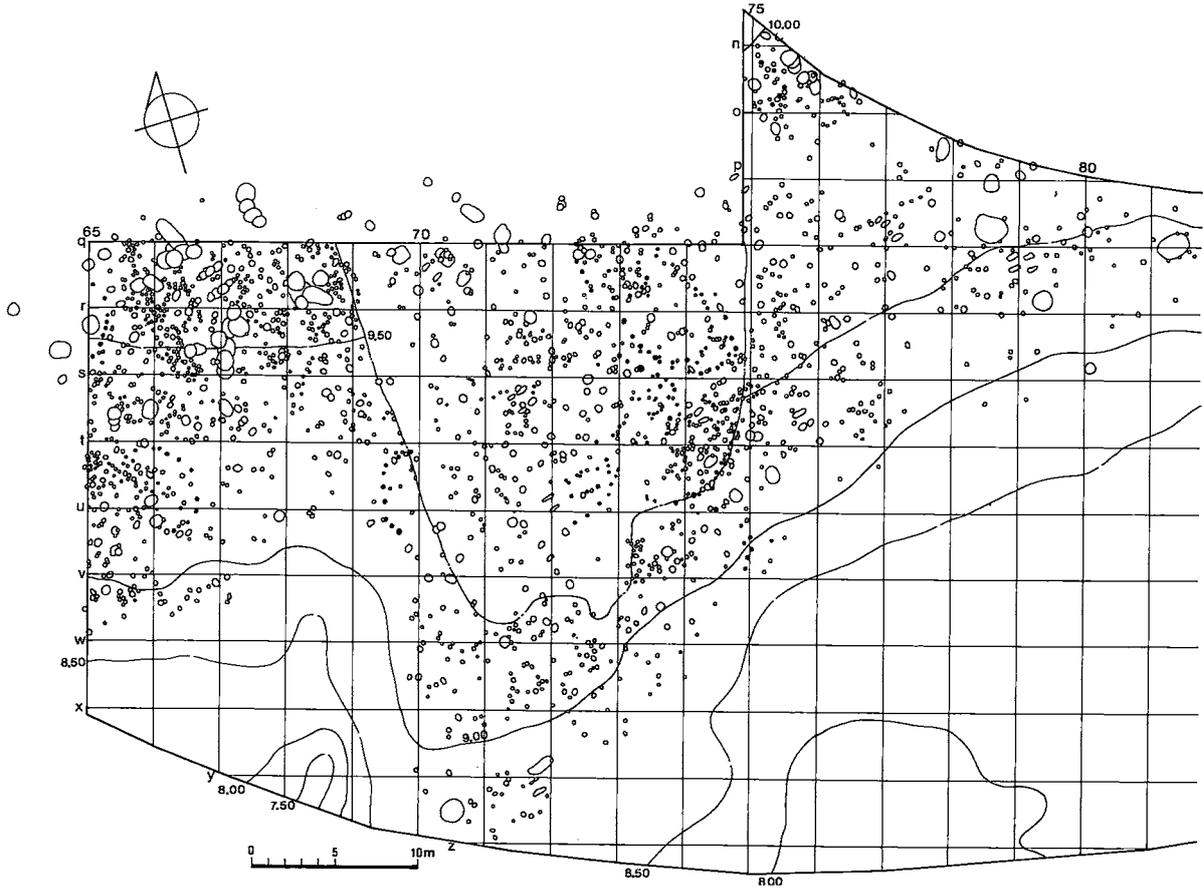
②と⑤の柱穴状ピットが重複する5例のうち4例は②の柱穴状ピットが⑤のものを切っている。
 ⑤と③の柱穴状ピットが重複する11例のうち8例は⑤の柱穴状ピットが③のものを切っている。
 ⑤と④の柱穴状ピットが重複する2例はともに⑤の柱穴状ピットが④のものを切っている。
 ①と②・④の柱穴状ピットが重複する6例のうち5例は①の柱穴状ピットが②、④のものを切っている。

以上の重複関係から覆土の違いによる柱穴状ピットの新旧関係を明確に断定することはできなかった。しかしながら黒褐色土がSE-1相当、暗褐色土がSE-2層相当という層位関係を考慮すると、おおよそ(④→③→⑤)→(②→①)(旧→新)という新旧関係が考えられる。ところで、この新旧関係を前提とするならば⑤の堆積状態は合理的に説明できなくなるけれども、本書では切り合い関係から見られる新旧の傾向を重視し、⑤の黒褐色土は柱穴状ピットの埋まり方の違い、あるいは腐植化現象の違いとして考えておく。これについても他地区の事例も踏えて再検討しなければならない課題であろう。

柱穴状ピット列 短径20cm前後の柱穴状ピットが半円状や半長円状に並ぶものが13カ所見られる(図VII-9)。平成8年度調査のH-1、平成10年度Q地区の建物跡1・2などと同様に壁柱穴の一部と思われるが、すべてまわりきらず、また関連する支柱穴や出入口ピットなどは確認できなかった。本書では柱穴状ピット列として図示するにとどめた。再検討を要する事項である。

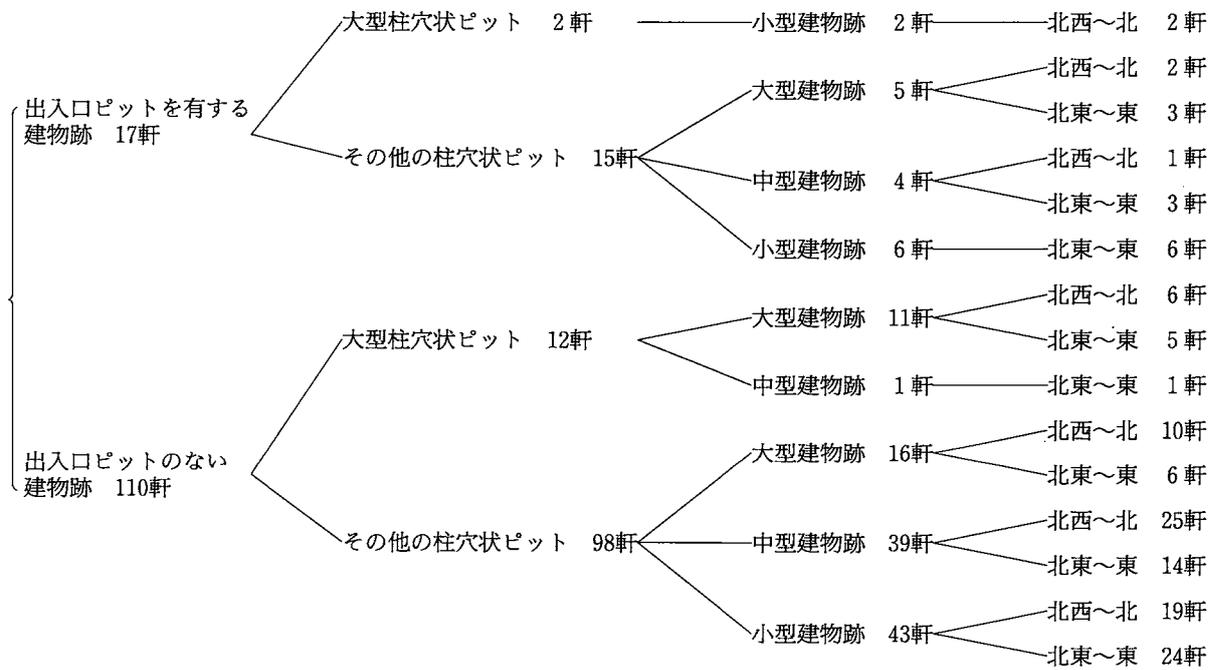
ii) 建物跡

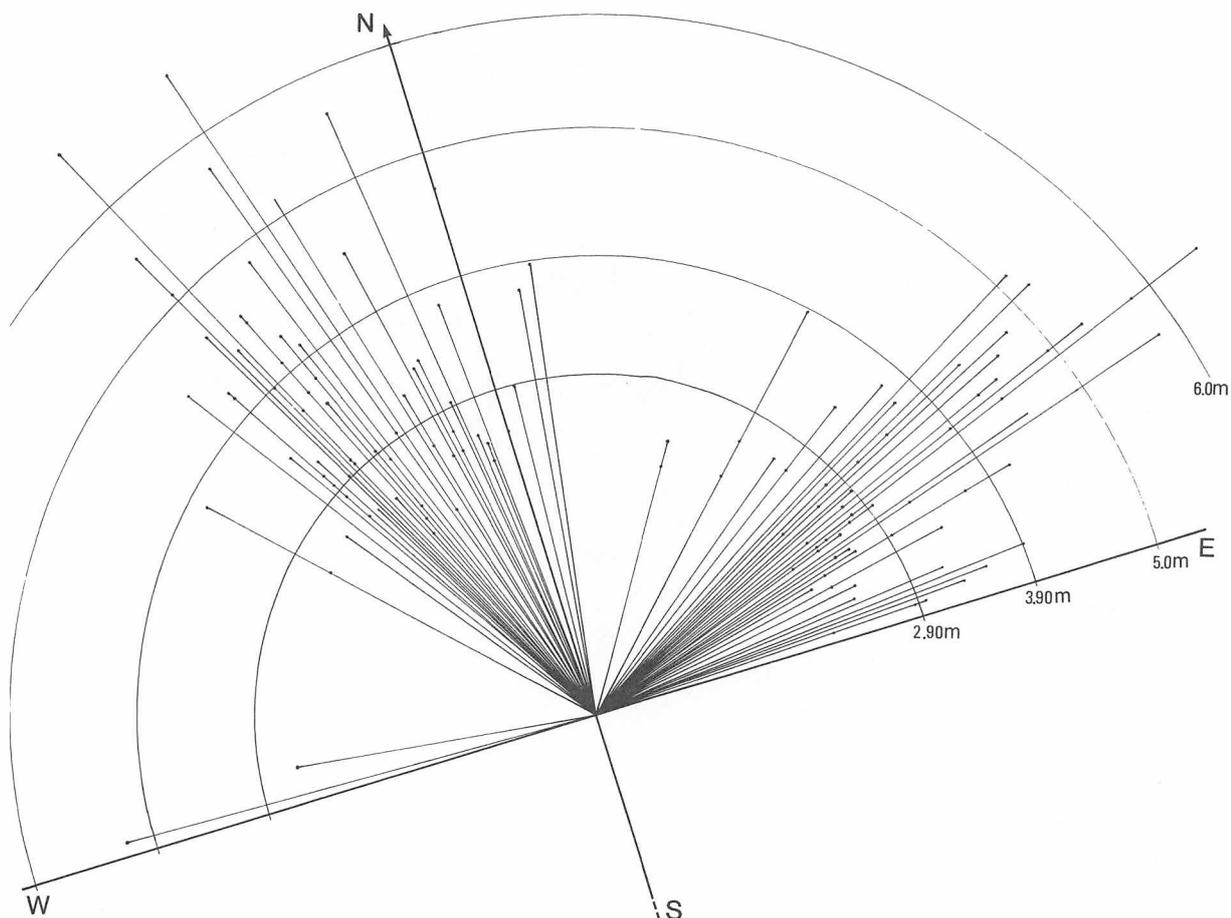
建物跡の分布域は柱穴状ピットの分布域と重なっている。u-69とq-72を結ぶ線上は柱穴状ピット同様、建物跡の分布も希薄である。



図Ⅶ-9 半円状柱穴状ピット列

表Ⅶ-1 建物跡の分類





図VII-10 建物跡の長軸方向

形態 建物跡は出入口ピットを有するものと、出入口ピットのない建物跡に大別できる。これらを主柱と長軸の大きさ、長軸方向によって表化したものが表VII-1である。ここでは短径50cm以上、深さ40cm以上の柱穴状ピットを大型柱穴状ピットとしている。また長軸4.0m以上を大型建物跡、2.90m～3.90mを中型建物跡、2.80m以下を小型建物跡の三つに便宜的に分けている。

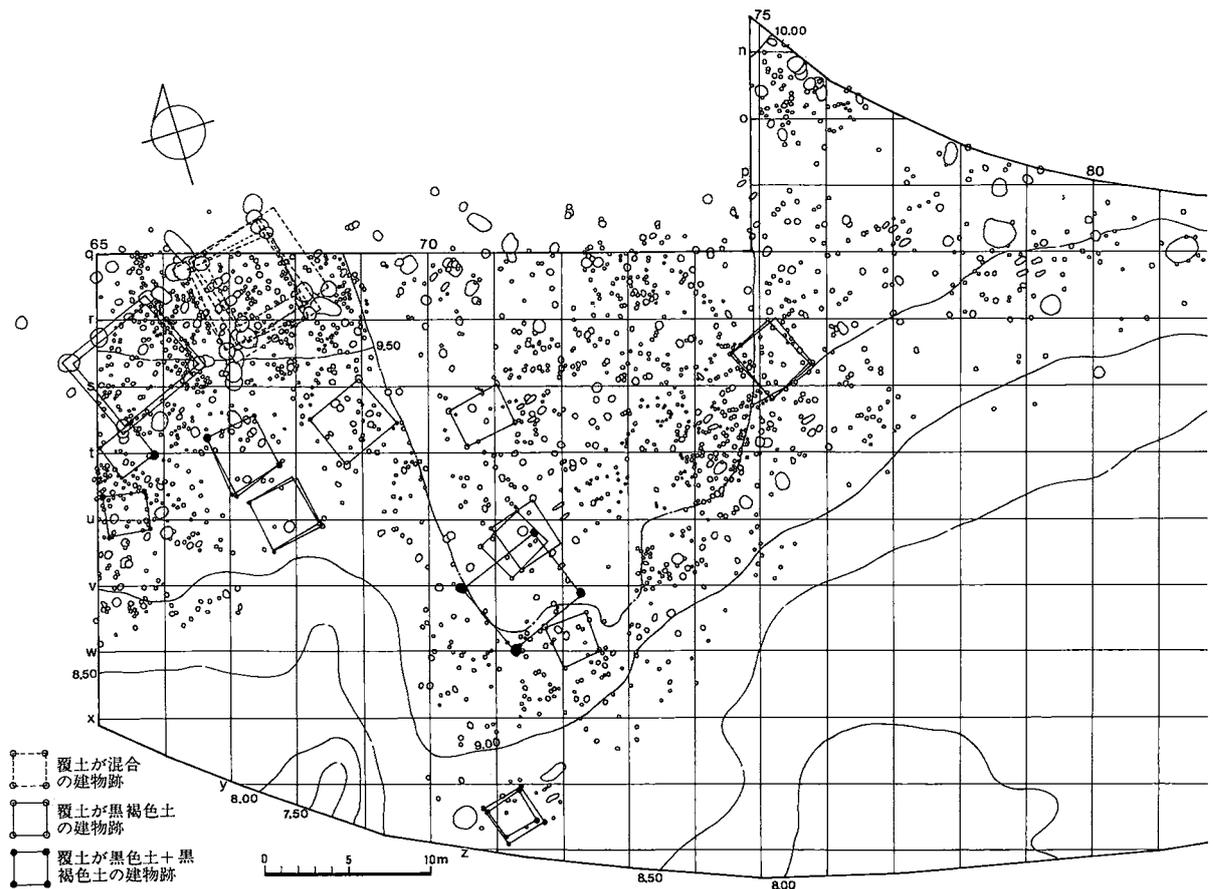
これらの建物跡には、焼土（地床炉）を伴うものが6基があり、主柱穴間にやや小さな柱穴状ピットがほぼ等間隔に1基または2基（支柱穴か？）あるものが21軒ある。

長軸方向 建物跡の長軸方向は、北西～北と北東～東の二方向に分かれ(図VII-10)、北西～北のもの63軒、北東～東のものは64軒である。出入口ピットを有する建物跡では、北西～北のものが5軒、北東～東のものが12軒である。出入口ピットのない建物跡では北西～北のものが59軒、北東～東のものが51軒である。また長軸方向が北西～北の建物跡では、大型建物跡が20軒、中型建物跡が24軒、小型建物跡が19軒で、北東～東の建物跡では、大型建物跡が15軒、中型建物跡が24軒、小型建物跡が27軒である。

建て替え 建物跡127軒のうち33例、73軒に建て替えが行われている。これは主柱穴の重複関係や主柱穴の1～2基を共用しているものから判断したものである。主柱穴が重複する建物の建て替えは9例、18軒、主柱穴を共用する建て物の建て替えは24例、55軒である。建て替えは大半が1回である(30例、60軒)が、中には建物跡62→63→64→65→66(4回)、建物跡67→68→69→70→71(4回)、建物跡78→79→80(2回)のように数回建て替えられているものもある。建物跡78・79・80の主柱穴の覆土は褐色土→暗褐色土へ、また建物跡67・68・70・71では褐色土→暗褐色土→黒褐色土→黒色土へと



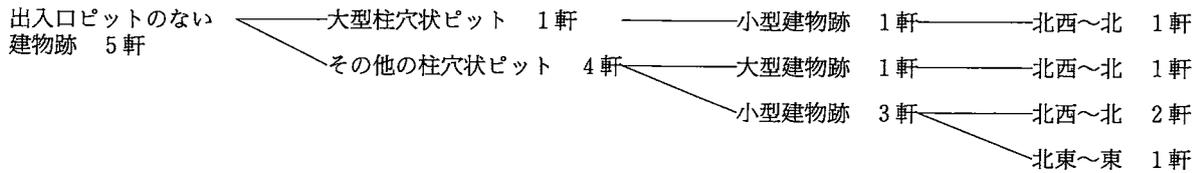
図VII-11 建物跡の分布図(1)



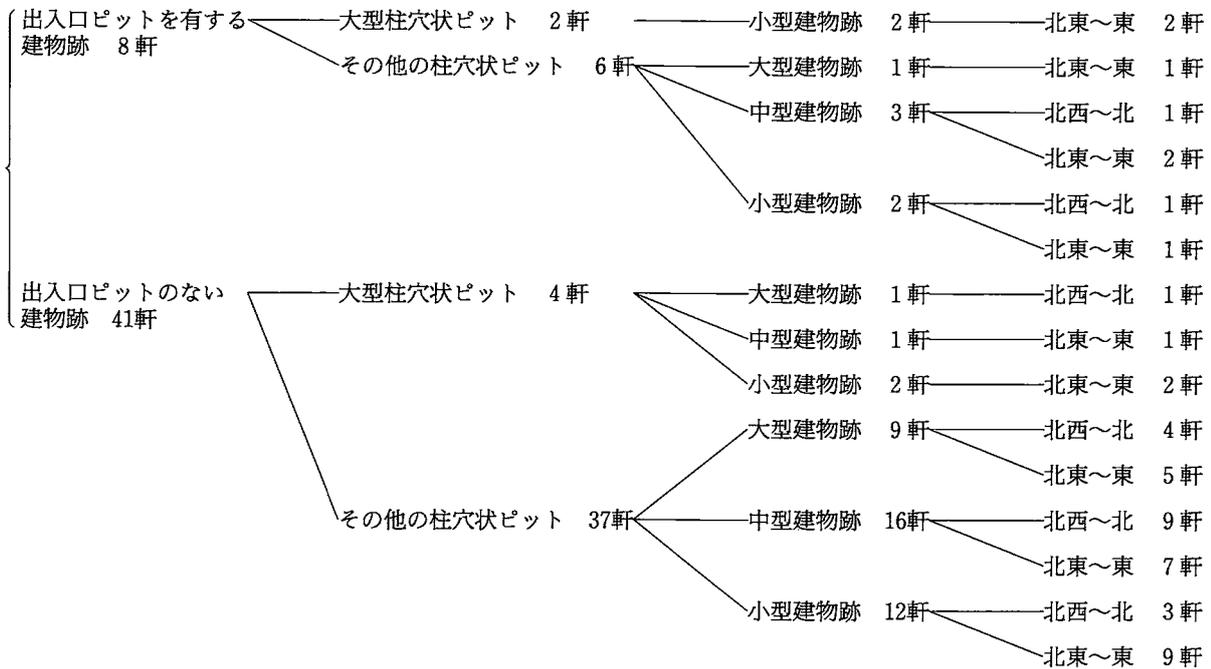
図VII-12 建物跡の分布図(2)

表VII-2 覆土の違いによる建物跡の分類

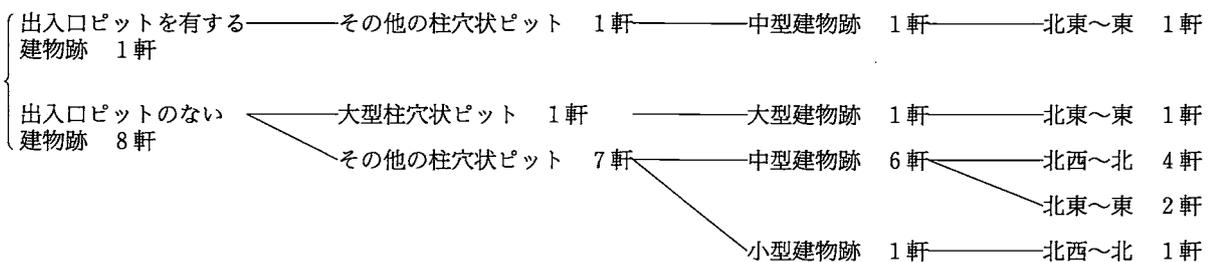
㊶ (褐色土)



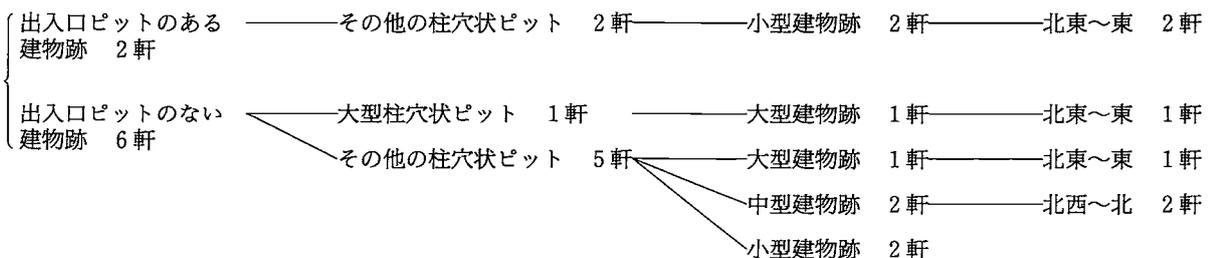
㊷ (暗褐色土)



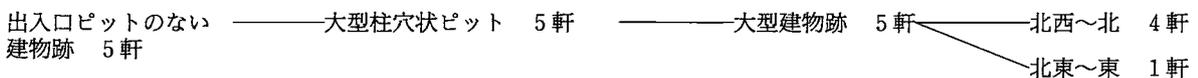
㊸ (黒褐色土)



㊹ (黒色土+黒褐色土)



㊺



変化しており、長期間にわたって建て替えてつ利用していたことを示している。

分布 柱穴状ピットで検討した覆土の違いによる新旧関係に基づいて、これを建物跡に当てはめると、①主柱穴の覆土が褐色土の建物跡は5軒、②暗褐色土の建物跡が49軒(覆土⑤を含む)、③黒褐色土の建物跡が9軒、黒色土と黒褐色土が混じる建物跡が8軒、④混合土(黒褐色土+暗褐色+褐色土)の建物跡が5軒となる。これらを主柱穴の規模、長軸の大きさ、長軸方向で表化したのが表VII-2である。さらに主柱穴の覆土の違いによる建物跡の分布を示したのが図VII-11・12である。図からは明確な分布域の違いなどを読み取ることはできないが、柱穴状ピットの分布で見られたように、①は主に台地上の北側に、②は台地南東側の斜面の肩口に並び、台地上に広がり、③は台地南西側の斜面寄りに、④は台地の北側という分布傾向がうかがえる。この分布図は同一覆土の主柱穴の建物跡74軒で作成したものである。従ってこれから全建物跡の分布を判断することはできず、ただ傾向を示すものとする。これ以外の53軒の主柱穴は褐色土、暗褐色土、黒褐色土や灰褐色土、暗黄褐色土、暗黄色土などの柱穴状ピットのいくつかが組み合わさって主柱穴を構成する建物跡である。これらは主柱穴の配列や長軸方向をもとに建物跡と確定したものである。本書では配列の観点から建物跡を確定しているが、覆土の新旧関係も含めて再検討しなければならないだろう。

性格 建物跡127軒には、出入口ピットを有するものとなないもの、大型柱穴状ピットを主柱穴とするもの、また長軸が6m以上のものや2.20m前後の小型のものなど、種々の規模や形態を有する建物跡がある。これらすべてに土を掘りくぼめた様子は見られない。現地で住居跡と確認した建物跡1・2・3でも掘り込みや覆土などを検出することができなかった。このような諸状況から見てこれらの建物跡は竪穴式の住居ではなく、掘立て柱の建物あるいは平地式の住居であろうと思われる。これらの建物跡には、出入口ピットがあるものや焼土を伴うものなど、住居跡と思われる建物跡も見られるが、それ以外の用途と思わせる建物跡もある。たとえば大型柱穴状ピットを主柱穴とする大型や小型の建物跡は構造やその空間と柱の大きさなどから見て住居以外の用途を考えた方が良いのではないかと思う。また建物跡の分布、規模、長軸方向、覆土などについて整理、検討して見たが、覆土以外では新旧関係を確かめる事はできなかった。表VII-1・2で見られるように、規模、構造、長軸方向の違いは新旧から生じたものではなく、同時期にいくつかのタイプの建物が存在したことを示しているだろう。

本書では、主柱穴の覆土が同一のものどうしのみ限定して新旧とその分布を検討した。さらに同時期の共存数をも検討しなければならないのであるが、これはR地区という狭い範囲ではなく、キウス4遺跡全体で検討しなければならない事項であるので、次の報告書に譲ることとする。

iii) 土壌

縄文時代後期後葉の時期に属する10基の土壌には、土壌墓、貯蔵穴と用途不明のものがある。RLP-36は断面の形状から見てフラスコ状ピットであるが、覆土から炭化物、礫、焼土が検出され、焼土中から骨片などが出土している。覆土の堆積状態なども考えると、貯蔵穴を土壌墓に転用したものと考えられる。またRLP-40は浅い皿状のピットであるが、壇底直上付近から粘土塊が出土していることから見て、粘土を入れていた貯蔵穴の一種と考えられる。

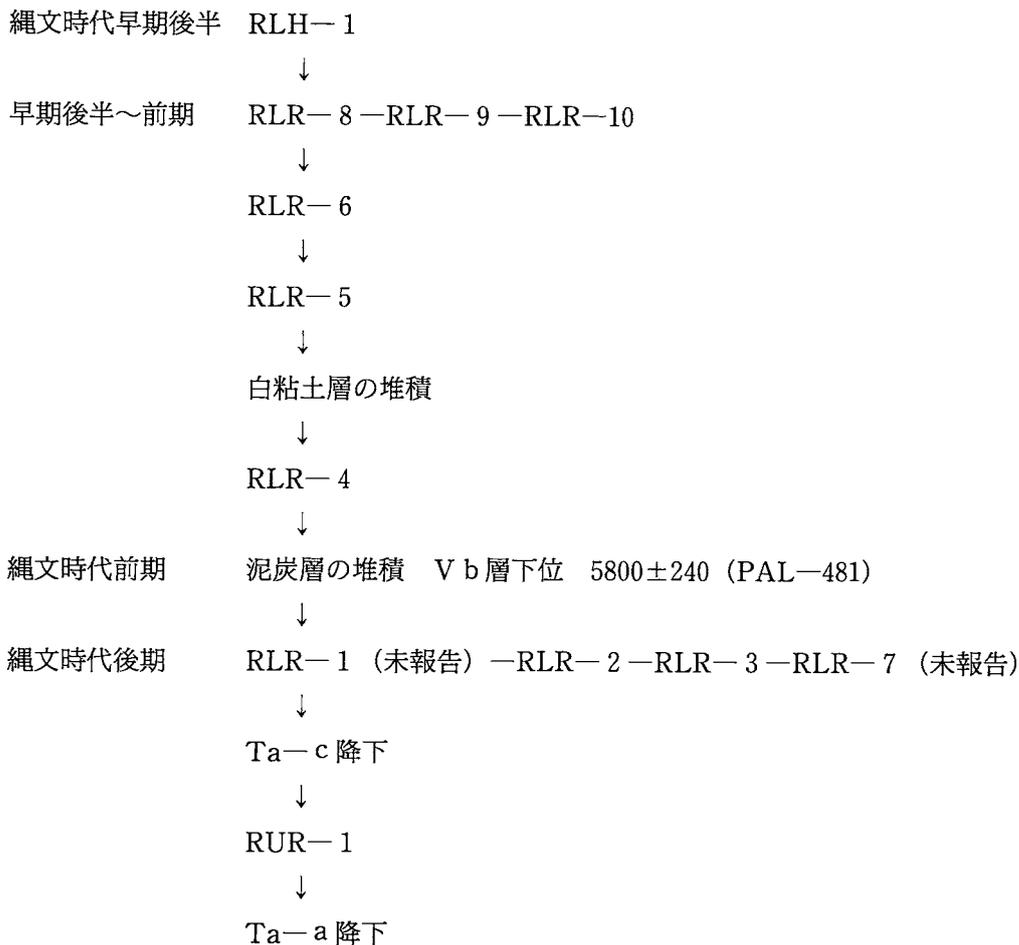
iv) 住居跡

中央低地部で検出された2軒の住居跡のうちRLH-1は検出面や出土遺物などから見て縄文時代早期の竪穴住居跡である。RLH-2は床面出土の遺物から見て、縄文時代早期に属するものと考えていたが、壁際の床面直上付近で検出された炭化物集中の資料から得られた¹⁴C測定値は4300±50yBPというものであった。炭化物集中の下から住居に伴うピットが検出されており、炭化物集中が床面直

上付近にあった事を考えると、測定値に近い時期の住居跡であろうと思われる。縄文時代の遺構ではあるが、明確な時期決定は保留しておく。床面出土とされる土器の出土状況の再検討も含めて、土器そのものの検討の上時期を決定すべきと考えている。

v) 流水跡

本書で取り扱った9ヵ所の流水跡のうち、縄文時代早期のものは1ヵ所(RLR-10) 縄文時代後期のものは2ヵ所(RLR-2・3)で、他の6ヵ所は明確な時期は決定し得なかった。とくにRLR-4・5・6・8・9は白粘土層上面付近やVc層中で、検出されたものであるが、白粘土層の形成時期が現在のところ確定していないことや周辺から遺物が出土していないことなどから、縄文時代早期後半～前期としておく。以下に、これまでに明らかになった事項を踏まえて、流水跡の新旧関係を示しておく。(「-」は同時期もしくは前後関係不明。旧→新。)



2. 遺物

i) 土器

柱穴状ピット、土壌、住居跡、焼土、流水跡から4948点の土器が出土した。これはR地区全体に比すると非常に少ない。全体では200万点に迫る数の土器が出土しており、盛土遺構およびそれに関係する遺物包含層に集中している(次年度以降報告)。

出土土器の時期については、低地側の住居跡・流水跡では縄文早期後半の土器がある程度みられるが、他の大部分の遺構では縄文時代後期後葉の堂林式が大部分を占める。特に土壌・柱穴群の覆土中に見られる土器はその器形・文様の特徵から堂林式の新しい段階に属するものが多く含まれているものと思われる。このことは、整地行為や建物の建て替えなどが行われ続ける中で、堂林式の古い段階

の土器の大部分が盛土遺構など低地側に運ばれ、堂林式の新しい段階の土器の一部が最終的に覆土に入り込んだものと考えられる。

また出土状態では、その遺構の機能・性格と直接結びつく状態での出土はほとんどなかった。柱穴状ピットの土器は覆土(埋め土)であるし、土壌もまた同様で、墳底にそのまま残っていたものはない。焼土にも埋設されたものはなく、被熱層の土器を焼土の遺物としている。流水跡についても、やはり開析した層位の遺物を巻き込んだものがほとんどであると考えられる。

接合関係については、Vd層に関係する遺構である焼土(RLF-257・258)や流水跡(RLR-3)の間で何件かの接合例がある。また柱穴状ピット間では、隣接するピットや、同じ建物跡で同時に覆土が埋まったと考えられる柱穴間で接合した。しかしそれ以外の柱穴間では接合例がなく、建物の新旧関係や同時に存在するものを見いだす手がかりが接合関係からは得られなかった。今後これらの土器と盛土遺構出土土器の接合を行い、土壌・柱穴群と盛土遺構との関係を考える上での手がかりが得られることが期待される。

ii) 石器

本書で取り扱った石器などの総数は1,118点である。R地区全体では約20万点が出土しており、とくに盛土遺構出土の石器などに比べると僅少である。出土した石器などではフレイク746点、礫185点、計931点で全体の約83%を占めている。定形的な石器は168点出土している。定形的な石器には石鏃、石錐、スクレイパー、石斧、石鋸、たたき石、すり石、砥石、石皿・台石などが出土し、石製品(垂飾)が2点出土している。報告が柱穴状ピットや住居跡、土壌、焼土、流水跡に限定されており、また出土点数そのものも少なくないことにもよるだろうが、過年度まで見られた石鏃の突出的出土傾向は見られない。定形的石器では石鏃が最も多いが、20点出土したに過ぎない。これらはすべて破損品である。その他の石器では、スクレイパー18点、石斧片17点、石皿・台石片15点、すり石片14点、たたき石、砥石片各12点などが出土している。石質を主な器種ごとに見てみると、石鏃、石錐、スクレイパーでは大半が黒曜石で、頁岩が1点ある。石斧では片岩と緑色泥岩、たたき石では砂岩と片麻岩、すり石は安山岩などである。また砥石と石皿・台石では砂岩が大半を占めている。その他には、泥岩、メノウ、カンラン岩、凝灰岩、珪質頁岩などの礫片も少量出土している。

以上遺構と遺物について簡単にまとめ、いくつかの問題点を示した。R地区の最も中心的な遺構である盛土遺構とその出土遺物について現在整理中である。報告も来年度以降であることから、本書ではそれ以外の遺構の事実記載に主眼をおいている。本来ならば盛土遺構とその出土遺物の関係を踏まえ、同時期、同様の遺構・遺物が検出・出土している他地区とも比較検討しなければならなかったのであるが、種々の制約で果たせなかった。残された課題は多い。キウス4遺跡全体で、より広い視野に立ち、再検討されることを願って、まとめとする。

写真図版



1. V層上面全景 (W→E)



2. Vb層上面全景 (W→E)



3. Vb層下位 (白粘土層上面) 全景 (W→E)

図版 2 全景



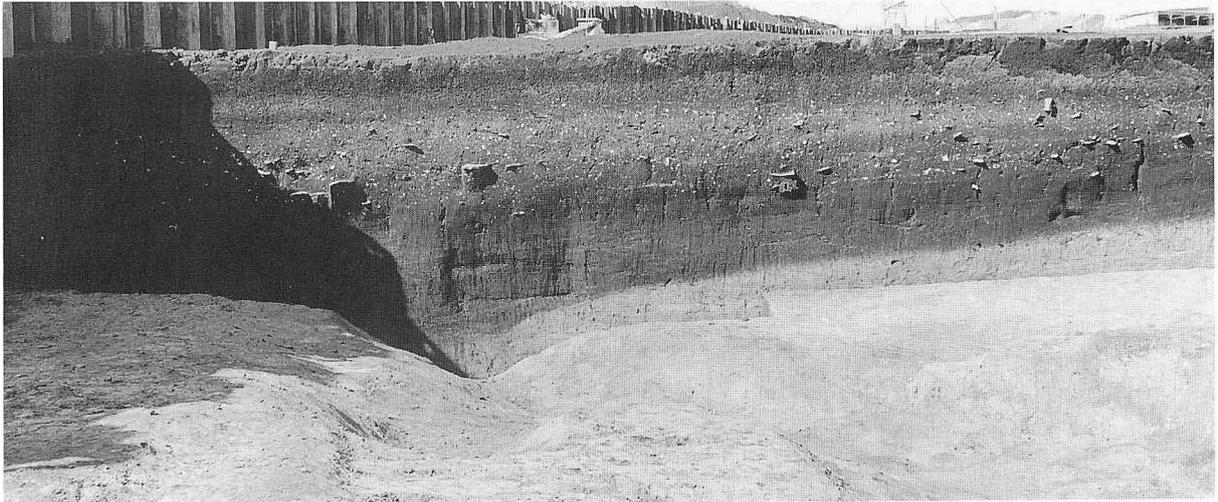
4. Vc層上面全景 (W→E)



5. VI・VII層上面全景 (W→E)



6. 完掘全景 (W→E)



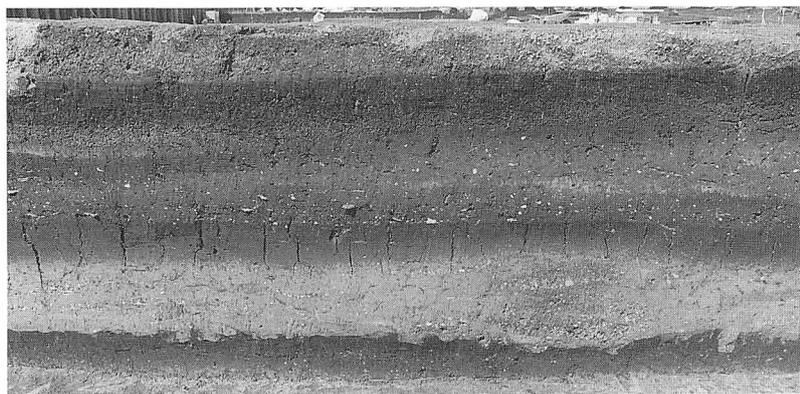
7. 南北 (75ライン) メインセクション (E→W)



8. 南北 (85ライン) メインセクション (E→W)



9. 南北 (75ライン) メインセクション (SE→NW)



10. 南北 (85ライン) メインセクション (E→W)



11. 南壁 (x-65) セクション (N→S)



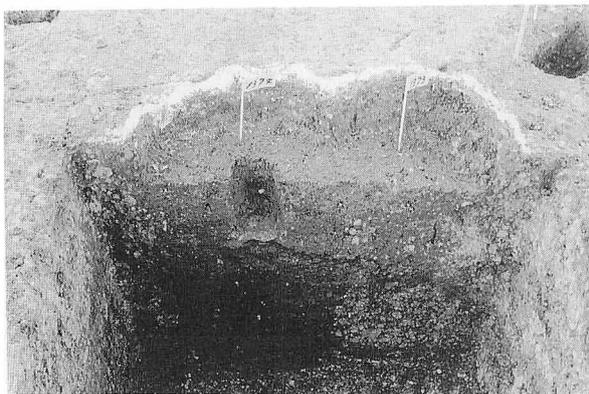
12. 建物跡1・2完掘風景 (E→W)



14. RLSP-1072 (下)・1073 (上)
(E→W)



13. 調査風景 (W→E)



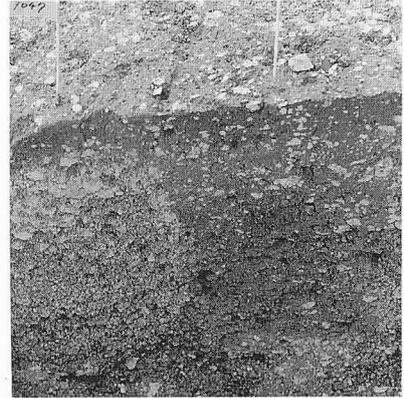
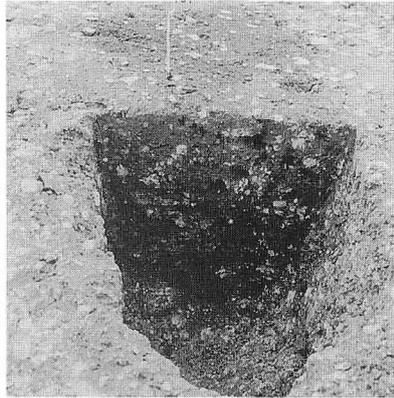
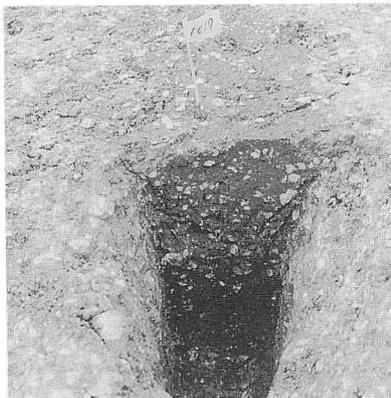
15. RLSP-1373 (右)・1374 (左) セクション (S→N)



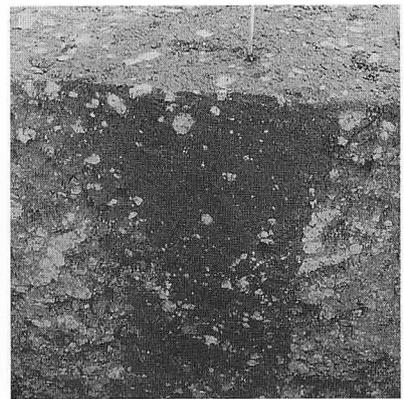
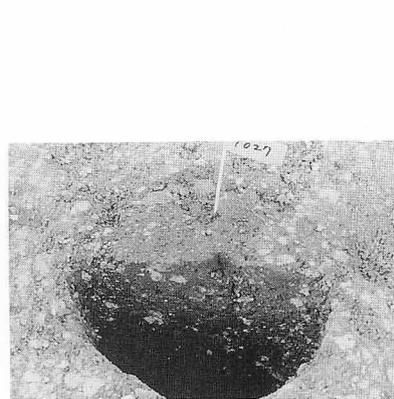
16. RLSP-1375 (右)・1376 (左) セクション (NE→SW)



17. 建物跡 3 完掘風景 (E→W)



18. RLSP-1017セクション(E→W) 19. RLSP-1018セクション(E→W) 20. RLSP-1047 (左)・1048 (右) (E→W)



21. RLSP-1029セクション(E→W) 22. RLSP-1027セクション(S→N) 23. RLSP-1020セクション(S→N)



24. RLH-1 完掘風景 (E→W)



25. RLH-1 南北セクション (E→W)



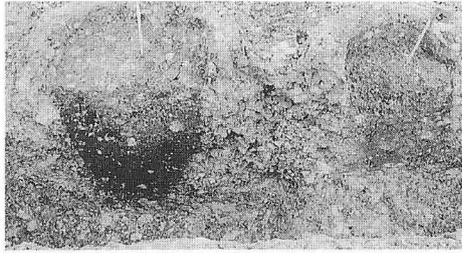
26. RLH-2 HP-1 完掘 (S E→NW)



27. RLH-2 HP-1 セクション (S→N)



28. RLH-2 HP-2セクション (NW→SE)



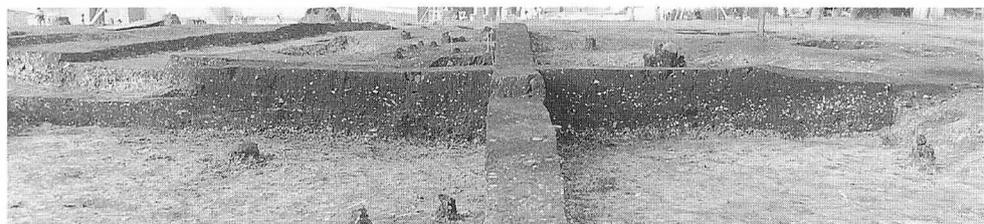
29. RLH-2 HP-4 (左)・5 (右) セクション (S→N)



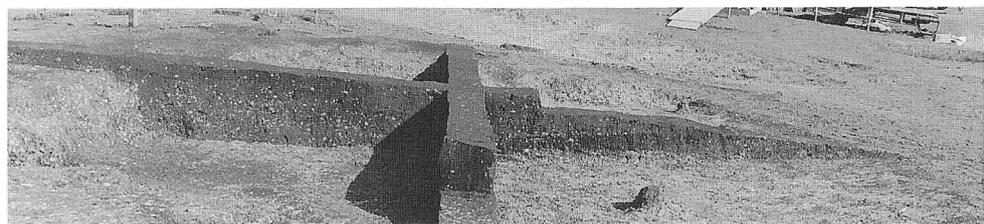
30. RLH-2 HP-9セクション (S→N)



31. RLH-2 完掘風景 (S→N)



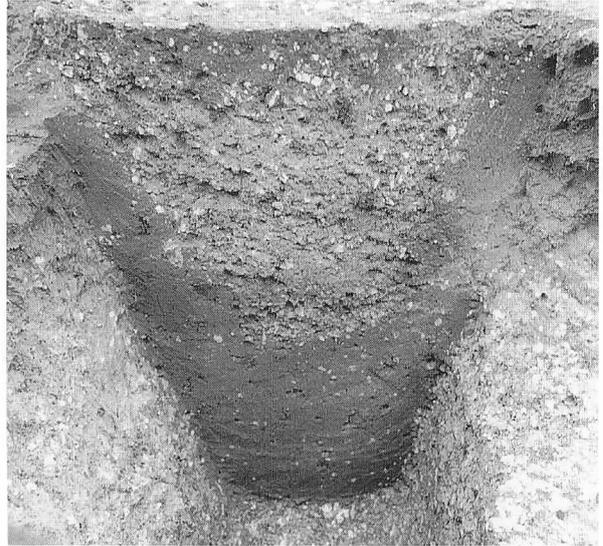
32. RLH-2 東西セクション (S→N)



33. RLH-2 南北セクション (W→E)



34. RLP-1 完掘 (W→E)



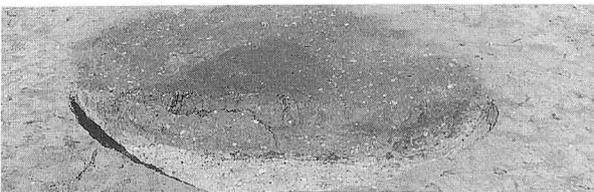
35. RLP-1 セクション (SW→NE)



36. RLP-2 完掘 (S→N)



38. RLP-3 完掘 (SE→NW)



37. RLP-2 セクション (S→N)



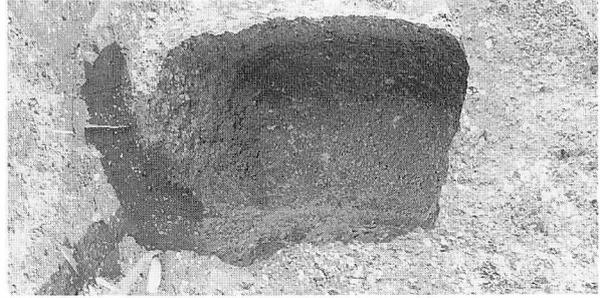
39. RLP-3 セクション (S→N)



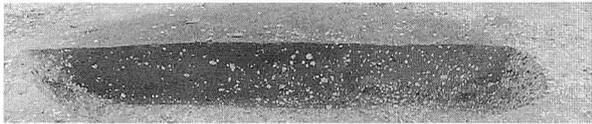
40. RLP-4 完掘 (E→W)



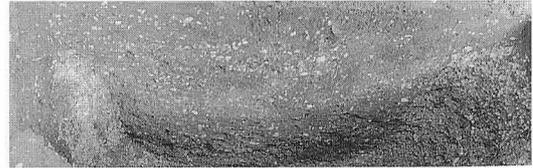
41. RLP-5 完掘 (S→N)



43. RLP-12完掘 (S E→NW)



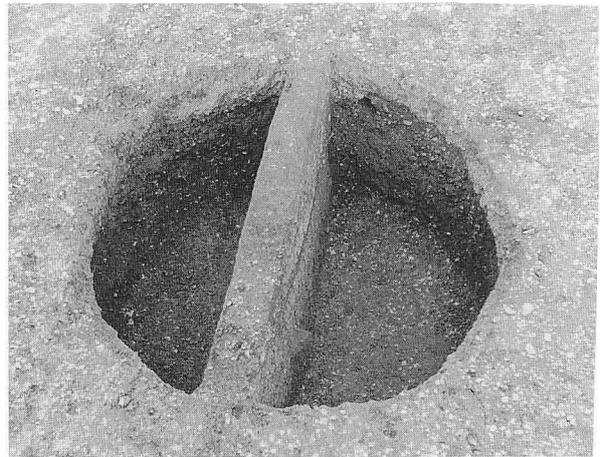
42. RLP-5 セクション (S→N)



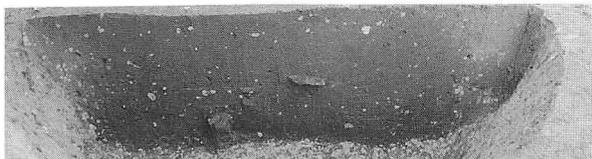
44. RLP-12セクション (S→N)



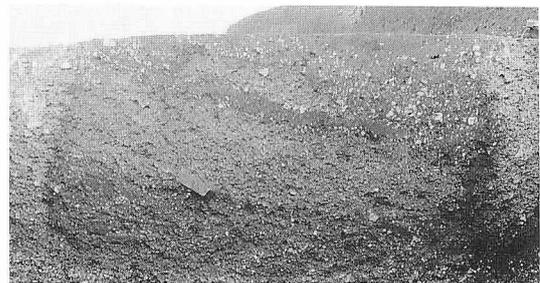
45. RLP-34完掘 (S→N)



47. RLP-35完掘 (S→N)



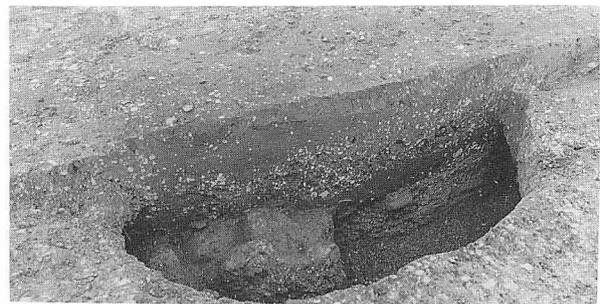
46. RLP-34セクション (S→N)



48. RLP-35セクション (E→W)



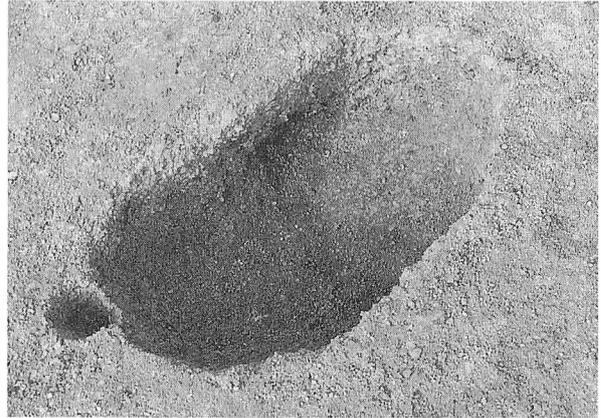
49. RLP-36完掘 (S E→NW)



50. RLP-36セクション (S→N)



51. RLP-37完掘 (S→N)



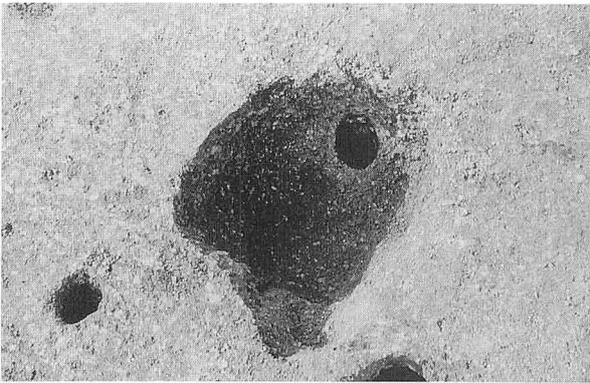
53. RLP-38完掘 (SE→NW)



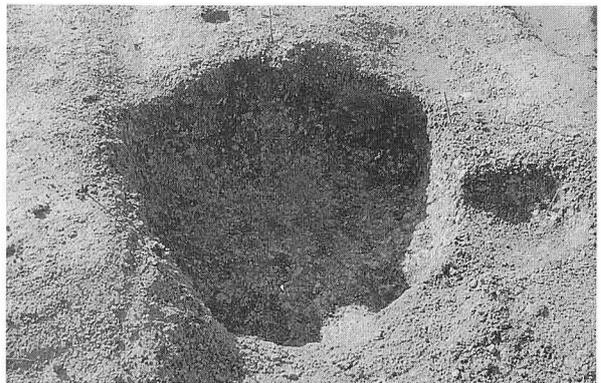
52. RLP-37セクション (S→N)



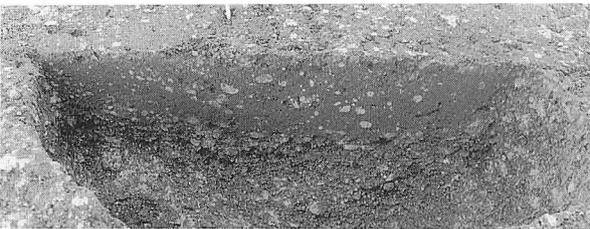
54. RLP-38セクション (W→E)



55. RLP-39完掘 (SE→NW)



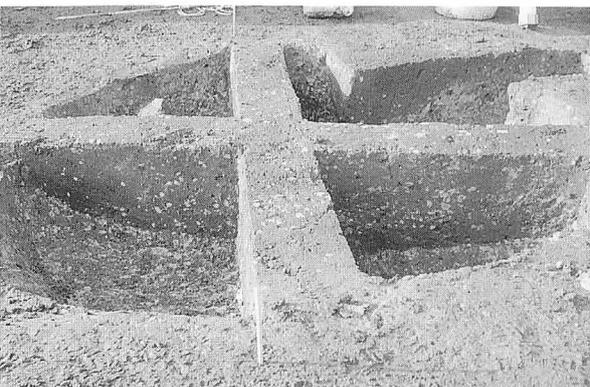
57. RLP-51完掘 (N→S)



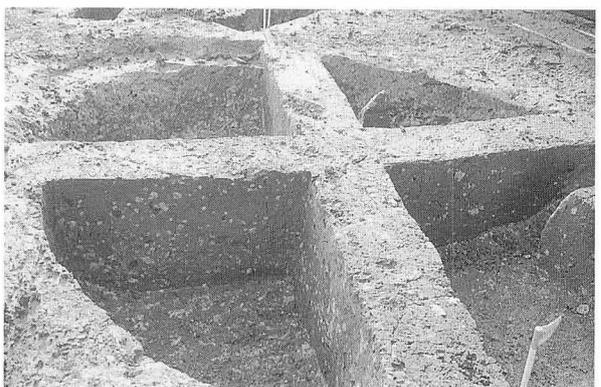
56. RLP-39セクション (S→N)



58. RLP-51セクション (W→E)



59. RLP-52セクション (N→S)



60. RLP-52セクション (W→E)



61. Vb層上面焼土検出風景 (S→N)



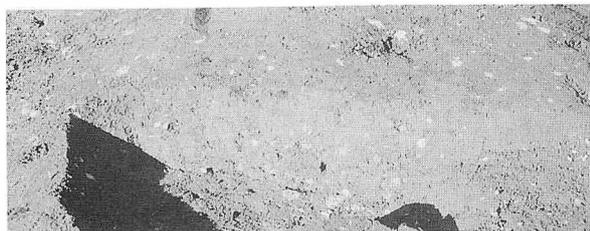
62. RLF-200検出風景 (SE→NW)



63. RLP36-F1検出風景 (SE→NW)



64. RLF-256 (手前)・257・258 (奥) 検出風景 (W→E)



65. RLF-264セクション (S→N)



66. Vb層中検出焼土の調査風景 (SW→NE)



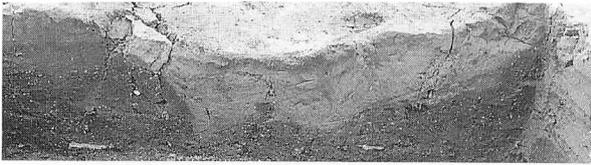
67. Vb層中焼土検出状況 (SW→NE)



68. RLR-1 検出状況 (W→E)



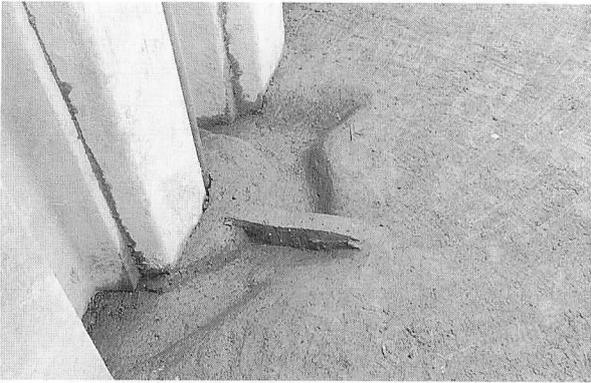
69. RLR-1 完掘風景 (W→E)



70. RLR-1 セクション (x-79 E→W)



71. RLR-1 セクション (x-80 E→W)



72. RLR-2 完掘風景 (E→W)



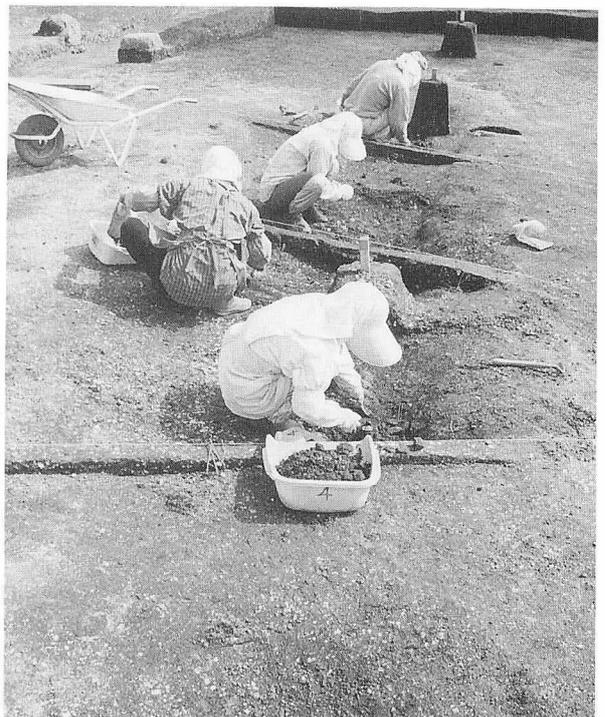
74. RLR-3 セクション (E→W)



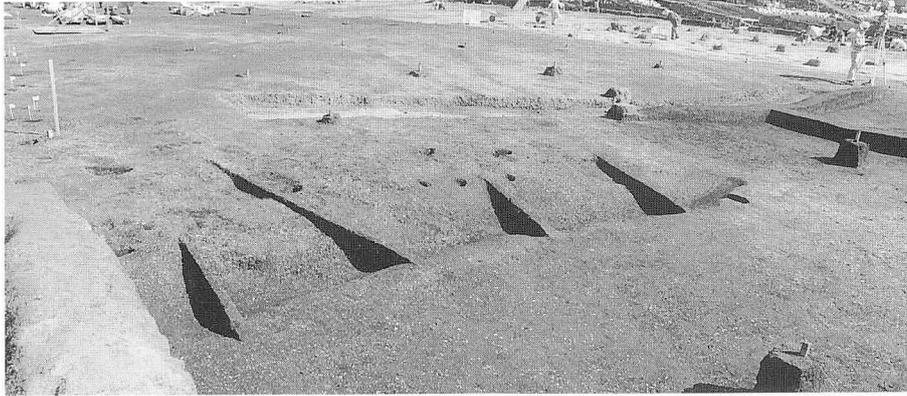
73. RLR-2 セクション (W→E)



75. RLR-3 作業風景 (SE→NW)



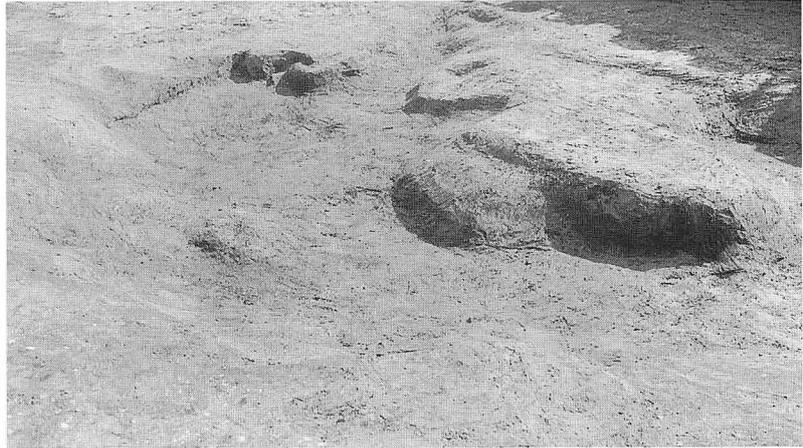
76. RLR-3 作業風景 (W→E)



77. RLR-3 完掘 (SW→NE)



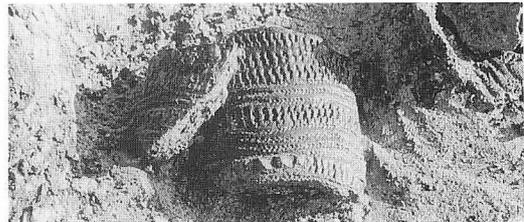
78. RLR-4 検出状況 (SW→NE)



79. RLR-4 完掘風景 (NW→SE)



80. RLR-5 完掘風景 (SW→NE)



82. RLR-8 遺物出土状況 (N→S)



83. RLR-8 セクション (SW→NE)



81. RLR-8・9 完掘風景 (W→E)



84. RLR-10完掘風景 (NW→SE)

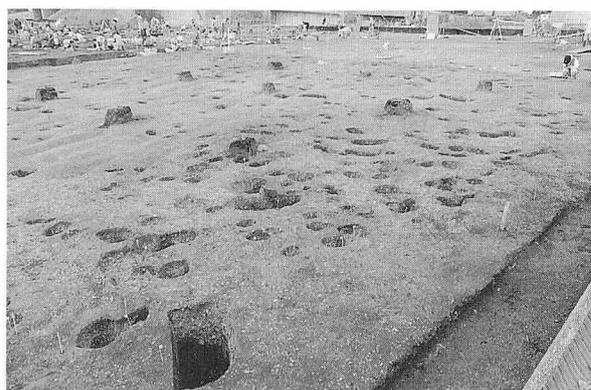
図版14 柱穴状ピットの完掘風景



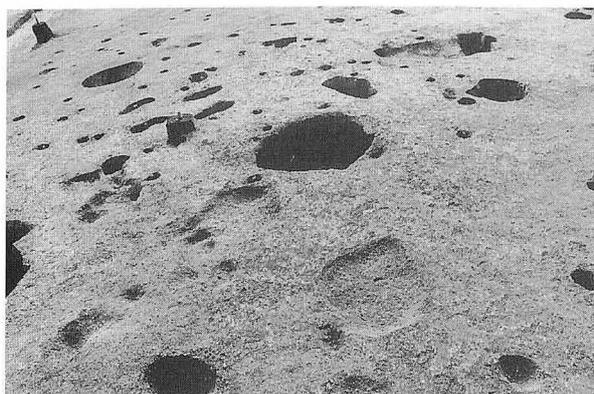
85. 柱穴群完掘風景 (S→N)



86. 柱穴群完掘風景 (r-67ほか W→E)



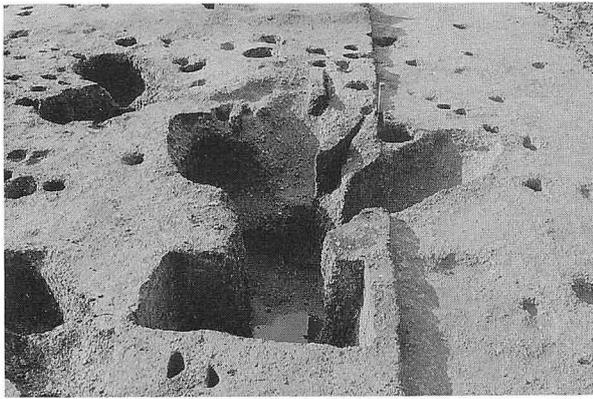
87. 柱穴群完掘風景 (s-74ほか SE→NW)



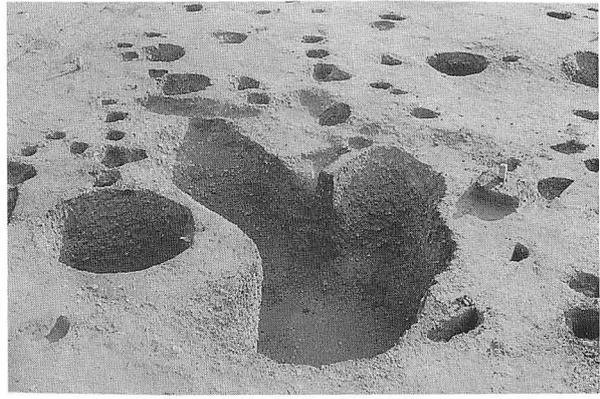
88. 柱穴群完掘風景 (p-78ほか N→S)



89. 柱穴群完掘風景
(r-65ほか N→S)



90. 柱穴群完掘風景 (q-66ほか E→W)



91. 柱穴群完掘風景 (q-68ほか N→S)



92. 柱穴群完掘風景 (r-67ほか N→S)



93. 柱穴群完掘風景 (n-75ほか S→N)



94. 作業風景 (W→E)



95. 作業風景 (SW→NE)



96. 作業風景 (NE→SW)



97. RLP-7 完掘 (E→W)



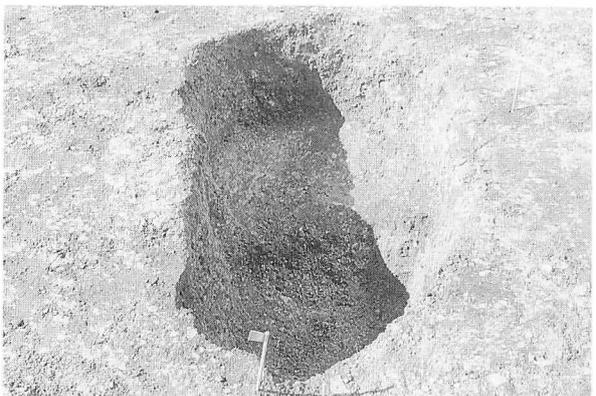
98. RLP-7 セクション (E→W)



99. RLP-10 完掘 (W→E)



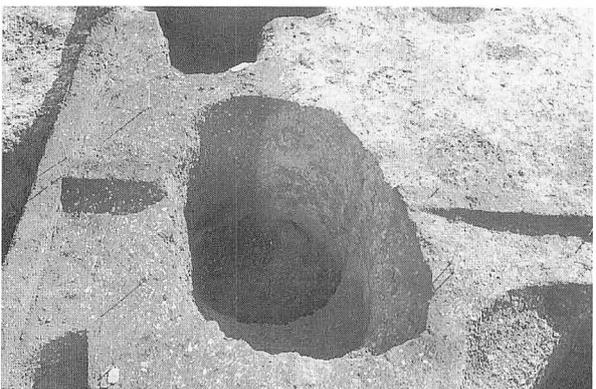
100. RLP-10 セクション (N→S)



101. RLP-11 (上)・24 (下) 完掘 (E→W)



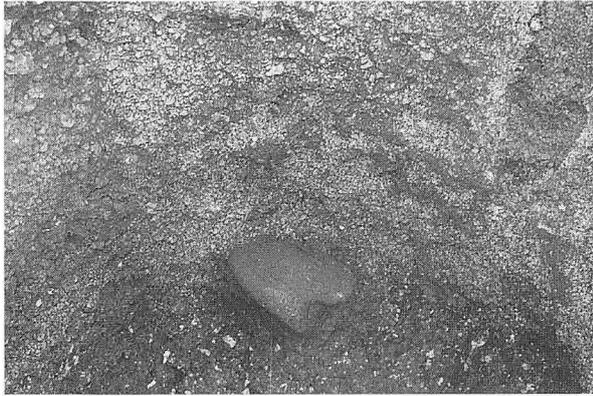
102. RLP-11 セクション (W→E)



103. RLP-13 (上)・26 (下) 完掘 (W→E)



104. RLP-13 セクション (E→W)



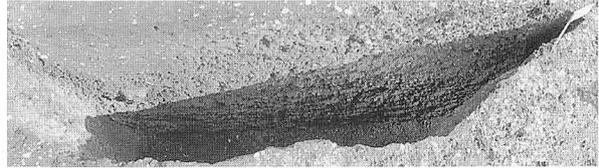
105. RLP-13遺物出土状況 (NW→SE)



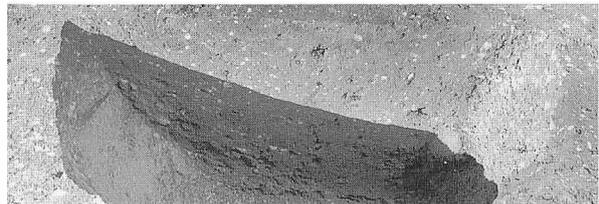
106. RLP-14完掘 (S→N)



108. RLP-16完掘 (S→N)



107. RLP-14・15セクション (W→E)



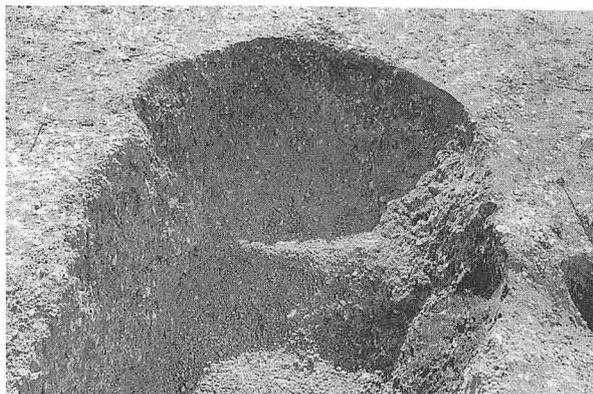
109. RLP-16セクション (S→N)



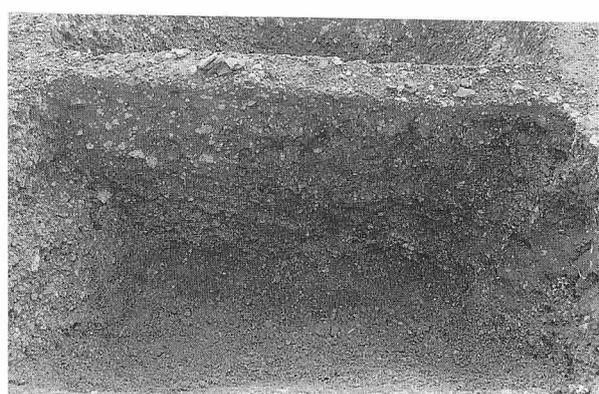
110. RLP-18完掘 (S→N)



111. RLP-18セクション (NW→SE)



112. RLP-19完掘 (N→S)



113. RLP-19セクション (N→S)



114. RLP-20完掘 (S→N)



115. RLP-20セクション (SW→NE)



117. RLP-23セクション (S→N)



116. RLP-23完掘 (N→S)



118. RLP-25完掘 (N→S)



119. RLP-25・RLF-248セクション (E→W)



120. RLP-27完掘 (S→N)



121. RLP-27セクション (E→W)



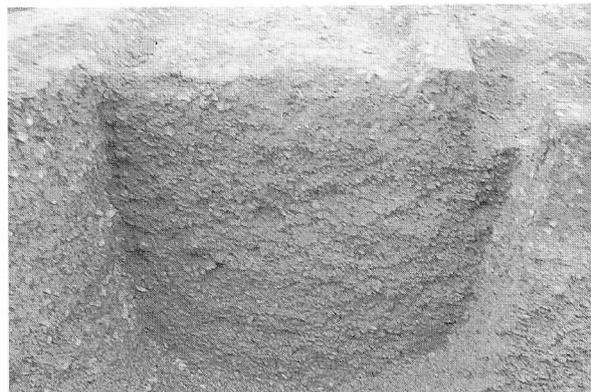
122. RLP-28完掘 (S→N)



123. RLP-28セクション (W→E)



124. RLP-41完掘 (S→N)



125. RLP-42セクション (W→E)



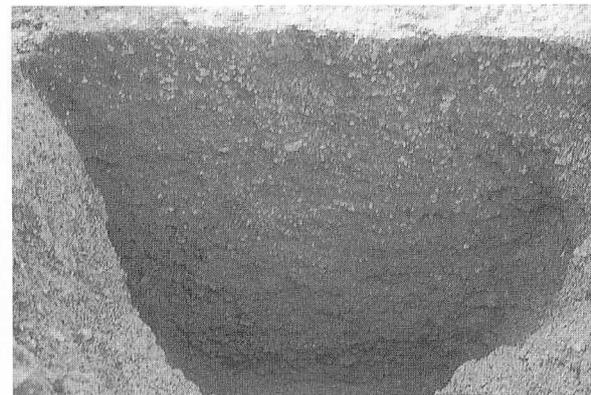
126. RLP-43完掘 (S→N)



127. RLP-43セクション (S→N)



128. RLP-44セクション (NW→SE)



129. RLP-45セクション (NW→SE)

図版20 柱穴状ピット (RLP・RLSP) のセクション(1)



130. RLP-47完掘 (S→N)



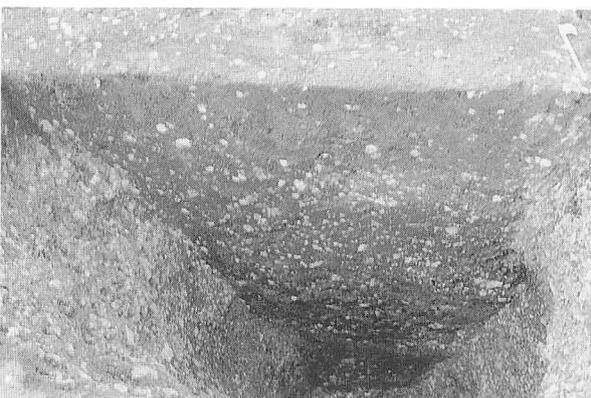
131. RLP-49セクション (S→N)



132. RLSP-152・36セクション (S→N)



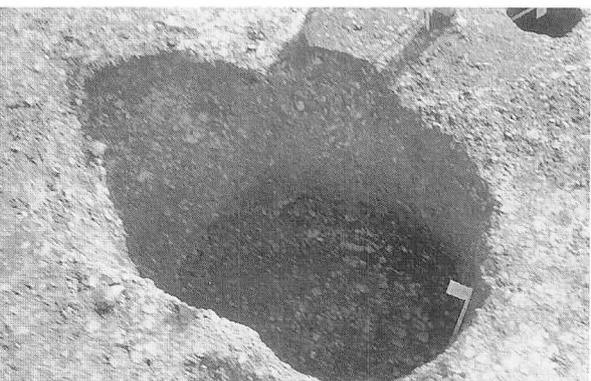
133. RLSP-586セクション (S→N)



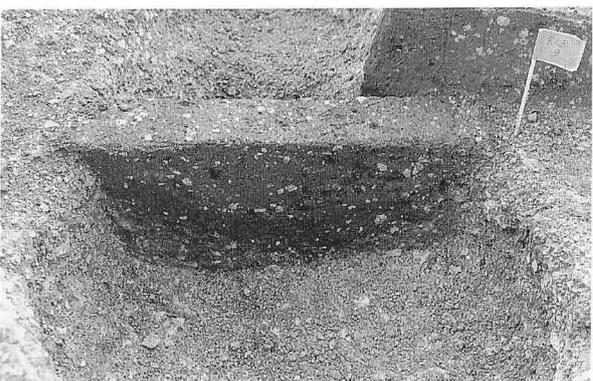
134. RLSP-615セクション (NE→SW)



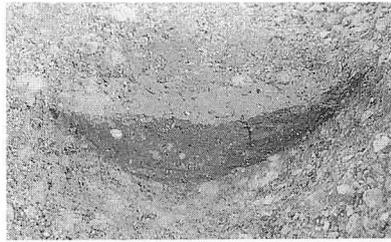
135. RLSP-1190セクション (W→E)



136. RLSP-1190完掘 (NW→SE)



137. RLP-9セクション (N→S)



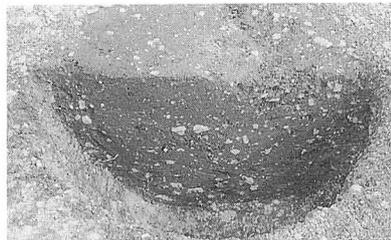
138. RLSP-1 (S→N)



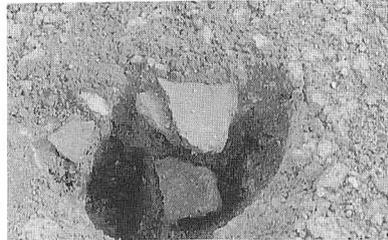
139. RLSP-2 (S→N)



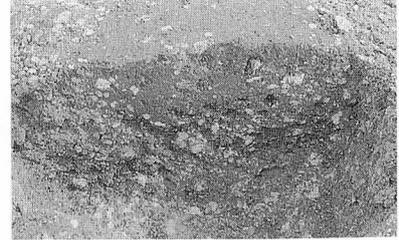
140. RLSP-3 (S→N)



141. RLSP-4 (S→N)



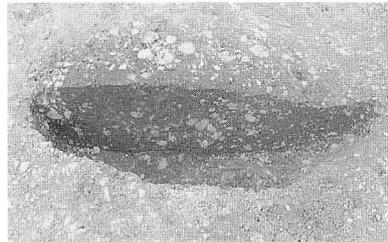
142. RLSP-5 (S→N)



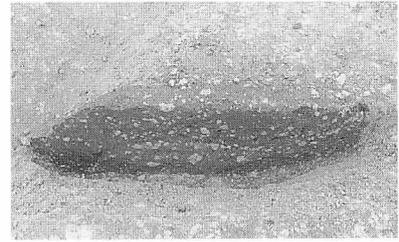
143. RLSP-7 (SW→NE)



144. RLSP-9 (SW→NE)



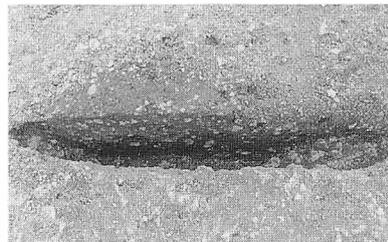
145. RLSP-11 (S→N)



146. RLSP-12 (S→N)



147. RLSP-13 (S→N)



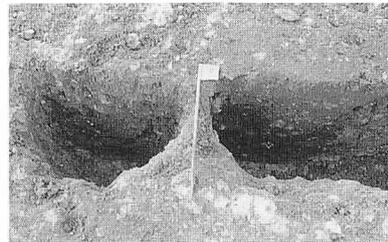
148. RLSP-15 (N→S)



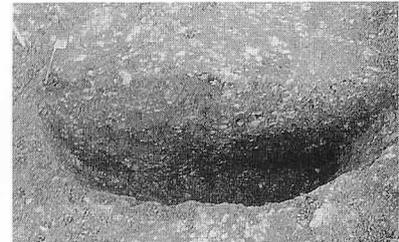
149. RLSP-16 (S→N)



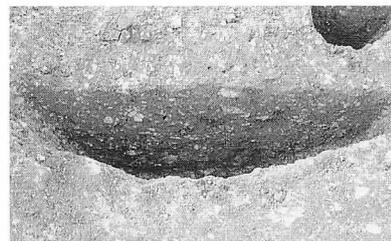
150. RLSP-17 (S→N)



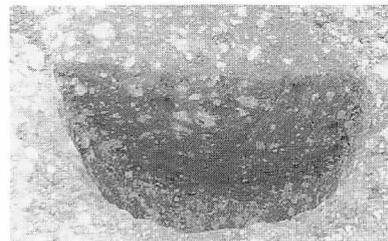
151. RLSP-18 (右)・416 (N→S)



152. RLSP-19 (S→N)



153. RLSP-20 (N→S)



154. RLSP-24 (SW→NE)



155. RLSP-25 (S→N)

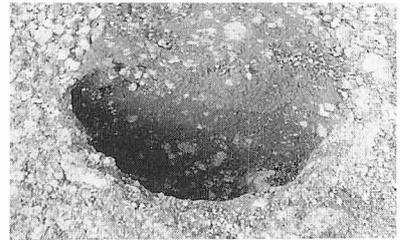
図版22 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(3)



156. RLSP-27 (S→N)



157. RLSP-29 (左)・30 (右) (SW→NE)



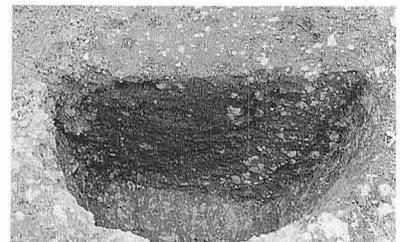
158. RLSP-33 (SW→NE)



159. RLSP-39 (S→N)



160. RLSP-40 (W→E)



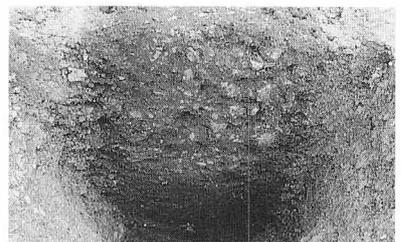
161. RLSP-42 (W→E)



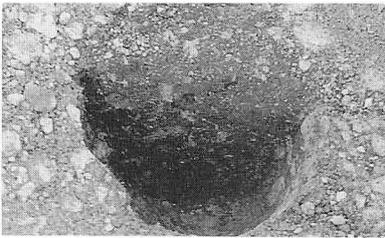
162. RLSP-45 (S→N)



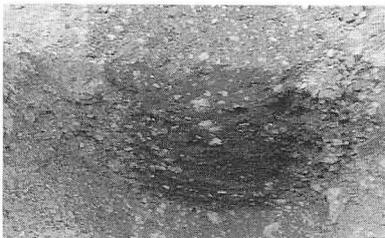
163. RLSP-46 (S→N)



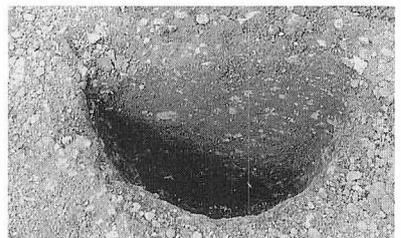
164. RLSP-47 (W→E)



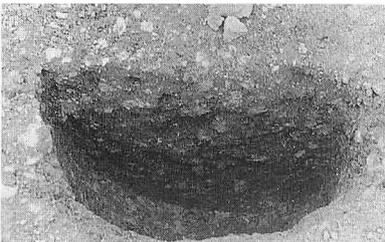
165. RLSP-48 (S→N)



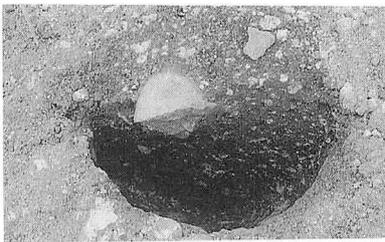
166. RLSP-50 (E→W)



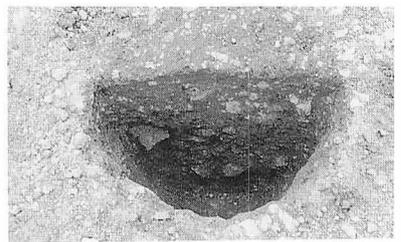
167. RLSP-55 (S→N)



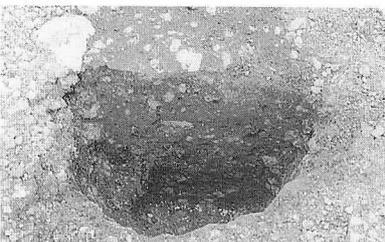
168. RLSP-56 (SE→NW)



169. RLSP-58 (S→N)



170. RLSP-61 (SE→NW)



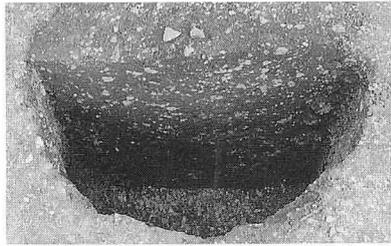
171. RLSP-69 (S→N)



172. RLSP-72 (E→W)



173. RLSP-80 (左)・81 (右) (S→N)



174. RLSP-83 (S→N)



175. RLSP-91 (S→N)



176. RLSP-93(左)・94(右) (E→W)



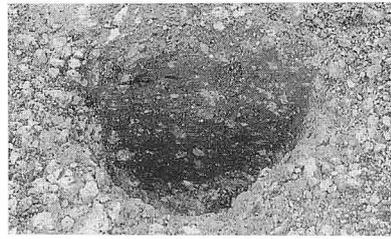
177. RLSP-98 (NW→SE)



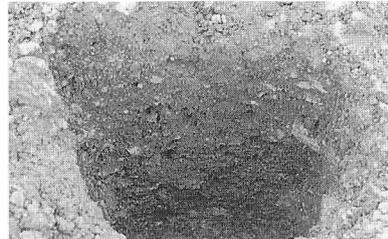
178. RLSP-101 (SW→NE)



179. RLSP-105 (E→W)



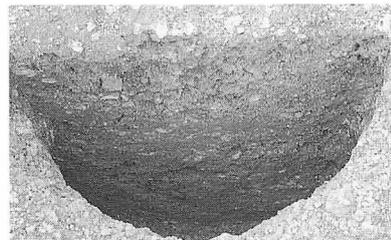
180. RLSP-108 (E→W)



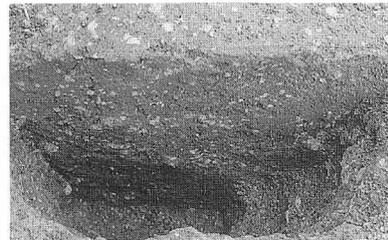
181. RLSP-113 (S→N)



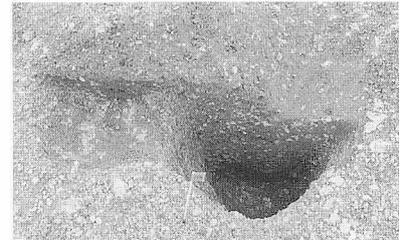
182. RLSP-114 (S→N)



183. RLSP-115 (S→N)



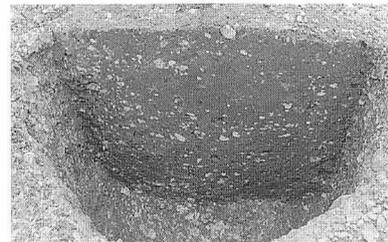
184. RLSP-116(左)・155(W→E)



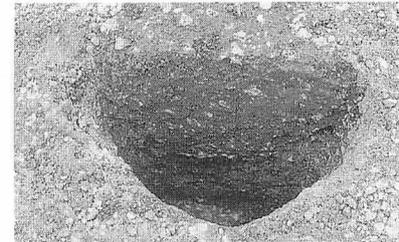
185. RLSP-117(左)・118(S→N)



186. RLSP-118出土の漆膜 (SE→NW)



187. RLSP-120 (N→S)



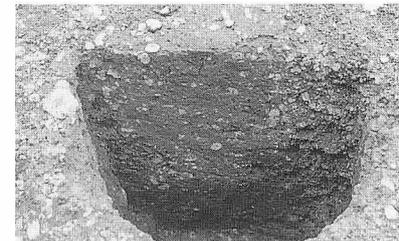
188. RLSP-125 (N→S)



189. RLSP-126・127(左) (N→S)

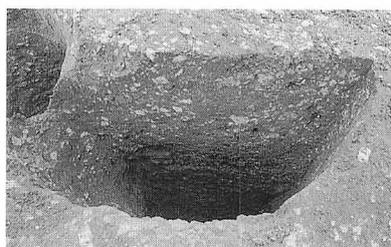


190. RLSP-131 (E→W)



191. RLSP-133 (N→S)

図版24 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(5)



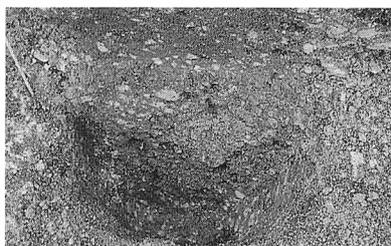
192. RLSP-144 (E→W)



193. RLSP-145 (E→W)



194. RLSP-153 (S W→N E)



195. RLSP-156 (S W→N E)



196. RLSP-158 (W→E)



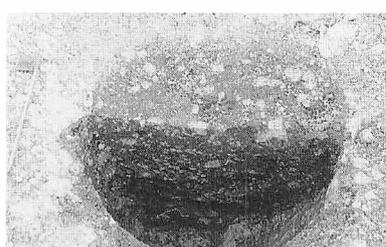
197. RLSP-159 (S W→N E)



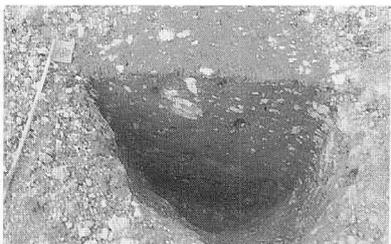
198. RLSP-168 (W→E)



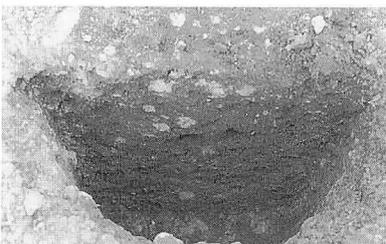
199. RLSP-175 (W→E)



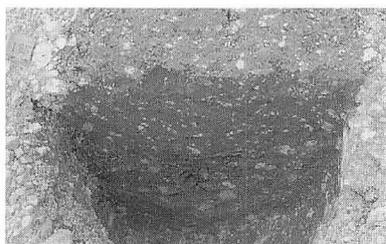
200. RLSP-176 (S→N)



201. RLSP-180 (S→N)



202. RLSP-184 (S W→N E)



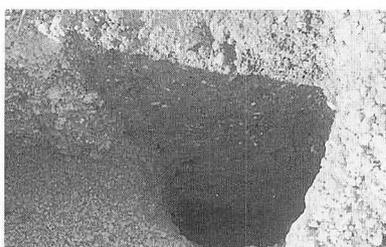
203. RLSP-185 (S E→N W)



204. RLSP-186 (N W→S E)



205. RLSP-189 (S→N)



206. RLSP-190 (S→N)



207. RLSP-193 (S→N)



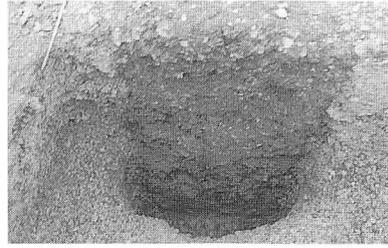
208. RLSP-196 (S W→N E)



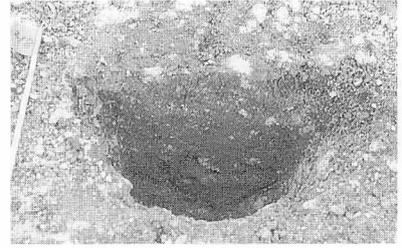
209. RLSP-302・204 (左) (N→S)



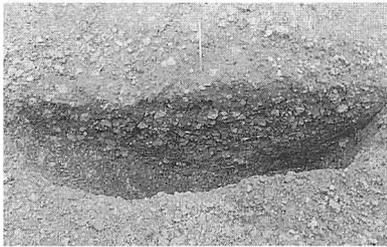
210. RLSP-207 (S→N)



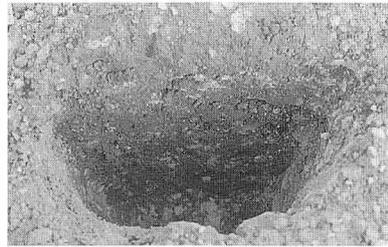
211. RLSP-213 (S→N)



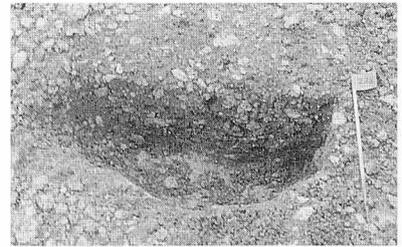
212. RLSP-218 (S→N)



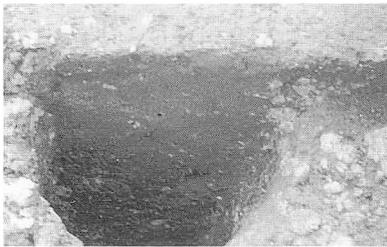
213. RLSP-223 (左)・225・227 (S→N)



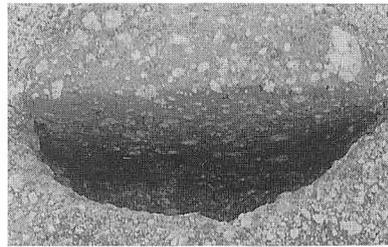
214. RLSP-224 (S→N)



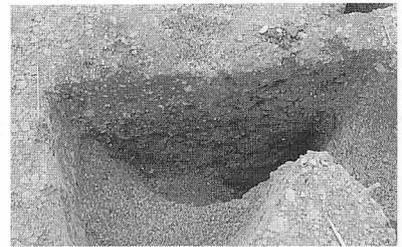
215. RLSP-228 (S→N)



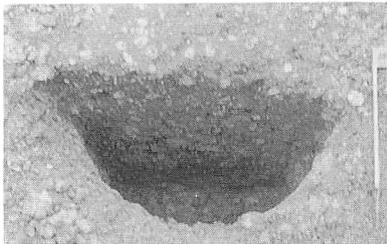
216. RLSP-229 (N→S)



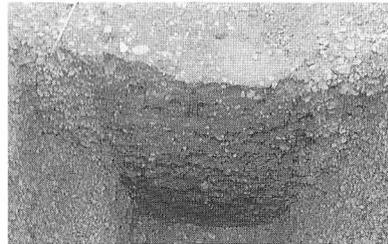
217. RLSP-230・231(左) (S→N)



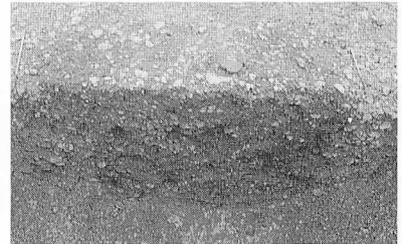
218. RLSP-235(左)・237(N→S)



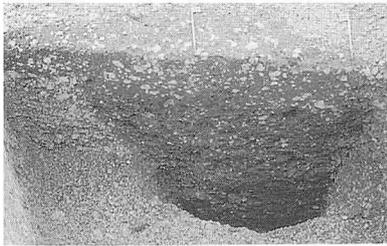
219. RLSP-245 (S E→N W)



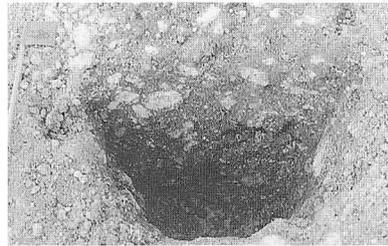
220. RLSP-247 (N→S)



221. RLSP-248(右)・249(S→N)



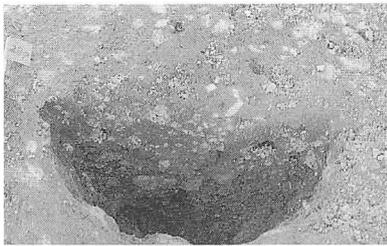
222. RLSP-264 (右)・265・266 (S→N)



223. RLSP-280 (S→N)



224. RLSP-283 (S W→N E)



225. RLSP-287 (S W→N E)

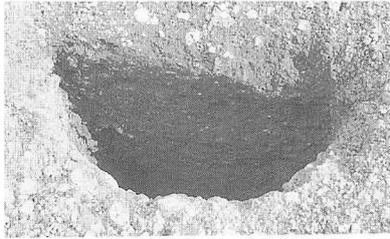


226. RLSP-303 (S→N)

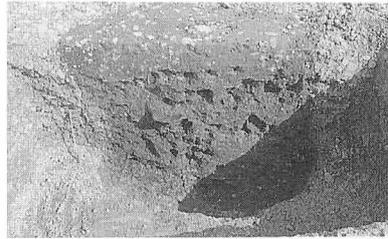


227. RLSP-305 (W→E)

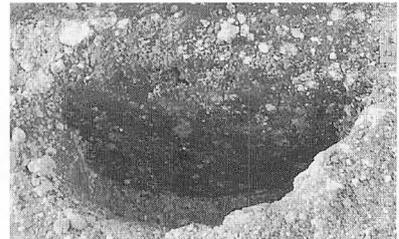
図版26 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(7)



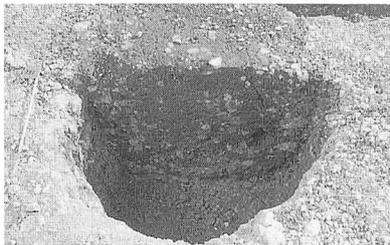
228. RLSP-314 (W→E)



229. RLSP-315 (S W→N E)



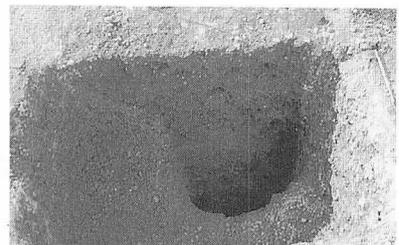
230. RLSP-321 (S E→N W)



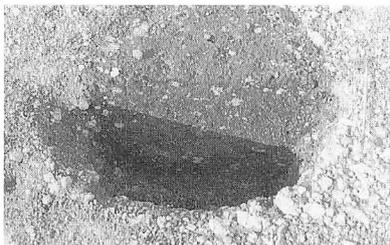
231. RLSP-331 (N→S)



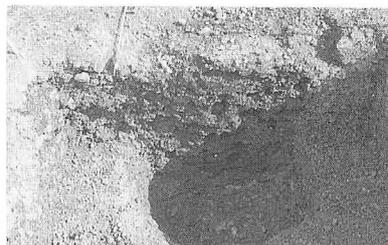
232. RLSP-332(左)・335(S→N)



233. RLSP-333 (E→W)



234. RLSP-337 (S→N)



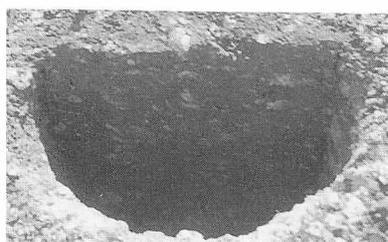
235. RLSP-339 (W→E)



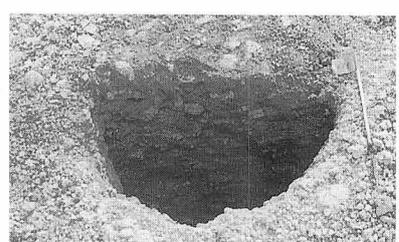
236. RLSP-342 (N W→S E)



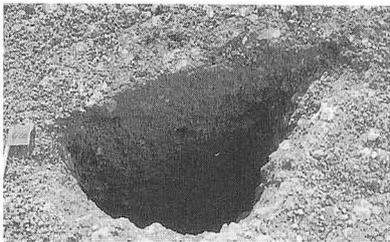
237. RLSP-357 (S→N)



238. RLSP-392 (N E→S W)



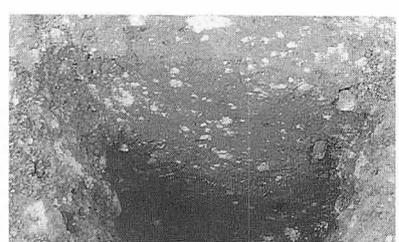
239. RLSP-393 (N E→S W)



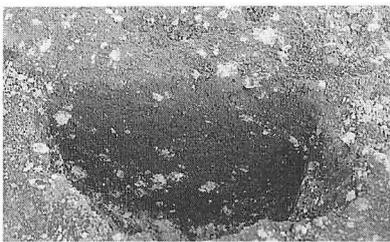
240. RLSP-400 (N W→S E)



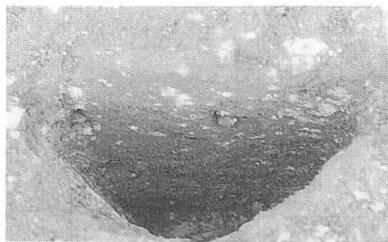
241. RLSP-412 (S→N)



242. RLSP-421 (S→N)



243. RLSP-422 (S W→N E)



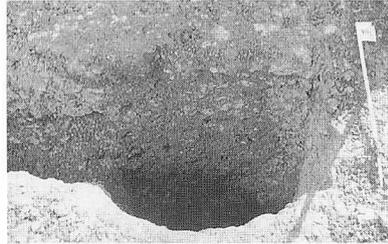
244. RLSP-430 (S E→N W)



245. RLSP-431 (S E→N W)



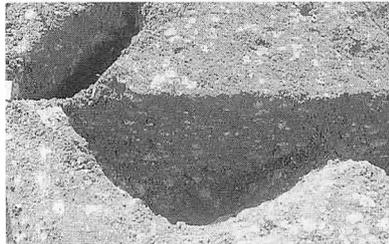
246. RLSP-439 (S→N)



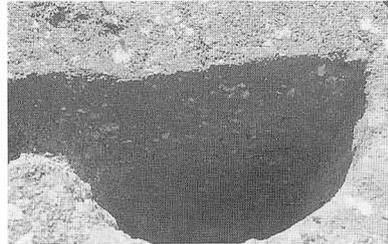
247. RLSP-446 (W→E)



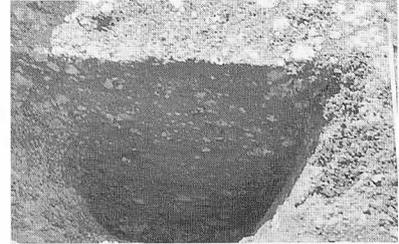
248. RLSP-447 (W→E)



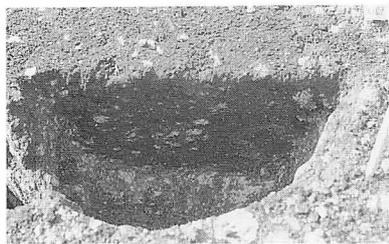
249. RLSP-448 (NW→SE)



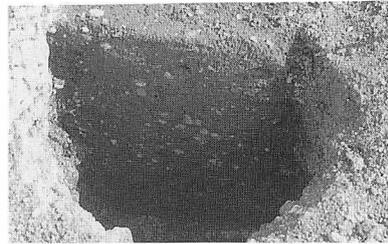
250. RLSP-450 (NW→SE)



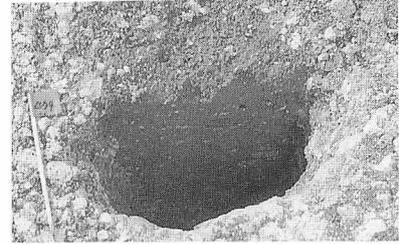
251. RLSP-455 (N→S)



252. RLSP-461 (E→W)



253. RLSP-473 (W→E)



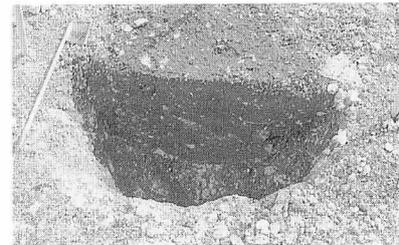
254. RLSP-474 (N→S)



255. RLSP-478 (E→W)



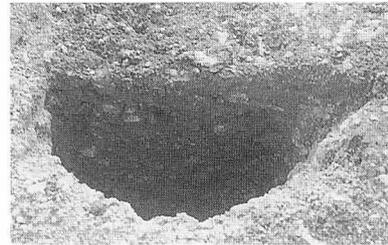
256. RLSP-481 (S→N)



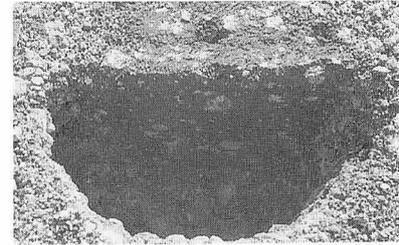
257. RLSP-484 (W→E)



258. RLSP-487 (SE→NW)



259. RLSP-488 (NW→SE)



260. RLSP-495 (NW→SE)



261. RLSP-499 (S→N)

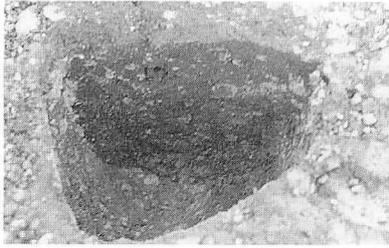


262. RLSP-500(左)・501(N→S)

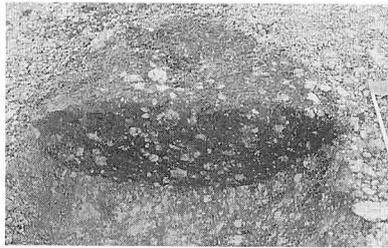


263. RLSP-502 (N→S)

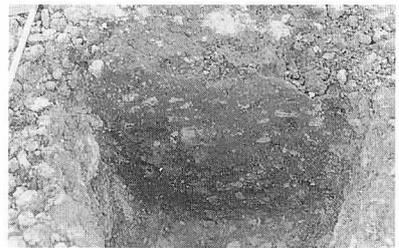
図版28 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(9)



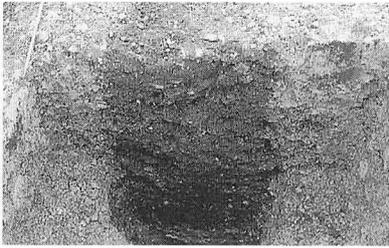
264. RLSP-510 (S→N)



265. RLSP-511 (S→N)



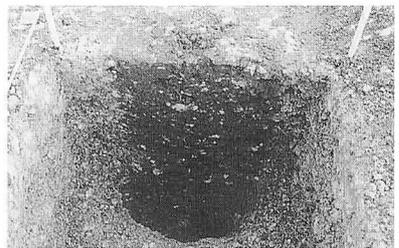
266. RLSP-514 (S→N)



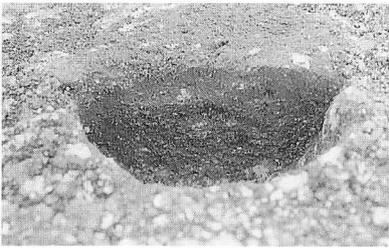
267. RLSP-516 (S→N)



268. RLSP-527 (S W→N E)



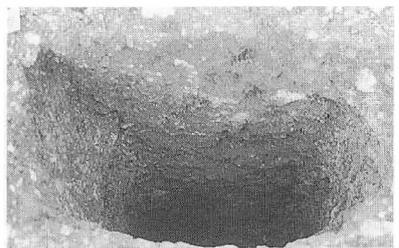
269. RLSP-535 (S→N)



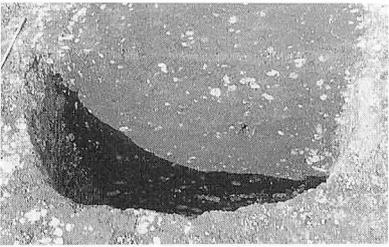
270. RLSP-540 (E→W)



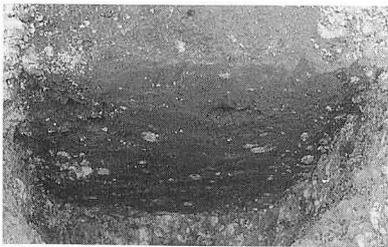
271. RLSP-546 (E→W)



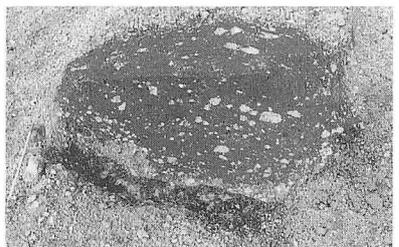
272. RLSP-553 (E→W)



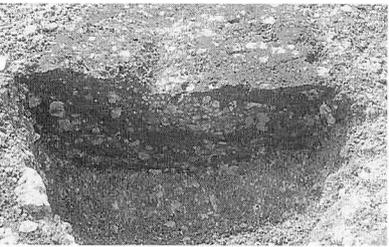
273. RLSP-555 (S→N)



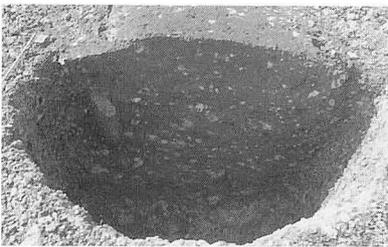
274. RLSP-556 (S→N)



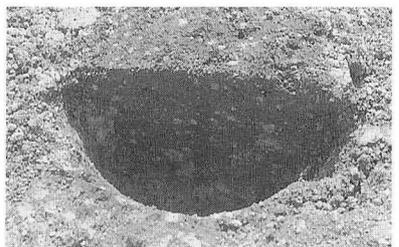
275. RLSP-558 (S→N)



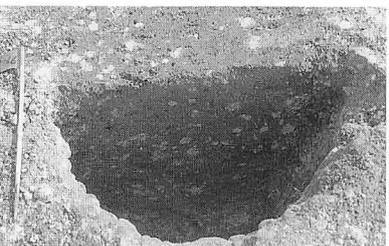
276. RLSP-559 (N→S)



277. RLSP-560 (N→S)



278. RLSP-563 (N→S)



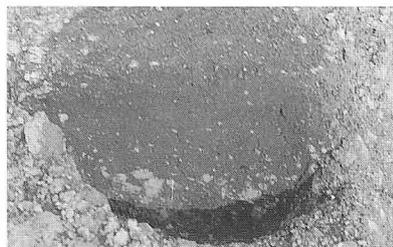
279. RLSP-566 (W→E)



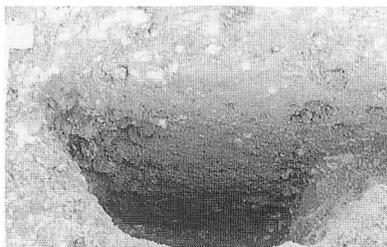
280. RLSP-567 (S W→N E)



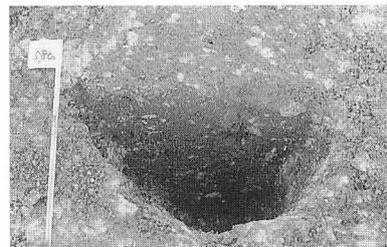
281. RLSP-568 (S E→N W)



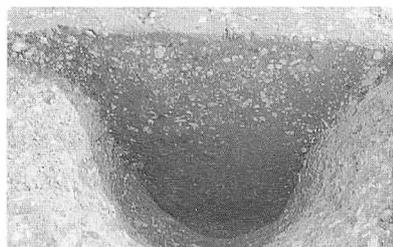
282. RLSP-570 (SW→NE)



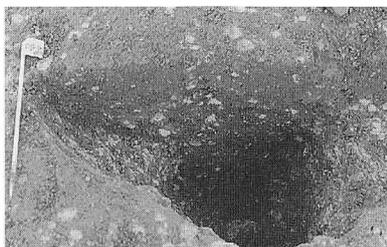
283. RLSP-575 (E→W)



284. RLSP-580 (E→W)



285. RLSP-587 (S→N)



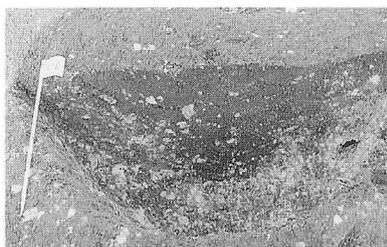
286. RLSP-597 (E→W)



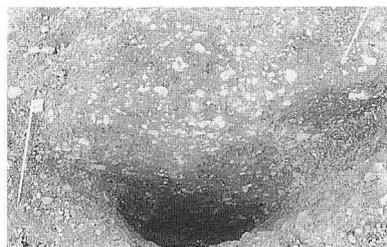
287. RLSP-600 (SE→NW)



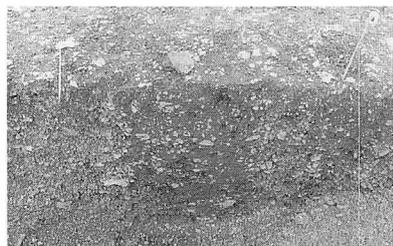
288. RLSP-602 (E→W)



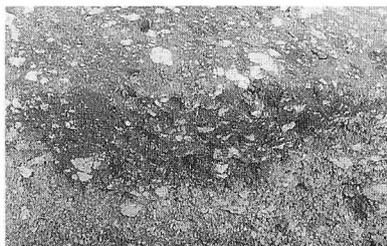
289. RLSP-616 (E→W)



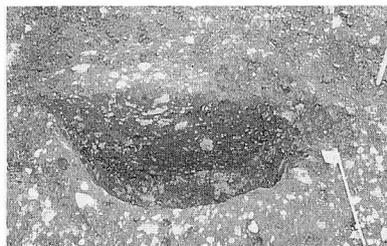
290. RLSP-627 (S→N)



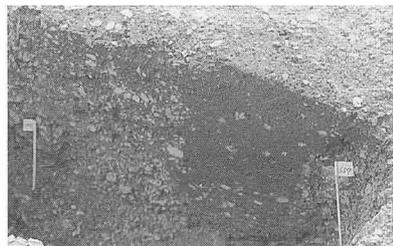
291. RLSP-631 (E→W)



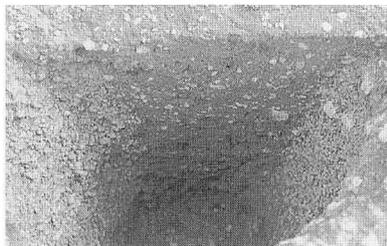
292. RLSP-639 (W→E)



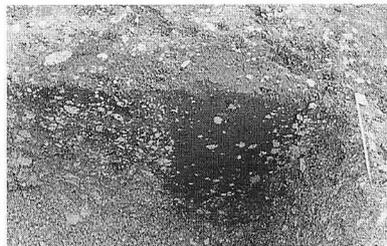
293. RLSP-644 (S→N)



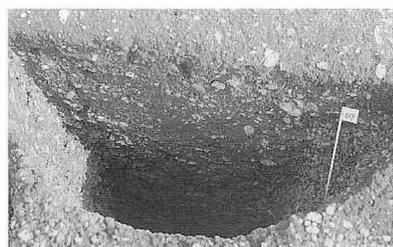
294. RLSP-649・657(右) (N→S)



295. RLSP-656 (S→N)



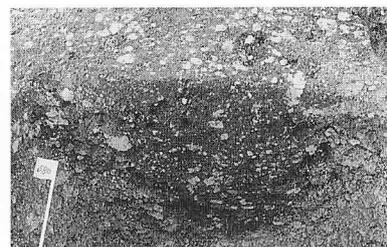
296. RLSP-664 (NW→SE)



297. RLSP-669 (N→S)



298. RLSP-670 (W→E)



299. RLSP-680 (S→N)

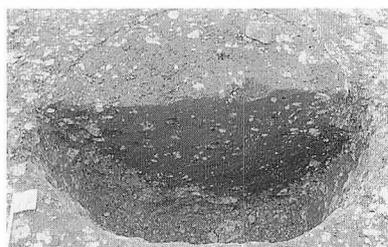
図版30 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(11)



300. RLSP-689 (W→E)



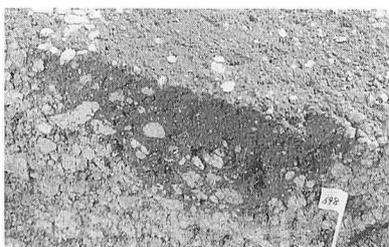
301. RLSP-693 (N→S)



302. RLSP-694 (E→W)



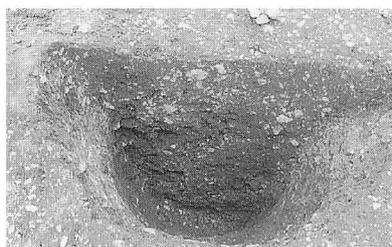
303. RLSP-697 (W→E)



304. RLSP-698 (NW→SE)



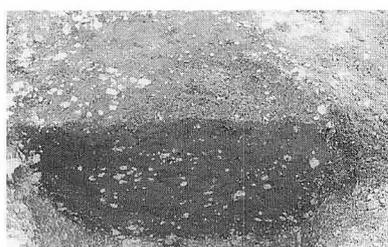
305. RLSP-720 (N→S)



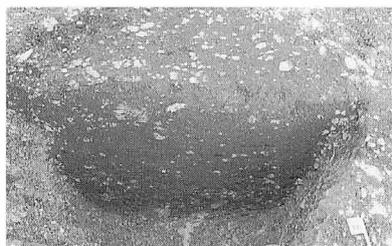
306. RLSP-721 (E→W)



307. RLSP-729 (NW→SE)



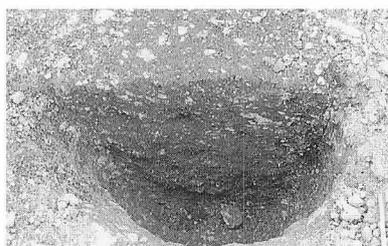
308. RLSP-730 (NW→SE)



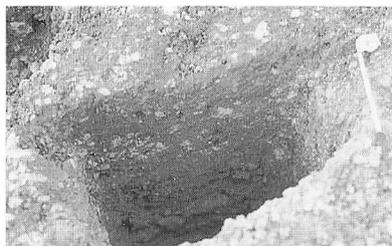
309. RLSP-733 (W→E)



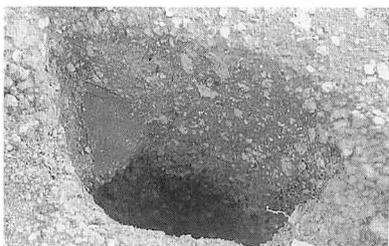
310. RLSP-736 (E→W)



311. RLSP-781 (E→W)



312. RLSP-784 (E→W)



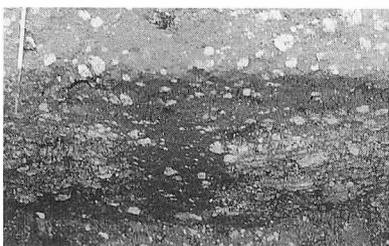
313. RLSP-797 (W→E)



314. RPSL-805 (SW→NE)



315. RLSP-812 (NE→SW)



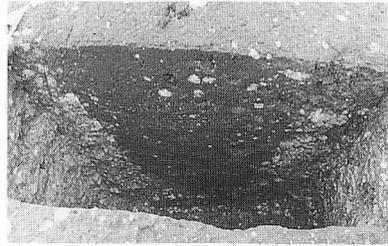
316. RLSP-814 (E→W)



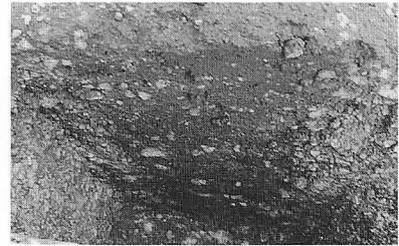
317. RLSP-815 (E→W)



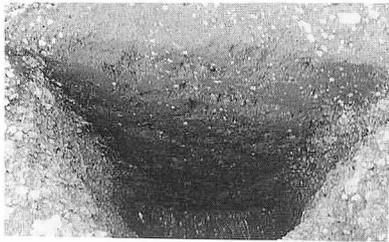
318. RLSP-821 (S→N)



319. RLSP-822 (SE→NW)



320. RLSP-823 (SW→NE)



321. RLSP-825 (S→N)



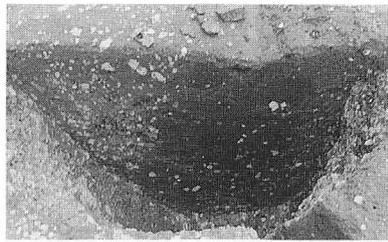
322. RLSP-826 (S→N)



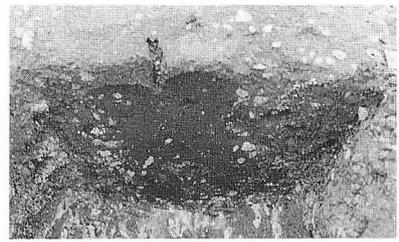
323. RLSP-827(左)・828(SE→NW)



324. RLSP-831 (E→W)



325. RLSP-834 (S→N)



326. RLSP-836 (S→N)



327. RLSP-837 (S→N)



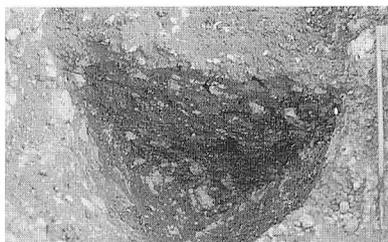
328. RLSP-845 (NE→SW)



329. RLSP-862 (S→N)



330. RLSP-864 (SW→NE)



331. RLSP-865 (SW→NE)



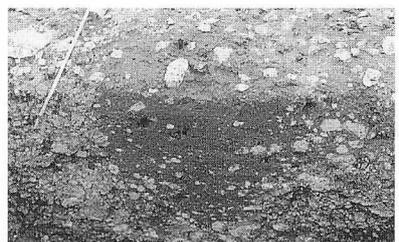
332. RLSP-867 (E→W)



333. RLSP-881 (S→N)

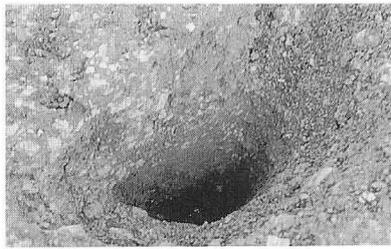


334. RLSP-884 (E→W)



335. RLSP-886 (E→W)

図版32 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(13)



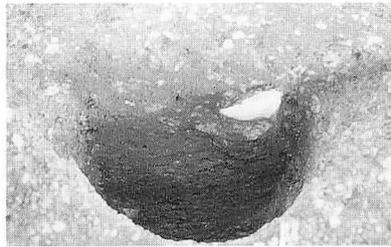
336. RLSP-916 (S→N)



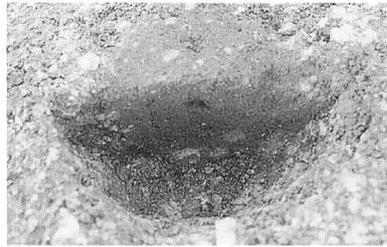
337. RLSP-932 (W→E)



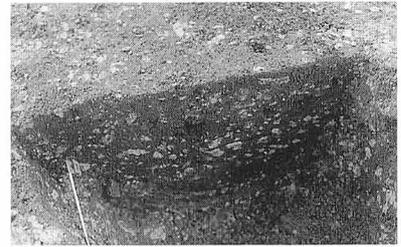
338. RLSP-935 (W→E)



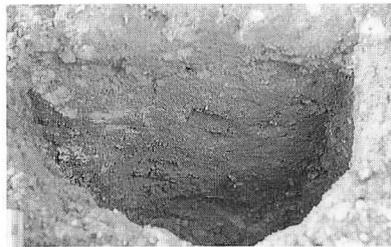
339. RLSP-943 (W→E)



340. RLSP-945 (S→N)



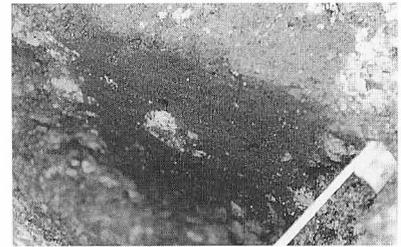
341. RLSP-957 (E→W)



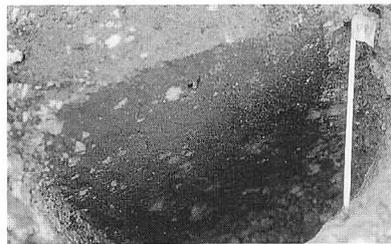
342. RLSP-960 (E→W)



343. RLSP-981 (W→E)



344. RLSP-982 (NE→SW)



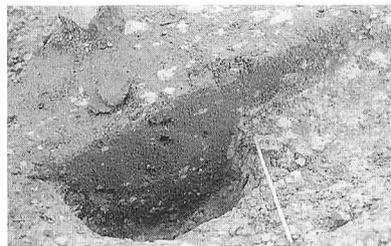
345. RLSP-983 (N→S)



346. RLSP-991 (W→E)



347. RLSP-994 (W→E)



348. RLSP-995 (S→N)



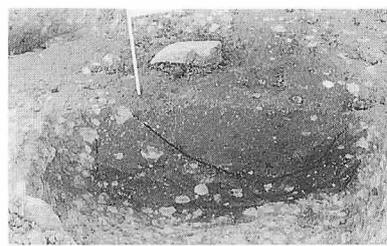
349. RLSP-1002 (S→N)



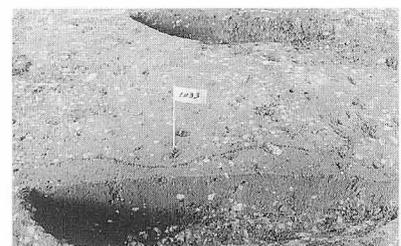
350. RLSP-1006 (E→W)



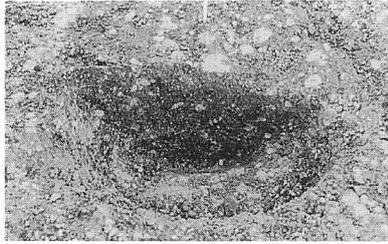
351. RLSP-1019 (S→N)



352. RLSP-1023 (N→S)



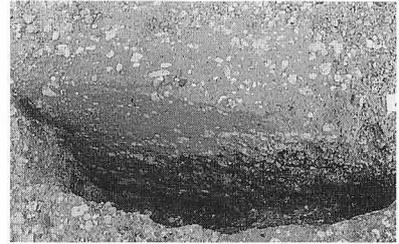
353. RLSP-1033(手前)・1034(S→N)



354. RLSP-1049 (S→N)



355. RLSP-1094 (E→W)



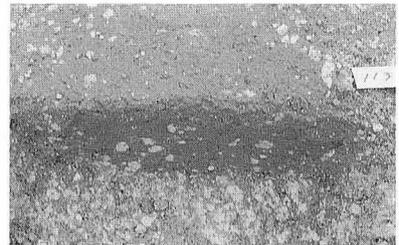
356. RLSP-1101 (S→N)



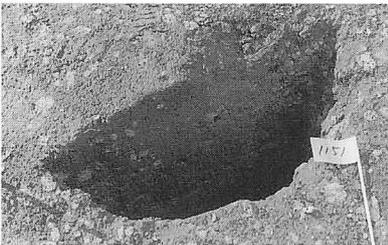
357. RLSP-1105 (S→N)



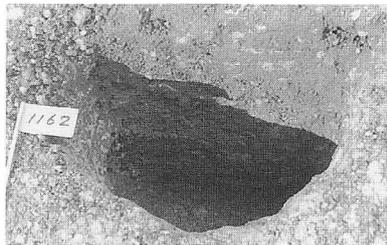
358. RLSP-1125 (N→S)



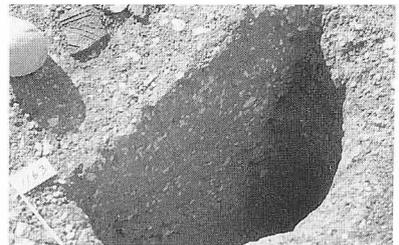
359. RLSP-1131 (N→S)



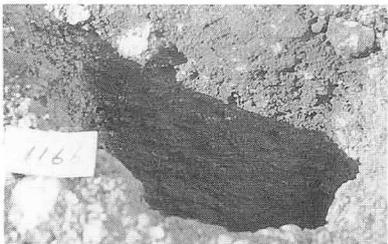
360. RLSP-1151 (E→W)



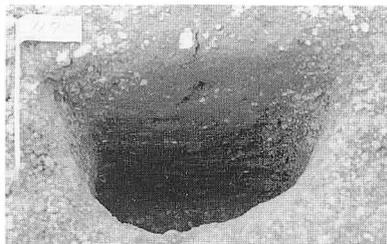
361. RLSP-1162 (E→W)



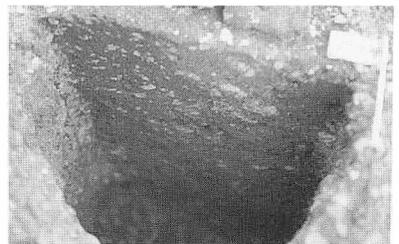
362. RLSP-1163 (N→S)



363. RLSP-1166 (E→W)



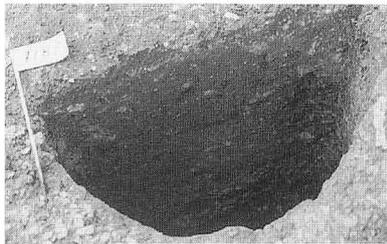
364. RLSP-1170 (N→S)



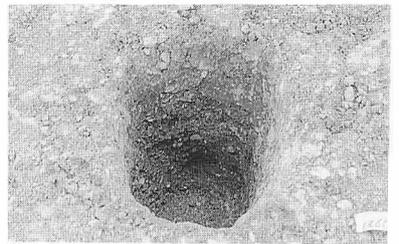
365. RLSP-1174 (E→W)



366. RLSP-1182 (E→W)



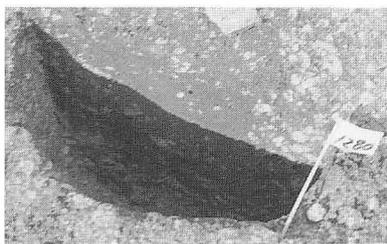
367. RLSP-1189 (E→W)



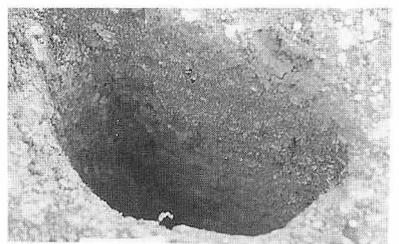
368. RLSP-1265 (E→W)



369. RLSP-1276 (E→W)

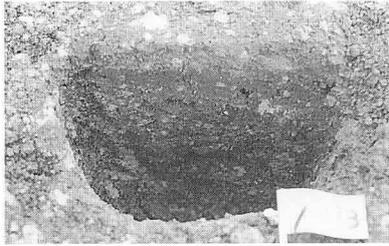


370. RLSP-1280 (S E→NW)

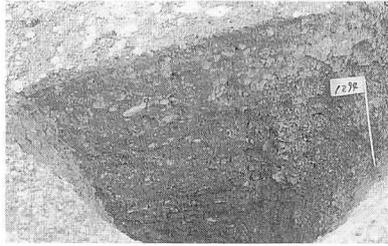


371. RLSP-1289 (W→E)

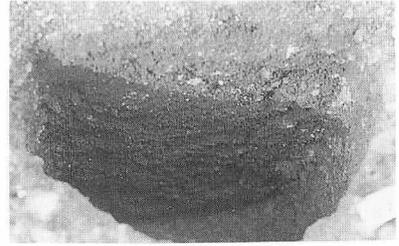
図版34 柱穴状ピット (RLSP) のセクション(15)



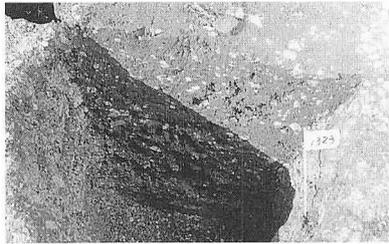
372. RLSP-1293 (W→E)



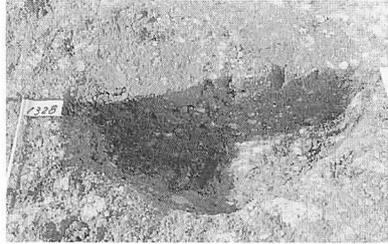
373. RLSP-1294 (N E→S W)



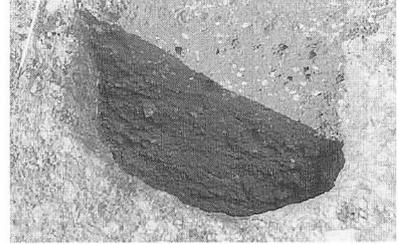
374. RLSP-1295 (S E→N W)



375. RLSP-1323 (S E→N W)



376. RLSP-1327 (右)・1328 (E→W)



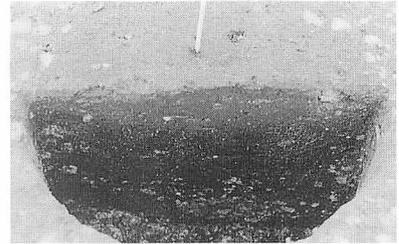
377. RLSP-1340 (S E→N W)



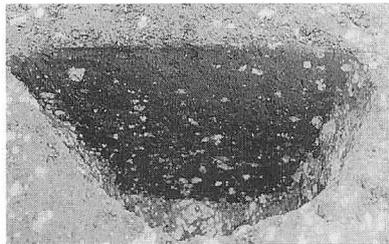
378. RLSP-1350 (右)・1356 (S→N)



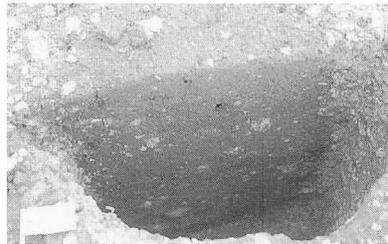
379. RLSP-1353 (S W→N E)



380. RLSP-1368 (E→W)



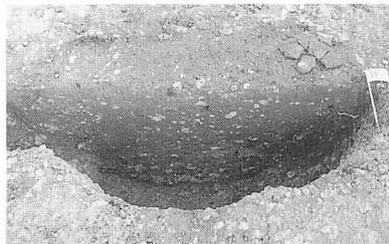
381. RLSP-1398 (S→N)



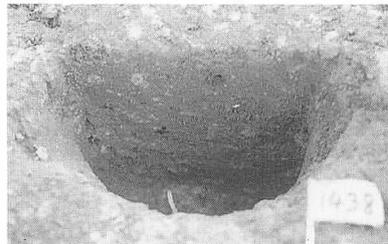
382. RLSP-1401 (N→S)



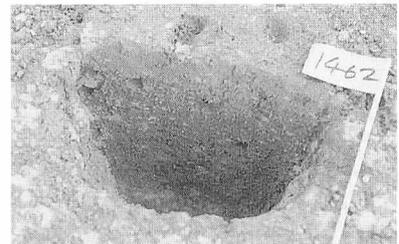
383. RLSP-1435 (W→E)



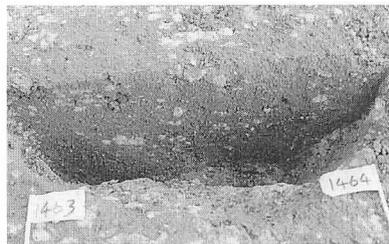
384. RLSP-1436 (W→E)



385. RLSP-1438 (N→S)



386. RLSP-1462 (W→E)



387. RLSP-1463・1464 (右) (W→E)



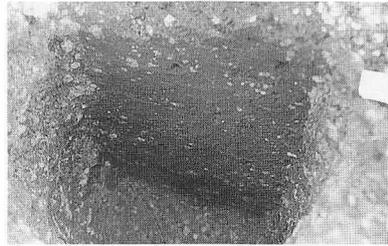
388. RLSP-1489・1490 (右) (E→W)



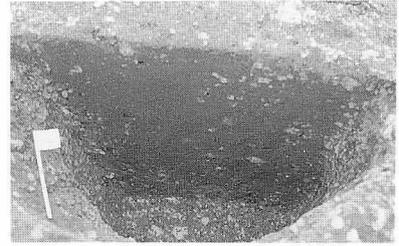
389. RLSP-1498 (W→E)



390. RLSP-1529 (W→E)



391. RLSP-1550 (W→E)



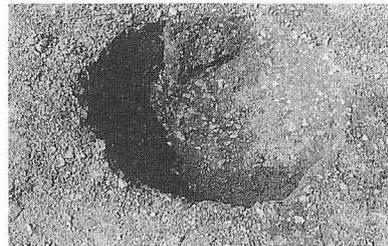
392. RLSP-1602 (NE→SW)



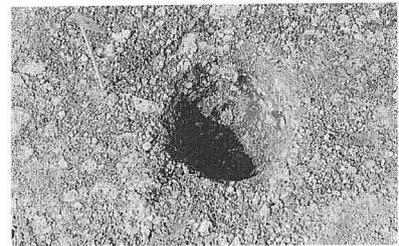
393. RLSP-1759 (S→N)



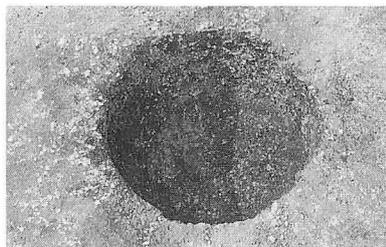
394. RLSP-1 (左上)・6 (S→N)



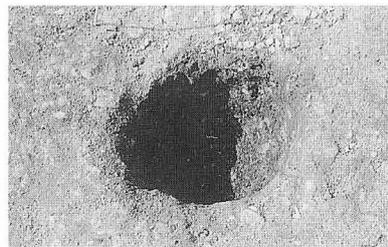
395. RLSP-2 (S→N)



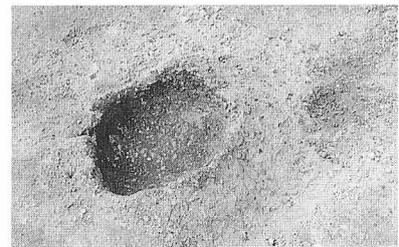
396. RLSP-3 (S→N)



397. RLSP-4 (S→N)



398. RLSP-5 (S→N)



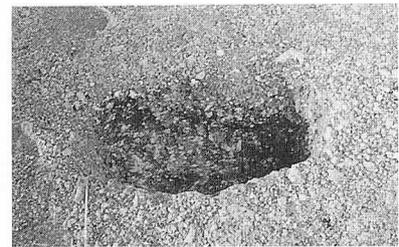
399. RLSP-7 (中)・8 (左)・9 (S→N)



400. RLSP-11・12 (左)・32 (NE→SW)



401. RLSP-13・14の検出 (NE→SW)



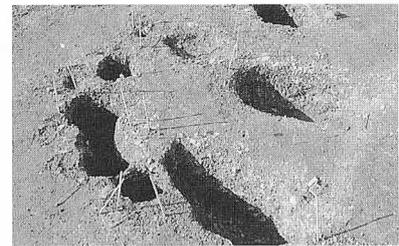
402. RLSP-13 (S→N)



403. RLSP-15(左上)・16(SW→NE)

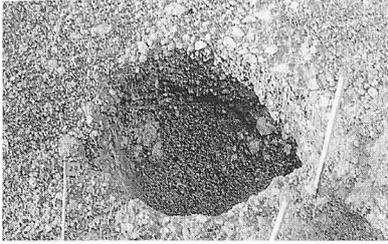


404. RLSP-17周辺の検出(SW→NE)



405. RLSP-17・18周辺(SE→NW)

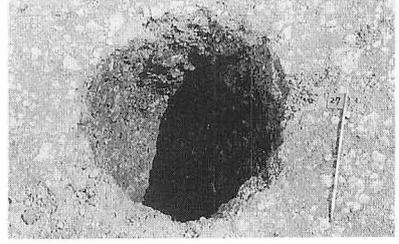
図版36 柱穴状ピット (RLSP) の完掘(2)



406. RLSP-24 (S → N)



407. RLSP-25 (S W → N E)



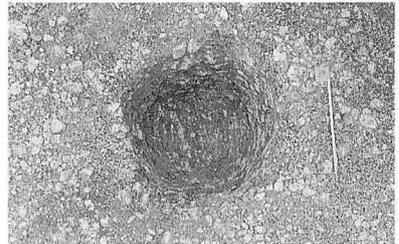
408. RLSP-27 (S W → N E)



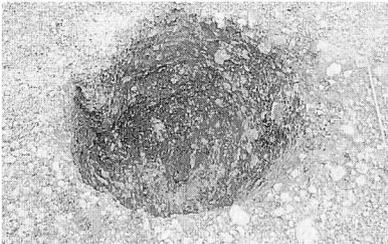
409. RLSP-29 (左)・151 (S W → N E)



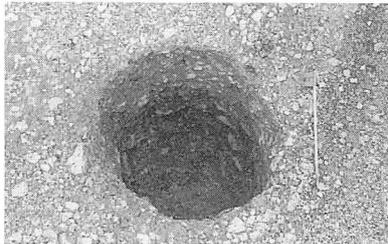
410. RLSP-33 (S E → N W)



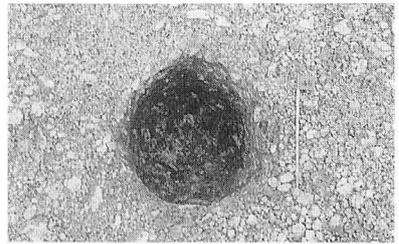
411. RLSP-39 (S → N)



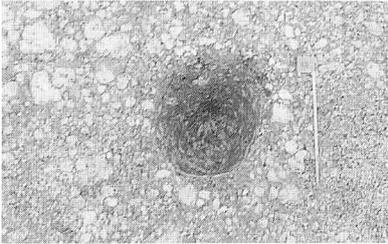
412. RLSP-42 (W → E)



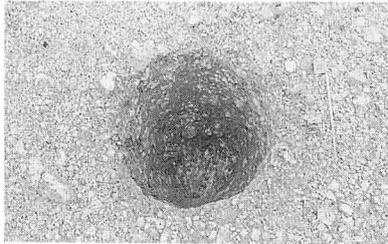
413. RLSP-45 (S → N)



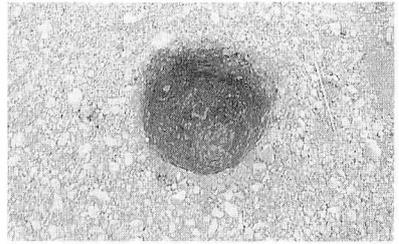
414. RLSP-46 (S → N)



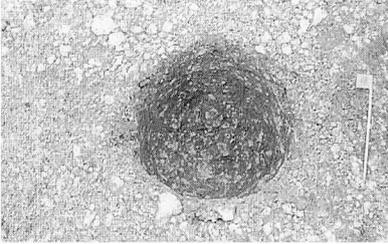
415. RLSP-48 (S → N)



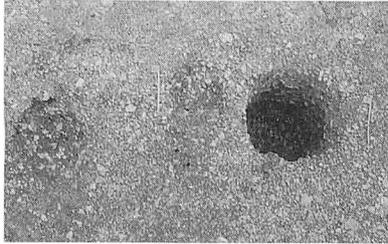
416. RLSP-55 (S → N)



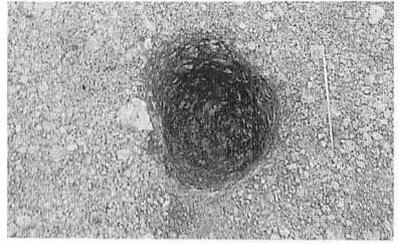
417. RLSP-56 (S → N)



418. RLSP-58 (S → N)



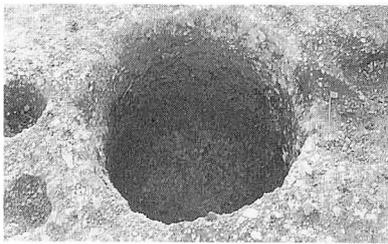
419. RLSP-61 (右)・62 (中)・63 (S W → N E)



420. RLSP-69 (S → N)



421. RLSP-72 (E → W)



422. RLSP-83 (N E → S W)



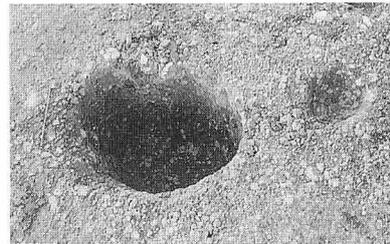
423. RLSP-91 (S → N)



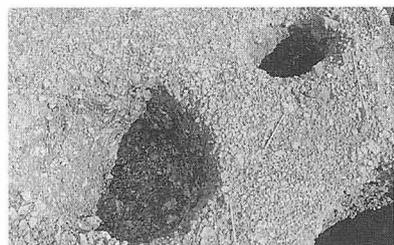
424. RLSP-93 (右)・94 (W→E)



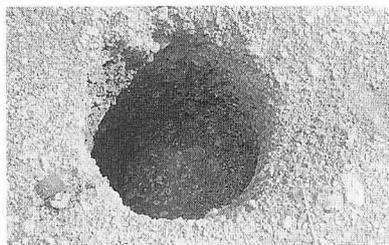
425. RLSP-95(左)・96・140(中) (W→E)



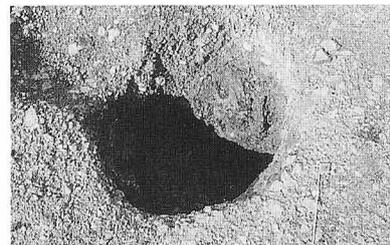
426. RLSP-101(左)・104(S E→N W)



427. RLSP-113・114 (左下) (S W→N E)



428. RLSP-115 (W→E)



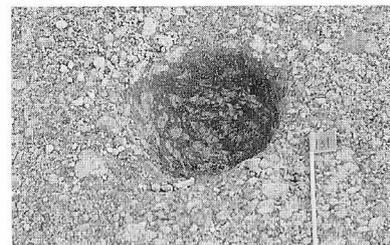
429. RLSP-118 (W→E)



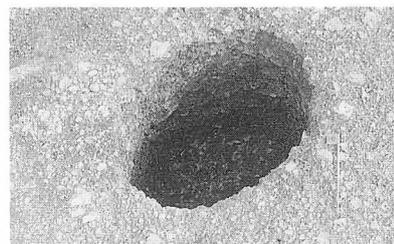
430. RLSP-120 (左上)・121 (E→W)



431. RLSP-126周辺 (S W→N E)



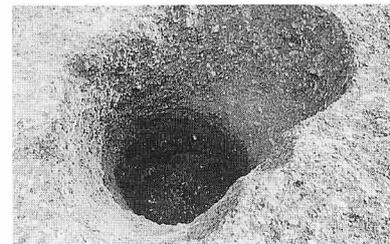
432. RLSP-131 (W→E)



433. RLSP-133 (W→E)



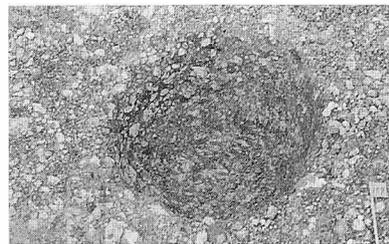
434. RLSP-135 (W→E)



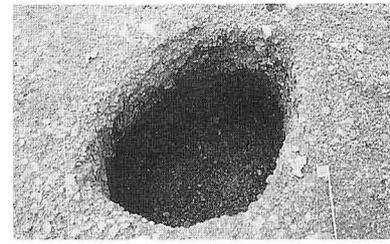
435. RLSP-145 (N W→S E)



436. RLSP-158 (E→W)



437. RLSP-159 (S→N)



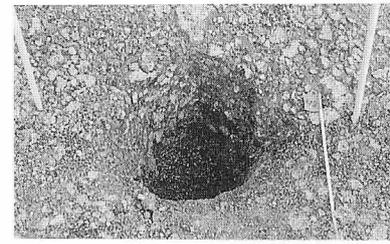
438. RLSP-160 (E→W)



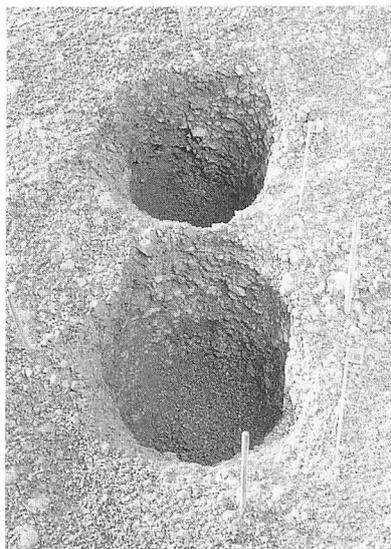
439. RLSP-176 (E→W)



440. RLSP-180 (S E→N W)



442. RLSP-218 (S→N)



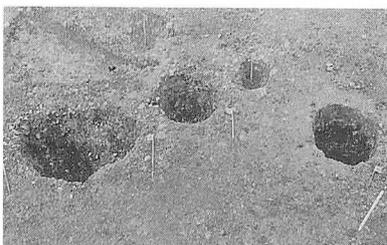
441. RLSP-184・185(左) (S E → NW)



443. RLSP-281 (W → E)



444. RLSP-283 (W → E)



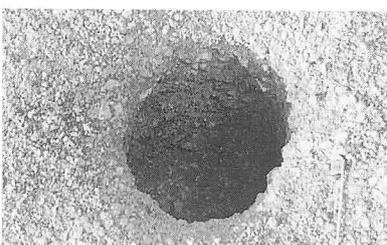
445. RLSP-289周辺 (S → N)



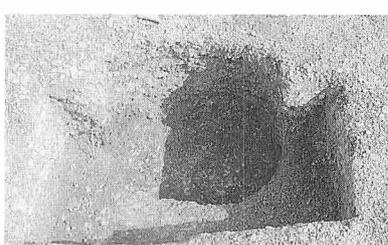
446. RLSP-303 (S W → N E)



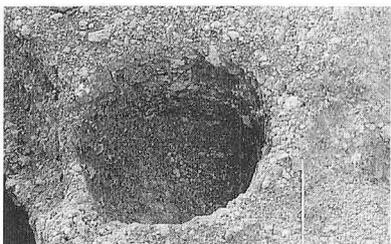
447. RLSP-305 (W → E)



448. RLSP-314 (S → N)



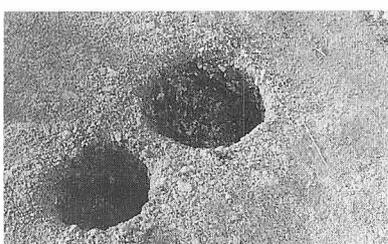
449. RLSP-315 (W → E)



450. RLSP-331 (E → W)



451. RLSP-333 (S E → NW)



452. RLSP-337(右上)・338 (S → N)



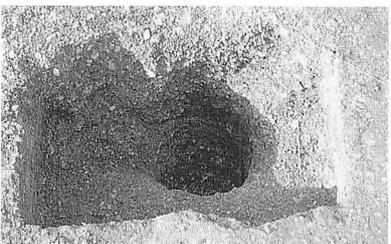
453. RLSP-339 (S → N)



454. RLSP-421 (S → N)



455. RLSP-439 (S → N)



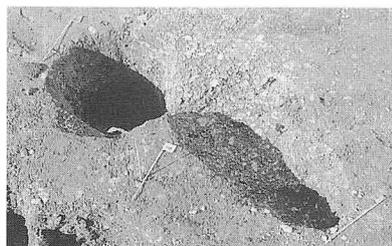
456. RLSP-440 (S E → NW)



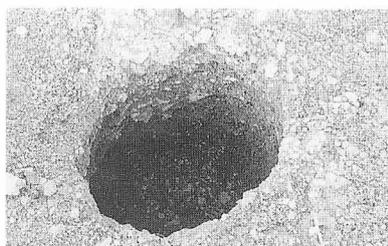
457. RLSP-443 (E → W)



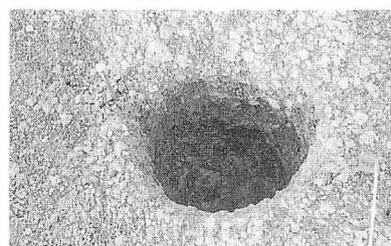
458. RLSP-446 (E → W)



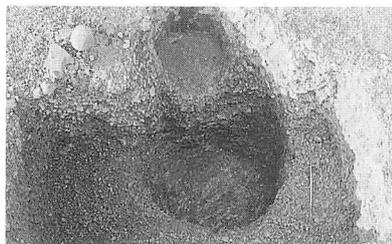
459. RLSP-448周辺 (S W → N E)



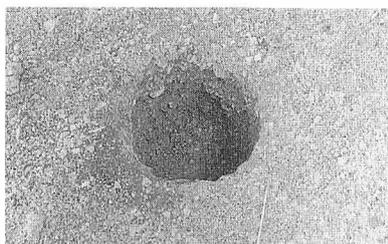
460. RLSP-473 (S → N)



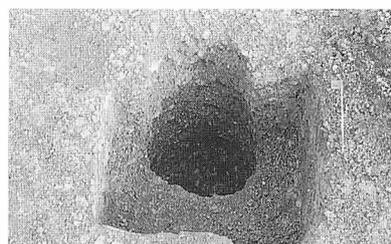
461. RLSP-474 (S → N)



462. RLSP-481 (S → N)



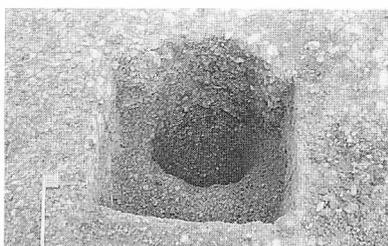
463. RLSP-488 (S → N)



464. RLSP-516 (S → N)



465. RLSP-527 (S → N)



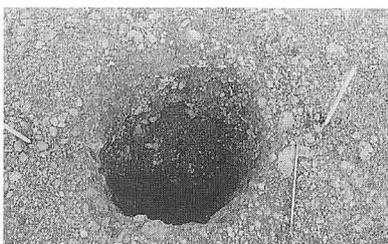
466. RLSP-535 (S → N)



467. RLSP-546 (S → N)



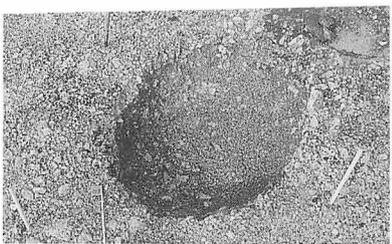
468. RLSP-555 (S → N)



469. RLSP-556 (S → N)



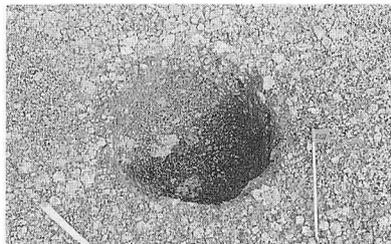
470. RLSP-558 (S E → N W)



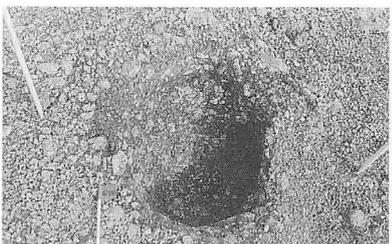
471. RLSP-559 (S E → N W)



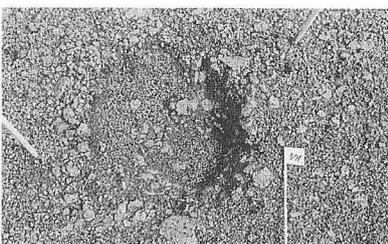
472. RLSP-560 (W → E)



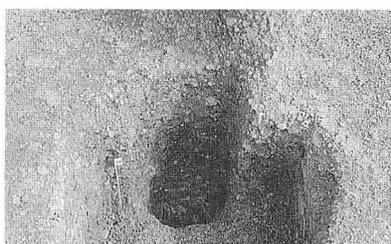
473. RLSP-568 (S → N)



474. RLSP-570 (S → N)

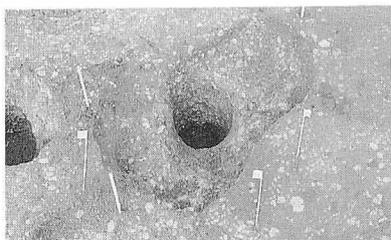


475. RLSP-571 (S → N)



476. RLSP-574 (S W → N E)

図版40 柱穴状ピット (RLSP) の完掘(6)



477. RLSP-602周辺 (S→N)



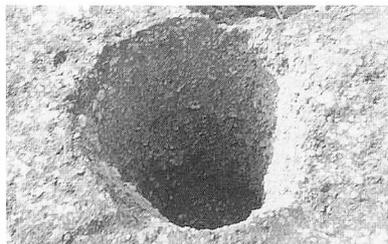
478. RLSP-616 (S→N)



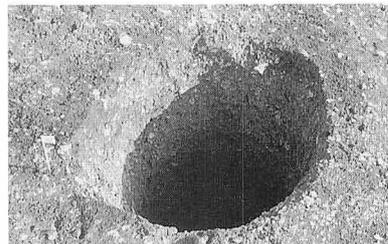
479. RLSP-627 (S→N)



480. RLSP-636 (S E→N W)



481. RLSP-656 (N E→S W)



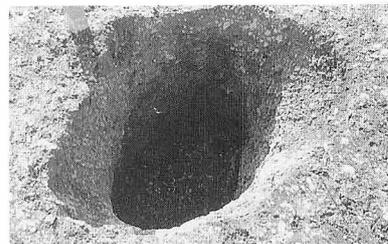
482. RLSP-669 (W→E)



483. RLSP-670 (W→E)



484. RLSP-719 (W→E)



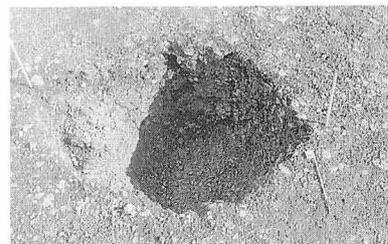
485. RLSP-721 (N E→S W)



486. RLSP-729 (W→E)



487. RLSP-730 (E→W)



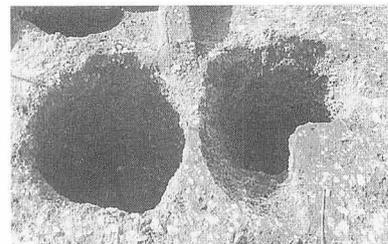
488. RLSP-733 (W→E)



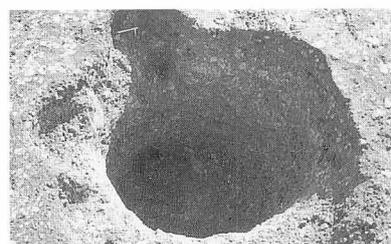
489. RLSP-736 (E→W)



490. RLSP-781 (E→W)



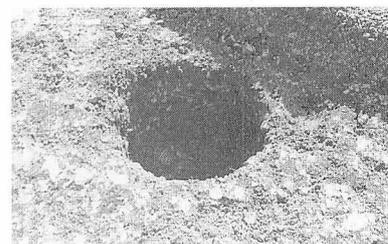
491. RLSP-825(左)・826(N E→S W)



492. RLSP-834 (N W→S E)



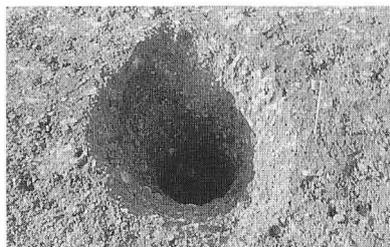
493. RLSP-876 (N→S)



494. RLSP-881 (N W→S E)



495. RLSP-892 (N E → S W)



496. RLSP-916 (E → W)



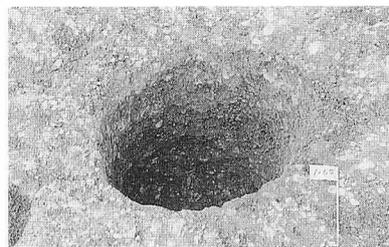
497. RLSP-1003・1005 (S → N)



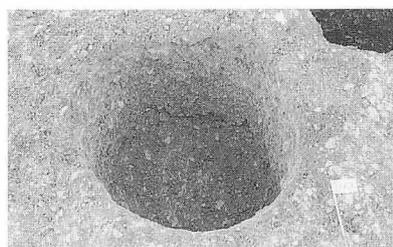
498. RLSP-1150 (S → N)



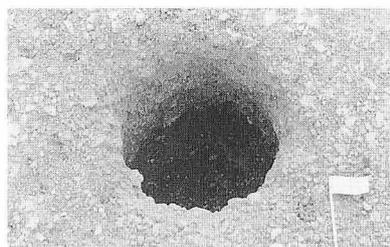
499. RLSP-1151 (S → N)



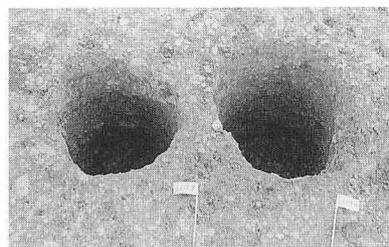
500. RLSP-1162 (E → W)



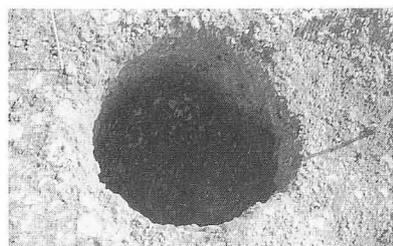
501. RLSP-1163 (E → W)



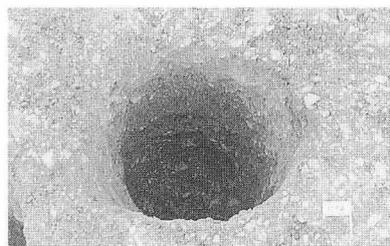
502. RLSP-1165 (N W → S E)



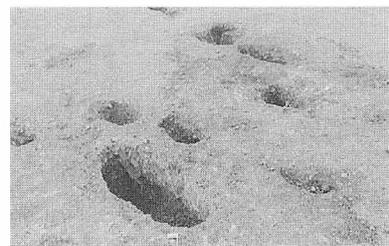
503. RLSP-1173 (左)・1174 (W → E)



504. RLSP-1189 (N W → S E)



505. RLSP-1196 (N E → S W)



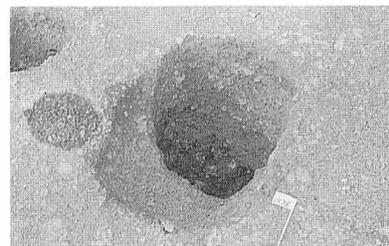
506. RLSP-1261周辺 (S E → N W)



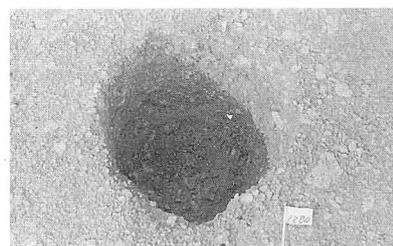
507. RLSP-1261 (S → N)



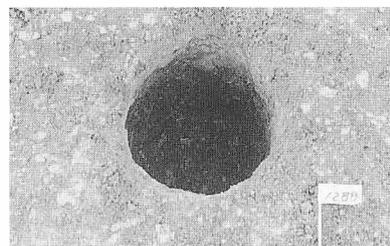
508. RLSP-1273 (S → N)



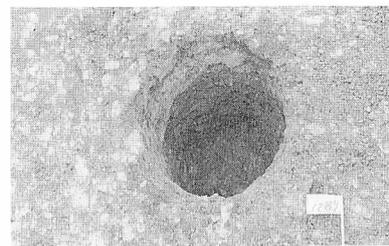
509. RLSP-1276 (S E → N W)



510. RLSP-1280 (E → W)

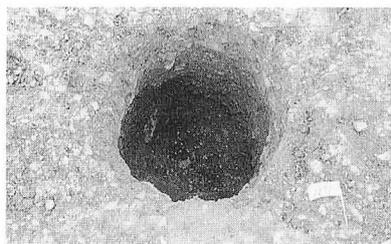


511. RLSP-1288 (N → S)

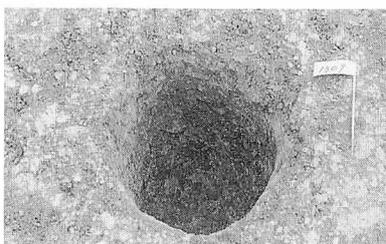


512. RLSP-1289 (N E → S W)

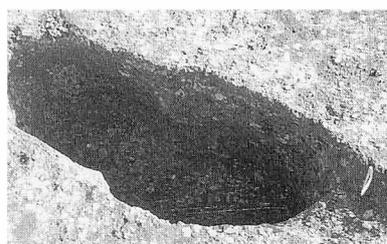
図版42 柱穴状ピット (RLSP) の完掘(8)



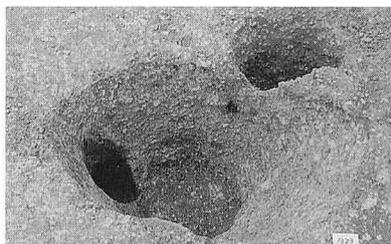
513. RLSP-1295 (E→W)



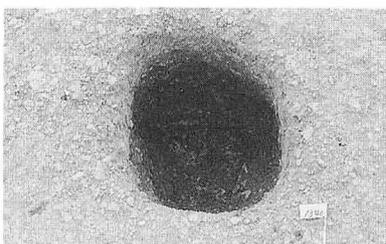
514. RLSP-1309 (N→S)



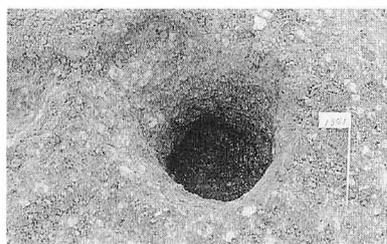
515. RLSP-1316 (NW→SE)



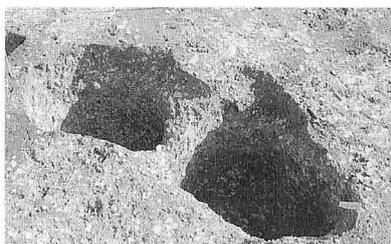
516. RLSP-1323 (E→W)



517. RLSP-1340 (N→S)



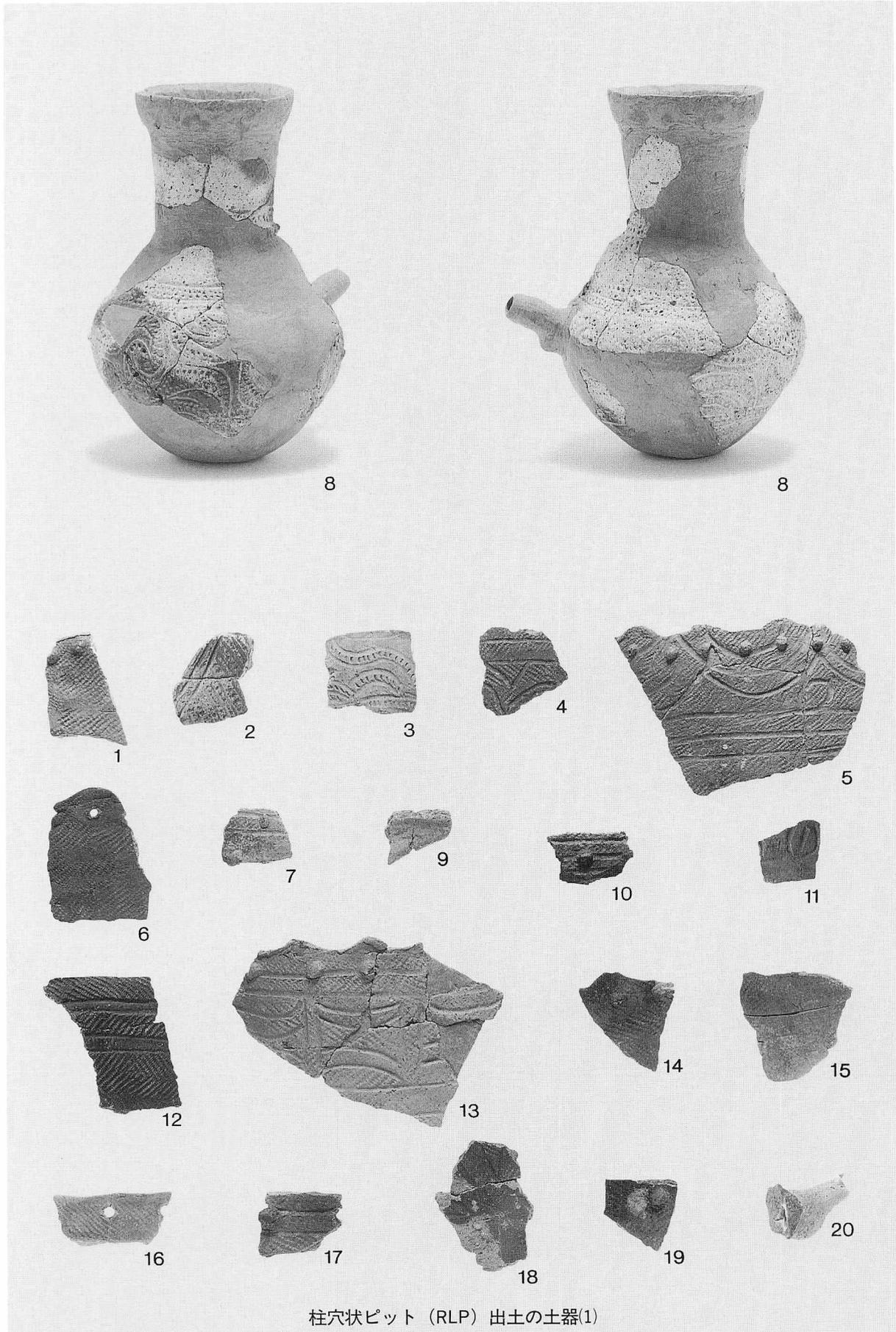
518. RLSP-1341 (N→S)



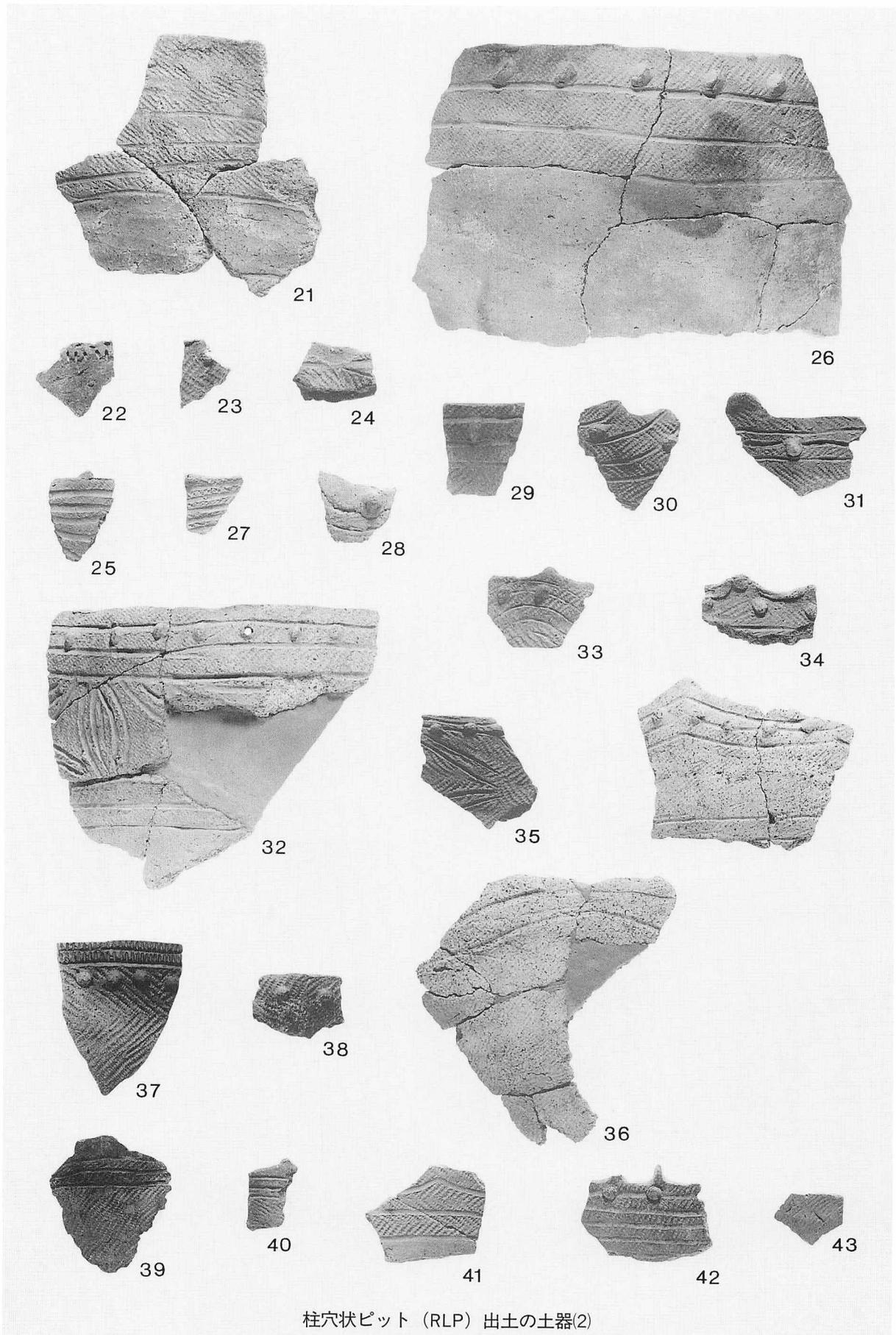
519. RLSP-1349 (左)・1320 (NW→SE)



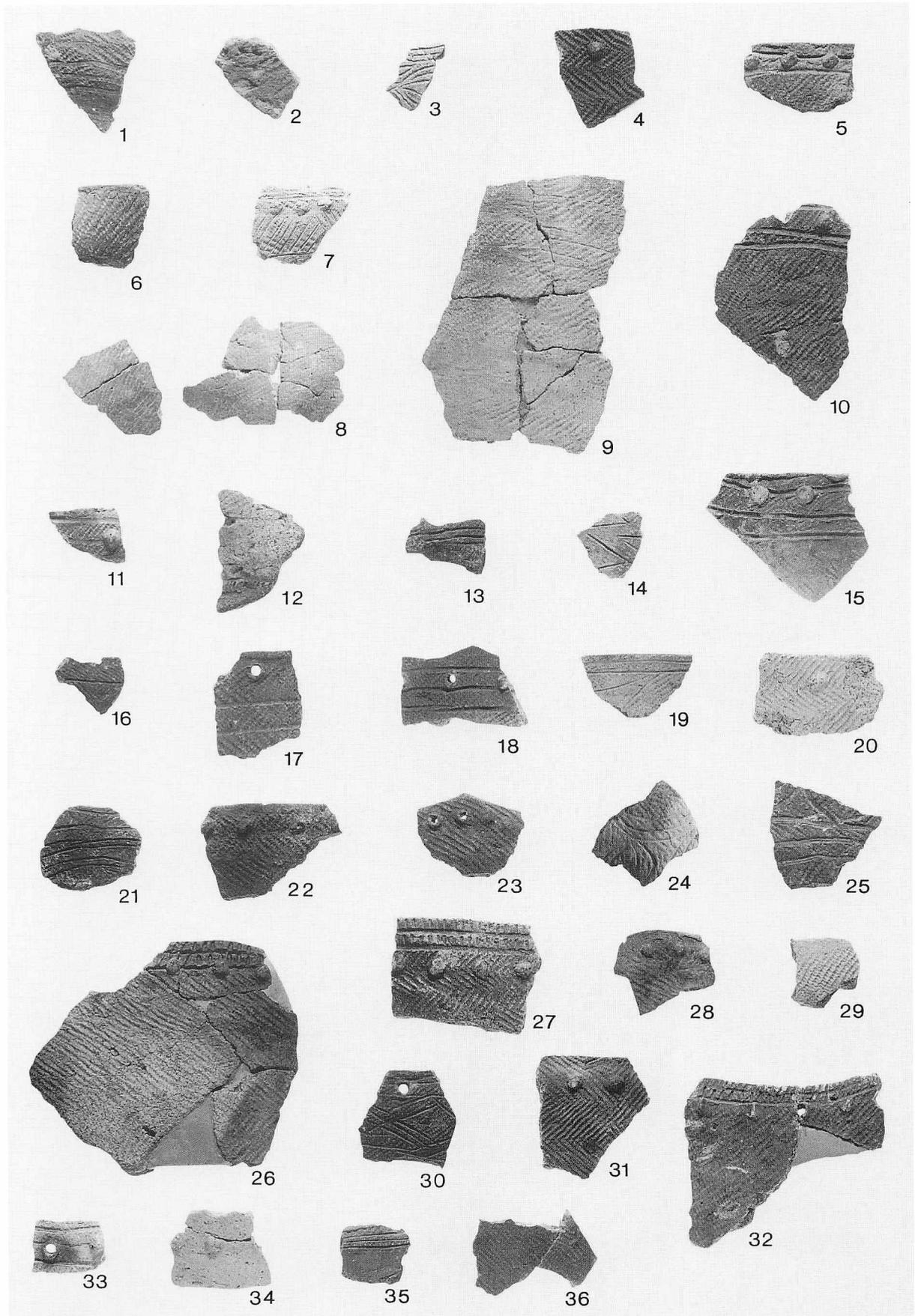
520. RLSP-1395 (S→N)



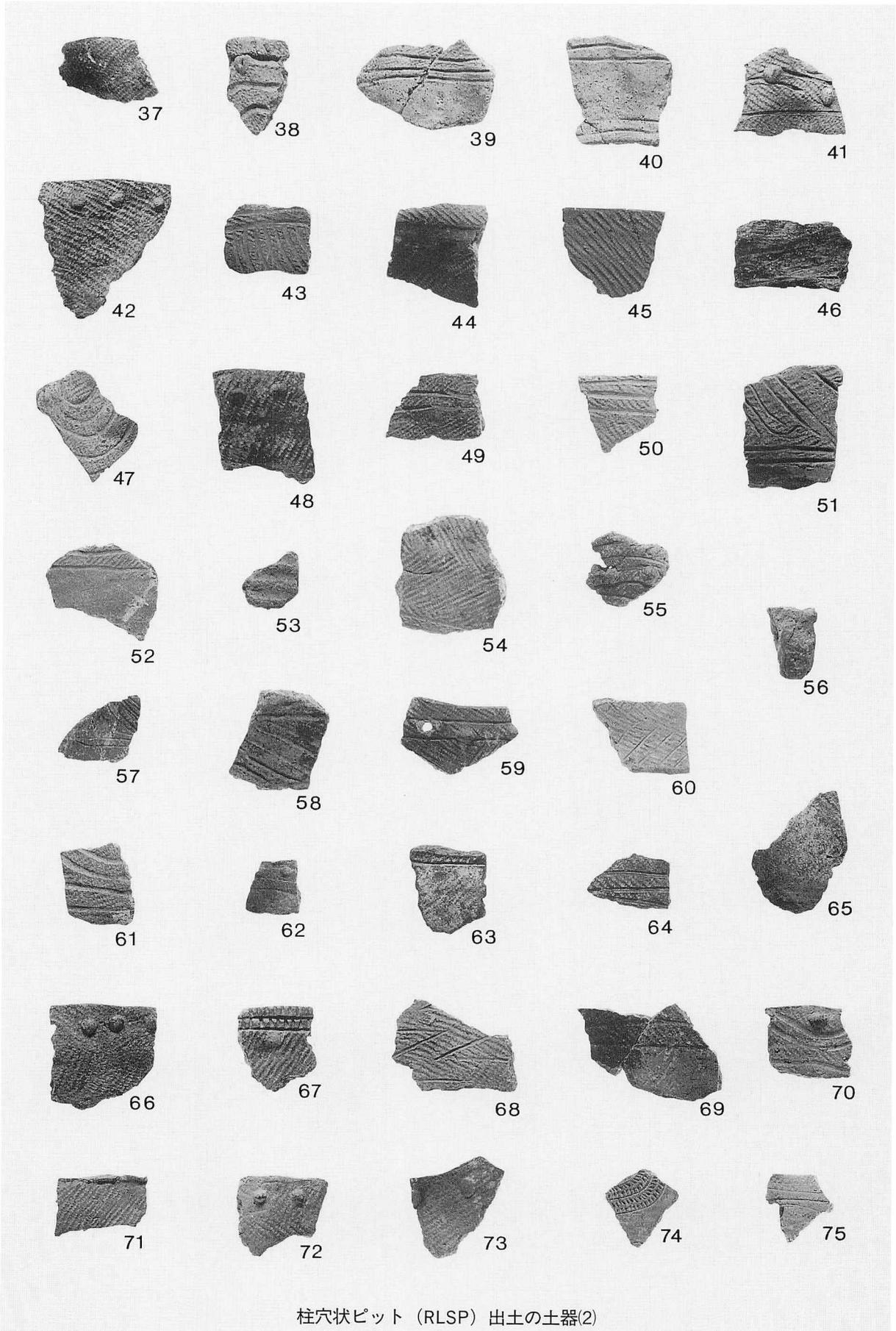
柱穴状ピット (RLP) 出土の土器(1)

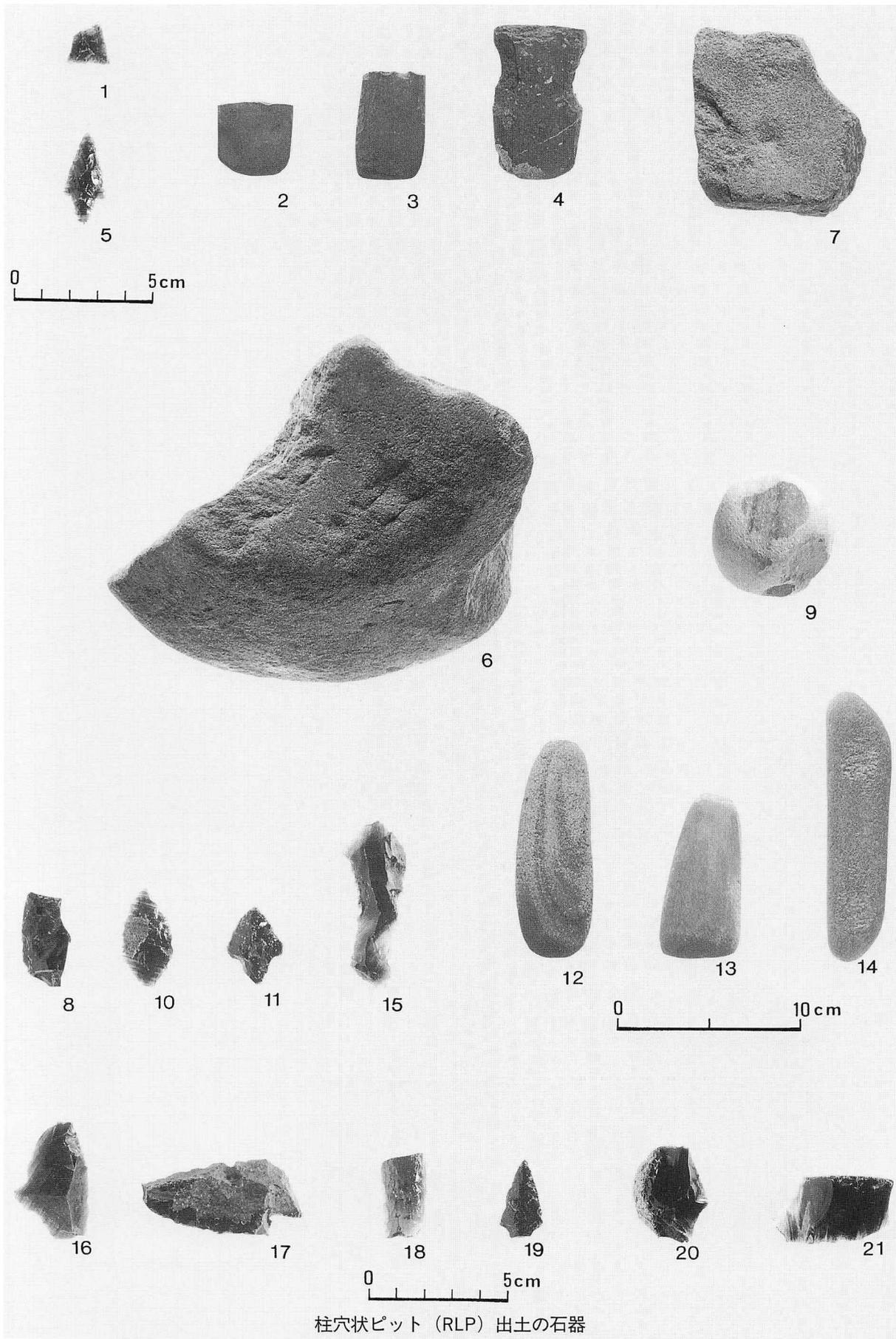


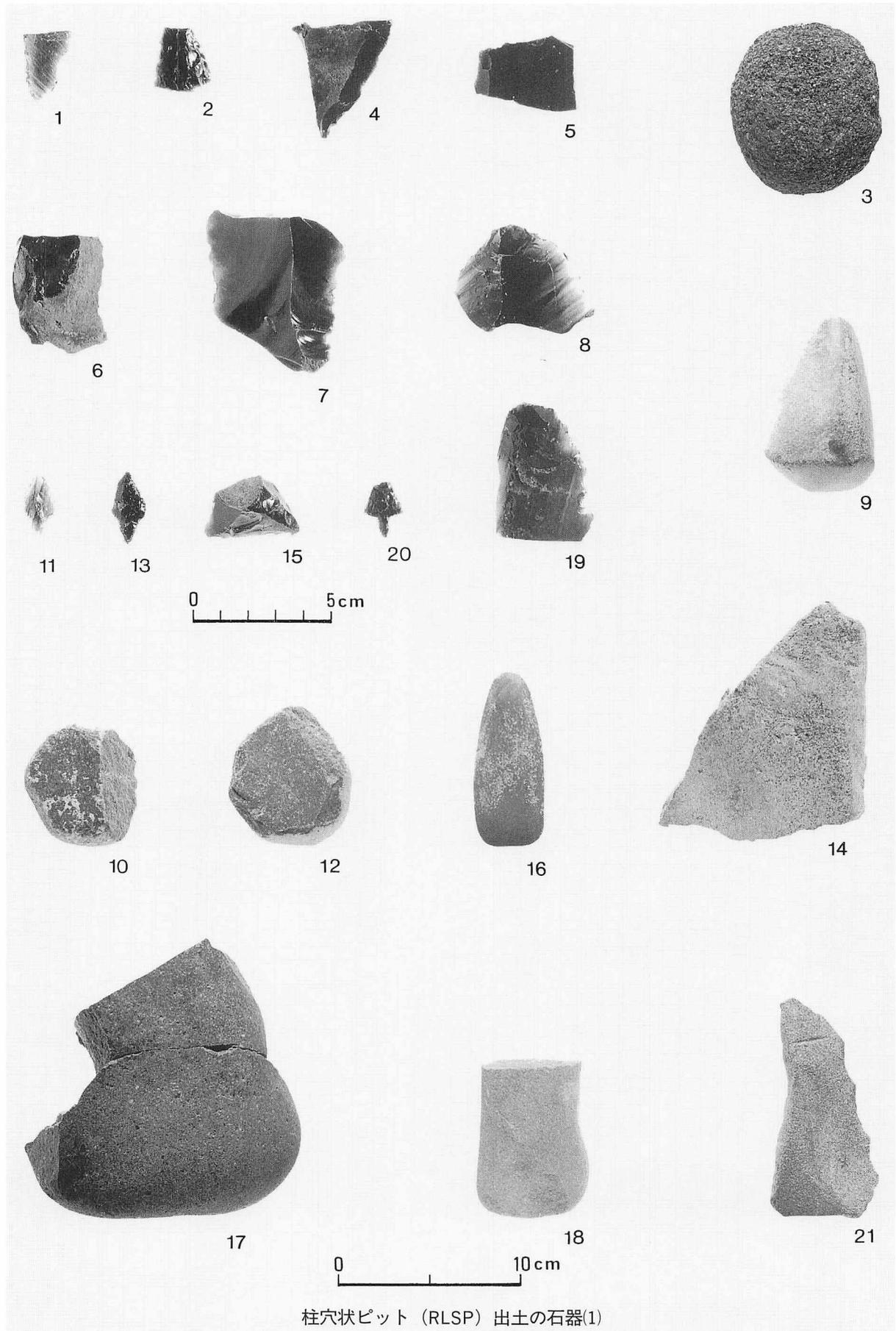
柱穴状ピット (RLP) 出土の土器(2)

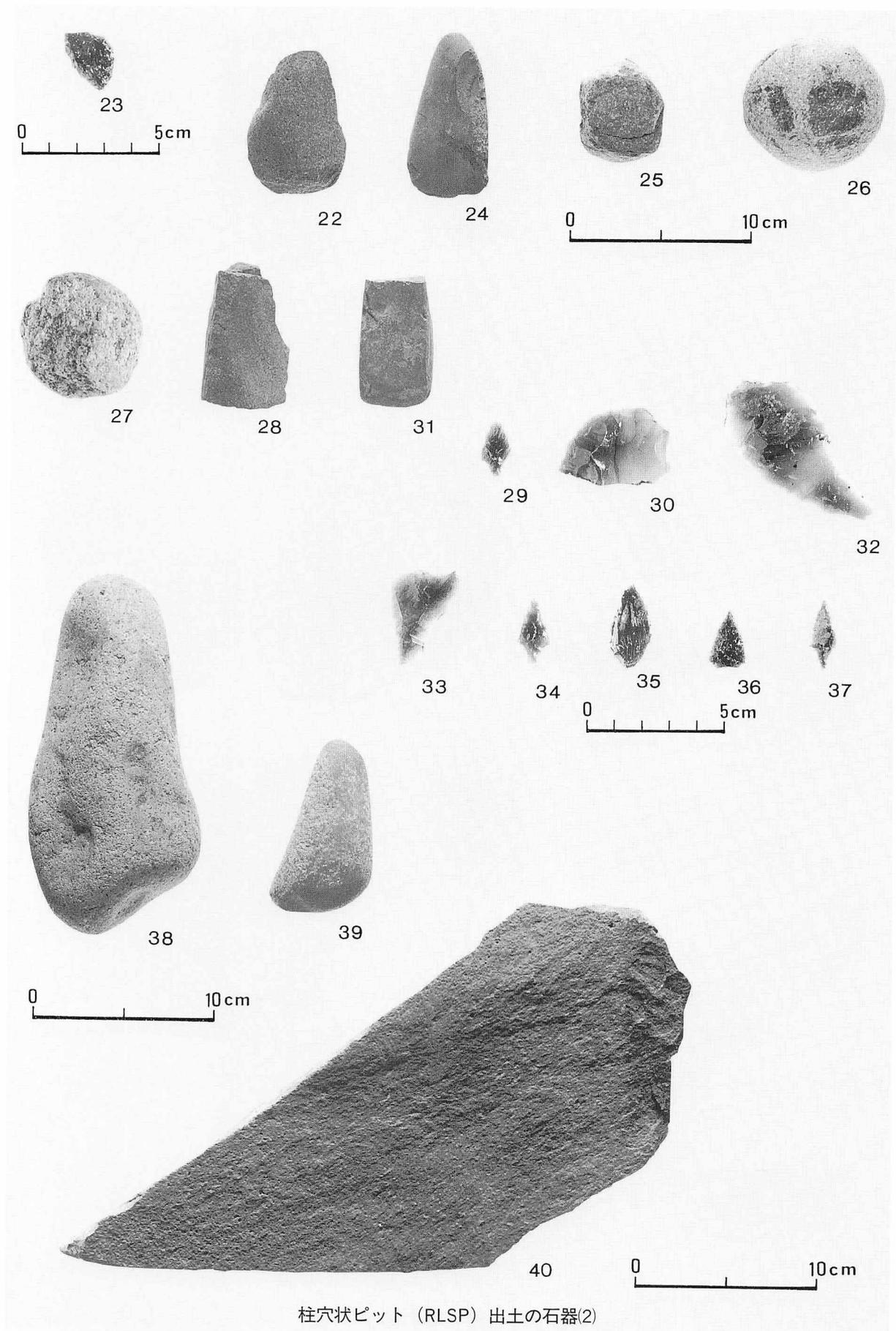


柱穴状ピット (RLSP) 出土の土器(1)

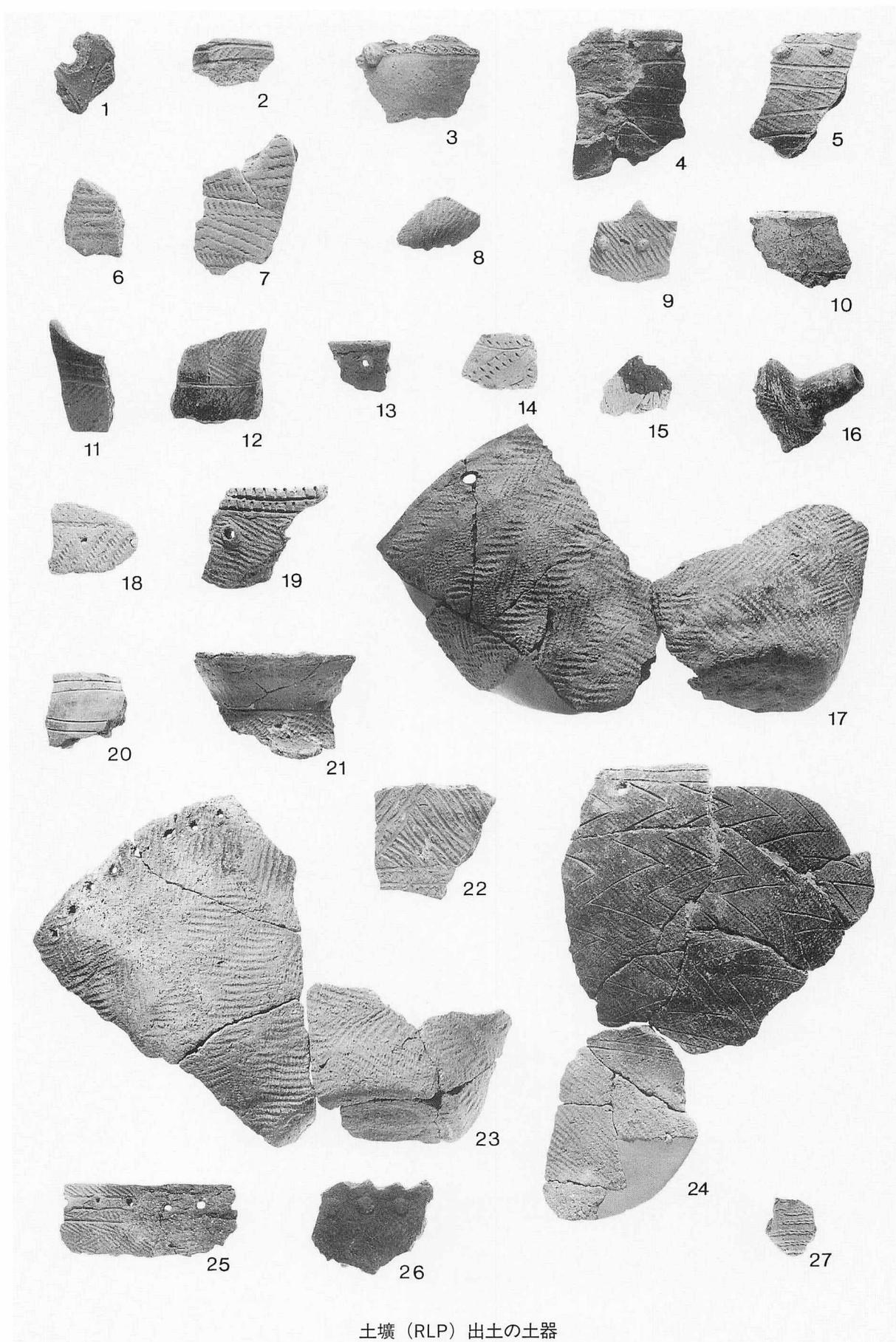




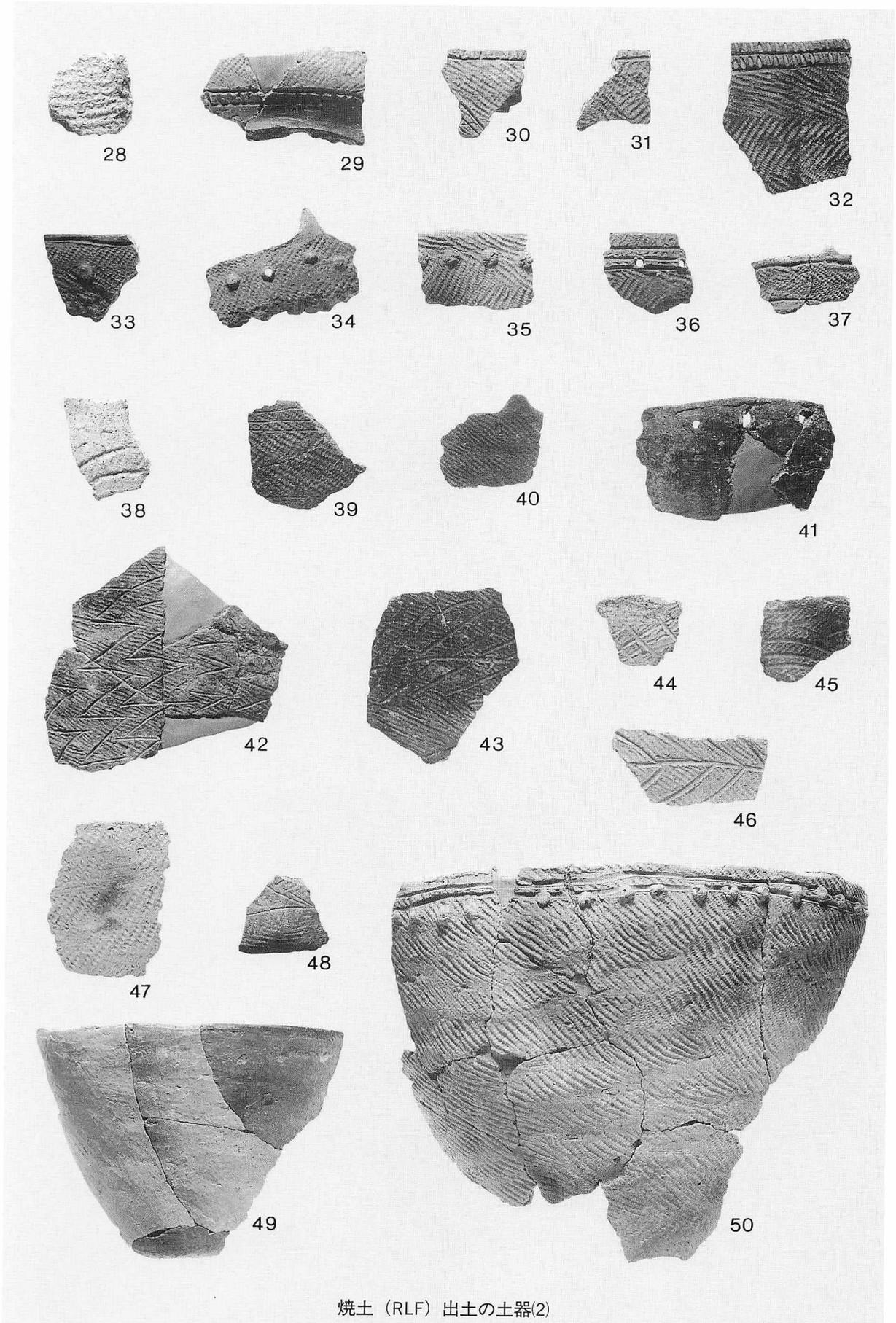




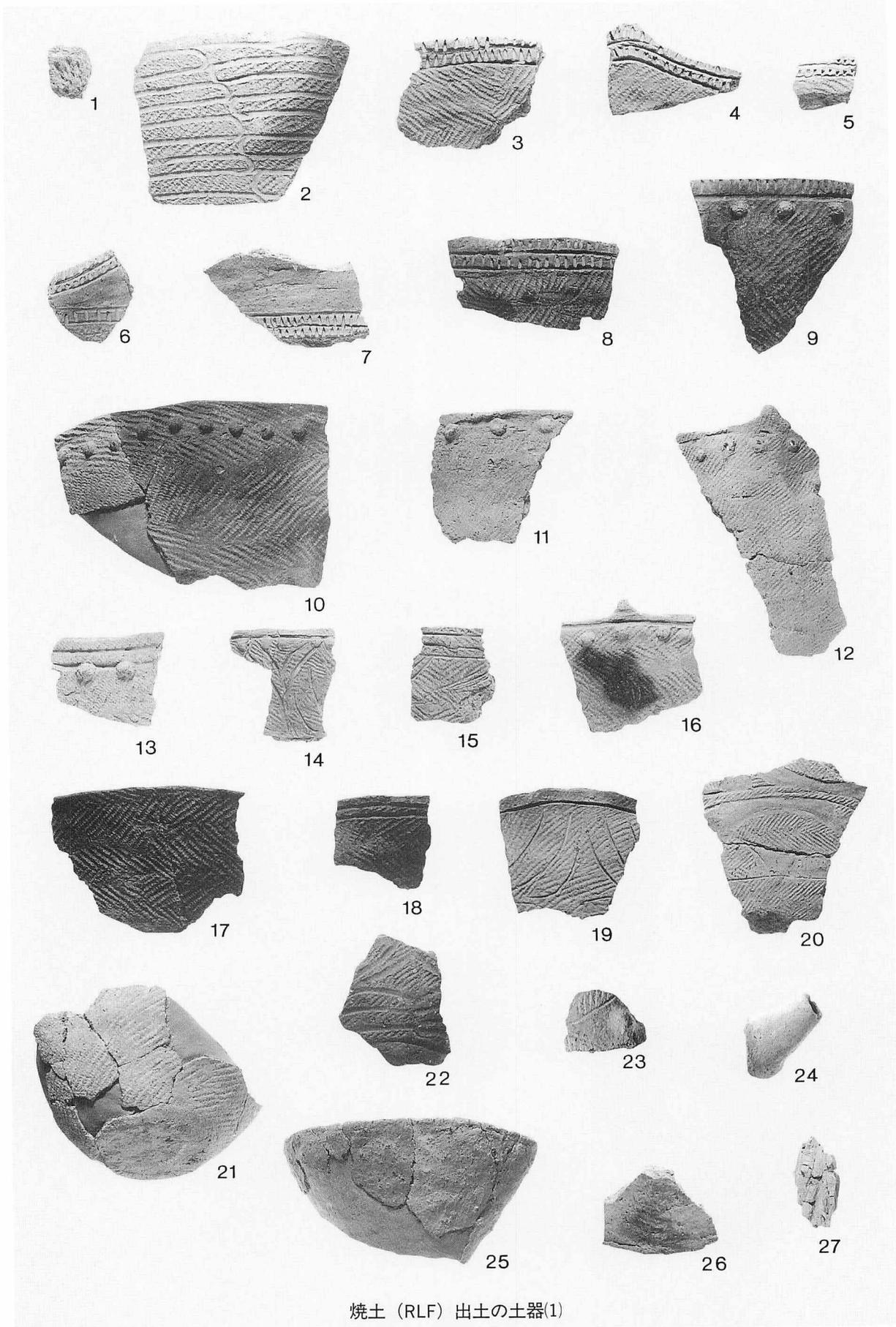
柱穴状ピット (RLSP) 出土の石器(2)



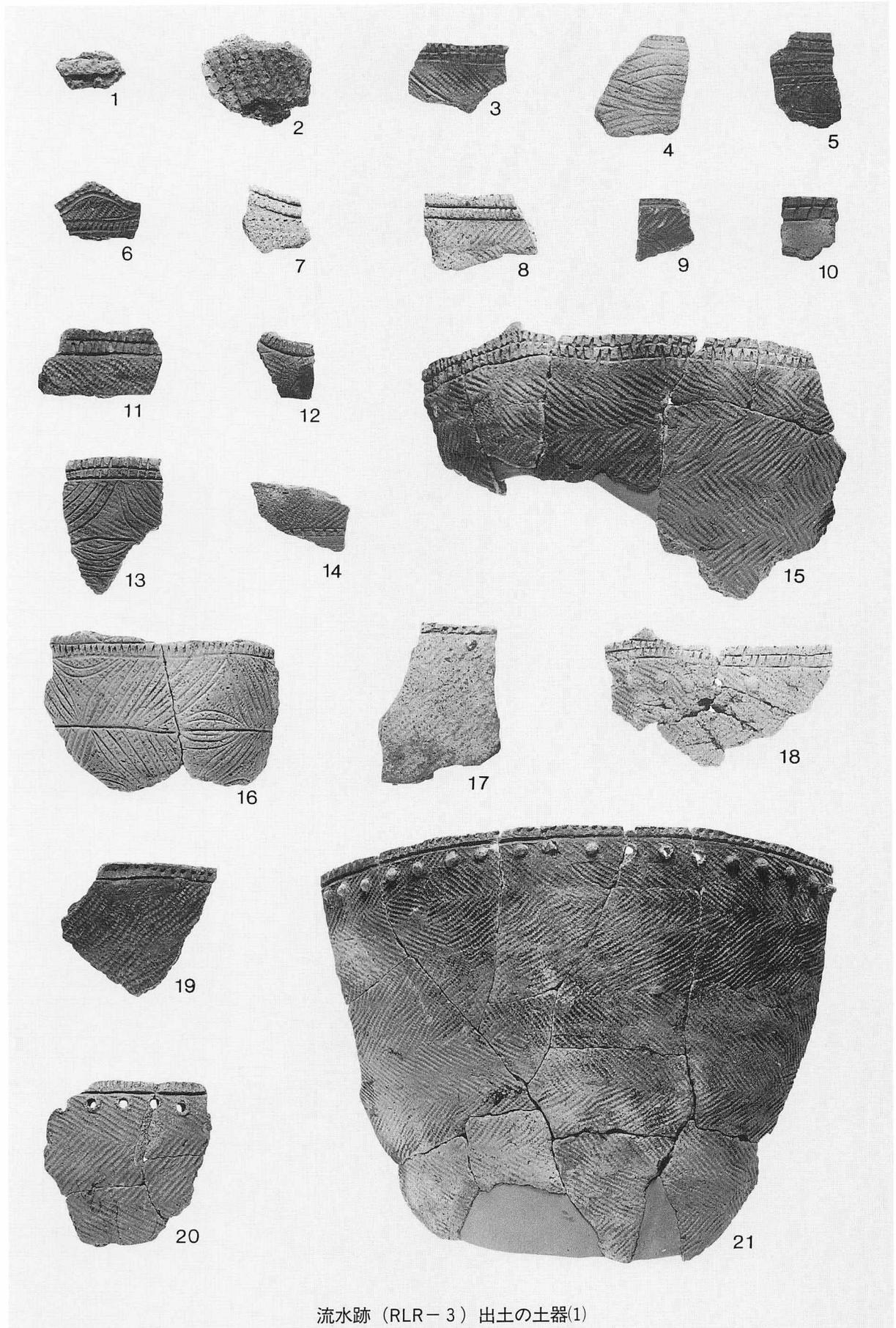
土壙 (RLP) 出土の土器



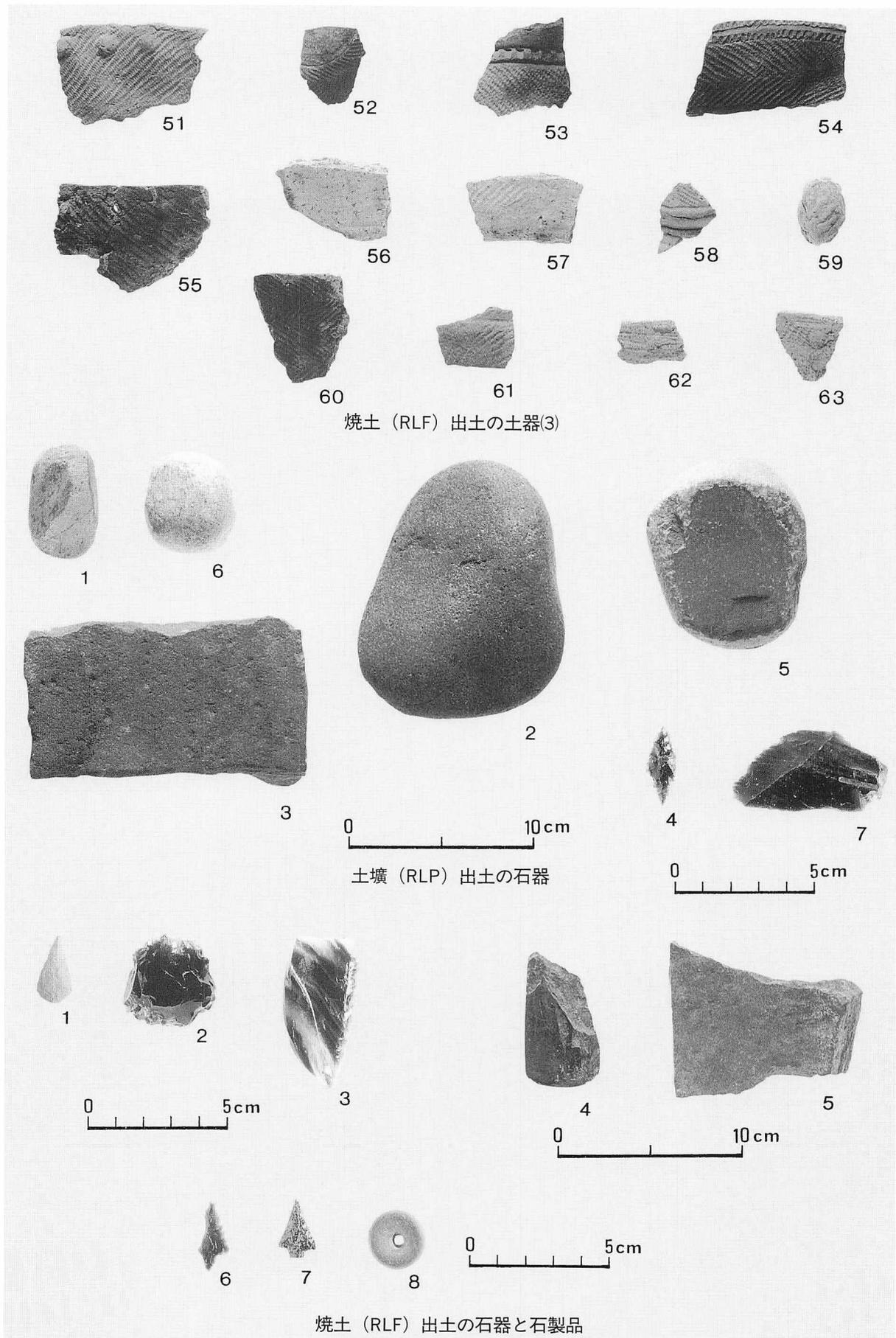
焼土 (RLF) 出土の土器(2)



焼土 (RLF) 出土の土器(1)



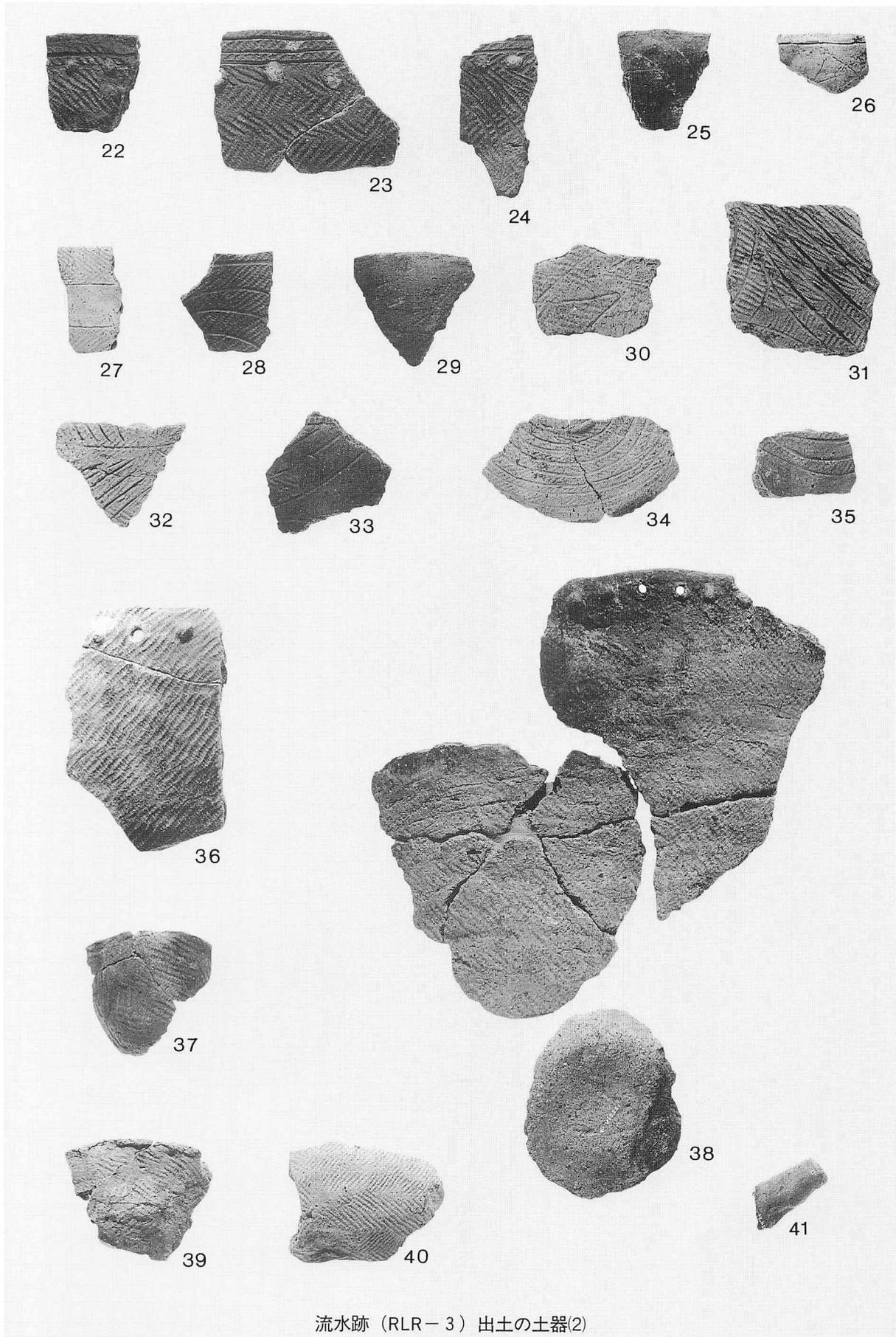
流水跡 (RLR-3) 出土の土器(1)



焼土 (RLF) 出土の土器(3)

土壌 (RLP) 出土の石器

焼土 (RLF) 出土の石器と石製品



流水跡 (RLR-3) 出土の土器(2)



42

流水跡 (RLR-3) 出土の土器(3)



1



2



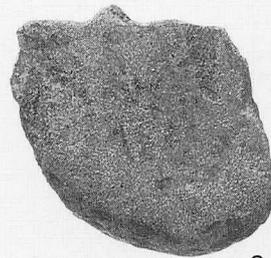
3



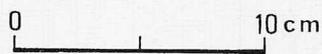
5



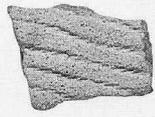
4



6



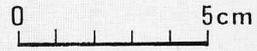
流水跡 (RLR) 出土の石器



1



1



RLP-2 出土の土器

RLP-2 出土の石器



1



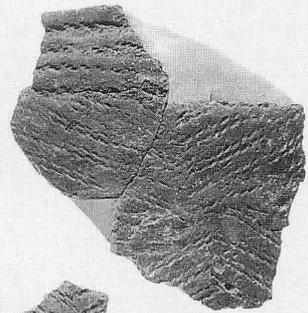
2



3



4



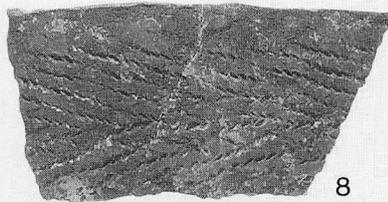
5



6

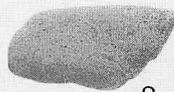


7

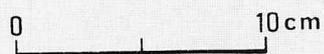


8

住居跡 (RLH-1) 出土の土器



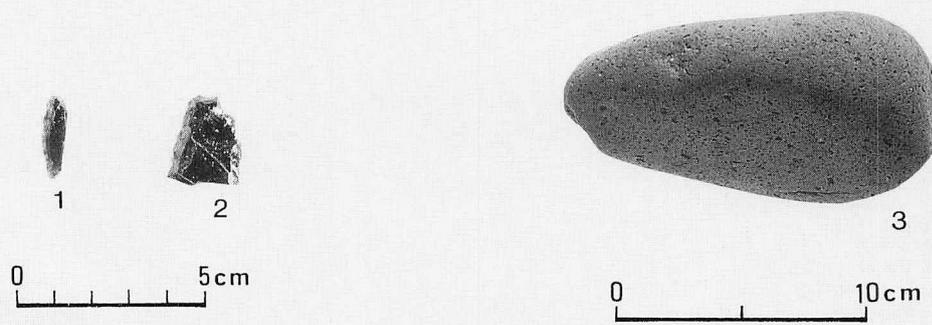
2



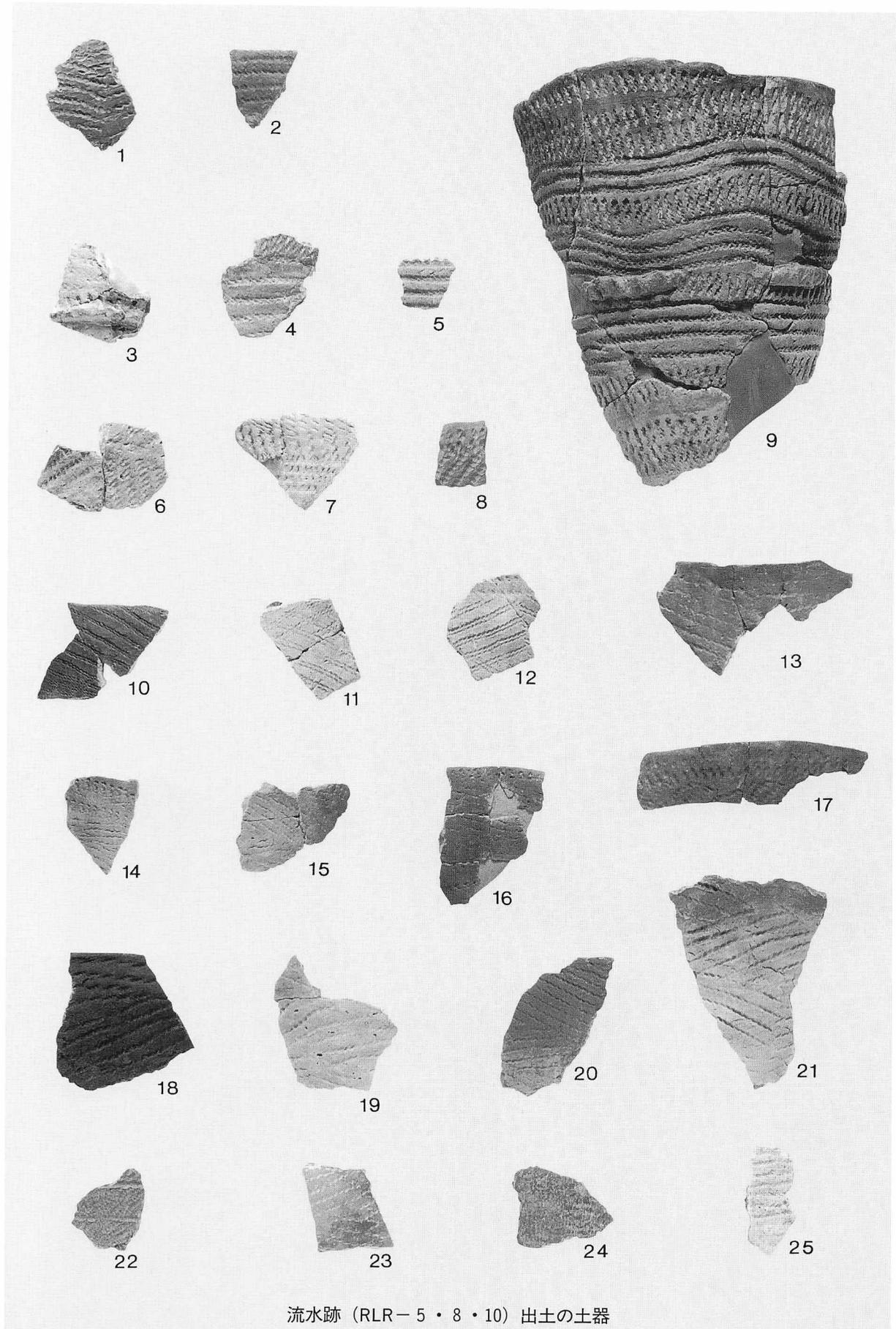
住居跡 (RLH-1) 出土の石器



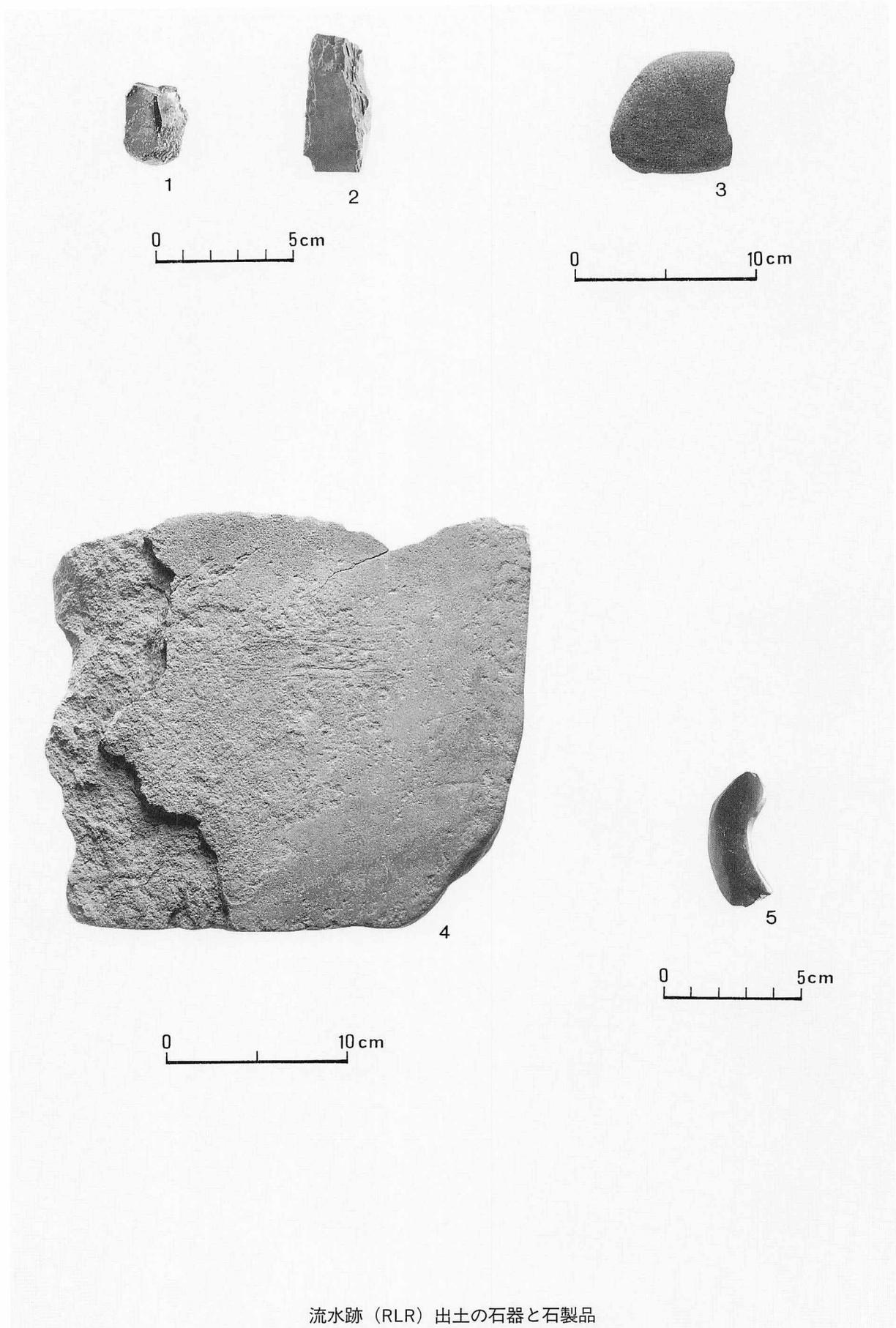
住居跡 (RLH-2) 出土の土器



住居跡 (RLH-2) 出土の石器



流水跡 (RLR-5・8・10) 出土の土器



報告書抄録

ふりがな	ちとせし きうすよんいせき ろく							
書名	千歳市 キウス4遺跡(6)							
副書名	北海道横断自動車道(千歳～夕張)埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第148集							
編著者名	佐川俊一・和泉田毅・藤井浩・阿部明義・山中文雄							
編集機関	(財)北海道埋蔵文化財センター							
所在地	〒069-0832 江別市西野幌685番地1 TEL011-386-3231							
発行年月日	2000(平成12)年3月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
きうすよん キウス4	ほつかいどうちとせし 北海道千歳市 ちゅうおう 中央208-16 ほか	01224	A-03-92	42度 52分 48秒	141度 42分 45秒	19980506 ～19981111	4,240	道路建設に 伴う事前調 査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
キウス4遺跡 R地区	集落遺跡	縄文時代 早期 後期	建物跡 127軒 住居跡 2軒 柱穴状ピット1474基 土壙 14基 焼土 248ヵ所		土器 4,948点 石器 1,118点		柱穴状ピット群	

(財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第148集

千歳市キウス4遺跡(6)

—北海道横断自動車道(千歳～夕張)埋蔵文化財発掘調査報告書—

発行 平成12年3月31日

編集 財団法人 北海道埋蔵文化財センター
〒069-0832 江別市西野幌685番地1
TEL 011-386-3231

印刷 三陽印刷株式会社
〒063-0061 札幌市西区西町北15丁目1番12号
TEL 011-661-2311

